阪神・淡路大震災

コープこうべ 活動の記録

創造的復興への道

生活協同組合コープこうべ

00095133506

寄贈

震災文庫 12－87

阪神・淡路大震災
コープこうべ 活動の記録

創造的復興への道

神戸大学附属図書館
平成
8年3.29
No. 9513350

生協の原点を見直して
創造的復興を

組合長理事
木村　正人

1995年１月17日の大震災では多くの組合員が被災され、暮らしに深刻なダメージを受けました。コープこうべも11人の仲間が犠牲になり、本部をはじめとする11の事業所が全半壊し、総額 500億円の被害を受けました。

私たちは多くのものを失いましたが、半面震災による貴重な体験と教訓を得ました。それはボランティアの活動であり、助け合いや、協働の思想が瓦礫の街のいたるところで見受けられたことです。特に組合員や職員の間で、自然にボランティア活動が生まれ、大混乱の中でただちに救援や支援にあたったことは、私たちの大きな誇りとするところです。

同時に全国の生協の仲間も続々と被災地に入り、コープこうべの復旧支援のみならず、広く被災者の救援にあたっていただいたことは「被災地に生協あり」と、社会的にも評価され、生協への強い信頼を得たものと思います。

また、行政と協力し、被災された方々に緊急物資の提供をいち早く実施しましたが“緊急時における生活物資の確保”については、全国から注目される行動となりました。

コープこうべが創立以来掲げてきた「愛と協同」の理念“人と人とがいたわり合い、助け合う”という、いわば生協の原点を再認識させられました。私たちはこの人間のもつすばらしさ、そして平和、環境、地域をしっかり根底に据え、今後の“創造的復興”を図っていきたいと思います。

この間の事業の復興が予想より順調に推移していることは組合員をはじめ、お取引先等の力強い応援と共に、全職員の復興にかけた熱い思いと努力に起因していることは言うまでもありません。また、復興の推進力となっているのは、情報システムの早期復旧や大型店の出店政策、そして経営体質の改善をはかってきたことがあげられます。徐々ではありますが、効率の良い事業運営が実現されつつあります。

いずれにしましても、創造的復興の「新しいまちづくり」「新しいくらしづくり」「新しい生協運動づくり」をめざし、21世紀に飛躍でき、また地域組合員の期待に応じられる「生協づくり」に、あの瓦礫の中で確認した生協人としての使命感と情熱を持って、邁進していく覚悟であります。

1995年12月30日

もくじ

生協の原点を見直して創造的復興を　組合長理事　木村　正人 …… 3

写真で綴るコープこうべの活動 …… 6

コープこうべの被災状況の概要 …… 22

第1章　被災地の真只中に対策本部を設置 …… 24

1.全施設の約70%に被害 …… 24

2.鳴り続けるサイレンのなかで議論が続く …… 24

3.情報の受発信 …… 26

4.組合員のためにできることを早急に …… 27

5."ズレ"を克服し、求められる商品を …… 27

6.物資が届き、動くまでの遠い道のり …… 27

7.「緊急対策本部」から「コープこうべ災害復興会議」へ …… 28

第2章　事業所の活動開始 …… 29

1.地震当日、97店舗が営業を続行 …… 29

2.救援物資を積み組合員宅を訪問 …… 31

3.各業態とも必死の努力で業務再開 …… 32

4.コープミニの奮闘 …… 32

第3章　緊急物資の提供 …… 36

1.神戸市などとの「緊急物資協定」を発動 …… 36

2.ドキュメント生産工場・被災者の命を救った13万食分のパン …… 37

3.緊急物資の配達にも大きな働きをした生協 …… 38

4.生協の施設を提供して協力 …… 38

5.避難所にいる被災者に栄養ある食品を …… 39

6.さらに強まる行政との協力関係 …… 40

第4章　情報システム・物流システムの崩壊 …… 42
1.情報システム …… 42
2.物流システム …… 43

第5章　全国生協からの支援活動 …… 44
1.被害状況、瞬時に全国の生協へ伝わる …… 44
2.全国各生協の素早い組織的な動き …… 45
3.がんばれ/がんばれ/コープこうべ …… 45
4.多方面にわたる支援内容 …… 47
5.支援の中に貴重な学習体験 …… 48
6.大震災の中から得たもの …… 49

第6章　自然発生した組合員の諸活動 …… 54
Ⅰ.ボランティア活動 …… 54
Ⅱ.福祉活動 …… 58

第7章　創造的復興に向けて …… 64
1.コープこうべの復興構想 …… 64
2.マネジメント改革のスタート …… 69
3.広がる連帯の力 …… 75
4.被災者や組合員のために …… 78

資料編 …… 85

あとがき

20秒間でこの破壊！

日本がかつて経験したことのない災害となった阪神・淡路大震災は、地震には強いと言われていた高速道路をはじめ、ビル、地下鉄なども崩壊。多くの市民が被災した。コープこうべも本部ビルや店舗がその犠牲となった。

シーア屋上から見た本部ビル

南半分が有馬道をふさぐ形で崩れ落ちた本部ビル

'95 1月18日に漏電でボヤを出したが周囲に延焼せず

情報システム部で徹夜をしていた5人はカーテンをつなぎ合わせて脱出

机や備品などがそのままの状態

商品が散乱するシーアの店内

コープ浜甲子園の店内

倒壊した本部から取り出された役員の愛用カバン

本部ビルから書類や備品を搬出

危険
（応急危険度判定結果）
この建物に立ち入らないでください。

本部ビルの解体作業

解体作業中のコープ舞子

コープリビングセンター甲南（東灘区）
1階駐車場部分と2階の売り場がつぶれた

全壊した協同購入センター西宮

全壊したコープ六甲（灘区）。
近くのJR六甲道駅の建物も崩れ落ちた

火の手があがる神戸市内（北区ひよどり台から）

倒壊した阪神高速神戸線（東灘区）

変わりはてた神戸市内の様子（上2枚も）

緊急対策会議を！
そして、組合員のくらしを守れ！

コープこうべは生活文化センターに緊急対策本部をただちに設置。水道、ガス、電気、そして交通網も電話も寸断された中で、緊急対策本部は「緊急物資を可能な限り供給せよ」と発令。

しかし、伝令もままならず、所属長の判断で、組合員のために何をすべきか、自己完結を余儀なくされた。

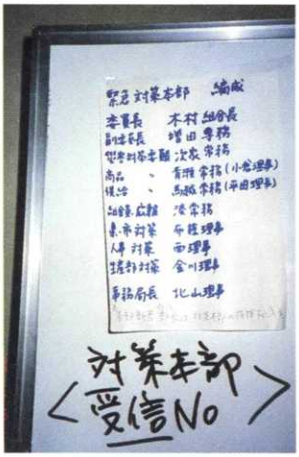
'95年１月17日の緊急対策会議（電気はとまったまま）

復旧に向けて連日、朝夕２回の会議が持たれた

来訪者のための、コープこうべ対策本部受付（生活文化センター、J&P前）

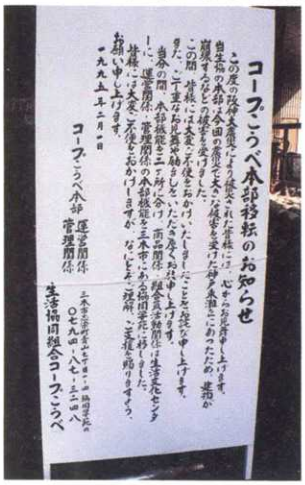
避難所で大臣に対して市民の実情を話す竹本理事長（'95年１月22日、テレビ朝日「サンデープロジェクト」）

'95年１月31日生活文化センターでの緊急対策会議



'95年２月１日、本部（運営関係、管理関係）は協同学苑の体育館に移動した

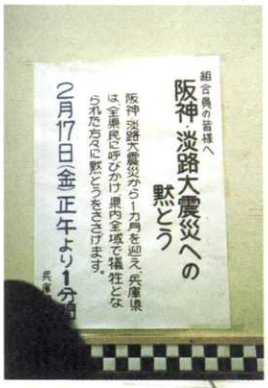
組合員へのお知らせ（コープ浜芦屋）



商品本部は生活文化センターに設置

倒壊した家屋の撤去の申し込みに、市民の長蛇の列ができた（生活文化センター）

コープこうべグループ合同慰霊祭、'95年３月４日（生活文化センター）



'95年２月17日正午、黙とうをささげる組合員と職員（シーア）

兵庫県の災害対策本部入口

『きょうどう』『にじの友』の臨時号など

生活文化センターでは、避難所（約60世帯）や遺体安置所として行政に協力した（写真は柩の組みたて作業）

コープこうべ震災当初の動き

'95年１月17日
- 5:46　地震発生。M7・2推定
- 7:30　役員がシーア2階非常階段踊り場に集合、緊急会議を開催。
- 9:00　緊急物資協定に基づき担当者を神戸市に派遣。
- 9:25　９人を人選、各地区本部へ伝令（バイク、自動車）。地区内状況の把握・可能な限り開店せよという指示など。
- 10:00　【第１回緊急対策会議】緊急対策本部設置（生活文化センター）。役員・各部の役割決定。

１月18日
- 11:59　【第2回緊急対策会議】日生協・小野DC（配送センター）から協同学苑・コープホームセンター北六甲への商品配送を決定。（コープ姫路白浜、コープ姫路田寺も物流拠点にすることを決定）神戸市へのパンの配送を決定（ヘリコプター使用）緊急対策会議を8時・17時に開催することを決定。計21回開催。
- 17:00　【第3回緊急対策会議】協同学苑を対策本部の第二基地とすることを決定。他生協からの支援受入れ方針を決定。組合員関連諸会議の当面の中止を決定。
- 19:30　神戸市より生活文化センターの遺体安置所としての使用申し出。

１月19日
- 6:50　本部4階より出火
- 8:00　【第4回緊急対策会議】本部と第一線の連絡機能は未だ不全。（電話、FAXが必要）商品配達の目途つくも、配送は困難。「きょうどう臨時号vol.１」発行（店舗掲示など）。「運営通信臨時号vol.１」発行。「にじの友臨時号vol.１」発行。
- 13:00　【拡大緊急対策会議】食品工場、再開の目途立たず。委託生産。通帳紛失組合員の減資、10万円を上限に認める。
- 18:00　【第5回緊急対策会議】鳴尾浜DC・日生協小野DCが満杯。玉津で受ける。取引先への支払・集金は1ヵ月延期。
- 20:00　緊急対策本部の電話は2本のみ。

１月20日
- 8:00　【第6回緊急対策会議】各生協からの支援人員・物資が続々到着。マスコミ取材の広報部への一元化を再徹底。
- 17:00　【第7回緊急対策会議】食品工場、設備の点検開始。予想より軽症。日生協を通じた他生協からの支援を受け入れ。

１月21日
- 8:00　【第8回緊急対策会議】本部の協同学苑・体育館への移転構想固まる。
- 17:00　【第9回緊急対策会議】職員1月分給与、11月分と同額を1月25日に支給することを決定。メール便の復活（ただし、地区本部、鳴尾浜DC、大阪北のみ）被災地の協同購入センター訪問組合員を全戸訪問。（～23）

１月22日
- 全常任理事所属巡回。
- 【第11回緊急対策会議】第5地区・第8地区で募金カンパ活動スタート。
- 【拡大緊急対策会議】幹部異動は5月末に延期。1月業務会議は2月に延期。諸会議は原則中止。2/1より、業務機構を改編。協同購入センター、受注開始。（50アイテム）クレリの相談コーナースタート。（生活文化センター1階）メール便、全店でOK。（16:00より）コープ共済センターに、全国の生協からの支援はじまる。

１月26日
- 【第14回緊急対策会議】ボランティア支援の窓口を生活文化センター・組合員活動部に設置。「きょうどう臨時号」新聞折り込み。

２月１日
- 本部機能を協同学苑に移転。（商品関係は生活文化センター）「コープこうべ災害復興会議」設置。（「緊急対策本部」解消）業務機構改編、「本部」体制へ再編。「コープベル」再開。

２月３日
- 「コープボランティア本部」設置。

被災者のために、すぐに供給開始！

緊急物資の配送と、すぐに開店したことが、パニックを防ぐ要因となった。また、被災者が整然と列をつくり、なかには、暗い店内から商品を搬出するのを手伝ってくれた組合員もあった。地震当日、155店舗中何らかの形で開店したのは97店舗であった。

シーアは２月26日
２階がオープンした

シーア店頭付近

'95年１月18日の店頭供給の様子（コープデイズ西宮）

全壊したコープ浜芦屋では組合員集会室を利用して供給

◆コープ浜芦屋
- '95年１月22日より店頭供給開始
- '95年２月17日より組合員集会室に仮設店オープン
- '95年10月12日に移設改築オープン
- 旧店跡地は芦屋市に仮設住宅用地として貸与

◆コープ渦森台
- '95年１月22日より店頭供給開始
- '95年４月７日より仮設店オープン（渦森公園）

店頭供給（コープ渦森台）

'95年４月７日、オープンしたコープ渦森台

全壊したコープ御影北では駐車場で供給した

◆コープ御影北
- '95年1月20日より店頭供給開始
- '95年6月9日に現地に仮設店オープン

◆コープ六甲
- '95年1月21日より店頭供給開始
- '95年3月31日より別に将軍通に仮設店をコープ六甲の分店として開店
- '95年4月11日、コープ六甲駐車場に仮設店オープン

コープ六甲では1月21日より供給を開始

コープミニ桜口の店頭供給風景

それ以後の主な動き

'95年2月10日	六甲アイランド食品工場、生産再開。
3月4日	コープこうべグループ合同慰霊祭(約300人参列)〈生活文化センター〉
3月7日～31日	「私たちの街・私たちの力」復興へのボランティア催し(コンサート、演劇など計27回、約2,850人参加)〈生活文化センター他〉
3月25日	復興イベント・ふれあい市民の集いに約3万人が参加。(須磨海岸)
4月1日	生活協同組合コープこうべと播磨生活協同組合が合併。「Kネット協同連帯機構」発足。
4月7日	コープ甲南フルオープン。
4月15日～16日	復興イベント・ふれあい春市に約10万5千人が参加。(西宮スタジアム)
4月30日	コープ六甲台退店。
5月12日	全国の生協からの阪神・淡路大震災の義援金9億円、兵庫県災害対策本部に贈呈(大阪府1億円、全国社会福祉協議会1億円)〈兵庫県庁〉
6月1日	買い物袋持参運動の拡大(ポリ買い物袋のレジでのお渡しを中止、1枚につき5円を「コープこうべ環境基金」として協力いただく方法)スタート。
7月1日	製造物責任(PL)法施行。
7月5日	コープ舞子をコープミニ東舞子としてオープン。
8月1日	社会福祉法人協同の苑「特別養護老人ホーム協同の苑六甲アイランド」開設(神戸市東灘区向洋町中3-1-2)
8月14日	コープこうべ本部住吉事務所開設(神戸市東灘区住吉本町1-3-19)
9月4日～5日	コープ共済10万人達成記念講演会に約200人参加。(生活文化センター)
9月7日	コープミニ川面(宝塚市)オープン。
9月8日	コープ須磨本仮設店オープン。
9月23日	アワーズを全面改装してコープデイズ相生としてスタート。
9月29日	コープ三田西オープン。(三田市富士が丘2-7)
9月30日	コープミニポートアイランドオープン。(神戸市中央区港島南町1-1)

◆コープ須磨
- '95年1月21日より店頭供給開始
- '95年4月9日より別に稲葉町に仮設店オープン
- '95年9月8日に現地に仮設店オープン

コープ須磨では仮設テントで供給活動

'95年4月9日、稲葉町に仮設店オープン(コープ須磨)

取材インタビューに応えるコープ甲南高木店長

コープ甲南の店頭供給風景

六甲アイランドCITY自治会から感謝状が
コープ六甲アイランドに贈られた

コープ舞子の仮設店'95年3月21日、星陵台にオープンした

本格的復旧・復興へ 次々とフルオープン!

本部移転をはじめ、施設の復旧が進み、9月には、新規にコープ三田西などが開店した。

フルオープンしたシーア

◆シーア
- '95年1月18日より1月20日まで店頭供給
- '95年1月21日、セミオープン(1階のみ)
- '95年2月26日、2階オープン
- '95年4月1日、フルオープン

◆コープ甲南
- '95年1月22日、店頭供給開始
- '95年4月7日、フルオープン

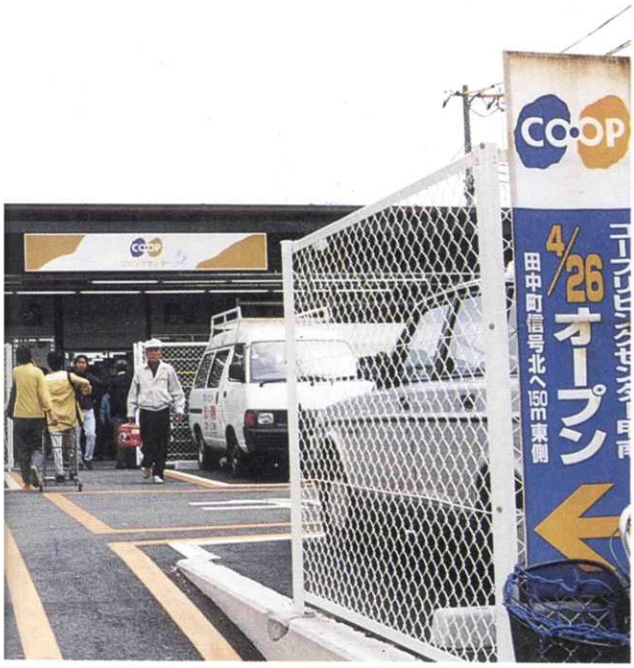
◆コープ舞子
- '95年1月17日より'95年1月20日まで店頭供給
- '95年1月21日より解体工事のため供給休止
- '95年3月21日より星陵台に仮設店オープン
- '95年7月5日に現地にて業態転換し、コープミニ東舞子としてオープン

'95年3月31日コープ将軍通店がコープ六甲の分店としてオープン

コープミニ東舞子オープン　'95年7月5日

コープ浜芦屋オープン　'95年10月12日

'95年8月14日コープこうべ本部住吉事務所を開設(東灘区住吉本町1-3-19)



◆コープリビングセンター甲南
- '95年1月17日より供給休止
- '95年4月26日より本山寮跡に仮設店オープン
- 1996年秋を目指し、現地に本設店オープン予定

'95年4月26日コープリビングセンター甲南は本山寮跡に仮設店をオープン

アワーズを全面改装してコープデイズ相生としてスタート('95年 9 月23日)

三田市富士が丘にオープンしたコープ三田西('95年 9 月29日)

仮設住宅の中に開店したコープミニポートアイランド('95年 9 月30日)

ガンバレ!コープこうべ!
全国の生協の仲間が集結。

「生協の灯を消すな」と全国の生協から、のべ1万人近い人々の支援をいただいた。
そして、自然発生的に生まれた組合員や職員のボランティアと、活動を共にし、"被災地に生協あり"と評された。

全国の生協の仲間が救援にかけつけた(協同学苑駐車場にて)

岐阜地区市民生協から届いた救援物資

コープかがわの
緊急物資運搬車

復興イベント「ふれあい春市」'95年4月15日・16日（西宮スタジアム）

全国12の生協の仲間がふるさと味自慢コーナーに出典

店内案内の応援をするちばコープの職員

コープかがわからの緊急物資が深夜「緊急対策本部」に到着

ならコープからの炊きだしの支援活動（シーア）

農協からも支援
（JA出雲市）

第５地区組合員による救援活動（シーアにて）

地域総訪問

私たちの街、私たちの力 CO-OP

これは、コープこうべ ボランティアセンター からの支援物資です。

（みんなで使う物資です。大切に使いましょう）

天井川でのクリーンキャンペーン（'95年２月24日）

姫路ボランティアセンターの救援活動（兵庫区大開通で）（'95年２月19日）

▲ 板宿小学校での炊きだしのボランティア活動 '95年２月16日（第５、６、８地区）

▶

すべての事業所が救援活動！

店舗の供給活動だけではなく、コープミニや協同購入センターも、その他あらゆる業態で救援、支援活動が行われた。

また、3月に入所したフレッシュマンも地域訪問、クリーン活動などを体験し、被災地や組合員のくらしを目の当りにした。

協同購入センターでは手作業で注文を聞いてまわった（協同購入センター甲南）東灘区田中町２丁目付近で

協同購入センターの配送風景

生活文化センターでの託児ボランティア

仮設住宅での協同購入
（協同購入センター神戸東）

新入職員・ボランティア活動

「こまどりの家」支援活動　'95年4月6日

協同購入センター西宮の先輩職員と研修'95年4月5日・6日

コープデイズ西宮の先輩職員とともに訪問活動'95年4月5日・6日

救援物資の搬送支援活動
（西宮厚生年金スポーツセンター体育館'95年4月5日・6日）

新入職員の辞令交付式（'95年4月8日・協同学苑）

イベントに“笑顔と愛と安らぎと”！

少しでも街に笑顔を！　少しでも街をきれいにと、ボランティアのミニコンサートや復興イベント「ふれあい春市」などが多彩に開催され、子供達の笑顔も戻ってきた。

5年4月15日・16日、復興イベント「ふれあい春市」に約10万5千人が参加（西宮スタジアム）

ボランティアで参加したアグネス・チャンのミニコンサート

春街ファミリーバンドの楽しい演奏

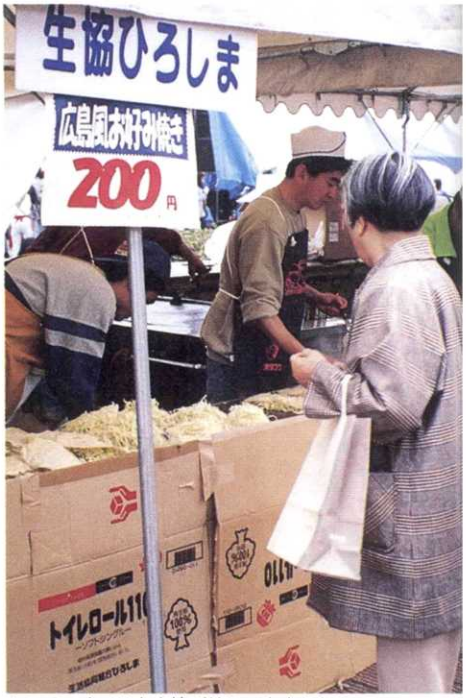
餅つき大会も行われ
子どもも参加

大道芸に市民の
笑顔がもどってきた

ぬいぐるみ相手に
子どもたちは大はしゃぎ

復興イベント「ふれあい市民の集い」
(須磨海岸)に約3万人が参加
('95年3月25日)

写真は秋田県から来神した民族歌舞団「わらび座」



うまいもの市では各生協が地元の名産を出品

地域の福祉団体などもたくさん参加

ちばコープから贈られた花束(コープ武庫之荘)

震災300日目の11月12日(日)
各ボランティアセンターで
それぞれ趣向をこらした
ボランティア大会が開かれた

第7地区(明石)

第4地区(住吉)

シーアカルチャープラザによるボランティアコンサート

ボランティアコンサート「愛の二重奏」に100人が参加

マンドリン・ソロコンサートには80人が参加

バレンタインデー（コープ園田）

バイオリンとピアノによるボランティアコンサートには150人が参加　'95年５月４日

第１地区（宝塚）

第２地区（塚口）

コープこうべの被災状況の概要

今回の大地震がこの地域やコープこうべに及ぼした被害は、極めて多大なものであった。多くの市民・組合員やその家族が命を奪われ、また負傷し、そして家を破壊され、多くのものを失った。総代・地域コープ委員も５人が亡くなられた。職員についても、正職員・定時職員・学生アルバイトなど11人が死亡し、職員の家族も 104人が亡くなられた。また、コープこうべの施設についても、本部ビルの倒壊をはじめ、コープ六甲・コープリビングセンター甲南、協同購入センター西宮など全壊した施設は12ヵ所、半壊施設は６ヵ所、その他軽微な損傷も含めれば、ほとんどすべての事業所が何らかの被害を受けた。食品工場も操業休止に追い込まれた。

被害は施設のみならず、多額の商品損失にもおよび、さらに本部ビルの倒壊とともに、事業システムを支える情報システムソフトの多くを失った。

地震によるコープこうべの関連会社への被害も大きく、事務所の移転を余儀なくされた会社が出たほか、操業にも多大な影響が生じた。

今回の地震によるコープこうべにおける被害の状況・損害額は次のとおりである。

1.事業関連被災内容

⑴施設被害

＜全壊＞　コープ浜芦屋、コープ御影北、コープ渦森台、コープ六甲、コープ須磨、コープ舞子、CLC 甲南、KC 西宮、本部ビル、本山寮、石橋ビル（協同信用、労働組合）、コープフーズ加工場

＜半壊＞　コープ仁川（2F）、KC 西宮北、装いのコープ垂水、住吉ビル（組織企画室など）、青木寮、山口ビル（コープムービング）

＜損傷（重度）＞

コープ甲南、コープ塚口、コープ甲子園口北、コープ苦楽園、コープ北口、コープ夙川、コープ摩耶、デイズ西宮、デイズ芦屋、シーア、生活文化センター、商品検査センター、コープミニデポ深江、芦屋シーサイドテニス

※本部ビルにはコープ観光㈱本社、CLC 甲南には住まいのコープ中部・クレリ案内センター・第４地区本部・コープ住宅㈱本社、本山寮には中部サービスセンターが各々含まれる。

※ CLC =コープリビングセンター、KC =協同購入センター、D =デイズ

●被害施設一覧

	全　壊	半　壊	損傷（重度）	計
店　舗	7	1	10	18
KC	1	1	−	2
その他	4	4	4	12
計	12	6	14	32

⑵施設損害額　34,000百万円　（内訳）①損壊額　30,000百万円

②撤去・修繕　4,000百万円

⑶商品損失　　3,500百万円

⑷営業機会ロス　7,000百万円

⑸その他諸費　　5,500百万円

※⑵～⑸合計　　50,000百万円

2.組合員関係の被災状況

⑴総代・地域コープ委員被災状況（2月15日現在）

	本人死亡	家族死亡	本人ケガ・入院	家屋全壊	家屋半壊
人数	5人	18人	15人	135人	199人

3.職員の被災状況

⑴コープこうべ職員の被災状況（3月15日現在）

		正職員		定時職員		その他アルバイトなど		計	
		本人	家族	本人	家族	本人	家族	本人	家族
死亡		2	33	6	60	3	11	11	104
負傷		8	21	35	23	1	1	44	45
家屋	全壊	233		300		44		577	
	半壊	252		362		55		669	

※その他、正職員OB 2名死亡。　　※家族は、3親等以内の親族。

※負傷は申告のあったもののみの数

＜参考＞●ファミリー倶楽部の災害見舞金（死亡・負傷・家屋損傷）

支給状況

支給件数：690件・70,835千円（3月22日現在）

（申し込み軒数：1,625件）

⑵被災職員への対応

●住居被災職員の寮・社宅などへの移転の斡旋。

（3月10日現在）　寮　……60人（男10人、女50人）入寮中。

社宅等……45世帯入居（11世帯が入居待ち）

※神吉荘改修中。3月末に27室入居可。

⑶関連会社他職員

●死亡：本人1人、家族13人

●また、本部ビル倒壊により、警備中の西宮警備社員1人死亡。

第１章 被災地の真只中に対策本部を設置

1.全施設の約70%に被害

１月17日(火)、突然に阪神、淡路地域を襲った大地震。この地震でコープこうべの施設などは大きな被害を受けた。本部所在地の東灘区は震度７の激震地にあり、本部ビルもまた例外ではなかった。

ＪＲ住吉駅を北側に降りると、ひときわ目についたのが本部の屋上にあるコープこうべのマークだった。そのサインが西側の有馬道をふさぐ形で崩れたガレキの上にあった。本部ビルが北側を少し残してほぼ全壊してしまったのである。

目撃者の話では、本部ビルは一瞬にして崩れ落ちたという。

もともと、戦後間もなく灘購買組合（コープこうべの前身）が焼け残ったビルを買い取り本部を移して以来、約50年間、この地でコープこうべの歴史を刻み込んできた。それだけに生協関係者にとってショッキングな光景だった。現在の建物は、昭和37年、住吉店をスーパーマーケットとしたときに建てられたものであり、築後30年を超えていた。

地震が起きたとき本部ビルにいたのは仮眠していた情報システムの職員など５人。無事だった北側に事務所があったため、カーテンをつなぎ、窓から脱出して無事だった。しかし、宿直していた警備員２人のうち１人が帰らぬ人となった。

有馬道をふさぐ形で
倒壊した本部ビル

明るくなるにしたがって、崩れ落ちた本部の前に役員、職員が集まりはじめた。だれもが、変わり果てた本部の姿にしばし呆然としていた。

しかし、うちひしがれている場合ではなかった。「これからどうしてスタートするか」を早急に考えなければならなかった。

駆けつけた役員たちを中心に、シーアの非常階段の踊り場に集まって緊急会議を開催。“緊急対策本部”の設置を決定した。

震災の中心部である東灘区は、水道・ガス・電気はもちろん、交通網も電話も寸断された。各所属の状況や組合員、職員の安全もなかなかつかめない。そこで、バイクや自転車で駆けつけた職員が各地区本部、所属への伝令となった。

地区本部長への緊急指示事項は、「生活文化センターに緊急対策本部を設置」「可能な限り開店を」「店内が無理なら店頭や近隣で、緊急物資中心に供給を」「当面営業休日は開店」など。これを伝えながら、各店舗の状況他社の店舗の状況、道路状況など、事態の把握に努めた。

しかし、ところどころで道路が寸断されていて、なかなか進まない。そのうえ、所属も混乱のために情報がつかみにくいのが実情。最後の一人が地区の情報をもって対策本部に戻ったのは、夜の10時を過ぎていた。

2.鳴り続けるサイレンのなかで議論が続く

混乱と不安のなか、被災された組合員の救援を最優先に考えて、いま何をすべきなのか、組合員のくらしと生協の事業の立て直しに向けた対応が始まった。また、「緊急時における物資確保のための協定」に基づき、神戸市への緊急物資の提供のために職員１人を神戸市役所に派遣した。協定を結んでいたのは神

戸市と尼崎市。しかし、緊急対応のため、それ以外の阪神間各市、淡路島各町に対しても物資の提供を申し入れた。

緊急対策本部は、17日午後、生活文化センターに移された。建物が無事だといっても、スプリンクラーが作動して事務所は水びたし、電気はとまり、本部のビル電話を引いていた電話は回復不能という状態だった。

役員は1階のレストラン「J＆P」に陣取った。木村正人組合長を緊急対策本部長として、すぐさま緊急対策会議を開催、各部の当面の課題を確認した。人事は職員の安否確認、経理、経営企画、広報などそれぞれを確認した。緊急対策本部となったJ＆Pには、館内で無事だったワープロ、FAX、テレビ、筆記用具などが持ち込まれ、事務所としての機能整備がすすめられた。そして、廊下に掲示板をつくり、各部の使用する部屋割りがつくられた。4時を過ぎると暗くなり、ほとんど作業ができなくなる。それまでが勝負だった。

報道のヘリコプターのプロペラ音、救急車、消防車などの緊急車両のサイレンが、24時間途絶えることなく鳴り続けた。窓から見える国道2号線は大渋滞で、車はまったく動かない。生活文化センターのすぐ西では、4階部分がつぶれた住吉川住宅（神戸市営）から住民を救出する作業が続いていた。余震の規模によっては上層部が倒壊し、生活文化センターも被害を受ける危険性があった。そんな状態の中で、対策会議は続けられた。

電話回線が寸断された状態では、対策会議での決定事項を短時間で伝える方法もない。155店舗、19協同購入センターなど、200を超える事業所への指示、情報の共有化の確認ができないまま、震災当日は暮れていった。

夕方、取引先から自家発電機が届けられた。J＆Pだけだったが、工事用の薄暗い照明5～6個が室内を照らした。この時点で、テレビも見ることができるようになった（アンテナなしで、非常に見づらい状態だったが…）。

夜になり、地下の体育館を開放。20数人が避難した。翌日からは、遺体の安置所となり、

緊急対策会議（1月19日）

通路部分に移ってもらった。生活文化センター前が東灘区内の遺体安置所への棺桶配送の基地となり、簡易棺桶の組み立てが続いた。

18日の朝は、「御影浜町のガスタンクが爆発の恐れ」という緊急のニュースから始まった。生活文化センターも避難勧告エリア内にあり、当面どうしのぐのか、また、集まってくる職員への告知をどうするか、検討しながら、事態の好転を待った。また、対岸の六甲アイランドでは、食品工場に残ったパンを車で配送することができなくなった。そこで、神戸市の依頼で出動したヘリコプターがパンを運び出すという一幕もあった。

相変わらず情報は寸断されたままで、まとまった情報は集まってこない。各職員が持ち寄った断片的な情報から、次第に被害状況があきらかになるという状態だった。そんななかで、各部署が、供給やシステムの回復のために奔走した。

全国の生協は、神戸との連絡がとれずに、やきもきしていた。日本生協連には、「神戸に行きたいがどうしたらいいか」という問い合わせが殺到した。

1月18日には、日本生協連政策討論集会の中で、内舘専務から各生協に対して「人的、物的支援」「救援募金」などの取り組みが正式に呼びかけられ、日本生協連がその窓口となることが確認された。

2月15日までに協力をいただいたのは約80

生協、のべ８千人を超えた。他生協からの応援のみなさんは、連日神戸で寝泊まりをしながら、コープこうべの復旧のために力を注いでくれた。震災を機に、生協間の絆が一層強まった。

3.情報の受発信

本部倒壊のため、センター内の電話回線の回復は不可能だった。そのなかで生命線となったのは、Ｊ＆Ｐの厨房にあった単独の電話回線１本。これが緊急対策本部の代表電話となった。もちろん、17日は、ほとんど不通の状態であることに変わりなく、被害の全容についての情報はなかなかつかめなかった。

電話回線が増設されたのは18日。しかし、公衆回線を引き込んでの２回線だけだった。このうち１本を、マスコミや日本生協連など、外部との情報受発信専用の回線とした。回線の状況が回復しはじめると、今度は、夜中までひっきりなしに電話が入ってくるようになり、その対応に追われるようになった。

情報の早期伝達のため、協同学苑を第二本部とすることが決まり、二輪車で出勤した職員で各地区へのバイク便が組織された。

コープムービングによるメール便が復活したのは地区本部までが23日、全事業所が28日となった。

19日の午前中、『きょうどう』『運営通信』『にじの友』の臨時号ができあがった。しかし、それを配送するすべがない。ＦＡＸ・電話回線も相変わらず不通だった。バイク便で地区まで届け、地区から各所属へ届けるというかたちをとったが、すべて完全な伝達ができたわけではなく多くの課題もあった。

『にじの友』は１月一杯、日曜を除くほぼ毎日11号まで掲示用として発行。18号・19号は全員配布とした。また、組合員向け情報は、開店告知を兼ねた『きょうどう』臨時号を１月26日、31日の２回、新聞折り込みした。継続して、２月からは店舗チラシの一部を「広報欄」として組合員への情報提供を強化している。『きょうどう』は２月１週号からタブロイド４ページ、毎月第１・第３火曜日発行で復活。しかし、不十分さは残り、２月１日からは、組合員からの情報収集を強めるため、「コープベル」を総合案内・相談窓口として再開し機能を高めた。

読売新聞(大阪)
'95.1.26

現地ルポ 阪神大震災

「暮らし守れ」生協も奮闘

コープこうべ 全国から応援

順調に商品入荷 安く販売

阪神大震災から９日。物の流れは日を追うごとに活発になっていく。各地のスーパーには、生鮮食品も並び始めた。神戸市東灘区の本部ビルが倒壊、20余の店舗が被害を受けた国内最大の生協コープこうべ各店でも、懸命の営業が続く。（西島　大美、辻　美弥子）

西宮市甲風園、阪急西宮北口駅北西にあるコープ北口。倒壊した家屋や一階部分のつぶれた証券会社ビルに囲まれた一角にある。

店舗北東の第一駐車場にテントを張って、約二百三十平方㍍の「仮設店舗」を設け、飲食品や下着、薬品、ガスボンベなど現在必要な生活用品に絞って販売している。

百七十四人いる従業員のうち、二人が犠牲になった。自宅が全・半壊した人も少なくない。同店の建物自体、窓ガラスが割れたり柱にひびが入ったりと、無残な外観を見せている。

それでも、震災当日から、とにかく少しでも食べるものを提供しようと、出勤できる従業員がフルに動いて一階だけを開けた。

散らかった商品や壊れた備品をわきに寄せ、いつもの約三分の一のスペースで菓子パンやスナック菓子、カップラーメンなどインスタント食品を中心に並べた。飲料水はまだたく間に姿を消した。ようやく水が入荷するようになったのは、震災から二日目の十九日に入ってからだ。

同日夜、建設業者が建物の診断に入った結果、支柱四本に損傷が認められ、「危険」のしっかりした店舗へと進んでいきたい。とにかく、一歩ずつ前進していきます」と力強く話す。

一方、神戸市東灘区の店舗「シーア」（約六千平方㍍）では、被災から五日目の二十一日午前九時半、二百人が静かに開店を待っていた。前日に比べて十分の一。商品が順調に入荷している。

から約二十人の応援部隊が到着、売り場や商品の搬入などに走り回る。

奈良コープ組合員活動部の窪田貞俊さんらは、応援を申し出て二十日から同店へ。駅に降り立つと、テレビで見る断片情報が具体的な町の姿となって迫ってくる。被害の大きさにショックを受けた。

「今自分にできるのは、被災した人たちの生活に必要なものを、必要なだけ提供するお手伝いすることだけ」と、連日奔走している。

秋山マネジャーは「品数も量も、毎日少しずつ増えています。店も、この駐車場からまずプレハブを建て、そして

ため、買いだめする客はおらず、品薄感や値上がりの危機感はないようだ。被害が少なかった会社員、竹本信夫さん（三七）は「今日、食べるだけでいい」と、家族二人分のおにぎりと総菜を買っただけ。

シーアでは二十五日現在、キャベツ百五十円、レタスは一個、キュウリやニンジンは三本が百円、プリーフニ枚五百円などすべての商品がかなり安く販売されている。

百五十五店舗を持つコープこうべには、全国の生協から五百人を超す職員らが駆け付け、販売活動などを支援している。

「全国の仲間のおかげで、被害を受けた店舗の復興も早まりそうです」と、支援に感謝しながら、「暮らしを守る」生協の奮闘が続く。

かなり安く供給された野菜を買い求める被災者（神戸市東灘区、「コープこうべ店舗「シーア」で）

4.組合員のためにできることを早急に

「緊急対策本部」では、木村正人組合長を本部長とし、いま私たち職員ができることに全力で取り組むことが確認された。

１日２回の緊急対策会議では、復旧の進捗状況の報告と、本部の決定事項の共有化がはかられた。１月19日には、地区の本部長も参加しての拡大緊急対策会議が開かれ、地区ごとの事業所の状況を報告し、今後の対策について話し合った。

組合員に商品を安定的に供給することを目標に、できる限り早急に通常どおりの営業を再開させることが緊急課題。そのために何をすべきか、何ができるのか、激しい議論が繰り返された。

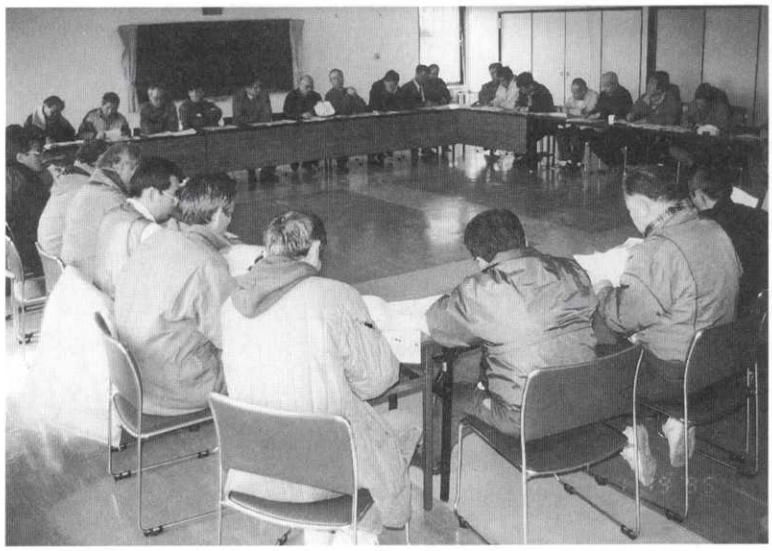
5.“ズレ”を克服し、求められる商品を

すばやい商品の対応ができるように、商品部を物流の拠点である鳴尾浜配送センター、協同食品センター、低温物流センターに分散して配置した。

地震当初は“調理せずにそのまま食べられるもの”や非常用の商品に需要が集中。商品部では、あらかじめ組合員の需要を予測し、可能な限りの数量の緊急物資をメーカーなどから仕入れ、それを各店舗に割り当てて配送した。また、取引先の協力を得て、各店舗が直接発注したものを、取引先から直接店舗に配送する方式も取り入れた。

地震から１週間がたち、緊急物資がある程度行き渡ってくると、組合員の商品のニーズは野菜や鮮魚といった“ふだん食べているもの”に変わってきた。これまで十分機能していなかった低温物流センターや協同食品センターの稼働も徐々にすすみ、少しずつではあるが、そうした商品も店頭に並ぶようになってきた。

六甲アイランド食品工場は、水とガスの供給が止まり、生産がまったくできなかった。なんとか組合員の要望にこたえようと、委託による食品の生産がスタート。被災１週間後には、とうふやめん類などが70～ 100%確保できたが、パンは不十分な状態だった。



1月19日に開かれた
拡大緊急対策会議

商品供給については、この間いくつかの問題があった。緊急物資は確かに行き渡るようになったが、組合員が望む商品と実際に届く商品の“ズレ”がたびたび指摘された。交通渋滞によって商品が届くまでに時間がかかったことに加え、被災地域とそうでない地域に画一的に商品が割り当てられていたことが大きな原因だった。

組合員の本当に求めている商品を的確につかみ、効率的に届けられる仕組みづくりのために、店舗の定番商品発注に「オーダーブック（発注台帳）」方式を導入した。

6.物資が届き、動くまでの遠い道のり

鳴尾浜配送センターには、交通渋滞などの理由で配送のトラックがなかなか到着せず、物資が思うように入って来なかった。そこで１月17日の夜、小野市にある日本生協連関西配送センターをコープこうべへの支援物資を集める基地として稼働させ、西側からの物資調達ルートを設けた。また、コープ姫路白浜やコープホームセンター北六甲、協同学苑を物流基地とし、物資の確保は次第にすすんでいった。

１月20日、鳴尾浜配送センターに集荷され

る物量はピークを迎えた。しかし、道路事情は依然悪く、店舗、協同購入センターへの配送が滞り、物資はあるのにそれを届けられない状態が続いた。他生協や関連会社などの応援を得て通常以上の車両を出した結果、被災1週間後には、鳴尾浜配送センターではようやく通常の6割から7割の稼働率で出荷が可能になった。

1月24日からは早朝配送を実施し、午後は近隣の事業所への配送を行うなど、物資を少しでも早く届けるための試みが続けられた。

7.「緊急対策本部」から「コープこうべ災害復興会議」へ

緊急対策会議は第1回から第20回（1月17日～1月31日）まで開かれ、①情報収集、②緊急指示やその対応、③復旧に関する事項を、中心に、精力的に討議されてきた。2月1日から、緊急対策本部を解消し、木村組合長を議長に「コープこうべ災害復興会議」を設置。本格的な復旧・復興に向けた取り組みを開始した。これは単なる旧に戻す復旧にとどまらず、それを超えた新しいモノを創造していくという意図からである。

これまでの部・室制は廃止し、11本部制にした柔軟で機動力のある本部体制がつくられた。

2月17日、神戸市北区の高度な耐震性をもつ施設に新しいホストコンピューターを設置、順次、店舗や協同購入センターの受注システムの再開に向けて準備を開始。食品工場も2月11日から商品生産を再開した。

1階だけ、あるいは店頭や駐車場での供給を余儀なくされていた店舗も、日を追うごとに全館営業が可能になった。倒壊した店舗も仮設ながら順次オープンした。

協同購入センターも、『めーむ』ダイジェスト版によって、取り扱い品目こそ少なかったが通常の配達サイクルを回復した。

2月以降、「創造的復興」を掲げて、本格的な事業復興がすすめられている。

緊急対策会議の主な決定事項

第1回緊急対策会議（1／17　10:00）	緊急対策本部設置。 役員、各部の役割決定。 全理事、生活文化センターに宿泊。 パンを東灘区役所、避難所に配送。
第2回緊急対策会議（1／18　11:59）	日生協・小野DCから協同学苑、コープホームセンター北六甲への商品の配送を決定。 神戸市へのパンの配送を決定。 （ヘリコプター使用）
第3回緊急対策会議（1／18　17:00）	協同学苑を対策本部の第二基地に決定。 他生協からの支援受入れを決定。 組合員関連諸会議の中止を決定。
第4回緊急対策会議（1／19　8:00）	施設復旧対策本部事務所3ヶ所に設置（第1または第2地区、生活文化センター、協同学苑） 「きょうどう臨時号 Vol.1」発行。 「運営通信臨時号 Vol.1」発行。 「にじの友臨時号 Vol.1」発行。
第1回拡大緊急対策会議（1/19 13:00～14:53）	被害状況確認。 減資、10万円を上限に認める。
第5回緊急対策会議（1／19　18:00）	取引先への支払・集金は1ヶ月延期。
第6回緊急対策会議（1／20　18:00）	取材の広報部への一元化を再徹底。 常任理事による第一線訪問を実施。　（1／22(日)）
第8回緊急対策会議（1／21　8:00）	本部の協同学苑・体育館への移転構想固まる。
第9回緊急対策会議（1／21　17:00）	KC西宮・西宮北の移転決定。（2/1より鳴尾浜） メール便の復活（ただし、地区本部DC、大阪北のみ）を決定。（1/23より） 被災地を全戸訪問。（1/21～23） 〔KC西宮、西宮北、甲南、六甲、鈴蘭台、須磨〕
第10回緊急対策会議（1／23　8:00）	協同学苑の風呂を24時間化。
第11回緊急対策会議（1／23　17:00）	第5・第8地区で募金カンパ活動スタート。
第2回拡大緊急対策会議（1／25　103:00）	諸会議は原則中止。 2/1より、業務機構を改編。 2/1より、本部を協同学苑に移転。 商品部は生活文化センター体育館KC、本日より受注開始。（50アイテム） クレリの相談コーナースタート。 メール便、全店でOK。（16:00より）
第14回緊急対策会議（1／26　17:00）	ボランティア支援の窓口を生活文化センター・組合員活動部に設定。
第15回緊急対策会議（1／26　17:00）	「きょうどう」新聞折り込み。
第17回緊急対策会議（1／27　17:00）	シーア駐車場を神戸市に提供。〔仮設住宅の申し込み受付けに使用。2/2まで。〕
第18回緊急対策会議（1／28　9:00）	高村経済企画庁長官・田中科学技術庁長官、視察対応。（シーア ）
第20回緊急対策会議（1／31　9:00）	職員被災状況確認。 めーむダイジェスト（50アイテム）発行。

第２章 事業所の活動開始

はじめに組合員、被災者ありき

食料品を袋詰めにして
1,000円均一で供給

本部ビル倒壊を聞いて集まってきた職員の中から９人を選び、各地区本部に伝令を出した。その指示は、1.被害状況を把握せよ、2.可能な限り開店し生活物資を供給せよ、3.二次災害に注意せよ、4.出勤状況を把握せよ、5.出勤可能な職員は近くの店舗を応援せよ…などであった。

「可能な限り」とは決して“はじめに商売ありき”ではなく、被災し、避難した、市民への緊急な生活物資の提供を行えということである。

大きな打撃を受けた店舗や協同購入センターなどの各事業所も、地震の当日から総力をあげ復旧に向けて動き出した。

1.地震当日、97店舗が営業を続行

大きく施設の損害を受けたのは店舗業態。155の店舗のうちコープリビングセンター甲南、コープ浜芦屋、コープ御影北、コープ渦森台、コープ六甲、コープ須磨、コープ舞子の７店舗は全壊し、復旧不能。コープ仁川、コープ塚口、コープ甲子園口北、コープ苦楽園、コープ北口、コープ夙川、コープ甲南、コープ摩耶、コープデイズ西宮、コープデイズ芦屋、シーアなどの11店舗は、天井落下や壁面亀裂など、半壊・重度損傷の被害を受けた。建物は大丈夫でも、ゴンドラが横転するなど床に商品が散乱、足の踏み場もないほどで、店内で供給できる状態ではない店舗が多かった。また、被災地の中心部の店舗では職員の出勤もむずかしく、商品の片づけが進まないところもあった。しかし、多くの店舗では「なんとか店を開けて組合員に商品を提供しよう」と、交通網が寸断される中を必死で自転車やオートバイ、中には３～４時間も歩いて出勤した職員によって店を開けることができた。

被災エリアでも、店頭供給など可能な限りの供給活動が続けられた。電卓を使ったレジ作業や店内整理など、組合員に手伝ってもらいながら供給活動を続けた店舗もあった。全壊した店舗も、臨時で駐車場にテントを張ったり、店頭で日用品や食料品を中心に袋詰めして、 500円均一、 1,000円均一などの商品を供給した。17日に営業した店舗は 155店舗中97店舗。地震から３日目の20日には、装いのコープやイベント部などの応援を受けながら、なんらかの形でほとんどの店舗がオープンすることができた。また、自治会と協力して、公正な物資配分をすすめた店舗もあった。被災したエリアの店舗には、多くの組合員が来店したが、大きな混乱もなく供給活動を続けることができた。

しかし、オープンしても商品の発注ができない状態で、本部から割り当てられる商品を供給するしかなかった。十分な品ぞろえができないうえ、届けられたものが店舗が必要としている商品と違っているなど、最初は混乱もあった。

本部ビルの倒壊で、ホストコンピューターが大きなダメージを受け、店舗や協同購入の受注システムがダウンし、組合員に大きな迷惑をかけた。商品の受発注データなどすべて手作業、手計算での処理を余儀なくされた。

駐車場の仮設テントで
供給（コープ御影北）

商品納入や供給高計算など、20数年前に戻った人海戦術で乗り切ってきた。

コンピューターのデータ管理と同様に、物流システムにおいても限界性があるといえる。鳴尾浜にある物流センターは、運転手やトラックの不足のため緊急物資であふれ、本来の物流機能が麻痺寸前であった。

さらに道路の寸断が一段と拍車をかけた。店舗における発注システムも本部ビル倒壊とともに破壊され、商品補充に多大の影響を与えた。当初各店へ割り当て配送をしていたが、2月上旬からは、1週間分をまとめて発注するオーダーブック方式を採用した。リードタイムが長いため、発注と需要のずれに悩まされた。3月7日からは従来のオンラインに近い形での発注システムが復旧した。

被災施設の復旧状況

(1) 店　　舗

《全　壊》

◆コープ浜芦屋
- 1月22日より店頭供給開始
- 2月17日より組合員集会室に仮設店オープン。
- 10月12日に移設改築オープン。
- 旧店跡地は芦屋市に仮設住宅用地として貸与。

◆コープ御影北
- 1月20日より店頭供給開始。
- 6月9日に現地に仮設店オープン。

◆コープ渦森台
- 1月22日より店頭供給開始。
- 4月7日より仮設店オープン（渦森公園）。

◆コープ六甲
- 1月21日より店頭供給開始。
- 3月31日より別に将軍通に仮設店をコープ六甲の分店として開店。
- 4月11日、コープ六甲駐車場に仮設店オープン。

◆コープ須磨
- 1月21日より店頭供給開始。
- 4月9日より別に稲葉町に仮設店オープン。
- 9月8日に現地に仮設店オープン。

◆コープ舞子
- 1月17日より1月20日まで店頭供給。
  1月21日より解体工事のため供給休止。
- 3月21日より星陵台に仮設店オープン。
- 7月5日に現地にて業態転換し、コープミニ東舞子としてオープン。

◆コープリビングセンター甲南
（住まいのコープ中部、クレリ案内センター、第4地区本部、㈱コープ住宅本社）
- 1月17日より供給休止。
- 4月26日より本山寮跡に仮設店オープン。
- 1996年秋を目指し、現地に本設店オープン予定。
- 住まいのコープ中部は5月に御影浜町に移転。
- クレリ案内センターは10月20日にシーア立体駐車場西隣に2階建てで移転。
- 第4地区本部は生活文化センター内に移転。

《半壊・重度損傷》

◆コープ仁川
- 1月22日より店頭供給開始。
- 4月28日に1階のみ本設店オープン。

◆コープ塚口
- 1月21日より店頭供給開始。
- 1月26日よりフルオープン。

◆コープ甲子園口北
- 1月17日より店頭供給開始。

● 1月27日よりセミオープン。
● 2月27日よりフルオープン。

◆コープ苦楽園
● 1月18日・19日セミオープン。
● 1月20日より店頭供給に移行。
● 3月3日よりフルオープン。

◆コープ北口
● 1月18日より1月20日までセミオープン。
● 1月21日より被災調査のため店頭供給に移行。
● 3月10日よりフルオープン。

◆コープ夙川
● 1月18日、店頭供給開始。
● 3月3日、フルオープン。

◆コープ甲南
● 1月22日、店頭供給開始。
● 4月7日、フルオープン。

◆コープ摩耶
● 1月18日、セミオープン(1階のみ)。

◆コープデイズ西宮
● 1月18日、店頭供給開始。
● 1月27日、セミオープン。
● 3月1日、フルオープン。

◆コープデイズ芦屋
● 1月18日より1月20日まで店頭供給。
● 1月21日、セミオープン。
● 3月17日、フルオープン。

◆シーア
● 1月18日より1月20日まで店頭供給。
● 1月21日、セミオープン(1階のみ)。
● 2月26日、2階オープン。
● 4月1日、フルオープン。

※フルオープン:全フロアで供給している状態。
セミオープン:1階または食品フロアのみで供給している状態。
店頭供給:店頭または駐車場などで供給している状態。

2.救援物資を積み組合員宅を訪問

協同購入センターでは、西宮北、西宮が全壊したのをはじめ、いくつかの建物が被害を受けた。そのうえ、最初は電話などの通信網が使えないことで運営部との情報のやり取りは困難をきわめた。そのため、情報ルートの確立を急いだ。それはバイク便によるルート、電話・ファックスの緊急通信網だった。そしてまず、安否確認、施設の被害状況、道路状況などの把握から活動が始まった。

被災地の協同購入センター利用組合員宅を訪問する職員(須磨)

当日はほとんどの協同購入センターが、交通渋滞の中をぬって当日配達予定だったものを可能な限り配達した。しかし、路地などは倒壊した家も多く、迂回を繰り返さなくてはならず、配達は容易ではなかった。18日からは組織拡大部の応援を受けてウェットティッシュや紙皿、ミネラルウォーター、電池などの救援物資を積み込んで組合員宅を訪問した。1月22日と23日、組合員の被害の激しかった西宮、西宮北、甲南、六甲、鈴蘭台、須磨の協同購入センターでは、他の協同購入センターの応援を得て、被災地域を全戸訪問。組合員へのお見舞いと激励を行うと同時に、今何が必要かを調査した。24日からは50〜70品目を掲載した『めーむ』ダイジェストを手板にはさみ組合員宅を訪問。手作業で注文を集計することになったため、職員の戸惑いも多かった。

協同購入センター訪問組合員の在宅状況(被災地域)

協同購入センター	訪問軒数(12月末)	1月末訪問軒数(12月比)	2月末訪問軒数(12月比)
西宮	18,782	10,800(57.5)	12,466(66.4)
西宮北	11,760	5,600(47.6)	7,494(63.7)
甲南	18,817	7,520(40.0)	7,873(41.8)
六甲	23,318	11,500(49.3)	12,772(54.8)
鈴蘭台	20,642	17,100(82.8)	17,754(86.0)
須磨	16,518	11,500(69.6)	12,413(75.1)
計	109,837	64,020(58.3)	70,772(64.4)

3月7日から従来のＯＣＲ注文用紙での受注が可能となった。3月7日の復旧にいたるまでの2ヵ月弱、約20年前のシステムに逆戻りした。膨大な事務作業が発生、地域コープ委員会の協力もいただいた。

また、商品配送については、道路渋滞など物流での大きな障害が発生した。これに対して、1月中は被災エリアの周辺部（協同学苑、コープホームセンター北六甲、コープ姫路白浜）に臨時の物流拠点を設け、店舗物流の拠点である西宮鳴尾浜配送センターの機能を補完したほか、小野市にある日本生協連の物流センターからの支援も受けた。さらに、2月21日には西部エリアの物流拠点として姫路デポを急遽開設した。物流拠点から店舗への配送に関しては、協同購入のトラックや装いのコープ、さらには他生協からの応援により、臨機応変な商品補充につとめた。

その他協同購入センターの活動

a）兵庫県から救援物資を引き取り、各避難所周辺宅に配送。
b）店舗の商品納入に協力した。
c）避難所への炊き出し。
d）兵庫県からの要請に基づき、グリーンピア三木、県立消防学校から各避難所へ救援物資を、トラック 100台、職員 250人で配送した。
e）全協同購入センターから、サービスセンターの商品配送に協力など。

休日を利用して“災害救援米のお届け”に協力した。職員のボランティア活動として県内各市の被災家族（仮設住宅）へ米10kgをお届けした。

また、仮設住宅に対し、家電品などを組合員から集め「ゆずります運動」を実施した。そのほか、引越しや家の中の整理、こわれた家具の搬出なども引き受け、大変感謝された。

3.各業態とも必死の努力で業務再開

今回の地震でもっとも不自由を強いられているのは一人暮らしのお年寄り。その人たちの暮らしを支えるコープふれあい便は、18日から電話などで組合員の無事を聞き、その翌日からは簡単に食べられる食料などを持って訪問。30日には商品が若干少ないもののほぼ平常通りの体制で配達を行うようになった。

住まいのコープには組合員からの修理の依頼が殺到。また、電話が不通だった共済センターも、問い合わせ先の新聞告知とともに給付の問い合わせが殺到した。

装いのコープは、緊急物資の配達にあたった。イベント部も協同購入センター、店舗の応援に入り、組織拡大部は本部解体作業を行うなど、通常業務を離れた応援体制がとられた。

4.コープミニの奮闘

各業態ともに、生活物資の提供に必死に取り組んだが、コープミニではパートさんと店長の2人きりで苦心算段して店頭供給をした店も多かった。次の文は、被災者・組合員のために、店長がとった行動の1つである。

（左）
救援物資を配る協同購入センター六甲の職員
（右）
1月20日コープミニ高羽の店頭風景

「組合員の声に応える実践報告」より

コープミニ本山南　　難波　弘幸

とにかく震災直後は売場が空っぽになるという状況だった。私は「来店していただいた組合員に要望通りの商品を提供する事が、私のボランティア活動だ」つまり「どんな事をしても商品を手配しよう」「この店はコープミニだなんていうこだわりを持ってはいけない」「ここは震災地の真ん中だ。私には被災者を助ける義務がある。その為にこの店は地域の拠り所にならなければいけない」これが私の震災後の思いであり、決意であった。

商品が思ったように入荷しない状況で、私が被災者・来店者の要望に応えた内容を少し述べてみると、初期の段階では、「トイレを使わせて欲しい」「靴」「靴下」「スリッパ」「サンダル」「水」「パン」「惣菜」「弁当」「懐中電灯」を要望する声が多いので、取引先に直談判して商品を手配したり、通勤途中に大型店に立ち寄って、私の車に積めるだけ積んできたりした。

また、ボランティア・自衛隊員・他県からの救援隊の人達が、夜7時半頃より多く来店され、「何時まで開いてるのですか？」と夜遅くまでの開店を要望された。その当時はまだアルバイトが一人しか出勤できていなかったので、夜8時までしか開けることが出来なかったが、1月29日よりなんとか二人で夜10時まで開けようという事になり、夜10時閉店を実現させた。

また、その人達の要望する商品もなんとか手配した。罐切り、耳掻き、石鹸箱、洗面器、バンドエイド、剣先するめ、毛抜き、ソックス、タオル、紙コップ、紙ボール、紙皿、ウェットティッシュ、マスク、食パン、惣菜、弁当、外装衣料、軍手、軍足、鍋、ガスボンベ、ガスコンロ、カップコーヒー、さしみ盛り合わせ、水、カップ麺、レトルトご飯、テレフォンカード、ポリタンク、歯ブラシ、罐コーヒー、罐のお茶等。まだ入荷が不安定な状況だったので、これらの商品は全て私が商品部、問屋、他店の友人、以前の私の同僚・部下・上司と、ありとあらゆる手段で手に入れて店に並べた(半ば喧嘩腰という場面も少なくなかった)。

2月に入り、次第に復興の兆しが見えてきた。地域住民が家を見に来たりしている。要望商品も上記の他に箒、塵取り、自転車、水を運ぶキャリー、洗濯ひも、スリッパ、衣装ケース、オーブントースター、電球、テーブルタップ、ティッシュペーパー、そして半ばくらいより防塵マスク、段ボール、布テープ、コピー、宅急便等まだまだ多くの要望を受けた。

私は、とにかく出勤するとすぐに電話・ファックスなどで商品手配をした。毎日が商品手配の為の仕事で終わった。

- 場所をよく聞かれるので、教えやすいように店内に地図を貼った。
- 「夜遅くにお弁当がありませんか」とこられ、弁当が品切れしていたので、メイトさんが持ってこられた配給の弁当をあげたりした。
- 衣装ケースが家まで持って帰れないというので、マイカーで運んであげた。
- キャリーが欲しいというので、シーアまで商品をもらいに行った。
- カップ麺が品切れしたので、三木方面のお店に行って車一杯積んで運んだ。
- スリッパの要望が強いので、問屋に宅急便で送ってもらった。
- 自転車が欲しいというので、ウェルビーに頼んで配送していただいた。
- 閉店後に男の人がなんとか食べ物を売ってくれというので、店を開けて商品を渡し、翌日レジに打ち込んだ。

など。とにかく私の出来る限りのことをした。

一生忘れることのできない光景のことを少し述べると、私はこの様に組合員の要望を可能な限り受け入れているので、組合員も私に直接言えばどうにかしてくれると思ったのか、三月に入ったある日のこと、避難所からこられた50歳位の女性が「洗濯物を干す腰位の高さの物干し台が欲しい」と言ってこられた。店に置いてないことを知りながら、「ありませんか」と言ってこられたのです。そして小さな声で「なんとか取り寄せてもらえないか」と言う。私は少し待って下さいといって、すぐ電話で商品手配をしようと思い事務所に走った。商品手配するまで15分位かかった。その女性はあまり私が遅いので「できないのだ」と思い仕方なくとぼとぼ避難所へ帰っていく途中だった。私は後を追いかけて、いついつ入荷しますので待っててくださいと言うと、本当に喜んで何度も頭を下げられた。

この様に、通常であれば何ということのない出来事だが、今は違う。「すみませんがその商品はミニでは取り扱っていないのです」という言葉は今の私たちにとっては禁句なのだ。そのように言ってこられる組合員は、どうしようも無くて直接私を頼って来ているのです。自転車の空気入れ、引き出しの衣装ケース、電動吸水ポンプ、5mの延長コード、コーキング剤、ペンチ、セメント、まな板、デッキブラシ、茶碗などなど。私が「ありません」と答えたらその方達は本当に困ったでしょう。

今、コープミニ本山南の店内で聞かれる組合員の会話は、「この店が早くから開けてくれて助かったわ」「この店に来たらなんでも揃うからよかったわ」です。私は今、店内に色々な商品を万屋的に置いていますが、どの商品も組合員から要望されたものばかり。今はこれでいいのだ！と自分で納得している。実績を見ても被災地の真ん中で、住民もまだ50%位だが、3月の供給高は前年比 125%位。それは地域の拠り所となっている証拠だと私は自負している。

（文責　編集担当）

掲示板を使って地域の情報やコープからのお知らせなどを組合員に情報提供（シーア）

朝日新聞(大阪)
夕刊
'95.4.6

検証

▷2◁

大震災と「コープさん」

青空販売
手探りでパニック防ぐ

昨年四月に開店したJR西ノ宮駅前のコープデイズ西宮店は、一日の来客数が五千人にもなる大型店だ。阪神大震災で四階スプリンクラーのパイプが破れたほか、三階の天井に穴が開き、フロアが水びたしになった。電気、ガス、水がすべて止まった。

■店長到着できず

十七日午前七時、西宮市内に住む食品マネジャーの原田修さんは、家具や割れた食器が散乱した自宅を飛び出し、自転車で店に着いた。店内は真っ暗。懐中電灯を抱えて入ろうとしたが、商品が散乱していて入れない。三階は水びたしで傘をささないと歩けない。

神戸市須磨区に住む浅田克己店長はこの日、店にたどりつけなかった。全員招集の電話を幹部にかけ、午前十時すぎに車で家を出たが、国道43号で渋滞に巻き込まれ、途中で車を乗り捨てた。歩いて店に着いたのは翌日の正午すぎ。

十七日午後、水島重光副店長ら幹部四人は、水や缶詰などをどのように供給するか話しあった。「どうやってパニックを防ぐか」がポイントだった。十八日午前十時、店の前にはすでに二百人以上の客が並んでいた。でも、真っ暗な店内からの商品搬出に手間取り、何時に開けられるか明言できない。

店内はメチャメチャになったが、地震の翌日から、緊急物資の店頭販売を開始した＝コープデイズ西宮店で(コープこうべ提供)

正午すぎ、五十歳くらいの紳士が事務室にやってきた。「状況を教えていただけますか」。着いたばかりの浅田店長が「あと一時間待ってください」と店頭販売の方法を説明。紳士は「わかりました、みんなに伝えます」と三列に並んだ列に戻っていった。

■価格は百円単位

午後一時から店頭販売。約三十人の職員が無線機や懐中電灯を頼りに水や缶詰などを、地下の食品売り場から探し出し、にわかづくりの青空売り場に並べる。値段は、計算がしやすいよう、お釣りのいらない百円単位の特売価格。カップめんは一人五個まで、水は一人三本まで。「手の内を見せてますから、個数制限に文句をいう人はなかった」と浅田店長。逆に客から「開けてくれてありがとう」と声をかけられた。

午後三時までに訪れた客は八百人以上。寒い日だった。吹きさらしの店頭に立つ職員の唇が青かった。

二十一日には、滋賀県と奈良県の生協から、応援の職員計十五人が、差し入れをかついで現れた。以後、京都、名古屋、福島、青森、宮城の生協から約五十人が、援助物資や商品を担いで続々と応援にきた。

一気に百人以上の大所帯となった職員の食事を確保しようと、水島副店長は西宮市内の自宅に四つの炊飯器を持ち込み、家族総出でおにぎりやみそ汁などの炊き出しを一週間続けた。

■励まされて涙も

店内の電気は午後五時になると消えた。トイレは全館使用禁止。裏の公共駐車場のトイレを借りた。店長は二十三日、全職員に「ネクタイ、制服、名札の着用」を指示した。ブルゾンやジーパンは禁止して気持ちを引き締めた。

二十六日、地下に発電機を持ち込んで、食品売り場を開いた。西宮店の職員が接客に当たり、他生協の職員が、懐中電灯をもって客の誘導にあたった。

売り場では、組合員同士が安否を確かめ合う場面が繰り返された。家が全壊した組合員から逆に「がんばってね」と励まされ、涙ぐむ職員もいた。

新鮮な野菜や刺し身などがよく売れた。「みんな早くまともな食事がしたかったんだ」と浅田店長。お年寄りの姿も目立った。「西宮に残っているのは、独り暮らしの人が多い」と判断した原田マネジャーは、野菜や果物のばら売りを増やした。

二月末に水道とガス、電気が復旧し、店は三月一日に全面再開した。初日、約五千六百人の客が訪れた。子どもたちが、おもちゃ売り場に戻ってきた。売り場を走り回り、大きな縫いぐるみやロボット人形などを親にねだる。おもちゃ売り場は縮小かと心配していた浅田さんは「まだこんなに子どもがいるんだ」と思わず声を上げた。

第3章 緊急物資の提供

地域のために 行政と協力して活動した生協

阪神・淡路大震災は、地域の人々のくらしに大きな困難をもたらした。コープこうべも本部ビルの倒壊をはじめ多くの事業所や機能に甚大な被害を受けた。しかし、生協は地域の人々のくらしを守るためにこそ存在する。こういった時こそ、生協は被災者のために精一杯の役割をはたさなければならない。

1月17日、緊急対策本部を生活文化センターに設置して、まず最初に話し合ったことは、「これから我々は、誰のために動くのか」ということだった。組合員にとどまらず、この地に住むすべての人々のため、我々にできることは可能な限りやろうということの確認から、救援活動をスタートさせた。

朝日新聞(大阪)
夕刊
'95.4.5

検証

大震災と「コープさん」

▷1◁

阪神大震災では、パニックによる日常生活用品や食料品の値上げ、買い占めなどが最小限に抑えられた。その理由の一つに、被災地に根を張る日本最大の生協「コープこうべ」（竹本成徳理事長、組合員百十四万人）の存在があげられている。神戸市東灘区の本部ビルが倒壊、十一店舗が全半壊したが、地震発生当日から百五十五店中九十七店を開いて商品を供給、緊急物資を確保した。戦後最大の災害に、日本最大の生協はどう動いたかを検証する。

（小倉 いづみ 加藤 祐子）

生きた協定

1億8000万円の物資調達

「コープこうべ」の年間売上高は三千五百億円。世帯組織率は神戸市で七五%、西宮市で九五%、芦屋市では一一六%にもなる。

この地盤、影響力を背景に、同生協は全国の生協で唯一、災害時の緊急な対応と市民の不安解消、地域の物価高騰防止を目的に、神戸市や尼崎市と物資調達の協定を結んでいた。

この協定が震災で生かされた。「コープこうべ」が二月上旬までに、被災地の自治体に調達した物資は、水や毛布、パン、肌着、ガスコンロなど総額一億八千万円相当にのぼった。

■前代未聞の注文

緊急物資調達担当の岡本俊一商品本部長は一月十七日午前七時すぎ、神戸市北区の自宅から東灘区の本部にかけつけた。本部ビルは全壊していたが、生協の物流の心臓部をなす西宮市鳴尾浜の配送センターと、神戸市東灘区六甲アイランドの食品工場は無事だった。物資の供給は可能だ。しかし、神戸市役所への電話がつながらない。車で西へ向かった。

午前十時すぎ、神戸市役所に。市の緊急対策本部がおかれた八階は、職員と報道陣でごったがえしていた。大声で「コープこうべ地震で倒壊したうえ、火災にも見舞われた「コープ神戸」の本部ビル＝1月19日、本社ヘリから

——

俊一商品本部長は一月十七日午前七時すぎ、神戸市北区の自宅から東灘区の本部にかけつけた。本部ビルは全壊していたが、生協の物流の心臓部をなす西宮市鳴尾浜の配送センターと、神戸市東灘区六甲アイランドの食品工場は無事だった。物資の供給は可能だ。しかし、神戸市役所への電話がつながらない。車で西へ向きました」と告げる。笹山幸俊市長から「よろしくお願いします」とあいさつを受けるとすぐ、三階民生局の机に陣取った。

「すぐに食べられるものを、避難所へ送れ」と指示。配送センターにあったビスケット、ポテトチップ、菓子パンなどの在庫千ケースを生協の配送トラックが各区役所へ届けた。区役所からは、小型の共同購入用トラック約二百五十台が避難所に向かった。

物資の問屋やメーカーに電話をかけまくった。十七日には兵庫県播磨町や大阪府泉南市の問屋に毛布類を「あるだけよこしてくれ」と注文。十九日までに神戸市や西宮市に約二万枚を調達した。十八日はガスコンロとボンベを茨木市のメーカーに一万個発注。「商品の種類も量も納期も、何も特定する余裕がない。前代未聞の注文だった」

■棺おけ用クギも

十七日午後十時すぎ、東灘区役所から、棺おけ用の丸クギ四万本を用意してほしいと依頼があった。緊急物資調達の協定外の品だ。生協の在庫はほとんどない。しかし、遺体の数は増え続ける。

たまたま堺市の問屋と電話がつながった。「四万本ですか。倉庫にあります。すぐ届けます」という返事。トラックは翌朝午前二時、東灘区役所に着いた。朝までに職員が二百五十個の棺を組み立てた。

十九日朝には住宅の雨漏りに備えて、農業用ビニールシート（約二百万平方㍍相当）を県内業者に発注した。だが、道路の渋滞で夕方になっても届かず、やきもきした。

■横浜市を刺激し

十八日には甲子園フェリーの「菊水丸」を手配。西宮市鳴尾浜から神戸市灘区の摩耶埠頭（ふとう）まで、水やホットプレート、食料品などを運んだ。所要わずか三十分だった。

十八日には、ガス漏れのため避難勧告が出た六甲アイランドの食品工場からパン類を運び出すため、神戸市のヘリコプターを手配。ヘリ四機で、食パン約三万個と菓子パン五万個を市役所まで運びだした。

今回の「コープこうべ」の緊急物資調達活動に刺激されて、神奈川県・横浜市と地元のユーコープ事業連合（横浜市・山岸正幸理事長）が、同様の協定を結ぶことを検討し始めた。

1.神戸市などとの「緊急物資協定」を発動

コープこうべは、1980年に神戸市と「緊急時における生活物資確保に関する協定」を締結していた。この協定は、1973年の石油ショックの折、本当に品物がなくなったわけでもないのに、うわさに踊らされた消費者の買い急ぎ、買いだめが起こり、一時的なモノ不足の状態になった経験から結ばれた。長らく発動されることはなかったが、今回この協定が被災者の救援活動に大きな役割を果たすことになった。

コープこうべは被災直後ただちに商品政策企画室室長の岡本俊一（現・一般食品部統括部長）を神戸市の対策本部に派遣し常駐させ、被災者の救援活動に取り組んだ。さらに、同様の協定を締結していた尼崎市、そして被災地である宝塚市・西宮市・芦屋市・明石市・淡路島の各市町の対策本部と連絡をとり、救援物資を送るなどの活動を開始した。緊急対策本部は兵庫県・神戸市から続々と入ってくる要請に応えるため、常任理事の布藤明良（現・日本生協連常務理事）を専任で配置し、可能な限りその要請に応えていくことにした。

17日から、神戸市などの各自治体対策本部に送られた救援物資は、水、お茶などの飲料水、おにぎり・いなりずし・パン・ごはん・くだもの・ビスケットなどの菓子などすぐ食べれる食品、毛布・布団・タオル・肌着類、さらにカイロ・ローソク・カセットコンロ・ガスボンベ・懐中電灯・紙コップ・紙皿・乾電池・雨よけのための農業用ビニールシート・自転車・ヘルメットなど、金額では2億円近くにのぼる。時間の経過とともに被災者のニーズは刻々と変わり、物資の要望も多種になった。17日の深夜には「棺に打つ釘をすぐに手配してほしい」という依頼もあった。この釘の要請に対しても、住居関連部統括部長の瀬戸民雄が関係取引先に連絡、翌朝までに全量を届けた。

2.ドキュメント生産工場・被災者の命を救った13万食分のパン

地震のあった朝、六甲アイランドの食品工場では各店へ配送されるはずだったパン約13万食分の生産が完了していた。昼前になって、神戸市の民生局の片隅に机と電話器１台を借りて、物資の手配にあたっていた岡本俊一から生産工場に電話が入った。「各区役所へすぐ食べれる物資を提供してほしい」緊急物資協定にもとづいた神戸市からの要請であった。運転手18人を確保し、９台の４トントラックに２人ずつ乗り込み、午後２時に神戸市内の各区役所に向けて出発した。重元勝工場長は２つのことを伝えた。「命だけは大切に」、時間はいくらかかっても必ず緊急物資を届けてほしい」。届けられたパンは17日だけでも約10万食にのぼった。

建物の倒壊や陥没により道路は寸断され、加えて流入する車両による渋滞のため、車はほとんど前に進まない。六甲アイランドから国道43号線にでるだけでもいつもの何倍もの時間がかかる。おまけに、あちらこちらから火の手があがり、う回の繰り返しを余儀なくされた。そのため、最終のトラックがパンを届けて戻ってきたのは、出発してから30時間も経った翌日の夜８時だった。

18日早朝、神戸市の災害対策本部から、同工場を含む周辺地域２万８千世帯、７万２千人に避難勧告が発令された。地震の影響で、対岸の御影浜町のＬＰＧタンクにガス漏れが発生し、爆発の危険が迫っていたからだ。もちろん食品工場の職員も避難した。

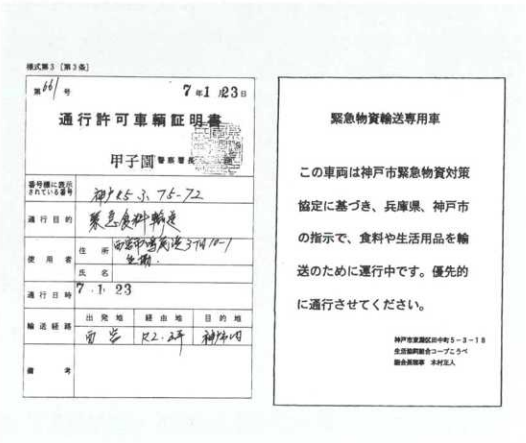
そこへ再び岡本俊一からの連絡が入った。「残っている食物を提供してくれないか」。災害対策本部の避難勧告に反して、神戸市民生局は食料の搬送継続を要請してきたのであった。すでに避難所にいた被災者に加えて、勧告によって避難した住民の避難食が必要になったからである。食料が絶対的に不足し、パニックが発生する一歩手前のところまで、事態は逼迫していた。

（上・下とも）
すぐに食べられるものを店内から持ち出して供給（コープ香炉園）

生活文化センターの緊急対策本部に行った重元勝工場長のもとへ、部下から指示を請う連絡がはいる。「勧告が避難命令に変わりました。警察官が出ていけと言ってます」。勧告の時に、あらかじめ警察に許可を得て、搬送の継続を計画していた重元は、避難命令と食料支給の続行要請の矛盾する２つの指令に怒った。しかし、この相反する指令に対し、「飢えからくる食料パニックを何としても避けなければいけない。コープこうべのやるべきことは、食料供給の続行だ」と、冷静に判断し、一旦は避難した職員を呼び戻し、食料の搬送を再開した。

２日目になって残っていたパンは約３万食。「早く届けたい」と気はあせるが、六甲アイランドにかかる六甲大橋は完全通行止で、車での配送は不可能だった。船を使おうにも岸壁が壊滅しており、海路も断たれている。急きょ輸送手段として神戸市消防局にヘリコプ

救援物資を積んで東奔西走する装いのコープのライトバン



様式第3〔第3条〕

第66号　7年1月23日

通行許可車輌証明書

甲子園警察署長

番号標に表示されている番号　神戸 85 ふ 75-72

通行目的　緊急食料輸送

使用者　住所　西宮市高尾通3丁目10-1 生協

氏名

通行日時　7.1.23

輸送経路	出発地	経由地	目的地
	西宮	尺2.3丁	神戸市内

備考

緊急物資輸送専用車

この車両は神戸市緊急物資対策協定に基づき、兵庫県、神戸市の指示で、食料や生活用品を輸送のために運行中です。優先的に通行させてください。

神戸市東灘区田中町5-3-18
生活協同組合コープこうべ
総合医療事　末村法人

ターの出動を要請したが、なかなか到着しない。その間警察からは「危ないですから、早くしてください」と何度でも催促が入る。ようやく最初のヘリコプターが到着し、その後他府県からの応援ヘリも含めて延べ16台で、同日の夕方までに配送を完了した。タンク爆発の危険と背中合わせの作業であった。

17日、18日に食品工場から配送したパンは合わせて13万食。2日間の神戸市の供給量の7割近くの量になる。神戸市内では震災直後に約22万人が避難しており、被害の激しかった地域のスーパーなどの大半が営業不能に陥っていた中で、余震の恐怖と食料不足によるパニックのおそれが指摘されていた。神戸市のある担当者は、「まとまった食料としては初めてで、保存のきくパンの到着がもう少し遅ければ、飢えを訴える住民が殺到していたかもしれない」と語っている。生産工場から被災地に届けられた食料は、救援体制が整うまでの間、まさに「命の糧」であった。

3.緊急物資の配達にも大きな働きをした生協

緊急物資の調達だけでなく、これらの物資の配送についても生協は大きな役割を果たした。協同購入センターの職員は、避難所への配達はもちろんのこと、在宅の被災者のところにも緊急物資を届けて喜ばれた。トラックのべ 600台、のべ1000人の職員が被災地を縦横に駆け巡った。生協のトラックはもともと宅配用なので、瓦礫でふさがれた狭い道を通るにはうってつけであった。しかも職員は道路を熟知している。また、装いのコープの職員が運転するライトバンなども活躍した。

「市民緊急物資輸送専用車」と書いた紙を貼った生協の車が各地で見られた。ある時は、パトカーや消防自動車の先導で走ることもあった。地域に密着した活動を続けてきた生協だからこそ発揮できる機動力であった。

「兵庫県民のための生活物資が円滑に供給できるようにすることを第一優先とする。そのために生協の施設がどんな困難な状況にあろうとも供給体制を整える」。これが、阪神大震災にあたってコープこうべがとった基本姿勢であった。

これらの救援活動に携わった生協職員もまた被災者であった。程度の差こそあれ、少なからず地震による生活上の困難を抱えていた。しかし、彼らの胸の中にあった使命感が彼らの献身的な活動を支えた。

4.生協の施設を提供して協力

緊急対策本部がおかれた生活文化センターの体育館は付近住民の避難所になった。そして18日には、神戸市の要請で体育館は震災で亡くなられた人たちの臨時遺体安置所になった。続々と運びこまれる遺体を納める棺が足

らず、生活文化センターの中庭で組み立てられ、釘は生協が手配した。床には青いシートが敷きつめられ線香が煙る体育館に数え切れない遺体が仮安置されていた。遺体の搬入と搬出、身元確認をするひとの案内などにも多くの生協職員が加わった。さいたまコープ（埼玉県）から駆け付けた7台のトラックと10人の職員は、東灘区役所の要請を受けて、生活文化センターに遺体を搬送する仕事を担当した。「別々の場所で亡くなった家族の遺体をこの体育館で一緒にしてあげることができた。いつも食品を運んでいる車だから、正直なところ抵抗はありましたが、少しでも役立ててよかった」とさいたまコープのある職員は後に語っている。

芦屋市の芦屋女子寮は近隣の住民 250人の緊急避難所として使われた。さらに区役所の業務や仮設住宅の申込所などに生協の施設や用地を提供した。後においては、仮設住宅や仮設の学生寮、地元商店街の仮設店舗のために用地を提供、墓石の応急復旧、避難所への食べ物の配達など、行政の要請に応じて様々な協力が行われた。今回の地震を機に、生協と行政のつながりが従来にも増して大きくなったといえる。

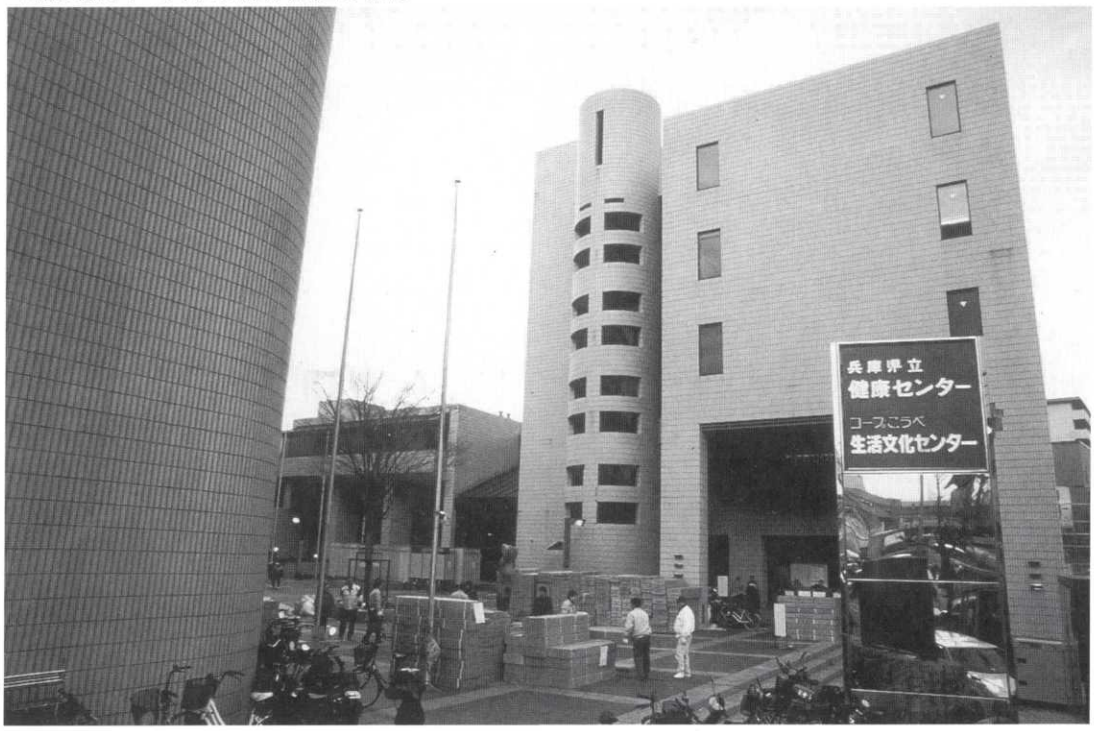
5.避難所にいる被災者に栄養ある食品を

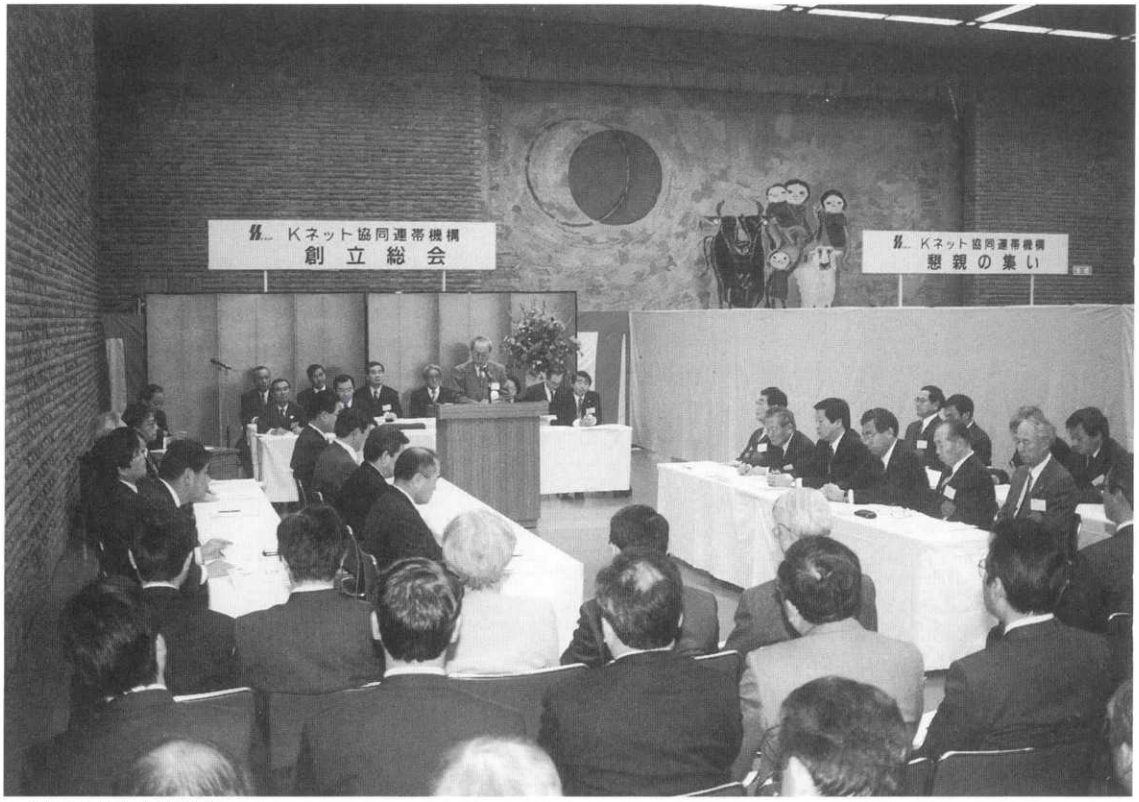
「ビタミンやたんぱく質が不足しているので、定期的に避難所へ果物や缶詰などの栄養のある食品を配達してもらえないか」。3月初め、こんな要請が神戸市からあった。しかも、急を要するので一週間後にはスタートさせたいということだった。

これを受けて、商品政策企画の橋本隆一（現・コープ大庄店長）はすぐさま準備にとりかかった。しかし、16万人分（3月当時）という膨大な物量を考えると、配送方法などは従来のやり方では無理だった。しかも短期間でその仕組みをつくることも不可能に思えた。だが、新聞で報じられる避難所の食料事情を知っていた橋本はできるだけのことはやりたかった。

早速、神戸市から指定された「しあわせの村（北区）」と「摩耶埠頭」に物流施設を置くことにした。いかにすれば効率良く配送できるかを物流部の担当者と必死になって考え、施設に合ったベルトコンベヤーを導入して何とか機能できるよう、かたちを整えた。スタートしてからも配達する食品の仕分け作業は困難を極めた。交通渋滞のため、荷物は時間

生活文化センターの中庭では柩が組み立てられた





'95.4.1 Kネット創立総会

どおり入ってこない。パソコンもなかなかうまく動かず、すべて手作業で避難所ごとの人数を合計しなければならなかった。橋本たちのこんな毎日が7月まで続いた。

6.さらに強まる行政との協力関係

9月に神戸市との間に結ばれている「緊急時における生活物資の確保に関する協定」の内容の一部改定がおこなわれた。今回の阪神大震災の教訓を踏まえ、実態に即して見直し、変更したものである。生活物資の指定品目を従来の26品目から30品目に改正された。パン、ハム、インスタント麺、魚肉缶詰、容器入飲料水、洗剤及びせっけん、ポリバケツ、飲料用ポリタンク、乾電池、懐中電灯、カセットガスボンベ及びカセット式ガスコンロ、ゴミ袋、ラップ、ローソク、軍手、運動靴、タオル、紙おむつ、紙コップ及び紙皿、生理用品、毛布、肌着などである。もちろん以上の品目のほか、必要に応じ双方協議の上、その都度指定できる様になっている。

今回のコープこうべの活動に全国の自治体から注目が集まり、神奈川県とコープかながわ、岐阜県と岐阜生協連、京都府と京都生協など、同様の協定締結に向けての動きが活発になっている。コープこうべもKネット協同連帯機構との連携を強化し、災害時における広域的な支援体制の整備をすすめている。

今回の地震に際して、全国から被災地に結集した生協の仲間の数はコープこうべに駆け付けてくれた数だけでも1万人に及ぶ。

コープかがわ（香川県）とアイコープ（愛媛県）はトラック 140台と 170人の職員で支援部隊を編成して摩耶埠頭に上陸、神戸市市民局の要請に応えて救援物資を各被災地に運んだ。知らない街の住宅地の狭い道を走り、できるだけ多くの被災者に援助物資が届くよう努力し、埠頭にとめた車の中で夜を明かした。

被災直後、コープこうべが被災者に提供した緊急物資の多くは、全国から駆け付けた生協の仲間が持ってきてくれたものだった。コープこうべの事業所がいち早く立上がり、店

の前に戸板をひいてでも供給活動を再開できたのも彼らの支援のおかげだ。行政と協力して被災地を支え、被災者の命を支えたのは全国の生協の仲間たちの胸の中に燃える、熱い協同連帯の情熱と献身的な行動であった。

新聞は私たちの仲間の行動を評して、見出しに「被災地に生協あり」と書いた。今回の私たちと私たちの仲間の働きは、生協の社会評価を大いに高め、行政および地域社会からの期待も高まっている。「コミュニティーへの貢献」は、21世紀に向けての協同組合の大きな責任である。今こそ、そのことを深く自覚し、生協運動の発展とみんなが幸せにくらせる社会の実現に向けて、休むことなく歩をすすめていかなければならない。

緊急物資、行政区別表

行　政	金 額（千円）	商　品　名
神戸市	169,898	ホカホカカイロ、寿司、パン、毛布、電池、飲料水等
兵庫県	532	豚肉、イカ、牛肉、紙ボウル、うどん等
宝塚市	1,937	紙コップ、ラーメン、おにぎり、チーズ等
尼崎市	816	ウーロン茶、菓子パン等
西宮市	5,711	毛布、飲料水、ラーメン、おにぎり、菓子、ゴミ袋等
明石市	1,351	羊毛肌布団、ビニールシート、Uパック、スタッフバッグ
合　計	180,245	

東京新聞 '95.2月6日

被災地に生協あり！

震災翌日10店開店 赤字販売も

コープこうべ 信頼が味方 パニックなく

生協連から全国へ第一報…

延べ5870人、1000台急行

配送車で遺体運ぶ

情報拠点を分散

商品コードは統一

第４章 情報システム・物流システムの崩壊

事業のライフラインとも言える情報システムと物流システムの崩壊は、コープこうべの諸活動に甚大な影響を与えた。日常業務作業は、20数年前の手作業を強いられ、コンピューターの偉大な力を思い知らされた。

1.情報システム

本部ビルの倒壊により、ホストコンピュータが大きなダメージを受けた。商品の受発注システムがダウンし、そのデータ、財務データなどすべて手作業での処理となった。システム及びデータの一部は金庫に保管されていたが、火災の発生にともなって全滅した。しかし、1987年４月から、鳴尾浜配送センターに商品・組合員の情報をデイリーで保管していたため主要なシステムの復旧をはかることが出来た。

情報システムの被害状況は、

① ソフト（プログラム本数　12,215本）

② ハード（ホスト一式、端末 117、その他通信回線、POS 端末など多数）

被害額と復旧費用は2,242百万円にのぼる。主な復旧の足どりは次の通りである。

１月18日(水)	（地震発生の翌日） ホストコンピュータの手配開始（日本生協連より）
１月19日(木)	第１機械室より再度出火、データ消失 情報システム関係の被害状況調査を開始 人事システムのマスター12月18日現在のものなどを確認
１月20日(金)	復旧チームの編成と優先課題を決定
１月23日(月)	ＮＥＣ府中工場で組合員データベースを復元
１月24日(火)	社員、職員の全員無事を確認
１月26日(木)	取引先一覧表出力
２月１日(月)	オーダブック発注開始
２月７日(火)	協同購入センター受注開始（50アイテム）
２月16日(木)	情報関係事務所を住吉南ビルから伊藤忠神戸センターに移転
２月21日(火)	ホストコンピュータ、メーカーからの引き渡し

産経新聞(大阪)
'95.4.25

被災地ウラ ⑯

コンピューター再生

震災後、移転した〝心臓部〟（コープこうべ情報システムセンター）＝神戸市北区

扱い商品700から44に

システムダウンで20年前に逆戻り

コープこうべ

震災前まで、神戸市東灘区にあったコープこうべ本部ビル。四階のコンピューター室は、実は十年ほど前、壁面のパネルを耐火性のものに替え、天井に漏水対策の処置を施し、床を耐震のものにするなど、震度5までは耐えられるように改装していた。同時に、西宮市鳴尾浜の配送センターとのバックアップデータの交換も始めた。

「当時、東京で電話回線の事故で、システムが使い物にならなくなるということがあって、コープこうべでも対策を講じたわけです。震度5以上の地震だと、建物自体が無事では済まないだろうと思っていましたが、まさか本当にそうなるとは…」と、財務経理本部情報システムの永田美徳部長。

データは無事だったとはいえ、ハードは壊滅状態。では、買い替えるといっても、ホストコンピューターのような大型コンピューターは受注生産が常識で、すぐに手に入るものではなって作業しました」と永田部長。

さて、協同購入では「めーむ」という商品情報紙を週一回発行、希望する商品をマークシート方式のカードに記入してもらい、それをコンピューターで読み取って、発注する方法を取っていた。震災前は毎週五百―七百品目掲載して、いわばコンピューターまかせだったのが、震災直後は台帳を元に手書き。四十四品目をチラシに手書き掲載するだけでも大変で、注文は職員が手作業で集計した。

一方、店舗からの商品発一部では被災者の需要とのずれも生じた。

「すべてが二十年ほど前い。システムの復旧にはどれだけの日数がかかるかわからない。一方で、少しでも早く被災者に水や食料を届けなければならない。

「幸い、NECの東京工場に同型機種があり、テープ（直径三十㌢）で約六十巻分のデータをその工場に持ち込んでプリントアウトし、台帳を作

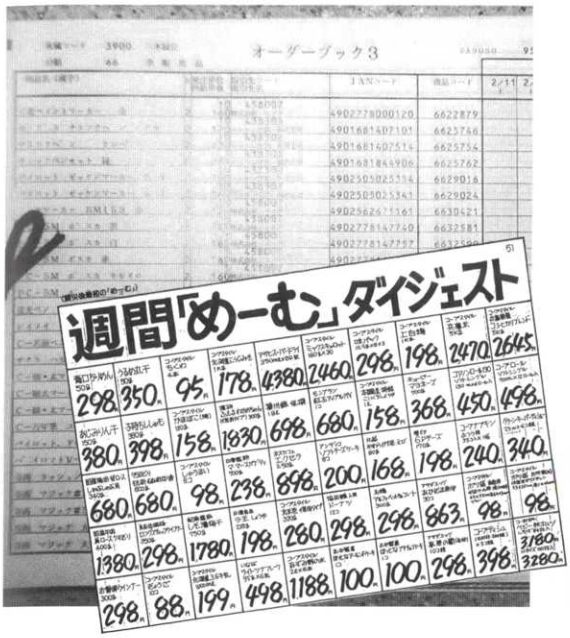
注も、コンピューターどころか電話もファクスも思うように使えない状況だったため、各地の配送センターから店舗の規模にあわせて、一方的に割り当てて発送。二月からは発注台帳方式を取り入れたが、従来なら発注の翌日に商品が入ってきていたものが、十日先を見越しての発注になり、

に逆戻りしました。長年、コンピューターシステムに携わっていながら、これほどいろんなことをコンピューターに頼っていたのかと、私自身驚かされました」と永田部長。

一方で、ホストコンピューターの復旧が進められた。設置場所には停電の際も自家発電できるシステムや空調設備、十分な回線も必要となる。震災以前からホストの移転計画があり、

今年度中に神戸市北区にあるインテリジェントビルにホストを移すことになっていた。

「話をまとめ、入居の準備を始めたのが一月二十四日でした。コンピューター機器も普通なら受注生産で半年はかかるところを、全国の工場から集めてもらって、二月十日には機器を全部搬入できました。ようやく復旧のめどがたったと、ほっとしました」と永田部長は振り返る。



（左）「オーダーブック」と震災後最初の「めーむ」
（中）店舗ではオーダーブック方式で週1回、納品指定曜日ごとに発注した
（右）「めーむ」の受注集計も手作業になったが、3月7日配布分から復旧

3月に入ってから様々なオンラインシステムを日を追うごとに復旧させることができた。

いずれにしても、コープこうべが震災以前に実施していた危機管理の対策は、①システムの分散化（生産工場、物流、協同購入、店舗など）、②毎日の債権、債務に関するデータセーブ（鳴尾浜配送センターへ）、③ホストコンピュータのプログラムセーブ（同上）などであり、被害を最少限にくい止める要因であった。

2.物流システム

緊急物資の配送は言うまでもなく、被災地への生活必需品のお届けも一刻を争う。鳴尾浜配送センターの被害は比較的少なかったとは言え、周辺の道路は液状化・陥没・亀裂のため、あるいは倒壊家屋のため、交通機能は麻痺状態であった。

低温物流センター、農産センター、ミニデポ深江・明石、深江・玉津集配センターでは震災の時、 100人余りがすでに出荷作業中であったが全員無事だったのは幸いであった。しかしながら、周辺道路事情から、低温物流センターは配送停止、ミニデポ深江は床面傾斜で稼働不可であった。

神戸市より救援物資の出荷要請を受けて、菓子 600ケースをトラック4台で神戸市の7区役所へ。出発時間17日のPM2：30。東灘区役所へは夜中の2：30着。須磨区役所へは48時間かかって19日午後の到着となった。

以後、協同購入センター用の緊急物資基地として、協同学苑、コープホームセンター北六甲、コープ姫路白浜を定め、物資の確保につとめたが、依然として交通事情は大変であった。それに店舗の商品発注システムが不能のため、人海戦術による作業や他生協からの支援受入れ、商品本部の設置、交通規制の強化――など、どれをみても容易なものではなかったが、他生協や関連会社の応援を得ながら徐々に稼働率を上げていった。

特に各市への緊急物資の配送や被災地店舗への配送には、協同購入センターなどの軽トラック 600台、延べ 1,000人の職員、全国の生協の仲間（85単協、延べ1万人）、それに取引先の配送車で対応した。これらの軽トラックは狭い脇道を通るには都合が良かった。

教訓と対策としては、

① 一極集中の物流システムを二極分散を図ること。

② 全国の生協、農協、産地、生産者、取引先などの支援は大きな力となることから協力体制のネットワークを進めること。

などが考えられる。

第５章 全国生協からの支援活動

１.被害状況、瞬時に全国の生協へ伝わる

日本生協連では17日午前10時、内舘専務理事を本部長に支援対策本部が設置された。森定副会長は出張中の名古屋から現地へ向かった。日本生協連広報部から全国の県連事務局と生協広報担当宛第１報「コープこうべ本部建物倒壊」がＦＡＸされたのは１月17日地震当日であった。（コープこうべに届いたのは１月19日のことである。）続報は第５号まで17日のうちに発行され、その後続々と全国へ発信されていった。

さらに、時あたかも日生協政策討論集会が東京で18日から開催されることになっていた。竹本日生協会長は在神中で地震直後から崩れ落ちたコープこうべの本部を目の前に対策の先頭に立っておられたが、同時に通信手段皆無状態のなかで日本生協連と連絡をとられていた。そして、政策討論集会の場で内舘専務理事から「阪神大震災被災地支援」が提案された。

地震の発生当時、コープこうべでは全国各生協から派遣された職員が神戸に居住して長期の研修生活を送っていた。コモテック生（78人）をはじめ、その他にも多くの人々が研修のため神戸周辺に居住していた。その家族を含めると数百人にのぼる。これらの全国生協職員の方々は、自分とその家族の無事を故郷の人々に何とか知らせようと通信困難の中で連絡を取る手段を講じた。一方、故郷にいる肉親は生協に問い合わせ、生協は日生協・コモジャパン（東京）などあらゆる手段を使って、在神者の安否確認に全力を挙げていた。

〈コモテック非常事態宣言〉

① 日本の生協運動を後退させない決意で臨む。

② 全国生協の真の連帯の中で事態をのりきる。

③ 『市民生活を守る』ことが現下の最優先課題

⇩

店舗機能の復活

※神戸市などへの物資提供はコープこうべが協定に基づいて実行。

④ 各研修店舗・近くの店舗で全力を尽くす。

⑤ ムダな体力消耗を避ける。

１月18日夜、協同学苑に避難・集合した約30名の研修生の間で意思統一された。「家族を含めた全員の無事」「連絡室を学苑内に設置」の知らせとともに全ての研修生に伝えられた。

（左）救援物資配送車（さいたまコープ）
（右）協同学苑に届いた救援物資

“こと”は安否確認だけで終わろうはずがない。結果的に全ての在神者に身体的被害はなかったが、話の中で大震災の実相が伝達されていった。

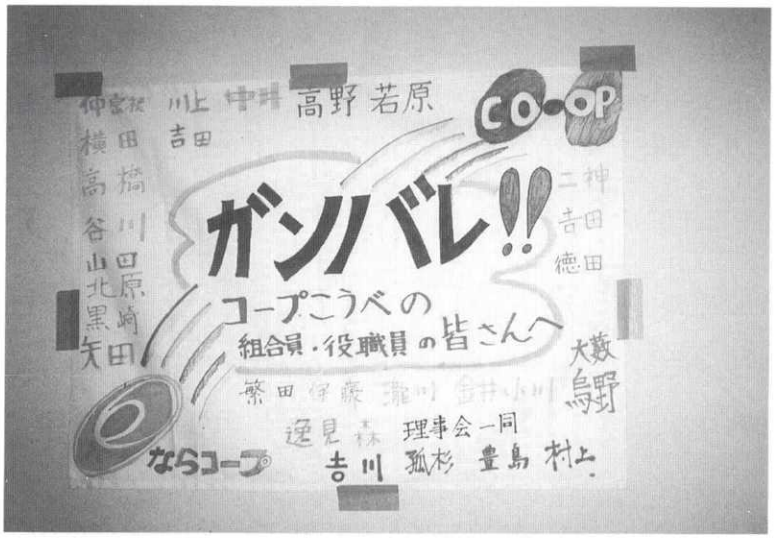
2.全国各生協の素早い組織的な動き

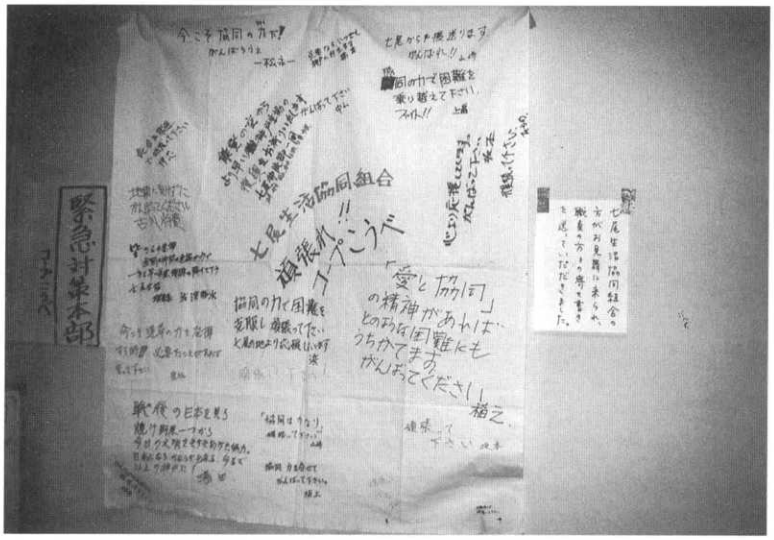
コープおきなわの８人は「人の手で持てるだけでも」と乾電池や寝袋を携えて、17日には大阪へ入っていた。コープさっぽろ、ちばコープなどでは視察団が18日神戸に入り支援体制が組まれていった。宮崎からは支援物資満載のトラックが36時間トイレ休憩以外走り続けて神戸に着いた。四国からは 112トンの飲料水が 140台のトラックで運び込まれた。京都からは一人の職員が毎日二つの弁当を持参して神戸へ向かった。一つはコープこうべの職員用であった。各生協ともに１週間前後の部隊編成を行い、交替しながらの支援となった。

交通網が遮断された全国生協支援の窓口は、東部方面は日生協関西支所（大阪）に、西部方面は協同学苑（兵庫・三木市）に開設され、日生協職員が張り付いて支援受け付けと現地への配置を執り行った。大阪の支援宿泊所はあらゆる床が使用されたが、すぐに満杯となった。近隣の大阪いずみ市民生協、大阪パルコープの施設も宿泊所に提供された。

各生協内部では「阪神淡路大震災支援委員会」が組織され、支援から帰った人々のレポートが即時に伝達される仕組みができていた。支援者の現地レポートを片手に続々と新しい人々が震災支援のために神戸へ入ったが、東西の支援受付窓口を経由した人達だけで85生協、１万人を超えた。

中でも、コモテックＯＢ（修講生）の活躍は目覚ましかった。神戸の地理、道路状況を知り尽くしている条件を最大限に生かして、お世話になった人々（＝研修店舗）に駆け付けたり、各生協支援部隊の先頭に立って適切な状況判断をした。第一次・第二次と続く支援部隊に必ずＯＢを入れている生協もあった。





（上）ならコープからの寄せ書き
（下）七尾生協からの寄せ書き

また、気心の知れたネットワークで情報が全国を駆け巡った。神戸からも神戸へも通信が断絶した状態の中で、確かな情報が神戸を取り巻くように全国を駆け巡った。

3.がんばれ！がんばれ！コープこうべ

支援の心意気は並のものではなかった。各生協専務理事自らドロだらけになって店舗復旧作業に取り組まれた。みやぎ生協の方は、「地震は自分達が先輩だ。任せてくれ！」と一刻を争って、売り場の片付けを行っていた。スコップを担いで学苑に駆け付けた方もあった。コープおかやまの理事長は明石から徒歩で住吉まで来られた。トラックの荷台で寝泊まりが続いた方も多い。支援店舗へたどり着くのに片道２～３時間の歩行を続けた方々も多かった。

コープこうべの職員と被災地の市民はどれほど勇気づけられたことであろう。「物・人・心意気」を満載して市内・路地を動き回る全国から駆け付けた○○コープのトラックを目にした市民は『孤立していない』と感じたことであろう。『立ち上がる勇気』を与えられたと言って過言でなかろう。“あかりの消えた神戸の街”でコープミニの店舗の灯がどれだけ多くの人々の心を明るく照らしてくれたことであろう。少ない人数で支えるコープミニの店舗復興に全国からの支援は『地獄に仏』のようであった。

〈コープさっぽろ内報“生協人”の記事。『生協運動』４月号掲載〉

“愛と協同の本当の姿”

コープさっぽろ理事長　　河村　征治

去る１月17日、阪神大震災（兵庫県南部地震）が発生した。5,000人を超える死者を出し、都市が半崩壊する大災害であった。私達は亡くなられた方々に心からの哀悼の意を表すと共に、被災地の一日も早い復興を願ってやまないものである。

このような中で、コープこうべでは職員11人が死亡、本部は倒壊。22店の倒壊・生産工場大被害という損害を被るに至っている。

営業再開は１月18日に140店強が、１階のみあるいは店頭販売、そして商品がある限り営業時間は自在延長で対応し、協同購入は、回収が出来るか否かを問わず１月18日から供給活動を開始している。

職員の多くの人々に、自分の家族や知人などで心配がないはずがない。にもかかわらず、地域の組合員のために闘う、コープこうべは必ずよみがえるに違いない。

そしてこんなに優しく、雄々しく素晴らしい人々を、天は見放すはずがない。ただただ頭が下がり、感動を覚えるだけである。

いま日本生協連も、ニチリウも全国の生協も続々と神戸の支援に入っている。先陣を切ったのは全国医療生協で、１月19日には12名の医師と、 300名の看護婦が神戸に入った。

同じくコープかながわから15名の作業部隊が神戸に入った。この『生協人』が発行されているころには、コープさっぽろからの応援もかけつけていることだろう。やがて困難な時に連帯し、結集する生協の姿が歴史の大きな教訓になると思われる。

思うに一昨年の北海道南西沖地震には、全国最高の 4,000万円を超えるカンパと共に、奥尻島に現地入りして下さったのもコープこうべであった。

コープさっぽろも、会員・職員一同が出来ることを積極的にしようではないか。そして最も困難な中で、英雄的に闘う、日本のリーディングコープに対し、声をかぎりに声援を送ろうではないか。

災害は対岸の火災ではない。コープさっぽろも安全安心に心掛け、非常時にそなえるプランづくりに早急に入ろう。

そして全国の生協が、元気はつらつよい生協運動のために闘うことがコープこうべの方々への恩返しでもある。コープさっぽろもその先陣に立つ決意をしよう。コープこうべガンバレ！ガンバレ！ガンバレ！ガンバレ！……ガンバレ！

4.多方面にわたる支援内容

全国各生協からの支援は実に幅広い内容で行われ、被災地を励まし続けた。

⑴ 瓦礫の中からの人命救助

地震直後、長田区・兵庫区・東灘区・宝塚市など被害の大きい地域に居住していた各生協の職員は近隣住民と共に、手当たり次第の救出作業に全力をあげていた。

⑵ 支援物資と商品手配

食料・水・衣類・防寒用品を中心に膨大な救援物資が、直接被災者にあるいは被災地生協を介して多くの市民に届けられた。これらの商品手配にも絶大な力を発揮いただいた。ボランティア活動を支えるプロパンガス用の炊飯釜も重宝された。緊急車両は大型車が多い中で、生協トラックは小回りが効き活躍した。自転車、バイクの提供は機動性を発揮した。

⑶ 人的支援

延べ１万人を優に超える人々が持ち前の生協魂で奮闘した。店舗復旧作業、物流基地での仕分けと配送、倒壊した本部からの重要書類発掘、壊れたまま供給活動を始めた事業所支援、疲れ切ったコープこうべ職員の交代要員などを中心に建築関係部署の職員、医療生協の医師、看護婦、介護者（高齢者、障害者、手話、……）に至るまで実に幅広い人材派遣であった。

⑷ 救援募金

全国生協の店舗や協同購入を舞台にありとあらゆるところで被災地支援の義援金活動が続けられた。全国の都市の街角で多くの国民に被災地支援が訴え続けられた。これらは被災地（行政、生協、日本赤十字など）へ届けられたが、コープこうべに届けられた義援金は「ボランティア基金」創設のもととなった。

⑸ 人々の心を和らげ、勇気と連帯をすすめる行動

被災地に向けられた支援の全てが喜びと感動を持って受け止められた。メッセージ

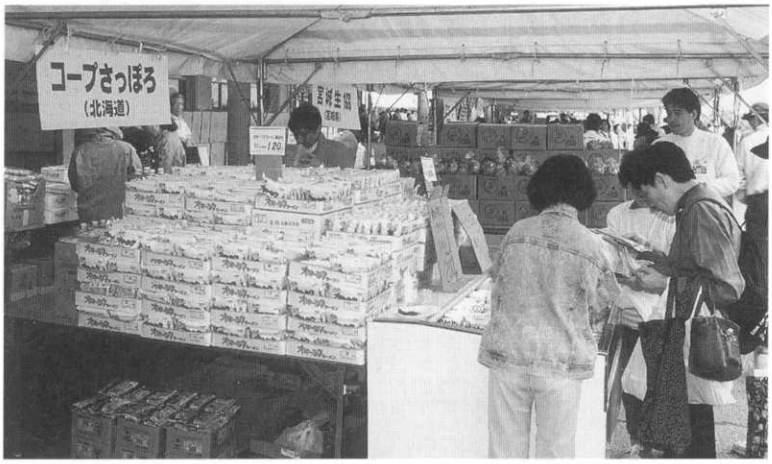
救援物資の搬送

協同学苑に届いた救援物資

売り場での支援活動（シーア）

ならコープ組合員による炊き出し（シーア）

売り場での支援活動(シーア)



復興イベント「ふれあい春市」の“ふるさと味自慢コーナー”　(上記3枚同じ)

や手紙はもとよりサイン・メッセージ入りの旗、春を告げる花も届けられた。

⑹ 受験生ホームステイの受け入れ

受験準備が整わずに不安な状態のところ、関東を中心に多くの生協から申し出があった。

⑺ 炊き出し

近畿・中国地方などの日帰り部隊が中心になって活躍した。温かい食べ物が届き始めた。

⑻ 共　　済

日本生協連を中心に被災地組合員に「一刻も早く見舞金を」と全力があげられた。

⑼ その後の息の長い取り組み

須磨海岸、西宮球場などで開催された復興イベントへの激励参加、8月4日平和の集いに駆け付けた「ぞうれっしゃ」の800人の合唱隊の皆さん。須磨から西宮までの被災地を歩き、自分の目で生活と出発の原点を確かめていく全国からの組合員・職員の方々が途切れることなく続いていた。

⑽ 行政支援・ボランティア参加

前述の内容で被災地生協への支援のみならず、被災地の市民や行政に加わった支援活動も全国から注目された。

5. 支援の中に貴重な学習体験

⑴ 全国生協の「支援対策委員会」には神戸に駆け付けた多くの人々の現地情報とともに、苛酷な状況の中で支援活動を展開していたにもかかわらず、多くの貴重な体験が報告されている。

⑵ 『生協運動』3月号（日生協発行）には支援者インタビューが特集されている。

〈コープさが　濱本篤さん（45歳）〉

同じ生協に働く者としての「連帯感」と「何かしてあげたい」との思いでこちらに来ました。支援活動は、コープ白川台の商品陳列や、第6地区本部の後かたづけ、コープデイズ神戸北町店での主に農産部門の品出し作業などを行っていま

す。

コープこうべの職員や定職さんの元気さが印象的です。身内で被災された方や家をなくされた方も出勤されていました。

コープこうべは私たち地方の生協で働く者のシンボル的存在。私たちの目標を2倍にも3倍にも大きくして下さい。生協の仲間だけでなく、全国の人々が注目しています。頑張れ！

⑶ 連日のマスコミ報道

新聞、ラジオ、テレビ放送をはじめあらゆるマスコミ媒体を通じて、被災地の状況が全国に通信され、国民の目を釘付けにした。地方新聞にもその地域の生協の被災地支援の取り組みが報道された。直後の混乱状態から一段落した4月までの間に生協の活躍が登場しない日は一日もなかった。正しい表現は「一日に何紙もの新聞が生協の活躍を報じた。あるいは1紙の何ヵ所にも報道されてきた」であろう。

特に、竹本日生協会長（コープこうべ理事長）は多忙な緊急対策本部の合間にテレビ出演の中で、国と担当大臣に被災地の実情と必要な支援を訴えられた。NHK報道から民放まで多くの番組が取り上げた。中にはコープこうべの対策本部に常駐する記者やキャスターもいた。

被災地の真只中で自ら被災者として発言される竹本会長の姿に市民、全国の生協組合員、全国生協役職員の方々は「生協が重要な役割を果たす」ことを力強く受け止めたことであろう。

6. 大震災の中から得たもの

⑴ 生協のパワーとエネルギーが国民の前に明らかになった。

続々と被災地に入る全国生協の人と物。途方に暮れる被災者に大きな安心感を持っていただけた。マスコミ各社は競って生協

全国12生協の仲間が
“ふるさと味自慢コーナー”
に出店。
復興イベント「ふれあい春市」
にて（4月15日・16日）
西宮スタジアム

に注目した。生協パワーの正しい姿と生協組合員と役職員のエネルギーが全国一つの形に結集されて国民の前に示されたと言えるのではないだろうか。

⑵　生協の連帯活動が深く、力強く本物であることが証明された

震災の直撃を受けたコープこうべでは播磨生協との合併が予定通り行われ、西日本のリージョナル連帯「Kネット」が4月1日に発足した。日本生協連、コモジャパンをはじめ全国の生協は「被災地支援。被災地生協を守れ」の目標に全力で取り組み、一体感を新たにしたと言えるのではないだろうか。

⑶　ボランティア活動が生協の中にも生まれてきた

従来、生協活動の枠の中に様々な形でボランティア活動は存在していた。今回の震災を通して日本の社会にボランティア活動が生まれ、根付いていこうとしていると考えられる。コープこうべにおいて既に3,100人のボランティアが活動を行っているし、全国の生協にもボランティア組織化の流れが生まれている。これは日本社会における新しい活力として期待されていくものになるであろう。

⑷　各地の行政（県や市）の目を生協に集めた

コープこうべは「緊急時における物資確保に関する協定」を神戸市、尼崎市との間に締結していたが、この精神に基づいて、両市に限らず宝塚市、西宮市、芦屋市、明石市、淡路島の各市町の対策本部と連絡を取って救援物資を送るなどの活動を展開した。全国の自治体の注目するところとなり、新しく生協と協定を結ぶ自治体（神奈川、東京、福井など）の動きが生まれている。また、Kネット加盟生協とその地域においても広がりを見せているだけでなく「A市とa生協の協定」をKネットがサポートする新しい要素を加えて、近隣で広域の緊急時対策が生まれようとしている。

「ふれあい春市」のふるさと味自慢コーナー

⑸　「被災地に生協あり」と世論は称えた

大都市（メガロポリス）の中枢を直撃した直下型地震は、人類が未だ経験したことのない天災ではなかったか。少なくとも近代においては例を見ない。その中でコープこうべは大きな役割を果たすことができたと言えよう。ただし「被災地に生協あり」の生協の2文字はコープこうべのことではなくて、生活協同組合もしくは全国で活動している既存の生協を示していると考えるのが正しいのではないか。つまり、日本の全国生協の力に世論の期待があることを如実に示したものであると言えよう。

お礼の言葉

震災直後の大混乱の中で、職員の一人ひとりは「組合員が困っている。市民が泣いている。組合員のためにできることは何か」と、無我夢中で事態収拾に全力をあげていました。家を失った職員も多く、アパートの下敷きになりながら、職場に駆け付けた女性職員も多数います。ある職員は「自分は家族のためには何もしなかった」と、あの数ヵ月を振り返ってしみじみと話しております。

このような状況下でしたが、大きな困難を乗り越えて支援に駆け付けていただき、言葉にはできない感謝の思いを抱きながら、全国の皆様に何のお礼も申し上げられなかったことが、その時の事を思い出すにつけ、わが胸を締め付けます。こうして筆を取っている今も目頭が熱くなってまいります。

“ありがとうございました”

コモテック事務局・井上淳信

1995年１月20日

すべての正規・パート職員のみなさんへ

京都生活協同組合
理事長　横関　武

兵庫県南部地震緊急支援活動のよびかけ

兵庫県南部地震は時間を経るごとに想像をこえる被害の惨状が明らかになってきました。神戸方面に家族や親類のある組合員・職員も多くおられますが、その方々の中にも身内に深刻な被害を受けている実態が段々とわかってきました。また神戸から通勤の職員やコモテックの研修生として兵庫県に居住している職員については全員無事が確認されていますが、住宅は大きな被害を受けた人もいます。被害を受けられた職員はじめ家族や親類が被害を受けられた職員のみなさまに心からお見舞い申し上げますとともに、家族・親類の方々への心のこもった温かい援助をお願いします。

また、既報の通り私たちの連帯生協であるコープこうべでは本部棟の全壊をはじめ甚大な人的・物的被害が発生しています。コープこうべの組合員・役職員はもちろん被災地住民全体が水や食糧不足に寒さも加え深刻な状態になっています。コープこうべは京都生協創立以来友誼生協として様々な協力を得交流を深めて来た生協であり、今回の震災は全く他人事ではなく同体のものとして受け止める必要があります。また兵庫県・神戸市から震災緊急時の物資供給者として指定を受けているコープこうべへの支援活動は同時に被害県民への救援活動になるものです。

京都生協としては昨日地震対策本部を設置し全面的な支援を開始しました。昨日は４ﾄﾝトラックで４台、本日は３台に被害住民の生活物資を積み込み緊急配送を開始しています。また本日は人的支援として10人がコープ立花に応援にはいり殺到する組合員の期待に応え店内作業を手伝っています。第１次は22日まで応援しますが、緊急の要請にもかかわらず多くの職員の参加が予定されています。第２次は状況を判断し追って要請することにしています。救援カンパも店舗・共同購入とも本日より緊急にとりくむことになりました。

職員のみなさん！　被害住民の深刻な生活状況に思いを馳せ、今こそ頼もしき隣人として協同の精神をいかんなく発揮し、最大限の支援活動をしていきましょう。一人ひとりが条件を活かし力を合わせれば大きな力の支援活動ができます。気持ちをひとつにし、みんなで奮闘致しましょう。

兵庫県南部地震についての海外協同組合からのお見舞い電報

１月20日16時現在以下の方々からお見舞いのファックスが寄せられています。

ICA 本部　　マルカス会長・メルモス副会長・ソーダソン専務
ICA 地域事務局　　シャルマ事務局長・マチマ生協担当・ヘラート人材開発担当
ICA 保険委員会　　ダールベルイ専務
ICA 女性委員会　　アペルクビスト委員長
アメリカツインパインズ協同組合財団　　トンプソン会長
イギリス生協連　　トドナー会長・ウイルキンソン専務
イギリスコープカレッジ　　クイニー氏他職員一同
イタリア生協連　　バルベリーニ会長・ファブレッティ副会長
韓国信用協同組合中央会　　李漢雄会長・金栄中氏
韓国消費協同組合研究会　　李漢玉会長
スウェーデン生協連　　スベンソン専務・ヒルボム氏・ベーク氏
ストックホルム生協　　アグ専務
スウェーデン協同組合研究所　　ジェンソン専務他
チェコ協同組合連合会　　カレン会長
中国全国供銷合作総社　　楊徳寿秘書長
中国勤労者対外交流中心　　王家篭会長
ドイツ生協連　　ダブルンツ専務
ドルトムント生協　　フレイ理事長・タンツェン専務
フィンランド生協中央会　　理事会・イトコネン国際部長
フィリピン・バヤニハン協同組合　　サントス会長
フェアプライス生協　　リム・ホー・セン専務
フランス生協連　　エシェルマン会長・ジョリベ事務局長
ロシア生協連　　エルマコフ会長・マトゥゾフ国際部長

以上のお見舞い電報に対して１月18日に日本生協連国際部からの緊急情報として、会長は無事で現地で陣頭指揮をとっているとお知らせしました。また、19日には見舞い電報に対する礼状と追加の情報を送りました。

ICA マルカス会長およびソーダソン専務より 竹本会長宛のお見舞い電報　１月17日

「本日早朝、日本の関西地区が大地震に見まわれたとの情報を知り、非常なショックを受けています。被害の充分な実態を我々はまだ知りませんが、協同組合運動が人命や財産の損失を被らなかったことを祈るばかりです。

我々の連帯と協力の気持ちを是非とも被害を受けた地域の組合員にお伝え下さい。

我々は神戸と大阪に多くの協同組合の友人を持っています。そしてそれらの方々が無事であることを願うものです。

貴方とともに我々は心配し、悲しみを共にするものです。」

その他、組合員、取引先、全国生協、全国の各協同組合、行政、大学など、あらゆる方面の方々から数百通にのぼる激励やお見舞いの手紙・電報をいただきました。

お見舞いお礼

拝啓

この度の阪神・淡路大震災によります当生協の被災に際しまして、ご丁重なお見舞いや励ましのお言葉を賜り、心より感謝申し上げます。また、この震災で大きな災害を受けられた方々からもご激励いただき、誠に恐縮に存じました。衷心より感謝申し上げます。皆様の温かいご支援は何よりも勇気づけられるものでございました。地域の人々のくらしの復興と、コープこうべの確実な復興への決意を、より一層強くする日々でございます。

一月十七日に生活文化センター内に緊急対策本部を設け、応急措置を行いました。二月一日からは、意を決して本格的復興に向けて本部を三木市の協同学苑内に移し、同時に新しいコープこうべを作る「創造的復興」をめざし事業と運動を再スタートいたしました。

コープこうべは本部事務所をはじめ、多くの物を失いました。しかし、この間マスコミにも報じられましたように、「信頼」や「助け合い」や「協同」という大切なものを、地域の人々とともに実感できたのではないかと感じております。生協が本来果たすべき役割をこの地で大きく育てるために、今後とも努力をしてまいる所存でございます。

道程は長く厳しいものになると思われますが、二十一世紀には新しいまちやくらしのあり方をこの地より発信できるよう、地域の人々とともに、明るく元気に頑張ってまいります。

今後とも、ご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

追伸

なお、各部の所在は当分、左記のようにしておりますので、よろしくお願い申し上げます。

一九九五年四月

生活協同組合コープこうべ

理事長　竹本成德

記

〔本部〕〔運営・管理関係〕
住　所　〒六七三―〇〇五　三木市志染町青山七丁目一―四
電話番号　〇七九四―八七―三二四八(代)

〔商品関係〕
住　所　〒六五八　神戸市東灘区田中町五丁目三―一八
電話番号
【一般食品】　〇七八―四三一―五三四一
【住居関連】　〇七八―四三一―五三五一
【衣　料】　〇七八―四三一―五三六一
【商品開発】　〇七八―四三一―五二六一
【生　鮮】　事務所が分散しておりますので担当者からご案内いたします

〔情報システムセンター〕
住　所　〒六五一―一五　神戸市北区鹿の子台北町八丁目二―一
電話番号　〇七八―九五三―〇五〇五(代)

復興イベント「ふれあい春市」（4月15日～16日）西宮スタジアムでの“ふるさと味自慢コーナー”

第６章 自然発生した組合員の諸活動

Ⅰ.ボランティア活動

1995年１月17日におきた阪神・淡路大震災では、総代・地域コープ委員が５人亡くなられ、ご家族の犠牲者も18人を数えた。

また、当生協の職員も11人が死亡。 5,500人の犠牲者を出した大震災であったが、組合員で亡くなられた方も多かった。

コープこうべも本部ビルの倒壊や７店舗が全壊するなど、被害総額は 500億円となった。 しかし、そのような状況のなかで、震災直後から各地域で組合員や職員の自発的な支援活動が始まったのである。

震災直後からのボランティア活動を、正確に、しかも網羅的に報告することは、とても困難なことであるが、震災後のボランティア活動がどのようなものであったかを理解していただく一助となり、また、これから広がっていくボランティア活動のために少しでも役立つことを願って、当生協を中心としたボランティア活動を報告したい。

1.コープこうべのボランティア史

ごく簡単にコープこうべのボランティア活動の歴史をふりかえっておく。

第１次世界大戦後の物価高に多くの人が苦しんでいた1921年（大正10年）、コープこうべは誕生した。創立の指導者である賀川豊彦は、お互いが心から信頼しあい、助け合う「愛と協同」の社会づくりを生協に託した。その精神は多くの人に受け継がれ、年々、自発的な活動が盛んになってきている。

1966年には、ボランティアグループの活動を支える資金として「ともしび拠金」が生まれ、さまざまな人たちから善意が寄せられている。1994年９月現在、福祉サークルの一つであるボランティアサークルでは 171グループ、約 2,800人が活動している。

1982年には、生協内に「ユニセフ募金兵庫事務局」が設置され、世界の子どもたちを救うための活動が始められた。

1983年には、高齢組合員などが地域で自立して生活できるように、協同互助の心と活動で支えていこうと、「くらしの助け合いの会」が発足。

1988年には、食事作りを通じて高齢者の食生活に少しでも役立ててもらうと同時に、会員同士の交流を深めようと「ふれあい食事の会」が始まっている。

2. コープボランティア本部とその役割

「何かをしたい、私のできることで役にたちたい」と、地震直後から、目前の被災地の状況につき動かされ、炊き出しや救援物資配布など、熱心なボランティア活動が、自然発

炊き出しのボランティア活動（第5・6・8地区）

生的にたくさん生まれた。

その動きを受けて、コープこうべでは、1月26日に、生活文化センターにボランティア窓口を設け、ボランティアを希望する人々の登録を開始したところ、1週間で 1,200人の申し込みがあり、ボランティア活動への意欲の高まりが示された。

このエネルギーを一過性のものとしないで、息の長い取り組みとして日常の組合員活動のなかに根づかせるために、当生協は2月3日にコープボランティア本部を設置し、8つの地区にそれぞれコープボランティアセンターをつくる準備がすすめられた。

宝塚、塚口、西宮、住吉、神戸北、兵庫、明石、姫路の8つのコープボランティアセンターが順次、活動を開始。

震災から1ヵ月以上が経過しているにもかかわらず、多数の参加が見込まれ、救援活動から長期的な活動をすすめていく重要な役割を、これらのセンターが担うことになった。

（上・下）
出雲市農協職員による
豚汁の炊き出し
（シーア）

3.震災後のボランティア活動の経過

震災直後の人命救出活動の後は、避難所や公園・空き地での生活支援が課題となり、多くの人々の自発的な救援・支援の活動が被災地、近畿地域、全国で始まった。さらに長期化する避難所生活などへの対応など、広い分野でボランティア活動が行われた。コープこうべの組合員組織でも、地域コープ委員やサークルなどで、自発的な活動が震災直後から始まった。支援内容は、物資の配布、炊き出しといった緊急支援的な内容から、仮設住宅への入居がはじまったころから、仮設住宅の居住者支援、高齢者の定期訪問、震災でそれまで活動していたボランティアが減少した福祉施設での活動など、息の長い地道な活動に変わってきている。

4.震災後の具体的なボランティア内容

直後は、炊き出し、物資の整理や配布、受験生の受け入れ、家具移動など依頼事項への対応、被災証明書の整理、水汲み、片付けの手伝い、話し相手や問い合わせへの対応など。

多くのコープボランティアセンターでは聞き取り調査を行い、活動内容を決めていった。

3ヵ月目ごろを中心に、ボランティアが1,000人くらい活躍する大規模な復興イベントが行われ、数万人規模の参加があった。

被災者による復興イベント「県民のつどい」などが行われた 100日目くらいを境にボランティア活動の内容も変化。仮設住宅の設営、入居に伴い、居住者支援、高齢者の生活支援福祉施設の訪問など、自立・復興に向けて、地域の人たちの地道なボランティア活動の重要性が増した。

5.震災後のボランティア活動の特質

自然発生的に、たくさんの人々がボランテ

ィア活動を始めたことで、ボランティア元年という言葉がさんかに使われた。

福祉関係者でも、「日本にボランティアがなかなか育たないのは、文化の違いであるなどということは、これから、もはや、言えないことになってしまった」といわれているくらいである。コープこうべでも、ボランティアの長年の歴史があるとはいえ、これだけの短期間に数千人の人がボランティア活動を申し込んできたということはなかった。

設立当初のボランティア受付窓口はたちまちボランティア希望者への応対で大混乱し、ただちにコープボランティア本部が設立された。それでも、ボランティア希望者とボランティア活動場所の交通整理を行うことは大変な作業であった。

各地区でコープボランティアセンターが順次たちあがり、よりきめの細かい対応を試みることとなった。

各センターが無我夢中で対応しているうちに、徐々に緊急支援的活動は減り、変わって、日常生活のなかでのさまざまなボランティア活動が中心になってきたことは繰り返し述べた通りである。

各センターはそれぞれ地域の独自性を生かしながら、ボランティア本部の援助や他センターの活動を参考にして、ボランティア活動の場を定着させてきた。

それは、仮設住宅での活動であり、福祉施設での活動などである。

各センターはボランティアの学習会を開き、ボランティアの集いをもち、ボランティアをグループにしていくことをすすめ、一人ひとりを孤立させないように努力した。

4月現在 2,500人くらいだったボランティアは震災半年後には 3,500人になった。

救援物資の配布をする
姫路ボランティアセンターのグループ
（兵庫区大開通にて 2月19日）

6.コープボランティアセンターネットワーク事務局の設立

6月9日に行われた総代会以後、業務機構図が変わり、コープボランティア本部の役割はくらし創造本部のコープボランティアセンターネットワーク事務局に引き継がれた。

同事務局では、コープボランティアセンターの活動の活性化に役立つための活動や、ボランティア活動を行う財団の法人格をえて、さらに活動しやすい状況を整えようと、財団法人「ともしび」（仮称）の設立準備や、コープこうべではじめての福祉型給食施設をつくる準備をすすめている。

これらの芽は、いずれ大きく育ち、地域でボランティア活動をすすめる重要な拠点・先進的な事例になっていくのではないだろうか。

7.コープボランティア募金

コープボランティアは無償の活動であるが、実際の活動ではお金が必要になることが多い。そういう資金的なバックアップ体制をつくり、

活動が大きく広がっていくことを願って財団法人「ともしび」（仮称）を設立させようとしているわけである。

その財団の基金をコープボランティア募金という名称で集めている。

寄せられた募金は「コープともしびボランティア基金」（仮称）に入れ、コープこうべのボランティア活動に必要な活動の助成に活用していく。

これからの活用方法としては、福祉活動（仮設住宅の訪問、施設訪問、手話、点訳など）や、青少年活動（子供文庫、キャンプ活動など）、スポーツ活動（スポーツ指導者など）などの分野で活動しているグループなどに助成していく予定である。

８月末累計で、32,836,527円の善意が寄せられている。

8.ボランティア活動と広報

一人ひとりが自由に自分の意思にもとづいて行動することがボランティア活動の基本であるから、これらの人々が組織的に活動していくことは、必ずしも簡単なことではない。また、ボランティアをしたいと思っている人たちを探し出すことも、活動が長期的になってきたいま、それほど容易なことではない。そこで、ボランティアの学習や講演、交流を盛んに行い、また、各コープボランティアセンターでは地域の実情に応じ、ボランティアの声を聞きながら、活動の核や指針を示すことが必要になってくる。

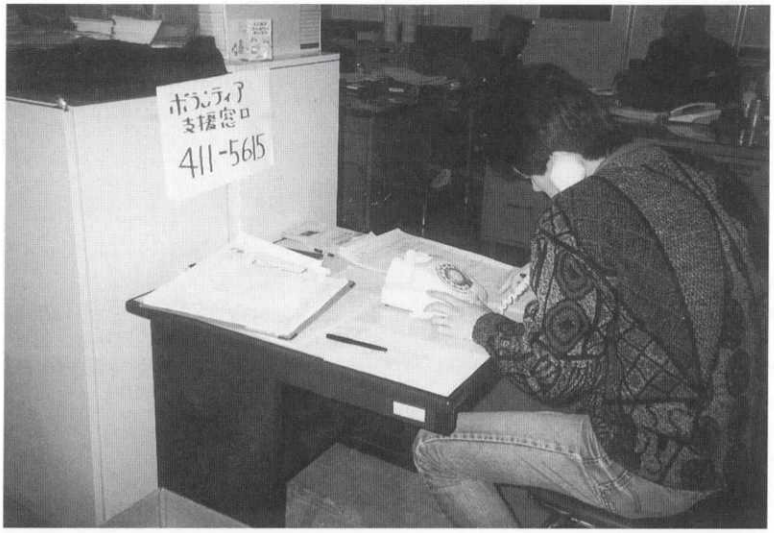
そういう意味でも、活動を広げ、活動の参考として役立てるために、広報活動は重要である。

コープボランティア本部（後にはコープボランティアネットワーク事務局）では、週刊を基本に、活動報告や参加の呼びかけを中心に「コープボランティアニュース」を発行している。壁新聞形式のものだが、速報性もあり、特に震災直後には力を発揮した。

また、機関紙『きょうどう』では積極的にボランティア活動をとりあげ、６月号からは３週号で『コープボランティアだより』を折り込むようにした。

その主な項目を拾ってみると、「仮設住宅１千軒を総訪問（加古川）」、「仮設住宅に配布する情報マップを作成（明石）」－以上６月号、「元気な声にホッとひと安心、友愛訪問活動（兵庫）」、「生活安定に向けて仮設住宅を定期訪問（住吉）」－以上７月号、「老人給食サービスをお手伝い（長田）」「福祉施設でお年寄りの介助を手伝い」－以上８月号、「協同購入のボランティア（長田）」、「チャリティーバザーとキャラバンで仮設住宅の居住者支援（西宮）」－以上９月号、「みんなでクリーン作戦（住吉）」、「ボランティアフェスティバル開催(宝塚)」－以上10月号、「ふれあいセンターで敬老お楽しみ会（加古川）」、「ふれあいセンター

（上）第5地区組合員有志による救援活動（シーア）
（下）生活情報マップづくりについて話しあうボランティア（第7地区）



（上）
生活文化センターに
設けられた
ボランティア支援窓口
（下）
西宮でのボランティア
300日大会
（'95年11月12日）

でイモ煮会（鹿の子台）」－以上11月号など、月の動きを追っていくとボランティア活動の大きな動きが見えてくるようになっている。

また、「コープステーション」誌でもボランティア活動の動きを追っている。

さらに社内報「にじの友」、「写真ニュース」などや、各コープボランティアセンターが発行する情報紙などでも、広く関心を集めたり、必要な人に必要な情報が届くように工夫がされつづけてきている。

9.ボランティア300日大会

震災 300日目は11月12日で日曜日。この日、全コープボランティアセンターで、ボランティアの交流と活動の広がりを求めてコープボランティア大会が開催された。内容は各コープボランティアセンターが工夫をこらし、講演や演奏、体験発表、活動紹介、バザーなどが行われ、各会場合計で 4,500人の参加があった。

各会場のテーマは次のとおり。

- 宝塚「やさしさに思いをひろげて」
- 塚口「つなげよう、街・人・心、広げようボランティアの輪」
- 西宮「みんなにありがとう　いっしょにボランティア」
- 住吉「心かよいあうボランティアの継続と広がりをめざして」
- 神戸北「コープボランティアふれあい交流会」
- 兵庫「いきいきボランティア　広げよう助け合いの輪」
- 明石「これまでも、これからも」
- 姫路「やさしさ・ひろがり・私の街　あったかい思い２０００集めて」

ボランティア同士が交流し、さらに参加者を増やし、これからもボランティア精神を大事にしながら活動を続けていきたいというみなさんの声が聞こえてきそうである。

以上、ボランティア活動の概要を駆け足でみてきたが、実際には、ボランティア活動に参加してみることこそが、その喜びや悩みを知るうえでも、最良の道である。

ボランティア元年といわれて、はなばなしく報道されたが、いま、懸命の活動をつづけているのは、コープをはじめとする地域の団体、人々である。

これからの活動を支えていくのは、１人でも多くの人が、直接的・間接的にボランティア活動にかかわっていけるような諸システムづくりである。

II 福祉活動

1.「くらしの助け合いの会」も活動再開

コープこうべでは、「くらしの助け合いの会（有償の家事援助活動）」や「ふれあい食事の会」、施設訪問、点訳、人形劇などのボ

ランティアグループなど、約 3,000人の組合員が福祉・ボランティア活動に参加している。

震災後、いちはやく活動を開始したのは、「くらしの助け合いの会」。震災当日から、コーディネーターや会員相互の電話による安否確認が始まった。翌日からは、交通機関が寸断されているなかで、一部の地域のコーディネーターや奉仕会員による徒歩での安否確認の訪問活動が始まった。避難所から安否確認の訪問を続けた奉仕会員もあった。焼け跡、ガレキの山、町並みが一変したなかでの会員宅の確認は大変だったという。

1階がつぶれ2階だけになった家の中で、夫が半身不随のため避難できずにいた妻は、地域コーディネーターと手を取り合って言葉もなかったという。半壊した家の中でうずくまり、余震があってもこの家にいたい、この家で死にたいという会員もあった。

奉仕会員の家に身を寄せた援助会員、不安でおびえる援助会員宅に数日間泊まり込み寄り添って支えた奉仕会員もあった。逆に援助会員のご主人に「妻が安心するから」と連れられ、援助会員宅に避難した奉仕会員。娘が骨折し介助できず入院した援助会員は、緊急対応が求められたため奉仕会員が病室に付き添い、結果として数日後、息を引き取るまで看取ることになった。

双方の会員やコーディネーターが自発的に、お互いに助け合うかたちで活動が再開された。奉仕する会員（奉仕会員）の死亡1人、家屋の損壊 320人、援助を受ける会員（援助会員の死亡5人、家屋の損壊 205人など、「くらしの助け合いの会」の会員の被害も大きかった。

95年3月の活動状況を震災前の94年12月と比較すると、奉仕会員の登録94%、実際に活動した会員数71%、総活動回数78%、総活動時間数79%、援助会員の登録84%、実際に援助を受けた会員66%。被災した会員の転居など在宅率が低下する中で、一時的に活動が低下しましたが、徐々に回復傾向にある。

各地区の震災後（1～2月）の活動状況は、以下のとおりである。

（上・下とも）
新入職員による救援ボランティア活動
95年4月5日・6日（西宮厚生年金スポーツセンター）

●第一地区

コープセンターの福祉活動担任の自宅が半壊。19日から安否確認を開始。不明者をたずねて自転車で地域、避難所をまわる。その後、徐々に活動再開。

●第二地区

双方の会員に比較的被害が少なく、震災直後よりほぼ平常通りの活動を再開。

●第三地区

双方の会員の被害が大きく、死者も出た。福祉活動担任の自宅は半壊し避難したが、安否確認を開始。地域コーディネーターは18日から徒歩での地域訪問を開始。

●第四地区

双方の会員に死者、住宅の全半壊など大きな被害を受けた。双方の会員の在宅率が低下

するなか、安否確認を開始。奉仕会員が自主的に訪問活動をはじめ、家財の整とんなどのかたちで活動を再開。

●第五地区

双方の会員に被害は少なかったが、奉仕会員が被災家族の避難受け入れで活動が困難になるケースもあった。早い時期に安否確認を終え、活動を復興させた。

●第六地区

双方の会員に被害が大きく、死者も出た。福祉活動担任は大阪に避難し、避難先から安否確認を行った。地域コーディネーターも家屋の全半壊など大きな被害を受けたが、18日から徒歩で安否確認を行い、ボランティアの応援を得て、救援活動を行った。

●第七地区

福祉活動担任は17日からコープセンターに入り安否確認、再コーディネートを始めた。双方の会員に被害があり、事務局にボランティアの応援を得て活動を再開させた。2月10日に「奉仕会員のつどい」を開催、涙で報告しあい、活動の続行を誓いあった。

●第八地区

被害を受けず、活動を継続させた。被災した他地域の会員や被災者への支援を呼び掛け、訪問活動を続けた。

2.「食事の会」とボランティアサークル

「ふれあい食事の会」は、水道・ガスのストップにより活動休止を余儀なくされたが、2月に入ると第1・5・7・8地区など、被災の比較的少なかった地域から順次活動を再開した。第4地区を中心に店舗・集会室が全半壊の状態で再開不能。第6地区でもコープ須磨が店舗全壊により、再開まで時間を要することとなった。ボランティアサークルも第1・2・8地区以外はほとんどが休止状態となった。被災地の中心ほど、活動再開に時間を要する状態だった。

しかし、このようななかでも、条件の整ったサークルから被災地での炊き出しに取り組むなど活躍。人形劇サークルは避難所で公演するなど、それぞれのサークルが、それぞれのサークルの特性を生かした活動をすすめた。また、サークル単位での活動がむずかしいところも、個々人がボランティア活動を開始した（「食事の会」は秋まで全会場で再開。ボランティアサークルは4月時点で約1割が休止）。

毎日新聞
（首都圏版）
夕刊
'95.6.13

震災の街へ走れ「ぞうれっしゃ」

「人の温かさ確かめ合おう」

神戸に8月、千人の歌声

阪神大震災の被災地に「ぞうれっしゃ」を走らせ、人間の温かさを確かめ合おう――終戦直後、戦禍の中で生き残った象に会うために、子供たちが列車で名古屋・東山動物園に行った実話をテーマにした合唱曲「ぞうれっしゃがやってきた」を歌う全国各地のアマチュア合唱グループが八月、〝ぞうれっしゃ〟を仕立てるなどして神戸に集合。地元の親子と一緒に約千人が歌う大フェスティバルを開く。

全国の合唱グループ

第二次大戦中、軍の命令で全国の動物園で動物が処分される中、東山動物園では当時の北王園長らが「象を殺すなら私を殺してからにしてほしい」と抵抗、メスの象二頭が生き残った。

戦後、この話が広がり、一九四九年から「ぞうれっしゃ」が仕立てられ、延べ三万人の子どもが出まった。これを名古屋市の小学校教諭が絵本にして出版。

合唱曲も作られ、親子で「ぞうれっしゃ」を歌う活動が全国で繰り広げられ、現在でも続いている。

神戸では戦後五十年で、八月に「ぞうれっしゃ」を歌う企画が昨年から進められていたが、練習を始めようとした矢先の大震災で中断していた。

「ぞうれっしゃ」に携わった各地の人たちが救援活動で神戸を訪れた際、この話を聞き、神戸で歌おうという声が起こった。この声は、各地の「ぞうれっしゃ」活動をまとめた「若いいろの涙あふれて」の著者で元出版社社長、柳沢明朗さん（六二）のもとに集まり、八月四日、灘区の親和高校講堂でフェスティバルを開くことが決まった。

フェスティバルはコープこうべ（本部・神戸市東灘区）の主催。千葉、神奈川、埼玉県など関東地区の「合唱団」は、新幹線二両（二百席）の〝ぞうれっしゃ〟を仕立てることにしている。

柳沢さんは「参加者が、新しい街と暮らしを作ろうとしている現地の姿に接し、自分の生活を見つめ直すきっかけにもなる」と話している。

神戸でのフェスティバルに備えて練習に励む「ちばぞうれっしゃ合唱団」＝ちばコープ会議室で

3.一刻も早く共済金や見舞金を！

（コープ共済）

被災して困っている組合員のため、一刻も早く対応すべくコープ共済センター二宮義夫統括部長は、震災当日、早速に共済対策本部を設置した。支援のためにかけつけた日生協の共済担当者も加わり支払等について確認。

もともと共済は保険ではなく、掛け金を出しあい病気や不幸があった時に見舞金などを出す助け合いの制度である。

対策会議終了後、直ちに各地区本部に２人伝令（橋本邦子さん・吉本暁弘さん）を出し、決定事項を伝えた。しかし道路は歩いた方が早い状態だったので、伝令がセンターに帰ったのは午前０時になっていた。

共済金や見舞金を支払うには契約者の被害の実態調査が必要だった。そこで、まず新聞に掲載された死亡者欄で契約者と照合し、本人かどうかを確認するために組合員宅の訪問を行った。

この時、活躍したのは全国から駆けつけてくれた他生協の共済担当者たち。震災直後から、日生協が中心となり、絶えず10人～20人が１週間位の交替で支援。延べ人数にして、1,200人であった。

生存者確認とは別に避難所なども積極的に訪問し、見舞金支払いの手続きなどを行った。

震災後１週間たってもコープこうべの共済センターの電話回線が復旧しないため日生協のフリーダイヤルを借りて、問い合わせなどに対応した。６回線６人で、給付金申し込みや問い合わせに対応したが１日に300～400件の電話でパンク寸前であった。これを集約してコープこうべ共済センターに送ってもらい、すぐに「特別見舞金請求用紙」を組合員に郵送したが、そのとき、少しでも契約者の痛んだ心がなごめばと、お見舞いの手紙と折り鶴を同封した。

「折り鶴を見てホッとした気持になった」という組合員からの何通ものお礼状が、今度は職員の心をなごませた。

緊急対策本部に設けられた
共済金給付の窓口

この助け合いの共済の輪をさらに広げるため、組織拡大の共済担当者が31人増員された

○４月末の給付

日本生協連およびコープこうべによる見舞金・共済金の給付額は次のとおり。

（金額単位：千円）

	お見舞金			共済金			合計
	全壊	半壊	一部壊	死亡	入院	家族死亡	
件数	3,123	3,632	5,768	45	43	73	12,684
金額	62,460	36,320	57,680	126,850	4,011	4,200	291,521

4.事務所が倒壊したなか 柩の配送やグループ社の応援に

（クレリ案内センター）

クレリ案内センターの事務所は倒壊したコープリビングセンターの４階にあったため、拠点を失うことになってしまった。そんな状況の中でグループ社の応援を行うなどさまざまな動きを見せた。

「今日、葬式なのに業者が来ない」 急きょ、店舗の車を霊柩車代わりに

地震発生から約３時間後の午前８時50分、今西求センター長はクレリ案内センターの事務所があるコープリビングセンター甲南の前でしばらくぼう然と立ちつくした。

10時30分、センター長が今後の対策を考えていると２人のクレリの職員が到着。取りあえず３人で「対策チーム」を発足し、状況把握に努めることにした。

生活文化センター内に設置されたクレリ案内センター

午後になって、運営部から「できるかぎり店舗に応援にいってほしい」と要請があり、２人の職員はコープミニ本山南へ。ふたたび今西センター長１人となり状況把握に努めることになる。

まずは21人いるクレリの職員の安否確認。もちろん電話は不通。メイトさんの家を一軒一軒訪ねてまわった。

そのころ、第５地区本部に１本の電話が入っていた。地震当日に葬式を予定していた組合員からである。「時間になっても葬祭業者が来ない」という問い合わせだ。組合員の自宅は地震の影響が少なかった北区。もちろん悲しみにくれ、情報源であるテレビなどを見なかったため阪神間が大惨事になっていることは知らなかった。電話を受けた第５地区本部の宮内明彌本部長（現・常任理事）は今西センター長宅に連絡したがすでに出たあと。葬祭業者にも連絡したが通じない。仕方なく組合員宅におわびの電話をし、実情を説明。もちろん葬儀はできないため中止した。とはいっても遺体を斎場へ運ばなければならない。急きょ霊柩車の代わりに店の車で火葬場へ搬送した。

遺体が腐らないように
ドライアイスを柩の中へ

事務所が倒壊したが、もちろん業務提携先のグループ社の多くも被害を受けた。しかし、業務を休むわけにはいかない。とくにたくさんの犠牲者がでている今こそ、組合員の役にたたなければならない。職員はグループ社へ応援に入った。

松岡潔さんは自宅から自転車で１時間、ガレキの中を縫うようにして甲子園にあるグループ社へ向かった。

早速、近くのお寺に運ばれてくる遺体が傷まないようにドライアイスを柩につめる作業を行った。

葬儀などはできないため、家族が見守るなか一体ずつ順番に祭壇に飾り、お経だけをあげ、火葬場へと運ばれる。しかし、甲子園といえば被害が大きかったところ。柩に入った遺体が運び込まれても、火葬場がいっぱいのため、待たなければならない。いくら冬といっても遺体が傷んでくる。松岡さんは必死で遺体が傷まないようにドライアイスでくいとめる。

「何かやるせない思いでしたね。子どもさんが運ばれてきたときにはすでにドライアイスが反対に多すぎたのか体が凍ってしまって。お母さんが寒くてかわいそうだと、すがっておられたのは悲惨で見てられないくらい辛かったですね」

20日になって布藤明良常任理事（現・日本生協連常務理事）を通じて東灘区役所から依頼がきた。「東灘区の各遺体安置所へ柩を運んでほしい」というものだ。しかし、クレリ案内センターの車はみんな倒壊したコープリビングセンター甲南の屋上に止めていたため使えない。急きょ協同購入センター甲南(現・神戸東）から３台を借り、搬送を行った。

24日には事務所を生活文化センターの展示場だった場所に移し、拠点を構えることになったが、混乱は２月まで続いた。

○クレリ葬の状況
- クレリ葬受付件数（１／17～２／28）　151件
  - １／17～１／31　23件
  - ２／１～２／28　128件
- クレリ葬仕様外でのグループ各社対応件数　384件
  - 阪神地区　239件
  - 神戸地区　137件
  - 姫路地区　8件

○コープこうべグループ合同慰霊祭
- ３月４日(土)　14：00～16：00
- 生活文化センター　２Ｆホール

神戸新聞
'95.5.13

好評です生活情報マップ

仮設住宅向けに25種4千部
電話相談も殺到

コープボランティアセンター

被災者への援助活動の一つとして「コープボランティアセンター明石」が、明石市や神戸市垂水区などにある仮設住宅の入居者向けに製作した生活情報マップが反響を呼んでいる。周辺の地図や各商業店舗の営業時間などの地域情報をのせ、一家に一冊の割合で配布したが、その中に「何か手伝うことがあれば連絡を」と書き添えておいたところ連日、相談電話がかかるようになり、メンバーたちは活動への確かな手ごたえを感じている。

地域ごとの情報を載せたマップを前にするボランティアたち＝明石市大明石町二、コープこうべ第七地区本部

同センターは、震災後、継続して被災者の手伝いをしようと明石や神戸市西区などに住む会員の主婦や学生を中心に結成。コープこうべ第七地区本部（大明石町二）の一室に事務局を置き、現在約三百人が登録している。

マップは、地域に早く慣れてもらおうと明石市、神戸市垂水区と西区の全仮設住宅の入居者向けに二月末から地元の会員約二百人が手分けして地域を〝取材〟し、約一カ月がかりで二十五種類のマップ計約四千部を製作した。

各マップは、三六〇から十六仕立て。店の名前などを詳しく入れた手作り地図のほか、学校、病院、商店の住所や電話番号を表にまとめたものやバスの時刻表、商業ビル内の売り場の見取り図なども書き込んだ。

配布は三月から始めているが、お年寄りを中心に買い物の付き添いや引っ越しの手伝いなどの要望の電話がほぼ毎日かかるようになり、メンバーたちは忙しい毎日を送っている。

同センターでは「家の修理や定期的な介護依頼など対応できない要望も多いが、できる範囲内で援助を続けたい」と話している。

第７章 創造的復興に向けて

予想もしなかった大地震で、コープこうべは史上最大の難局に立たされた。過去にも我々は阪神大水害、第２次世界大戦と大きな打撃を受けてきたが、そのつど先人たちの知恵と努力によって蘇り、生協運動の灯を消すこともなく発展してきた。今回の震災にしても、確かに多くのものを失ったが得るものも決して少なくない。それはこの震災体験を教訓化し、単に復旧レベルでない新たな生協運動を創造しようとすることである。すなわち、創造的復興である。

第１章から第６章まで震災当時の状況や取り組みを述べてきたが、その時の行動そのものが、復旧のみならず創造的復興へのスタートとなっている。

コープこうべの立ち直りが予想外に早かったのは、組合員の理解と支持、全国生協の支援、取引先等関連の各位の絶大な支持や協力があったからである。それに加えて役職員の不眠不休の努力を忘れてはならない。特に対策本部、復興会議から次々と出される緊急の対策と、これまでの慣習を捨てた新しいコープこうべづくりの復興の対策がスピーディーに、かつ適時に発せられたからである。

1.コープこうべの復興構想

復興に向けての中期目標

第１期（1995～1996年度）
テーマ：復元・再生
経営指標：単年度赤字

第2期（1997年度～1998年度）
テーマ：復興
経営指標：単年度黒字

第3期（1999年度）
テーマ：創造的復興
経営指標：累積黒字化

1995年度到達目標

テーマ：復元

第1ステップ（4～5月）
- 出資金、未収、発注、協同購入センターの各システム復元
- その他「暫定業務システム」の立ち上げ
- 稼働可能施設の応急復元
- 被災地エリアにおける組合員活動の再開と組合員組織体制の確立

第2ステップ（6～9月）
- 「暫定業務システム」の稼働
- 「新業務システム」構想の推進
- 新事業・新業態構想の推進
- 稼働可能施設の応急復元
- 新業務執行体制
- 組合員・組織活動の推進

第3ステップ（10月～3月）
- 「暫定業務システム」の安定稼働
- 「新業務システム」構想の確立
- 新事業・新業態構想の推進
- 施設の安定稼働に向けた復旧
- エリアドミナント戦略、業態戦略の確立
- 組合員・組織戦略の確立

コープこうべは震災後、復旧・復興に向けてガムシャラに走ってきたが、ただ単に元に戻すだけの復元ではなく、あらゆるモノの価値を見直し、従来の考え方や活動のあり方にメスを入れ、新しい業務システムの構築に力を注いでいる。

復興構想の目的と目標は次の通りである。

「目的」

1. 震災の被害が及ぼした生協の事業を早期に再生し、地域社会における組合員・兵庫県民の消費生活の安定に貢献する。
2. 震災被害の復旧に向けた組合員・職員の自発的な支援活動などの広がりを受け、新た組合員活動を再構築し、「愛と協同」に根ざした社会づくりをすすめる。

1995年度事業計画会議

3. 全国の生協から受けた支援活動を新たな連帯活動の出発点とし、生協運動のさらなる発展に貢献する。

4. あらゆる価値尺度を見直し、「創造的復興」を達成し、新時代の生協運動への道筋を明らかにする。

『1995年度事業計画書』より

(2)取り組む課題

1 市民・ボランティア・行政とともに、新しい「扶(たす)け合い」「協同」のまちづくりを進めます。

1. 人々が安心して暮らせる都市基盤と、住むになごやかな町並のあるまちづくりに貢献します。
2. 人々の心が通い合える近隣関係のあるまちづくりに貢献します。
3. 自然や動植物とのふれあいができるまちづくり、環境への負担の少ないまちづくりを進めます。
4. 人々が集まる場と学習やスポーツなどお互いを高めあえるまちづくりを進めます。
5. 高齢者や体の不自由な人だちなどと共に生き、助け合っていけるまちづくりを進めます。
6. 男女が共に社会に参画し、支えあっていける社会づくりに貢献します。
7. 人々が互いに知り合え、情報を交換しあえる、活力のあるまちづくりを進めます。

おもな取り組み内容

- 環境マネジメント・環境監査制度を推進します。
- 安全性・環境・福祉などを配慮した生協としての新しい施設基準をつくり、進めます。
- 店舗のレストスペースを組合員のコミュニケーションの場として拡充します。
- 社会福祉法人協同の苑をはじめ、行政・諸団体との連携を強め、扶け合い・協同の活動を地域で広めます。
- 「グリーンネットワーク活動(仮称)」＝緑を植え、育てるサークル＝の結成や市民まつりをはじめ、さまざまな地域イベント・行事への参画を進めます。
- ボランティア基金を設置し、市民のボランティア活動の輪を広げていきます。
- 新たな協同の広がりを目指してグループを抜本的に見直し、拡大します。
- 生協の活動により多くの男性組合員の参加を進めます。

『1995年度事業計画書』より

2 震災後の価値観の変化に対応して、くらしのあり方や生き方を見直し、人を大切にする新しいくらしづくりを進めます。

1. 戦後50年の私たちのくらしのあり方を見つめ直して21世紀への新しいくらしの価値づくりを進めます。

2. 震災による市民・組合員のくらしの復興にむけた支援活動を進めます。

3. 震災後の新たな価値観に基づく、選択幅の広い供給活動を進め、一人一人の確かなくらしづくりに貢献します。

4. 住まいの復旧など生活基盤の回復に貢献し、一人一人の人間らしい自立した生活づくりを進めます。

5. 「協同互助」の理念を普及し、共済事業の強化を進め、安心なくらしづくりを進めます。

6. 自然環境と資源を大切にする活動の輪を広げ、くらしの見直しを進めます。

7. 文化・芸術分野での新展開を進め、一人一人の個性ある、心豊かな生き方づくりに貢献します。

8. 生活者問題や社会問題への発信力を強め、生活者が安心できるくらしのあり方を追求します。

おもな取り組み内容

- くらしの見直し活動を一層進め、買物袋持参運動やリサイクルなど、環境保全運動に取り組みます。
- コープセンターなどを中心に、余暇・カルチャー分野の事業的活動を強めるとともに、組合員の自主的サークル活動を広げます。
- 福祉サークル等と新たなボランティア活動の連携を強めます。
- 震災後の価値観の変化に対応して、新たな視点でコープ商品を見直し、素直によさが実感できるコープ商品づくりを進めます。
- 「協同互助」の理念を普及し、共済加入者132,000件を目標に、取り組みを強めます。
- 自然環境との調和を重視した、健康的で省エネルギーのくらしを目指して、事業所の生ゴミ→堆肥→農産物→供給を一貫した資源環境事業の研究を進めます。

『1995年度事業計画書』より

3 事業の早期再建と、新しい生協運動づくりを進めます。

1. 21世紀の生協運動の基盤づくりにむけて、「愛と協同」の理念への確信を強めるとともに、新・協同組合原則の生協事業運営への反映を進めます。

2. 地区の機能強化を進め、組合員活動の自主・自立性と地域ニーズに対応した事業活動を強めます。

3. 供給事業所の再編と、供給事業システムの新たな構築やすべての業務の見直しなどを進め、再建に向け事業の早期黒字化を図ります。

4. 環境変化に対応し、組合員の要望に応えるために、的確・迅速な商品調達と商品開発を進めます。

5. 合併による兵庫県全域での活動展開を進めるとともに、競合や人口移動などに対応した地域ごとの事業活動を推進します。

6. 「Kネット協同連帯機構」など、近隣生協の連帯を強めるとともに、「COMO・Japan」への商品結集を高め、全国レベルでの生協の力量向上に貢献します。

7. 災害に強い、安全な事業所づくりを進めるとともに、危機管理対策を強めます。

8. 自らの生き方やくらしのあり方を見直し、新しい生協運動づくりに邁進する人づくりを進めます。

9. 経営再建と新しい生協運動づくりに向け、新たなパートナーシップに基づく労使の信頼関係を強めます。

・商品見直し活動、商品専門会議など、組合員の声を聞く

『1995年度事業計画書』より

組合員とともに再建を進めます

- 利用結集運動に取り組みます。
- 復興資金の協力をお願いしていきます。
  - 出資金増加
  - 復興債の募集
- 地域コープ委員会は、地域に広がるボランティア活動と融合して、自主・自立の活動を広めます。地区においては組合員活動の完結を目指します。
- コープくらしの情報センターの設置などを図り、より多くの組合員の参加と声を基本にした事業運営や組合員が参画する商品づくりなどを進めます。
- 合併による新コープこうべとして、県下全域への活動をスムーズに進めます。
- 事業所の統合や移転など再配置を進めます。
- 需要の変化に的確に対応した商品の調達・開発・品揃えを強めます。
- 第一線における事務作業などの大幅削減や本部サービス業務の集中化・効率化を進め、新しい事業システムを構築します。
- いつでも「組合員のために」の判断基準で行動できる実践教育を強めます。
- 「災害」に対する緊急対策マニュアルの整備や重要物の分散など危機管理の仕組みづくりを進めます。

・笑顔が戻ってきたさまざまの復興への催し（「ふれあい春市」より）

2.マネジメント改革のスタート

1995年度の事業計画と、復興に向けての中期目標を、以上のように述べてきたが、それを前期2年（1995～1996）、後期3年（1997～1999）に分けて遂行する計画である。この復興5ヵ年計画はそのための構想委員会を設置し、指針をつくり計画化される。これは、中・長期構想で2005年まで（10年間）を見据えたもので、すなわち21世紀はどんな世紀なのか、その時生協の役割は何か、などの検討が必要と考えられる。2000年という節目、コープこうべの創立80周年（2001年）という重要な期間に当たる。この委員会は95年10月に開始され、約1年がかりで構想される予定。

復旧・復興に向けて、さまざまな策が講ぜられたが、緊急対策本部や2月1日からの「コープこうべ復興会議」などの決定事項が緊迫した中にあっても功を奏し、立ち直りを一層早めることができたのは、一つには組合員をはじめ、行政、取引先などと綿密な信頼関係にあったことは言うまでもない。二つには理事会や役員の強力なリーダーシップが発揮されたからにほかならない。

その中で我々職員の意識改革こそが創造的復興をなし遂げる最大要因であることが強調された。

重要会議の都度発行された『トップコミュニケーション』から、主としてマネジメントに関するものを抽出した。ここに多くの教訓が含まれているからである。

【『トップコミュニケーション』は、コープこうべの職員向けに、増田大成専務理事（現副組合長）名で発行されたものである。要約、文責は編集担当】

副組合長理事　増田　大成

(1)復興とは、まったく新しいものを創造すること

復興は、同じ姿に戻すことではない。

TOP COMMUNICATION
Vol.2　'95年1月30日発行

今回震災では、全国の生協の仲間から物心両面にわたる多くの支援をいただいた。これらの応援に我々がどれほど支えられ、勇気づけられたことか。心の底から感謝したい。これまで我々は、どちらかというと支援する側だった。しかし今回、支援を受ける側の立場に立って、人の情けの温かさを心に染みて感じた。

我々は確かに施設や装備など多くのものを失った。しかし、本当に大切なものは失っていない。1万3,000人の職員は、コープこうべの最大の財産である。この職員がこれまで蓄えてきたノウハウとスキルはしっかりと残っている。これらのパワーと生協運動に携わる者としてスピリッツを燃え立たせれば、早期に復興できるのは間違いない。また、その決意を今こそ固めなければならない。

この出直しに際して我々が肝に命じなければいけないことは、これまでの旧態依然たるものの一切を壊さなければ、新しいものは築けないということだ。全職員が自分の中に残っている古いやり方を全て捨て去らない限り、新たな発展はないということをしっかり認識すべきである。復興というのは同じ姿に戻すことではない。山に登る道はひとつだけではないように、いろいろなアプローチの仕方があるはずだ。新しい発想と新しい行動こそが未来につながる道である。復興とはまったく新しいものを創造することだ。職員一人ひとりがこのことをしっかりと自覚して、それぞれの立場で、組合員のために何ができるか、あるいは何をしなければいけないかを考えなければならない。すなわち、今我々がやろうとしていることは、「創造的復興」である。

⑵人材育成が復興の鍵

“復興は人づくりから”を合い言葉に様々なマネジメント改革をはじめ、震災を契機に組織の一新を図り、新しい生協づくりをめざしている。

なぜ協同学苑に仮本部を設置したのか

TOP COMMUNICATION
Vol.3　'95年２月６日発行

コープこうべの74年間の歴史の中で、何度か大きな被害を受けたが、本部が住吉の地を離れたことは一度もなかった。２月１日、協同学苑に本部を移し、本格的な復興に向けての取り組みを開始した。

なぜ住吉から離れて本部を三木へ移したのか。それは協同学苑に適当な体育館があったからというような単純な理由からではない。これは、コープこうべの再興のエネルギーの根源は職員の力にかかっているからだ。知識、技術だけでなく協同の精神を身につけた全人格としての生協人がそれを成し遂げられるのである。人材の育成こそが再興の鍵を握っている。だからこそ、人材育成の場である協同学苑に本部を設置した。この協同学苑で我々に残された最大の財産である「人材」と「理念」にいちだんと磨きをかけて、さらに精錬された人間集団となって住吉に帰る。捲土重来、数年後には必ず、コープこうべ発祥の地、神戸住吉に本部を再建する。そして、その日のコープこうべはこれまでの延長線上に復元された古いコープこうべではない。まったく新しく生まれ変わったコープこうべである。我々はその大変革への道程の第１歩を今踏み出したのである。

新入職員入所式
'95年４月３日（協同学苑）

⑶21世紀に向けた新しい生協運動づくり

この焼け跡が我々の新たな出発点

TOP COMMUNICATION
Vol.4　'95年２月21日発行

悲惨きわまりない震災の状況の中でも、人々は助け合い、いたわり合って暮らしの立て直しをはかっている。全国からの熱い支援に支えられ、神戸は今、自分の力で廃墟の上に立ち上がろうとしている。つち音を響かせながら、復興への道のりを確実に歩みはじめている。

職員に激震地の跡を歩いて見てもらっている。須磨から西宮まで、焼け落ちた木材の

匂いが立て込める中を、実際に歩いて、自分の目でしっかりと見てほしい。その時はまだ息があったかも知れない人を閉じこめたまま炎に包まれた家屋の跡や瓦礫の山と化したビルディングなど、様々な光景を瞼の裏に焼き付けて、そして、そこで何かを感じとってほしい。何を見るか、何を感じるか、その人の眼力によるが、最低限、被災者と共感できる気持ちだけは持ってもらいたい。この焼け跡が我々職員の生協運動者としての原体験になるはずだ。今我々が何をしなければならないのか、何ができるのか、確信が持てるまで、焼け跡に立ち続け、歩き続けてほしい。

復興イベント「ふれあい春市」
'95年4月15日・16日
（西宮スタジアム）

これだけ多くのものを失うと、本当に大切なものは何かが見えてくる。今年はちょうど戦後50年。戦後の総決算の年ともいうべき大きな節目の年だった。これまでの繁栄がいかに脆いものであったか、また、助け合う心がいかに人間にとって大切なことであるのか、今回の地震の中で身に染みて感じさせられた。新しい暮らし、新しい生き方、そして明日の日本の社会のあり方が、この廃墟の中から生まれてくるだろう。そういった動きの真ん中に我々コープこうべが立たなければならない。

コープこうべにとっても、職員一人ひとりにとっても、今は生まれ変わりの絶好のチャンス。我々のからだに染みついた旧態依然たるものの一切を払拭しない限り、新しい生協はつくれない。断食したあとに、以前と同じものを食べていたのでは、もとの病気に戻るだけ。それまでの食生活の誤りを自覚して、これからは何を食べればよいのか、よく考えて健康体に戻していくことが大切。「創造的復興」とはそういうことである。コープ商品はゼロから作り直す。組合員活動のあり方も根本的に見直す。建物もただ建て直すだけでなく、生協の建物はどうあるべきか、しっかりとした考えを持ってすべきだ。21世紀に向けて、この神戸の地から新しい生協運動をつくりあげることが、全国の仲間からの支援に対する恩返しになる。我々が生まれ変わらなければ、その責任は果たせない。生協がやらなければどこがするのか、自分がやらなければ誰がするのか。復興の足どりではなく、みずからの足跡を刻んでほしい。

(4)新しい価値創造で

感動を呼び起こす事業と活動を

TOP COMMUNICATION
Vol.6　'95年3月24日発行

生協と量販店との違いは何か、このことを生協の事業と活動の内容を通して、明確に社会へ示さなければいけない。すなわち「生協的価値」を創造することである。

そのキーワードは2つ。1つは「福祉」だ。今被災地を覆っている圧倒的な雰囲気は「思いやり」と「助け合い」。今こそコープこうべが本気になって福祉のまちづくり、福祉的なくらしづくり、福祉的な生き方を作りだしていくべき時。たとえば地震で家や財産を失った高齢者にとって、再建は並大抵のことではない。戦後の焼け跡から出発し

て、30年40年苦労して築きあげてきたものを一瞬のうちに失った絶望感は計り知れないものがある。同じエリアで共に生きる者として、この人たちの問題を避けて通れば、コープこうべの存在意義はない。福祉的な事業をどこまで興していけるか、福祉的な活動や商品をどれだけ作って広げていけるか。これからのコープこうべの存在価値がここにかかっていると言っても過言ではない。

さらに大切なことは、職員自身がどこまで福祉的な人間になれるかだ。組合員との対応の中に、どれだけやさしさや思いやりがこもっているかが重要。事業内容を福祉の視点から組み立て直すのと同時に、職員の意識の変革も不可欠だ。ここに2つ目のキーワードの「人づくり」がある。職員の質そのもので他の量販店とは根本的に違うことを明確にしなければならない。人づくりの目標は創造的復興を情熱をもって推進する職員をいかに育てるかだ。求められるのは3つ。①生協人としての判断基準を持っていて、自分で考えて動ける人。②共感性の高い人。話し相手の中に入って、一体となってコミュニケーションできること。③新しい価値を創造できる人。既成観念に囚われず、柔軟な発想で新しいものを創造していくことができる人間がこれからの時代においては特に重要だ。

生協の店舗の隅々に生協らしい特色が充満し、建物や施設も弱者への配慮があり、デザインの文化性も高い。商品も他の量販店にはない新しい価値を実現したものがならんでいる。提供の仕方も違う。職員の対応も他とは全く違うと言うように、要するに店全体がことごとく他とは違っていなければならない。そのためには生協全体が大きく変わることが必要だ。

生協がつくりだす新しい価値、すなわち思いやり、やさしさが込められた商品やサービスや対応、店づくりが具体的に組合員の目に見え、耳に届き、そこで感動や喜びを呼び起こすような事業をつくらない限り、量販店との差別化はできない。新しい価値創造こそがコープこうべの創造的復興を支え、21世紀に継続して発展する生協をつくりだすのである。

(5)まずは仕事のスピードアップ

コープこうべのマネジメント改革が始まった

TOP COMMUNICATION
Vol.7 '95年4月15日発行

これまでのコープこうべのマネジメントスタイルは、問題の発見がまずあって、その問題を月単位で処理するというやり方を基本としてきた。しかし、今日の状況を考えると、問題発見ではなく、むしろ問題を創造していくことが必要なのであり、この問題を積極的、計画的かつスピーディーに解決していくことが求められている。そのためには、マネジメントのサイクルも月単位から週単位に転換していかなければならない。

震災から3ヵ月間、我々は目の前に山積する課題、次々と起こってくる問題の処理に追われてきた。だが、これまでのような問題処理型の方法を続けている段階はすでに終わっている。

ここで今一度、自分たちの仕事の仕方を反省する必要がある。我々のこの間の対応はどちらかといえば、粗雑に流れていなかったか。僥倖を実力と勘違いしたり、打った手の成果だと甘い自己評価をしていないか。ここを間違ったまますすむと危険なことにな

ってしまう。これから始まる本格的な「創造的復興」は、このような姿勢では成し遂げれない。新年度に入った今、大きな反省の上に立って、再度みずからの姿勢をただしていきたい。

問題処理型から問題創造型マネジメントへの転換というのは、日々発生する問題への対応にただ追われるのではなく、現在直面している状況や取りまく環境をしっかり見つめ、その中から我々の取り組むべき新たな課題を設定し、それに対して創造的に取り組んでいくことである。能動的かつ攻撃的に課題に挑戦していく気風だ。指示や命令を待つまでもなく、自発的、主導的に動く仕事集団に変わらなければいけない。

「PLAN・DO・SEE」のサイクルをマンスリーからウィークリーに変え、スピードを上げていくことが大切である。

「ふれあい春市」にて

(6)創造的復興完遂のために

95年度機構改革のめざすものは何か

TOP COMMUNICATION
Vol.9 '95年6月3日発行

今回の機構改革の意義を理解するうえで大切なことは、あくまでも1995年度の機構であって、1994年度でも1996年度でもないということ。すなわち1995年度にコープこうべは何をするのかという目的意識をしっかりと反映させた機構であることをまず理解すべきである。言うまでもなく、コープこうべの創造的復興をやり遂げるために組織された業務機構である。

機構改革の大きなポイントの1つ目は、理事長・組合長・副組合長の経営トップ体制、2専務制、役員を本部長とする本部制の継承など、理事会体制の変更。常任理事会一丸となってコープこうべの業務執行に大きな力を発揮できるようにしたいという意志の表明である。

2つ目は教育学習本部の設置。職員・組合員の教育に関しての責任と体制を具体的につくったということ。創造的復興は人づくりから始めると言ってきた。職員全員が徹底した学習をもう一度やり直すべきだと痛感している。現在 ICA において協同組合原則も改訂がすすめられているが、21世紀に向けてもう一度“協同組合とは何なのか”“我

々は何のために生協運動をやっているのか”と問い直す必要がある。組織全体と個人が自らのアイデンティティを深く問い直し、運動者としての信念に磨きをかけ直さなければいけない。技術についても同様である。そうでなければ、創造的復興は人づくりから始めるという決意は絵空事になってしまう。

３つ目のポイントは、商品部・事業部・地区本部の関係を思い切って改革をして整理をしたこと。簡単に言えば、商品本部は、商品を調達する・新しい商品を開発するという「商品力」を徹底して強化しようということだ。商品力こそ組合員満足にとって最大の武器である。事業本部は供給とオペレーション、すなわち供給ということについて最大の責任を持つ。事業本部に全責任を集中させた。これまで地区に配置していた事業統括部長も事業本部に移管した。

地区本部、店舗など第一線は何をするところか。こここそが組合員満足を実現させるところだ。いい商品を並べ、買いやすい売場をつくらなければ、組合員満足は実現できない。オペレーションの合理化をすすめて、可能なかぎり仕事のしやすい状況をつくらないと組合員満足につながらない。あるいは、職員への教育をすすめてサービスの向上につなげなければいけない。これらすべての取り組みが完結するのが店舗であり、協同購入センターである。

４つ目のポイントは、くらし創造本部の設置。組合員のくらしを立て直していくという、この任務を真正面に据えて名前をつけたのが、今回のくらし創造本部だ。

もう１つは、広報本部。今回の震災を機に、私たちの活動は単に組合員にとどまらず、地域社会や市民のところへと広がった。すなわち、生協がメンバーを越えた働きと影響力を持つようになったということ。そうなると、生協の広報活動の社会的責任はさらに大きくなる。私たちが考えていること、やろうとしていることをもっと社会に強くアピールして、生協のイメージづくりを図らなければいけない。広報機能の強化は今後さらに重要になるだろう。

機構というのは、そこで働く人間一人ひとりの動きによって大きく中身が変わってしまう。がんばる人は仕事をどんどんふくらませていくし、遠慮深い人は仕事をとられて存在感をうすくさせてしまう。人間が組織の質をつくる。辞令１枚１枚には相応の期待が込められている。しかし、期待以上の仕事ができるかどうかは、自分の目標をどこに設定するかによって決まる。目標を達成しようとする努力の過程でいろんなことができたり、自分自身が高まっていく。

'95年2月1日から協同学苑の体育館に移転した本部

3.広がる連帯の力

震災の教訓の一つとして、連帯、連携、ネットワークの重要性があげられる。全国生協の支援や協同組合間、取引先の応援などをはじめ、組合員間の助け合いに至るまで、協同の精神と連携の力がいかんなく発揮された。

(1)播磨生協との合併

播磨生協とコープこうべの合併談会

1995年4月1日、コープこうべと播磨生協が合併し、新生「コープこうべ」が誕生した。1988年から播磨生協への協同購入への支援として、協同購入システムやコープ商品の導入など開始した。1992年には、両生協間で事業連帯活動の強化が確認され、店舗運営、商品計画、組合員活動の交流などが話し合われ、合併への具体化が進んだ。そして1993年9月にオープンしたコープ赤穂では開店の計画段階から両生協が共同作業をはじめた。1994年には両生協で合併委員会が組織され、5月には通常総代会で承認され、11月の総会で合併が正式に決議された。

合併と同時期にコープこうべの事業エリア拡大が動きはじめ、丹波・但馬・淡路と県下一円に生協活動が紹介されることとなった。

『にじの友』1995年4月号

生協の合併とは人と人とが結びつき協力し合うことだ

「組合員のためにどうすれば役立つのかを考えて行動を」

コープこうべと播磨生協との間では、'88年から協同購入事業の支援、また'93年のコープ赤穂のオープンに際しての共同作業と商品や運営、組合員活動など、さまざまな分野で協力関係を築いてきた。昨年5月には、それぞれの通常総代で両生協の合併の方向を提案し、さらに秋には総会を開いて、合併について正式な承認をいただいた。そして、4月1日をもってコープこうべと播磨生協が合併した。

これで兵庫県全域で 550万の県民のだれもがどこででも同じようにコープこうべの活動に参加してもらえるようになった。もちろんそれだけ組合員の期待も大きくなってくる。それぞれが自分で地域社会と組合員のためにどのようにすれば役立つのかをしっかり踏まえて行動しなければならない。

もちろん生協の活動は規模だけで測れるものではない。しかし、生協は株式会社と異なり、単に生協と生協が合併するだけではない。もともと、生協は人と人が協同してできた組織であるから、合併することは人と人とが結びつき、協力し合うことでなければならない。

名称やシステムの運営などはコープこうべのものを引き継いだ形だが、今までと同じことをやっていては絶対にいけない。とくに今回の阪神大震災で多くのものを失ったが、これを機に新しいものを創造していこうとしている。今までとは違う“新生コープこう

べ”が誕生したことを認識すべきである。

「県内全域の組合員の声を集め豊かな地域社会づくりを」

合併によって、今まで別々になっていた事業の効率化が図れるとともに、兵庫県全域の組合員の声を集められ、商品の安心・安全はもとよりプライスリーダーとしての役割をより強化できる。

そして、このことによって組合員の経済的、文化的生活の向上をはかるとともに、心豊かな地域社会づくりにより大きく貢献できるのである。

例えば、取り扱う商品の量が増えることによって、コストが軽減され、物流などの効率化がすすみ、それが商品を安く供給できることになる。また、環境や福祉、生活文化など組合員の活動が社会的な地位を得ることで、より広がりができることになる。

兵庫県全域に生協運動と事業が広がり、「愛と協同」の社会づくりが実現できることとなる。

「組織が大きくなっても組合員とは身近な関係を」

現在、全国の生協でも、それぞれの地域において連帯、合併への歩みを進めている。長い不況と経済環境の変化のなか、事業的に必ずしも順調とはいえない生協もある。しかし、各生協ともそれぞれの地域社会と自らの組合員のために、どのようにすれば私たちは役立つか念頭において日毎励んでいる。この意識は非常に大切なことで、私たちも合併で大きくなっても決して忘れてはいけないことだ。

社会にはいろいろな問題が横たわっている。福祉、環境、さらに地域コミュニティーなどの問題は大きな課題として残されている。私たち生協が消費者、生活者の立場から何に力を入れてなすべきか抱えている課題はたいへん大きい。

経済や社会が大きく変化するなかで、今、協同組合にとって大切なことは合併はもとより協同と連帯のさらなる具体的な推進であると思う。

各生協が事業面で連帯、そして交流を深める、また合併するだけでは、この時代を切り開いていくことはできない。職員が組合員一人ひとりとの関係を充実させていく、これが前提にならなければ今回の合併が成功しないと思う。

新生コープこうべが21世紀へ向かって新しいスタートを切ったところだ。

（竹本成徳理事長インタビュー記事を要約。　文責：編集担当）

⑵ K ネット協同連帯機構（K ネット）の発足

近畿、中国、四国、東海の11生協による相互連帯である。

この目的は1)低価格、そして品質を追求した商品の開発と仕入

2)組合員に指示される高水準の店舗づくり

3)協同のメリットをさらに追求し、各加盟生協のレベルアップを目指す

などである。

“協同の力で組合員の豊かな暮らしづくりを実現”

4月1日の「Kネット」のスタートは、組合員の利益をより大きくするために、近隣の生協の仲間同士が力を合わせて、共同の事業をすすめようとしてつくった連帯の組織である。そうしたKネット設立の背景と意義について、Kネット代表幹事の増田大成専務理事（現副組合長）は語っている。

「変わってきた私たちの暮らし方」

「Kネット」設立の背景には、まず、私たちの暮らし方の変化がある。

生活者の生き方、暮らし方が、今大きく変わりつつあり、その要因としては、バブル経済の崩壊とその後の不況。また、今年は第2次世界大戦後50年という節目だということ。終戦から立ち上がり経済成長期を経て今日に至っているが、私たちは、この50年間の暮らしの洗い直しを行っているのではないか。「本当の豊かさとは何か」を問い直し、とくに心の豊かさや福祉、環境について、かつてない問題意識と関心が持たれている。

今回の大きな震災で私たちは非常に多くのものを失った。失うという悲痛な体験を通して、一方では、本当に大切なものと、そうでないものがよく分かるようになってきている。

「組合員の望んでいることを実現」

こういった組合員の暮らしと意識の変化に、十分こたえられる商品づくりと供給活動を生協は行っていかなければならない。

また、これらを組合員の立場からつくりあげていくことが生協の大事な役割であり使命だ。組合員の「代理」として、組合員の望む商品や供給活動をつくり出していくことが、生協の本来のあり方だからである。

Kネットの加盟生協には、まだ店舗を十分に展開できないところもあり、「協同購入だけでは不便なので、店舗がほしい」という組合員の要望は強まってきている。そこで、加盟生協がそれぞれの力をさらに高めることによって、店舗開発の可能性が大きくなる。商品の仕入や開発を行う場合も個々の生協がそれぞれに行うより、お互い力を合わせれば、より組合員の望む商品をつくり上げていくことができるようになるなど、さまざまな分野で“協同の力”の発揮が可能となる。

「生協を取り巻く流通戦争の激化」

Kネット設立の2つめの背景は生協を取り巻く競合の激化である。大手の流通資本はもちろん、最近では地方のスーパーが勢力範囲を拡大し、大手流通に勝るとも劣らない強敵となっている。

また、規制緩和のなかで、流通業界は新しい業態の開発を行い、激しい出店競争を行っている。各地の生協は、これらのスーパーと真っ正面からぶつかり合っているが、厳しい流通戦争のなかで勝ち抜いていかねば、生協運動が後退してしまうだろう。そこで、

各生協では危機感が高まり、近隣の生協が力を合わせようということになった。

「全国ですすむ生協同士の連帯」

ここ数年間で全国の生協が地方ごとに連帯をすすめてきているという点である。

市民生協の多くは、創立以来20年から30年の歴史を刻み、飛躍的に発展してきた。21世紀に向けても、その歩みをゆるめることなく、組合員の暮らしの向上に貢献し続けなければならない。そこで、北関東、東海、九州といった地方ごとに近隣の生協による事業の連帯がすすんできている。今回のKネットでは、1生協1都道府県内の事業活動の枠を超え、近隣の生協同士の相互連帯を実現していく覚悟である。

文責：編集担当

4.被災者や組合員のために

組合員の自主的なさまざまなボランティア活動とともに、コープこうべとしても、多くの活動を展開した。緊急物資の提供、配送をはじめ、炊き出し、風呂の解放（ふるさと村と協同学苑）、避難所・仮設住宅の訪問（協同購入センターや新入職員）、避難場所や遺体安置所、仮設住宅受付所、案内所、罹災証明発行、解体申込場所として行政等に施設の提供をした。また用地の貸与（生活文化センターやシーア駐車場など）の他、各事業所ごとのボランティア活動や救援活動は数えきれない。その他、少しでも「まち」をきれいにしようとクリーン活動を展開、そしてコンサートやイベントなど数多くの取り組みが繰り広げられた。

以下そのいくつかを機関紙『きょうどう』で紹介します。

'95年3月7日号

被災地救援に広がるボランティアの輪

地域の実情にあわせた活動を行なう

阪神・淡路大震災による大きな被害に対して、さまざまな支援活動が広がりを見せています。「何か被災者のためにお手伝いをしたい」と、震災直後から炊き出しや救援募金など、組合員の自主的な救援活動が各地に生まれました。

被災地では、避難生活が長引くにつれ、地域に根ざした、地元のボランティアが求められてきます。このようなボランティア活動を支援するために、コープこうべでは八つの地区にボランティアセンターを設置、ボランティアと望まれる支援内容とのコーディネートを始めました。

各センターには、連日「ボランティアをします」という電話が殺到。二月十八日現在、兵庫県内を中心に、関西一円から合わせて千百人を超える人が登録し、活動を始めています。各センターでは今後も、在宅している方に困っていることをうかがう地域訪問など、より地域の実情に合わせた救援活動をしていく計画です。

現在、「資格や技術を生かしてこんな活動ができる」など、ボランティアに参加してくださる方を募集しています。また、「こんなことをしてほしい」という声もお寄せください。

▽問い合わせ＝お近くのコープボランティアセンターへ。

▽受け付け＝各センターとも、月曜日～土曜日の十時～十六時。（コープボランティア本部は九時～十七時）

震災後、組合員の自主的な救援活動が各地域に生まれ、コープボランティアセンターが活動を開始しました

センター名	対象地域	TEL
宝塚ボランティアセンター	川西市　宝塚市 猪名川町　西宮北部	0797(77)5688
塚口ボランティアセンター	伊丹市　尼崎市	06(429)2411
西宮ボランティアセンター	西宮市	0798(67)8927
住吉ボランティアセンター	兵庫市　東灘区 灘区	078(451)4724
神戸北ボランティアセンター	北区　三木市 加西市 その周辺の地域	078(583)8140
兵庫ボランティアセンター	中央区　兵庫区 長田区　須磨区	078(577)2973
明石ボランティアセンター	垂水区　西区 明石市	078(914)2039
姫路ボランティアセンター	加古川市 姫路市および その周辺の地域	0792(22)2293
コープボランティア本部	その他の地域	☎0120-44-5700

問い合わせは、お近くのセンターへ。受け付けは各センターとも、月曜日～土曜日の10時～16時。（コープボランティア本部は9時～17時）

避難所での炊き出しと被災地の総訪問

2日間で約700人が活動

熱々の豚汁千700食と新鮮な野菜サラダ300食を準備（須磨区の板宿小学校で）

二月十六日と十九日の二日間、兵庫コープボランティアセンターの呼びかけで、地域を一軒一軒訪ねて歩き第五、第六、第八地区の組合員と職員約七百人が避難所である須磨区内の小学校の校庭で炊き出しをし、須磨、兵庫、長田区の総訪問をしました。メンバーはちばったコンクリート片の除去や家の中の片づけ、マンションの四階までの水運びなど、すぐできる手伝いなどをするとともに、大きな力が必要なガレキの撤去など意見や要望を聞きました。

十六日の板宿小学校では、炊き出し班が千七百食分の豚汁や、その場で刻んだ新鮮なサラダ三百食を手際良く準備。寒空の下、避難している人々に喜ばれました。

総訪問班は三人ずつに分かれて、地図を片手に分担エリアを一軒一軒訪ねて歩きました。メンバーはちばったコンクリート片の除去や家の中の片づけ、マンションの四階までの水運びなど、すぐできる手伝いなどをするとともに、大きな力が必要なガレキの撤去など要望を聞き取りました。

参加者からは「私たちにできることがあれば、もっとお手伝いしたい」という感想が聞かれました。

'95年４月18日号

街とくらしの復興をめざして

思いやりと助け合いにささえられた心豊かな街に

コープこうべでは、「私たちの街、私たちの力」というメッセージを掲げて、くらしの復興に取り組みます。さらに、人々がお互いに思い合い、助け合うような街づくりをめざして、各地でふれあいの場をつくるなど、心の復興をはかるさまざまな活動を展開します。

地域住民など約３万人が参加し、にぎわった「ふれあい市民の集い」（須磨海岸で）

須磨で「ふれあい市民の集い」

三月二十五日、須磨海岸で、「明るく元気に共に助け合おう！　ふれあい市民の集い」（主催・コープこうべ）が開かれました。当日は、地域住民など約三万人が参加しました。

「全国うまいもの市」として、四月一日発足の「Kネット協同連帯機構」に参加の近隣八生協が各地の名産品の屋台を出店。生協ひろしまの広島焼やコープしがの陶器市などには大きな人垣が。ヨーヨーつりや金魚すくいなどの縁日大会が子どもたちの人気を集めました。

また、各種模擬店やもちつき大会、リサイクルバザーやステージでのビンゴゲームや劇団による公演も。劇や踊りなどで、楽しいひとときをすごしました。

終了後は、全員で須磨海岸を清掃しました。参加した組合員からは、「全国から生協の仲間がやってきて元気づけられた」「讃岐うどんなど名物を食べて、体も心も温まった」などの感想が聞かれました。

各地でボランティアコンサートを開く

バイオリニスト・辻久子さんもボランティアで公演（生活文化センターで）

コープこうべでは二月から三月にかけて各地で「復興へのボランティアコンサート」を開催しました。

プロの劇団や音楽家の協力で、被害の激しかった地域を中心に、公演。秋田の歌舞団「わらび座」は二月中旬からのべ八日間、長田区や須磨区、西宮市、淡路島の避難所などで、たいこや踊りで被災地の人々を激励しました。

また、東灘区の生活文化センターでは、シャンソンやオペラ、ピアノやバイオリンの演奏など、さまざまな分野のコンサートを開催。満員の参加者たちは楽しいひとときをすごしました。

これらの公演は、のべ六十回に（三月末現在）。コープこうべでは、この活動をさらにすすめる計画です。

'95年５月16日号

街とくらしの復興をめざして

新しい「扶け合い」「協同」のまちづくりをすすめます

震災から三カ月が経過し、被災地ではガス、水道、電気の復旧などの緊急支援から、日常生活を取りもどすための長期的な活動が求められています。コープこうべでは、「私たちの街、私たちの力」というメッセージを掲げて、ふれあいの場をつくり心の復興をはかるさまざまな活動を各地で展開します。

特設ステージでは、ミニコンサートなどの催しも（阪急西宮スタジアムで）

西宮で復興イベント　10万5千人でにぎわう

四月十五、十六日の二日間、「街と暮らしの復興・ふれあい春市」（主催・コープこうべ、阪急電鉄）が阪急西宮スタジアム（西宮市）で開かれ、約十万五千人の市民が参加しました。

二日間で千人を超えるボランティアが、会場整理などで活躍。三カ所に設けられたステージでは、アグネス・チャンのミニコンサートや、元宝塚スター・大浦みずきさんの歌とサイン会などの催しが行なわれました。近隣の十二生協や第三地区（西宮市）内を中心とした各コープ委員会が、屋台を出店。野菜や魚を産地から直送した「とれとれ産直市」や各地の名産品を集めた「ふるさと味自慢」のコーナーには長い行列が。

また、スタンプラリーやサッカー教室なども行なわれ、子どもたちの人気を集めました。参加した組合員からは、「久しぶりに家族で楽しむことができた」などの感想も聞かれました。

なお、組合員のみなさんに協力いただいたチャリティーバザーの売上金額と出店参加者の売上金の一部を合わせた約二百三十九万円を、災害復興の義援金とさせていただきます。

私たちの街を美しく　クリーン作戦に500人

四月二十二日から二十七日にかけて、芦屋、住吉、六甲道、兵庫、新長田のJR駅周辺で「街を美しくしようと、コープボランティア本部が参加を呼び掛けたもの。

参加者たちは、五、六人に分かれて、空き缶や紙くずなどを拾ってまわりました。

作業後、「ごくろうさま」と声をかけてもらってうれしかった」「これからもできることがあれば、お手伝いしたい」などの感想が聞かれました。

空き缶などでポリ袋はすぐいっぱいに

'95年6月6日号

全国の生協からの義援金9億円を兵庫県災害対策本部に贈呈

貝原知事に手渡される義援金

五月十二日、兵庫県庁で全国の生協から寄せられた阪神・淡路大震災の義援金が、兵庫県災害対策本部に贈呈されました。

全国の二百八十七生協・団体・個人から四月三十日までに寄せられた義援金は十一億二千七百九万二千九百七十三円。そのうち九億二千七百九万二千九百七十三円を兵庫県に贈呈しました。

募金した組合員を代表して阿部よし子さん(コープかながわ理事)、沼倉優子さん(みやぎ生協理事)、谷美代子さん(おおさかパルコープ副理事長)など生協から十二人が列席し、竹本成徳日本生協連会長(コープこうべ理事長)から貝原俊民兵庫県知事に目録が手渡されました。貝原知事からは、「被災者のために有効に使っていきたい」と謝意が述べられました。

なお、残りの二億円については、大阪府と全国社会福祉協議会にそれぞれ一億円贈呈しました。

ボランティア公演 3カ月で90回を超える開催

「春のふれあいコンサート」でクラシックを演奏

少しでも心の復興に役立てば、ということで「ボランティア公演」が各コープセンターや生活文化センター、シーアで行なわれました。内容は、健康相談からコンサート、人形劇など多種多様。地域の組合員に喜ばれてきました。

五月十四日、西宮北口コープセンターで「春のふれあいコンサート」を開催、約百二十人の組合員が参加しました。フルート、ギターによるクラシック演奏のほか、モダンフォークトリオがフォークを熱唱。当日、会場ではボランティアによるおでんの炊き出しもあり、参加者に好評でした。

また、生活文化センターとシーアカルチャープラザでは、被災のため定期講座が中断。六月の開講まで、ボランティア公演を実施しました。生活文化センターでは、三月七日の「気功健康法入門講座」から四十八回の公演をしました。また、シーアカルチャープラザでは三月十九日の「絵を描いて楽しもう」から五月いっぱいまでに四十四回の公演を行ないました。

参加費は無料。いずれも公演者や講師の好意によって実施できたものです。

'95年8月15日号

特別養護老人ホーム「協同の苑六甲アイランド」が開設

七月二十八日、東灘区向洋町に特別養護老人ホーム「協同の苑六甲アイランド」が竣工し、八月一日に施設認可されました。

社会福祉法人「協同の苑」は、コープこうべの支援のもと、九三年に設立され、「愛と協同」の精神を大切に、助け合いの社会の実現のための第一歩として六甲アイランドに、特別養護老人ホームの建設をすすめてきました。ホームは十四階建ての一、二階部分を占め、三千五百㎡の広さ。一階は居室が七室、リハビリ室、浴室などを設置、二階は居室が二十室、デイルーム兼食堂、浴室などを備えています。

特別養護老人ホーム(定員六十人)、ショートステイ(定員二十人)、デイサービス(定員一日二十人)を社会福祉事業として活動します。

(詳しい内容は、『きょうどう』九月一週号に掲載します)

'95年9月5日号

合唱に平和への願いをたくして「平和と復興のつどい」に1,200人

八月四日、親和学園(灘区)で「平和と復興のつどい」を開催、組合員など約千二百人が参加しました。

紙ふうせんによる「平和・復興のコンサート」に続き、竹本成徳コープこうべ理事長が「二度地獄を見た・ヒロシマとコウベを体験して」と題して講演。また、関東地区の生協組合員親子による「平和へのメッセージ」を力強く読み上げました。

最後に、同つどいの実行委員の藤田智子さんが「平和への思いがコウベから世界へ広がっていくことを願う」と「平和へのメッセージ」を力強く読み上げました。

広島・長崎平和の旅に148人が参加

今年は被爆五十年、コープこうべの組合員親子百四十八人が、広島と長崎の平和の旅に参加し、平和への願いを新たにしました。

広島へは八月五、六日に百十九人が参加。原爆資料館見学のあと全国の組合員がつどう「'95ヒロシマ虹のひろば」に参加しました。

翌六日朝には、広島平和公園で行なわれた、広島市主催の第五十回平和記念式典に参加。午前八時十五分の「平和の鐘」の音を合図に参加者全員が黙とうを捧げました。

その後、公園内の「原爆の子の像」や「教師と子どもの碑」などの慰霊碑をめぐり、二度と戦争が起きないようにとの思いを強くしました。

また、八月八、九日に組合員親子二十九人が長崎平和の旅に参加しました。日赤長崎原爆病院を訪問し被爆者を見舞いました。長崎市民会館体育館で開催の「'95ナガサキ虹のひろば」に参加。九日には、平和公園で原爆資料館を見学し平和記念式典に参加しました。

'95年11月7日号

コープミニポートアイランドが開店、コープ横尾、コープ浜芦屋が改築オープン

仮設住宅の中に開店したコープミニポートアイランド

コープ横尾は駅前ショッピングセンターの核店舗として開店

旧店舗の南東400メートルに改築オープンしたコープ浜芦屋

九月三十日、コープミニポートアイランドが開店しました。この店舗は、阪神大震災で被災しポートアイランド内の仮設住宅に入居中の組合員のみなさんの生活をささえるため、第二期埋立地に開設。同地には千九百六十戸の仮設住宅が建設されていますが、近隣に店舗がなく、不便な状況にあり、組合員から出店の要望がありました。開店当日は千七百人を超える来店があり、食品のほか布団やミニ観葉植物などが好評でした。

また、十月六日、地下鉄妙法寺駅前(須磨区)に建設がすすめられていたショッピングセンター「リファーレ横尾」の核店舗としてコープ横尾が改築オープンしました。生鮮をはじめ食品売り場を強化、生活に必要な日用品や衣料の品ぞろえを充実させました。売り場面積もこれまでの仮設店舗の約四倍(三千二十四平方メートル)になりました。開店日には、約一万三千人の来店があり、「楽しい買い物ができる」との声が組合員から寄せられました。

なお、コープミニ妙法寺、コープパークヒルズは、コープ横尾の増床改築オープンに伴い退店しました。

震災で全壊し、組合員集会室敷地で仮設店舗として営業していたコープ浜芦屋は、十月十二日に芦屋市呉川町に売り場面積を拡大し(八百三十七平方メートル)移転オープンしました。旧店舗用地(伊勢町)は芦屋市に貸与し、仮設住宅用地として利用されています。

所在地

◇コープミニポートアイランド
神戸市中央区港島南町1の1

◇コープ横尾
神戸市須磨区横尾1の5

◇コープ浜芦屋
芦屋市呉川町16の76の2

コープこうべの主な行事

2月	2／1 生協本部、協同学苑に移転 「コープこうべ災害復興会議」の設置	2／1 コープベルを開設 2／3 CM 桜口オープン 2／6 コープボランティア本部設置 2／24 コープボランティアセンター始動		
3月	3／4 合同慰霊祭(生文 C) 3／23 「K ネット」創立総会	3／1 協同信用㈱ 事務所移転 3／1 DAYS 西宮フルオープン 3／3 C 苦楽園フルオープン 3／10 C 北口フルオープン 3／17 DAYS 芦屋フルオープン 3／21 C 舞子仮設店オープン 3／31 C 六甲分店の C 将軍オープン	3／6 コモテック・コウベの修講式と第四期開講式 24生協46名参加。3 期生33名を加え79名(協同学苑) 3／31 「兵庫県環境やさしい事業者賞」を旧・播磨生協受賞 3／7 協同購入が従来のシステムにもどる (配布のメームから)	3／25 「ふれあい市民の集い」須磨海岸　3 万人参加 3／28〜3／29 「コープ知ってる会」アワーズ(相生市)
4月	4／1 播磨生協と合併 4／1 「K ネット」スタート 4／1 '95年度事業計画会議 4／3 1995年度入所式(114人入所)(協同学苑)	4／1 シーア全館オープン 4／7 C 甲南フルオープン 4／7 C 渦森台仮設店オープン 4／9 C 須磨仮設店オープン 4／1 KC 統合(西宮・西宮北) 4／26 CLC 甲南仮設店舗で営業開始 4／28 C 仁川従来の場所で営業開始	4／5 「広がる仲間・希望の集い」合併記念(相生市民会館) 4／15〜4／27 地区別総代会議(第 6 地区皮切り) 4／22 賀川豊彦召天35周年墓前集会(舞子墓園の賀川記念納骨堂) 4／22〜27 「街を美しくするクリーン大作戦」 4／27 「県民のつどい」でボランティア活動紹介(兵庫県公館)	4／15〜4／16 「街と暮らしの復興・ふれあい春市」(コープこうべ・阪急電鉄) 10万 5 千人参加
5月	阪神友愛食品㈱入所式 15人(能力開発 C)		5 月上旬 「ボランティアコンサート」地区中心 5／25 「第12回コープこうべくらしの	5／7 「れんげまつり」西区神出町 5／10 「コープミニメイトマネジャー研修」(生文 C)165人全員参加

5月	コープ委員会が発足（合計106地域・C委員2,929人　淡路地域2懇談会） 5／12 阪神・淡路大震災義援金（9億2,709万円）を贈呈（兵庫県庁）		助け合いの会総会」（生文C） 5／27 仮設住宅一斉訪問（KC職員とボランティア） 5／11 兵庫県生協連第45回通常総会（兵庫県民会館） 5／25 生活フォーラム「研究的視点でくらしを観る」（生協研究機構主催） 5／26 協同組合原則改訂問題講演会（生協研究機構主催）	5／16 テーマ「復興計画と住まい・まちづくり」勉強会 5／21 「まちとむらの交流プラン」（千種町） 5／28 「六甲アイランド復興イベント」 5／27～5／28 相生ペーロン祭
6月	6／9 第75期通常総代会（神戸市中央体育館） 総代総数960／980参加 6／12 高村勘名誉理事長顧問アルビン・ヨハンソン賞受賞	6／9 C御影北本仮設としてオープン 6／13 健保会館竣工（旧研修センター）	6／1 「買い物袋再利用運動」環境月間　コープのポリ袋有料化 6／27～7／22 組合債（復興債）募集 6／10 「コープグリーンネット」宝塚コープセンターが誕生 6/17　明石コープセンター 7/5　神戸中コープセンター	
7月		7／5 CM東舞子フルオープン	7／1 PL法施行 7／7 国際協同組合デー・兵庫県記念大会	7／29～7／30 「ふれあい夏祭」10万人参加（コープこうべ・阪急電鉄）
8月		8／1 「協同の苑六甲アイランド」施設認可		8／4 平和のつどい「平和・復興のコンサート」
9月		9／7 CM川面オープン 9／22 DAYS相生オープン 9／29 C三田西オープン 9／30 CMポートアイランド開店	9／20～23 ICA創立100周年記念大会（マンチェスター）	
10月	10／1 兵庫県生協大会（神戸文化会館）	10／6 C横尾オープン 10／12 C浜芦屋オープン 10／20 クレリ案内センター移転	10／27 リサイクル推進功労者の表彰式（コープこうべは通商産業大臣賞受賞）	10／22 「赤とんぼの里コンサート」

資料編

もくじ

資料編１.震災後の店舗営業状況('95年1月17日～28日) …… 86
資料編２.協同購入センター訪問状況表 …… 88
資料編３.コープこうべ関連会社の被災状況 …… 89
資料編４.分野別震災体験報告(一例) …… 90
資料編５.店長日誌(コープデイズ芦屋) …… 124
資料編６.私の震災体験と教訓 …… 131

資料編７.全国の生協からの支援・援助内容 …… 143
資料編８.コモテック研修生・阪神大震災体験レポート …… 145
資料編９.神戸市との「緊急時における生活物資確保に関する協定」…… 156
資料編10.コープこうべ機関紙『きょうどう』臨時号 …… 161
資料編11.『にじの友』臨時号 …… 169
資料編12.『運営通信』臨時号 …… 177
資料編13.「コープこうべ写真ニュース」…… 182
資料編14.「コープこうべボランティアニュース」…… 186
資料編15.1995年度 新入職員研修プログラム …… 189
資料編16.自分の足で被災地を歩こう …… 190
資料編17.協同購入用週間商品情報紙「めーむ」…… 191
資料編18.店舗用新聞折込チラシ …… 204

資料編19.新聞報道 …… 220
資料編20.阪神・淡路大震災の主な被害の概要と交通規制 …… 234
資料編21.兵庫県下生協の被害状況一覧 …… 242

資料編22.兵庫県広報課「震災ニュース」…… 245
資料編23.神戸市災害対策本部「こうべ地震災害対策広報」…… 247
資料編24.神戸市災害対策本部・広報「こうべ」…… 248
資料編25.神戸市住宅局・都市計画局「震災復興まちづくりニュース」…… 252
資料編26.西宮市災害対策本部「地震災害広報」…… 257
資料編27.芦屋市災害対策本部「地震災害情報」…… 263
資料編28.阪神・淡路大震災関連図書(コープこうべ・震災記録室保有分)…… 269

資料編　震災後の店舗営業状況（'95年1月17日～28日）

◎フルオープン　△店頭供給
○セミオープン　×供給不能

＜コープ＞

店名	1月17日	1月18日	1月19日	1月20日	1月21日	1月22日	1月23日	1月24日	1月25日	1月26日	1月27日	1月28日
本山	×	△	△	△	△	△	△	△	◎	◎	◎	◎
川仁	×	○	○	△	×	△	△	△	△	△	△	△
塚宝	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
ふ台	×	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
中山	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
うねの	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
安倉	×	△	△	△	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
猪名川	◎	◎	定休日	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
けき	○	◎	定休日	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
伊丹	◎	◎	×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
こや	×	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
野間	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
武庫之荘	×	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
塚口	×	○	○	○	△	△	△	△	△	◎	◎	◎
園田	×	○	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
立花	△	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
大庄	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎
苦楽園	×	○	○	△	△	△	△	△	◎	◎	◎	◎
夙川	×	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
香櫨園	△	△	△	△	△	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎
甲子園口	×	×	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
浜甲子園	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
甲子園口	△	△	△	△	×	△	△	○	△	△	○	○
北口	×	○	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△
甲東園	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
甲子園中	×	○	○	○	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎
浜甲子園団地	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
武庫川	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
甲陽園	×	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
岡本	△	○	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
甲南	△	×	×	×	×	△	△	△	△	△	△	△
深江	×	△	△	△	△	△	△	△	○	○	○	◎
渦森台	×	×	×	×	×	△	△	△	△	△	×	×
浜芦屋	×	×	×	×	×	△	△	△	△	△	×	×
打出浜	×	×	△	△	△	△	△	△	△	○	◎	◎
R甲南	×	×	×	△	△	○	○	○	◎	◎	◎	◎
鶴甲北	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
御影	×	×	×	△	△	△	△	△	△	△	△	△
摩耶	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
六甲台	×	×	×	×	△	△	△	△	△	△	△	△
六甲	×	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
か有野	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
ら有野	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
東有野台	×	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
北和台	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
鈴蘭台東	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
北鈴蘭台	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
西鈴蘭台	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
桜が丘	×	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
三木緑が丘	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
月志染台	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
鈴蘭台	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
白川	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
須磨	×	△	×	×	△	△	△	△	△	△	△	△
北須磨	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
横尾	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
丸山	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
長田	△	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
サンパル	△	△	△	△	△	△	△	△	◎	◎	◎	◎
青谷	×	×	○	○	△	△	△	△	◎	◎	◎	◎
山手	×	○	○	○	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎
パークヒルズ	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×
大久保台	×	○	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
桃山	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
西神田	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
福屋台	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
塩神陵台	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
舞子	△	◎	△	△	×	×	×	×	×	×	×	×

◎フルオープン　△店頭供給
○セミオープン　×供給不能

<コープ>

店名	1月17日	1月18日	1月19日	1月20日	1月21日	1月22日	1月23日	1月24日	1月25日	1月26日	1月27日	1月28日
朝霧	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
垂水東	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
新多聞	△	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
高丸	△	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
西明石	×	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
大蔵谷	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
魚住	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
稲美	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
東加古川	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
神吉	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
高砂	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
姫路田寺	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
姫路白浜	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
桜塚	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
東豊中	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	定休日	◎	◎
緑が丘	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
箕面	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
吹田	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
新光風台	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
泉が丘	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
千里が丘	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
高槻	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
島本	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

<大型店>

店名	1月17日	1月18日	1月19日	1月20日	1月21日	1月22日	1月23日	1月24日	1月25日	1月26日	1月27日	1月28日
シーア	×	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○
デイズ神戸西	定休日	○	○	○	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎
デイズ芦屋	×	△	△	△	○	○	○	○	◎	○	○	○
デイズ神戸北町	定休日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	◎
デイズ西神南	定休日	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
デイズ西宮	×	△	△	△	△	△	△	△	△	△	○	○

<HC. CLC >

店名	1月17日	1月18日	1月19日	1月20日	1月21日	1月22日	1月23日	1月24日	1月25日	1月26日	1月27日	1月28日
HC播磨	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
HC北六甲	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
CLC北須磨	×	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
CLC甲南	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
CLC伊丹	×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

※フルオープン：全フロアがオープンしているという意味（品ぞろえがフルではない）
セミオープン：1階または食品フロアのみの営業
店頭供給：店頭または駐車場での営業

<コープミニの営業状況>

	1月17日	1月18日	1月19日	1月20日	1月21日	1月22日	1月23日	1月24日	1月25日	1月26日	1月27日	1月28日
通常営業店舗数	42	55	55	55	57	52	57	57	58	58	58	58
店頭供給店舗数	2	2	2	3	1	6	1	1	0	0	0	0
完全休業店舗数	16	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2
合計店舗数	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60

	1月29日	1月30日	1月31日	2月1日	2月2日	2月3日
通常営業店舗数	58	58	58	58	59	60
店頭供給店舗数	0	0	0	0	0	0
完全休業店舗数	2	2	2	2	1	0
合計店舗数	60	60	60	60	60	60

※2／2住吉台・2／3桜口開店、全店開店

	'94/12末 訪問軒数	'95/1末 訪問軒数	2月末 訪問軒数	3月末 訪問軒数	4月1日 西播磨含む	4月末 訪問軒数	5月末 訪問軒数	6月末 訪問軒数	7月末 訪問軒数	8月末 訪問軒数	9月末 訪問軒数	10月末 訪問軒数	11月11日 訪問軒数	前月差	94年 12月差	3月末差	廻り別訪問状況				
																	A廻り	B廻り	C廻り	D廻り	F廻り
西宮	30,542	18,372	20,148	22,712	22,712	23,505	24,116	24,232	25,144	24,275	24,751	24,644	24,543	-101	-5,999	1,831	5,320	5,823	5,626	5,320	2,454
神戸東	42,135	18,535	22,349	27,059	27,059	27,825	28,259	28,721	29,815	29,549	29,053	29,177	28,803	-374	-13,332	1,744	6,473	6,551	6,217	6,616	2,946
鈴蘭台	20,642	17,745	17,745	18,263	18,263	18,450	18,575	18,794	18,776	18,782	18,977	18,945	18,948	3	-1,694	685	4,120	4,277	4,202	4,326	2,023
須磨	16,518	11,997	12,413	12,875	12,875	13,767	13,978	14,060	14,293	14,323	14,477	14,583	14,611	28	-1,907	1,736	3,322	3,280	3,406	3,208	1,395
計	109,837	66,649	72,655	80,909	80,909	83,547	84,928	85,807	88,028	86,929	87,258	87,349	86,905	-444	-22,932	5,996	19,235	19,931	19,451	19,470	8,818
宝塚	18,735	15,565	16,029	16,062	16,062	17,048	17,338	17,292	17,265	17,430	17,343	17,410	17,414	4	-1,321	1,352	3,797	4,011	4,246	3,884	1,476
川西	17,059	17,065	16,970	17,024	17,024	16,727	16,758	16,777	16,880	16,858	16,841	16,912	16,917	5	-142	-107	3,819	3,943	3,994	3,865	1,296
伊丹	17,397	16,021	16,057	16,233	16,233	16,708	16,632	16,817	16,797	16,678	16,975	16,959	16,986	27	-411	753	3,814	3,940	3,997	3,850	1,385
尼崎	18,261	17,300	17,355	17,100	17,100	17,028	17,564	17,526	17,465	17,473	17,459	17,447	17,453	6	-808	353	3,738	3,813	3,842	4,287	1,773
北神	8,544	8,544	8,501	8,337	8,337	8,613	8,971	9,005	9,091	9,105	9,031	9,077	9,076	-1	532	739	2,057	2,176	2,031	2,161	651
三木	23,591	23,571	23,442	21,884	21,884	22,169	22,319	22,362	22,636	22,763	22,952	23,036	23,034	-2	-557	1,150	5,150	5,284	5,384	5,214	2,002
丹波	12,294	12,359	12,341	12,458	12,458	12,416	12,502	12,748	13,100	13,344	13,566	13,834	13,893	59	1,599	1,435	3,011	3,296	3,376	3,250	960
垂水	16,580	14,008	15,283	15,624	15,624	15,394	15,729	15,737	15,724	15,796	15,740	15,674	15,701	27	-879	77	3,621	3,488	3,933	3,322	1,337
明石	29,378	27,552	27,653	28,157	28,157	28,613	29,121	29,136	29,675	29,576	29,981	29,710	29,739	29	361	1,582	6,764	6,919	7,063	6,710	2,283
加古川	24,830	24,012	24,012	24,366	24,366	24,457	23,886	23,865	24,078	24,312	24,452	24,566	24,482	-84	-348	116	5,473	5,623	5,624	5,481	2,281
姫路	20,682	20,682	20,670	20,096	20,096	20,205	20,443	20,475	20,437	20,699	20,883	20,831	20,828	-3	146	732	4,901	4,707	4,744	4,758	1,718
姫路西	19,091	19,091	19,082	18,611	18,611	18,561	18,538	18,747	18,835	18,892	18,875	18,906	18,935	29	-156	324	4,386	4,299	4,379	4,385	1,486
但馬	6,241	6,283	6,309	6,500	6,500	6,749	7,159	7,504	7,768	7,929	8,245	8,472	8,512	40	2,271	2,012	1,921	2,020	1,984	2,149	438
淡路	3,665	3,678	3,656	3,869	3,869	4,131	4,353	4,618	4,905	5,049	5,242	5,528	5,584	56	1,919	1,715	1,234	1,400	1,165	1,392	393
計	236,348	225,731	227,360	226,321	226,321	228,819	231,313	232,609	234,656	235,904	237,585	238,362	238,554	192	2,206	12,233	53,686	54,919	55,762	54,708	19,479
合計	346,185	292,380	300,015	307,230	307,230	312,366	316,241	318,416	322,684	322,833	324,843	325,711	325,459	-252	-20,726	18,299	72,921	74,850	75,213	74,178	28,297
西播磨	11,218	11,218	11,218	11,218	11,218	11,328	11,473	11,516	11,607	11,530	11,667	11,702	11,709	7	491	491	2,819	2,845	2,758	2,776	511
こうべ	357,403	303,598	311,233	318,448	318,448	323,694	327,714	329,932	334,291	334,363	336,510	337,413	337,168	-245	-20,235	18,720	75,740	77,695	77,971	76,954	28,808
豊中	14,020		14,081	13,672	13,672	13,741	13,772	13,990	14,006	14,039	14,068	14,074	14,085	11	65	413	3,235	3,045	3,282	3,344	1,179
箕面	16,346		16,304	15,866	15,866	16,190	16,300	16,298	16,389	16,361	16,648	16,626	16,578	-48	232	712	3,674	3,834	3,761	3,788	1,521
高槻	12,937		12,598	12,098	12,098	12,537	12,274	12,407	12,317	12,342	12,373	12,466	12,478	12	-459	380	3,032	2,799	2,910	2,736	1,001
南高槻	10,875		10,858	10,463	10,463	10,675	10,732	10,835	10,815	10,809	10,792	10,860	10,891	31	16	428	2,408	2,608	2,612	2,480	783
吹田	11,801		11,511	11,102	11,102	11,335	11,358	11,433	11,462	11,436	11,551	11,517	11,507	-10	-294	405	2,766	2,704	2,525	2,578	934
大阪北	65,979	0	65,352	63,201	63,201	64,478	64,436	64,963	64,989	64,987	65,432	65,543	65,539	-4	-440	2,338	15,115	14,990	15,090	14,926	5,418

資料編　コープこうべ関連会社の被災状況

会　社　名	主　な　被　災　内　容	損害額（概算）
㈱コープムービング	●本社社屋（山口ビル）…使用不能（賃貸） ＊西宮市池田町に移転 ●車両被害…９台（うち７台は修理不能） ●その他、器具・備品	19.1百万円
㈱コープフーズ	●加工センター…使用不能（賃貸） ●加工センター機械設備（約30百万円） ●加工センター商品（約10百万円） ●加工センター設備除却（約60百万円） ●本社・直営店被害（約10百万円） コンピューター・備品・車両など ＊新加工センター、４／２より操業開始予定。	110 百万円
㈱協同食品センター	●本社・東灘工場・兵庫工場損傷（明石工場は軽微） ●建物・施設（約58.5百万円） ●商品在庫（約13.1百万円）	71.6百万円
協同信用㈱	●本社建物倒壊…使用不能（建物施設50百万円） ●本社OA機器・備品損壊（ハード、ソフト、備品・約100百万円） ＊３／１、元町に本社移転	150百万円
コープ観光㈱	●本社全壊（コープこうべ本部1F） ●本社リース物件（８百万円） ●本社設備器具（５百万円） ●本社消耗品（ 1.5百万円） ＊３／１、住吉南ビルに本社移転	14.5百万円
システム物流㈱	●各事業所、被害軽微	0.12百万円
阪神友愛食品㈱	●建物・設備一部損傷	6.8百万円
コープ住宅㈱	●本社全壊（CLC 甲南）、本社移設工事備品代（２百万円） ●本社OA器具（約１百万円） ＊３／10、北区星和台に本社移転	3百万円
㈱コープライスセンター	●建物・設備一部損傷	6.5 百万円
㈱コープ環境サービス	●本社事務所半壊 ●本社OA器具修理代（ 0.1百万円） ＊２／14、住吉の新事務所に移転	0.1 百万円
㈱コープ情報システムセンター	●本社事務所損傷（六甲アイランド） ●本社備品（約１百万円） ●本社OA器具（約３百万円） ●本社移転に伴う設備代等（約３百万円） ※２／17、北区鹿の子台に本社移転。	7百万円
計		388百万円

資料編 分野別震災体験報告（一例）

組織供給チーム

（1／3）

日時	事実項目（出来事）	その時の課題と対策	うまくいったことや問題点など
1／17 〜 1／18	地震当日、各KCは何をしたか。	1／16(月)に入荷している、A廻りの商品を出来る限り配達した。しかし施設の倒壊したKC西宮及び西宮北では、ほとんど出来ていない。	・その後の未収品管理の時に統一した対応が出来た。
1／17 〜 1／23	KCとして今何をするのか。	・KC全体を大被災エリアと、周辺エリアに大別した。 大被災エリアとして——KC西宮、西宮北、六甲、甲南、須磨、鈴蘭台の6KCとした。 その他周辺エリア——上記以外のKC ・当面の業務として、今ある商品を持ち出し、お届けしながら、各組合員に被災のお見舞と激励、ご無事の確認を行いリスト化した。 この時の状況は、西宮地域在住率　41.0% 甲南六甲地域在住率　37.6% 兵庫長田地域在住率　36.8% 須磨区南方面在住率　42.0% であった。	・被災地域と周辺地域の格差が大きく、マネージメントの内容もちがう。この後、エリア戦略を構築する題材となった。 ・大被災エリアでは、その後当分の間、商品の供給活動と、救援物資の無料お届けの区別を組合員が理解してくれなかった。 ★対応策として 原則として営業日、火〜土は供給活動を行い、日・月曜日の活動は、県、市からの救援物資のお届けを行うと区別した。
1／22 〜 1／23	KC全体休日返上で被災エリアの応援を行い、全戸訪問を行う。	・全KC職員が被災エリアの全戸訪問を行う目的は、 ①　被災された組合員のお見舞と激励を行う。そして在住確認をリスト化する。 ②　KC職員の意識を、被災地域の組合員と同レベルにする為の体感を行う。 結果、各KC職員から多くの生々しい感想が寄せられた。	・全KCから被災エリアのKCに出勤する事が大変であった。交通の足がなく、車の大渋滞等で。
1／23	緊急センター長会議を協同学苑で開く。	・センター長会議で共有化した事 ①　被災地域と、周辺地域に大別したマネージメントを進めていく。しかし中心は、大被災を受けた地域の業務遂行である。 各センター長は、自分で考え、自己完結型のマネージメントを進めていくこと。 ②　商品確保の物流ルート（小野DC、HC北六甲、協同学苑、コープ白浜、鳴尾浜DC）に、それぞれが自分で取りに行くこと。 ③　各KCの連絡網として、TEL、FAXによる流れのルールを確認した。 ④　1／24〜1／28、及び1／31〜2／4の業務内容を検討し確認した。	・これまで連絡がつかなかったが、TEL連絡網で情報の流れが目に見えて良くなった。しかしまだまだ60〜70%位である。 ・商品確保は出来るものの、必要のない商品までどんどん入荷し、その後処分、対策にこまった。
1／24	日東ベストKK大阪支店支店長、近野修様より商品部を通してシュークリーム6000P提供	・1／23〜24の夜中までかけて、被災KCに納入 KC西宮北　1000P　西宮　1500P　六甲　1500P　甲南　1000P　KC須磨　1000Pの合計6000Pを被災地域に無料で届けた。	・ライフラインのストップした中、又、大変つかれている組合員に、シュークリームは大変よろこばれた。

日時	事実項目（出来事）	その時の課題と対策	うまくいったことや問題点など
1／20	指定休日返上の業務内容の共有化	・1／23　人事労政チームよりの指定休日付与中止に伴って1／23、1／30、2／6、2／13、2／20、2／27の各月曜日の業務内容を以下の通りとした。 ①　県、市からの救援物資の引き取り及び被災者宅へのお届け ②　各店舗に向けて、鳴尾浜DC等からの商品搬入 ③　店舗フルオープンに向けての応援　等とした。	
1／23	KC西宮、西宮北の仮倉庫として鳴尾浜Kネットデポを活用	・鳴尾浜Kネットデポ、約 300坪×2をKC西宮と西宮北の仮倉庫として活用。頭初より建設中の新KC西宮は4日に稼動の予定	・倉庫を急拠転用した為、水まわり、トイレ等、不便であった。又、鳴尾浜から、地域までの交通渋滞にもこまった。
1／24 〜 1／28	手板チラシ、50品目によるご用聞き活動を始める。	・大被災地域版と周辺地域版の2版に分け、チラシ配布、即注文を伺いその1週間後にお届けをする。という方式で供給活動を再開した。 伝票の発行は手書によるもので、受注集計は「正の字」でまとめ、FAXで発信した。	・チラシには写真もない、対応時間も少なく、利用のしにくいものであった。
1／31 〜 2／4	「めーむ」ダイジェスト50アイテムを発行し、「配布、回収、配達」のサイクルとした。	・手板チラシによる「即日受注」の継続と、新しくB4両面の「めーむ」を発行。これには、切り取り式注文欄を設け、翌週回収の通常サイクルとした。 ・又この週より、臨時の物流体制を終了し、両集配センターよりの搬入とした。	・手作業の経理事務（供給、未収の管理）が続いたが、それはもう大変であった。
2／7 〜 2／11 〜 3／11	受注入力を「手作業から」ハンディターミナルの活用へ変更した。	・これまでの手作業で行ってきた「地域担当者別集計作業」をハンディターミナルの活用に変更し、各KCのローカルコンピューター端末から出力を可能にした。これにより、数量、金額等のミスは解消された。	・供給伝票の発伝の代わりに、ハンディターミナルへの入力作業があり、作業の手間は同じ様なものであった。
3／7 〜	配布、B4、8ページ全面カラーの「めーむ」となる。	・3／14よりHOSTコンピューターの稼動により、400アイテムの対応が可能となる。以後、ほぼ元に戻る。（システム関係）	
2／19 〜	口座引落しに向けて、未収データーの作成	・12／20〜1／13の未収データーについては、1カ月遅れで3／6引落し、 ・1／14〜2／18　1月〜2月に手作業で作成、4／4引落し ・2／19〜3／18　3月に手作業で作成 3／21〜4／20　自動計上 2カ月分　5／8引落し	・手作業による組合員別請求書作り、多くの応援をもらったが、各KCにおいては大変な作業であった。
2／27	協同購入センターとしてどんなボランティア活動が出来るのか。	・今しか出来ない「組合員のくらし復興を扶ける」の支援活動を進めていく。 活動の内容は、「引越し、家の中の整理、そうじ」等のお手伝い。	・大変、組合員に喜ばれた。各地区のボランティアセンターには感謝の言葉が多く寄せられた。

日時	事実項目（出来事）	その時の課題と対策	うまくいったことや問題点など
		・各地区ボランティアセンターに登録、連携 ・対象者　・大震災による被災者、60才以上の高齢者及び病気、妊娠、身体障害者のおられる家庭を優先する。 ・その他	
3／10 〜	家電、家具に関する商品の配達が多く、各KCからアフターサービスへ配達応援に行く。	・各KCの専従係が、家電、家具等の配達応援に、月曜日を中心に行く。合せて各KCの供給商品は、KC内で配達を行う事とした。	
3／17 〜	仮設住宅に向けた救援物資（神戸市のみ）のセット作業とお届けが始まる。	・市の依頼の中で、仮設住宅入居者に向けた救援物資を一部各KCで引き受けた。その商品のセット作業が大変で多くの人と時間がかかった。 ・仮設住宅の総訪問時、又は入居前にセットした商品のお届けを行った。	
1／24	県農林・水産部より救援物資の対応	・六甲アイランドKCATまでオレンジ35ｔ ・玉津集配センターへ　キャベツ10ｔ、白菜10ｔ、牛乳４ｔ、みかん７ｔ、卵５ｔ 各々KCから取りに行き、各被災者宅へお届けを行った。	・救援物資の被災者宅へのお届けは、大変喜ばれた。 しかし一方では、この交通渋滞の中、ひよどりの県消防学校、グリーンピア三木等に引き取りが大変であった。
1／24 〜 2／10 頃まで	県、消防学校に救援物資を引き取り、対応	・被災KCを中心に各KCが毎日トラック２台〜４台、商品を引き取り、被災された住民にお届けを行った。（約トラック 100台分）	
2／6	指定休日返上の中で、全KCの応援に向けて『救援物資のお届けする』	・県からの救援物資（トラック90台〜100台） 毛布10,000枚、電気ポット400コ、防寒着4,000枚、暖房器具500台、カイロ10,000コをひよどり台県消防学校に取りに行き、お届けをした。 ・マネジャー、チーフは所属エリアの避難所内での炊き出し等も行った。	
2／13	指定休日返上で救援物資のお届け、他店舗応援を行う。	・水10ｔ車２台分、発泡スチロールのたたみ、県の救援物資の配送と、店舗商品の搬送及び店内陳列の応援を行う。 KC西宮、西宮北――――それぞれ12名 KC六甲、甲南――――それぞれ12名 第５地区店舗応援――26名 第６地区店舗応援――18名 第７地区店舗応援――26名の応援をそれぞれ行った。	・コープかがわ　よりの水、大変喜ばれた。

日時	事実項目（出来事）	その時の課題と対策	うまくいったことや問題点など
1／17 AM5：46	・低温物流C、農産センター、ミニデポ深江・明石、深江・玉津集配Cは当日の出荷等作業中。委託業者の作業されていた方は全員無事。 （作業者）（被害状況） ・低温物流C　30人 建物被害少なし ・農産センター15人 建物被害少なし ミニデポ深江９人 建物床面傾斜 ・ミニデポ明石13人 建物被害なし ・深江集配C　17人 建物被害少なし ・玉津集配C　20人 建物被害少なし ・鳴尾浜DC　２人 （常駐警備員） 建物被害少なし 六甲アイランド（低温物流C、農産C、食品工場）、深江浜（ミニデポ深江、深江集配C）、鳴尾浜（DC、協食等）の周辺道路、構内地盤は陥没（液状化現象で泥海状態）	低温物流Cは当日の配送停止。周辺道路液状化と出入口の橋が通行に危険な状態のため。（翌日も御影エリアはＬＰガス漏れのため配送できず、１／19に可能な店舗のみ配送） ミニデポ深江は配送停止。（床面傾斜、周辺液状化のため稼働不可能） ミニデポ明石は当日配送可能店舗のみ配送対応し不可能店舗分は魚住を中心に近隣のコープ店に振替配送した。 鳴尾浜DCは当日の作業、配送が対応できず停止した。（周辺道路液状化、構内作業者、ドライバーの出勤者が４人のみ）	・物流センター７カ所はストック品、備品等の散乱はあったが建物設備（ソーター等）に大きな損壊が生じなかったことが幸いであった。（運用上支障をきたす被害としては、ミニデポ深江の床面の傾斜が生じたこと） ・物流拠点鳴尾浜DC、低温物流Cの建物は基礎、軀体工事の耐震性も高かったため、大きな被害に至らなかったが周辺地や道路における地盤沈下と液状化現象により、荷積み、配送業務が困難となった。 ・震災直後の交通不全状態（一般道、高速道路とも）が輸送に大きな支障をきたした。
AM6：40	玉津集配センターから各物流施設の被災状況を確認する。（柳瀬） 深江TC、ミニデポ深江が電話不通。	一刻も早い稼働にむけて、コープムービング、システム物流、間口運輸関係者等と対策を協議。	
AM8：30	鳴尾浜DCに生協職員８名出勤。（尚、当日の出勤者は最終12名）	各事業所の状況、職員の安否確認等を出勤者が対応したが、電話の不通で詳しく、正しい情報が得られない状況。	

日時	事実項目（出来事）	その時の課題と対策	うまくいったことや問題点など
1／17 昼　頃	商品政策岡本部長より神戸市に救援物資の出荷要請あり。 （すぐに食べられるもの）		
PM2：30	在庫品のうち菓子5アイテム、600ケースを神戸市7区役所宛に出荷。	当日出勤のドライバー4人により、4台のトラックでPM2：30鳴尾浜DCを出発。 ↓ 目的地到着は、東灘区役所に夜中の2：30（12時間）で最短、最長は須磨区役所に1／19の午後（48時間）到着となった。	・委託業者のドライバー、構内作業者の大半が震災地（灘、東灘、芦屋、西宮等）に居住しており、家族、自宅が震災の被害にあわれたため、委託業務関係の出勤率は各センターとも10～20％であった。
PM3：00	「神戸市救援物資協定」の鳴尾浜DC保管書類を対策本部に届ける。		
午　後	鳴尾浜DCのソーター、コンベア等の設備を点検し、使用が可能であることを確認。1／18より仕分け作業を再開することとした。		
夕　方	商品本部を鳴尾浜DCに設置する旨連絡が入る。 臨時電話50回線を申請。 （1／18夜設置、1／19より使用）		
PM9：00	支援生協第一陣として、いずみ市民生協が来訪。 （職員2名、協力運輸会社のドライバー2名及びパワーゲート車1台）		
1／18	＊商品本部が鳴尾浜DC内に設置され、商品各チーム業務開始。	大会議室、小会議室を充当 夜、臨時電話工事完了（50回線）	

日時	事実項目（出来事）	その時の課題と対策	うまくいったことや問題点など
1／18	＊店舗発注システムの不能のため、R1DC在庫品の割当出荷をスタート。（ソーターによる店別仕分け） ＊西宮市に対し、救援物資（毛布、水、食器）を出荷。	商品部作成の割当表（B表）にもとづき、仕分けラベルを人海戦術による「カルタ取り方式」で店別の必要枚数を準備した。（1週間後からはコンピューターで自動出力できるソフトを開発し、人海戦術から解放された。）	鳴尾側の情報システムが、ハード、ソフトとも無事であったため、ローカル側のシステム変更と工夫により可能な限りシステム化をはかれた。
	＊協同購入センター用の緊急物資の臨時物流基地として以下の事業所を指定。各KCとの商品の配送を開始した。 ①鳴尾浜DC ②協同学苑 ③HC北六甲 ④姫路白浜	協同学苑、HC北六甲、姫路白浜の臨時物流基地に本部・地区本部の方から2～3人の常駐担当者を配置し、支援物資の受け入れ、配送指示の業務にあたった。 他生協応援者も各基地に入り込み、積み込み配送の役目を担っていただいた。	緊急事態のため、端緒では4基地の機能が統制不十分な状態で動き、商品部を経由しない直接商品調達が一部発生したため、仕入受払い管理が徹底しなかった。 交通状況が悪化のもとでの配送基地の分散化は、物資輸送に効果をもたらした（特に、垂水以西、北神地域）。
1／19	＊「いずみ市民」「大阪パルコープ」「コープやまぐち」「ユーコープ事業連合」各単協の応援が鳴尾浜DC、玉津集配Cで支援対応を開始。	2月15日までの物流での他生協支援（30日間） 21生協　人員　337名 車輌　39台	各単協の支援は、日生協（関西支所）の鳴尾浜DC駐在の担当者がまとめていただき、支援単協、人数、車輌台数等確認いただいた。 コープこうべ直接の支援申し入れは対策本部事業連帯部署ですべてを受けつけ、日生協と連絡をとった。
1／20	第一次交通規制（2／15まで） 「国道2号線」「43号線」の通行に「緊急車輌ステッカー」の許可証必要	各配送委託会社が所轄署に「緊急許可車輌ステッカー」の交付を申請。 鳴尾浜DCは、許可ステッカー 150枚を受ける（所轄署）	鳴尾浜DC及び他の物流センターの車輌に対しての規制道路の走行許可にあたっては、コープこうべの生活物資輸送の意義を理解いただき（所轄署の理解）許可書を交付いただいた。
1／22	店舗発注システムの臨時措置として「オーダーブックシステム」の開発スタート。（商品政策、物流、情報チーム）	1／25より情報チームは鳴尾浜DCに常駐。 鳴尾浜DCのACOS-3400 および商品マスターをベースに開発作業にかかる。 （第一回目　2／1発行にむけて）	
1／23～	ニチリウ関係の企業、さとう・オークワ・平和堂各社の配送応援あり。	4トン車持ち込みで各社1～2台の応援、2～3日間ミニデポ深江、北六甲物流基地、ライスC等へ物資輸送。	装いのコープ・ニチリウ応援車は地理にも詳しく、特に装いのコープは小回りをきかせて機敏に配送し、店舗にも喜んでもらった。
1／25～	装いのコープの西宮・尼崎・大阪北の配送応援あり。	各事業所8～16台で各地区店舗への配送を応援。	

物流部　（4／4）

日時	事実項目（出来事）	その時の課題と対策	うまくいったことや問題点など
2／8	オーダーブックシステムのスタートに伴い夜間の伝票仕分け業務を開始 （毎週　水、木、月曜）	伝票仕分け（2／8～3／6の間に12回） 商品、物流チームの管理職3～4名が交替で対応。 コープムービングに4名の対応を依頼。	オーダーブックシステムにより、商品の送り込みから店舗要望の商品発注に転換でき、地域状況に合せた品揃ができだした。 発注から納品のリードタイムが1週間あり、スタート時は発注商品の重複があったが、軌道にのると円滑にすすんだ。
2／16	ドライグローサリーの西部方面店舗の配送時間の安定化に向けて「姫路デポ」を開設。 （2／21より配送開始）	フットワークエクスプレス㈱の遊休地を活用、開発条件交渉も円滑にすすめられた。	播磨生協（7店舗）を含む西方面24店の配送時間の安定化がはかれた。 （鳴尾浜DCからの交通悪化状況の対応策）
2／17	EOS発注システムの再開にむけて情報チームとの調整に入る。 （3／9より再開）		
2／23	Kネット商品物流部会に出席し、Kネットのデリバリーの効率化にむけて協議した。		

運営本部・供給企画チーム（Ⅰ）　（1／4）

日時	事実項目（出来事）	その時の課題と対策	うまくいったことや問題点など
1／17 AM7：00	・地震直後、ラジオで本部倒壊のニュースを聞きすぐ出勤。シーア横の緊急対策本部の指示を受け、第5地区本部へ伝令として出発。	・連絡徹底事項 本部倒壊の連絡 緊急対策本部設置の連絡 供給活動ができる店舗は開けることの連絡 地区単位の被害状況の集約	・電話不通により意志疎通がはかれず。
1／17 PM1：00	・対策本部にて、「めーむ」復旧に向けて運営部大西部長と打合せ。本部HOSTダウンによりOCR受注不可能。	・受注方式をご用聞きによる手板方式とする。 ・ご用聞きのための供給伝票の有無を甲南堂へ確認。物の確保と追加印刷を依頼。	

日時	事実項目（出来事）	その時の課題と対策	うまくいったことや問題点など
1／17 PM	・甲南堂印刷訪問 電話不通のため自転車。社長の家倒壊、印刷工場内は機械転倒、印刷ができる状態ではないことを確認。	・供給伝票を所属届けへの手配。 ・チラシの印刷、大阪の業者手配の依頼。 ・手板と合わせ、供給伝票、受注集計表、発注・出荷表等の現場帳票の作成依頼。	
1／18 AM	・協同購入Ｃの被害実態調査 車は道路混雑で動かず、バイクを借りて訪問3時間かかる。西宮、西宮北、尼崎	・Ａ回り組合員への商品配達とＢ回り以降の組合員安否確認 ・センター長へ手板方式でいくことの連絡。 ・手板用プラスチックバインダー商品部へ発注。	・一挙に20年前に注文方法が戻る。ただし、現場のセンター長や商品管理チーフはご用聞き時代の経験があり「手板方法のご用聞きでやる」の一言で全てを理解してもらえた。
1／18 PM	・甲南堂印刷訪問 供給伝票をKC六甲、甲南へ届ける。しかし協同購入Ｃは近くの液化ガスタンク爆発のおそれがあるため避難勧告。誰もいず。	・電話不通の不便さを知り、日本テレコムへ携帯電話の借用をお願いする。	・19日に日本テレコムより携帯電話が届く。以後、スムーズに事が運ぶ。
	・手板作成のため、商品の手配を鳴尾浜DCの商品部へ依頼。しかし、慣れていないせいか問い合わせがしきり。	・依頼すると同時に協同購入Ｃの「めーむ」復旧案を作成する。商品リストの締切は19日とした。当面、１カ月のスケジュールを作成。 ①　２週間は手板によるご用聞き３週目以降は「めーむダイジェスト」による予約受注方式とすること。取扱点数は50点とすることを決定。 ②　集配Ｃの物流の流れ作成。受注→初注→納品のサイクル確定。 ③　協同購入Ｃからの商品部発注およびメーカーへの初注方法確定等	・取り扱い商品を50点に絞り込んだのは、現場の手集計、出荷、配達が全て手作業になり、業務がパンクすることを見越しての判断。結果的に良かった。
1／19 AM	・深江集配Ｃが水道管破損および電気開通不明、なおかつ43号線へ接続する橋脚破損のため車両が通行できないとの連絡あり。	・冷蔵品、冷凍品の取り扱いを断念、集配Ｃを経由しない協同購入Ｃ商品が商品を仮デポへ取りにいく方法を決定。デポは協同学苑、HC北六甲、日生協小野、大阪北ハウリビング館	
	・大阪北生協　西坂常務より電話あり大阪北生協として難局を乗り切るために独自の企画でチラシを作るがいいかと問い合わせ。	・現況の中では、その方法がベターだと判断。お願いをする。ただし、30日以降はこうべのシステムに合わせてはどうかと連絡。こうべに合わせると確認。	

日時	事実項目（出来事）	その時の課題と対策	うまくいったことや問題点など
1／19 PM	・商品部より鳴尾浜DCへ運営ラインから１名常駐して欲しいとの依頼あり。 ・甲南堂印刷訪問 依然として電話不通。	・組織供給運営部、大西部長から運営部兼任で鳴尾浜DCへ行って欲しいとの旨を受ける。 ・20日に鳴尾浜DCで手板チラシの出荷をする。デザイナーを鳴尾浜DCへ来てほしいとの旨連絡。	
1／20 AM	・鳴尾浜DCへ向かう 道路混雑、行くまでに４時間かかる。	・協同購入Ｃの「めーむ」復旧に向けての打合せを行う。参加部局　各商品部、物流総務、組織供給運営部 深江、玉津両センターでの仕分けが可能だとの確認をする。ただし冷蔵、冷凍の扱いは無理との結論。「めーむ」復旧案に沿って進めることの合意を取る。 ・同時に４週分の商品リストの提出を依頼。	・物流の流れ決定。全てイ配送とする。単純化することが緊急時には大切。それと、誰かが一気呵成に全ての流れを作り上げ、リーダーシップでやりきらねば上手くいかない。
1／21 AM	・甲南堂印刷鳴尾浜DCへチラシ作成のため２名来る。その場で手書きのチラシ作成にかかるが場所がないため甲南堂印刷の社員の自宅を借りて制作。	・21日中にチラシ原紙の出来上がりを確認。Ｂ４一枚、商品名だけのチラシ完成。現場の負担を考え、仮Noと品番の設定をする。 ・チラシは２週間分を作成した。	・一色で商品名と価格だけの手板チラシを見て、協同縮刷版の昭和30年代の組合員ニュースを思い出す。 その頃のものより、体裁は下。
1／21 PM	・甲南堂印刷訪問	・チラシ内容の最終確認。と同時に現場負担を少なくするため受注集計表・出荷表・発注表も同時作成にかかる。時間的余裕が少ないため、なにを置いてもつくることだけに専念する。	・この日は甲南堂に常駐、その場で変更や修正の指示をだす。
1／22		・チラシ協同購入Ｃへの配送便がないことと、道路混雑の状況では届けられないと判断。23日のセンター長会議では原紙だけ渡し各KCでコピーする方法でやりきることを確認。	・西宮、西宮北、六甲、甲南、須磨の５KCはコピー機械の破損および停電のため自所属では無理、甲南堂のコピー機械で印刷を開始。
1／22 PM	・組織供給運営部大西部長と23日の緊急協同購入Ｃセンター長会議の資料内容の打合せをする。	・供給企画室作成の「めーむ」復旧案で進めることを確認。センター長会議のための資料作成にかかる。	
1／23 AM	・甲南堂印刷訪問	・２月14日からの「めーむダイジェスト」版の作成について４週分まとめて出校の打合せと内容の確認。 ①　「めーむダイジェスト」は手板方式から予約方式への変更	

運営本部・供給企画チーム（Ⅰ）

（4／4）

日時	事実項目（出来事）	その時の課題と対策	うまくいったことや問題点など
1／23 AM		② サイズはＢ３　60点掲載　注文承り書の刷込 ③ ダイジェストを被災地とそれ以外に２パターン作成 ④ チラシは文字のみからイラスト、写真掲載へ　そのため、甲南堂印刷へ全てのポジを商品部ごとに整理し連番振りとリスト化の作成を指示。 ⑤ その他 ・今後の協同購入Ｃへのチラシ納入の便確保の指示。なんとしても自社配送便で、毎週月曜日に現場配送	・甲南堂印刷はマイカーを動員、チラシ配送便の確保に走った。
1／23 PM	・緊急協同購入Ｃセンター長会議参加「めーむ」復旧案の説明を行う。	・被災地以外の所属からは、なぜチラシができないのか。商品部の割当、他生協からの支援物資の配布についての不満意見あり。 被災地の状況や道路の混雑状況、取引先からの入荷状況等を説明。合意を取る。 ・手板チラシを手渡す。	
1／24 AM	・鳴尾浜DCへ向かう。 道路混雑、行くまでに往復７時間かかる。	・23日のセンター長会議を受けての「めーむ」復旧案の修正説明。 被災地とそれ以外の地域の２パターンのチラシ作成実施の確認。 ・「めーむダイジェスト」用商品リスト受取。 ・深江、玉津両集配Ｃが動かせることを前提条件に配送計画を組む。	
1／24 PM	・甲南堂訪問	・「めーむダイジェスト」チラシ作成にかかる。４週間分まとめて出稿、スケジュール確認。	
1／25 AM	・協同購入Ｃから供給伝票が足りないとの電話連絡が相次ぐ。甲南堂印刷訪問	・供給伝票の徹夜をしてでも増刷をするように依頼。 単票で印刷だけはできるが、50枚のセットができないとの連絡。バラで良いと判断。翌日には伝票を届ける。ただし、まだ足りないので大阪北生協から足りない分を回してもらう。	・この日、協同購入Ｃでは翌週配達分の受注と翌々週配達分、２週間分の注文を組合員から承る。この瞬間から供給伝票がたりなくなる。

運営本部・供給企画チーム（Ⅱ）

（1／4）

日時	事実項目（出来事）	その時の課題と対策	うまくいったことや問題点など
1／17	・予定していたチラシ折り込みの中止を手配した。	・震災の被害状況から店舗の通常営業は当面困難であると判断した。 ・１／19(木)、20(金)のチラシの新聞折り込みを中止するよう手配した。	・取引先と電話連絡がとれず、甲南堂に歩いて行き指示した。 ・地震発生が火曜日であったために、木曜日、金曜日のチラシの新聞折り込みは中止できた。 ・緊急時の連絡方法について約束ごとがなかった。

日時	事実項目（出来事）	その時の課題と対策	うまくいったことや問題点など
1／18	・物資運送車両に掲示する横幕を制作した。	・緊急物資を輸送するトラックに「神戸市民救援物資配送専用車両」と大書した横幕を制作するように指示があり。 ・すぐに必要ということで、早くできるビニール製で300枚を作り、後からさらに布製で300枚を鳴尾浜DCに納品した。	・ビニール製は黄色をベースに黒字で印刷したが、よく識別できた。 ・コープこうべの名前は表示しなかった。 ・市街を走行する車の多くが、印刷、手書きなど様々の形で「救援物資輸送」と表示していた。自衛隊車両でも「災害救助出動」の手書もあった。
1／18 〜 1／23	・取引先にチラシなど制作物の進行を中止の依頼をした。	・店舗の通常営業のめどがつくまでチラシ発行はないと判断して、デザイン会社に制作を現在時点で中止して、指示があるまで止めておくようにした。	・デザイン会社自体も被害を受けており連絡のついたのは、最終のところで一週間を費やした。 ・取引先のなかにはこちらと連絡もとれないため、マスコミ報道からコープこうべがすぐに復旧するのは無理と判断して、社内体制を組み替えたところがあった。
1／18 〜 1／23	・部員の安否確認に手間取る。		
1／20	・鳴尾浜DCより供給企画のことがわかるスタッフの派遣要請があった。	・商品部が鳴尾浜DCに集まっており、供給企画のいる生活文化センターとの電話連絡が十分にとれないため供給企画スタッフを派遣してほしいと要請があった。 ・店舗と協同購入センターの両方がわかる人間ということなので杉野がオートバイにより鳴尾浜DCに出向いた。 ・1／20〜22まで3日間滞在した。	・生活文化センターに運営部が集まっていることから、供給企画スタッフが誰もいないのはまずいとの指摘があった。 ・生活文化センターの電話は絶えず話中となり、電話回線数が絶対的に不足していたため電話一本をかけるのに半日がかりのこともあった。
1／22	・生活文化センターに供給企画チームのスタッフを集める。	・1／23(月)より現場応援のスタッフを集めて、供給企画業務の再開を決定した。 ・部員全員への連絡と出勤手段の確保。・一部の避難者を除き、電話で連絡した。・西方面からの通勤者にはマイカー相乗りを指示した。 ・生文センターに確保した5Fの会議室に電話がないため携帯電話を取引先、友人から借りた。	・緊急時の連絡網がないため、連絡に手間取った。（後日、連絡網を作成した） ・交通規制、渋滞が日毎に変わるため、通勤時間が一定しなかった。 ・裏道ルートを地元の人間に聞くことにより開発した。 ・姫路からの通勤では片道3〜5時間かかった。
1／24	・供給企画スタッフによるバイク連絡員を配置した。	・鳴尾浜DCとの情報交換を頻繁におこなう必要に迫られ、供給企画スタッフによるバイク連絡員を配置し、現状把握と情報交換に努めた。	・商品部と直接に話し合うことにより、緊急対応の話を詰めることができた。

日時	事実項目（出来事）	その時の課題と対策	うまくいったことや問題点など
1／26	・被災後第一弾のチラシ発行（片面が店舗の営業状況、片面が機関紙「きょうどう」で理事長の震災お見舞い	・発行の決定が1／23(月)、出稿が1／23の夕方、校正は1／24に即返し、印刷が夜中の2時からスタートの超スピード制作 ・甲南堂が被災のため、大阪の印刷所で対応 ・折り込みは緊急対応のため通常5社のところを対応が可能な2社（城北宣広、新広社）で実施する。他社は配送ができないとの理由で受け付けてもらえず。	・営業の案内を「平常どおり」と表示した業態があったが、必ずしもそうはなっていなかったという問題があった。 ・被災地域では新聞販売店も被災を受けており、2月の中旬まではほとんどチラシの折り込みもなかったが、避難所にもまとめて届けてもらうなどの方法で対応してもらった。 ・いままで使用しなかった「営業」の語句を使った。その後、定着させた。
1／28	・媒体での表現の規制	・震災後の状況から、組合員の心情を考慮して次の言葉の使用を禁止する通報をおこなった。 ○祝辞（おめでとう、ありがとう、感謝、サンクス、など）○便乗（災害お見舞い、救援、復興、応援、がんばれ、避難用品、震災準備　○過激（超、激、大、強烈、劇的、ビッグ、すごい、など）○その他（さよなら、一掃、七転八起、など） ・特に期限を定めず、後に状況をみて3月末で解除した。	・現場でもこの主旨は徹底され、被災地域の組合員からおしかりを受けるようなことはなかった。 ・他社でも大手のチェーンではこの原則に近い内容で運用されていた。 ・中小の専門店では、便乗ととれる表現もあった。
1／30	・通常の供促チラシ第一弾（2／3の発行予定）の発行が中止される。	・定番商品が十分にそろわないなかで、供促チラシを発行するのは組合員感情からして好ましくないと判断した。 ・当日に垂水の組合員から品ぞろえの不十分に対して抗議の電話があり、木村組合長が直接電話を受けた。	・チラシ商品の手配はすでに終わっており、住関商品の一部はヘリコプター空輸の手配もされていたが中止した。 ・チラシは印刷の手前の段階まですすんでいた。
1／31	・バレンタインセールの中止を決定	・バレンタインセールを全面的に中止し、募金活動に切り換えた。 ・組合員の被災状況を考えるとバレンタインセールを行える状況ではないと判断した。 ・「今年は愛を被災地におくりました」のメッセージカード、パネルで展開した。 ・すでに各店にはバレンタインセールの商品とPOP は送られており、急遽使用の中止と商品の引き揚げをした。	・バレンタイン募金の使途が十分に整合されておらず、二転三転したため、パネルの作りなおし、プレスリリースの遅れが発生し、実際に店舗で取り組めたのは2／12の直前になってしまった。 ・2人の店長からバレンタインセールの中止は納得できないとの抗議の電話があり、説得に時間がかかった。 ・百貨店も多くの店が派手なセールを自粛したが、被災地神戸の復興を救けるということで神戸メーカーのチョコに大きくスポットをあてた百貨店もあった。 ・被災地域以外でもバレンタインの売り上げは控えめとなった。

運営本部・供給企画チーム（Ⅱ）　（4／4）

日時	事実項目（出来事）	その時の課題と対策	うまくいったことや問題点など
1／31頃	・2月分の店舗BGMを発送	・1／25頃に店舗で流れているBGMが被災地域の状況に合っていないとの意見が現場から上がってきた。 ・音楽は「暗い印象を与えないクラッシック」に切り換え、「品ぞろえ不十分のお詫び」のみにして、供促の内容は中止した。 ・有線放送導入店舗には電話により別途、曲目の指定をおこなった。	・この間、店舗ではBGMが無い状態や、音量ダウンで対応した。 ・店舗によっては、店長が判断してすぐに対応しているところもあった。
2／10頃	・被災地域店舗で、道路に店舗の営業案内を広報する捨て看板を設置	・岡本、深江は被災地域のど真ん中であり、営業告知が不足していると判断した。 ・道路交通法では違法であるが、住民に営業を告知することが緊急時には公共の利益につながると判断した。 ・10枚ずつ作成して、設置は該当の店舗に依頼した。	・被災地域では看板、はり紙が重要なコミュニケーション・ツールとして活用されており、行政、住民からとがめられることはなかった。 ・仮設店舗のオープン告知でも実施し、好評を得た。 ・D社も捨て看板を多用していた。

住居関連チーム　（1／2）

日時	事実項目（出来事）	その時の課題と対策	うまくいったことや問題点など
1／17	・CLC甲南より緊急用自転車15台搬出、生文へ持ち帰った。		・1／17当日店舗の状況把握が一部店舗しかできなかった。
1／18	・兵庫区役所へ緊急物資（電池配送）PM8：30	・交通寸断のためバイクで配送	・緊急物資を受けとる窓口（行政側）担当者も明確で、商品納品がスムーズであった。
1／19	・玉津集配で第8・7・6・5地区をフォローするため鳴尾DC部隊とは別に緊急物資の手配と配送体制を確立。家電は近隣の藤田電気に常駐体制をしき商品手配を実施。	・玉津DCのトラックが大型で店舗納品ができなかった。住関連チームで、商品手配係、配送係、商品管理係（検収・発伝）の組織を確立 ・カドヤ産商、ハリマ共和と定番フォロー緊急物資配送を協議 ・玉津DC西部住関本部開設	・大阪方面の取引先が交通網寸断のため商品の入荷が遅れた。 ・一日2回、朝礼と夕礼（全員参加）を実施（1／19～2／3）、情報の共有化と意志統一を図った。 ・KCより3台配送車を借りた。 ・商品部が手配した商品と他生協が緊急物資として入荷した商品が入り混じって混乱した。
1／20～1／28	・玉津DCへカセットコンロ・カセットボンベ・ロープ・カイロ・水ポリタンク・コーキングボンド（2万本）・ストーブ・調理家電等、緊急物資を手配、西部・北部地区のフォローを実施した。	・配送車が2台しかないため、デイズ北町、HC北六甲に一括納品、各店より商品を取りに来てもらった。 また玉津DCに商品入荷時、各店にTEL 連絡し、取りに来てもらった。	・他生協から緊急物資として送られてきた商品の管理が不十分（特に地区を経由してきた商品） ※伝票があったり、無かったり、無料なのか発伝するのか分からない商品が多かった。

住居関連チーム　（2／2）

日時	事実項目（出来事）	その時の課題と対策	うまくいったことや問題点など
1／20 〜 1／28	・ハリマ共和姫路倉庫より10ｔ車1台分緊急物資として玉津DCに在庫（カセットコンロ・ポリ袋・生理用品・ラップ…etc.）	・各店に品切れ状態把握のためTEL を入れて優先すべき商品から手配をかけた。 ・近隣店舗の状況把握のため車で訪問	・新規取引先ソネヤ（姫路）、ヒメプラ、DIY問屋松田東、収納取引先キクヤ等のメイン取引先以外の協力が大きかった。（1つの商品の窓口の広がり）
	・日経よりカイロ1000c/s 釜山より手配（11ｔ車トレーラーで入荷）	・コープミニ運営と連携750c/s鳴尾DCへ転送 コープミニ全店に配送、残りをコープデイズの要望店に配送	・山手、青谷等は鳴尾便も届かない状況だったのでバイヤーの独自配送車が効力を発揮した。
2／3	・アワーズ商品入れ替えのため播磨生協訪問	・2／20、21　アワーズ商品入れ替え実施 ・各取引先に陳列応援依頼	・カセットボンベ等メーカーが異なり（商品手配上）、298円〜498円と売価ラインが違い組合員に抵抗を持たれた。
2／6	・シーア（2F）オープンに向けて打合せ会議	・2／17、18　シーア商品陳列 2／26　シーア2Fオープン	
2／8	・オーダーブック発注による発伝、伝票整理（深夜仕事）		・電話回線が少なく、鳴尾DCとの連絡に時間を要した。
2／24	・デイズ西宮商品陳列	・3／1　西宮オープン	

住居関連チーム・電化用品　（1／2）

日時	事実項目（出来事）	その時の課題と対策	うまくいったことや問題点など
1／17 〜 1／21	・緊急物資の調達、電池、懐中電灯	・取引先・メーカーより商品在庫状況、納入計画打合せ 店舗については、割当て送荷を実施	・家電売場については、メーカーの協力で店舗巡回し、商品補充を実施、品切れなく対応出来た。
1／20	・携帯電話の貸出し協力	・情報が伝えにくい中で取引先の協力により13台無償で協力してもらった。	・携帯の力で取引先への調達、連絡等に大きな成果があった。
1／21 〜	・電気ポット、電気鍋、炊飯ジャーの調達、照明器具等	・ライフラインの中で電気が一番早く普及するとの情報があり、被災者として何を一番早く購入したいかを検討し調理家電を中心に割当て送荷を実施した。	・協同購入センターについては被災地エリアを中心に持ち出し企画で対応した。 （所属間の取り組み較差が多くでた） ・店舗に割当送荷したが好評で返品もほとんどなく、利用結集がはかれた。

日時	事実項目（出来事）	その時の課題と対策	うまくいったことや問題点など
1／23	・キャンペーン企画のチラシの早期回復 テレビキャンペーン 洗濯機キャンペーン エアコンキャンペーン オーブンレンジキャンペーン ファックス・電話・ワープロキャンペーン	・供給媒体が無く組合員情報が不足した。 供給企画に原紙があり、キャンペーン企画のチラシ作成を実施した。 2月～3月キャンペーンが中心であったがキャンペーンを4月まで延長して対応した。	・AVキャンペーンの成果としてテレビ1740台、ビデオ・ビデオカメラ1191台、オーディオラジカセ809台、金額180,000千円であった。 エアコンキャンペーン（3月～9月）1500台、金額147,000千円 洗濯機キャンペーン4942台、金額282,552千円 オーブンレンジキャンペーン850台、金額33,830千円 ファックス・ワープロ・電話キャンペーン1405台、金額82,818千円 ・結果として2月28日現在67,225千円と大きな成果が上がった。
2／1	・め～むⅡ　くらしの百科 協同購入センター臨時号の作成	・KCで被災者が至急にほしい家電品を中心企画（27アイテム） 供給企画と連携し供給媒体の作成を早めた。	
2／7～8日 14日	・被災家電品の搬出、点検（CLC甲南2／7・シーア2／8・デイズ西宮2／14）被災商品の補償交渉実施	・メーカー取引先に被災商品の点検、引揚げ、処分等の協力要請を実施した。 廃品回収として修理がしやすい状況をつくった。 ・課題として店まかせになっており、商品部が動くまで何の指示もなかった。	・被災商品についてメーカ協力により補償してもらった。 補償額　47,416千円 商品引取額27,285千円 合計原価で74,701千円
2月初	・展示会等企画が中止になった場合の代替対応策が遅い。	・決算展示会中止、仮設入居組合員対応チラシ等、商品部から要請しない限り、代替案が出ない。	・被災エリアでは緊急対応が望まれる。 タイムリーな展開が重要であるが、企画・媒体等で遅れが発生した。
2／24	・家電売場づくりの復旧 デイズ西宮 2／24搬入 シーア 2／29搬入	・メーカー、取引先の多くの応援により売場づくりに協力をいただいた。	・大きな被災にもかかわらず、取引先の協力により早期に売場が回復できた。
3／3	・イベント部、店頭キャンペーン実施	・当初洗濯機・クリーナーで展開予定であったが、調理家電・冷蔵庫・TV・ビデオ等を補強して取り組んだ。	・イベント部の積極的な取り組みで 195,781千円の実績を上げる事が出来た。
2月中頃	・神戸市より依頼を受け仮設住宅への商品納品を実施	・被災者への生活復旧のため、協同購入センターの全面的な協力で25品目お届けした。 （神戸市から内、5アイテムを一緒にお届け）	・4月末までのお届けで4397世帯、今後お届け受注分2915世帯、供給高123,000千円

商品政策企画

（1／2）

日時	事実項目（出来事）	その時の課題と対策	うまくいったことや問題点など
3／10 ～ 継　続	神戸市の避難所給食を補足するために、果物、缶詰、ジュース類、カップ麺などを供給している。 ※栄養士から神戸市に対して、避難所給食のビタミン不足やタンパク源の不足など栄養の偏りが指摘され、神戸市は他のいろいろな企業に相談したが実現せず、コープこうべに要請した。 ①3月10日スタート 避難者数　15万人 （4月末4.8万人） 避難所数 500ヵ所 （4月末380ヵ所） ②しあわせの村と摩耶埠頭（現在は住吉浜）の2つの物流基地に納入し、そこから佐川急便（ボランティア）と日通の避難所への配送ルートにのせる。 ③供給物資と供給サイクル 果物セット （日・火・木曜日） 缶詰類 （月・金曜日） カップ麺・ジュース類（水・土曜日） ④供給状況 ・3月10日～31日 供給高 439,929,510円 純剰余 51,792,108円 ・4月1日～30日 供給高 348,686,655円	1　物流基地での商品の仕分け ①　しあわせの村 ・体育館にローラーコンベヤーを配置して作業をしているが荷受作業と仕分け・出荷作業に多くの作業員を要する。 →最初は、ボランティアなどの応援で対応したが、現在は、コープムービングに委託している。 ※最大時20人、最小時6人 ・しあわせの村から各避難所への配送は佐川急便がボランティアで行っている。もともと、緊急物資を避難所へ届けるためのものだった。そのルートを有料の商品を届けるのに使用するということになったので混乱が生じた。 →荷受けから仕分け・出荷の作業をコープこうべが請負うことで解決した。 ※当初、神戸市との打合せでは、商品納入だけということになっていた。 ②　摩耶埠頭 ・港湾倉庫での商品の小分け作業に人員を要する。 →CLC甲南の定職5人と生協職員で対応した。 2　受発注システム～配送指図書の作成 ①　各区から毎週2回（月・木曜日）、避難所の人数が生協にFAX され、その人数をもとに、商品の人数に応じてケース数を計算し、メーカーに発注。同時に避難所への配送トラックに渡す、避難所ごとの配達ケース数を記入する配送指図書を手計算で作成するのに多くの人と時間を要する。 →当初は、緊急対応だったので人海戦術で対応したが、平行してパソコン入力を進め、自動計算で出力できるようにした。（定職1人で対応できるまでになった） 3　専任体制 ①　行政への対応としては、日常の仕事をしながら片手間で対応できるかという不安があった。 →行政対応窓口1人、両物流基地の責任者それぞれ1人ずつを配置した。	①　給食の配送は、メーカーから避難所へ直送されていた。したがって、500ヵ所の避難所へ毎日配送するために、7～8社が分担していた。しかし、コープこうべへの要請は、500ヵ所15万人への対応ということだったので、神戸市と協議し、緊急物資の配送ルートを利用できるようになったこと。このことができなければ、15万人への給食補助食品の配送は実現できなかった。 ②　物流基地の下見と物流計画、配送指図書の作成などは緊急を要したが、他部署の快い協力で、夜を徹しての作業であったが、神戸市との約束の期日にスタートさせることを可能にした。 ③　行政対応の専任体制の確立には少し時間を要したが、人事の協力を得て行政の意向に十分に対応できる体制ができた。今後は、緊急対応プロジェクトのタイムリーな結成が望まれるところである。 ④　6月の人事異動で現在の専任体制がなくなることになっている。しかし、一方では避難所の給食対応は長期化の様相を呈している。最後までキチッと対応するために、窓口対応だけは残す必要があります。 ⑤　パン給食、給食補助食品、仮設住宅の備品、その他行政の要請に応じて多くの部署や人が対応しているが、神戸市との実務レベルの打合せや支払い等についての窓口を一本化したために、スムーズな対応ができた。

商品政策企画

（2／2）

日時	事実項目（出来事）	その時の課題と対策	うまくいったことや問題点など
	⑤食材の提供も開始 豚汁セット（1セット＝20人分）を5月から開始。 ⑥パン給食を開始 中央区の避難者6,000人を対象に5月から開始		

開発本部

（1／3）

日時	事実項目（出来事）	その時の課題と対策	うまくいったことや問題点など
1／18	施設復旧に向けた緊急組織を編成した。 （責任者：次家常務）	1／19「施設復旧本部」を旧建設部・開発部・店舗開発部の混成スタッフで編成し、塚口・住吉・三木の3事務所を開設した。2／1には開発本部に再編成し、以降、状況の進展に応じてチーム編成・人員配置を流動的に再編していった。（2／16、3／16に再編）	・被災地の住吉と非被災地の塚口・三木を組み合わせることにより、情報の多角的収集や、業者その他との連携をスムーズにはかることが出来た。
1／24	専門スタッフ不足への対応として、緊急措置として建設やテナント業務経験者、他生協の専門スタッフ、設計事務所、建設業者の応援人事を投入した。	・OB等：金治（定年退職者） 横山（淡路事務所長：テナント対応） 小林課長・安藤課長・玉井係長・岸田係長・西中主任・大木係長など ・他生協等 ユーコープ：小林理事・魚川課長 （ジャパンエステート）三沢部長・吉田課長、塚本担当 みやぎ：仁本部長・長瀬課長・鈴木・山田・高橋 さっぽろ：今野チーフM・永山担当（建築士） ・その他：黒田設計事務所　等	・緊急時とはいえ、同じく被災地の淡路の総責任者である横山部長を1ヵ月近くもテナントオーナー対応に拘束してしまった。申しわけなく思っている。 ・他生協からの応援者も宿泊先もなく生文センターの椅子の上での仮眠、乏しい食料の配給の中で酷使せざるを得なかった。申しわけない。 ・定年退職者や現役店長を含む旧施設部スタッフを電話辞令で招集し、2ヵ月近く拘束した。被災地のこと故、十分な慰労も出来なかった。
1／19	優先度の高い応急対策を設定し、計画的に復旧をはかった。	1　連絡情報パイプの確保：1／19　携帯電話10台確保、FAX設置、学苑事務所への専用電話設置 2　ライフラインの確保：1／17　生文C仮本部への自家発電設置、ポリタンクでの生活用水の確保（学苑より運搬） 3　余震対策の為、危険施設への立入禁止の常務指示 4　危険施設からの資産・資料の搬出 CLC甲南屋上からクレーン車で車両を搬出等	・店頭仮設営業施設への立入禁止について、組合員への食料供給の為の搬出立入の解除をめぐって現場とのギャップが生じた。判断責任者の派遣が困難な中で、現場判断に委ねざるを得なかった。逆に、本部の資料搬出は決死隊の編成が遅れ、1/19出火により資料を焼失してしまった。

日時	事実項目（出来事）	その時の課題と対策	うまくいったことや問題点など
1／17	コープこうべ 155店中、全壊施設は7店・2KCなどで、殆どが昭和47年以前の施設であった。	・塚口や丸山等の老朽店でも改装時に補強工事を実施していた店は倒壊を免れ、被害軽微であった。 ・御影北は改装直後であったが、防火に投資が向けられ、躯体補強せず震災により倒壊した。 ・1994年12月に建設・店舗開発で今後のローコスト建築の方向コンセプトをまとめ出版していたが、今回の震災により軽量化・S造による柔構造設計の方向性の妥当性が実証されたことになった。 ・ハード上の課題 ・外壁の改修：外壁タイル・固定ガラス・ガラスブロック ・店内防煙垂れ壁、ボーダー取り付け方法の改善；落下防止対策 ・埋立地：軟弱地盤の液状化現象防止の研究 ・盛り土、埋立立地への用地開発の抑制 ・天井工法の改善：システム天井の具体化を急ぐ（既に開発中であった） ・設備上の課題 ・エレベータ、エスカレータ、受水槽、高架水槽、冷凍機、空調室外機の設置方法の検討（メーカーと協議する） ・非常用発電機の運用について消防署と協議 ・電話回線、通信施設、TV・ラジオ放送、防災店内放送システムの整備 ・受電設備、配線、給排水、スプリンクラー配管の耐震対策	・老朽店は全店構造診断を行い、必要な補強工事を実施していく必要がある。 ・今後、陸屋根RC造や木造建築物の防災補強を行うとともに、多層階施設から底層への出店コンセプトのシフトを更に進める。
	・断水の中、水冷式ショーケース等が機能停止した。	・什器上の課題 ・ショーケース、冷蔵庫、空調の水冷式から空冷式への転換 ・ショーケースのアンカーボルト固定を進める。 ・ゴンドラの背面ブレス取付けを進める。	・省エネ対策として空冷化を進めてきたが、今回断水、通電状態の中で空冷式が機能した。
	・ショーケース・ゴンドラの転倒やズレが多発した。	・カゴ車、カート、台車等の運搬什器の暴走対策 ・厨房、冷蔵庫などの転倒防止、固定化	・定位置管理以外に連結鎖の設置などの方法が考えられるが、日常オペ上煩瑣になる。
1／19	・賃借物件の地主・オーナーとの契約書が本部倒壊により取り出せず、全資料の空洞化が生じた。 ・各店テナントへの支払い業務も途絶し、上記と同様の問題を生じた。	・賃料等の支払い延期のお願い状を発送するにもリストがない状態→旧開発部スタッフが各事務所巡回を行い、所属保管の契約書（写）を回収した。 ・店舗開発の担当課長が各所属をオートバイで巡回し、契約書（写）回収とテナントへの見舞い入金遅延のお願いに廻った。	・担当1名では手が廻らず、緊急に応援体制を求めた。

日時	事実項目（出来事）	その時の課題と対策	うまくいったことや問題点など
1／19	本部ビル、コンピュータ室より出火	・消防署が対応したが、コンピュータデータの保護を優先するため、初期注水消火でなく、化学消火を求めた。結果として以降連日の出火により資料の殆どを焼失してしまった。	・結果論だが、1/19出火時点で大量注水による完全消火をしていれば、本部新館部分の資料の多くが確保出来ていたものと思われる。（推論レベルだが）
1／17〜	当初、生文センターの自家発電維持等の為、施設復旧本部スタッフの宿直体制をとった。	・労組の一部より労組員の宿泊勤務に対する非公式のクレームがあり、部課長級に宿直が集中した。	・緊急時の施設保守担当等の勤務形態について、労使慣行のあり方について今後の研究が必要。

総務本部

日時	事実項目（出来事）	その時の課題と対策	うまくいったことや問題点など
1／17	・電話回線不通による被災状況の把握、指示の遅れ。	・NTT神戸支店に午後出向き交渉したが、通信網が混乱しているため、兵庫県・神戸市・警察など行政以外の民間企業団体の電話には一切応えられないとのことであった。 ・危機管理の面から非常時のため専用線を確保しておく。（西濃運輸などの例から）	・何としても対策本部に電話を新設しなくてはならず、2時間ほどの交渉で最後の切り札として神戸市との緊急物資協定の順守に理解を示され、18日開通した。 ・17日当日はジョイポット453-5110と公衆電話の線を延長し、NTTから携帯電話（借用）2台で対応した。 ・1月26日現在 170回線、2月8日までに新設場所変更、合計321回線を開通させた。
1／	・本部事務所（協同学苑内）設置	・運営・管理スタッフの事務スペースを学苑体育館に設置することが決まり、OBの金治氏を現場責任者として配置。	・体育館の床を痛めないよう床上げをしたため保温効果になった。2月1日移転のため、机・椅子などの備品調達に苦慮したが、商品本部分も同時仮発注し確保出来た。
1／18	・霊園内部損壊	・建物外観に異常は認められず。納骨堂内部の納骨区画32区画が倒壊し、ご遺骨35柱落下散乱。復旧工事にかかる前に阿弥陀寺住職に確認作業と正念抜きを依頼。	・これまでの横ゆれによる地震では、倒壊しない構造になっていたが、今回の工事では補強をし直下型に耐えるようにしなくてはならない。
	・メール便および事務用消耗品配送に支障	・当初FAXが中継同報で使用できないためメール便を拠点へ配送し本部からの情報を所属へ届けた。2月1日からは全事務所へ消耗品はまとめて3社による配送により事なきを得た。	・取引先が被災にあい配送できないところが多く連絡もつきにくい状況であったが2社が対応され現場に迷惑をかけることなく配送した。
	・重要書類の搬出	・重要書類保管庫の書類は完全に回収した。	・総務の指示通り、保管庫での管理をされてなかった書類が焼失した。

コープ共済センター　（1／3）

日時	事実項目（出来事）	その時の課題と対策	うまくいったことや問題点など
1／17	・住吉南ビルは倒壊こそ免れたが、事務所内はガラスの破片、書庫や事務機器の散乱で入室ですら困難な状況。	・電話、電気、水、ガス等の途絶えたなかで、安全確保を確認しながら、仕事のできる状況づくり。	・ライフラインの途絶。情報不足。人手不足。困惑の状況のなかで、とにかく職場復旧を目指した。
1／18	・阪神大震災への異常災害見舞金の適用について、共済事業委員会は委員の書面決議を実施することにした。	・全国共済事業委員会の開催は緊急を要するため、文書ＦＡＸ送付により議決する。 《たすけあい共済》と《あいあい共済》の加入者に対して、全壊で２万円、半壊・一部壊で１万円と決定する。	・日生協共済本部との連絡を密にとり被災者への対応についての対策をする。被災者へのお見舞いについては組合員との連絡が途絶えている折り、新聞の死亡者欄に基づき加入者を推定してお伺いすること。交通手段は徒歩または自転車とすること。共済金・見舞い金給付マニュアル作成。等々を決める。
1／19	・コープ共済センター対策本部の設置。日本生協連の堀江部長および伊藤課長と今後の対策を協議した。	・本部長　二宮、副本部長　加田、他全員が臨戦体制に入る。	・連絡不能、交通遮断等で出勤者50％のなか、水、タオル、地図、ノベルティ等々お見舞い活動の諸準備を整えた。 （１／20全労済も《火災共済》《あいあい共済》加入者へ見舞金の支払いを決定した。）
1／20	・被災者へのお見舞とお見舞金のお支払について、新聞広告の掲載を決める。（神戸、読売、朝日、毎日、産経の５紙） 緊急電話が１本設置された。	・コープ共済センターの電話が不通のため、日生協の共済本部のフリーダイヤル（0120-497000）を組合員からの連絡先とすることを決める。	・新聞でのお見舞広告は日生協の対応により 1月25日の朝刊に掲載することとなった。お見舞活動の大きな前進となった。
1／22	・全国の生協共済部局からの支援によるチーム編成が行われ、Ａチーム９名を皮切りに組合員へのお見舞い活動が展開されるようになった。	・交通アクセス確保のため自転車、バイク等の活用や、訪問活動での相互の連絡のため携帯電話の導入、さらに訪問先が倒壊等で不在の場合、見舞の挨拶文をビニール袋に入れて置いてくる等を決めた。	・訪問活動中に非難場所へもお伺いし、共済加入者の被災者への告知を行った。あらかじめ行政にも掲示目的の理解を得て、避難所一覧を入手していた。関係者からも喜ばれた。生文センター等での罹災証明の発行場所でも臨時受付を行った。

日時	事実項目（出来事）	その時の課題と対策	うまくいったことや問題点など
1／25	・お見舞とお見舞金のお支払についての広告を新聞に掲載した。問合先の電話は日生協のフリーダイヤルだけを載せた。（1月26日「きょうどう」臨時号にも同様に掲載）	・日生協に電話が殺到した。内容的には共済以外の問合せも多くあった。FAX が使えたので連絡に役立ち組合員へ対応できた。携帯電話も役立った。	・この時を契機として組合員と共済センターとの連絡がいっきに増加し、訪問活動が追われるようになった。
1／27	・Bチーム14名がスタート。日報記録が支援にこられた人達で綴られるようになり、最後のチームの人達にまで受け継がれた。（Oチームの4／28まで支援を受けた。日生協および44の生協と、共栄火災、小野英子事務所等の団体からでした。延べ人数1,070人でした。人的支援以外に名勤生協のチャリティーコンサートによる義援金やコープやまなし、コープみかわ等から沢山の折鶴も恵贈）	・不案内な土地での訪問活動、加えて他生協の組合員へのお見舞いの言葉を掛けること等、疲労度は高い。しかし訪問先での組合員からの感謝の一声や誠意ある声掛け等の会話が全てを超越した。 逆に、その感動とエネルギーを自らの生協で加入促進での訴求力、影響力を高めたと聞く。 この度ばかりは生協間連帯を強く意識された。	・コープ共済センターの職員も訪問活動に加わり、現地を見たり被災者との会話から意義ある共済の認識を新たにした。コープながのからお見舞いの千羽鶴が届けられた。コープながのの例に学び、書類送付の際に2～3羽の鶴とともに届けることにした。これが予想もしないほど、気持ちを伝える大きな役目を果たしたことが、後日の組合員からの手紙で知った。
2／1	・全労済は新たなCOOP火災共済の申込を停止することを決めた。	・火災共済への加入問い合わせや地震保険に関する質問等が寄せられるなか、やむを得ない措置としてご理解いただけた。	・全労済は約100億円程の見舞金を見込み、審査、給付を行った。組合員から高い評価を受けている。地震対応の共済がない現実。今後の大きな課題です。
2／6	・前記5紙に日経を加え6紙に2回目の広告を行った。（2/14、3/6、3/13と続き、計5回行った。）	・2／1現在、被災連絡はすでに 1,700件を超え、日生協もコープこうべも電話対応がますます増加。広告が入る度に件数は増え、2/13で3,700件、2/末で6,500件、3/27で1万件を超えた。（4月末で15,344件に達した。）	・受付事務応対マニュアルが整備され､応援に来ていただいた方々にも同様の応対をお願いした。 8万件以上の共済加入件数からすれば被災連絡は、まだまだ少ない。加入者へ郵便による直接のお知らせも行った。今、口伝えで知ったと連絡をくれる方もある。少なくともコープ共済の認知度は高まったと確信する。

日時	事実項目（出来事）	その時の課題と対策	うまくいったことや問題点など
2／15	・ライフプラン・アドバイザーでご活躍の小野英子事務所から、今後の被災者の復興のために必要な情報を提供したり、相談を受けることについて、ボランティアで手伝うと申し入れてくれた。	・専門的な立場からの情報であるため、《あいあい》推進員にはこのことを伝え、組合員からの問い合わせに活用するように伝えた。	・「住宅ローンの返済および住宅融資」、「税金の減免措置」「借地権」、「保険料やクレジットの支払いについて」、「行政からの援助内容および手続きについて」等々、貴重な資料をいただいた。
3／10	・「ライフステーション」でコープ共済が見舞金の支払いをしていることが報道されて、問い合わせが増えた。		・他の保険との比較記事のなかで、ひときわコープ共済の優位性が光りました。
4／1	・コープ火災共済の新規加入の受け付けを再開した。	・家屋の修復完了を条件に再開した。	・新聞広告には保険のＰＲが増えるなか、明るいニュースでした。
4／3	・新潟県地方の地震につき、お見舞いの電話とともに、見舞状を出した。	・地震当日の報道では震度４でした。その後の情報で大きな災害であったことを知った。	・速くて正確な情報の大切さを思う。

日　程	チーム名	ご支援いただいた生協名および団体名	人数
1/22～1/27	Ａチーム	日本生協連（以下“Ｎ”で表示）、京都生協	9
1/27～2/ 1	Ｂチーム	Ｎ、京都生協、ひろしま、かごしま、帯広、えひめ、なら	14
2/ 1～2/ 7	Ｃチーム	Ｎ、おきなわ、ぐんま、大分、さが、エル、みやぎ、エフ、共栄	14
2/ 7～2/14	Ｄチーム	Ｎ、しが、埼玉、宮城、岡山、島根、新潟、ちば、広島、神奈川、長野	16
2/14～2/24	Ｅチーム	Ｎ、埼玉、みかわ、かながわ、長崎、名勤、東都、宮崎、共栄、生活ク	13
2/21～2/28	Ｆチーム	Ｎ、山口、群馬、栃木、岐阜、名勤、宮崎、熊本学校、水光社、茨城、埼玉、長崎、エフ	15
2/28～3/ 7	Ｇチーム	Ｎ、宮崎、ながさき、Ｊｏｙコ、共済、宮崎、富山	21
3/ 7～3/14	Ｈチーム	Ｎ、Ｅコープ、ながさき、さいたま、大分、おきなわ、共栄、小松、福井	12
3/14～3/21	Ｉチーム	Ｎ、長崎、かごしま、埼玉、広島、おきなわ、共栄、石川、小野事務所	12
3/22～3/26	Ｊチーム	Ｎ、ぐんま	4
3/27～4/ 1	Ｋチーム	Ｎ、ちば、岐阜地区、めいきん、京都、パル	16
4/ 3～4/ 9	Ｌチーム	Ｎ、ぐんま、みやぎ、パル、おきなわ	12
4/10～4/15	Ｍチーム	Ｎ、京都、おきなわ	9
4/17～4/22	Ｎチーム	Ｎ、水光社、ぐんま、帯広、ながの、大分県民、とうきょう、エル	10
4/24～4/28	Ｏチーム	Ｎ、共立社、さっぽろ、かごしま、グリーン	12

※４月末までの応援延べ人数…1,070人　・訪問組合員数…2,806軒
※４月末現在で、お見舞金・共済金請求の受付件数…15,344件

《たすけあい》共済お見舞金の支払実績

（4月末現在・単位；千円）

	全　壊	半　壊	一部壊	合　計
件数	3,123	3,632	5,768	12,525
金額	62,460	36,320	57,680	156,460

《たすけあい》共済の共済金の支払実績

（4月末現在・単位；千円）

	死　亡	入　院	家族死亡	合　計
件数	45	43	73	161
金額	126,850	4,011	4,200	135,061

《あいあい》共済お見舞金の支払実績

（4月末現在・単位；千円）

	全壊お見舞い	半壊お見舞い	死亡共済金	合　計
件数	381	519	5	905
金額	11,430	7,780	15,000	34,210

《火災》共済お見舞金の支払実績（4/12現在）

件数…1,948 件　／　金額…1,093,793 千円

サービス事業部　アニパ

（1／3）

日時	事実項目（出来事）	その時の課題と対策	うまくいったことや問題点など
1／17 7：30	①地震が発生した。	①館内の被害状況を把握し、保安措置を行う。 ②本部経由のビル電話のため不通になり、公衆電話を使用し、職員の安否確認とアニパの状況の共有化をはかり、事情が許せば出勤するように要請。	①フロアの責任者に連絡をとり、定時職員等の安否確認を要請し、被害状況の把握も比較的スムースにいった。 ②被災状況は、アニパに常時就労者31人中、13人が半壊以上の被災。内、全壊は11人。
正午すぎ	②付近に住む、軽度な被害の職員が出勤し、照明のない中、復旧作業にはいる。また、慶事事業なので表の装飾等を引っ込める。	③アニパの初期復旧作業に入る。 ④電気と水が不通、幸い地下トイレが使用可能。	③地下トイレの使用は可能だが、給水タンクの残量のみ。
1／18 以降～	①館内の倒壊備品や設備の復旧作業にはいる。 ②レンタル衣装等の予約状況を把握し、ご要望の集約にあたる。また、キャンセルは無条件返金を決定する。	①電気がないため、3時ごろまでの作業で終了。 ②電話がアニパも使用できなくなり、生活文化センターや付近の電話を使用し、確認を進める。	①6人が出勤し作業にあたる。 ②前日、成人式終了にともない、160数点の振袖が返却になり、地下メンテナンス室に陰干しをしていたが、大きな整理棚が倒れかかるが、奇跡的に被害をまぬがれる。
1／20 13：50	①アニパの裏口のガラスが割られる。加害者に事情を聞く。アニパで式場を6月に予約したが、フィアンセが50時間生き埋めになり、その後死亡。パジャマのままではかわいそうなので、アニパのブーケをもらおうと侵入したもの。	①2階に上がりブーケとアートフラワーを渡す。あとで、焼香に伺い、お悔みを申し上げる。 ②生活文化センターに遺体安置されており、お線香もなにもない状態。お悔やみと手をあわせて、ご冥福をお祈りする。	①ご本人が後日、アニパを訪問。激励する。

日時	事実項目（出来事）	その時の課題と対策	うまくいったことや問題点など
1／21以降～	①裏口をあけて、時間限定営業を開始する。 当面、10時～3時とし、ご来館者への問い合わせは5時までとする。	①電話の復旧を要請。 ②ご予約者のご意向の集約。	
1／24以降～	①営業再開に向けて、修理や点検を本格化。 ②電気が復旧し通電チェックを受ける。	①駐車場のパレットの復旧。カメラやストロボ点検、ＦＡＸ等の修理、施設の点検を開始する。	①修理を依頼しても、交通事情や優先順位によりなかなか対応が進まない。
1／25以降～	①電話が2本新設される。 ②アニパに何度電話しても通じないので、アニパは全壊したのでは？に対応する。また、電話番号の変更のご案内を徹底する。 ③アニパの電話番号変更のＮＴＴ案内が、ビル電話の為に入らない。そこを何とかしてほしい。と要請。	①1本は組合員からの問い合わせ、1本はＦＡＸを開設する。アニパ保有回線を生文にまわし協力。 ②発信には公衆電話を使用し短時間使用を心掛ける。 ③電話番号変更とアニパは無事という簡易ＤＭを13種類、組合員の利用内容別に制作し約1,500通発送する。また、『ラジオおはようコープです』等でもアニパの状況を伝える。 ④ＮＴＴ変更を案内入るが「引っ越しのため…」という案内、「都合により」に変更させる。	①卒業袴への利用者不安解消や成人式記念写真が無事という知らせに役立つ。但し、宛先不在が多かったのも事実。 1）建物、衣装は無事、電話番号が変更。（電話告知は以下同）　2）ご返金方法のご案内　3）婚礼展は中止　4）被災職員への近況連絡　5）衣装の返却方法について　6）写真撮影は可能です　7）写真が出来上がりました　8）結婚式の変更相談承り　9）取引先への近況報告　10）衣装の精算は後日に　11）結納品のご相談承り　12）アニパクラブ通信は中止　13）衣装ご予約の方へのご案内
1／28	①部門責任者連絡会を開催し、今後の対応について協議を行う。	①出勤者の調整 ②1月24日チラシの中止を徹底 ③当面キャンセル対応の伝票の記入方法の徹底と、返金方法について確認。 ④フロア毎の、復旧及び復興課題について協議 ⑤トイレの対応について ⑥データーセーブについて確認、当面月次更新をしない旨を確認。 ⑦制服の着用については、当分見合わせる。私服で名札を着用して接遇を行う。	①フロアにより出勤や作業量が異なるため、出勤調整の協力を依頼する。また、ノー残業の継続をお願いする。 ②出勤調整協力をいただき年休のなくなった人に対して、事故欠にならないような対応方法を人事に要請し実現する。
1／31	①余震対策について協議し、当面の徹底事項について確認する。	①浜岡スタジオが倒壊し、当分アニパを貸し出す。 ②卒業袴の配達体制について ③フロア別の余震対策について話あう	〈日頃からの心がけ〉 1）ＥＶやガスの使用を控える 2）整理棚上部に重量物を載せない 3）作業場から避難路を想定する 4）組合員数を把握する習慣をつける

日時	事実項目（出来事）	その時の課題と対策	うまくいったことや問題点など
			〈余震対策〉 1）発生時は頭と身体をカバー 2）アイロンとスチーム等のスイッチを切る 3）慌てて外に飛び出さない 4）一段落したら怪我人の確認 5）事務所まで報告し指示を仰ぐ
2／1	①トイレ用の水の給水を受ける。以降、定期的に給水を受ける。	①開店をするがトイレの使用制限を実施。	①給水 1）2／1(水)水1t 2）2／3(金)水2t 3）2／4(土)水1t 4）2／6(月)水1t 5）2／8(水)水1t 6）2／10(金)水0.7t
2／7	①今後の営業体制について協議する。	①2月中、10時～15時（来館対応5時） 3月から、17時に開店時間延長を検討。	
アニパ本格営業に向けて体制作りにはいる			
2／10	①本日より正面玄関をオープンする。		
2／11	①本日より制服着用、宝飾品の展示再開 ②2月18日・19日に婚礼特別相談会を計画。DMや新聞告知の準備にはいる。 ③開店時間の復旧時期を3月9日(木)からに決定。「きょうどう」等での告知に努める。	①新聞告知の稟議を上げるが、トップ判断で3月中は広告活動停止の指示。 ②急遽、特別相談会を1週間延期。また、卒業袴の利用者や、記念写真の被災者への特別対応（焼きまし料を半額で実施）を計画する。	①3月21日から配付の「めーむ」、4月1日・2日の新聞折り込みに企画を変更し、2月18日・19日については、25(土)～26(日)に変更し、DMのみで広報を行う。
2／25	①国道2号線のマイカー使用規制がスタート。	①アニパのカップル来店手段が制限される。	①公共交通機関及び徒歩による来店方法の告知や、ご来館者への感謝の気持ちと、接遇を丁寧に行うよう指示。
4／1	①新聞折り込みチラシを実施。同日JRも1か月以上早く開通し、チラシ効果があがる。		
4／29	①本日より、日曜祝日の国道使用規制撤廃される		

サービス事業部　芦屋シーサイドテニス　（1／2）

日時	事実項目（出来事）	その時の課題と対策	うまくいったことや問題点など
1／17	①地震発生した。 ②テニス場近くに住んでいる定職員にTELして、被害状況を調べてもらう。	①当日定休日。	①支配人が母親の49日で帰郷していたが、テニスクラブ近くの定時職員が当日、職場に来て被災状況の把握をしてくれた。
1／18	①被害状況の報告をうける。 ・テニスコートにキレツが入っているようだ。芝コートが波打っている。 ・10面の内5面位使用できないと思う。 ・クラブハウスは軽傷、使用できる。 ・インドアテニスコート2面、波打っていて使用できない。	①被災状況の調査と営業休業の判断。 ・営業休業をきめて、「当分の間、テニスコートは休業させていただきます」の張り紙を入口に掲示する。	②永年勤務の優秀な定時職員および、近くに住む定時職員がいたので、状況把握や組合員対応などスムーズにいった。
1／19	①支配人が職員の被害状況の調査と出勤指示を行った。	①職員の被害状況把握と出勤に対する理解を（自宅近くの事務所へ応援か、自宅待機か）得る。	①被災職員1/3、また、近くの事業所倒壊および本人職種が専門職（コーチ）などから大半の方は自宅待機で了承してくれた。
1／23	②セキスイに、テニスコートの調査を依頼し、来てもらう。 ・全面改修が必要。 ・液状化現象による地盤沈下。 ・業務理事に報告する。	②被害状況調査と復旧にかかる費用・時間を知り上司に報告し、計画に組み入れてもらう。 ・供給事業所と同じく復旧工事の計画化をしてもらう。 ・費用をかけず応急復旧工事をしてもらう。 （軽傷のところのみ復旧工事を行う。）	②全面改修が必要とのことで費用がかかりすぎる。また、第1線事業所復旧が優先順位であり休業期間が長くなる。 ・クラブ会員、テニススクール会員、取引先、テニス協会などの対応をどうするか。（問題点が創造される。）
1／24 ～	①芦屋シーサイドテニスの被災状況と今後の対応について ・常任理事会への提案書作成に入る。	①早期復旧を前提にしつつ、クラブ会員、スクール会員への年会費返還措置の承認を得て返還の処理を行う。 ②会員様他へのあいさつ状の作成。	①早く決断し、対応したことで大きな問題は起こらなかった。 （地域周辺の被災状況が大きかったこと。また、テニスを考える時期でなかった。）
2／1 ～	①上記、常任理事会で承認される。 ・1年間を目途に休業とする。 ②年会員などの返還処理を行う。	①クラブ会員520人、スクール会員480人への返還金の計算とあいさつ状、振込用紙の郵送作業を行う。 ②会員の所在がつかめない人が多く、いろんな関係をたぐって100％返還を行う。	①金田支配人、鯛地さん、笠井コーチの努力で返還者、98％であった。のこり2％はサービス事業部で引きつぐ。

日時	事実項目（出来事）	その時の課題と対策	うまくいったことや問題点など
2／24	1．1年間を目途に休業決定していた芦屋シーサイドテニスに仮設住宅設置を芦屋市から依頼される。 2．常任理事会にて2年間を条件に仮設住宅用地として貸与決定する。	1．一度決定した休業措置が再度変更決定されたときの会員の反応への対応。 ・手紙の文面をよく考えて、ていねいに。 ・協定書を交わしている自治会への対応をよりていねいに対応する。 ・返還処理に対する反応、対応をどうするか。	1．一方的にお願い、告知の郵送になったが、クラブ会員から、クレームの声は2件のみであった。 2．1年間の休業から2年以上の休業期間になることから、再開時において、入会して1年未満の人の不在人数が多くなくと思われる。 ・不在の方に対しては返還金の精算を行っていく。
3／1	1．仮設住宅用地貸与について、テニスクラブ会員約1,000人に手紙発送する。		
3／13	2．地元潮見町南自治会に仮設住宅用地貸与についての手紙持参する。		3．心配していた自治会からのクレームはなかった。 ・正式な文書回答はいただいていない。
3／20	1．クラブ会員2名から仮設住宅転用の件でクレームがあった。		
3／31	1．芦屋シーサイドテニスの職員全ての人事異動、完了する。 ①金田支配人（コープミニカスミガ丘） ②笠井、岡田、松平、竹谷、富賀見、青山（生産部、クレリ、コープ店へ） ③退職者…5人	1．本人の希望にそった人事異動をしてやりたい。 2．明るく、元気に、又の再開、再会を願って別れる。	1．3月末に送別会を開いてあげて感謝された。
4／1〜	2．事後対応の部署 ①会員への対応 サービス事業部 ②コープ冠大会 青少年スポーツ 磯部さん ③施設管理 経理部管財 大賀さん		1．テニスコート再開時の対応 ①約束ごとを守ること。

サービス事業部　ふるさと村推進

日時	事実項目（出来事）	その時の課題と対策	うまくいったことや問題点など
1／19 PM18：00	ふるさと村復興緊急支配人会	①ふるさと村の予約宿泊対応について ②キャンセルの予約金返却について ③炊き出し配送ルートと配送時短について ④炊き出しによるふるさと村職員の作業時間変則体制について ⑤ふるさと村施設の風呂開放の取り組みについて ⑥職員被災地視察調査の取り組みについて（意識改革）	①組合員の安否確認取り組みによるふるさと村職員の意識改革と統一がはかれた ②炊き出し１日1,300食と水１日120ℓの確保ができ、２／１まで安定して供給ができた。 ③風呂開放取り組みによってふるさと村の存在評価づくりに大きく貢献した。500人利用 ④１／20～１／29の間に職員の被災地視察実施により被災地の現状把握と意識が大きく変わった。
2／7 PM13：00	第一回ふるさと村復興会議	①７月までのふるさと村来村復旧対策について ②ふるさと村ＰＲ活動展開について ③新規エリアの組合員獲得について（非被災地ＰＲ活動） ④新たな商品企画について（ディスカウント政策）	①３つのふるさと村の協力強化とふるさと村推進との連携がより一層強まった。 ②新しい企画商品が作成され、３つのふるさと村協同で、ＰＲ活動を開始することができた。
2／8	八千代町合同企画 被災者避難民１泊２日受入開始 2／11～3／31	①寄贈していただいた300万の有効活用 ②地元ボランティアの協力関係 ③延べ600名受入れ体制組織づくり	①ふるさと村と町及び行政との協力関係が深まり、ふるさと村やちよが八千代町民として認められた。 ②被災者に大変喜ばれ、ふるさと村ＰＲに大きく貢献した。（延べ586名受入れ）
2／11	第２回ふるさと村復興会議	①ふるさと村稼働率（前年比20％）を50％に復旧させる取り組みについて ②ディスカウントによるＧＰＲ確保の取り組みについて ③ふるさと村食材協同仕入れによるＧＰ確保について	①ふるさと村元気応援合同企画が好評に推移し４月現在で前年比80％まで復旧させることができた。 ②新規エリアの組合員獲得にローラ作戦展開することによって、成果を挙げることができた。
3／1	ふるさと村元気応援合同企画開始 3／1～5／31	①被災者の心のケア活動としての取り組み。 ②受入れノウハウの職員の確立。 ③テーマにマッチした料理の提供。	①前もって職員に事前研修を実施し、利用組合員に好評をいただいている。 ②宿泊料金の10％をボランティア募金として寄贈した。 ③新たな料理メニューが各ふるさと村で誕生し、好評をいただいている。

サービス事業部　ふれあい便C

日時	事実項目（出来事）	その時の課題と対策	うまくいったことや問題点など
1／17 ～ 1／21	1．正職・定職の確認と被害状況の情報収集 2．夙川、垂水東、こやの地区が大きく災害にあっている事がわかり会員の家庭に安否の確認をするため総訪問を実施した。	1．高齢者対象のふれあい便活動ですので物資の供給で生鮮・食品のお届けが出来ず会員さんには申し訳なく思った。 2．交通事情が悪く訪問軒数が計画通り出来なかった事。	ふれあい便の会員が今回の災害で約半分180軒までに減少してしまった。又会員さんに対しても商品供給が希望通りの対応も出来ず、不便さをあたえた。 今後の事も考えふれあい便の対応は現状で活動を進めるよりも第5地区方式のふれあい活動がより地域の高齢者に対しきめ細いサービスが出来ると思います。
1／22 ～ 1／31	組合員を第一に考え毎日訪問を実施し、水、ラーメンを中品に物資提供をくり返し組合員から非常に喜ばれた。しかしあまりにも大きな被害の為に、会員数が夙川、垂水エリアでは約半分の在宅であり、他は身内の所に避難されさいわいにも会員の中にはケガ，死亡者が一人もいなかった事に安心をした。(全体で225人減少) 3．配達者が定職のために被害を受けて出勤が出来ない状況が続き正職数名で災害当時対応をした。	3．コンピュータシステムの崩壊 ・手作業システムに移行 （旧家庭係システム）	・会員数が増えると手作業システムでは逆に効率が悪くなる。

震災後の生活文化センターの状況

1月17日の大地震後、比較的軽傷ですんだ生活文化センターは、地域の中で数少ない広い会場をもつ施設として活躍しました。

▶緊急対策本部が設置される。(1／17～1／31)

▶地階体育館および地下駐車場を遺体(247遺体)安置所に提供。(1／17～1／31)

▶地階ロビーを避難所(約60世帯)に提供。(1／17～4／31)

▶地階体育館および二階ホールを東灘区のり災証明(25,534件)発行所に提供。(2／6～3／2)

▶2月から地階体育館、1階展示コーナー、4階会議室に商品本部ほか本部機能の一部が臨時入居中。

▶3階の託児室を活用し、毎週月水金の午前、午後、臨時のボランティア託児を実施。のべ499人利用。

▶3月から5月にかけて、2階ホールで復興のためのボランティアコンサートをはじめ、気功教室やフォークダンスなど無料のイベントをのべ44回開催3,894人参加。

生活文化センター“復興をめざして”の催しもの('95.3月～5月)

「3月の催しもの」《癒しと微笑の輪をひろげましょう!》

月　日	曜	時　間	参加人数	内　容
3月7日	火	10：00～11：00	36	「気功健康法入門60分速成講座」 サービスを受けるというのではなく、一人一人が自分で健康管理をして、その上で助け合うために身体をほぐし、頭を深く休ませ、イライラや不安を取り除くための“気功健康法”をご一緒に。 ボランティアの方はまず自分の健康のために“気功”をして、自分が気持ちの良かった体験を被災者の方に伝えましょう。
		11：30～12：30	38	〔講師〕 津村　　喬(関西気功協会代表) 藤井　郁子(癒しの学校教員) 津山　鮎子(関西気功協会指導員) 林　　茂美(中日気功研究所所長) 竜田美枝子(関西気功協会指導員) 松村　健壱(生文センター気功講座講師) 橋本ひろみ(生文センター気功講座講師)
3月9日	木	10：00～11：00	45	「自己マッサージ法」
		11：30～12：30	53	「香功(しゃんごん)」 香功は今、中国で一番人気のある音楽気功。脳を安静にして、心身の調和を高める仏教気功です。
3月10日	金	10：00～11：00	35	「気功健康法入門60分速成講座」
		11：30～12：30	40	「香功」ほか
		13：30～15：40	88	映画「地球交響曲」上映 監督の龍村仁さんと㈱オンザロードの協力で、実現した映画鑑賞会です。 フィルムを東京から運んだ佐川急便の手違いで、フィルム到着が15分遅れるなどのアクシデントがありましたが風雨の中、会場に集まった参加者は拍手でフィルムの到着を喜んでくれました。
3月11日	土	10：00～11：00	51	「気功健康法」「自己マッサージ法」ほか
		11：30～12：30	62	「香功」ほか
		13：30～14：40	180	“苦悩のただ中から光を” 「林　晶彦ピアノコンサート」 京都の合同慰霊祭で鎮魂の曲を演奏した世界的ピアニストの林　晶彦さんはご自身も芦屋で被災されています。 演奏が終わっても、参加者は感動の涙で立ち上がることができませんでした。

月　日	曜	時　　間	参加人数	内　　容
3月11日		14：45～16：55	195	映画「地球交響曲」上映 ご家族での参加が多かった。美しい映像と音楽、そして、何よりも真実のもつパワーに癒され、自然と共に生きることの大切さを感じました。
3月15日	水	10：00～11：00	49	「気功健康法」「自己マッサージ法」ほか
		11：30～12：30	60	「香功」「気功ストレッチ」ほか
3月17日	金	10：00～11：00	45	「気功健康法」「自己マッサージ法」ほか
		11：30～12：30	55	「香功」「気功ストレッチ」ほか
3月21日	火	10：00～12：00	135	「香功大会」 音楽に乗っての「ディスコ気功」「静功」（“無”にして座す）「香功」でこころと身体を癒した2時間。 〔講師〕 津村　　喬（関西気功協会代表） 林　　茂美（中日気功研究所所長）
3月25日	土	10：00～11：00	35	「気功健康法入門60分速成講座」
		11：30～12：30	47	「香功」「気功ストレッチ」ほか
3月29日	水	10：00～11：00	43	「気功健康法」「自己マッサージ法」ほか
		11：30～12：30	51	「香功」「気功ストレッチ」ほか
3月31日	金	10：00～11：00	36	「気功健康法入門60分速成講座」
		11：30～12：30	48	「香功」「気功ストレッチ」ほか

「4月の催しもの」

月　日	曜	時　　間	参加人数	内　　容
4月1日	土	10：00～11：00	43	「気功健康法」「自己マッサージ法」ほか
		11：30～12：30	50	「香功」「気功ストレッチ」ほか
4月2日	日	10：00～11：00	52	「気功健康法入門60分速成講座」
		11：30～12：30	54	「香功」「自己マッサージ法」ほか
4月4日	火	10：30～12：00	100	「秋吉道世先生とリズム体操を楽しみましょう」 生文センター講座講師の秋吉先生とリズム体操会のメンバーが幼児からシルバー世代の方々まで幅広い年齢層を対象にホールいっぱい使い楽しく体操をする。
4月7日	金	10：00～11：00	50	「気功健康法」「自己マッサージ法」ほか
		11：30～12：30	62	「香功」「気功ストレッチ」ほか
4月12日	水	10：00～11：00	67	「気功健康法入門60分速成講座」
		11：30～12：30	71	「香功」「自己マッサージ法」ほか
4月15日	土	10：00～11：00	72	「気功健康法」「自己マッサージ法」ほか
		11：30～12：30	78	「香功」「気功ストレッチ」ほか
4月20日	木	10：00～11：00	83	「気功健康法入門60分速成講座」
		11：30～12：30	85	「香功」「自己マッサージ法」ほか
4月22日	土	13：00～16：00	150	「ジョイントコンサートと落語会」 ◆土井典子さんと一緒に童謡を歌う ◆小林忠夫さん（全日本ハーモニカ連盟理事） ◆桂都丸さんの落語会
4月24日	月	10：00～11：00	115	「気功健康法」「自己マッサージ法」ほか
		11：30～12：30	121	「香功」「自己マッサージ法」ほか
4月26日	水	10：00～11：00	95	「気功健康法」「気功ストレッチ」ほか
		11：30～12：30	102	「香功」「自己マッサージ法」ほか

月　日	曜	時　　間	参加人数	内　　容
4月28日	金	13：00～14：30	520	名曲鑑賞で心も身体もリフレッシュ!! 「ストレス時代の音楽健康法」 〔出演〕 ヴァイオリン　佐藤　陽子（世界的ヴァイオリニスト） ピアノ　森岡賢一郎（第一線の作曲、編曲家） ツィゴイネルワイゼン（サラサーテ） タイスの瞑想曲（マスネ） 愛の悲しみ（クライスラー） 愛の喜び（クライスラー） 典子は今（森岡賢一郎） ゴッドファーザー　愛のテーマ お　話　日高　敏夫（日本コロンビアDCS 感性研究所） 演　題／名曲はなぜ人間の こころやからだを癒すことができるか 《心の癒し》に音楽療法が取り入れられ注目されている。 名曲鑑賞をしながらリフレッシュ方法を知るひととき。 （日本コロンビアDCS 感性研究所）

「5月の催しもの」

月　日	曜	時　　間	参加人数	内　　容
5月8日	月	10：00～11：00	128	「気功ストレッチ」「波動功」ほか
		11：30～12：30	139	「香功」「自己マッサージ法」ほか
5月9日	火	13：30～16：10	230	ボランティアコンサート 「ポピュラーを楽しく歌いましょう！」 フォークソング、シャンソン、ジャズ…歌もいろいろ。ギター、ピアノ…演奏もいろいろ。 横山由紀子さんと仲間たちが演出する楽しいひとときです。 〔出演〕 クラシックギターリスト　山崎　繁 シャンソン歌手　山下　有子 ポピュラー、フォーク歌手　横山由紀子 ポピュラー、ジャズピアニスト　猿渡由利子

'95年4月23日、生活文化センター2Fホールに170人が参加

シーアカルチャープラザ
復興ボランティア活動
('95年３月19日～５月28日)

シーアカルチャープラザでは、３月19日～５月28日にかけて復興ボランティア講座を開催しました。使用できる会場が少ないなか、シーア4F教室、シーア2Fセントラルコート、生文ホールの３会場で46回開催。のべ3,000人あまりの方が参加されました。

４月１日㈯「人形劇と朗読」人形劇団クラルテと小笠原町子さんによる朗読にのべ140人が参加

４月５日㈬　パントマイムと古典講談「大久保彦左衛門」約100人参加

４月22日㈯「風かおるシャンソンコンサート」約150人が参加

４月29日㈯「みんなで歌おうコンサート」(於：生文C) 約70人が参加

４月30日㈰　九州若松児童文化会「おこんじょうるり」人形劇にのべ130人参加

５月７日㈰「楽しくエアロビクス」(於：生文C) を開催。65人参加

５月28日㈰「手話落語」桂福団治他 (於：生文C) には70人の参加

震災時の協同学苑の対応

Ⅰ．緊急第２対策本部として

ガス・電気・水道・交通・情報・ライフラインのすべてを断れた緊急対策本部〔生活文化センター(神戸市東灘区田中町)〕は被災のド真ん中にあり、目の当りにする悲惨な光景と喧噪の中で、組合員・職員の安否をはじめ情報の受発信に呻吟していたが１月19日、被害を免れた三木市にある協同学苑を第２対策本部に定め、情報の中継基地とすると共に緊急物資のデポにすることを決定した。

１月17日（地震発生日）の昼頃まで電話はほぼ正常であったが、やがて電話・ファックス１本と公衆電話が時たま通じる程度となった。それに加えて、近くの職員が情報（指示）を求めて集まり、その夕方より学苑は混雑を極めた。しかし、次第に電話とファックスが正常化するにつれて第２対策本部の任をどうにか果たせるようになった。

１）仮事務所（緊急対策処理のため）として

①開発・建設部②経理部③緊急物資配送、荷受スタッフの事務所に研修室を開放

ほぼ同時に新たに臨時電話を設置（５ケ所５個）

２）臨時事務所として

①兵協連②労働組合③コモテック④第６地区本部が使用

Ⅱ．緊急物資デポとして

体育館、グラウンド、研修棟のピロティーを使用。

各単協（他生協）から支援物資及び緊急供給用商品で満杯となり、昼夜を問わず、10ｔ車や協同購入センター等の車が往来。後日、ボランティア本部のデポとして使用。

Ⅲ．コープこうべの本部として

２月１日から理事会は倒壊した住吉の本部ビルに代わり協同学苑の体育館を本部と定め、１月末から設営が始まり、主として管理部署の引っ越しが順次スタートした。

Ⅳ．事務所用品及び資料置き場として

史料館内及びその倉庫に事務用品及び資料を仮収納（倒壊した本部ビルで延焼を免れたもので、取り出した物品トラック10数台分）

Ⅴ．被災者、支援者の宿泊所として

全国の生協の仲間延べ約3,500人の宿泊及び食事を世話した。また、職員の被災者とその家族約10人の宿泊及び食事を提供した。同様にコモテック研修生、屋根工事関係者などの宿泊にも便宜をはかった。

Ⅵ．風呂を開放

当初は職員のみに対し24時間開放を試みたが、ボイラーパンクのため利用時間の制限を設けて提供した。２月初旬からは一般組合員にも開放し３月末日までに約 4,000人が利用。

＊風呂開放は５月中旬まで続く

Ⅶ．炊き出し

震災の翌日の１月18日から炊き出しを行い、１週間で約 7,500個のおにぎりを作り、対策本部の生活文化センターに自転車２台と共に届けた。(ふるさと村ちぐさと八千代と共催)

Ⅷ．学苑の講座すべて中止

２月末月まで学苑の貸会場利用とふれあい講座等すべての講座を中止した。(３月１日より開始)

＊中止期間中74講座のべ3,500人に影響

※学苑職員の宿直（１／18～１／31）

【震災時学苑利用概要】　1995年１月17日～３月

	１　月	２　月	３　月	備　　考
宿泊者数	1,412人	1,546人	550人	工事関係者10人～30人(土･日を除く毎日)12月迄
食　事	233万円	189万円	68万円	
浴場利用	約800人	約2,600人	約650人	５月中旬まで開放
炊き出し	おにぎり 7,500個	——	——	——
その他備品提供	自転車　２台 ゴミ手袋 軍　手 ガムテープ　多数	——	——	——

＊支援者・被災者　食事代概算　490万円

5

資料編　店長日誌（コープデイズ芦屋）

店長
志方　京三

1月17日㈫　天気：はれ

営　業　体　制（供給活動）	
出勤状況	ＡＭ８時を皮切りに以下の者が出勤　（他所属応援）　敬称略 ・Mgr　　西村・森岡・土田・志方 ・チーフ　　田中・森田・宮本・古山 ・メンバー　上垣・上西・難波・大山・内橋・浜中・真柄・伊藤・高原・COMO中村・日生協：板谷 ・メイト　　谷口 （注：Mgr＝マネージャー）
供給活動	営業時間・場所　　店頭に休店告知をした。 行政への供出対応を考え準備をした。 午後より芦屋市の要請により、毛布、水、ジュースをはじめ即食べられる食品を集めるだけ集め供出した。１トントラックで引取にこられ、３回ほど往復していただいた。 夕方再び食料品の供出要請があり、対応した。バックヤードには商品在庫はあったが、物品散乱しており取り出せる状態ではなく大変苦労した。 翌日からの商品対応へ向けて、整理を中心に商品準備を夜遅くまでした。
組合員情報	まず、職員の安否確認を作業として急いだ。 Mgr単位で確認名簿を作成したが、確認のためのTELがまったく機能せず、夜遅くにくなっても確認できたのはごくわずかであった。 しかし、残念ながらメイト岡田滋代さんご本人とお嬢さんの死亡が午前９時ごろ宮本チーフにより確認された。合掌
	本日の供給高　（――― 円）　　客　数 ―― 人
建物設備管理（復元活動）	
建物	・スプリンクラーの欠損か、各階とも店内中央部付近が天井から落水し、床は水浸しの状態であった。 ・外壁や柱などに大きなヒビ，亀裂有り。特に北東部が被害大。 ・２．３階西面のウインドーが破損。ビニールシートで応急に囲いをほどこした。 ・北側ＢＹの階段および防火扉が変形。とにかくいたる所に何らかの問題あり。 （注：BY＝バックヤード）
設備	・全てＮＧの状態。 ・照明は自家発電で非常灯のみ点灯。薄暗く、天井に設けたエアコン吹き出し口などの落下も懸念される。 ・トイレ使用にあたってのマニュアル作成。地下のみ使用と指示。 ・店内全て火気厳禁の指示をした。 ・照明は自家発電用の燃料確保のため午後10時で完全消灯した。
店内	・地震のゆれで地階の冷凍ケースが大きく移動したり、ゴンドラが転倒するなどし、商品が散乱している。しかし、キャスター付きの什器は移動こそすれ、陳列商品の落下はなかった。 ・店内はいたる所で水漏れし、電話機もはずれ警告音が鳴り響いていた。
バックヤード	・階段部分の壁面が大きく欠落するなど、通行に支障あり。 ・事務所内の什器は転倒し、コンピューター類も棚から落ちていた。金庫も数10センチ移動。恐ろしい状態。 足の踏み場もないくらい物品が散乱していた。とにかく通れるようにするのがやっとであった。谷口さんが来て下さり大助かりであった。 倉庫も商品が散乱、転倒しており動けない状態であった。限られた人員であり出来ることしか手がつけられなかった。
その他	・地震発生時には店内に、西宮警備の鈴木警備員、コープムービングの野田氏、菊地氏がいたが全員無事であった。 ただし、東側駐車場に停めていた２台の車（野田、菊地氏）は隣家の倒壊のため破損した。 ・午前10時半ごろ運営部岸部長と、畑係長が現状確認のため来店。今後の対応の指示を受けた。

店　長　日　誌

1月18日(水)　天気：はれ　　コープデイズ芦屋

営　業　体　制（供給活動）

出勤状況

（他所属応援）　　敬称略

・Mgr	西村・伊東・土田・志方	C吹田　矢野
・チーフ	田中・森田	Lステーション　青柳
・メンバー	宮・上西・難波・道下・浜中・伊藤・高原	運営部　畑係長
	COMO中村・日生協板谷	
・メイト	谷口・松浦	

供給活動

営業時間・場所　　店頭に休店告知

本日も芦屋市の要請にこたえ緊急物資の供出をおこなった。
昨夜準備した食料を供出しようとしたが、ベビーフード　オムツなどのリクエストがあり、急遽変更対応した。
市に供出すべく用意した食料品の引取用車が手配できないとのことから、昨夜用意した食品類を袋に詰める作業をし約1000袋作成、午後1時より店外で配付した。本来無償対応してはならないと考えられるが、市に供出することと同意であると判断した。イカリスーパーでも袋詰めにして無償配付をしていた。
＊夕刻に芦屋市へチーズ・ハム類を供出した。

商品状況

昨日同様商品の入荷はまったくなかった。
明日よりの供給体制づくりをすすめた。（らーめん、缶詰、お菓子などすぐ食べられるものを袋詰め）

組合員情報

職員の安否確認作業およびコープ委員、総代の安否確認作業をすすめたが、本日もTELが機能せず、公衆TELを捜しすすめた。しかし、進展はほとんどない。
避難所をまわり該当者捜しも並行しすすめた。

本日の供給高　（————円）　　客　数　——　人

建物設備管理（復元活動）

建物

・本日の余震で欠落部分、ヒビがさらに大きくなった。
・店頭準備をすすめたが、余震による落下物の恐れもあり、慎重に判断した。
・夕刻に欠落したガレキの除去作業を行なった。

設備

・全てＮＧの状態。
・照明は自家発電で非常灯のみ点灯。
・ＥＶ点検にフジテックが来店すれど修復に時間がかかると告げたのみ。
・本日も照明は自家発電用の燃料確保のため午後10時で完全消灯した。
・ベーカリーコーナーのTELが使えることを発見すれど、かかりにくい状況は前日と同じ。

（注：EV＝エレベーター）

店内

・昨日の水漏れは一応終息した。
・店内落下の恐れある設備を落下防止の応急措置を行なった。

バックヤード

・商品移動ができるよう、通路確保の作業をした。しかし、店内照明が暗く作業がすすまない。
・事務所内の一定片付けができた。といっても棚に仮に戻しただけである。

その他

・午後８時ごろ２階売場に高校生風の男５～６名が侵入しているのを発見。２名を取り押さえ保安に引き渡すが逃亡されたと報告を受ける。
・その後破損した窓の補強を再度行い、夜間の警備巡回を手分けし強化した。

店　長　日　誌

1月19日㈭　天気：はれ　風強し　　コープデイズ芦屋

営　業　体　制（供給活動）

出勤状況

（他所属応援）　　敬称略

・Mgr　　西村・伊東・土田・志方・森岡　　C吹田　矢野、運営部　畑係長
・チーフ　　摺崎・森田
・メンバー　宮・上西・難波・道下・上野・浜中・大山・伊藤・高原・真柄・宮本・COMO中村・日生協板谷
・メイト　　谷口・米田・大西
・バイト　　安田　　出勤記録簿を作成。

供給活動

営業時間・場所　　店外にて　　店頭に休店告知
・昨夜準備した食品袋に牛乳１パックを入れ500円に設定。
・玉子１パック100円、いちご400円、全てを利用すると1000円になり、店頭であることから釣り銭のないよう工夫した価格設定を行なった。
・午前11時からセット供給　食品袋がなくなったため単品供給は午後１時より行なった。３時ごろ終了した。
＊　芦屋市へベビー用品・オムツ・生理用品などを供出した。

商品状況

・午前６時ごろ玉子が台車２台入荷
・すぐあとに牛乳85ケース、いちご50ケースが入荷
　ＥＶがないため当直者４名で地下売場への搬入。たいへん苦労した。夕方そうざい類入荷（明日用にした）
・午後８時半にポリタンク、ガスコンロ、ボンベ、紙コップが入荷。待ちに待った商品なので荷降ろしにも力が入る。
・午後９時まえにＤＣ便入荷。内容は醤油やお菓子の定番。なぜこんなものが……

組合員情報

職員の安否確認作業およびコープ委員、総代の安否確認作業をすすめたが、本日もTELが機能せず、公衆TELを捜しすすめた。昨日に比べ大きく確認がすすんだ。
本日も避難所をまわり該当者捜しも並行しすすめた。
・震災前に承っていた配達品のお届けを開始、倒壊、不在で仲々進まず、不在宅へはメモを投入。
　水をはじめポリタンク、ガスボンベなどのリクエスト多数。

本日の供給高　（546,602 円）　　客　数　――　人

建物設備管理（復元活動）

建物

・本日の余震で欠落部分、ヒビがさらに大きくなった。１階ＢＹ壁がさらに大きくなり人が通れるまで広がった。
・余震による落下物の恐れもあり、店頭での供給活動は難しいと判断。明日より館内で行なうようにした。
・欠落したガレキの除去作業を行なった。特に外まわりに重点をおいた。

設備

・電灯回線が復旧したがいたる所で漏電がおこっており点けてもすぐ消す状況。午後３時のこと。
・夜遅くになり、３階バックヤードのみ通常点灯した。
・ＪＶのフジタが点検に来店。
・TELがかけられるようになった。

店内

・店内散乱した商品のなかから緊急性の戦い商品を選別する作業をすすめた。
・午後３時すぎに通電したため動力も動き、止まっていた水が再び漏れだした。
　落水の多い部分の天井裏へあがり、タオルで応急措置。

バックヤード

・明日よりの荷受け～品出し、店内清掃など様々な作業のチームづくりを行なった。

その他

・午後朝日新聞より取材をうけた。
・本部に応援求め明日よりの約束がとれた。
　当直者を６名にした。

店　長　日　誌

1月20日㈮　天気：はれ　　コープデイズ芦屋

営　業　体　制（供給活動）	
出勤状況	出勤記録簿を作成したので個人別記載省略　　敬称略 （他所属応援） C吹田　矢野、C苦楽　松窪、CLC甲南　柳、運営部　畑係長・浦本係長
供給活動	営業時間・場所　　店頭に開店告知　　11：00～16時ごろ。 ・昨夜入荷したポリタンク、ボンベをはじめ緊急性の高い商品を主にしてリカーコーナー横の階段ゾーンでワゴン7台をワンウエーに配置し展開。 ・レジはTEC1台と電卓を使い都合2台のチェックアウトを設けた。すべてTECレジにしたかったが、1台しかキーが合わず残りは電卓使用。 ・多数のご来店があり、混雑したため入店制限を繰り返した。しかし、お詫び対応を行い混乱もまったくなく、かえって感謝のおことばをいただいた。
商品状況	・午前6時ごろ玉子が台車2台入荷 ・すぐあとに牛乳75ケース、プリン類50ケースが入荷 ・いちご50ケースも入荷。 ・EVがないため当直者6名で地下売場への搬入がたいへん苦労した。 ・伊予柑、リンゴ、柿などもつづいて入荷。干柿には？価格設定は摺崎チーフに依頼。すべてコスト切れで設定した。果物はすべて袋入りにした。イチゴ￥400　伊予柑￥500　リンゴ￥500　玉子￥100 ・徳島から水1000本入荷とのうれしい情報。ただしガセであった。水がほしい。
組合員情報	・職員の安否確認作業およびコープ委員、総代の安否確認作業をすすめた。本日もTEL復旧　昨日に比べ大きく確認がすすんだ。安否確認表を掲示。職員安否未確認129名　死亡、ケガ4名 ・コープ委員、総代を訪問。あまりの被害の大きさにがっくり。半数の安否確認ができた。水をはじめポリタンク、ガスボンベなどのリクエスト多数。いづれも午前中で品切れた。
	本日の供給高　（2,001,330 円）　　客　数　――　人
建物設備管理（復元活動）	
建物	・本日の余震で扉のゆがみが進行した。 ・BF農産ゾーンのシャッターがはずれた。
設備	・電灯回線が復旧したが本日も漏電がおこっており、3階が比較的漏電が少なく、この階のみ点灯し作業した。 ・TEL回線復旧すれどかかりにくい状況はかわらず。
店内	・入荷商品も増え、店内の商品整理も進んだため、明日より農産ゾーンでの展開をすべく準備作業を行なった。ミニコープなみのスペースゆえ、だれかがコープデイズミニと命名。
バックヤード	・人員がそこそこになったので、BY整理が進んだ。
その他	・竹本理事長来店。激励を受ける。 ・本部に応援求めていたが、ゼロに近い状況で作業計画がくずれた。 ・明日より京都生協の応援が入ると連絡あり。 ・本日よりワールド警備2名着任。夜間2階の保安体制を依頼。 ・復旧と運営の組織編成を修正した。復旧対策本部と正式に表示。（組合員集会室）

店　長　日　誌

1月21日(土)　天気：はれ　とってもさむい　コープデイズ芦屋

営　業　体　制（供給活動）	
出勤状況	出勤記録簿を作成したので個人別記載省略　　敬称略 （他所属応援） C吹田　矢野、ＫＣ六甲　中島、ＫＣ甲南　北山・堀越、運営部　浦本係長 京都生協　30名
供給活動	営業時間・場所　　店頭に開店告知　　11：00～17時ごろ。 ・昨夜拡大した農産ゾーンに食・住・衣で展開。 ・開店まえには約100名近く並ばれた。列ができていたのは12時半ごろまでで、その間入店制限をした。 ・レジスペースは３台としたが、ＴＥＣ１台あとは電卓対応とした。 ・多数のご来店があり、混雑したため入店制限を繰り返した。しかし、お詫び対応を行い混乱もまったくなく、かえって感謝のおことばをいただいた。商品が多くなったとよろこばれた。
商品状況	・牛乳、ゼリー類が昨日並に入荷。 ・日配のかまぼこ、惣菜類がコンテナ６台も入荷。夕方に再びそうざい類入荷。 ・りんごもコンテナ１台入荷。午後より水、パンが入荷した。さっそく並べ好評。パンは京都生協のパンが入った。 ・ＥＶがないため当直者６名で地下売場への搬入が今日もたいへん苦労した。 ・店内よりの商品と、入荷商品でほぼ品揃えができるが、いかんせん送り込みがやたら多いため、生物は廃棄となってしまう。
組合員情報	・開店告知は店頭しかできず、かつ近隣は崩壊や避難しているため来店は少ない。 昨日に比べ大きく確認がすすんだ。安否確認表を掲示。 ・職員安否未確認100名弱　　死亡、ケガ４名 水をはじめポリタンクのリクエスト多数。今日は入荷がなかった。
	本日の供給高　（2,023,402 円）　　客　数　――　人
建物設備管理（復元活動）	
建物	
設備	・電気は昨日と同じ状態から一歩前進した。作業時間中は点灯。 ・ＰＯＳ点検に富士通が来店。事務所ＳＬＰはほぼ完全修復の見込み。ＳＴＣは２台ダウン、レベルはＢとのこと。 ・ガス、水道は依然見込みなし。 ・都市管理、ＪＶ、牛瀧理事長、山本東館理事長、丸岡氏を交え修復について打合せ。 東館の安全性は前回と同じ地震が発生しても倒壊はないとのこと。生協からは１日も早い復旧を要望した。
店内	・ＢＦ修復を最優先し、あわせて１Ｆは荷捌きスペースとして必要のため、京都生協の応援者と共に作業をすすめた。
バックヤード	・人員がそこそこになったので、ＢＹ整理がさらに進んだ。 ・ＢＦのガレキも処理できた。
その他	・コープ出版より取材を受ける。 ・京都生協より30名の応援があり、作業が大きく進展した。 応援受入れに対し、班編成での対応とした。 食料の差し入れに感謝。山本常務ほか２名の本部職員の方が激励に来て下さった。 ・デイズ職員の出勤確保に苦労。車通勤に大きく支障がおこっている。

店　長　日　誌

1月22日(日)　天気：あめ　　コープデイズ芦屋

営　業　体　制（供給活動）	
出勤状況	個人別記載省略　　敬称略 （他所属応援） 運営部　松浦課長・浦本係長・畑係長　イベント部　3名 （他生協応援） 京都生協　39名　三重県民　1名　　ちば　4名　　岐阜地区　9名
供給活動	営業時間・場所　　11：00～17時 ・昨夜拡大した農産ゾーンに食・住・衣で展開。 ・本日より開店時間を固定した。 ・レジスペースは3台としたが、ＴＥＣ1台とあとは電卓対応とした。 ・昨日に比べ開店時間待ちの組合員様は少なくなったが、入店制限はした。午後からはフリー入店とした。 ・日を追うごとに品揃えがふえてきた。
商品状況	・売場展開スペースを上回る商品入荷に頭をいためる毎日である。 ・食品類でのリクエストアイテムの変化が見られだした。生物への憧れが多い。 ・各お取り引きへ個別発注する体制が整いだした。これで商品入荷調整ができそう。 ・ＥＶがないため地下売場への搬入が今日もたいへん苦労した。 ・ガスボンベ、ポリタンク不足のため明日直引取を指示した。 ・店内よりの商品と、入荷商品でほぼ品揃えができるが、いかんせん送り込みがやたら多いため、生物は廃棄となってしまう。
組合員情報	・商品リクエストに応える体制をとった。バックヤードとの連携での対応。 ・安否確認がおおきく進行した。 ・職員安否未確認　30名弱　　死亡、ケガ4名 水をはじめポリタンクのリクエスト多数。今日は入荷がなかった。
	本日の供給高　（1,944,417 円）　　客　数　―― 人
建物設備管理（復元活動）	
建物	
設備	・電気は昨日と同じ状態から一歩前進した。作業時間中は点灯。 ・農産ゾーンにＰＯＳレジ設置段取り。本体ＯＫ　信号線工事のみ。 ・ポケベル復旧 ・ガスは依然見込みなし。 水道は2月末の見込み。
店内	・他生協応援者とともに１Ｆ日用品ゾーンまで整理が完了。 ・２Ｆ　良品、不良品の仕訳作業　　１Ｆ　Ｌグッズ整理完了 ・３Ｆ　キッチンゾーンのガラス破片処理完了、催事ゾーンスペース確保 ・ＢＦ　通路整理ほぼ終了　リカーゾーン床整理段取り 食品の商品整理段取りが進む。　　本日で一気に整理作業が進んだ。
バックヤード	
その他	・勝手をしった千葉コープの奥田氏の応援があり大きく進展した。 ・応援者への指示マニュアルを掲示した。 車通勤に大きく支障がおこっている。　本日よりワールド警備2名配備

店　長　日　誌

1月23日(月)　天気：くもり～小雨～くもり　コープデイズ芦屋

営　業　体　制（供給活動）

出勤状況

個人別記載省略　　敬称略
（他所属応援）
運営部　松浦課長・畑係長、ＣＬＣ甲南　田辺・柳、イベント部　３名
（他生協応援）
京都生協　１名　　三重県民　１名　　いずみ　３名　　滋賀　５名　　ちば　４名　　みやぎ　36名
愛媛　３名　　三重北　１名　　岐阜地区　８名　　和歌山　３名　　徳島　５名　　計　70名

供給活動

営業時間・場所　　11：00～17時
・農産ゾーンに食・住・衣で展開。
・レジスペースは３台としたが、ＴＥＣ１台とあとは電卓対応とした。
・昨日に比べ開店時間待ちの組合員様は少なくなったが、入店制限はした。午後からはフリー入店とした。

商品状況

・ガスボンベ、ポリタンク不足のため直引取でもってきた。自転車15台手配　即完売
・生物への憧れが多い。
・必要としない商品の送り込み　座椅子、花と野菜の土（定番発注していたもの）
・量が考えられないくらい多いもの…サンマ缶詰・サバ缶詰でコンテナ４台　Ｑちゃん漬け10ケース
・ＥＶがないため地下売場への搬入が今日もたいへん苦労した。
・店内よりの商品と、入荷商品でほぼ品揃えができるが、いかんせん送り込みがやたら多いため、生物は廃棄となってしまう。

組合員情報

・商品リクエストの内容がかなりわがまま的になりだした。例…○○ビール　トマトジュースの○○メーカー
・安否確認がおおきく進行した。
・職員安否未確認　８名　　コープ委員　６名
安否確認最新版　作成

本日の供給高　（2,731,210 円）　　客　数　―― 人

建物設備管理（復元活動）

建物

・外まわりガラス破損部を再補強した。
・ＡＭ９時45分の余震で１Ｆ外壁が更に欠落し、職員階段からはっきりと中が見えるようになった。

設備

・ＰＯＳ移設段取り完了　信号線はリカーより引き込むようにした。
・東階段入口に簡易照明を取り付けた。

店内

・ＢＦ　良・不良品選別完了。ゴンドラ移動完了。
・１Ｆ　良品、不良品の仕訳作業（日用品）什器移動段取り
・２Ｆ　水濡れ商品チェック段取り
・３Ｆ　キッチン80％完了　　本日も一気に整理作業が進んだ。

バックヤード

・修復は次のステップでの取り組み　ＢＦ～１Ｆの順で
・ＢＹ階段はほぼ通常な状態にもどせた。

その他

・職員安否未確認者およびコープ委員未確認者宅をチーム編成し確認にまわった。
・宮城生協36名の応援行動はものの見事な体制で目をみはる行動をとっていただいた。
・さすが地震経験が生かされた行動と関心した。物心両面にわたる応援に感謝。
・松田青果が階段うえでトマト１コ100円で販売　味小径がＢＦ共用通路でヤキソバを販売。
・芦屋市が大丸検収所まえで昨日に引続き救援物資の無料配付を実施　ＰＭ１時より
車通勤に大きく支障がおこっている。　明石方面より４時間かかる。

6

資料編　私の震災体験と教訓

～私の震災体験とその中で学んだこと～

総務本部
山本　健吾

1．大震災を体験して

震災当日午前５時30分いつも通り起床し、新聞に目を通していた瞬間、突然大音響とともに部屋は真暗になり、電子レンジや食器類が音をたてて落下しだした。あわててベッドに戻り布団をかぶり、枕を頭の上に置き長い揺れに耐えるのみであった。

この状況では建物は必ず倒壊するので、どのような姿勢でいるのが安全かと思いながら揺れが止まるのを待った。10分近く揺れたように感じていたが、実は短時間だったのである。多分高層の７階に居住していたため錯覚したのかも知れない。揺れがおさまり、６時５分頃ベランダに出て外に目を向けると、いたる所から黒煙があがっていた。芦屋方面から兵庫あたりまでに17ヶ所から火災が起きていた。これは大変と思い、いつもより早く６時30分頃バス停にたどり着くと運休していた。仕方なくマイカーで出勤しようと車を取りに戻る途中、本部職員に声をかけられ同乗させていただいた。高羽あたりまで降りてくると、建物は倒壊し、墓地の石垣は崩れ、これは大惨事と気づいたのである。

ようやく住吉までたどり着き駐車場から歩き出すといたる所民家が倒壊していた。シーア北側道路に出て、西側方向に目を移すと有馬道交差点にコープの看板が落ちているように見えた。小走りに近づいたところ本部建物が倒壊しており、しばし呆然としていた。その矢先、誰かが建物内に守衛２名が生き埋めになっているとのことで救出作業が始まった。

早速何から手をつけようかと思った瞬間、理事長からの指示で、さらに銀行前に救護用テントを張り用意せよとの伝言があった。取引先に急ぎ依頼しようと電話するが全然通じず、やむなく自転車でテントの依頼に本山方面に向かった。途中住吉川あたりまで行くとまた理事長と出合い、テントより先に緊急対策本部を作るので戻れとの指示でシーアまで戻った。シーア東側非常階段の踊り場に集まり、緊急会議を開催し、生活文化センター内ジョイポットに緊急対策本部が設置された。

混乱と不安の中、被災された組合員の救済を最優先に考えて今、何をすべきか組合員の暮らしと事業の立て直しに向けた対応が始まった。

2．(1)　通信回線の復旧新設

緊急対策本部は出来たものの、電話回線が寸断され対策会議での決定事項の伝達手段がジョイポットの１回線のみであった。全事務所への指示・情報の共有化・確認が出来ない状況を打破するため、電話工事関係の取引先に依頼し、午前中 NTT 神戸支店へ走ってもらった。しかし結果は行政以外の回線復旧・新設は一切断っているとのことで、早速午後に NTT へと出向いた。着いてみると、全国各地から神戸に電話が集中し、交換機がパンク状態であった。NTT 社員もわずか15名程度しか出勤されておらず混乱しており、午前中の解答と同様、民間の復旧は一切お受け出来ないとの返答であった。

そこで、私どもコープこうべは、営利を目的とした企業と異なり、しかも神戸市とは災害時の緊急物資援助協定を締結しており、通信手段がなくてどうして市民の要望に応えられますかと交渉を重ねた。コープに限らずどの企業も困っているのでなんとかしてほしいと来社されるとのことで困難を極めた。

副支店長から神戸市からの依頼状でもあれば何とか最小限の回線を復旧させるとのことで神戸市市民局へ電話を借りて、依頼した。復旧まで少しでもお役に立てばと NTT から携帯電話を２台無償でお借りし、夜半に２回線復旧出来た。

翌18日、市民局に行き局長名の依頼状を受け取り、NTT 神戸支店へと向かった。その後クレリ、アフターサービス、共済、三木の本部用、商品本部（西宮）、アニパ等多くの事務所回線取得に連日出向き交渉にあたった。三木本部用 150回線、商品本部（西宮）50回線、生文25回線等々、１月27日時点で300回線を超える回線復旧の新設をすすめ、その回線数とスピードに、来組されるお取引先の方々に驚きとお誉めの言葉をいただいた。

(2)　生活文化センター（体育館）遺体安置所、（広場）棺保管所に

生文センター地下駐車スペースが遺体安置所となり、翌18日避難所であった体育館が急遽遺体安置所となった。 250にのぼる遺体の検視がされないまま３日間が過ぎ、納棺出来ない状態が続いた。

一方、さいたまコープの職員は東灘区役所の要請を受け、区内すべての遺体安置所に棺を運ぶ役割を献身的に果たされた。

(3)　本部の消火・解体作業と、書類搬出

全壊した本部４階から19日朝出火し、周囲への類焼を防止するための消火活動が懸命に行われた。水がないため住吉川まで消防ホースを延長し、昼夜を問わず消火と警戒が実施された。この混乱した状況の中、解体作業と併行して、重要書類、金庫などの搬出が始まった。到底総務の数名ですべてを対応することが出来ないため、組織拡大部の職員に本部建物の警戒と書類搬出、保管の役割を担っていただいた。

書類2800c/s 、現金1.2億円、金券約100万の搬出。

(4) 包装資材および事務用消耗品

通信網の寸断でお取引先との連絡が数社以外はなかなかつかず困難な状況が続いた。高頻度商品のみは品切れさせないよう店舗へ納品するルートを急ぎ確立した。

運搬手段が間に合わないお取引先は、配送可能な３社に委託し事なきを得た。

(5) 霊園の損壊

震災当日の午後、担当者が現地調査のため、芦屋市霊園に向かった。霊園入口の鉄扉は閉門、立ち入り禁止になっており、霊園事務所の話では全体の75％の墓石が倒壊しているとのことであった。生協霊園は外観こそ異常はなかったものの、内部の納骨区画が33区画倒壊していた。現況を写真に収め、１月23日の例祭中止のお知らせを霊園入口に許可を得て掲示した。

２月４日落下している40柱にのぼる遺骨確認のため、お寺の住職に延べ３回にわたり依頼した。２月10日の常任理事会に復旧工事の提案をし、以降７月下旬までに工事を完了し例年通り、７月23日から例祭を再開、８月のお盆開扉、秋の大祭を無事終了した。これまで担当者は心労のため頭髪に影響が出るほどの惨状と長期にわたる困難な復旧工事であった。

(6) メール便

ムービングの基地がCLC 甲南の敷地内にあったのと、社員も被災され、書類の配送が１月21日まで出来ない状況が続いた。その間は、地区本部、関連会社に生活文化センターまで毎日取りに着ていただく日が続いた。ようやく書類以外の消耗品を除き書類のみをバイクで届ける話が１月22日まとまり26日まで届けていただいた。翌27日から震災前８コースで配送されていたものを交通渋滞を考慮し16コースに増員、増車し全事務所への配送が可能になった。

３．震災体験に学ぶ

コープこうべは今回の震災で想像を絶する大きな被害を受けました。総代、コープ委員の方が５人亡くなり、仲間も11人、両親を一瞬の内に亡くされた職員もあり、家族を含めると 106人の大きな犠牲を払った天災でした。このような体験を風化させることなく、語り伝えていく責任があります。

(1) 協同する心

今回１万人を超える全国の仲間に献身的に応援していただいた。その活躍ぶりを連日目にして、どれほどか支えられ勇気づけられたかわかりません。

『被災地に生協あり』と評価された根源は、生協仲間の支援や組合員のボランティアなくしてあり得ないことです。第一次支部改革で私が体験した、組合員同士が協同し合うコミュニティが県下全域に広がり、定着していくことこそが災害時の救助や防災にも大きな役割を果たすことを改めて実感した。

(2) 危機意識

人事を尽くして天命（天災）を待つの諺ではないが、日頃から危機意識を職員が持ち行動することではないかと考えます。

２年前、旧本部の建物内に重要書類保管庫を完成させ、一部の重要書類を保管していたが、このたびの本部倒壊および火災にもまったく影響を受けることなく、解体工事の中で書類を無事搬出した。一人一人の意識が万一に備える心構えが非常時に役立つことを学んだ。

(3) 社会的責任としての地震防災対策

私達は多くの職員や組合員、そしてあらゆる設備を保有しており、防災対策について一定の社会的責任を果たさなくてはならないと考えます。コープこうべの社会的責任としては、

『組合員や職員の安全を守ること』

『周辺地域への二次災害の発生源にならないこと』

『組織の財産保全を図ることにより、社会経済への悪影響を防止すること』などがあげられる。

(4) 大規模地震対策上の留意点

地震がある程度おさまり、救助・救援活動、火災など二次災害を防止したあとに、予想される問題点および留意点をまとめて対策を講じることが重要です。

停電、断水、通信、輸送、ライフライン、業務継続へのバックアップ体制、職員の出勤・退出時間、被災職員への対応、公的援助制度活用、災害記録、復旧体制等々数多くのことがあげられる。

問題点	対策上の留意事項
停　電	・停電後の再通電時、漏電による感電や漏出したガスへの引火・爆発に注意が必要。 ・高圧電源を引き込み使用している場合 ・防災用非常用電源は独立しているケースが多く、一般の電気機器には給電されない場合が多く、自家発電設備が必要
断　水	・最大の問題は『飲料水』より『水洗便所の水』であり、水を必要としない簡易トイレの準備が必要。 ・断水は意外な所に影響を与える。 空調設備、自家発電機などの冷却水 ・断水後の再通水時、被害を受けた配水管などからの漏水に注意しなくてはならない。
通　信	・電話回線の寸断や通話の集中により電話が不通になる場合に備えて、専用回線、通信衛星、携帯電話、無線などの準備が必要。 ・災害時優先的に通話出来る重要加入回線電話を取得し、普段から周知徹底をしておく。
輸送・交　通	・物資の輸送や職員の出勤・帰宅の手段を確保するため、ヘリコプター、船のチャーターを事前に契約締結したり、自転車、バイクを用意しておく。
ライフライン全　般	電気、通信、ガス、上下水道、交通などのライフラインは相互に絡みあって都市活動、市民生活を支えている。ライフラインの復旧は事業体がそれぞれ異なるため、復旧時期も異なる。災害後、一番早く回復するのは電気になるが、ケーブルが地上に露出しているため早い。 電話は局と一回線ずつ接続していくため時間を要し、水道は破断個所の発見が埋設された水道管であるため時間がかかる。 ガスは一軒ずつ安全を確認しながら復旧していくので長期にわたり一番あとになる。 ライフラインは都市の設計から改善しないと早期復旧は困難。
業　務	業務への影響を少しでも抑えるために、防災対策の基本は、バックアップの準備とそれを機能させるための計画、日常訓練が必要。

問題点	対策上の留意事項
	バックアップ｛オフィス・重要書類 データ・情報 通信回線 バックアップの有効活用により、紛失・損失停止による悪影響を軽微にし、早期復旧につながる。
職員の出　退	・就業時間中に地震が発生する可能性は20％程度と言われており、勤務時間外に発生する可能性が高い。したがって復旧対策本部の担当者は、通勤可能な範囲から人選する。 ・勤務中に地震が発生した場合、帰宅ルートの安全が確認できれば女子職員、身障者などを早めに帰宅させる。 ・また遠距離通勤者が帰宅できない場合の準備もしておくことが望ましい。
被　災職　員	・持ち家が居住不能となった職員の仮住居として独身寮その他を活用するため、非常食・寝具の準備。 ・被災職員への見舞金、特別融資や災害特休などの規程も整備しておく。
職員への援助	・激甚災害法の指定などによって、公的援助制度を活用できる場合があるので調査しておく。
記　録	・復旧時は復旧に重点をおいた活動になりがちで正確な記録が残されないことになる。写真、メモなど重視し、記録しておくことが被害状況や地域貢献の証となる。 ・防災計画の整備にも役立つと考えます。

復旧対策本部の組織・任務

	任務	行　動　基　準
復旧対策（体制）	本部	復旧対策本部は以下のことを掌握する。 ・組合員、職員、関連会社および家族の状況 ・建物その他施設の状況 ・什器、備品、商品その他収容物の状況
	管理	・被災建物、動産の整理、仕訳作業を早期に完成させる。
	応援	・担当者全員を召集して作業分担を行い指揮および監督する。 ・状況に応じて、応援者を動員し復旧にあたる。

	任務	行　動　基　準
復旧対策（体制）	応援	・応援者は日生協、コモジャパン、Kネットとの間で協約を締結しておく。
	建設	・損傷した建物、設備、機械類の応急措置をし、営業を再開させる。 ・建設会社、エレベーター、フォークリフトなどメーカーとの間で有事に備えて対応、処理について協約を締結しておく。
	広報	・お取引先、行政、関係先およびマスコミなどの対応窓口とする。
	厚生（人事）	・給食および宿泊の準備、確保。
	警備	・施設、建物の復旧まで警戒体制をとる。 盗難・火災

以　上

「こんなんで生協やめへんから」

協同購入センター南高槻
小林希代子

今回の震災で私が一番感心したこと、それは「神戸の人たちは何て強いんだろう！」です。テレビや雑誌でとりあげられたどの人も「神戸から離れない」「やったるで」「負けません」明るい笑顔、頼もしさ。もし私が被災者だったら同じように出来るのか考えさせられました。

私は募金しか出来ませんでしたが、まだまだテント暮らしの方がいる現実に、国の対応の遅さにはあきれました。仕事での影響は、いかに生協をたよってくれてるかも知りました。この時に日頃と違う組合員さんの顔がはっきりしました。ガッカリさせられた事もありましたが、毎週の野菜の持ち出しに「ずっとやってよ。」とか「うどん、豆腐、ホウレン草、おいしかったよ」とか高額の募金、「大丈夫、私らこんなんで北生協やめへんから」など人間の温かみにも出会えました。親近感も強まりました。わずかな商品、他の店ででも買えるものを遠くから取りに来てくれる組合員さん、豆腐１つだけ、焼きそばだけ、頼んでもらったこと、注文がなくても来週も来てもらうようにお願いしたこと。

いろんな面を含めて日頃から組合員さんを大切にしないといけないなとつくづく実感しました。今でこそ通常の配達に戻りましたが、その中でたくさんの人が苦労した事も、今回経験したことも、忘れてはいけない事だと思います。

この事でコープこうべも大阪北生協もひと回り大きくなったと感じます。今回の震災にてお亡くなりになられた方々に心からのご冥福をお祈りします。

私の宝物、それは組合員のこころです

協同購入センター高槻
広沢　茂之

朝６時前突然おこった。激しい揺れで部屋の中はめちゃくちゃになった。“すっごい大きな地震だったなあ”大阪・茨木に住む私にとってはこの程度だった。“KC（協同購入センター）はだいじょうぶかな…”と、とりあえず、KC に一番近い私は KC へ急いだ。

KC につくと西宮から通勤している商管さんがおられた。通勤途上の車の中で地震にあったといっていた。KC の事務所の中は棚から物がおちたり倒れたりで散乱状態。まず片付けることから始めた。

テレビなどで、予想以上の被害が神戸であることを知った。私の親戚はみな神戸だし、私の彼女も垂水区の海沿いなので、まさに震源地の真上、すごく心配だが、電話が通じない。やっと通じたのが７時頃だっただろうか、彼女のお父さんが出てきて“全員無事です”とのこと、とりあえず一安心。

チェックインタイムになっても出勤してこれない人がおられた。まだ安否がとれない人もいたので、すごく心配だった。何がなんだかわからないうちに、とりあえず商品が入ってこないので A廻りの配達に出る。ラジオからは被害を伝えるニュースばかりが流されていた…。

あるグループにつくと組合員さんから拍手がおこった“さすが生協やなあ…”とのお言葉、なんとも複雑な気持ちだった。その別のグループで“生協の本部が潰れているらしいヨ…”とのこと、昼、KC で流されていたテレビで、それを確認した…。

次の日、一枚のチラシを組合員に配ることになった。これを見たとき、涙が出てきた“これからどうなるのだろう…”と思いながら空荷のトラックを走らせ、組合員に事情を説明して廻った…。しかし、今こんな事をしているだけでいいのだろうか、と、

KC のみんな、特に地域担当のみんなは思っていた。

金曜日の朝、更衣室で論議をしていた、被災地の状況、被災地の KC の状況などが生の声で伝わり入ってきた。“今、僕達がするべきことはないのか!!”と…。

そして、KCの 地域担当のみんなは暴走した、うえの指示を待ってられない!!　空荷のトラックに救援物資を集めるべく、必要とされていた物資のリストを手板にはり、出発した。この時、今までつかえていたものが取り払われたようにみんなの目は輝いていた。

１番目のグループにつくまで涙が止まらなかった。そして、１番目のグループについた、まず先週注文していただいた商品がきていないことを説明した。すると、ある組合員さんが、「私たちに届ける商品が少しでもあるのなら、被災地のみなさまにわたしてあげて！　私たちはこのあたりで買い物ができるのだから…。商品が来なくてもぜんぜんこまらないわ!!」といってくれた。そして義援金を募るお知らせをしたあと、救援物資を募ったところ、組合員さんが必死になって探してくれた。そのグループは小さいお子さま連れの若い奥さんで、私と同じ年ぐらいの組合員さんばっかりのグループだったんですが、紙おむつやら生理用品やら日用品やら、ほんとにいっぱいもってきてくれた。中には「今、家にある紙おむつ全部もってきたヨ…、私の子はまたあとで買いにいくから全部もっていって!!」といってくれた組合員さんもおられた。もう感激で声にならなかった。

こちらのグループですがビラを組合員さん自身が作って回覧していただいたんです。次の週に、うかがった時に、救援物資の山がそこにありました。このビラはもう、私の宝物として大切にKCのつくえの中にしまってあります。

どこのグループにいっても、どの組合員さんも「ガンバってね!!」と声をかけてくださった。震災直後はいろいろと不安の毎日だったが、“こんな組合員さんがいる生協がつぶれるわけがない!!”と思った。

実際のところ、この震災で、私と組合員さんとの距離がグッと近づいたような気がするし、これがコープこうべ全体にもいえることじゃないでしょうか。

期待をよせられている今こそ、もっともっと組合員さんに信頼され、組合員さんのために応えられるコープこうべを創っていくべきなのではないでしょうか。

ほんとは、もっともっと書きたいんですが…乱文にて申し訳ありませんでした…。

震災後
私は変わった

コープハウリビング館
山田　浩子

・家庭内での変化

震災後わが家では、食器棚・本棚が倒れた。又、タンスの上部（上・下に分かれているタンスであった）が飛ばされ、妹はあやうく下敷きになるところであった。マンションの７階のせいか、激しく揺れた。食器棚・本棚は、もう新たに購入することはないだろう。残ったものを有効利用し、余分なものは処分しスッキリさせた。タンスは、分解できるものは分解し低くさせた。ピアノもほかした。（ピアノは母の寝室にあり、震災時大きく動いていた。母の上に倒れなくて本当に良かった）その結果、わが家は景観的には殺風景になったが、非常にすっきりして機能的になった。

・仕事上での変化

POS システムや EOS 発注になじんでいた私には、仕事の原点を見つめ直す契機となった。今まで知らなかった商品の発注先を知ることで、個々の問屋の長所及び短所を把握した。部門別に管理表をつけることで、仕入や価格変更を管理するようになった。何よりも、自分が主体となって売場の維持を図り、それが震災前のシステムに復旧しつつある今でも自信となって、様々な物事に対処できる点が大きい。「今日やれることは、明日にのばさない。いつ何時、何が起こるかわからないから」と常に考え、効率よく行動するようになった。その結果は、倉庫の管理に表れていて、曖昧な在庫がなくなった。売場においても、細かい作業も大切にし、変えるべき点は変えることをモットーにしている。自己満足ということが本当になくなった。売場というものは、いつになっても完成するということがないこと、そして常に苦しい事にチャレンジすること、その中に喜びがあることをつくづく感じる。１日働いて「働けて嬉しい」と思う。震災は私に生きていることや、仕事の喜びを認識させてくれた。様々なことに常に余裕を持つこと、そして真剣でありたい。

自分が被災者になるとは!!

コープリビングセンター伊丹
中川三智子

１月17日早朝、いつものように母屋で朝食の用意をしていた。突然ものすごい音がした。体が横に揺れふぅと上へ、何が起きたのか立っている事ができず、ガスをとめ下にしゃがみ込んだ。一瞬のうちに停電になり、「地震！」という声と同時にまた揺れ、急いでテーブルの下へ入り込んだ。主人と声をかけ生存確認、主人の両親も無事を確認。懐中電灯を持って外へ出た。そして離れ家（１階ガレージで、車・自転車・農機具等おいてあり、２階に二間部屋がある）で寝ている子供２人を助けに主人と行った。壁が階段五段程にふさがり、上る事が困難だった。手前の部屋にはタンスと勉強机があって、タンスは倒れ子供達は家具の置いていない奥の部屋で寝させていたので無事だった。

何が起きたのかわからず「ボー」としていた。外へ連れ出し、家族の無事を確認した。明るくなるまで、家の前の畑になっている所でいた。主人と私以外は皆パジャマのままで、下の子は体が震え私にしがみついていた。主人の母が、おでこにタンスが倒れてくるのを手でおさえた時に傷をしたが、今はもうその傷は消えている。私、床にしゃがんだ時に瀬戸物の破片で切ったらしく、膝をケガした。４か月たった今もまだ消えていない。二人とも軽いケガで良かったと思っている。

明るくなってびっくりした事は、瓦がほとんどなく部屋の中は壁が落下、家は２㎝程こけ天井を見上げれば空が見え、タンスは折れ食器は飛び割れる、といった状態であった。雨漏りが心配だったので、ブルーシートを分けて頂こうと、真っ先にリビングセンターに行きお願いした。本当に有り難うございました。

自分が被災者で、センターなどで生活をする事は夢にも思わなかった。子供の為に、晩だけセンターで４日間世話になった。子供がいると言うことで、毛布を余分に配布してくれたり、食料を頂いたりと…店舗での地震の後片づけに行こうと思っていましたが、家がひどい状態だったので行けませんでした。（すみません）

家を修理する間、畑に家具等を入れるプレハブの倉庫と、住むミニハウスを建てる為に、家族皆んなで力を合わせて植木を掘りおこしたり、地ならしをしたりと…。植木を掘りおこした時は大喜びで、最後まであきらめず頑張る事が、子供達にもいい勉強になった。

被災証明書の書き方、農地から宅地へ転用届、税金還付等種類や申請にほとんど縁のなかった私が家族を代表して、消防局や法務局等に足を運んでいる。５／23現在も。

店を開けなければ！

コープリビングセンター北須磨
室　　隆康

１）震災その直後

「お父さんー！」長女のこの一言で、私の１月17日・AM５時46分は始まった。家は激しく揺れ、これ以上揺れたら家が壊れると思った。20歳になった長女が『いざ』となった時思わず出た叫びである。私は無意識の中で「地震や、大丈夫や、落ち着け」と言って家族を外に連れ出した。常日頃はあまり父親と交わす言葉もなく、母親中心の母系家族の我が家にあって、家族における父親の存在感を自ら再認識した一日でもあった。

２）店が気に掛かる

初めは単なる地震にすぎないと思っていたが、TV に映し出される映像を見て、ただ事ではないことを知った。AM７時45分、自宅を飛び出し店に向かった。店に着いたのは８時30分だった。店に着いたとたん、スプリンクラーの破損により滝のような水が２Ｆから流れ落ちているのが外からでも分かった。店内は商品が散乱し、床は水浸し、薄暗い明かりの中防災ランプは無数に点滅し、けたたましいサイレンとベルが鳴り響き、まるで SF 映画そのものの様相だった。困難な状況にもかかわらず18人の仲間がかけつけてくれ、復旧に全力を上げた。PM５時頃これなら、明日「店を開ける事が出来る」と思い、店内マイクでそのむね伝えた。我が家を省りみず、駆けつけてくれた仲間の皆んなは、実によく頑張ってくれた。私の頭の中は、「今店を開けて組合員にお役立ち出来なければ、何の為の生協か」との思いが強く込み上げていた。

３）翌日の開店

10時開店前に、既に約50人の組合員の列ができ、その後続々と組合員の来店があった。「開けて良かった」と思うと共に、「開けなければ大変な事になっていた」と実感した。ライフラインの寸断にこま

りはてた組合員が、生協を頼りに来店されたのだ。１Ｆだけの部分開店だったが、その役割は大きかった。

４）現地を見たとき

震災後一週間たって、無理やり休みを取って、娘のバイクを借りて須磨～宝塚まで横断した。生協の施設はもちろんのこと、昔住んでいた懐かしいアパートも訪ねてみた。訪ねた先はどこも無残な姿だった。テレビで見る情景とは全く異なる地獄絵図だった。その様相の中にあって、被害者の落ち着いた行動が不思議に見えた。この震災で亡くなられた方のご冥福と、一日も早い神戸の復興を願うと共に、私自身もコープこうべの活動を通じて、神戸の復興に役立ちたいと考えている。

あの時の出勤風景

ホームセンター運営
荒木　三男

95年１月17日朝５時……。誰もが忘れることのできない出来事。改めて表現する事もない。ところで、私の記憶の中でもう一つ忘れる事のできないのが、翌18日の出勤である。それは、はがゆいばかりの思いをした１日であった。当日を思い起こすと次の通りなのだ。

当然朝の出勤は混雑が予測された。朝もまだ暗い５：30に、部長とＦ店長と３人で西神を山麓バイパスへ向けて出発した。予測では９：00本部着である。ところが、学園都市まで来るともう大渋滞。思いは誰でも同じ手である。ノロノロを通り越している。白川を過ぎる頃には８：30を過ぎていた。すでに３時間の経過である。“このままでは山麓は抜けれないだろう”と、協議の結果鈴蘭台回りの新神戸トンネルへ向かうことにした。無断で某レストラン（将棋の名称）のチェーンをくぐり抜け、駐車場を横断し……。一路新神戸トンネルへと向かった。ところが、世間はそう甘くない。何処も同じく大渋滞。神戸北町あたりからは、止まっている時間の方が長い。２ｍ進んで10分待ちの状態。

一時は本部行きも危ぶまれる中、“三人寄れば忍の一筋”で、何とかトンネル進入。ホッとしながらトンネルを抜けると12：00過ぎ。ここまでは何とか我慢のしどころ。ここでの本部着は３：00の予定。ところが、ここから先が性根居座った数珠滞（渋滞）。全く動きが止まった。店長持参のおにぎりを、３人が交替で食べながら王子公園のところまで来た。今思うに、店長弁当がなかったら昼はお預けのところ。右も左も渋滞の連続。阪急ガード（王子公園駅）を過ぎたところから、部長と店長は車をあきらめ歩き出した。この時、時計の針は２：00前。私は、車を放置するわけにもいかず、ねばりと根性で運転を続けた。途中本部の某氏、困り果てている様子が車の中に見えた。

回りには救急車・パトカー・災害救援車そして、救助物資輸送のトラック。この地震被害の大きさを思いながら、何も出来ない私は出勤の為に……。何とか石屋川を渡る頃には夕方の６：00過ぎ。とうとう出勤に12時間以上費やした。ここまでくればどうにかなると思いつつ、車は動かない。思いあまって車を平尾記念館の近くに路上駐車することにし、私も歩き出した。時すでに７時数分前。あたりは暗く、車の明かりの中に行き交う人の動きが映り出されている。

生文センターの緊急対策本部に着いた時は、７時もだいぶ過ぎていた。やっと着いたのかと思いつつも、本部にこれでよいのだろうか、今日の仕事は何だったのか。何で長時間かけて本部まで来たのか……出勤という義務を果たしただけであった。あちこちの店舗は大変忙しいと聞きながら、出勤だけにこんなに費やしてよいのかと自問自答。翌日は店舗応援に出かけることにした。

今日の出勤時間は、入所以来最長の14時間であった。ギネスものだ。二度と経験したくない、又あってはならないことだ。

阪神・淡路大震災、シーアの記録

コープからと
大下　司郎

記録の内容は Seer で体験した出来事をまとめ、大型店舗の震災対策に活用願えれば幸いである。
主に私が取った行動と関連会社や対策本部での確認事項の記録としてまとめてみました。

１月17日㈫　Seer は下期棚卸しのため定休日

朝、明石上ノ丸の自宅確認（一部損壊であるが幸いである）

10時頃、JR 明石駅北側の警察に出向き、情報を収集（Seer まで自転車で出向く決意をした）。明石から Seer までの自転車、約２時間の体験（主に国道２号線を無我夢中で走破）。

明石から舞子、垂水へ進むにつれ、家屋の被害は大きく、人々の動きは、ただボウ然として、立ち止まっている。空はオレンジ色で、2次、3次の災害を予見するかのごとく感じた。進路はもちろんデコボコ、ガスのニオイはいたる所であり、その対応は全く手つかずである。須磨・長田では大火災、映画で見た戦争と同じ風景だ。現実のこととは思われない。住民の人々はなすすべなく、ただ火災を見るだけ。パジャマ姿のままや、はだしの人や、毛布をかぶっている人、家財を取り出す人は見当たらない。火の廻りを見つめる人、人、人。消防車の活動は一車も見当たらない。須磨まで約1時間であったが、その時間感覚はゼロである。

元町からは、同業者である大丸・ダイエー・そごうの順に状況を確認、全壊である。Seer の状況を早く確認したい一心で、必死で自転車のペダルを踏んだ。灘区、東灘区へ入ると、更に被害が大きく、グチャグチャである。住吉神社から本部前へ、本部がつぶれ、その光景はあわれである。ただ、Seer の外観は保たれているのが幸いである。Seer の建物の中へ入り、ガク然とした。対策本部の皆様と顔を合わせ、Seer の責任者としての任務を受けたその言葉は、「大下君、あとはまかせるからたのむで」その一言だけで対策本部は、生活文化センターへ移ると連絡を受けた。Seer 職員、10数名と顔を合わせ、お互いの安否を確認、その後、17時までは緊急物資搬出対応で時間が過ぎた。

緊急物資の搬出は、行政が主で、神戸市、東灘区役所、東神戸病院と対策本部で、防寒用具類、肌着、ヒモ、手袋、電池、水、食料品（パン、寿司、缶詰など)、毛布、布団、ろうそくと雑多なものを要求された。

1月17日(火)　17時からの行動

Seer 職員が集まり空腹を満たすため、コンロで湯を沸かしぞうすいを食べながら男子職員の疲労感を取るために、コップ一杯のビールを飲み、今後の取り組みを確認している最中に近隣の組合員の必要物資の調達依頼が始まった。食事をとる時間もなく、1階の非常扉を開けその対応を開始。

要求された主な品種：水、ロウソク、ラーメン、腹にたまる食料品、懐中電灯、電池、コンロ、ボンベ、カイロ等でそのアイテムは限られている。供給価格は定額で10円から100円、200円で設定し、水は1人1本の制約で利用をお願いした。

供給開始後、Seer で物資提供の情報が近隣組合員に伝わったのか、22時頃まで、この供給が続いた。組合員からは、生活の最低限の要望で、多くの事は全く望まれず、今必要な物を皆んなで分け合う精神であった。素晴らしい組合員の皆様である。当然10数名の職員は必死で対応した。

22時頃から、明日の供給手法について協議、方針は、組合員の要望商品、17日の供給動向より判断しアイテムを選定し、パニックにならぬよう配慮する。供給価格は分かりやすい価格で安価であることなどを決め、各職員の作業分担を行った（1　職員の安否確認係、2　保安係、3　物販係、4　調達係、5　告知係)。この夜は仮眠程度で、翌日を迎えた。

1月18日(水)

朝6時頃から組合員が並び始めた。8時頃で約1,000人、9時で約2,000人の長蛇の列である。対策本部の応援を戴き、9時より供給開始。Seer 北側通路（出入口付近）で平台1,800、2本を使用した限定供給である。利用組合員は冷静である。燈光機がなく、日没までの供給開始である。思わぬことが起こった。Seer が供給開始した事に対し、報道人（マスコミ）が殺到し、大変な騒ぎだ。各職員へは、マスコミ関係者は浅田店長へ一本にしぼり対応することを確認。

この日は緊急物資の要望がなく、店頭供給と今後対応で一日が終了。今後の対応策は浅田店長が隊長で取り組みを確認。方針は3日後には1階食品売場をオープンさせることである。各マネージャーを中心に任務分担、私は施設担当、復興準備体制の始まりである。

1月19日(木)

平台店頭供給2日目である。7時頃より組合員が並び始めたが、前日程の行列ではない。前日の任務分担により職員は活動を開始、完全に見て完結型の体制だ。指揮官、浅田店長は報道関係に時間がとられて、動けない状況である。各マネージャーの動きは俊敏である。統制のとれた体制になった。とにかく、早く1階の売場を立て直し、オープンさせるのが先決である。既に21日(土)オープンの告知を行った。対策本部や他生協の職員の力強い応援の下に、準備を進めたがオープンできるか否か検討がつかない状況である。店頭供給は、テント、燈光機の準備もでき、精一杯の供給活動が続けられている。組合員の皆様も安心感が生まれたのか、買いだめするような動向は感じられない。

私の役割り（任務）は設備関連と、各部署との連絡、神戸エス・ケイとの打合せが主となる。昼食は炊き出し隊長、矢野武男さんである。抜群の料理人だ。約2週間炊き出し名人により食事が準備され、職員は感謝極まりない（食べることが最大の喜びであった)。

職員の安否確認するものの、約５割の職員は不明である。さすがに疲れが出たのか21時過ぎには１Ｆレジ前で布団を敷き、グッスリ寝た。

１月20日(金)

平台店頭供給３日目である。早朝からの組合員は見られず９時より供給開始。職員は手なれたもので準備万全であるが、組合員からのニーズが変化し始めた。防寒用具に対する要望である。前月のマネージャーミーティング、その動向変化を確認していたのが幸いである。食料品から住居関連商品へ少しずつアイテムを増やして対応。水やパン、果物の物資も入荷するようになり、店頭供給も充実してきた。

明日より、１Ｆ臨時オープンである。設備担当の私はその準備でフル回転である。徹夜組約20名。店長指示で昼間の仮眠を取るように指示があったが、仮眠をとる職員はいない。皆んな必死である。

対策本部での確認事項

・当面全日営業で閉店時間は可能な限り延長すること。
・人員名簿の提出、現金在庫確認（この時点で 400万円不明、５日後その原因が判明）
・対策本部応援９：00　100名の確認

２階以上の商品の整理と在庫確認（棚卸し表に記入)、清掃、他生協の応援が力強く急ピッチに作業が進む。衣料品、住関品、１階へ移動。店内レイアウトはワンウェイで陳列、動線マグネットは防寒用品で一杯である。

１階臨時オープンの準備（店内レイアウトは店長判断）

終了時間22時

１．POS レジの稼動、総合事務所１kw電源で作動確認
２．レジでの登録価格確認
３．衣料品、住関品、供給価格はハンドラベラーで全部貼りつけ
４．衣料品、住関品、プライスカード小分類まで取り付け
５．1Fの照明（天井のみ）発電機（軽油）３機準備
６．現金管理再度確認
７．商品調達、各テーブルで責任完遂
８．組合員への保安と警備体制づくり

１月21日(土)　震災５日目

職員９時よりミーティング

オープン（チェック）準備とその確認

この日の方針、組合員の安全性を優先し接客は万全を尽くすこと。

10時に１階オープン（営業時間10時～18時30分）

比較的落ち着いた雰囲気でオープン。オープン時は入場制限を行ったが、11時過ぎより制限なしで入店していただいた。組合員様の姿はほとんど防災ルックで背中にはリュックサックが、顔付きや目線はうつろである。チェッカーは７台のレジの中で必死の接遇である。１時間後には、その声もガラガラ声に変身していた。

近隣競合店：ダイエー住吉、長崎屋、外販なしである。

待望の電気、関西電力・低圧が通電。天井照明薄暗いがつき、POS レジも同時に通電（オフライン管理)。しかし、２階以上約２ヶ月後の通電となる見込み。

私は施設の打合せで、店内状況は上記以上確認ができませんでしたが、各職員の頑張りで、オープン第一日目は見事なまでの開店であった。組合員の信頼度（安心感）も更に深耕したものと思われた。

午後の確認は、

１．作業指示の有り方
２．商品補充とコントロール
３．組合員サービスの確認
４．職員安否確認
５．安全衛生の確認
６．警備体制の確認

18日以降は、各職員とのミーティングが最大の武器であった。何ごとも5W1H の確認と、確認の連続である。各職員の想いは、復旧活動へと、その鎖りは固くなった（想いは一つ、復旧への全力投入)。

対策本部確認事項（１／21）

・今日から再建に向かうと表明。
・本部は協同学苑の体育館へ設置する準備を進める。
・現場へは情報提供を常勤理事が出向き対応する。
・本部資料は Seer 第２パーキングへ。
・にじの友臨時号毎日発行。
・日生協85名応援（Seer 中心に）
・一般車輌の交通が厳しく、通行証明書が必要となる。
・郊外のバス全部復旧。

Seer マネージャー会の確認（１／21）

・職員の出勤体制、シフト勤務体制でマネージャー８時出勤。
・雨対策、シート、カサの集約。
・組合員のヒアリングの準備（要望のチェック）
・４階時計の盗難が発生（警備体制の強化）
・職員の宿泊先確保（全壊・半壊者対応）
・牛乳、水、玉子は無制限で供給（商品確保済み）

・ビール、米は制限あり（継続）
・組合員要望：引越しの手配、カットメン、生理用品、くすり、マジック、手袋、大工道具
・職員の安全衛生、使い捨ての食器を指示
・組合員のお預かり品の保全（クリーニング、リフォームetc.）

神戸エス・ケイの確認事項（１／21）

・関電通電に関する経費の取り扱い、条文通りとする。
つまり、丙工事として扱い、生協側負担へ文章化する。
・復旧工事費の限度額確認を早期に実施したい。
・警備問題は全て生協側で対応（夜間警備はエス・ケイ）
・防災関係は全館オープンが月度で対応。
・徹夜の連続で、休憩所（仮眠）エスケイ事務所の使用。
・雨対策６階クランクの点検。
・２Ｆ、３Ｆスプリンクラーの水の影響と対策。
・東灘区民センター状況不明。
・簡易トイレ満杯、市へ要請。
・Seer トイレ（全館使用禁止）
・Seer は社会的役割り、使命がある。全日営業で臨む。
・高圧電力のトランス２月末に仮復旧、それまで２Ｆ～６Ｆ投光機。
・熊谷組、Seer 立体駐車場の点検。
・Seer 第４パーキング、避難住民、テントの使用。
・Seer 持水、ボーメイで点検（飲料可能）
・Seer 立体駐車場の地下水が汚染されている。
・Liv 1F テナントの営業方向性確認。
・立体駐車場は道路事情が整い次第開放する。
・１Ｆ正面玄関の開放早急に行いたい。

その他設備関係確認
（エス・ケイの確認事項と重複するものは省く）

・店内、丙工事船場対応で計画。
・建物、設備点検、Jr西日本開発と実施。
復旧のメドがつかない。

対策本部の確認（１／21　17：30～）

・物資の供給がちぐはぐになっている。
・水道は低い所から修復。
・都市ガスは東灘、長田を優先するが40～50日かかる。
・家庭の通電、明日になんとかなる予定。
・職員死亡７名、ご家族33名、負傷21名、全壊57軒、半壊42軒。
・給与　１／25支払い、11月分の給与で支給、差額は後日精算。
・指定休日２ヶ月間返上（労組確認済）
・現金送金可能　　千円　2,400万対応。
・生産部8,000万円の被害　１／25～26稼動（水次第）
・深江 PC、橋が危険、島へは渡れない。
・ニチリウの応援を確保する方向。
・阪神電車青木、10日後運転開始予定（至・大阪）
・第５、第８地区コープ委員会、Ｇ連絡会。
・自主的募金活動が始まっている。

１月22日(日)　主な行動と確認事項

・２階事務所、休憩場とするため整理を。
・出退勤、部外者が多く、入店警備を本来の形へ戻す。
・Liv の商品搬出、警備の強化を。
・職員の暖房２階セントラルコート前へ、消火器の確認。
・JR 住吉２月20日、１月25日 JR 芦屋開通見込み。
・全館オープン４月１日を目標とする。
・Seer 立体駐車場、設備点検 OK だが当面、営業はしない。
・衣料、住関の高額商品を搬出する整理が急務。
・船場の検証、復旧工事は約２週間で可能。
・１階のオープン後、徹夜組は２泊３日を限界とする。
・炊き出しの昼食は一文字食品へ委託する方向（22日より３名）
・職員は全員チェッカー制とする。
・全壊、半壊者の宿泊先再度確認。
・ダイエーの方が安いとの情報あり、その確認を急ぐ。
・６階食堂、日本電設が使用。
・水漏れ点検。
・Seer 市水、持水、雑用水のパイプ使用不可が判明。
・冷却塔全部使用不可。
・カルチャーボイラー使用不可。
・職員の安否不明者、本日中で集約（自宅へ出向き確認）
・本日の出勤者93名。
・被害チェック、項目別に提出要請。
・２月１日より発注オーダーブックで対応、生鮮は FAX で。
・Seer 地下倉庫、整理が手つかず、在庫確認を急ぐ。
・女性職員、地元へ帰るよう両親より連絡が入って

いる。店長の判断に従って欲しい。
・職員の通勤、安価な自転車を手配する。
・東灘地区69,000世帯の内４～５割が在宅。Seerはその５割の組合員が利用されている。家族構成2.9人と見る。
・従って、その絶対使用は減ると思われる。
・競合店価格、価格指向がなくなっている。
・品揃えの変更指示。
刺身・肉・衣料品、アンダーからアウターへ（スキーウェアー）・ショッピングカート・ポリタンク・防寒手袋・帽子・長靴・靴・マスク・うがい薬・ボンベ・電磁調理機
・レイアウト変更、食品を減らし、衣料、住関を増大する。
・携帯電話の準備
・衣料、住関、水漏れ商品、デメリット表示で供給。
・健康管理、体力が落ちている。下痢を防ぐため、手洗いの励行。火を通した物の飲食。栄養カロリー補強で風邪対策を。職員には無理をさせない。
・交通費の請求、マイカー・バイク通勤者は走行距離の記録を。
・仕入れ伝票管理、各担当チーフで保管すること。
・一般郵便物は届く状況。
・２階～５階の投光機300W 20台設置。
・生ゴミ処理　11時の１回のみ。
・売れ筋商品の再確認。
トレーナー・ワイシャツ・リュックサック・シューズ・補修用品・収納 BOX・小型家電品・酒・焼魚・生理用品・ゴミ袋・手袋・肌着・暖房器具・タバコ

対策本部の確認（１／23　８：00～）

・エリア戦略の発想を持っている。
・必要な物が必要な所へ届けられていない（是正が必要）。
・低温物流、集配センター50％、生産部委託約70％
・本部の解体、明日より開始。
・JR 南側10％の在宅、阪急北側50％の在宅。
・競合店価格競争が始まっている。
・配送能力60％
・エリア別に問屋を動かす。
・広報１／26　協同の発行。
・Seer 立体駐車場１／27～２／２仮設住宅申し込みの受け付け（5,000人～ 6,000人）
・水道情報40％復旧、ガス工事7,800人投入。

１月23日(月)　神戸エス・ケイとの打合せ

・一方的に Seer より状況説明で終了。
・職員の安否不明者まだ15名未確認。
・設備、復旧の打合せで１日中缶詰め状態。
・店内は DPE、クリーニング、リフォーム、愛菜が復帰。
・他生協の応援73名。２Ｆ以上の清掃、整理整頓の繰り返しだ。

１月24日(火)　震災後１週間目

買物動向
・下着・ワイシャツ・リュックサック・タオル・ウェットティッシュ・軍手・調理器具・水タンク・バケツ・キャリー・自転車（19,000円30台アッという間で売り切れ）・コンロ・乾電池・ボンベ・肉・焼魚・鍋物食材・うどん・菓子パン不調・洗濯機２槽式
・組合員アンケート集約
タイトル：今、現在一番困っていること
No.１：水がなく困っている（トイレ、風呂、洗濯）。水を運ぶのが大変。
No.２：ガス（電気）が使えず、煮炊きが出来ない。
No.３：地域情報がない。どこに何が有るのか分からない。
No.４：交通機関が使えない。
No.５：その他
住む場所がない。
老人をかかえている。
救援物資が届かない。
倒れた家屋がそのままになっている。
余震に対する不安（２次災害）
生鮮食品が手に入らない。
どろぼうが不安。
入院患者の食事を作る人がいない。
病院の看護婦不足。
近所のコープが利用できない（渦森台）。
以上のアンケート結果である。
その対策は、情報ボードの作成と品揃えの再点検とした。
・各避難先へ出向き、情報収集

本山東小学校	750人	暖房、図書が欲しい。
甲南小学校	500人	下着不足、衛生状態が悪い。医療対策なし。
渦森小学校	400人	栄養の確保を急ぐ。水の給水なし。
神戸大学本部	1,500人	１／29まで休校。
摩耶小学校	1,500人	医師が不足。救済の優遇処置あり。
灘高	600人	元気鍋。

他３ヶ所、西土井マネージャーが確認。
この情報を持ち、早速、Seer の車で不足されている物を積み込み、約５人で避難先へ出向き、対応。

約20万円の供給。

1月25日㈬

・設備確認、打合せで店内状況はつかめずである。
・店長方針は前日の情報を確認し、商品で組合員の要望を実現することを方針とし、合わせて、Seerのグレード追求を指示。つまり、什器、備品のクリンネス、身だしなみ等である。
・商圏マップづくりの開始（被害状況の確認）
西土井マネージャーにより、区役所での情報収集及び競合店調査。合わせて、供給数値分析（大分類）の開始。確認できたことは、Seerは地域住民の心と物のささえになっていることを確認し、職員と共有化を図った。

1月26日㈭　他生協の応援77名

・今日も一日設備の打合せで走り回る。
・震災以後、初めて栗原部長のお家で風呂に入らせて戴き、一晩泊めて戴き、有り難い思いである。

以上、私の震災メモ。大学ノート2冊に記録した内容を簡潔にまとめた内容です。
27日以降、5月25日のJR西日本開発との最終調整会議までメモ程度の記録があるが、まとめるのは大変な労力が必要です。
震災以後、約10日間の記録のみ、今回提出とさせて戴きますので、御了承下さい。

震災以後10日間のまとめ

明石からSeerまで、自転車で走破した経験は今でも忘れられません。被災の方々の御苦労は大変なものであることは体験の中で十分認識させられました。Seerの復旧から復興への道のりは、職員全員のエネルギーの結果と対策本部の皆様や他生協の支援、ボランティアの皆様の力強い想いが通じて、今のSeerが成り立っていると考えます。職員のお互いの安否確認、来店される顔なじみの組合員様との対面は感動的でもありました。一方では職員の死亡や全壊・半壊の不幸に遇われた方々に対し、その手助けをすることが全く出来ず残念な想いも同時に体験させられました。そんな中で出来ることは、Seerの復興です。Seerは、組合員あるいは生協職員の心の支えとして、位置づけ、必死の想いで我を顧みず任務を遂行しました。厳しい寒さの中、Seer 1Fレジでの寝泊まりは余震で不安もありながらも、Seerを守る意識と使命感で何の苦痛もなかった。

今回の体験で学ぶことは大変多いが、意志決定のプロセスや、実践する能力は、指揮官に左右されることも大きな要素である。私は浅田店長の補佐として活動したが、その采配は見事この上なかった。日々変化する組合員ニーズへのスピード対応も素晴らしい。設備対応や関連業者との打合せで店を離れることもありながら情報はしっかり確認し、お互いの行動の共有化も大変重要であった。

以　上

'95年4月1日、フルオープンしたシーア

7

資料編 全国の生協からの支援・援助内容

1．他生協から職員派遣など人的支援

(1) 生協数　85生協（3月10日現在）

日本生活協同組合連合会（関西地連）	1
都道府県連合会	4
事業連合会	7
地域生協	65
職域生協	4
大学生協	1
住宅生協	1
その他	2
合計	85

(2) 支援者総数　のべ 9,258人（3月10日現在）
（1／7～1／31　4,442人）
（2／1～3／10　4,816人）

生協名	支援者累計(人)
ならコープ	547
コープかがわ	146
コープおきなわ	100
生協ひろしま	288
おかやまコープ	414
コープやまぐち	387
京都生協	608
エフコープ	199
コープしが	227
宮崎県民生協	195
鳥取県生協	36
いわて生協	40
共立社	107
CO-OPとやま	57
千葉勤労者住宅生協	10
いずみ市民生協 わかやま市民生協 とくしま生協	640
みやぎ生協	452
岐阜地区市民生協 岐阜消費生協	57
ちばコープ	145
三重県民生協	12
播磨生協	149
さいたまコープ	316
コープながさき	105
水光社	69
三井造船生協	57
コープさが	92
大分県民生協	62
福井県民生協	86
弘南生協	30
パルコープ	551
コープぐんま	24
いばらきコープ	46
コープさっぽろ	346
九州大学生協	14
コープとうきょう	523
コープながの	22
福島消費組合	44
秋田市民生協	18
石川生協	59
トヨタ生協	90
コープかごしま	77
七尾生協 小松市民生協	41
ひたちコープ	8
コープあおもり	14
秋田県北生協	42
日田市民生協	12
三重北市民生協	12
いわき市民生協	1
コープあいず	6
福島県南生協	6
郡山市民生協	12
青森県庁生協	4
アイコープ	87
東都生協	45
とちぎコープ	31
呉生協 日立造船因島生協	12
名古屋勤労市民生協	46
みかわ市民生協	46
くまもと生協	15
東葛市民生協	31
市民生協にいがた 新潟総合生協	29
小　計	7,947

生協名	支援者累計(人)
首都圏コープ	236
コープ九州事業連合	47

生　協　名	支援者累計(人)
コープネット事業連合	103
福島県生協連合会	44
日生協関西地連	19
北関東協同センター	15
北海道生協連合会	68
東海コープ事業連合	254
青森県生協連合会	2
愛知県生協連合会	3
グリーンコープ事業連合	34
ユーコープ事業連合	423
全国酪農連合会 高蔵寺農協	21
富山県生活協同組合	13
生活クラブ生協ちば	12
しまね生協	9
こうち生協	8
小　計	1,311
総合計	9,258

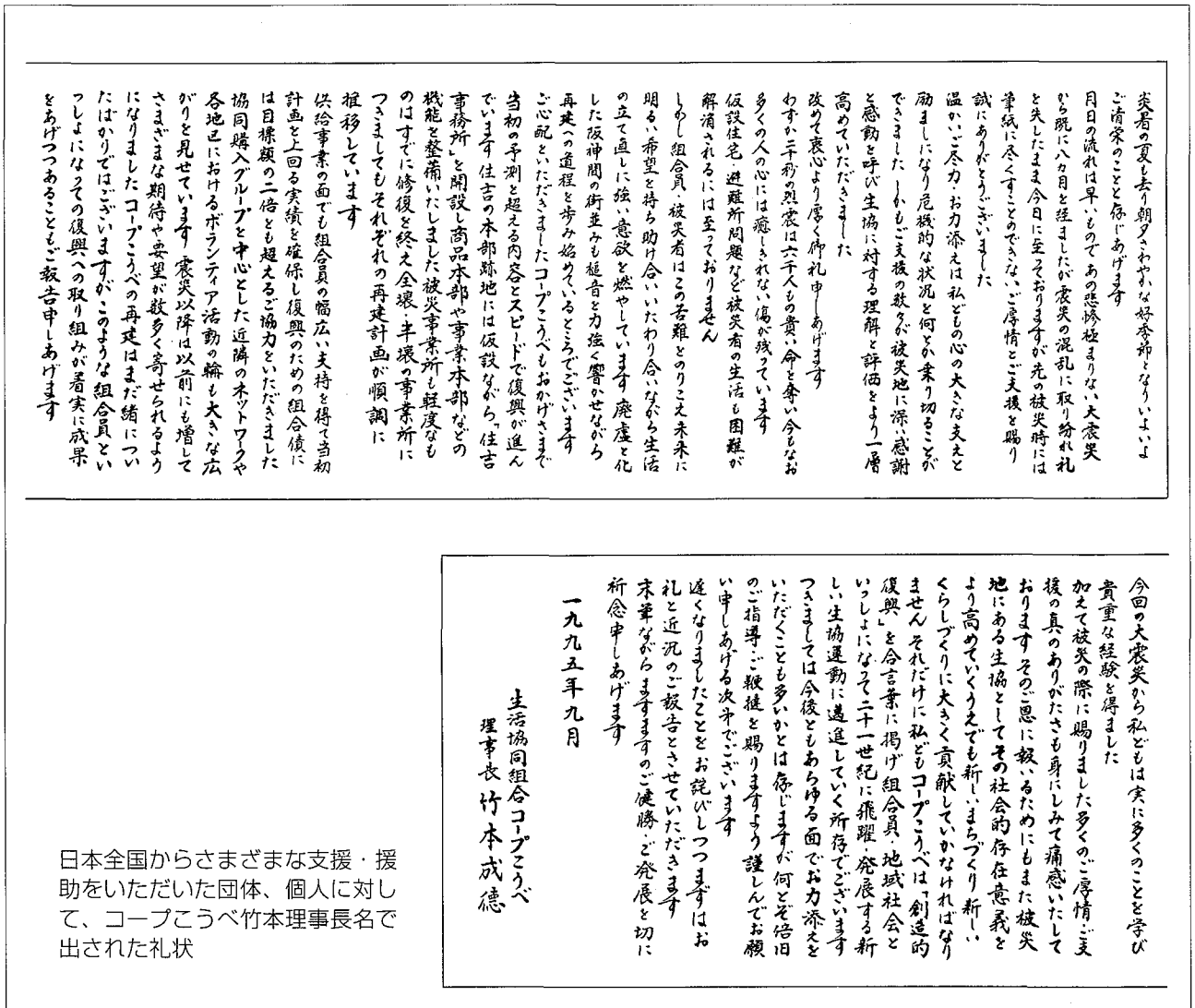
2．他生協から調達した供給活動向け緊急物資

(1)　調達総額（仕入金額）
10生協より　172,120千円（1/17～2/10）

3．他生協から提供を受けた被災者配布向け救援物資

(1)　受け取り総量
21生協より　43,607千円相当（1/17～2/10）

(2)　被災市民への配布状況
- 協同購入センターによる配送を中心に、一部店舗においても店頭で配布した。



災者の夏も去り朝夕さわやかな好季節となりいよいよご清栄のことと存じあげます
月日の流れは早いもので あの悲惨極まりない大震災から既に八カ月を経ましたが震災の混乱に取り紛れ礼を失したまま今日に至っておりますが先の被災時には筆紙に尽くすことのできないご厚情とご支援を賜り誠にありがとうございました
温かいご尽力・お力添えは私どもの心の大きな支えと励ましになり危機的な状況を何とか乗り切ることができました 一かもご支援の数々が被災地に深い感謝と感動を呼び生協に対する理解と評価をより一層高めていただきました
改めて衷心より厚く御礼申しあげます
わずか二年前の烈震は六千人もの貴い命を奪い今もなお多くの人の心には癒しきれない傷が残っています
仮設住宅・避難所問題など被災者の生活も困難が解消されるには至っておりません
しかし組合員・被災者はこの苦難とのりこえ未来に明るい希望を持ち助け合いたわり合いながら生活の立て直しに強い意欲を燃やしています 廃虚と化した阪神間の街並みも槌音を力強く響かせながら再建への道程を歩み始めているところでございます
ご心配をいただきましたコープこうべもおかげさまで当初の予測を超える内容とスピードで復興が進んでいます 住吉の本部跡地には仮設ながら「住吉事務所」を開設し商品本部や事業本部などの機能を整備いたしました被災事業所も軽度なものはすでに修復を終え全壊・半壊の事業所につきましてもそれぞれの再建計画が順調に推移しています
供給事業の面でも組合員の幅広い支持を得て当初計画を上回る実績を確保し復興のための組合債には目標額の二倍とも超えるご協力をいただきました
協同購入グループを中心とした近隣の本ネットワークや各地区におけるボランティア活動の輪も大きな広がりを見せています 震災以降は以前にも増してさまざまな期待や要望が数多く寄せられるようになりました コープこうべの再建はまだ緒についたばかりではございますが このような組合員といっしょになってその復興への取り組みが着実に成果をあげつつあることもご報告申しあげます

今回の大震災から私どもは実に多くのことを学び貴重な経験を得ました
加えて被災の際に賜りました多くのご厚情・ご支援の真のありがたさも身にしみて痛感いたしております その恩に報いるためにもまた被災地にある生協としてその社会的存在意義をより高めていくうえでも新しいまちづくり 新しいくらしづくりに大きく貢献していかなければなりません それだけに私どもコープこうべは「創造的復興」を合言葉に掲げ組合員・地域社会といっしょになって二十一世紀に飛躍・発展する新しい生協運動に邁進していく所存でございます
つきましては今後ともあらゆる面でお力添えをいただくことも多いかとは存じますが何とぞ倍旧のご指導・ご鞭撻を賜りますよう謹んでお願い申しあげる次第でございます
遅くなりましたことをお詫びしつつまずはお礼と近況のご報告とさせていただきます
末筆ながらますますのご健勝・ご発展を切に祈念申しあげます

一九九五年九月

生活協同組合コープこうべ
理事長　竹本成徳

日本全国からさまざまな支援・援助をいただいた団体、個人に対して、コープこうべ竹本理事長名で出された礼状

8

資料編　コモテック研修生・阪神大震災被災体験レポート

（『よみがえれ・こうべ』コモテック事務局発行より）

「愛と協同」の力が神戸の街をきっと復活させる

研修店舗／C六甲
ちばコープ
石渡　秀嗣

１月17日㈫コモテック研修生活も残すところ１カ月となった。この残り少ない研修生活に、私は研修そのもの、神戸での暮らし、家族の事、帰ってからの事など、たくさんの物をぶちこんで計画的に神戸を後にするつもりでいた。しかし５時47分そんな事を全て吹き飛ばす歴史的な出来事に遭遇した。誰もが体験した事の無い大きな揺れが一瞬にして神戸を飲み込み人々の運命を大きく変えた。その時私は、子供たちの上に覆いかぶさった。気がつくと部屋中の物が倒れていた。少し落ち着いてから電話連絡をと考えて受話器を取ったがかけられる状態では無かった。外へ出てみた。ガス臭い、瓦やガラス・看板が道路に散乱している、表のマンションがいつもより低い。１階が崩れ車がサンドイッチになっていた。道路には人垣ができている場所が２カ所あった。１つは公衆電話の前、そして１つはローソンの前だった。ローソンは散乱した店内のままで営業していた。入って見た。水や、すぐ食べれる物（パン、惣菜、缶詰等）がすでに無くなっていた。レジは電卓計算で価格は客本人が調べて申告していた。その会計をするために店の外まで人が並んでいた。そのまま持って帰ってもおそらく分からないだろう。それでも整然と並ぶ人たちに私は驚きを感じた。その日私は、コモテックのメンバーの安否を確認するために一日を費やした。電話のかかり具合は１～２時間で１本ぐらいで半分の確認もできなかった。次の日、コモテック事務局の井上さんと協同学苑で待ち合わせて生活文化センターの対策本部へ六甲を越える道から車で向かった。道は異常に混雑している。六甲山を越え、灘へと出ると、その光景は私の頭の中に描いていた光景を遙かに越えた信じられない物だった。私たちは車を途中で降り、歩いて対策本部へ向かった。途中、生協本部の前を通ったがそこで見た物は無惨な本部の姿だった。私たちは対策本部からコモテックのメンバーの安否を確実に取るために、数名の不安に思うメンバーの所に行くことを決め、まず中央区に向かった。途中研修店であるコープ六甲の前を通った。入り口が埋まり大きく傾いていた。店長と職員の数名が近くの駐車場に集まっていた。何を口に出して話したらいいのか分からなかった。とにかく、初めて私に生協の店舗とはを教えてくれた「コープ六甲」が全壊したという事実だけが私に残った。中央区まで歩き、やけに静かだった事を覚えている。三日目も住吉から立花まで歩いた。この二日間の神戸の街の光景は、生協で毎年行っていた、戦争、原爆写真展の写真とだぶっていた。その日から私は対策本部の受付を手伝ってきたが、そこはまさしく今回の震災の全てを凝縮した場所だった。表の２号線の渋滞、鳴りやまぬサイレンの音、運ばれる遺体の山、避難する人、遺体や避難している人を探す多くの人、私の目の前でこれらの今回の出来事そのものが渦巻いていた。そしてその混乱と対比して全国から集まった生協の支援の姿が大きく力づけてくれた。２号線を走る全国の生協のトラック。集団で対策本部を訪れる全国の生協の職員の姿。当初の混乱から、少しずつ復興へ向けての足音が進んでいる事を実感させられた。増田専務の「今までと同じ物を作るのではない。21世紀に今までには無い新しい生協を作るのだ」の「創造的復興」宣言。神戸市民の「見とき、もっといい神戸創ってやるで。負けへん！」の言葉を聞いた時、「愛と協同」この力が必ずやコープこうべをそして神戸の街を復活させる確信を得た気持ちになりました。私はそんな神戸で自分の人生の一部を過ごした事に誇りを持つとともに必ずや復興する神戸の姿を今後も自分の事として見守って行きたいと思います。

緊急物資の調達と供給が生協の役割

研修店舗／姫路田寺店
いばらきコープ
矢口　建次

始めに

私にとって、１月17日５時46分は、生涯忘れる事のできない特別の日となった。

地震の後、加古川から研修店舗のある姫路までわずか20数キロをバスを乗り継いで５時間近くかかってしまった。幸い、姫路田寺店は直接の被害はわずかですんだが、震源地周辺では極めて大きな災害であった事が、時間と共に明らかとなった。

今回の大震災を直接店舗研修を通して体験した事は自分自身の店舗についての考えを根本から構築し

なおす事を求めていると思う。
・大地震は必ずやって来る。
今回の地震以前に「関西には地震が無い」と言う話を何度か聞いたことがあった。行政や市民感情の面からも、関西では地震に対する対策が弱かった事が言える。
地震は、時と場所を選んではくれない。その意味では、生協が大地震に備えてどの様な心構えと準備をしておくかは、生協の規模に関わりなく生協自身と市民生活にとって極めて重要である。
今回の大震災では、ライフラインが殆ど麻痺をした事が、更に災害の規模を拡大したといえる。しかしむしろ、大規模な地震が発生した場合、殆どのライフライン（電気、ガス、水道、電話、道路等交通手段）が機能しなくなる事を想定して置かなければ成らない事を今回の地震は教えていると思う。こうしたライフラインが大きなダメージを受けた時の危機管理の検討が極めて重要となる。
① 地震は、各個人の体験した状況によって、そこから発生する行動が全く別のものとなる。
② ホストコンピュータの特別な重要性
電気の停止によるホストコンピュータの停止はやむを得ないが、ホストコンピュータ自身が破壊される事の影響の大きさは極めて大きく、生協間の連帯によるシステムと機種の共通化等のダウン対策が必要。
③ 物流の複数配置の重要性
物流のダメージは、商品の供給にとって致命的な影響がある。物流の複数配置や生協間連帯による危機管理協定の検討が必要と思う。
④ 自治体と生協との間での、緊急時の物資の緊急供給協定の検討が必要。
⑤ スーパーマーケットの災害時の特別な役割
・市民生活を守るうえで、速やかな緊急物資の調達と供給に、生協の役割は極めて重要であるし、それを進めるポイントは連帯の強化と言える。
・便乗値上げ等の混乱を未然に防ぎ、買い占めやパニックを防止する役割がある。
⑥ 災害時こそ、地域地域によって、ニーズの違いが大きい事は無い。緊急時における組織全体の統制機能と地域重視の矛盾の無い機能が必要となる。それぞれの店舗周辺の頻繁なアンケート調査の実施が必要。
コープこうべの一日も早い復興を心よりお祈りいたします。

「コープさんが開いてて良かった」この一言が忘れられない

研修店舗／C須磨
岐阜地区市民生協
伊藤　祐一

1995年２月12日
被災して後、思うことは数多くあるが頭の中では混乱した状態にある。その中から強く感じた以下の２点を書き留めたい。

① 人間は大自然の上に生活させてもらっている。そのことを今回は目の当たりにした。人間が築いて来た物質文明はとても素晴らしいものであるが自然の中では砂の城であった。その砂の城の上にさらに砂の城を作り続けてきたために下の砂の城が土台だと思い込んでいたのだが、実はそのずっと下に台地があることを意識できなくなっていたのではないだろうか。水道、電気、ガスがコックをひねればでてくることが当たり前、車があればどこへでも行けると思っていた、当たり前のこと全てが一瞬にして当たり前でなくなり、水は給水車が来なければどこにもない、電気のない暗闇の恐怖、凶器となったガスもれ、など頼る物など何もない状態に置かれた時の人間の無力さを思い知った。と同時にお互いに助け合って生きていこうとする人々、何時間もかかって目的地まで歩く人々の中に人間の知恵、人間の力強さを感じた。人との共生、自然との共生とは何なのかを考えさせられた。

② コープ須磨が倒壊し悲しいような寂しいような、なんとも言葉にできない感情であった。その後のテント仮設店を見てこれが生協の役割だと思った。被災され不自由な生活をされている近所の人々が来店され「コープさんが開いてて本当に良かった」と嬉しそうな表情で買い物をされている姿が目に焼きついている。この期待に答え、今組合員の求めている商品を品揃えして不自由な生活の中で少しでも役に立つことが我々の使命である。組合員の求めている商品は日に日に変化している。その声に耳を傾け的確に要望を摑んで品揃えに反映させること、今まさにそれを真剣にやっていくことが組合員を勇気づけることになる。

コープこうべは本部はじめ施設の倒壊、システムの崩壊など多大な被害があったがその後数日の内に

営業再開している。今までコープこうべはシステムの上に成り立っていると思っていたが、その底力はシステムのベースになっている本質の部分がしっかりしていること、それを支える職員の力と知恵にあることを忘れてはいけない。

一番大切なことは「何とかしよう」という強い意志

研修店舗／C浜甲子園
大阪いずみ市民生協
辰己　幸二

Ⅰ．はじめに

非常に複雑な気持ちである。このレポートを書いている現時点でも、多くの方々が避難され、不自由な生活を強いられていると考えると非常に胸が痛む。このレポートは、単に私自身がその場（神戸）にいたという単純なものではなく、つらい思いをした1被災者として、又、1生協として、経験したありのままを書いているものである。全国の生協の方々に何かの参考になれば幸いであり、又、決して人ごとではないと肝に銘じていただきたいと思う。

Ⅱ．当日の状況・行動

当日の朝、テレビニュースで最も報道され、焼け野原になった長田区のマンションにいた。通常AM6：00に起きるため、15分前に目覚ましがなり、ベルを止めたその時である。クラクラとマンションが軽くゆれ始め「地震だ」と思った瞬間、「ドドドーン」。言葉では表現できないような地響きと揺れが起きた。すぐさまタンスが倒れ、テレビは3m程飛び、食器は散乱、部屋の中は真っ暗でドアも開けることができないほどの状態になった。揺れが終わったあと、頭の中がまっ白になり、一瞬どうしていいか分からずとまどったが、ある本で読んだことがある、海が近くにある場合は地震が起こったあと、津波の恐れがあるため高台に避難しなければならないと。あわててタンスを起こし、服を身につけ、他の研修生に声をかけにいったが、瀬戸内海は津波の心配がないと言われ一安心。が、マンションの前に出てみてびっくり、ほとんどの家がペシャンコ、そのため道が瓦と土の山となっている。又その時点ですでに4ヶ所ほど火の手も上がっており、まさかと思っていたが約1時間ほどで、マンションにも火の手が。皆で荷物をまとめて、小学校へ避難をした。その時感じたことだが、少しの火事なら恐ろしく感じるが、あれ程燃えると、開き直るというか、何というか、周りの人を見ていても、パニックになる様子もなく、冷静であったのが非常に印象的であった。

その後同じ長田区でも無事であった別の研修生のマンションに身をうつし、食糧確保と気にかかっていたコープ長田店の様子を見に行くと、店内は電気が通っておらず、やむをえず店頭販売をされている状況に出くわし、急遽応援に入ることになった。ここでも非常に貴重な体験をさせていただいた。今から思えば、こうすれば良かったと思う点もあるが、その時の店長以下職員の方々の団結と判断はやはりすばらしいものがあった。こういう状況こそ、力量や経験が問われ、真価が発揮される時であると感じた。

Ⅲ．教　訓

〈生活面で〉

1．懐中電灯とラジオだけは絶対必要。メガネもさがすことができず困った人や、情報が入らず不安になった人を多く聞く。しかし何かの上に置いてあると物が散乱し、分からなくなるので、揺れても取れない所にひっかけておく必要がある。

2．不幸中の幸いなことに、足にケガはなかったが、食器が散乱し非常に危険。歩く前に布団、服などを敷いて歩くこと。スリッパを枕元に置いておいても分からなくなる。

3．いわゆるライフラインは全て使用不可になるが、電話線は燃えてなくならない限り使用できる。しかし、1時間以上たつと、混乱が始まるので、1時間以内の安否確認が勝負である。

4．その他…①非常用食糧はあまり意味がない。（あるにこしたことはないが）家がつぶれるとそれどころではない。そもそも人間が死ぬ位あっけない時は、日本自体がダメな時であると思う。②2Fで寝ること。③マンションのドアは、開けっぱなしにしておくこと。④家を出る時、毛布が必需品。⑤ワンルームマンションは壁、柱が多いので安全性が高い。⑥絶対に生きる、死なないという、強固な意志を持ちつづけることが一番大切。

〈事業面で〉

1．組織体制の再編。安否確認班・本部連絡班・店内整理班・食事班など。店長・副店長など不在の場合が十分に考えられるので、歩いて来れるものが代行して行う必要がある。店のオープンだけが仕事ではない。

2．が、しかし、食糧を提供することが、我々の最大の使命であることも忘れてはいけない。どんな

形であろうとオープンをし、組合員や地域の人に安心を与えるのが我々の宿命である。

3．こんな震災の時ほど、店長に限らず、指揮者は絶対に作業に入ってはいけない。目が回りそうな忙しい状況でも、手伝うことなく指示することが任務である。(例えば、パン・牛乳の無料配布、売る物・売ってはいけない物の指示、閉店など)

4．売り方・値段について。値を上げることは論外であるが、POSを使用できない時は、切り捨ての100円・200円コーナーを作り、売る方が良い。ラベラーがなく、手書きの値段と電卓では、組合員に混乱と迷惑をかけることになった。

5．最後に、当日だけではなく、後日研修店舗でも一番大切だと感じたことは、商品の有無やコンピューターの有無ではない。「何とかしよう」という強い意志を持つこと。そしてそれが組合員への安心の提供になり、生協の宿命だと思うことである。

以上何かの参考になればと思い、書かせていただいたが、だからマニュアル作りと防災訓練が必要ということではない。(必要ではあるが) 実際その場にいれば、それどころではないし、今回と同じ状況なんて考えられない。つまり5番目に書いた人作りである。その点では、改めてコープこうべの素晴らしさを見ることができたと思う。

悲惨な被災地ほど、無数の、無名の天使たちの働きがあった

研修店舗／D芦屋
大分県民生協
宮崎　泰三

私が研修店舗に入ることができたのは、地震から3日経過した4日目であった。その日は、住吉まで車で送ってもらい、シーアと倒壊した本部ビルを見て、2号線沿いを研修店舗のコープデイズ芦屋店まで歩いた。沿線には、テレビ画面で見た悲惨な風景があった。実際に見た感想は、それ以上の迫力と凄まじさ、言いようのないおもくるしい空気が漂っていた。4日目というのに、壊れた家をただ呆然と見つめている人。仮の祭壇を設け、犠牲者の霊を弔っている人などなど。歩道と車道の区別がつかないほどに瓦礫の山が続く。そこを多くの人々が行き来していた。意外であったのは、報道された画面からは想像できないような生気がみなぎっていたことである。生きようとするエネルギー、手助けしようとするエネルギーに満ちあふれているように感じた。

「ご自由にお使い下さい」と書き添えられた洋服をいれられたダンボールが眩しかった。

大きな荷物をキャリーで運ぶ老人がいた。瓦礫でなかなか前に進めない。すかさず、近くの若者が手を貸して黙々と荷物を運ぶ。

家の前には、封がきられていないミネラルウォーターが数本置かれ、かがやいていた。

やっと着いたコープデイズ芦屋店では、地下の農産コーナーで細々と供給活動がなされていた。わずかばかりの品揃えにも、帰る組合員は口々に「ありがとう」と職員に声をかけていた。外では、無料で人々に配り続けるたこやき屋。館内では、組合員の要望に応えようと、地階から3階まで階段をかけあがる職員。

全国の生協の応援もうれしかった。初陣をきって来店した京都生協の30名は各自2個の弁当をもって、2時間弱を歩いてやってきた。彼らは、自分の弁当にも手をつけずに帰って行った。ありがたかった。その後、数多くの全国の生協の応援者が、遠い道程を歩いてやってきては、手、顔を真っ黒にして、暗闇の道を再び歩いて帰って行った。

悲惨な被災地ほど、無数の、無名の天使たちの働きがあった。あとかたもなくなったこの地を離れようとしない人々。現実には、消滅してしまったにもかかわらず、そこには、『わたしの街』が明らかに存在していた。それほどまでに素晴らしい『わたしの街』の存在を恨めしく思いつつ、この街の人々に『負けるなぁ～』というエールを送り続けたい。

人間って本当に素晴らしいと思った。

混乱を最小限にくい止めるには、情報を正しく伝えること

研修店舗／D神戸西
コープおきなわ
呉屋　武治

1．地震を感じた時

不思議なくらい落ちついていた。頭50センチに倒れてきた本棚や散乱した食器等が目茶苦茶になった部屋の中で、「明るくなってから片づけよう。もうひと眠りしよう」という余裕があった。しかし、外廊下を走り階段を駆け足で下る、騒がしさが外から聞こえてきたので「ただ事ではないようだ」と思い、倒れた本棚を越え、割れた食器で足を切らない様に部屋を出る。マンションと周りの住民の人達で固まり余震を警戒したが、外も明るくなり体も冷えてきたので部屋に戻り目茶苦茶になった部屋を改めて見

ても「後片付けが大変だ」と頭をかく程度で、これから大変になるとは全く思ってもみなかった。

2．大変なことになった

その日は研修店舗の棚卸し（休館日）になっていたので、そのつもりで出勤したら店内は停電とスプリンクラーの破裂で水びたしになり、交通マヒによる通勤不可能で出勤者も僅かな職員だけであった。勿論、棚卸しは中止になり状態のひどい３階から順に後片付けに取り掛かる。その間、店内のラジオ放送と食堂のテレビの情報から楽観的な私でさえ眉間にシワを寄せるようになっていった。
「これは大変なことになった。」

3．研修店舗では

翌日から１Ｆのみ（食料品売り場）の営業になったが、当然、多くの組合員さんが開店前から並び、午前中は入場制限しレジは中通路を越え生鮮売り場の主通路まで列を作る状態が夕方まで続いた。今でも（２／11現在）食品・日配の棚空きは続いているが地震当日から商品調達に走る部門チーフ、そして可能な限りの商品を納品させた「力」を見て、デイズ業態のチーフだけはあると感心した。断水やガスが復旧して、やっとテナントも含めた完全な形のオープン（２／４）になる。比較的、被害の少ない西区だったり、向かいに銭湯があるせいか多くの組合員さんが来てくれている。しかし、職員の中には被害の少なくないものもいる。必ず各ミーティングでは被災者救済についての連絡事項を確実に伝えあっている。混乱を最小限にくい止めるには、情報を正しく、確実につたえるかどうかできまる。

4．私の生活（２月11日現在）

マンション８階の部屋のせいか傷みが激しく、２階の空き部屋に移動して布団だけの生活が続いている。水道が２週間目で復旧するが相変わらず風呂も使えない。電気コンロなので湯だけは沸かすことができ、風呂に入れない日はタオルで体を拭いて済ましている。電話が無いので、実家やコモテックの情報交換に支障をきたしている。全然落ち着かない状態が続いているが、長田のレオパレスに住んでいた人達に比べれば、ズッーといい。この時期、不謹慎かもしれないが東西の鉄道の遮断で、大好きな京都にいけないのも辛い。

震災の教訓の１つ、それは“現場を見ずして論じない”

研 修 先／水産食品部
みやぎ生協
和知　　論

●震災時の状況～その後の行動

１月17日㈫５：46AM、地震発生。この発生時の様子は、各種のメディアで言葉や映像で伝えられていますが、まさに「筆舌に尽くしがたい」ものでした。震源地である淡路島は居住地から目と鼻の先ですが、断層が東北にのびていたため、明石市周辺は震度５～６程度（明石市には地震計が設置されていないので正確な震度は不明）でした。しかし、日頃から地震に慣れている東北人にとっても、体験したことのない恐怖でした。

揺れがおさまり、かなりの規模の地震であると認識してから初めにとった行動は電話を掛けること。自分と妻の実家、単協の人事担当に身の無事を伝えました。その次に十分な厚着をし、室内でもスリッパを履きながら座れる分のスペースを確保してから室外へ。同じマンションのコモ留学生の各部屋を尋ね、無事を確認しながら１階で隣のマンションのコモ生と合流し、全員の無事を確認しました。部屋に戻り、ローソクで明かりを確保しつつ、周囲が明るくなるまで多少の片付けをしながら待機していました。

電気・ガス・水道はだめ。情報源の携帯ラジオから刻々と被災状況が放送される中、７時すぎにJRが不通であることを聞き、さらに自動車での移動も無理であると判断し、「災害時に、勤務する事業所への出勤が困難な場合は、最寄りの事業所へ」という単協でのマニュアルから、コープ西明石店にて出勤することにしました。出勤前に、日生協ルートで研修にきているコープおきなわの研修生が「地震は全くの初めて。今からコープ大蔵谷に出勤しますが妻が心配です」とのことだったので奥さんを私の部屋によこして妻と一緒にいるように言いました。

●震災当日の行動から

８：00AMすぎコープ西明石店着。スプリンクラーの送水管破裂で３～２階がシャワー状態でした。水の出るのが収まるまで待機し、その後はとにかく水かきと、ありとあらゆるバケツ類で水受け。店長は被害状況から、その日の臨時休店を決定し、当日の復旧作業を的確に指示しました。誰もが体験したことのない状況のなかで、明確なコントロールを行

える店長以下、店舗の職員さんは頼もしくさえ思えました。

当日は１階部分を翌日に開店できるように復旧し、２階部分も翌々日に開店するために準備しました。翌日以降の店舗供給活動では「組合員さんが今何を必要としているのか？」が仕事の基準になっていました。しかし18日以降の入荷は極々わずか。求められているものが分かっていながら、供給する商品がない悔しさ・申し訳なさを感じました。

●震災２日目から今日（２月11日まで）

19日までコープ西明石店に入り、20日から㈱協同食品本社・同兵庫センター・同明石センターの３ヶ所に分散した水産食品部に合流しました。寸断された陸路での物流に替わる手段として導入された漁船（約７トン）での商品配送（明石→鳴尾浜→兵庫→明石）に乗船し、４トントラック２台分の商品の積込み・荷降しを行いました。また、日々の店舗からのFAXでの受発注の集計・発注も時間のかかる作業でした。

今までのシステムが全て失われたなかで、商品を提供していく責任に対して、水産食品部の方達の仕事ぶりは非常に前向きでした。萩森部長が「火事場のくそ力」ではなく「くそ知恵」が大いに発揮されたというように、どんどんと状況が進展していく様には感心しました。特に、既存の商品の調達の回復力は非常に早かったと思いますし、災害時の特需商品（焼魚・煮魚等の調理済商品）を新規に調達したスピードには脱帽でした。

また、今回を機会に「災い転じて福となす」取り組みが考えられていることに、このような災害時に限らず学ぶべき点が多いと思います。

ex. ○取引先のセグメンテーション（こういう時にこそ真の信頼・協力関係が見えてくる）
○全てのデータベース化（手書きはもちろん、各人独自のフォーマットもやめていく。実績やカルテ、念書など、紙で残さない）
○事務の合理化（いらないものは無いか？　徹底的に洗い出す）
○発行文書のＡ版への統一

●今後に生かすべきこと

今回の震災での体験の全てが、人間・労働者・地域住民・共同住宅の住人など、自分の存在している様々な世界で、何人が教えてくれる有り難い指導よりも役に立つことだと思います。ひんしゅくを買う言い方かも知れませんが「論より証拠」、体験したことの重大さ・貴重さを痛感しています。

今回の体験を単協に生かすだけでなく、自治体や地域、各種のコミュニティ、また自分自身の人間性の成長へも反映させていかなければならないと思っています。

強大な自然災害の教訓としてだけでなく、日常の業務でも肝に銘じたいと感じていることを挙げておきます。

○現場を見ずして論じない。
○相手の立場に立って考える。
○現場からの情報・要求を反映させる。
○事実の確認は人（の情報）任せにせず、自らがつかむ。
○出来ないのではない。やろうとしていないのだ。

●さいごに

未曾有の大災害が発生してから今日（２月11日）で26日目。当初、災害対策本部からの発信を中心とした情報がふえるにつれ、被害状況の甚大さが明らかになり、職員の間にも悲しみ・つらさがたちこめていましたが、その状況と戦うように奮闘するなかで、職員が明るくなり、店舗が再生しだし、コープこうべの組織が元気になっていく様子を目のあたりにし、嬉しさを感じています。

私自身も、この体験は人間としての考え方と、生協運動者としての成長に必ず役に立つものだと思っています。今後も何らかの形でコープこうべ・神戸・兵庫に恩返しが出来ればと思っています。

仲間のありがたさを つくづく思う

研修店舗／Ｃ浜甲子園
さいたまコープ
長谷島寿明

「ドーン」という下から突き上げるような衝撃で目がさめました。「地震だ。震度は３か４か？　いやそんなものじゃない」ただごとならぬ激しい揺れに、地震の多い関東で生まれ育った私も戦慄と恐怖を覚えました。

――やがて揺れが止まり、あたりを見回すと、部屋の中は、足の踏み場もない程、物が散乱しており、外に出るのがたいへんでした。そして外に出た私を待ちうけた光景は、数キロメートル離れた所から上がる10いくつもの巨大な炎でした。

1995年１月17日（火曜時）午前、５時46分、活断層という魔物は、あっという間に5,000人もの尊い生命を奪ってしまいました。被災されたコープこうべの職員の方、組合員の方、コモテック研修生、多くの市民のみなさんに、心からお見舞いを申し上げ

たいと思います。

今回の地震で得たもの、感じたものとして、まず、地震慣れしていても、地震対策を何もしていなかったことが、反省点として掲げられます。懐中電灯、缶詰などの保存食料（アメリカセミナーの前だったので、冷蔵庫はほとんど空の状態）医薬品、ポリタンク etc. ライフラインが寸断された場合の対策が、ほとんど何もされていなかったことです。これは、今回体験したあらゆる都市機能が停止した場合、非常に困った事態を招くことになりますので早急に準備したいと感じました。

第２に、仲間がいることの心強さです。同じマンションに９人の研修生がいることは、組織的に動ける強さがあります。１人ではできないことでも、９人結束すれば、困難な状況も乗り越えられるでしょう。（レオパレスの研修生を合わせて20人以上の集団で行動できた。）今回、仲間がいることの心強さを痛感しました。

第３に人の情けに触れたこと。ふだん、それほどつきあいのない友人知人が心配して実家へ連絡を入れてくれたそうです。そして勤務中であるが、焼け出された店の職員の家族の引っ越しの手伝いに行くのを「今はそれが優先だから」と快諾してくれた部門チーフ。人間の本性はこういう時にこそわかるということが、理解できました。

第４に研修店舗にかけつけられなかったことが残念です。倒壊したビル、家屋をテレビがリアルに映し出しているのを見て、果たして自分の研修店舗は大丈夫なのか？　という不安にかられており、すぐにでもかけつけたい心境でした。

最後に、全国の生協からの支援部隊がコープこうべにかけつけたことに生協ならではの協同の輪を見ることができたことが印象的でした。同じ生協という名のもと、全国には何かあったとき、支え合ってくれる仲間がいることの頼もしさ。

今回の震災でコープこうべも、大きな損害を受けたわけですが、一日も早く被災された組合員の生活を守る砦として、復興することを切に願ってやみません。残された研修期間の中でその過程をしっかりと見届けたいと思います。

情報を得るために
協同学苑に行ってみよう

研 修 先／店舗開発部
コープとうきょう
義家　茂昭

その瞬間、私はその場に30分程ぼうぜんと立ちつくしてしまった。その後思わず涙が出てきた。倒壊した住吉の本部ビルを初めてまの当たりにした時である。冷静さを取り戻した私の頭によぎったのは、「この１年間の研修結果が全てなくなってしまった」「これからの１年間研修を続けて行けるのだろうか」といった事だった。後になって、これらの事は私の杞憂であった事に気づくのだが……。

１月17日午前５時46分、前日にやや夜ふかしをした私は例の「下からのつき上げ」というのには気づかず、激しい横揺れで目がさめた。初めは「でっかい地震だなあ」くらいに思っていたが、真っ暗な中にも部屋の中の様々な物が倒れてくるのがわかり「これはやばい！」という感じになった。隣室の加藤さんからの「義家さん大丈夫ですか？」の声に「大丈夫だよー」と返事をし、外に出ようとしたが、ドアが開かない。いろんな物が倒れていて、ドアをふさいでしまっていたのだ。それらの物を何とかどけて外に出るとハイツ宮川内の COMO 生が集まっているところだった。すでに出勤した佐藤さんを除く９人の無事を確認して、まずはひと安心。夜が明け始めまわりを見渡すと倒壊した家屋、亀裂のはいった道路、遠くには火の手も上がっており、たいへんな事になったと改めて思った。電話が不通で全く使えず、どこにも連絡がとれない。ラジオで電車が全て止まっている事を聞き、こんな非常時に車はまずいと思い、出勤をあきらめる。とりあえず皆で自分の部屋をかたづけようという事になった。

明るくなった部屋の中を改めて見ると、ぐちゃぐちゃになっている。家財のほとんどは倒れ、食器は割れている。先程までこの割れた食器の上を素足で歩いていてよくケガをしなかったものだと、ぞっとした。かたづけも半ばで、金山さんが「近所の様子を見に行こう」と言うので、出かけた。コープ長田に行くと店長らしき人と数人が何かを相談している。おそらく店を開けるかどうか悩んでいるのだろう。南に向かい金山さんの車の無事を確認していると、何やらレオパレスの方向が火事になっている。２人でかけつけると、レオパレスの周囲の家は、ほとんど燃えており、レオパレスには誰もいない。半径500ｍ位をさがしたが誰もいない。おそらくどこかへ避難したのだろうと思い、ハイツ宮川にひきかえそうとした時、被災者らしき人の１人が私にだきついてきた。よく見ると浅野さんだった。内堀さんもいっしょだった。２人に他のレオパレスの人たちが近くの小学校に避難していると聞き、かけつける。どうやら全員無事のようであった。

私は「ハイツ宮川は建物が無事なので皆で来て下さい」と言って宮川に戻り、全員に集まってもらってレオパレスの実態を話し、部屋のかたづけをいそ

いだ。その後レオパレスが焼け、全員避難してきた。私と、私の部屋に来た王鷲さんでコープ長田に買物に行ったが、他のCOMO生が店の手伝いをしていたので私達も手伝う。

夕方ハイツ宮川に戻り、加藤さんが買ってきた米と水、自分が持っていた米で飯をたき、ハイツ宮川の1階ロビーに避難しにきていた人々に配り、私たちもみんなで分けて食べた。夜になり、近くにせまっていた火事も気になったが、とにかく体を休めておこうということで寝た。

翌日、午後から加藤さんの提案で、協同学苑に行こうという事になった。ちょっとムシがいいとは思ったが、長田にいると食べ物の調達もおぼつかないし、水とガスが止まってしまっている。何よりも学苑に行けば、他のCOMO生の安否や、種々の情報もはいってくるだろうということで、全員意志統一をし、移動した。

今回の大震災はなくなった多数の人には気の毒だが、私は多くの事を学ばせてもらった。学んだ事、感じた事も合わせて以下に列挙する。

○集団行動の重要さ……おそらく私1人だったら何もできなかったのではないか。非常時こそ、集団で行動する事が大事である。

○コープこうべ職員の市民に対する献身さ……自分の家が焼けたり、倒れたりしているのに店に行き組合員、市民のために物資の提供に努める。私が東京にいて同じような立場にいたらできるだろうか。

○自分が考えているより家族は自分の事を心配していた。やはり状況が分からないせいもあるだろうと思う。

私の場合、店舗開発の研修という事で、今後の事を考えると不安になりかけた事もあったが、毎日こうべの職員が復興に全力をつくされている姿を見ていると、自分が恥ずかしくなってきた。確かに、本来の研修からは若干ずれるだろうが、コープこうべの、ひいては日本の生協運動の復興のために微力ではあるが、全力をつくそうと思う。

水と情報がいかに大事かを思い知った

研修店舗／C深江
コープかながわ
浅野　素彦

はじめに

だれの書いた小説だったかは、忘れましたが、ある朝、主人公が目をさまして見ると、自分が一匹の虫に変身していたという所から始まる物語を聞いたことがありました。人間がある日を境にして、虫に変わってしまうなどという事は、あり得る事ではないと思っていたのですが…。今回、あの地震に会った時、妙にリアルにこの事を思い出しました。人間が虫に変わるわけではないのですが、今まで何十年か、自分が営んできた世界がたった1分足らずの後には全く変わってしまっていて、これから先も、何もわからない状態になってしまったというのは、同じ事だと思います。そのような時から1ヶ月、今、自分がそれをふり返り、今後の自分の人生の糧とするために、まとめてみたいと思います。

当日の状況

当日は、5時30分に目がさめた。いつも起床は6時なので、あと30分は眠っていられると思い、うとうとしていた。不意に小さな音でカタカタと物音が、数秒したと思った瞬間、強い縦ゆれがおそってきた。自分の記憶では、縦ゆれは、3回～5回位あったと思う。部屋中のすべての物がさけんで（音をたてて）いた。自分自身は最初のゆれの時、驚いて、壁に頭をぶつけ、上半身をふとんの上に起こし、右手で壁を支えて「何だこりゃあ！」と大声でさけんでいた。これは、何が起こっているのかがわからないのではなく、その地震の今までに経験した事のない、ゆれ方と、そのすさまじさに驚いていたのである。ゆれが収まった時、まず、電気をつけてみたのだが、つかない。まだ、部屋の中は真っ暗で、見えない。手さぐりで、玄関まで行ったのだが、そのたった数メートルが進めない。あらゆる物が飛び散っている。しかもそれが何なのかよくわからない。

やっとの事で、ドアにたどりつき、ドアを開けた。幸い、非常用の電燈がついており、外は明るかった。「おーい、みんな無事か」どこからとも、だれからともなく、コモ生の声がし、互いに呼び合っていた。自分が、まず最初に見たのは内堀さん、その後すぐ下のマンションの出口におりて行ったのだが一瞬、その光景を見た時、頭の中が真っ白になった。道路を隔てて建っている（いた）はずの家が、2階を残して、1階がぺちゃんこにつぶれていたのだ。しかもそれが1軒ではなく、アパート出口より向かって左側にかけて、すべての家が、である。コモ生を含めて、4～5名であろうか、そこに出てきた人間はみな、しばらく何も言わずに立ち尽くしていた。と、そこに赤ん坊を抱いた25才位の女性がべそをかきながら、歩いてきた。すぐにアパートの入口に呼び、部屋から毛布を出してきて、かけてあげた。又、アパートの西側のつぶれた家の玄関あたりで、ドンドン、ドンドンと戸をたたく音がしたので、戸をはず

して見ると、80才位のおばあさんが、はい出してきた。そのころには、前の道路には、裸足で、パジャマ姿の人が、何人かヨロヨロと歩き回っていたので、何人かの人に余っていたくつとスリッパを渡して、はいてもらった。

そのようにして、やっとひとここちついた後、部屋に戻り、うす明るくなった部屋を見回して驚いた。タンスは倒れ、ビデオ、テレビは２ｍも飛んで、ゆかに転がっていた。そこで初めて、自分がメガネをかけていない事、又、首がずきずき痛む事に気づく。

そうこうしているうちに、北側がオレンジ色になり、火が近づいてきた。消火活動はいっさい行われていない。だれかれとなく、又アパートの入口に集まりはじめ避難を考えはじめる。

８時30分、身の回りのもののみ、ボストンバック１個位を各々持ち、入口にコモ生９名と、専門学校へ行っているという19才の女の子、そして、前の家より助け出された70才位の老女とで、すぐ近くの御蔵小学校へ逃げる。そこに１時間位いる間に、単協、家族、井上さんに連絡をとり、その後、ハイツ宮川へ避難をし、そこで１泊し、翌日、協同学苑に行く。

教　訓

１．まず、水が大事である。――今回の震災に於いて、水というものが、人間の生活のなかでいかに重要なのかを身にしみて知った。単に飲み水というのではなく、いやむしろ、それ以上にトイレを使用するため、片付けをするため、火を消すためなどの生活、防災用の水がいかに必要で、大事か。極端な話、十分な水があれば、救援物資が、多少遅れても炊き出しなどをして、しのげるのだ。（火は、簡単に起こせるし、その材料は、十分にあった。）

２．情報伝達の方法について――現在は、テレビを中心にした情報社会であり、当たり前だが、テレビは電気が必要である。今回気づいた事は、一番情報を得るのが遅かったのは一番被害に会った人だという事。なぜなら、電気が来ないのでテレビを見る事ができず、情報が得られない。迅速な、正しい情報こそ、パニックを防ぎ、被害を最小に食い止める一番の方法である。今後は避難所に指定された所には、自家発電機と大型テレビ、そして、特別な周波数を使ったトランシーバーは必ず必要である。

以　上

「日生協の通報」が最も新しく確かだった

研修店舗／Ｃ姫路白浜
福井県民生協
小形　　巧

『コープ姫路白浜マニュアルＤＣ
――情報網寸断の中で――』

１．今回の教訓―情報は集めるものである

・コモテック研修生の中で最も西に住んでいる自分としては、最も被害に遭遇しなかったわけで報告書を提出するのも申し訳ない気持ちでいっぱいです。ですが、比較的被害が軽微であった姫路白浜も、今回の震災のなかでいくつかの貴重な経験と教訓をえたように思います。二度とあってはならないことですが、少しでも何かの参考になればと思い報告・記録させていただきます。今回の場合、地震発生からほぼ５日間、おかしな現象が発生していました。コープこうべの対策本部と連携し、日生協から各単協へは定期的に状況の伝達がなされ、各単協では即時に対応が検討されていたように思います。しかしながら、少なくとも姫路白浜店と対策本部との情報の交換は断片的でありまた一方的でもあり、正確な状況把握は困難をきわめていたように思います。結局、出身単協を通してえた「日生協の通報」が一番新しく正確な情報源であったようで、姫路白浜店が西の物流の拠点という現実は、姫路白浜店よりも支援物資や緊急物資を送っていただいた方々の方が先に認知していたということが発生していたようです。店舗職員は当然ＴＶなど見る余裕もなく、一生懸命復旧作業に取り組んでいた為に、「住吉本部の火災」などＴＶ報道を見た組合員からの電話で知ることもありました。日常当たり前のように入手できている情報が、不通の電話回線を前にしては努力して集めるべき対象であったことを再認識させてくれたように思います。

２　地震発生から数日間の私の体験ダイジェスト

17日	**地震発生**　店内落下物後始末　店長宅崩壊の訃報　情報混乱
18日	農産・日配品出し　夕刻より支援物資の入荷始まり荷受けへ
19日	緊急開店　昨日より入荷の始まった商品の入出荷管理の補助へ

20日	24時間体制の中続々商品入荷　電池類はシーアなどへ向けて出荷。
21日	福井より専務来神・早朝協同学苑で合流し住吉へ若干の支援物資を運ぶ道案内、生活文化センターの対策本部・住吉本部・シーアをまわる。
22日	商品の入出荷管理補助　住吉本部・シーアの状況写真を掲示板に。
23日	商品の入出荷商品振替え伝票の起伝などを始める。
	この間福井に情報FAXを継続依頼し、情報の収集に努めました。

＊最後に微力ですが復興へむけてできるだけの分担を担っていく決意です。
残り１年間の研修期間ですが、宜しくお願いいたします。

京都から西宮まで 12時間かけ出勤

研修店舗／Ｃ立花
京都生協
加知　正美

１／17(火)　AM５：46

前日Ｃ立花のマネージャーとコモのメンバーである上床氏と石田氏らと奈良と京都のストコンをし、京都の自宅で、起きて出勤準備をしようとした矢先のできごとだった。自宅は築40年近くの古い家で、置物などが降ってきて倒壊するのではないかと思うゆれであった。停電となり、とりあえず、主人と互いの安全を確認し、電気が復旧するのを待ってテレビをつけた。ニュースでは、10人くらいの死亡と西宮の被害を報じていたので、着替えてJRの駅に向かったがJRは不通状態で出勤できる状況ではなかったので、自宅に戻り電話をかけまくったが電話は不通状態で全く連絡の取れる状態でなかった。

テレビでのニュースの報道を食い入るように見ていたが、当初の情報では西宮市の被害が大きく、西宮北口にすむ妹夫婦の安否が気遣われ、PM４：00頃に京都を出発し、西宮に向かった。通常混んでも２時間ぐらいでいけるところが、R171や幹線道路の至る所で渋滞し、西宮に近づくにつれ家の倒壊やビルの倒壊が暗闇の中で目に付きますます安否が気になった。ようやく途中の公衆電話から田舎の実家を通して妹夫婦の安全と避難場所を確認することができ、ようやく避難場所である、Ｃ北口の検収所前のビルに到達したのはAM４：00であった。帰りは早くR171を２時間ぐらいで帰ることができたが、武庫川沿いの道は隆起し、亀裂がはいっていた。

１／18(水)

軽く仮眠して10：00頃近くの公衆電話より、Ｃ立花に連絡し、みんな出勤し、営業はしていないが、後かたづけをしていることを聞き、阪急も北口まで開通していたので阪急で午後から出勤する事を伝える。続けて石田氏に電話をして無事を確認する。他のコモのメンバーにも電話をしてみるがつながらず。

PM３：00頃Ｃ立花につき、後かたづけに合流する。京都生協に連絡。コープこうべの本部や日生協との連絡が付かないのでとりあえず、19日よりＣ立花に応援を送ることで確認。

１／19(木)

京都生協より応援者10数名

木曜日ではあるが営業するということとなり、農産部門のチーフの家が倒壊、メンバーの身内が亡くなられ、メイトさんも１名の出勤ということで主任の方と協力し、農産の売場をつくる。10：30には組合員が並んでおられるということもあり、オープン。値入れなどができないままとにかく組合員に商品を提供できるようにどんどん商品をだした。

共同購入出身者や本部職員の京都の応援ではあったが京都生協ということもあり、全員まずは農産に入ってもらい、慣れない仕事ながら手伝ってもらう。午後からは明日からの２Ｆ食品フロアーオープンに向けて応援者に２Ｆに回ってもらう。

１／20(金)

コープなら、京都生協より応援

リカーコーナーの散乱状態や４Ｆ住関売場の散乱の整理をお願いする。人海戦術で途方に暮れていた売場がきれいになり、他生協の応援のありがたさを痛感。また応援者の方も手弁当でさらに各自が差し入れとしておにぎりやおかず、水などを持ってこられ、人の優しさを感じる。応援者の感想にはコープこうべ職員のがんばりに逆に感動したの声もあり。その後１月いっぱいならコープ、京都生協を中心にコープしが、淀川市民生協、東都生協と多くの生協の支援で、Ｃ立花は予想以上に売場復旧ができ、１月27日より１Ｆから４Ｆまでのフルオープンにこぎつけることができた。

今回の大震災で、アメリカ流通視察や、コモの研修の多くが流れたが、それ以上に通常では体験することのできない多くのことを学んだように思う。

一つは、多くの生協の支援で、生協法から言えば、

各エリアごとの生協ではあるが、生協という一つの一体感を感じた。そして多くの人の温かい心にふれることができたように思う。

二つめには、コープこうべの職員のパワーである。17日の震災当日から即店舗をオープンし、時間をかけ、通勤し、通勤が困難な時は、泊まり込み、果たして我が生協にこの状況を重ねたときここまでできるのだろうかと改めて頭の下がる思いがした。

三つめには、危機管理としての情報の大切さと状況を見極めての行動の仕方である。情報はシステム的なものと通常の情報があるが、虹の友臨時号で逐次流されてはいたがそれ以上にこの非常時にはどれだけ多く情報をしいれていくかが大切だと思った。それは競合の状態も含めてであり、早い時期に競合のストコンを行い、競合の品揃えに差を歴然と感じたのも事実である。システム的には、POS 導入でどれだけコンピューターにお世話になっているかを痛感するとともにバックアップの体制の必要性を感じた。そして、何よりも職員の結束を固める意味でも職員のコミュニケーションの大切さと情報の共有化の大切さを感じた。

1年コースの研修ということで、この時期にコープこうべを去ることは後ろ髪をひかれるが、このコープこうべの職員の熱い思いが必ず今まで以上のコープこうべとなることを確信し、逆に今後の単協に帰っての励みにしていきたいと思う。

コモテック研修生の皆さん（'95年3月6日）

資料編　神戸市との「緊急時における生活物資確保に関する協定」

緊急時における生活物資確保に関する協定

神戸市（以下「甲」という。）と生活協同組合コープこうべ（以下「乙」という。）は，「緊急時における生活物資確保の為の関係団体等との協力に関する要綱」第４条に基づき，次のとおり協定を締結する。

（目　的）

第１条　この協定は，緊急時に際し，生活物資の確保及び安定供給を行うことにより物価の高騰及びパニックの防止を図り，もって市民生活の安定に寄与することを目的とする。

（法令の遵守）

第２条　この協定の施行にあたっては，消費生活協同組合法（昭和２３年法第２００号）その他法令を遵守しなければならない。

（緊急時の認定）

第３条　緊急時の認定は，甲乙協議のうえ，甲が行う。

（生活物資の指定）

第４条　生活物資は，別表１のとおりとする。

２　前項に定めるもののほか，必要に応じて甲乙協議のうえ，指定できるものとする。

（情報交換）

第５条　甲及び乙は，平素から物価及び需給の動向，神戸市内の各店舗状況その他必要な事項について調査研究及び情報交換に努め，緊急時に備えるものとする。

２　甲及び乙は，緊急時に関する情報を知り得た時は，直ちに通報し合うものとする。

（緊急時体制）

第６条　緊急時に際し，神戸市域を行政区毎に地域割し，それぞれの地域にある乙の各店舗が主として当該地域を管轄する。

２　乙の店舗のうち，別表２に掲げる店舗を重点店舗に指定し，特別監視体制をとるものとする。

（生活物資の確保）

第７条　甲は，緊急時に際し，乙に対し生活物資の確保及び安定供給について要請するものとする。

２　乙は，前項の要請を受けたときは，直ちに必要な措置を行うものとする。

３　緊急時における物資調達等の伝達経路は，別表３のとおりとする。

（この協定書は、震災時点の協定内容を'95年９月に改めたものです）

（情報提供）

第８条　甲及び乙は，緊急時に際し，甲乙協力して，迅速かつ的確な物価，商品等の情報を市民及び報道機関等に提供するものとする。

（支援体制の整備）

第９条　乙は，Ｋネット協同連帯機構等との連携を強化し，緊急時における広域的な支援体制の整備に努めるものとする。

（物価問題研究会の設置）

第10条　甲及び乙は，この協定に定める事項を円滑に推進するため，物価問題研究会を設置するものとする。

（その他）

第11条　この協定に定めのない事項または疑義を生じた事項については，甲乙協議のうえ決定するものとする。

附　則

１　この協定は，平成７年９月１１日から効力を有する。

２　昭和５５年３月２８日締結の「緊急時における生活物資確保の為の神戸市と生活協同組合コープこうべとの協定」は，廃止する。

この協定を証するため，本書２通を作成し甲乙記名押印のうえ各自その１通を保有する。

平成 ７ 年 ９ 月 １１ 日

神戸市中央区加納町６丁目５番１号

甲　神戸市

代表者　神戸市長　　笹　山　幸　俊

神戸市東灘区住吉本町１丁目３番１９号

乙　生活協同組合コープこうべ

代表者　組合長理事　木　村　正　人

別表１　　生活物資

ア　神戸市民のくらしをまもる条例第２８条の規定に基づき神戸市告示第４６号（昭和４９年７月１６日）により告示された品目のうち液化石油ガスを除く８品目

小麦粉，しょうゆ，上白糖，食用油，育児用粉ミルク，灯油，ちり紙及びトイレットペーパー，ノートブック　の８品目

イ　緊急時に必要とされる品目

パン，ハム，インスタント麺，魚肉缶詰，容器入飲料水，洗剤及びせっけん，ポリバケツ，飲料用ポリタンク，乾電池，懐中電灯，カセットガスボンベ及びカセット式ガスコンロ，ゴミ袋，ラップ，ローソク，軍手，運動靴，タオル，紙おむつ，紙コップ及び紙皿，生理用品，毛布，肌着　の２２品目

以上　３０品目

別表２　　重点店舗

東灘区	Ｓｅｅｒ（シーア），甲南店，六甲アイランド店，渦森台店
灘　区	六甲店，鶴甲店
中央区	山手店，青谷店
兵庫区	石井店
北　区	鈴蘭台東店，鈴蘭星和台店，有野店，デイズ神戸北町店
長田区	長田店，丸山店
須磨区	須磨店，白川台店，横尾店，北須磨店
垂水区	塩屋店，神陵台店，新多聞店，高丸店，福田店
西　区	西神店，デイズ神戸西店，桜が丘店，デイズ西神南店

緊急時物資協定に関わる

Ｋネット加盟生協の協同支援確認書

Ｋネット加盟生協が地元各行政と交わす「緊急時における生活物資確保のための協定」の目的を達成し、当該市民生活の早期安定を図るため、加盟各生協は総力をあげて当該生協およびその市民に対して支援を行なうことを確認する。

（生活物資の調達）
第１条　Ｋネット協同連帯機構は、加盟生協のエリアにおける緊急事態発生時に際し、当該生協の要請に応じ、生活物資の調達と配送に関して相互に支援を行なう。

（供給活動支援）
第２条　当該生協の店舗等の供給施設および職員に被害があり、供給活動が困難な場合は、Ｋネット協同連帯機構が人的支援も含め全面的バックアップを行なう。

（情報交換）
第３条　Ｋネット協同連帯機構は、主要生活物資の動向や消費者の買物行動特性、その他必要な事項について相互に情報交換を行い、緊急時に備えるものとする。

（対策本部の設置）
第４条　緊急事態発生時には直ちにＫネット事務局内に「対策本部」を設置し、当該生協との連絡、加盟生協への要請を行なう等、対策と調整を図る機能を果たすものとする。

（相互協力）
第５条　対策本部または被災地当該生協からの支援要請があった場合は、加盟生協は万難を排して協力するものとする。

１９９５年　９月　１日

神戸市東灘区住吉本町１丁目３－１９
　Ｋネット協同連帯機構　　代表幹事　増田　大成

奈良市恋の窪１丁目２－２
　市民生活協同組合ならコープ　　理事長　逸見　　啓

高松市新北町１４－２７
　生活協同組合コープかがわ　　理事長　白井　弘治

新居浜市久保田町２丁目４－２
　生活協同組合アイコープ　　理事長　高橋　廣延

玉野市玉２丁目５－５
　三井造船生活協同組合　　理事長　喜岡　融一

滋賀県蒲生郡竜王町鏡１８０３－２
　生活協同組合コープしが　　理事長　細谷　卓爾

山口市大字下小鯖１０９０－１
　生活協同組合コープやまぐち　　理事長　田村　茂照

京都市南区吉祥院石原上川原町１－２
　京都生活協同組合　　理事長　横関　　武

広島市南区比治山本町１６－３５
　生活協同組合ひろしま　　理事長　冨田　　巌

豊田市豊栄町２丁目１１１番地
　トヨタ生活協同組合　　組合長理事　神谷　敏之

豊中市南桜塚２丁目１－１０
　大阪北生活協同組合　　理事長　柏木　　尚

神戸市東灘区住吉本町１丁目３－１９
　生活協同組合コープこうべ　組合長理事　木村　正人

きょうどう

臨時号　Vol.1
（1月19日号）

この度の兵庫県南部地震はかつてない被害をこの地域にもたらしました。組合員のみなさまのご被災に対しまして心からお見舞い申しあげます。

1月17日、生活文化センター内に緊急対策本部を設置し、供給可能な店舗での営業を始めました。可能な限り開店時間を延長するなどして、必要とされる生活物資の供給に取り組んでおります。

コープこうべは神戸市をはじめ数市との間に「緊急物資協定」を結んでおり、兵庫県・阪神間各市の対策本部と連絡を取り合って、水、ラーメン、肌着などの緊急物資の分配に努力しているところです。また、全国各地の生協からの支援を得るなどして商品の確保に努めています。

コープこうべも本部をはじめ、10余りの事業所が全壊するなど、神戸市内東部の店舗を中心に多大な被害を受けました。すべての店舗が通常どおりの営業に戻るまでは、今しばらく時間がかかりますが、食料品売り場だけで営業したり、あるいは店内の商品を店頭に持ち出して供給するなど、大半の店舗が何らかの形で営業を続けています。

みなさまにはご不便をおかけしていますが、現在、総力をあげて、復旧に努めております。今後継続して全力で復興に取り組んでまいります。みなさまのご理解と協力をお願いします。

生活協同組合コープこうべ

きょうどう

（生活協同組合コープこうべ機関紙）

Vol. 2

1995年1月23日発行
コミュニケーション部

復旧の取り組み、急ピッチ

罹災７日目に入り、被災された組合員の暮らしの状態も少しずつではありますが、回復のきざしを見せています。コープこうべも本部ビルをはじめ、多くの事業所、施設に甚大な被害を受けました。本部建物は崩落しましたが、ただちに生活文化センターに緊急対策本部を設けて復旧に努力しています。また、三木市の協同学苑の体育館に仮本部を設置するための準備も始まりました。さらに全国の生協から支援の物資、休日返上のボランティアが続々と集まり、急ピッチで復旧作業が進みつつあります。

１５５の店舗のうち、東灘区や灘区を中心に約１０店舗が営業不能となりましたが、懸命の復旧をはかり、１月２３日現在、１１６店がフルオープンそのほかの店舗でも、部分営業や店頭駐車場などで営業を続けています。

また、国道２号線が緊急輸送路として確保され、不足していた物資の輸送は順調に進んでいます。六甲アイランド食品工場は安全点検が行なわれ、生産再開に向けて懸命の取り組み中です。

１５５店のうち１１６店がフルオープン

●店舗のオープン状況

１４５店舗が開店しています。

フルオープン＝１１６店
セミオープン＝　１０店（１階のみオープン）
店頭供給　＝　２５店（店頭や駐車場で供給）
休止店舗　＝　　４店

1995年(平成７年)1月26日

臨時号

きょうどう

CO-OP コープこうべ

神戸市東灘区住吉本町１丁目3番19号(〒658)
発行人＝竹本　成徳　　編集人＝湊　　理

・コミュニケーション部「きょうどう」編集室

コープこうべ
組合員のみなさまへ

このたびの兵庫県南部地震はかつてない被害をこの地域にもたらしました。組合員のみなさまのご被災に対しまして心からお見舞い申しあげます。

組合員のみなさまのなかにはご家族の方、肉親の方で悲しい犠牲をだされた方も少なからずいらっしゃいます。心より哀悼の意を表しご冥福をお祈り申し上げます。

コープこうべは本部をはじめ、10あまりの事業所が全半壊するなど神戸市内東部の店舗を中心に多大な被害を受けましたが、被災当日から供給可能な店舗で営業を始めました。当面は食料品をはじめとした生活基礎物資の供給に取り組んでまいります。

全国の生協からも救援物資が続々到着し被災された方のお手元に届けられるよう努めています。また毎日数百人におよぶ全国の生協の仲間が泊まり込んで復旧の応援にかけつけてくれています。一日も早く復旧して組合員へのサービス強化ができるように最大努力いたします。食料品売り場だけで営業したり、あるいは商品を店頭に持ち出して供給するなど、ほとんどの店舗がなんらかの形で営業を続けています。

協同購入センターではコンピューターによる『めーむ』の受注システムが損傷したため、当分は手作業による活動になります。取り扱い商品が限定された形となりますが、現品によるおすすめなど、できるかぎりの方法でご家庭にお届けできるよう努めます。

コープこうべは史上空前の大きな被害を受けましたが、協同の力はいささかもゆるいでいません。これまでの歴史の中でもいくたびか大きな災害に直面しました。昭和13年の阪神大水害、第二次世界大戦など、施設の大半を失ったこともあります。しかし、その都度その難局を組合員といっしょになって克服してきました。今回の地震で崩壊した施設の損害は大きなものがありますが、組合員の協同の心と役職員の生協に対する熱い情熱があるかぎりまちがいなくコープこうべの事業は復興できると確信します。現本部のビルが崩壊したため当分の間、本部機能の一部を協同学苑(三木市所在)に、商品関係は生活文化センターに移します。

再建には時間がかかると思われます。組合員のみなさまにはたいへんご不便をおかけしますが、なにとぞご理解の上ご支援いただきますようお願い申しあげます。

1995年１月26日

生活協同組合コープこうべ
理事長　竹　本　成　徳

事業所の営業状況 (1月23日現在)

■店舗

※道路事情により商品の入荷がなく、品ぞろえできない場合は繰り上げて閉店する場合があります。
※生鮮食料品など一部の商品の取り扱いができていない店があります。

宝塚市
●コープ… ・宝塚・めふ・中山台・安倉、・山本・仁川(店頭供給のみ)
●コープミニ… ・すみれガ丘・中山桜台

川西市
●コープ… ・うねの・けやき坂
●コープミニ… ・萩原台

川辺郡
●コープ… ・猪名川南
●コープミニ… ・松尾台

伊丹市
●コープ… ・伊丹・こや・野間
●コープリビングセンター… ・伊丹
●コープミニ… ・伊丹桜ヶ丘・荻野

尼崎市
●コープ… ・武庫之荘・園田・大庄、・立花(1階食品のみ)、・塚口(店頭供給のみ)
●コープミニ… ・次屋・塚口西・上ノ島・西武庫

西宮市
●コープ… ・香櫨園・甲子園口南・浜甲子園・甲東園・浜甲団地・武庫川・甲陽園、・甲子園中(1階のみ)、・苦楽園・夙川・甲子園口北・北口(店頭供給のみ)
●コープデイズ… ・西宮(店頭供給のみ)
●コープミニ… ・生瀬・一里山・南甲子園・大森・樋ノ池・大谷

芦屋市
●コープ… ・浜芦屋・打出浜(店頭供給のみ)
●コープデイズ… ・芦屋(地階食品のみ)
●コープミニ… ・西芦屋・東山・芦屋浜

東灘区 (神戸市)
●シーア… ・シーア(1階食品のみ)
●コープ… ・岡本、六甲アイランド(1階食品のみ)・深江・甲南・渦森台・御影北(店頭供給のみ)
●コープミニ… ・本山南・魚崎・深江南(店頭供給のみ)
※リビングセンター甲南、コープミニ住吉台は営業していません

灘区 (神戸市)
●コープ… ・鶴甲、・摩耶(1階のみ)・六甲(店頭供給のみ)
●コープミニ… ・やまと・水道筋・高羽
※コープ六甲台、コープミニ桜口は営業していません

北区 (神戸市)
●コープ… ・からと・有野・東有野・北神星和台・鈴蘭台東・北鈴蘭台・西鈴蘭台・鈴蘭星和台
●ホームセンター… ・北六甲
●コープデイズ… ・神戸北町(1階食品のみ)
●コープミニ… ・花山・大池・山の街

中央区 (神戸市)
●コープ… ・青谷・山手(1階食品のみ)、・サンパル(店頭供給のみ)
●コープミニ… ・春日野道・熊内

長田区 (神戸市)
●コープ… ・丸山、・長田(店頭供給のみ)
●コープミニ… ・真野・平和台

須磨区 (神戸市)
●コープ… ・白川台・名谷・北須磨・横尾、・須磨(店頭供給のみ)
●リビングセンター… ・北須磨
●コープミニ… ・南落合・須磨寺・東須磨・妙法寺・北須磨西
※コープパークヒルズは営業していません

兵庫区 (神戸市)
●コープミニ… ・石井・御崎・荒田

西区 (神戸市)
●コープ… ・桜が丘・月が丘・西神
●コープデイズ… ・西神南、・神戸西(1階食品・2階衣料品のみ)
●コープミニ… ・枝吉

垂水区 (神戸市)
●コープ… ・桃山台・福田・塩屋・神陵台・垂水東・新多聞・高丸
※舞子は営業していません
●コープミニ… ・露ヶ丘・清水が丘・城が山・西舞子・青山台・川原

三木市
●コープ… ・三木緑が丘・志染

明石市
●コープ… ・大久保・朝霧・西明石・大蔵谷・魚住
●コープミニ… ・太寺・別所・東二見・朝霧・王子

加古川市
●コープ… ・東加古川・神吉
●コープミニ… ・水足・中津・城の宮

高砂市
●コープ… ・高砂

姫路市
●コープ… ・姫路田寺・姫路白浜
●コープミニ… ・姫路青山

加古郡
●コープ… ・稲美
●コープミニ… ・播磨・本荘・土山
●ホームセンター… ・播磨

■協同購入センター

通常どおり営業しております。 ※コンピューターによる『めーむ』の受注システムが損傷したため取り扱い商品が限定された形となります。

■装いのコープ

通常どおり営業しております。

■住まいのコープ

通常どおり営業しております。

■クレリ

通常どおり営業しております。 電話 078(413)2121 ●24時間受付

■コープ共済センター

CO・OP共済の加入者の方に、速やかに共済金とお見舞金をお支払いできるよう全力を尽くしております。CO・OP共済《たすけあい》、CO・OP生命共済《あいあい》、またはCO・OP火災共済にご加入の組合員の皆様は、下記へご連絡くださいますようお願い申し上げます。

フリーダイアル (0120)497000

生活協同組合コープこうべ
日本生活協同組合共済本部

1995年(平成７年)１月31日

臨時号
第2号

きょうどう

COOP コープこうべ 神戸市東灘区住吉本町1丁目3番19号（〒658）
発行人＝竹本 成徳　編集人＝湊 理

ご意見・お問い合わせは
コープベル
0120-443100
（２月１日から）

編集・コミュニケーション部「きょうどう」編集室

事業の復興に向け全力で取り組みます

私たちの暮らしに甚大な被害をもたらし、多くの尊い命と財産を奪い去った阪神大震災から２週間が過ぎました。日を追うごとに大切なものを失った悲しみと悔しさが心に込み上げてきます。地域のみなさまのご被災に対しまして、重ねてお見舞い申し上げるとともに、１日も早い復旧をお祈りいたします。

大きな打撃を受けた生協の店舗の改修工事も順調に進み、倒壊した東灘区住吉の本部建物の解体が始まるなど、復旧に向けての準備が急ピッチで進んでいます。組合員のみなさまには依然ご不便をおかけしていますが、現在、総力をあげて復興に取り組んでいるところです。

26日現在、155店ある店舗のうち、全館オープンが131店、１階のみのオープンが７店、店頭や駐車場での供給が９店と、コープ舞子・渦森台・浜芦屋・六甲台・パークヒルズ、コープミニ桜口・住吉台、コープリビングセンター甲南の８店を除く、147店が営業を続けています。交通事情の影響などによる物流の遅れのため、品切れを起こすなど、まだまだご満足いただける品ぞろえにはなっておりませんが、商品の手配を工夫して、事態の改善をはかっています。

協同購入もシステム面で大きな打撃を受け、配達に混乱が生じていましたが、１月24日からご注文の承りを開始し、31日からは従来どおりのサイクルでの注文書配布・回収・配達に戻っていきます。当面、『めーむ』の掲載点数は約50～70点と、生活基礎商品に限られたお届けになりますが、１日も早く、従来の協同購入が回復できるよう、努力しているところです。

装いのコープ、住まいのコープは通常どおり営業しています。また、電話がつながりにくい状態が続いており、ご迷惑をおかけしていますが、クレリ、アニパ、コープ共済センターも従来どおり営業しています。

今回の震災に際しては、25日現在、全国からのべ1700人を越える生協職員が神戸に駆けつけ、店頭供給の応援や緊急物資の配送などにあたっています。また救援の物資も続々と到着しています。今後も暮らしを守るとりでとして、地震の混乱に便乗した値上げを許さず、安心・安全な商品とサービスの供給を通して、全力で組合員の暮らしづくりを応援していきます。コープこうべの事業の復興に対するご支援をお願いします。

地震後も通常どおり営業を続けるコープデイズ神戸北町（１月26日）

《お知らせ》

- ■協同学苑、生活文化センター・シーアカルチャープラザは、当分の間、休講します。
- ■コープセンターの状況　宝塚、神戸北、神戸中、明石は当分の間、休講します。
  西宮北口、住吉は２月末まで休講します。
  塚口、姫路は２月から再開します。
  ※休講の講座がありますので、お問い合わせください。
- ■生活文化活動や福祉活動などで、しばらく休止するものがあります。ご了承ください。
- ■コープ委員の立候補・推薦の期間　第１、２、５、７、８地区＝２月１日（水）～２月25日（土）
  第３、４、６地区　＝２月20日（月）～３月16日（木）
- ■２月～３月に予定していた「骨粗しょう症予防検診」は中止いたします。
- ■２月11日開催予定の「ちびっこ健康マラソン大会」は中止します。

コープこうべへのお問い合わせは
コープベル フリーダイヤル 0120-443100まで（２月１日から）

各事業所の営業状況(１月27日現在)

■店舗

道路事情により、商品の入荷がなく、品揃えができない場合は繰り上げて閉店する場合があります。
生鮮食料品など、一部の商品の取り扱いができていない店があります。

行政区	営業店舗	その他
長田区(神戸市)	コープ丸山、コープ長田 コープミニ真野、コープミニ平和台	
須磨区(神戸市)	コープ白川台、コープ名谷、コープ北須磨、コープ横尾 コープリビングセンター北須磨 コープミニ南落合、コープミニ須磨寺、コープミニ東須磨 コープミニ妙法寺、コープミニ北須磨西	・コープ須磨は店頭供給のみ実施しています。 ・コープパークヒルズは営業しておりません。
西区(神戸市)	コープ桜が丘、コープ月が丘、コープ西神 コープデイズ西神南、コープデイズ神戸西 コープミニ枝吉	
垂水区(神戸市)	コープ桃山台、コープ福田、コープ塩屋、コープ神陵台 コープ垂水東、コープ新多聞、コープ高丸 コープミニ霞ケ丘、コープミニ清水が丘、コープミニ川原 コープミニ城が山、コープミニ西舞子、コープミニ青山台	・コープ舞子は営業しておりません。
三木市	コープ三木緑が丘、コープ志染	
明石市	コープ大久保、コープ朝霧、コープ西明石、コープ大蔵谷 コープ魚住 コープミニ太寺、コープミニ別所、コープミニ東二見 コープミニ王子	
加古郡	コープ稲美、コープホームセンター播磨、コープミニ播磨 コープミニ本荘、コープミニ土山	
加古川市	コープ東加古川、コープ神吉 コープミニ水足、コープミニ中津、コープミニ城の宮	
高砂市	コープ高砂	
姫路市	コープ姫路田寺、コープ姫路白浜 コープミニ姫路青山	

■協同購入センター　システムを変更して、営業しております。
コンピューターによる「めーむ」の受注システムが損傷したため取り扱い商品が限定された形となります。

■装いのコープ　営業しております。大切な着物、毛皮、宝飾品のクリーニング、洗い張り、しみ抜き、修理などのご要望がございましたらお気軽にご相談下さい。
お問い合わせは下記フリーダイヤルまで
尼崎　０１２０－４００１２９　　西宮　０１２０－４００１４５　　灘　０１２０－４００１４６
垂水　０１２０－４００１７４　　加古川　０１２０－４００１７５

■住まいのコープ　営業しております。
お問い合わせ先　東部　０１２０－４１５２７１
中部　０１２０－４１５２７２
西部　０１２０－４１５２７３

■サービスセンター
電気製品の修理　営業しております。お近くのサービスセンターにご連絡ください。ただし中央区以東は東部サービスセンターに、兵庫区、長田区と帰宅以北は西部サービスセンターにご連絡ください。
・東部サービスセンター（西宮市）０７９８－４８－６８３１
・西部サービスセンター（明石市）０７８－９１３－６４９０
・姫路サービスセンター（姫路市）０７９２－５３－２５６１

■コープカタログセンター　営業しております。
※但しコンピューター損傷のためお支払い方法は代金引き替えのみでお願いいたします。
お問い合わせは　電話０１２０－２０－００８８（フリーダイヤル）へ

■CO-OPステーション　ステーション誌は３月号（2/10発行）については休刊させていただきます。

■アニパ　営業しております。営業時間は当分の間午前10時から午後３時までとさせていただきます。尚、電話でのお問い合わせは５時まで承ります。（定休日：水曜日）
電話番号が０７８－４１１－５７６９に変更となりました。

■クレリ葬　お問い合わせ先　電話０７８（４１３）２１２１　●24時間受付

■コープ共済センター　COOP共済の加入者の方に、速やかに共済金とお見舞金をお支払いできるよう、全力を尽くしております。COOP共済〈たすけあい〉、COOP生命共済〈あいあい〉、またはCOOP火災共済にご加入で給付申請をされる組合員の皆様は、下記へご連絡くださいますよう、お願い申し上げます。共済掛金についてのお問い合わせも承っています。
フリーダイヤル　０１２０－４９７０００（受付時間　午前９時～午後６時）

生活協同組合コープこうべ
日本生活協同組合連合会

コープこうべへのお問い合わせは
コープベル（フリーダイヤル）**0120-443100**まで（２月１日から）

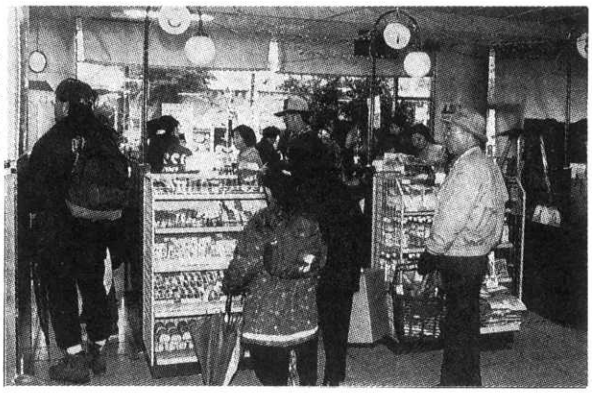
臨時号
第3号

きょうどう

ご意見・お問い合わせは
コープベル 0120-443100
CO-OP コープこうべ

発行人＝竹本　成徳　　編集人＝布藤明良
編集・組織＝広報本部「きょうどう」編集室

「創造的復興」に全力で取り組み 新しい生協づくりをすすめます



シーアでは1月21日、1階がオープンしました

私たちの暮らしに甚大な被害をもたらし、多くの尊い命と財産を奪い去った阪神・淡路大震災から一カ月が過ぎました。日を追うごとに大切なものを失った悲しみと悔しさが胸にこみ上げてきます。みなさまの被災に対しまして、重ねてお見舞い申しあげるとともに、一日も早い復旧をお祈りいたします。

大きな打撃を受けたコープこうべの店舗の改修工事や倒壊した東灘区住吉本町の本部建物の解体など、復旧に向けた取り組みが順調にすすんでいます。組合員のみなさまには依然ご不便をおかけしていますが、現在、総力をあげて復興に取り組んでいますので、なにとぞご理解ください。

二月十一日現在、百五十五店ある店舗のうち、コープ舞子・六甲台、コープリビングセンター甲南の三店舗を除く百五十二店舗がオープン、店頭などで供給している店舗も約十店となりました。

『めーむ』の掲載商品が三月から約三百品目に

協同購入もシステム面で大きな打撃を受け、商品情報紙『めーむ』の掲載点数が約五十から七十の生活基礎商品にかぎられていますが、三月初旬にはコンピューターシステムが仮稼働、約三百品目をお届けできる見込みとなりました。

今後も暮らしを守るとりでとして、地震の混乱に便乗した値上げを許さず、安心・安全な商品とサービスの供給を通じて、全力で組合員の暮らしづくりに努力していきます。コープこうべの事業の復興に対するご支援をお願いします。

復興は3ステップで

今回の震災によって、コープ仁川・浜芦屋・御影北・渦森台・六甲・須磨・舞子、コープリビングセンター甲南の八店舗と西宮・西宮北の両協同購入センターが全半壊と、甚大な被害を受けました。そのほかにも多くの事業所が何らかの被害を受けています。

全半壊の事業所の建て替えや解体・修繕費、商品被害などを含めると、被害額は約五百億円となります。

復興に向けて、「復元・再生」「復興」「創造的復興」の三つのステップで五年計画に取り組み、赤字解消を目指します。財源としては、任意積立金などの内部留保を取り崩すなどの対策を検討しています。

全国の生協から支援続々

震災直後から、全国の生協からの支援が始まりました。北海道から沖縄まで、各生協の役職員が交通の便の悪いなか、続々と応援に駆けつけ、被災店舗の片づけをはじめ商品の陳列、店内案内、店頭供給、商品配送などに従事しています。

また、救援物資の運搬には各生協の共同購入用トラックが大活躍。市役所などに届いた物資を小分けして配達しました。

二月十三日現在で、八十生協、のべ約八千人の生協職員の応援がありました。また、コープこうべへの支援だけでなく、神戸市・兵庫県のボランティアとして活動する生協もありました。

コープかがわのトラックの姿も

組合員ボランティアが活躍

今回の震災では大勢のボランティアが活躍しています。コープ姫路白浜・姫路田寺・東加古川などの店頭で、被災直後からいちはやく組合員の救援募金の活動がスタートしました。

第五、七地区では、コープ委員会を中心に、長田、須磨方面で炊き出しを行なっています。第八地区では地域の銭湯、コインランドリーの営業状況を調べ、まめ、二月六日、「コープこうべボランティア本部」を設置しました（連絡先＝裏面掲載）。

スコミに情報提供しました。

また、他生協からの組合員ボランティアも活躍。シーア駐車場では毎日曜日に、ならコープの組合員が炊き出しを行なっているほか、近隣の生協ではボランティアの窓口が設けられるなど、助け合いの輪がどんどん広がっています。

コープこうべでは、この自主的な活動を推進するため、二月六日、「コープこうべボランティア本部」を設置しました（連絡先＝裏面掲載）。

シーア駐車場では、いも煮の炊き出しが行なわれました

緊急物資協定に基づいて救援物資を各市にお届け

コープこうべでは一九八一年に神戸市、九三年には尼崎市との間に「緊急時における物資確保のための協定」を結んでおり、震災当日から食料品や毛布、乾電池などの生活必需品を届けました。このほか、被災した阪神間各市に要望を聞き、緊急物資を届けました。

六甲アイランド食品工場では、地震発生の時刻にはパン類が焼きあがり、各店舗に配送する準備が整っていました。このパンの一部は十七日のうちに市役所などに配送。また、十八日は一年に神戸市、九三年には尼崎市との間に「緊急時における物資確保のための協定」を結んでおり、震災当日から食料品や毛布、乾電池などの生活必需品を届けました。このほか、被災した阪神間各市に要望を聞き、緊急物資を届けました。

六甲アイランド食品工場では、地震発生の時刻にはパン類が焼きあがり、各店舗に配送する準備が整っていました。このパンの一部は十七日のうちに市役所などに配送。また、十八日はガス漏れによる避難勧告発令のなか、神戸市の依頼によって出動した自衛隊のヘリコプターでパンが運びだされました。

この協定が緊急物資の安定確保に大きな役割を果たしたことがきっかけとなって、ユーコープ事業連合では神奈川県や横浜市と協定締結の準備が今春をめどにすすめられています。また、生協の監督官庁の厚生省には、千葉県などから問い合わせが寄せられています。

本部を協同学苑（三木市）に移転

本部ビルが倒壊したため、震災当日から生活文化センター（東灘区）に緊急対策本部を設置し、復旧にあたってきましたが、一月一日から協同学苑（三木市）に運営、管理・開発、組織・広報の本部機能を移しました（商品関係を除く）。

〒673-05
三木市志染町青山7の1の4 協同学苑内
電話（0794）87・3248

コープベルを再開

一月からご意見、ご要望をうけたまわる電話・コープベルを再開しています（番号は従来どおり）。コープこうべへのご意見、ご要望、お問い合わせは、**フリーダイヤル0120・443100**コープベルへお願いいたします。

このたびの阪神・淡路大震災により被災されました地域のみなさまに、心からお見舞い申し上げるとともに、一日も早い復旧をお祈りいたします。

当生協におきましても多大な損害を受け、
みなさまに大変ご迷惑をおかけしましたことを深くおわび申しあげます。
現在、事業の復興に向け全力で取り組んでおります。
組合員のみなさまには、大変ご不便をおかけいたしますが、
なにとぞご理解のうえ、ご支援いただきますようお願い申しあげます。

生活協同組合コープこうべ　理事長　竹本　成徳

※『きょうどう』はコープこうべの機関紙です。しばらくの間、紙面が限られますが、3月は第1・第3火曜日に発行します。

お知らせ

●コープボランティア本部を設置
被災地への救援活動に取り組むため、「コープボランティア本部」を設置しました。ボランティアに参加してくださる方、また、ボランティアで手伝ってほしいこと（家の荷物を出したいなど）を同時募集しています。各地から来られているボランティアの人たちの宿泊先（1日だけでも可）も求めています。
▷問い合わせ・申し込み：📠0120－445700へ。

●阪神・淡路大震災被災者「救援募金」を受け付けています
組合員のみなさんからお寄せいただいた募金はコープこうべとしてまとめて、被災者の救援に役立てます。
▷問い合わせ：お近くの店舗サービスコーナーへ。

●95年度「コープ委員」と「総代」の立候補・推薦を受け付け中
「コープ委員」はその地域の組合員の意見や要望を聞いて、生協の運営に生かしたり組合員の活動を広げたりします。また、「総代」は、協同購入センターや店舗を選挙区として組合員数に比例して選出される組合員の代表のことで、生協の民主的な運営をすすめ、総代会に出席したりします。
▷立候補・推薦受付期間：すでに店頭ポスターでお知らせしておりますように、2月25日(土)まで（一部の地域では3月16日(木)まで）
▷問い合わせ：お近くの店舗サービスコーナーまたは協同購入センターへ。

●組合債「満期のご案内」を郵送
今年満期になる証書をお持ちの方には、順次「満期のご案内」を郵送させていただきますので、ご確認ください。

●骨粗しょう症予防検診
3月末まで中止します。

●「生活文化・福祉賞」の応募は、3月末までに
1月末までの締め切りを3月末までに延長しました。
▷問い合わせ：☎0794－87－3616（福祉）へ。（電話番号が変わりました）

各事業所の営業状況（2月14日現在）

●協同購入センター
システムを変更して営業しています。コンピューターによる受注システムが損傷を受けたため、取り扱い商品を限定しています。3月7日(火)～11日(土)配布の商品情報紙『めーむ』からは、約300品目の商品の紹介が可能となります。そのほかにも商品のご要望には、できる限りの対応をいたします。地域担当にお申し出ください。

●店舗
コープ六甲台（灘区）、コープ舞子（垂水区）、コープリビングセンター甲南（東灘区）の3店を除いて全店営業しています。ただし、店舗によって営業時間を変更している場合があります。シーア、コープ、コープミニは2月は休まず営業。コープデイズ西宮、神戸西、神戸北町、西神南は2月21日(火)が休み、コープデイズ芦屋は2月22日(水)が休み。コープリビングセンター、コープホームセンターは2月21日(火)は休み、28日(火)は営業します。

●住まいのコープ
中部事業所は装いのコープ灘事業所内の仮設事務所で営業しています。電話番号は従来どおりです。
▷東部事業所（宝塚市）：📠0120－415271
▷中部事業所（東灘区）：📠0120－415272
▷西部事業所（西　区）：📠0120－415273

●装いのコープ
着物、毛皮、宝飾品などのクリーニング、洗い張り、しみ抜きなどのご相談を承っています。
▷尼崎事業所：📠0120－400129
▷西宮事業所：📠0120－400145
▷灘事業所：📠0120－400146
▷垂水事業所：📠0120－400174
▷加古川事業所：📠0120－400175

●サービスセンター
家電品の出張修理を承っています。
▷東部（西宮市）：☎0798－48－6831
▷中部（東灘区）：☎078－412－2051
▷西部（明石市）：☎078－913－6490
▷姫路（姫路市）：☎0792－53－2561

●コープ共済センター
CO・OP共済「たすけあい」、CO・OP生命共済「あいあい」、CO・OP「火災共済」にご加入で、給付申請される方、または震災で20万円以上の住宅災害に遭われた方は下記までお問い合わせください。CO・OP共済の掛け金振り替えは、コンピューター損傷により2～4月の3カ月分を4月5日に申し受けますので、ご了承ください。なお、掛け金未振替期間（2～3月分）につきましても、保障は継続されていますので、ご安心ください。
▷問い合わせ：📠0120－529431または
☎078－842－2961

●コープカタログセンター
営業しています。コンピューター損傷のため、商品のお届け時にお支払いいただく方法のみでお願いしています。
▷注文・問い合わせ：📠0120－200088

●CO・OPステーション（情報誌）
『CO・OPステーション』3月号（2月10日号）は休刊させていただきましたが、4月号（3月10日号）は発行します。
▷問い合わせ：☎078－842－3636へ。（電話番号が変わりました）

●コープふるさと村（宿泊施設）
営業しています。
▷ふるさと村ちくさ（宍粟郡千種町）
☎0790－76－3600
▷ふるさと村やちよ（多可郡八千代町）
☎0795－37－0848
▷エルムいちじま（氷上郡市島町）2月21日(火)～23日(木)は休み。
☎0795－85－2501

●クレリ案内センター（葬祭サービス）
クレリのお葬儀・ご相談は24時間受け付けています。仏壇・墓石のご相談は9時～19時に。
▷問い合わせ：☎078－413－2121

●アニパ（ブライダルなどお祝いごとの承り）
卒業式用袴などの貸衣装は、ご予約どおり利用いただけます。式場紹介などのご相談も承っています。営業時間は当分の間10時から15時までにさせていただきます。なお、電話でのお問い合わせは17時まで承ります。水曜定休。
▷問い合わせ：☎078－411－5769へ。（電話番号が変わりました）

●ふれあい見舞金事務局
「ふれあい見舞金」の登録をされている組合員には世帯主死亡の場合は10万円、ご家族死亡の場合は1万円をお渡しします。電話番号が変わりました。
▷問い合わせ：☎0794－87－3070（協同学苑内）

●コープふれあい便センター（高齢者や体の不自由な方のための会員制の宅配供給システム）
営業しています。営業地域に制限があります。
▷こ　や（伊丹市）：☎0727－85－8195
▷夙　川（西宮市）：☎0798－72－6767
▷垂水東（垂水区）：☎078－753－8110
▷姫路白浜（姫路市）：☎0792－46－4844

●商品検査センター
コープ岡本（東灘区）内の仮設事務所に移転しました。
▷問い合わせ：☎078－453－0116（電話番号は従来どおりです）

●コープツーリスト（生協の旅行関連会社）
コープツーリスト住吉にご用の方は、コープツーリスト北口（西宮市）または立花（尼崎市）にお電話ください。電話番号は下記のとおりです。
▷問い合わせ：☎0798－64－2251（北口）
☎06－426－5431（立花）

●コープムービング引越センター（生協の運輸関連会社）
▷問い合わせ：📠0120－861954

生活文化講座を受講中のみなさんへ

震災後、休講になっている講座があり、ご迷惑をおかけしています。再開の時期は各教室の被災状況によって異なります。詳しくは各センターにお問い合わせください。
●生活文化センター（☎078-441-1698・日曜休館）
※電話番号が変わりました。
○5月まで休み。定期講座は6月から、通信講座は4月から開講○1～3月の受講料前納分は原則として6～8月分に振り替え。受講できない方は4月1日(土)から返金○春期講座継続手続きは4月1日(土)～28日(金)まで。
●シーアカルチャープラザ（☎078-811-0008・火曜休館）
○5月まで休み6月から開講○1～3月の受講料前納分は原則として6～8月分に振り替え。受講できない方は4月1日(土)から返金○春期講座継続手続きは4月1日(土)～28日(金)まで。
●協同学苑（☎0794-85-5500・休館日なし）
○2月は休み。3月1日(水)から一部の講座を除いて開講予定○休講分の受講料は基本的に3月の講座日に返金。
●宝塚コープセンター（☎0797-74-7160・木曜休館）
○一部の講座を除いて開講○休講分は原則として4月に補講○春期講座継続手続きは3月31日(金)まで。
●塚口コープセンター（☎06-429-1510・木曜祝日休館）
○一部の講座を除いて開講○休講分は返金○春期講座継続手続きは2月28日(火)まで。
●西宮北口コープセンター（☎0798-67-8444・日祝休館）
○2月は休み。3月に順次開講予定○休講分は返金○春期講座継続手続きは3月1日(水)～15日(水)まで。
●神戸北コープセンター（☎078-583-8140・日祝休館）
○2月8日から一部の講座を除いて開講○休講分は返金
●神戸中コープセンター（☎078-362-2770・日祝休館）
○2月は休み。3月に順次開講の予定○春の講座への継続手続きは3月1日(水)～15日(水)まで。
●明石コープセンター（☎078-914-2636・日祝休館）・**コープデイズ神戸西カルチャー教室**（☎078-975-5140・火・日曜祝日休館）
○2月6日から一部の講座を除いて開講○休講分は返金
●姫路コープセンター（☎0792-22-2293・日祝休館）
○休講中の講座は順次開講○休講分については返金

コープこうべへのお問い合わせは：コープベル（フリーダイヤル）0120-443100まで

資料編　『にじの友』臨時号（コープこうべ職員向け内報）

『にじの友』臨時号　Ｖｏ１．１（１月19日号）

この度の兵庫県南部地震は未曾有の被害をこの地域にもたらしました。私たちは、この地で尊い命を奪われ、営々と築きあげてきた財産を失い路頭に迷う組合員のみなさまを救済することを最優先に取り組まなければなりません。真心をこめて、誠心誠意務めていただくようお願いたします。

なお、コープこうべの被害は筆舌につくせないものがあります。みんなで力を合わせて、１日も早く復興させなければなりません。痛手から立ち上がり、力強く元気を出して頑張りましょう。みなさんの心からなるご努力を切に希望してやみません。

1995年１月18日
組合長理事　木村正人

１月17日の兵庫県南部地震でコープこうべは甚大な被害を受けました。本部ビルをはじめ約10所属が全壊、18日に確認がとれた範囲で約半数の事業所が大きな被害を受けています。

緊急対策本部を生活文化センターに設置し、復旧に向けて準備を進めています。しかし、東灘区は被害の中心地であり、電話、電気の復旧がかなり遅れています。みなさんへの情報が十分に伝えられない状況にあり、ご迷惑をおかけしています。

コープこうべは神戸市と「緊急時物資協定」を結んでおり、県、阪神間各市の対策本部と連絡を取り合って、水、ラーメン、肌着などの緊急物資の分配に向けて、取り組んでいます。

みなさんの所属、ご家庭でも被災状況が大変だと思いますが、私たちはできる限り、組合員の救済を最優先に対応していかねばなりません。

また、全国各地の生協から救援の申し出をいただき、いろいろな救援物資や応援の職員が駆けつけてくださっています。たくさんのみなさんの支援を得ながら、本部機能の早急な回復と営業体制の整備に最善の努力をしてまいります。

にじの友臨時号　ｖｏｌ．２

1995年１月21日発行
コミュニケーション部

コープかがわから支援のトラック部隊、休日返上して続々神戸へ

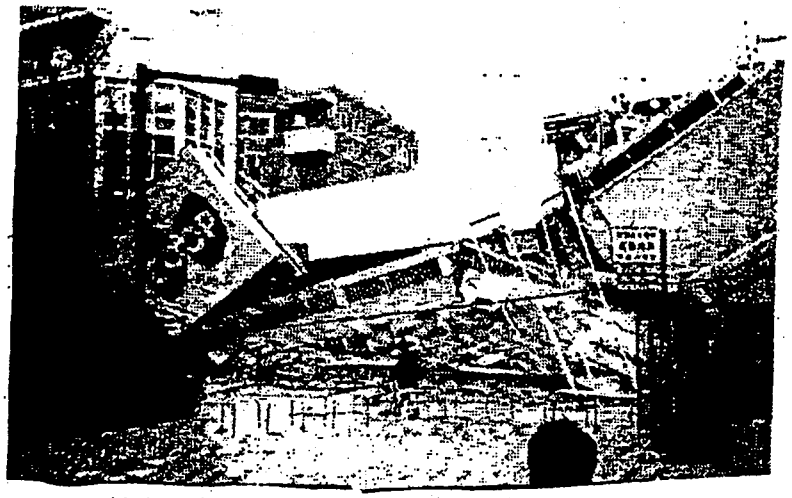
罹災５日目に入り、被災された組合員の暮らしの状態も深刻さを増しています。コープこうべも本部ビルをはじめ、多くの事業所、施設に甚大な被害を受け、本部建物は崩落しましたが、ただちに生活文化センターに緊急対策本部を設けて復旧に努力しています。また、三木市の協同学宛の体育館に仮本部を設置するための準備も始まりました。さらに全国の生協から支援の物資、休日返上のボランティアが次々と集まり、急ピッチで復旧作業が進みつつあります。被害を受けた店舗も損傷の軽いものから順次、工事に入り、１日も早い営業再開に向け、調査が進んでいます。全職員ファイトを出して、緊急対策本部委員長の木村組合長を先頭に総力をあげて頑張りましょう。

１月20日までに緊急対策本部で把握している状況は以下の通りです。

○事業所

＜復旧不能の施設＞

本部ビル、コープ六甲、コープ御影北、コープ浜芦屋、コープ須磨、コープ仁川
コープリビングセンター甲南、協同購入センター西宮北、本山寮、商品検査センター
コープミニデポ深江、石橋ビル（協同信用、労働組合）、コープ渦森台、
※このほか、水損や一部破損事業所多数。



本部ビルは全壊しましたが、すぐ生活文化センターに緊急対策本部を設けました。

しかし、 145の店舗では職員皆さんの努力で部分営業や店頭を活用して営業を続けていますが、東灘区を中心に約10店舗が営業不可能となりました。

商品の面では鳴尾浜配送センター、新たに物流の基地となったコープ姫路白浜、小野エクスプレス、協同学苑、コープホームセンター北六甲での集荷も順調に進みつつあります。不足していた物資の確保も順調に進んでいます。食品工場も点検が行なわれ、再開に向けて懸命の取り組みが行なわれています。

にじの友臨時号　ＶＯＬ．３

1995年１月22日発行
コミュニケーション部

１５５店舗中１１１店舗がほぼフルオープン

罹災６日目に入りましたが、各事業所の復旧作業は着々とすすんでいます。開店不能店舗も５店舗になり、（ほぼ）フルオープンが155 店舗中111 店舗、１階だけのオープンが15店舗、店頭供給が24店舗というところまで回復しています（22日現在）。

商品需要も、地震直後のそのまま食べられるものからカセットコンロ、暖房器などの生活用品などに移り、組合員も長期化への対策を始めています。

また、全壊した協同購入Ｃ西宮・西宮北も、鳴尾浜にある「連帯東部デポ」に場所を移し、２月１日に稼働する予定です。

●緊急輸送車輌確認証明書の申請について

全国から多くの救援物資が届けられていますが、交通事情が非常に悪く、そのために、商品が十分に届かないのが実態です。それに従い、公安の取り締まりも厳しくなり、22日には民間の車の幹線道路侵入がほぼ禁じられている状況です。許可がないと通れないことから、所轄警察署へ事業所ごとにまとめて許可を申請しました。

●組合員の自主的な助け合い活動（救援募金）が始まります

23日（月）に開催予定の第５・第８地区の代表者会議で、被災地域への支援が検討されます。コープ姫路白浜、姫路田寺、東加古川などでは、すでに組合員の自主的な店頭募金などの救援活動が始まりました。

●メール便（地区本部など拠点事業所行き）が復活します

22日よりメール便が復活。地区本部、鳴尾浜ＤＣ、大阪北本部など拠点と本部（生活文化センター）間を１日１回走ります（午後４時回収。翌日配達）。より確実に届けるため、バイクを活用して行ないます。各所属には各地区本部と拠点事業所から配送します。

●コープかがわ、アイコープが緊急物資配送の協力隊を組織

コープかがわ、アイコープが神戸市市民局の「小型トラックと運転手がほしい」という要請にこたえて、緊急物資配送の協力隊を組織し、タオル、食料品や 112トンの水を積み込んだ140 台、 170人の陣容（コープかがわ＝99台・ 118人、アイコープ＝約40台・約50人）で、22日、23日の２日間、神戸市内の４カ所を拠点として市民の救援活動にあたっています。

●第６地区本部が移転

雨漏りと漏電のため、１月22日（日）午後５時以降、協同学苑に事務所を移します。

＜重要＞出退勤管理は必ず「出勤簿」で！

１月16日以降の出退勤管理は必ず「出勤簿」で管理してください。チェックイン端末へカード投入してもデータ入力はできません。また、他の情報システムに大きな影響を与える可能性がありますので、即時中止してください。「出勤簿」の見本は、19日の拡大対策会議で地区本部長に渡し、所属への配布・徹底をお願いしています。

（人事労政部）

<資料1> 臨時商品部組織体制（別紙）
<資料2> 「ほぼ全店で営業～コープこうべ、屋外店舗も」（日本経済新聞１月21日付）

にじの友　臨時号

vol. 4
1995年1月23日発行
コミュニケーション部

商品供給の正常化に向け、急ピッチで復旧進む。116店がフルオープン

地震発生から7日が過ぎ、大きな打撃を受けた供給体制も早いピッチで回復しています。155の店舗の内、全階オープンが116店、1階のみのオープンが10店、店頭のみの供給が25店と、コープ舞子、六甲台、パークヒルズ、コープリビングセンター甲南の4店を除く151店がオープンしています。ここに至るまでの職員の献身的な努力に対して、多くの組合員からねぎらいの言葉も届いています。職員の中には、避難所から通勤している人も多く、疲労も高まっていますが、組合員の暮らしを支えるために奮闘中です。コープこうべを支援するために全国の生協の仲間が続々と神戸に集まっています。私たちも挫けることなく、元気を出して頑張っていきましょう。

●定番発注の復旧に向けて準備作業がスタート

ＥＯＳ発注が復旧するまでの間、オーダーブック（発注台帳）方式を導入します。食品、菓子は週2回、衣料は週1回、生鮮はファックスで毎日、という方向で検討中です。オーダーブックは商品部が作成し、オペレーションマニュアルは各運営部がまとめます。2月1日スタートを目標に関連部署で準備が始まりました。

●道路渋滞で配送の遅れ続く

被災地域への救援物資の速やかな配送と同時に周辺地域への通常商品の供給が重要になってきています。鳴尾浜配送センターでは全国の生協、関連会社、ニチリウグループ、取引先などの支援を得て、通常以上の車両を稼働させています。交通状況の好転につれて配送状況も改善されていく見込みです。

●六甲アイランド生産工場の復旧状況

生産事業部では生産再開に向け、設備の点検が進行中。現在は委託生産で、とうふが８０％、厚揚げ７０％から８０％、めん類、薄揚げは１００％、生産できるようになりました。しかし、パンの生産に関してはまだまだ不十分な状態が続いています。水とガスがまだ復旧していませんが、1月２５日に稼働テストを行ない、1日も早く通常生産が再開できるよう準備が進んでいます。

●他生協からの支援続々

1月１９日以後も全国の生協、農協などから多くの支援があります。全国の生協職員がコープこうべに駆けつけ、店舗応援や商品配送などに協力いただいています。前回お知らせ以降にも、7生協７０人の人的支援のほか、商品の応援、配送トラックの応援など、コープこうべの再建に向けて力強い支援が続いています。

●職員の消息確認のおねがい

職員の消息について心配されている方も多いと思います。それに応えるためには職員の被災状況の把握が必要です。1月１９日付通報「職員の被災状況集約の件」で依頼した各所属の職員の被災状況を一日も早く報告してください。報告内容は全員分が必要です。現在、連絡のつかない職員が約２００人います。

この件についての問い合わせは、☎０７８－４４１－１６８７　緊急対策本部人事労政部まで

●お悔やみ（1月23日午後1時現在）

古川公子さん（シーア・定時職員）

今回の被災で亡くなられた職員は8人となりました。こころからお悔やみ申しあげます。

にじの友　臨時号

vol. 5
1995年1月24日発行
コミュニケーション部

通常営業の回復に向け、復旧作業が急ピッチで前進

被災した店舗の復旧も進み、１２７店がオープン、また２４店が店頭供給をしています。すでに通常に近い営業に戻った店舗も多く、復旧作業が確実に前進しています。また、『めーむ』も２月７日（火）から復活します。発注システムの整備も進むなど、徐々に震災前の営業体制に戻りつつあります。コープこうべの総力を結集し、再建の取り組みは急ピッチで前進しています。依然としてたいへんな毎日が続きますが、元気を出して頑張りましょう。

●建物設備の復旧作業進む

・立ち入り禁止だったコープ甲子園口北と甲子園寮の復旧作業が始まりました。
・アニパと住吉南ビルで配電工事をすすめています。
・被災した店舗のショーケースやゴンドラ、コンプレッサーなどは、再利用のため鳴尾浜のグラウンドに集めていきます。
・シーアは２月20日（月）にフルオープンさせるため、建物設備の復旧をすすめています。

●発注体制の整備すすむ

・２月１日（水）からのスタートを目指して、オーダーブック方式による発注体制の準備をすすめています。それまでは、各運営部がエリアごとの商品需要を収集し、商品手配に反映していきます。
・深江のコープミニデポを23日（月）から稼働させました。

●24日からはクレリ相談コーナー、協同購入の受注が復活

・協同購入センターでは24日（火）から商品受注カード（週間『めーむ』ダイジェスト）の配布を始めました。当面の取り扱い品目数は50～70程度です。
・クレリの組合員窓口を24日（火）から生活文化センター１階に設けます。

●コープ委員会が救援活動を開始

・１月23日（月）、第５地区と第８地区で代表者会議が開催され、第５地区では①被災者への義援金と生協の復興支援金の募金活動②被災地への人的ボランティア、必要な物資を送る活動をすすめる、ことなどが話し合われました。また、第８地区では、①カンパ活動をする②２月のグループ連絡会を開催することなどが話し合われました。いずれの会議でも「私たちができることは何でもしたい」という意見が多く出されて、コープ委員の積極的な生協支援の意向がありました。１月26日（木）には第２地区でも代表者会議が開催されます。

●お知らせ

１．・１月分（12月16日～１月15日）の給与は、１月25日（水）に銀行振り込みで11月分と同額が支払われます。ただし、11月16日（水）以降の入所者や銀行口座が変わった人などは、現金で所属から支払われます。
・住居が崩壊した職員のため、寮への入寮の便宜をはかっていきます。
・住所と勤務先の位置を考慮した人員の配置転換をすすめていきます。
問い合わせは人事労政部　☎078-441-1687まで

２．健康管理室から
①94年度下期で１月17日（火）以降の定期健康診断と環境測定は中止をします。
②定期検便についても、検査機関の被害も多大なため、当面中止します。衛生面に十分注意してください。
今後の健康診断などの実施は、各検査機関と調整し、追って連絡します。

＊ダイエーとジャスコは１月26日（木）に陣中見舞いセールのチラシを入れる予定です。コープこうべでは１月26日（木）に、臨時『きょうどう』を新聞に折り込み、組合員へのお見舞いとコープこうべの再建の決意、全事業所の営業状況を組合員に伝えます。

にじの友 臨時号

vol. 6
1995年1月25日発行
コミュニケーション部

「コープこうべ災害復興会議」を設置して、本格的な再建計画がスタート

兵庫県南部地震による本部建物の倒壊など一部事業所の被災に対し、1月17日当日に「コープこうべ緊急対策本部」を設置して、全力投入で復旧作業を続けてきました。今後、長期化を余儀なくされているコープこうべの復興に向けて、2月1日からは業務機構を変更して事業の早期立て直しをはかります。あわせて、1月末日で「緊急対策本部」を解消して、常任理事会「コープこうべ災害復興会議」を設置します（業務機構の変更の概要は明日発行の『にじの友・臨時号vol.7』でお知らせします）。

●エリアごとの需要商品を把握して第一線を支援

- 商品部の割り当て計画と第一線の必要商品を一致させるため、インスペクターを地区に配置してできるだけ第一線の声を聞くことを始めています。香典袋、ペットフードなどが足りないとの声を聞いたので、対応をしていきます。
- 住まいのコープの受注・相談件数は落ち着きをみせてきました。県外の業者にも応援を依頼しています。
- クレリは25社中8社が営業困難です。特に、神戸市の業者は8社のうち7社が被害にあいました。
  クレリ相談コーナーの連絡先　☎078-413-2121
- ふれあい便では全戸訪問を行ないましたが、留守の家庭が多いのが現状です。
- 衣料品部甲南分室にあった和装の預かり品は全部無事でした。

●オープンに向け準備すすむ

- コープデイズ西宮は売り場を復旧し、仮設電源がつきました。安全面をさらに調査し、オープンに向け準備をすすめています。
- コープ塚口は、建物構造の安全が確認できたので、26日フルオープンに向け準備しています。また、コープ北口も安全が確認できたので、地下1階・1階のオープンに向けて準備をしています。
- 断水地域用に「キャスター付き大型水槽」を40台を用意しました。生活用水用として役に立つと思うので、必要な場合、建設部に申し込んでください。

●商品配送にきめこまかい対応

- 物流で「特別ルート2」をつくりました。単品でかさばるものを鳴尾浜配送センターに納品し、問屋の配送をさらにきめ細かくしていきます。24日から早朝配達を実施し、混んでいても早く到着するようになりました。午後は、配送センターから近い事業所へ配送を行なっています。
- 食品工場の電気、ガス、機械の点検が完了し、あとは水とガスがくるのを待つのみです。六甲アイランドへの水道管2本の内1本が破裂しています。なお、規制されていた六甲アイランドへの橋の車両の重量制限はなくなりました。

●播磨生協から義援金

- 1月27日から2月2日まで、行政の仮設住宅の申し込み受け付けがシーアの立体駐車場で行なわれます。（9:00～17:00）。問い合わせがあれば、直接行政までしていただくようお願いしてください。
- 1月27日（金）、播磨生協の代表者がお見舞いに来られます。組合員のみなさんが義援金 160万円を集めてくださいました。

●職員の消息を確認中

- 職員で消息不明者が40人います。1月25日、人事労政部が不明者の確認のための訪問を行ないました。
- 甲子園北寮の避難勧告は解除されました。
- コープ共済は新聞の情報をもとに、組合員宅を確認のため訪問しています。

●お知らせ

- 住まいのコープ中部事業所とコープ住宅（株）は下記に移りました。
  ◇住まいのコープ中部事業所　装いのコープ灘事業所（内）☎078-412-2020（電話番号は従来の住まいのコープ中部事業所と同じ）
  ◇コープ住宅（株）　住まいのコープ西部事業所（内）☎078-928-2777
- 小野、社方面に緊急物資輸送の表示をした窃盗団が出没中。事業所の保守について十分な注意をお願いします。

にじの友 臨時号

vol. 7
1995年1月26日発行
コミュニケーション部

2月1日をもって業務機構を変更

1月17日の阪神大震災による本部建物の倒壊と一部事業所の被災に対し、当日に「緊急対策本部」を設置し、役職員による全力投入で再建に向け努力してきました。今後、長期化を余儀なくされるコープこうべの復興に向けて、2月1日（水）から業務機構を変更します。あわせて、「緊急対策本部」を解消して、常任理事会による「コープこうべ災害復興会議」を設置します。

●業務機構図の変更内容

1．「担当」体制を解消し、「管掌」のもとに「本部」体制をしき、本部長に常任理事を再配置します。これにより、事業執行のスピードアップと執行責任体制の明確化および復興に向けた重要機能についての統合と分割を行ない、早期の事業の立ちあげをはかります。

2．「本部」体制としては、次の本部を設置します。

a．「経営企画本部」（「経営政策担当」を改称）
b．「地区事業本部」（「地区・事業担当」を再編し「運営管掌」より分割）
c．「運営本部」（「運営管掌」を再編）
d．「商品本部」（「食品担当」・「衣住関担当」・「商品開発部」を統合）
e．「物流本部」（「物流担当」を改称）
f．「生産事業本部」（「生産担当」を改称）
g．「人事総務本部」（「管理担当」を分割）
h．「財務経理本部」（「管理担当」を分割）
i．「開発本部」（「開発担当」を改称）
j．「組織・広報本部」（「組織政策担当」と「組合員活動・広報担当」を統合）

3．「地区本部」は「地区事業本部」のもとに置きます。これにより、「地区本部」の自立的経営執行力の発揮をすすめ、非常時下における第一線での不定形な問題解決のスピード化をはかります。なお、地区内人事異動の弾力的な運用をするために、地区内のマネジャー以下の人事権を地区本部長へ委譲します。

4．「地区事業本部」については、本部長に専務理事があたり、そのもとに副本部長として常任理事を配置します。

5．「地区事業本部」の設置にあわせて、「運営本部」の機能を店舗業務・協同購入センターの業務の運営システムの再構築に特化します。これにより、安定的な日常業務運営の早期確立をはかります。

6．各「本部」の機能を総合的に円滑に発揮させるために、「管掌」、「本部」のもとにある本部部署については、各「本部」のもとにその機能を集約し、「部」、「室」などは廃止します。ただし、人事上の処遇については現状のままとします。

●「コープこうべ災害復興会議」の概要

地震災害に対して、総合的視点に立ったバランスのよい実効ある復旧対策を策定し実施することを目的とします。内容は、施設復旧、商品・運営・生産・財務・経理などの各システムの復旧にあたります。会議メンバーは、常任理事に第３、第４、第６地区本部長。議長は木村組合長。毎週月曜日に開催します。

●１４０店舗で供給活動

・１５５店舗中１４０店舗が開店し、供給活動を力強くすすめています。
・コープデイズ西宮は１月26日（木）地階オープン。コープ北口の南館は１月27日（金）オープン。コープ立花は３階、４階を１月27日オープンを目標に準備をすすめています。
・協同購入センターは２月７日（火）から『めーむ』による受注になります。協同購入センター淡路は、コープかがわの協力のもとに、コープかがわの協同購入のシステムを活用していきます。

●救援活動ボランティアの窓口を設けました

・組合員と職員の被災者への自主的な救援活動の意向が高まっています。そこで、１月26日（木）から組合員とその家族、職員とその家族のボランティアに関する窓口を設けました。
◇コープこうべ・ボランティア支援窓口（組合員活動部・福祉）　☎078-411-5615

●４月１日スタートをめざし９５年度総代・コープ委員を選考

・９５年度の総代とコープ委員の改選は、４月１日（土）スタートをめざしスケジュール化します。被災のない地区と少ない地区（第１、第２、第５、第７、第８地区）は、２月１日（水）～２月25日（土）を推薦・立候補期間とし、３月中旬にそれぞれ選考します。被災の多い地区（第３、第４、第６地区）は推薦・立候補期間を延期し、２月20日（月）～３月16日（木）とします。３月22日（水）までにそれぞれ選考します。

●お悔やみ（１月26日午前11時現在）

・総代とコープ委員で４人がお亡くなりになりました。
・職員本人死亡　浦島好子さん（コープ六甲アイランド・エルダー）
　　岩元なつ江さん（コープデイズ西宮・定時職員）

今回の被災でお亡くなりになった職員は１０人になりました。また、虹友会（職員ＯＢ）会員が２人、職員の家族は６９人お亡くなりになりました。
こころからお悔やみ申しあげます。

・昨日配布の『にじの友・臨時号』ｖｏｌ．６で消息不明の職員が「40人」と掲載しましたが、正しくは「40所属」でした。お詫びして訂正します。現在は、49人の確認がとれていません。

●事業所の電話・ＦＡＸ回復のお知らせ

・アニパ　☎078-411-5769　FAX 078-411-6019
・コープムービング　☎078-851-8013　FAX 078-841-3085

運営通信臨時号

Ｖｏｌ．１
（１月19日号）

この度の兵庫県南部地震はかつてない被害をこの地域にもたらしました。組合員のみなさまのご被災に対しまして心からお見舞い申しあげます。コープ委員のみなさんからはいろいろとご心配いただき、また、ご自身の被災にもかかわらず心のこもったご支援などもいただき、本当にありがとうございました。

１月17日、生活文化センター内に緊急対策本部を設置し、供給可能な店舗での営業を始めました。可能な限り開店時間を延長するなどして、必要とされる生活物資の供給に取り組んでおります。

コープこうべは神戸市をはじめ数市との間に「緊急物資協定」を結んでおり、兵庫県・阪神間各市の対策本部と連絡を取り合って、水、ラーメン、肌着などの緊急物資の分配に努力しているところです。また、全国各地の生協からの支援を得るなどして商品の確保に努めています。

コープこうべも本部をはじめ、10余りの事業所が全壊するなど、神戸市内東部の店舗を中心に多大な被害を受けました。すべての店舗が通常どおりの営業に戻るまでは、今しばらく時間がかかりますが、食料品売り場だけで営業したり、あるいは店内の商品を店頭に持ち出して供給するなど、大半の店舗が何らかの形で営業を続けています。

みなさまにはご不便をおかけしていますが、現在、総力をあげて、復旧に努めております。今後継続して全力で復興に取り組んでまいります。みなさまのご理解と協力をお願いします。

組合員活動については次のようにさせていただきます。

１．コープ委員会、グループ連絡会になどの諸会議は当面中止させていただきます。

２．地区主催での諸会議についても同様といたします。

３．活動を再開する場合については、『運営通信』およびコープ委員会事務局からご案内いたします。

コープ委員・総代　様、コープ委員会事務局　様（事務局はコープ委員・総代に配布ください）

運営通信 臨時号 (NO 2)

1995年1月25日
コープこうべ
緊急対策本部

みんなで救援募金活動の輪を大きく広げましょう。

コープこうべとして、被災に対する支援基金活動を地域のすみずみまで広めましょう。

●コープ委員会が救援活動を開始

1月23日（月）には、第5地区と第8地区で代表者会議が開かれ、それぞれの地区で「私たちができることは何でもしたい」という意見が相次いで、今回の地震被害に対して救援活動に取り組むことなどが話し合われました。

第5地区では①被災者への義援金とコープこうべ復興への募金活動②被災地への人的ボランティア③必要な物資を送る活動……などに立ち上がろうと、積極的な話し合いが行われました。

第8地区では①救援カンパ活動②2月のグループ連絡会は開催し、そこでも呼びかける……などが話し合われました。

＜すでに、募金や救援活動を始めている地域＞

- 稲美地域コープ委員会（店頭募金、神戸市への炊き出し）
- 姫路白浜地域コープ委員会（店頭募金）
- 東加古川地域コープ委員会（店頭募金）
- 名谷地域コープ委員会（店頭募金）
- 播磨生協のコープ委員会（店頭募金）

※その他のコープ委員会も、続々と救援活動を準備中

●今後、コープ委員会・職員といっしょになって、このような活動を大きく広げていきましょう。

▲姫路白浜地域コープ委員会の募金活動

■総代・コープ委員の被災状況（1／24現在、分かっているもの）

今回の阪神大震災では、多くの総代・コープ委員も被災にあわれています。心からお見舞い申し上げます

	本人死亡	自宅全壊	自宅半壊	確認状況
●第1地区	1人	3人	10人	ほぼ確認
●第2地区		2人		ほぼ確認
●第3地区	1人	20人	15人	12中7地域
●第4地区	1人	19人	24人	14中7地域
●第5地区			3人	ほぼ確認
●第6地区		4人	8人	半分確認
●第7地区			3人	ほぼ確認
●第8地区				ほぼ確認

●生協のボランティアに関する緊急対策窓口の設置について

標記の件、去る１月23日に行われました第５・第８地区の代表者会議にて、代表者を始め、コープ委員などから、生協の事業の再建や各地域での救援など、ボランティアにたずさわりたいという意見・要望が多数出されました。

このような大変嬉しいご要望が、他の地区でも強く出されており、こうした声を受けて、組合員活動部にボランティアのコーディネートの窓口を設置することになりました。

つきましては、グループ・個人を問わず、様々なボランティア活動があるかと思われますので、最寄りの所属（店舗または協同購入センター）の所属長までお問い合わせください。また、下記の窓口でも情報提供しておりますのでご連絡ください。

＜ 記 ＞

１）問い合わせ窓口…組合員活動部・福祉に設置（コープこうべ・ボランティア支援窓口）

２）ボランティア活動の参加対象者…組合員またはその家族、および職員またはその家族

３）ボランティア活動内容～具体的な内容～

- 役所などに入荷した物資の仕分けや運搬、事務処理など
- 避難所における炊き出しや品物の仕分けの手伝い
- 地域での安否確認の訪問
- 避難される個人の荷物の配達
- 地域の家庭の片付けの手伝い
- 地域での包帯交換などの簡単な手伝いなど
- 被災者の受け入れ（ホームステイ）
- コープの事業所での店頭供給や品出しの手伝い、前進陳列や荷受けの手伝い、事務処理、伝票の管理など
- コープの事業所の職員の昼食や当直の職員の夕飯の炊き出しなど
- コープの事業所の被災箇所の後片付けなど
- コープの店頭における救済募金活動

＊その他さまざまな活動が考えられます。是非とも積極的にご参加下さい。

＊ボランティアは、個人でもグループでも可能ですので、お気軽にお問い合わせください。

＊また、本部窓口の拡大と、各地区におけるボランティア窓口も設置する予定です。これらの窓口においても、ボランティアで受付けを受け持っていただく方を募集しています。詳細は、下記の窓口まで。

コープこうべ・ボランティア支援窓口 ☎078-411-5615

●コープ委員会事務局　様（事務局は、総代・コープ委員に配布してください）

総代・コープ委員のみなさまへ

運営通信 臨時号(No3)

1995年２月10日
コープこうべ
組織・広報本部
TEL(0794)87-3098

被災地救援に、みんなで救援募金・ボランティア活動の輪を大きく広げましょう。

●２月１日から、本部機能を協同学苑（三木市）に移転

本部ビルが倒壊したため、生活文化センター（東灘区）に緊急対策本部を設けていましたが、２月１日から協同学苑の体育館（三木市）に、本部機能（商品本部関係を除く）を移転しました。機動的な本部体制を整え、復興に向けて全力をあげています。

●地区・地域で、救援募金やボランティア活動が広がる

地区や地域で、被災者のための救援募金やボランティア活動が急速に広がっています。被災地での炊き出しや救援物資提供のお手伝いなど、「被災者に求められていることを、できるところから」と、具体的な行動が始まっています。例えば、第３地区では地元・西宮市への被災者「救援募金」のほか、ボランティア活動の参加者を職員・組合員に呼びかけています。

●コープこうべに、被災者救援の「ボランティア本部」を設置

被災地の救援活動に、コープこうべとして本格的に取り組むために２月４日から「ボランティア本部」を設置しました。「ボランティア本部」は①救援ボランティアの窓口②職員・組合員のボランティア活動支援③全国の生協からのボランティアとのネットワーク化④地域コープ委員会や福祉サークルなどの連携……などをはかりながら、被災者救援活動を展開していきます。２月６日には、１２の協同購入センターのトラック約１００台で、兵庫県に寄せられた救援物資を各避難所や在宅の被災者に届けました。なお、一般の組合員からのボランティアの申し込みは、３７６人となっています（２月６日現在）。

●組合員からの問い合わせに、コープベルを再開

２月１日からの本部機能の協同学苑への移転に伴い、コープベル（ﾌﾘｰﾀﾞｲﾔﾙ☎０１２０－４４３１００）を再開し、組合員のみなさんからのさまざまな問い合わせにおこたえしています。「営業中の店舗の場所と時間を教えてほしい」「電気製品の修理、住居の補修はどこに頼んだらよいのか」など、供給事業所に関する問い合わせが多くを占めています。

●95年度コープ委員の立候補・推薦を受付中

（1）コープ委員の立候補・推薦の受け付け

●2月1日（水）～2月25日（土）：1，2，5，7，8地区。
●2月20日（月）～3月16日（木）：3，4，6地区。

（2）選挙区別の総代の会議（コープ委員の選任）

※現在の総代のみなさんにお集まりいただきます。

●3月上旬～中旬

（3）コープ委員の就任承諾書の依頼

●3月下旬～末日

（4）95年度コープ委員会の活動がスタート

●4月1日（土）～

●95年度総代選挙も、立候補を受付中

（1）立候補の受け付け

●2月1日（水）～2月25日（土）：1，2，5，7，8地区。
●2月20日（月）～3月16日（木）：3，4，6地区。

※1月25日に総代選挙管理委員会を開いて選挙管理委員長を互選する予定でしたが、開催できませんでしたので、今年度は常任理事会として選挙管理委員長の推薦と総代選挙の進め方について確認させていただきました。

選挙管理委員長：北鈴蘭台・神戸北町選挙区
金澤　栄子　（敬称略）

■総代・コープ委員の被災状況（2／6現在）

	本人死亡	自宅全壊	自宅半壊	確認状況
●第1地区	1人	3人	14人	ほぼ確認
●第2地区		2人		ほぼ確認
●第3地区	1人	29人	43人	ほぼ確認
●第4地区	2人	70人	49人	ほぼ確認
●第5地区			3人	ほぼ確認
●第6地区	1人	14人	34人	ぼぼ確認
●第7地区			4人	ほぼ確認
●第8地区				ほぼ確認

阪神大震災で被災された総代・コープ委員のみなさんに、心からお見舞い申し上げます。まだ、被災地を中心にたいへんな状況が続いております。みなさまのご健康をお祈り申し上げます。

■コープこうべの施設・職員の被災状況（2／6現在）

①施設の被害：本部ビルをはじめ、10余の事業所が倒壊。被災地の事業所・建物の多くに、地震の影響。

※店舗は155店中、151店が営業中（うち、部分営業が24店）。

②職員の死亡：11人。職員家族の死亡：95人。職員家庭の全壊・半壊：1,074軒。

資料編　「コープこうべ写真ニュース」

コープこうべ
写真ニュース
Vol. 1　2月22日発行
灘・新　組織・広報本部

事業所十数カ所が全半壊！
阪神大震災でコープこうべも甚大な被害

1月17日の阪神大震災は未曾有の被害をこの地域にもたらしました。多くの市民・組合員やその家族が尊い命を奪われ、家屋を失いました。コープこうべも、11人の職員が死亡し、本部ビルなど事業所十数カ所が全半壊するなど、甚大な被害を受けました。

コープ六甲（灘区）も全壊。南側に約2分の位置にあるJR六甲道駅の建物も崩れ落ちた

机や備品などがそのままの状態

JR住吉駅前の5階建ての本部ビルが倒壊。南半分が有馬道をふさぐ形で崩れ落ちた

コープ御影北（東灘区）も全壊
石屋川周辺地域は大きな被害を受けた

18日に漏電でボヤを出したが周囲に延焼せず

駅ビル屋上から見た本部

コープ夙川（西宮市）付近
阪急電車の高架が崩れている

コープリビングセンター甲南（東灘区）
1階駐車場部分と2階の売り場がつぶれた

協同購入センターは西宮と西宮北が全壊
（写真は協同購入センター西宮北）

コープこうべ
写真ニュース
Vol. 2　2月22日発行
灘・新　組織・広報本部

組合員の暮らしを守れ！
震災当日（17日）も97店舗が休まず営業

多くの事業所に被害を受けましたが、組合員の暮らしを守ることを最優先に取り組み、震災当日に155店中97店舗が営業。協同購入センターも装いのコープの職員と2人1組になって訪問、24日から約50品目の供給を開始しました。

1袋1000円でパン、ウーロン茶、ラーメンなどをセット供給（コープミニ大谷）

JR西宮駅前にワゴンを出し、店内からもち出した商品を供給（コープデイズ西宮）

全壊したコープ浜芦屋では組合員集会室を利用

組合員の生存確認と要望を聞くため2人1組で訪問（協同購入センター六甲）
電池、ウエットティッシュ、紙皿、ミネラルウォーターなどを届けた

ならコープからの寄せ書き

商品の整理、搬出を手伝う他生協の職員
（コープデイズ西宮）

散乱した商品を片づける職員
（尼崎市のコープ大庄）

建物から商品を出す職員
（協同購入センター西宮）

生活文化センターに設置された「緊急対策本部」
復旧に向けて連日、朝夕2回の会議が持たれた

コープこうべ
写真ニュース
Vol. 3　4月1日発行
編・制　組織・広報本部

須磨海岸の市民の集いに3万人
地域団体や全国9生協の仲間たちも出店

コープこうべでは阪神大震災で被災した街と暮らしの復興に向けて、各地域で元気が出るさまざまなイベントを行なっています。そのひとつとして、3月25日には「ふれあい市民の集い」が開催され、ゲーム大会などたくさんの催しが行なわれました。

餅つき大会も行なわれ、つきたての小餅を安く供給

秋田県から民族歌舞団「わらび座」も来神、たいこや踊りなどを披露

小雨が降るあいにくの天気だったが多くの人が来場

不用品リサイクルでは食器などが人気だった

うまいもの市では各生協とも地元の名産を出品

子どもに大人気のあったぬいぐるみ人形劇

地域の福祉団体などもたくさん参加

コープこうべ
写真ニュース
Vol. 4　4月17日発行
編・制　組織・広報本部

被災した事業所の復旧すすむ
仮設店舗などで組合員のくらしの復興を応援

地震による影響で売り場の一部を閉鎖していた店舗も順次フルオープンし、倒壊した店舗も近隣用地に仮設店舗を設置するなど、通常どおりの営業を再開しています。また、"めーむ"の取り扱い品目も震災前に戻り、急ピッチで事業の復興がすすんでいます。

復旧オープンを祝って、モチつきが行なわれた
（4月7日　コープ甲南）

立体駐車場を改装して仮設店舗に
（4月11日　コープ六甲）

仮設店のオープンを待ちかねた組合員が開店前から長い列をつくった
（3月21日　コープ舞子）

全壊した西宮と西宮北の協同購入センターを統合して
西宮市東町に移転（4月1日　協同購入センター西宮）

コープ六甲の分店として新たにオープン
（3月31日　コープ将軍通）

新しいホストコンピューターは北区鹿の子台の耐震設計ビルに設置された（2月17日　情報システムセンター）

1階と2階の営業だったが4月
1日に全館オープン（シーア）

西宮市や神戸市内などの仮設住宅で協同購入を開始
（3月中旬　協同購入センター神戸東）

住民の強い要望で公園内にプレハブの仮設
店舗を建設（4月7日　コープ渦森台）

入場制限をするほど多数の組合員が来店
（3月31日　コープ須磨）

コープこうべ
写真ニュース
Vol.5　4月17日発行
編・制　組織・広報本部

114人の新入職員が入所
研修では被災地でボランティア活動を体験

4月3日（月）、三木市の協同学苑ホールで入所式が行なわれ、今年もフレッシュな新入職員が顔を揃えました。そして、翌日から始まった新人研修では実際に西宮市などの被災地を訪問、避難所での物資の運搬などボランティア活動を行ないました。

トラックで次々と届けられる食料や衣料品などの救援物資を館内へ（西宮厚生年金スポーツセンター）

物資を避難者の人数に合わせて仕分け（西宮市民体育館）

入所式で新入職員を代表して松本照生さんが「地域の復興のために努力したい」と決意表明（協同学苑）

史料館で写真など展示物を見ながらコープこうべの歴史について学ぶ（協同学苑・史料館）

盛り付けなどお年寄りが食べる昼食準備のお手伝い（老人ホーム「こまどりの家」）

困っていることなど要望を聞くため、先輩職員と一緒に組合員宅を訪問（コープデイズ西宮）

研修を終えて新入職員一人ひとりに辞令交付（協同学苑）

「コープこうべの宝物」をテーマに研修で学んだことを各班ごとに発表（協同学苑）

真剣な表情で組合員の被災体験を聞く（北口コープセンター）

CO-OP

コープこうべ
写真ニュース
Vol.6　4月26日発行
編・制　組織・広報本部

「ふれあい春市」に10万5千人
特設ステージでアグネス・チャン熱唱

4月15日と16日、「街と暮らしの復興・ふれあい春市」（主催・コープこうべ、阪急電鉄）が阪急西宮スタジアムで開催されました。地域の名産品を集めた「ふるさと味自慢」コーナーやミニコンサート、大道芸などもりだくさんの催しが行なわれました。また、不用品チャリティーセールの売上金126万円は義援金として寄付しました。

セレッソ大阪の少年サッカー教室

ボランティアで参加したアグネス・チャンのミニコンサート

全国12の生協の仲間もふるさと味自慢コーナーに出店

昔懐かしいバナナのたたき売りも登場

コープ委員会のうまいもの店には行列ができた

ぬいぐるみ相手に子どもたちは大はしゃぎ

ペッタンペッタンと餅つき大会も行なわれた

春街ファミリーバンドの楽しい演奏

CO-OP

コープこうべ
写真ニュース
Vol. 7　5月23日発行
組・新　組織・広報本部

コンサートなどのボランティア公演
3カ月で90回を超える開催

5月14日、西宮コープセンターで「春のふれあいコンサート」を開催、約120人の組合員が参加しました。クラシック演奏やフォークの熱演で地域の組合員に喜ばれました。また、各コープセンターや生活文化センター、シーアカルチャープラザではボランティア公演を実施。コンサート、気功健康法の実演など合わせて90回を超えました。

「楽しくエアロビクス」国本和栄さんの指導で元気にエアロビクス（5月7日、生活文化センター、主催・シーアカルチャープラザ）

「春のふれあいコンサート」でフォークミュージックの演奏（5月14日、西宮北口コープセンター）

ボランティアによるおでんの炊き出しは好評（「春のふれあいコンサート」）

「みんなで歌おうコンサート」で神戸ジュニアコーラスが出演（4月29日、会場・生活文化センター、シーアカルチャープラザ主催）

「復興への願いをこめて"愛の二重奏"」ピアノとフルートで春のメドレーを演奏（4月15日、シーア2階セントラルコート）

「ジョイントコンサートと落語会」で小林忠夫さんによるハーモニカ演奏（4月22日、生活文化センター）

「ストレス時代の音楽健康法」で佐藤陽子さんによるバイオリン演奏（4月28日、生活文化センター）

「パントマイムと古典落語」で山田トウシさんによるパントマイム（4月5日、シーア2階セントラルコート）

『きょうどう』6月1週号　6月6日（火）発行
紙面を一新しました

特集　「コープ商品が変わります」
私たちの街。私たちの力
「住民、企業…六甲アイランドが一体となって復興に取り組む」
コープ商品物語　神士3姉妹
くらしの目　6月環境月間の取り組み
にじのひろば　テーマ投稿「私の震災体験」
「虹っ子夏のプログラム参加者募集」

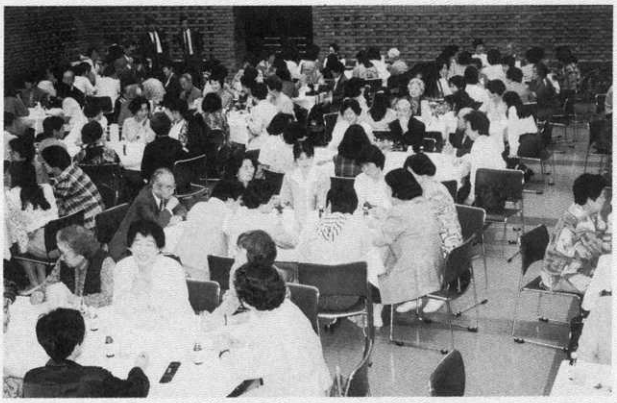
コープこうべ
写真ニュース
Vol. 8　6月13日発行
組・新　組織・広報本部

広がる「くらしの助け合い活動」
最高を記録した94年度の活動時間数

5月25日、「第12回コープくらしの助け合いの会総会」が生活文化センターで開催され、奉仕会員や援助会員など275人が参加しました。94年度の活動報告では、阪神・淡路大震災にもかかわらず、年間の延べ活動者数（4千151人）、活動時間ともこれまでの最高を記録。地域に根ざした助け合い活動がさらに広がっています。

協同学苑
震災資料

「コープくらしの助け合い活動」は1983年から始まりました



総会会場の生活文化センターは会員でいっぱい

奉仕会員と援助を受ける会員は合わせて1,244 人（95年3月末現在）

「みんなで夢を語り合いましょう」というテーマで話し合い発表をする会員

3,000 時間、1,000 時間、500 時間以上活動した奉仕会員を紹介

援助内容で最も多いのは、家の内外の掃除（全体の46%）

『きょうどう』6月3週号　6月20日（火）発行
『きょうどう』が変わりました。
3週号は地域版
地域のニュース、お知らせを中心に掲載

地域ニュース　「れんげまつり」に参加し有機米を学び交流（第2地区・第7地区）
ボランティア募金のためのバザー開く（コープうねの）など
あなたも参加しませんか〈グループ情報〉　協同購入グループ・コープサークルを紹介
◇生活文化センター・シーアカルチャープラザ・各コープセンターの講座案内
コープボランティアだより

活動しての提言を元気に発表する男子大学生

コープこうべ ボランティアニュース No.1

1995・2・1

〒658 神戸市東灘区田中町5-3-
☎078-411-5615
編集／コープこうべ
ボランティア支援窓口

コープこうべ

あなたもボランティアしませんか!

この度の“阪神大震災”お見舞い申しあげます。

「早く水・電気・ガスのあるくらしを！」

「ご近所づきあいの有り難さが良くわかったワ！」…など。

いろいろな思いをされたことでしょう。

こんな時だからこそ、コープの「一人は万人の為に、万人は一人のために」の精神で、ボランティアに参加くださる方を募集しています。1月27日に開設した「コープこうべボランティア支援窓口」に寄せられた、数々の声を紹介します。

（1月31日現在１００件受付け）

「こんなことなら私もできるワ！」と思ったら、コープの店長まで、ぜひお声をかけてください。

コープこうべボランティア支援窓口
☎078－411－5615

こんなことしてください。

＊倒れたタンスをあげてください。
（灘区下河原町　山崎さん）

＊ガラスの散乱した家の片付けを。
半日くらいで。
（宝塚市川面　渡辺さん）

困っていらっしゃる方があれば
ドンドン声をかけてください！！

こんなことができますよ。

＊避難所で泊まり込みで作業します。
（神戸市北区　福田さん
大阪市平野区　藤田さん
東大阪市　志水さん
高槻市　藤本さん
岐阜県本巣郡　上野さん）

＊針灸治療します。2月5日
（明治針灸大学同窓会有志）

＊学生です。学校が休みだから、なんでもします。
（尼崎市東園田　増原さん
明石市　橋本さん
大阪市平野区　島田さん
愛知県高浜市　森さん）

＊英語の通訳できます。
（大阪市　阿部さん）

＊カウンセリングできます。
（宝塚市　豊田さん
神戸市灘区　堀田さん）

＊キャンプリーダーの経験を生かし、子供とつきあいます。
（大阪市東住吉区　安西さん）

＊看護婦の資格あります。
（神戸市北区　児玉さん）

支援希望の方はボランティア支援窓口にご連絡ください。

ホームステイ できます。

＊神戸市北区有野台・大阪へ50分・３日間・大阪方面の大学受験生　（☎078-981-2505　布藤さん）
＊大分市青年会出会いの村里親協会・小中学生 300人　（☎0975-43-4445　安東さん）
＊京都市伏見区・女子中高生２人・８畳・食事付き・受験終了まで（☎075-821-9080　橋本さん）
＊神戸市須磨区・女子受験生１人・高３の娘と相部屋・無料（☎078-741-6490　北林さん）
＊神奈川県高座郡・受験生１人・１か月・８畳（☎0467-75-6863　野口さん　17時すぎ）
＊大阪府和泉市・音大受験生２人・ピアノ有・ 4.5畳６畳・食事付（☎0725-45-3822　岸本さん）
＊松山市・愛媛県の大学受験生８名・高浜港まで出迎える（☎0899-82-0104　大西さん）
＊沖縄県那覇市・沖縄県の大学受験生３人・男女問わず（☎098-884-6773　笹本さん）
＊茨城県水戸市・受験生２～３人・男女問わず・食事無料（☎0292-25-7817山野辺さん）
＊加西市・受験生女子４～５人・食事は各自で（☎0790-44-0064　竹内さん）
＊岐阜県海津郡・築13年・４ＤＫ・バス・トイレ・家賃不要・期限応相談（☎0584-53-2765木村さん）
＊白馬リゾートホテルアウゼ・５家族まで・３月末別館もオープン（☎078-332-5012谷口さん）

利用ご希望の方は、ボランティア支援窓口か直接ご連絡ください。
その他、東京・神奈川・埼玉・静岡の生協を通じ受験生のホームステイ受入れの連絡が入っています。ご希望の方はボランティア支援窓口までお尋ねください。

コープこうべ ボランティアニュース No.2

1995・2・4

〒658 神戸市東灘区田中町5-3-1
☎078-411-5615
編集／コープこうべ
ボランティア支援窓口
CO-OP コープこうべ

「ボランティアします」の声が殺到!!

テレビや新聞誌上で紹介された“コープこうべボランティア支援窓口”
「テレビで見るたび、いても立ってもいられない」
「我が家もやっと落ち着いたので、もっと困っている人のお手伝いをしたい」
「学校は春休み。寝袋持参でどこでも行くヨ！」
「会社が休みの土日だけでも何かできないか…」　…などなど。
学生・主婦・社会人から、たくさんのボランティア希望の声が寄せられました。
ボランティア登録後、さっそくに活動していただている例をご紹介します。

◆ボランティア支援窓口受付件数(2月10日現在)◆

	申込み数	活動数(継続含)
こんなことできます（ホームステイ含）	188	78
こんなことしてください	7	3

こんな活動が始まっています

★“春休み・フットワーク・体力・特技”をいかす学生パワー

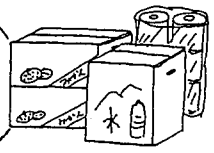
＊神戸市北区の福田さん　泊まり込みOKなので、長田区の避難所を紹介。
＊尼崎市大島の野上さん　もよりの避難所をと、尼崎の窓口を紹介。
＊寝屋川市の中川さん　芸大の学生仲間で子供を遊ばせることできる。西宮市の避難所を紹介。
＊神戸市中央区の福永さん／＊三木市緑が丘の植田さん／＊神戸市西区の中葉さん　語学力を生かした活動をとのことで、外国人地震情報センターを紹介

★「生活の知恵と土地カンなら任せて！」と主婦パワー

＊神戸市須磨区の香川さん　土日しかダメだけど、兵庫・長田は詳しいとのこと。助け合いの会員さんの安否確認を依頼。
＊加古川市の西浜さん　募金活動をした。次は助け合い活動のお手伝いをと、姫路コープセンターの福祉推進員に紹介。
＊神戸市東灘区の三島さん　洗濯ボランティアをと、東灘区の小学校を紹介。
＊神戸市東灘区の小川さん　毎日4時までなら。近くの避難所の場所を教える。
＊神戸市兵庫区の鶴野さん　平日しか動けない。鳥取県の方からの依頼で兵庫区に住む知人の安否確認に。

★「休み返上もかまわないヨ！」と社会人パワー

＊茨木市の北野さん　職場グループ3人で雑用しますとのこと。まだガラスが散乱する高齢者のお宅へ片付けに。
＊神戸市西区の森田さん　大学病院の看護婦だけれど、休みに何かお手伝いを。明石コープセンターの福祉推進員に紹介。
＊神戸市兵庫区の呉田さん　地震の影響で会社再建まで2か月。運搬・片付け何でもする。コープの店の整理を手伝ってもらうことに。



コープこうべ・ボランティア支援窓口

０７８－４１１－５６１５

（９時～１８時まで）

「こんなことできますよ」とボランティアに参加してくださる方
「こんなことしてください」と手助けを求めていらっしゃる方！
ご連絡ください。

コープこうべ ボランティアニュース No.3

1995・2・5

〒658 神戸市東灘区田中町5-3-18
☎078-411-5615
編集／コープこうべ
ボランティア支援窓口
コープこうべ

あなたのアンテナを働かせて！ まだまだできる事はあります!!

今日３日は節分。地震という“鬼”は外！！
「私にも何か出来ると思って…」「何でも言ってください」と、
ボランティアしますの申込みが相次いでいます。
ボランティア支援窓口では、「こんなことできますよ」の声と
「こんなことしてください」の声をつないでいます。
２つの声をうまくつなげるには、「何ができるか」「何を頼みたいか」が
はっきりしていることがポイントですネ。

◆ボランティア支援窓口受付件数(2月2日現在)◆

	申込み数	活動数(重複含)
こんなことできます（ホームステイ含）	239	110
こんなことしてください	8	4

水汲み・洗濯・子供の相手・買い物代行・
散髪・炊き出し・物資整理…などなど。
あなたのできること思い浮かんだら、
ＴＥＬしてきてください！！

ボランティア支援窓口

避難していらっしゃる方、
頼む人がいない方、
ご近所に人が少なくなって心細い方、
ささいな事でも困っていることなら、
どうぞご連絡ください。

気にかかることは何ですか？ お尋ねするのも大事な仕事です！

★コープこうべボランティア隊、暖かい飲み物を届ける。

女子大生５人（池田さん・武尾さん・谷口さん・本田さん・牧田さん）とコープ栃木職員（大川さん・田中さん）、コープこうべ職員３人の計10人で３つのグループを作り、東灘区の避難所を尋ねました。水・プロパンガス・肌着・カイロなどを山積みにした車に分乗し、青木老人いこいの家・本庄中央公園などに到着したメンバーは、皆さんのリクエストに合うものをお届けすると共に、コーヒーなど暖かい飲み物を作ってきました。
このボランティア隊、物資の配布や炊き出しだけが仕事ではありません。
本当に今大事なのは何か、全身をアンテナにして情報を集めています。
こうして集めてきた情報がさらに次の活動へつながってゆくんですネ。

★遠い鳥取から心配する方の足となって

「神戸にいる知人の安否を確かめねば」と思っても、
なかなか電話がつながらなくって…。日本全国でイライラしましたね。
ボランティア支援窓口では、鳥取で心配する大坂さんの代わりに、
神戸市兵庫区の鶴野さんが見にいってくださいました。
避難していらっしゃいましたが、張り紙をして連絡がつきました。ホッ！！
交通網が整ってなくて気になるところにまだ行けない方、
代わりに探しにいってもらう人につなぎます。
ご近所でヤキモキしていらっしゃる方いらしたら、
コープこうべボランティア支援窓口を教えてさしあげてください。

コープこうべ・ボランティア支援窓口

０７８－４１１－５６１５

（９時～１８時まで）

「こんなことできますよ」と
ボランティアに参加してくださる方！
「こんなことしてください」と
手助けを求めていらっしゃる方！
ご連絡ください。

資料編　1995年度新入職員研修プログラム

ねらい　1. 原体験を通して人への思いやり、扶け合いの心を体感する。　2. 自立とはどのようなことかを具体的につかむ。

日程	4月4日（火）	4月5日（月）	4月6日（木）	4月7日（金）	4月8日（土）
時間	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
到達点	1、コープこうべの根本の精神を賀川豊彦から学ぶ。 2、被災状況の情報収集	1、支援活動・組合員の話・職員の話より「人への思いやり、扶け合い・自立」について考える	1、支援活動・本部長の話より、コープこうべの社会的役割について考える。	1、生協の社会的役割と、職員としての実践について考える。	1、コープこうべがめざすものを知る 2、生協で働く者としての初志を創る
	4月3日（月） 入所式　木村 組合長 増田 専務 事前課題 ＊「今までに体験した『思いやり』『助け合い』について具体的に記入する。」 ＊プロフィール記入 4月4日（火） 受け入れ 13:00 「開講式」 オリエンテーション 新入研修のねらい 社会人としての心構え 研修スケジュール・研修中の諸注意 新人研修ルールブック配布 14:00 アイスブレイク（研B・C・D） キャプテン自チームの行動目標 15:00 全体ミーティング（ホール） 情報収集 ① 講義「賀川豊彦に学ぶ」 高村名誉理事長顧問 **人柄、温もり、思想、エピソード** 16:30 情報収集 ② 史料館、書籍、ビデオ 17:00 全体ミーティング（ホール） 情報収集 ③ 18:00 被災関係資料提供 新聞・ビデオ・写真 （チームミーティング） チーム内支援活動決定 夕食 キャプテンミーティング（宿泊棟7AB） 20:00 支援活動全体調整 宿題 個人振り返りシートへの記入 ①講義を聴いて学んだこと ②阪神大震災に対して想うこと	8:00 KC須磨（下に同じ）昼→Cセンター KC西宮（下に同じ）昼→Cセンター 6:30 起床 7:00 朝食 8:00 バス移動（第3・6地区）各六名 10:00 支援活動 ① 3地区支援活動内容 ①KC西宮帯同　七人 ②CD西宮職員ボランティアと帯同　一〇人 ③西宮中央体育館　三人 ④仮設住宅訪問　二〇人 6地区支援活動予定内容 ①KC須磨帯同　一八人 ②こまどりの家　三人 ③賀川記念館で炊き出し　二〇人 スタッフ現地巡回 3地区 安藤 高野 山岡さん 6地区 柏木 清光 永田さん 15:00 活動修了 活動報告実施→報告書の記入・地区のボランティアに引継ぎ 15:30 「組合員の被災体験談」・質疑応答 第3地区（辰巳さん） 第6地区（C 山手 武田さん） **被災から今までの体験** **震災後どのように立ち上がったか** 17:30 「職員の被災体験談」・質疑応答 第3地区（C 夙川 宮松店長） 第6地区（C 須磨 池田副店長） **被災から今までの体験** **震災直後から今までどのような行動をとってきたのか、それはどのような想いからか** 19:30 協同学苑へ移動 21:30 夕食 宿題 1、個人で活動を振り返（振り返りシートへ記入） ①1日の活動内容・活動地域の状況 ②活動を通して感じたこと ③組合員、職員から学んだこと 2、個人（ペア）の活動内容をチームで共有化する 共有化のポイント→「全員がばっと見てわかるように工夫する」	6:30 KC須磨（地下鉄西神→板宿→歩 KC須磨）昼→Cセンター KC西宮（阪神御影→今津→歩 KC西宮）昼→Cセンター 7:00 起床 8:00 朝食 9:00 バス移動（第3・6地区）各六名 10:00 支援活動 ② 活動開始 3地区支援活動予定内容 ①KC西宮帯同　七人 ②CD西宮職員ボランティアと帯同　一〇人 ③西宮中央体育館　三人 ④仮設住宅訪問　二〇人 6地区支援活動予定内容 ①KC須磨帯同　一八人 ②こまどりの家　三人 ③真陽小学校で炊き出し　二〇人 スタッフ現地巡回 3地区 安藤 高野 山岡さん 6地区 柏木 清光 永田さん 18:00 活動修了 協同学苑へ移動 19:00 情報収集 ④ 「地域の復興」 （組合員の暮らしと事業） 第6地区 柳生本部長 **組合員の復興への動き** **・新しい地域づくり** **・生協に求められていること** 質疑応答 21:30 夕食 宿題 1、個人で活動を振り返（振り返りシートへ記入） ①1日の活動内容・活動地域の状況 ②活動を通して感じたこと ③本部長から学んだこと 2、個人（ペア）の活動内容をチームで共有化する 共有化のポイント→「全員がばっと見てわかるように工夫する」	6:30 起床 7:30 朝の集い 8:00 朝食 全体ミーティング 8:30 作品づくり 課題1 「3日間の体験は何だったのか事実をもとに出す。」 課題2 「生活協同組合コープこうべにとって大切な宝物は何か」 ＊模造紙にばっと見てわかりやすく図・絵・文字で現す 13:00 昼食 14:00 作品発表 18:30 まとめ 協同学苑 四鬼統括部長 **・生協運動者としての初志をたてる** **・業務の基本姿勢と自立** **・コープこうべの原点となる精神と実践（源は賀川豊彦の精神と実践）** **・組合員のくらし（市民、県民のくらし）を愛と協同の原理で創造する** 19:30 夕食	6:30 起床 7:30 朝の集い 8:00 朝食 9:00 講義 「創造的復興」湊 常務理事 ・被災地の原体験より感じたこと ・協同の心とCKの役割 ・新しいまちづくり、くらしづくり、生協づくり ・職員の役割と新人へのメッセージ 10:30 個人レポート 「自分自身がこれから実践していくことは」 12:00 「閉講式」 13:00 昼食 14:00 辞令交付式 赴任時注意事項 14:30 三〇秒スピーチ 15:30 協同学苑 出発

職員掲示用

自分の足で被災地を歩こう！

今、私たち職員に何ができるのか

組合員の暮らしを考えよう！

生協の職員として
1人の人間として
「今できること」
「これからするべきこと」

家族で、個人で

- 私たちの街を見てみよう！
- みんなのために汗をかこう！

コープの店や協同購入
住宅街や駅前通り
そこで暮らす人々は
今、どうしているのか…

発行：組織・広報本部（組合員の声推進）

資料編　協同購入用週間商品情報誌「めーむ」

協同購入ご利用の組合員様へ

このたびの阪神大震災による組合員のみなさまのご被災に対し、心からお見舞い申し上げます。組合員のみなさまのなかにはご家族の方、肉親の方で悲しい犠牲をだされた方も少なからずいらっしゃいます。心より哀悼の意を表しご冥福をお祈り申し上げます。

コープこうべは本部をはじめ多大な被害を受けました。協同購入センターでは、コンピューターによる「めーむ」の受注システムが損傷したため、充分な協同購入活動ができていません。様々な面で組合員様に大変ご迷惑をおかけしておりますことを深くお詫び申し上げます。

当分の間は手作業による活動になります。取り扱い商品が限定されたかたちではありますが、できるだけの対応をしていきたいと考えておりますのでご遠慮なくお申し付けください。

コープこうべではこれまでの歴史の中でもいくたびか大きな災害に直面しました。昭和１３年の阪神大水害、第二次世界大戦など、施設の大半を失ったこともあります。しかし、その都度その難局を組合員のみなさまといっしょになって克服してきました。再建には時間がかかると思われます。組合員のみなさまにはたいへんご不便をおかけしますが、なにとぞご理解の上ご支援いただきますようお願い申し上げます。

【協同購入センターの当面の予定】

- 組合員様への１月分のご請求は１か月遅らせてご請求させていただきます。
  『ただし内容についてはとりあえず１月１４日分までの「めーむ」でのお届け分とします。なお細部については後ほどお知らせさせて頂きます。』
- 「めーむ」は「週間めーむダイジェスト」として商品を限定して（約５０商品）ご案内します。１月３１日より配布・回収・配達のサイクルは通常の「めーむ」と同じになります。
- 「週間めーむダイジェスト」に掲載されていない商品で組合員様の要望商品がありましたらお申し付けください。可能な限り対応いたします。
- 被災地の協同購入センターにおいても、全国からの救援物資のお届けも兼ねながら上記の供給活動も平行しておこなっています。
- 神戸市内および阪神間の交通事情は大変悪化しております。訪問時間等の乱れがありますがご容赦ください。

１９９５年１月３１日
コープこうべ　協同購入センター職員一同

週間「めーむ」ダイジェスト

51

青口ちりめん 50g 298円	うるめ丸干 50g 350円	コープスタイル ちくわ 4本 95円	コープスタイル 北海道こうじみそ 1kg 178円	アサヒスーパードライ 350ml×24缶 4,380円	コープスタイル ミックスキャンロット 160g×30 2,460円	コープスタイル 味パック 10.5g×8×3 298円	コープスタイル 上白糖 1kg 198円	コープスタイル 兵庫米 5kg 2,470円	コープスタイル 兵庫県産 コシヒカリブレンド 5kg 2645円
あじみりん干 150g 380円	子持ちししゃも 380g 398円	コープスタイル かまぼこ(小巻) 120g 158円	理研 ふえるわかめちゃん (徳用タイプ) 300g 1,830円	播州錦 佳撰 1.8ℓ 698円	モンブラン 紅玉アップルパイ 1コ 680円	コープスタイル 本醸造 特級 こいくちしょうゆ 1ℓ 158円	キューピー マヨネーズ 700g 368円	コアノンロール130 ソフトシングル 130m×6ロール入 450円	コープロール ソフトシングル 70m×12ロール入 498円
国産豚肉 背ロース しゃぶしゃぶ用 340g 680円	75日どり もも肉・むね肉切り身 600g 680円	コープスタイル しゃうまい 8コ 98円	日清製粉 マ・マースパゲティ 700g 238円	ネスカフェ エクセラ 250g 898円	アンディコ ソフトチーズケーキ 8コ 200円	北越 やわらか焼えび 80g 168円	雪印 6Pチーズ 170g 198円	コープナプキン ふつう用 35コ入×1袋 240円	グリーンキーパーティシュー 25w×4コ組 340円
国産牛肉 肩ロース うすぎり 400g 1,380円	良品低価格 ロングスティックウインナー 350g 298円	紀南農協 しそ漬梅干 750g 1,780円	日清食品 ラ王 しょうゆ 218g 198円	コープスタイル 玄米茶 徳用タイプ 320g 280円	協同購入用 ドーナツ 12コ 298円	名糖 アルファベットチョコレート 300g 298円	アサダエッグ あかだま原卵 30コ 863円	コープスタイル ポリ袋 家庭用 45ℓペール用 1袋(10枚) 65×75cm 厚さ0.03mm ブルー 98円	コープスタイル ポリ袋 台所用(小) 低密度ポリエチレン 25×35cm 厚さ0.02mm 98円
お買得ウインナー 300g 298円	コープスタイル ぎょうざ 10コ 88円	コープスタイル 北海道3.6牛乳 1,000ml 199円	いなば ライトツナフレーク 95g×6缶 498円	コープスタイル あずみ野の水 2ℓ×6本 1,188円	丸中製菓 ほっとなアーモンドケーキ 1コ 100円	丸中製菓 ほっとなプチチョコケーキ 1コ 100円	アサダエッグ 高原の蔵(赤卵) 10コ詰 298円	コープティシュ (400枚・200組) ×5コ組 398円	コーポポット ベビー紙オムツ Lサイズ 84枚入 3180円 Mサイズ 100枚入 3,280円

CO・OP 週間「めーむ」ダイジェスト

1 いか昆布(ふりかけ) 45g×2 398円	2 素干えび 30g 398円	21 小倉屋 利尻昆布 300g〔通〕1,280円 980円	22 日清 フラワー小麦粉 1kg〔通〕189円 148円
		23 マルコメ 生みそ汁5コ組 8パック×5コ組 〔通〕550円 500円	24 雪印 ネオソフト 450g 228円
3 良品・低価格 ロングスティックウインナー 350g 298円	4 良品・低価格 スライスベーコン 180g 295円	25 キリン一番搾り 350ミリリットル×24缶入 〔通〕4,752円 4,380円	26 タカラ 本みりん 600ミリリットル 398円
5 お買得ウインナー 300g〔通〕380円 298円	6 ブランデーケーキ 1パック(5コ入) 〔通〕298円 268円	27 小倉屋 佃煮昆布 3パック65g×3パック 〔通〕384円 298円	28 森永 クリープ 280g〔通〕648円 380円
7 蒸し饅頭 1パック(6コ入) 〔通〕300円 288円	8 コープスタイル 兵庫米 5kg 2,470円	29 コープスタイル スキムミルク 300g 280円	30 紀南農協 しそ漬小梅 250g 780円
		31 湖池屋 ポテトチップス詰合せ 3袋入〔通〕394円 298円	32 切りカステラ 8切入 298円
9 コープスタイル 兵庫コシヒカリブレンド 5kg 2,645円	10 原卵 3kg〔通〕938円 700円	33 チーズケーキ(丸型) 1コ 298円	34 コープスタイル コープロールW70ソフトダブル 2枚重ね35m×16ロール 〔通〕832円 498円
11 赤玉原卵 30コ入〔通〕938円 863円	12 コープスタイル 北海道3.6牛乳 1,000ミリリットル 〔通〕219円 199円	35 コープスタイル ペーパータオル 2枚重ね85カット×2ロール 〔通〕170円 128円	36 ルミネティシュー 400枚(200組)×5コ組 〔通〕690円 398円
13 森永ビヒダス 520g 168円	14 キリン安曇山水 2リットル×6本入 〔通〕1,770円 1,480円	37 コープスタイル 弱酸性食器洗い(本体) 600ミリリットル〔通〕260円 198円	38 コープスタイル キッチンブリーチ 600ミリリットル 〔通〕138円 128円
15 キリンきりり 1.5リットル×8本入 〔通〕2,520円 1,980円	16 コープスタイル 本醸造特級 しょうゆうすくち 1,000ミリリットル 158円	39 コープスタイル ウェットティシュー(ボトル本体) 70枚入〔通〕270円 250円	40 ソフィサラサイドギャザー レギュラー 84コ入〔メ〕1,220円 850円
17 ミツカン味ぽん 360ミリリットル 〔通〕258円 198円	18 日の出料理酒 1,000ミリリットル 〔通〕623円 398円	41 コープスタイル クッキングホイルレギュラー 25cm×10m〔通〕158円 148円	42 コープスタイル コープラップレギュラー 30cm×20m〔通〕178円 128円
19 味の素ほんだし 8g×40袋入 〔通〕732円 468円	20 大島屋おにぎりのり 3袋×8入〔通〕1,280円 898円	43 コープクリーンE 1.8kg〔通〕598円 498円	44 M 45 L 46 LL 中国製 紳士プリントトランクス2枚組 綿100%(40番A、180本打ち込み)、前開きタイプ 股囲/M:72~80cm、L:78~86cm、LL:86~96cm 〔通〕780円 各500円

■表示価格には消費税は含まれておりません。〔通〕は生協通常価格、〔メ〕はメーカー希望小売価格の略号です。

CO・OP 週間「めーむ」

ダイジェスト54

組合員のみなさまへ

このたびの兵庫県南部地震により被災されました組合員のみなさまに対しまして、心からお見舞い申し上げます。当生協におきましても多大な被害を受け、組合員のみなさまに大変ご迷惑をおかけしておりますことを深くお詫び申し上げます。また、協同購入の利用につきましては「めーむ」の受注システムが稼働できません。あわせて交通渋滞などによりグループへの定期訪問ができず、ご不便をおかけしております。引き続き、正常な形で営業できるように役職員一同、精一杯の努力をしておりますので今しばらくのご不便をご容赦いただきますようお願い申し上げます。

生活協同組合コープこうべ　組合長　木村 正人

当分の間ご注文の受付けは訪問曜日だけとさせていただきます。悪しからずお許しください。

■注文書回収日
2月7日(火)→11日(土)

■商品配達日
2月14日(火)→18日(土)

1

コープスタイル
北海道3.6牛乳
1,000ミリリットル
[通]219円
199円

2

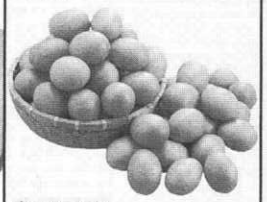
雪印ネオソフト
450g
228円

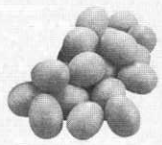
3

原卵
5kg
1,143円

4

原卵
3kg
700円

5

赤玉原卵
30コ詰
863円

6

高原の蘭(赤玉)
10コ詰
298円

7

コープスタイル
兵庫米5kg
2,470円

8

コープスタイル
兵庫県産
コシヒカリブレンド
5kg
2,645円

9

コープスタイル
上白糖
1kg
198円

10 (北海道いわみざわ産)
たまねぎ
1袋(1.5kg)
398円

11 (北海道更別村産)
メークイン
1袋 (2kg)
398円

12 (愛媛県産他)
伊予柑
1箱 (3kg)
サイズ:2L~M、11~17コ入
1,880円

13 冷蔵
サケフレーク
100g×2
480円

14 冷蔵
もずくスープ (正油味)
50g×3
298円

15 冷蔵
良品・低価格
スライスベーコン
180g
295円

16 冷蔵
良品・低価格
ロングスティックウインナー
350g
298円

17 冷蔵
良品・低価格
ロースハム
68g×2
288円

18 フルーツケーキ(オレンジ)
1パック (5コ入) [通]315円
298円

19 食パン(スライス)
5枚切
150円
※コープこうべの食品工場の生産開始予定が1/25現在ではメドがたっておりません。場合によっては一般メーカー品をお届けすることになります。ご了承ください。

20 アサヒ
スーパードライ
350ミリリットル×24本入
[通] 4,752円
4,380円

21 コープ虹のたより星ふるまち
1.8リットル
880円

22 ブルックボンド
紅茶ティーバッグ
50パック [通] 538円
290円

23 ネス
ゴールドブレンド
150g [通] 1,088円
798円

24 コカ・コーラ
250ミリリットル×30缶入
[通] 2,970円
1,780円

25 ジョージアコーヒー
250g×30缶入 [通] 3,060円
2,180円

26 コープスタイル
本醸造特級こいくちしょうゆ
1リットル
158円

27 キユーピー
マヨネーズ
700g [通] 465円
368円

28 ヤマヒデ
業務用だし
150g [通] 239円
198円

29 コープスタイル
減農薬栽培大根使用
きざみたくあんかつお味
160g [通] 178円
158円

■表示価格には消費税は含まれておりません。[通]は生協通常価格、[メ]はメーカー希望小売価格の略号です。

30 いなばホワイトツナフレーク3缶パック
総量85g×3缶
[通] 444円
298円

31 タケヤみそタケヤ特醸
1kg [通] 392円
298円

32 小倉屋切出昆布
90g [通]398円
道南産昆布を使用しています。
378円

33 江戸乃一番味付けのり
100束入 [通] 1,185円
948円

34 田中食品徳用ふりかけミニパック
2.5g×40袋入 [通]338円
298円

35 雪印ナチュレ
500g [通] 233円
168円

36 宮田あんドーナツ
10コ入
200円

37 宮田ハニードーナツ
300g
200円

38 コープスタイル切りもち
300g
320円

39 岩塚割れせんべい
330g
250円

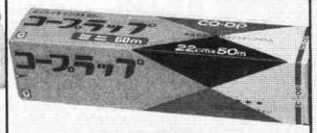
40 ブルボン
エリーゼファミリー
62本入
298円

41 カルビーかっぱえびせん
33g×12袋入
380円

48

コープハミガキデンタル
170g
[通] 170円
165円

49



コープラップミニ
22cm×50m
[通] 360円
250円

50

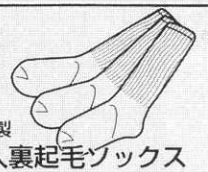
リーチハブラシ
6本組
[通] 1,350円
980円

51

チャームナップナイトガード
20コ入
[通] 580円
430円

中国製
婦人丈長ショーツ10枚組
綿100%（40番手、天竺編）
ヒップ／M：85～93cm、
L：90～98cm、
LL：95～103cm
[通] 1,980円
52 M **53** L **54** LL
各**1,680円**

55



韓国製
婦人裏起毛ソックス
3色組23～25cm、
カラー:ワイン・ダークグリーン
ダークブラウン
アクリル・ポリエステル・毛・
ポリウレタン
[通] 980円
780円

42

コープスタイルコープロール
紙管なしシングル
130m×12ロール
880円

43

エリカEティシュー
400枚（200組）×5コ組
[通]590円
368円

44

コープスタイル濃縮ソフター
800ミリリットル
[通] 395円
298円

45

花王マジックリン
800ミリリットル
[通] 395円
298円

46

トイレハイター
500ミリリットル
[通] 250円
198円

47

コープ米ぬか粉せっけん
水の輪1.75kg
[通] 598円
498円

■表示価格には消費税は含まれておりません。[通]は生協通常価格、[メ]はメーカー希望小売価格の略号です。

キリトリ線

キリトリ線

商品注文書（お届け伝票・請求書）54　　ご注文は、数量のみご記入ください。

おなまえ　　おところ　　TEL（連絡先TEL）

組合員番号　　区域番号No.　—

品番	商品名	価格	数量	品番	商品名	価格	数量	品番	商品名	価格	数量
1	©北海道3.6牛乳	199円		21	コープ虹のたより星ふるまち	880円		41	カルビーかっぱえびせん	380円	
2	雪印ネオソフト	228円		22	ブルックボンド紅茶ティーバッグ	290円		42	©コープロール紙管なしシングル	880円	
3	原卵5kg	1,143円		23	ネスレゴールドブレンド	798円		43	エリカEティシュー	368円	
4	原卵3kg	700円		24	コカ・コーラ	1,780円		44	©濃縮ソフター	298円	
5	赤玉原卵	863円		25	ジョージアコーヒー	2,180円		45	花王マジックリン	298円	
6	高原の闇(赤玉)	298円		26	©本醸造特級こいくちしょうゆ	158円		46	トイレハイター	198円	
7	©兵庫米	2,470円		27	キューピーマヨネーズ	368円		47	コープ米ぬか粉せっけん水の輪	498円	
8	©兵庫県産コシヒカリブレンド	2,645円		28	ヤマヒデ業務用だし	198円		48	コープハミガキデンタル	165円	
9	©上白糖	198円		29	©減農薬栽培大根使用きざみたくあんたつた焼	158円		49	コープラップミニ	250円	
10	たまねぎ1袋	398円		30	いなばホワイトツナフレーク	298円		50	リーチハブラシ6本組	980円	
11	メークイン1袋	398円		31	タケヤみそタケヤ特醸	298円		51	チャームナップナイトガード	430円	
12	伊予柑1箱	1,880円		32	小倉屋切出昆布	378円		52	中国製婦人丈長ショーツ10枚組M	1,680円	
13	〈冷蔵〉サケフレーク	480円		33	江戸乃一番味付けのり	948円		53	中国製婦人丈長ショーツ10枚組L	1,680円	
14	〈冷蔵〉もずくスープ(正油味)	298円		34	田中食品徳用ふりかけミニパック	298円		54	中国製婦人丈長ショーツ10枚組LL	1,680円	
15	〈冷蔵〉良品・低価格スライスベーコン	295円		35	雪印ナチュレ	168円		55	韓国製婦人裏起毛ソックス3色組	780円	
16	〈冷蔵〉良品・低価格ロングスティックウインナー	298円		36	宮田あんドーナツ	200円					
17	〈冷蔵〉良品・低価格ロースハム	288円		37	宮田ハニードーナツ	200円					
18	フルーツケーキ(オレンジ)	298円		38	©切りもち	320円					
19	食パン(スライス)	150円		39	岩塚割れせんべい	250円					
20	アサヒスーパードライ	4,380円		40	ブルボンエリーゼファミリー	298円					

小計	消費税	合計金額

※切り取って地域担当へお渡しください。

CO・OP 生活協同組合コープこうべ

CO・OP 週間「めーむ」 55 ダイジェスト

組合員のみなさまへ

協同購入センターご利用の商品代金請求のお知らせ

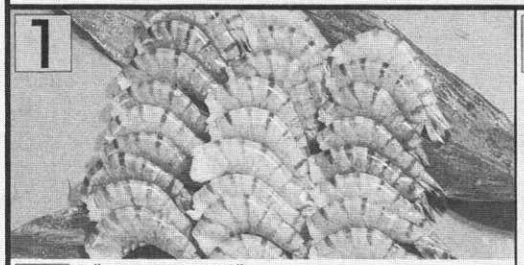
商品代金の請求が遅れてご迷惑をおかけしています。1月、2月、3月分の請求日程は右記のとおりとなりますのでよろしくお願いします。尚、4月以降は通常どおりの日程となります。請求期間については、週間めーむなどでその都度お知らせいたします。

問い合わせ先▶担当の協同購入センターへ

	請求期間	銀行振込 振替日	現金集金 集金日
1月分の請求	'94 12月19日～1月13日と1月14日のめーむのお届け商品	3月6日	2月末
2,3月分の請求(2カ月分)	1月14日のめーむ以外と1月15日～3月11日のお届け商品のすべて	4月5日	3月末

■注文書回収日
2月14日(火)→18日(土)

■商品配達日
2月21日(火)→25日(土)



1 冷凍 ブラックタイガー (大L)600g
[通] 2,780円 **1,780円**

2 冷凍 75日どり もも肉・むね肉切り身 600g **680円**

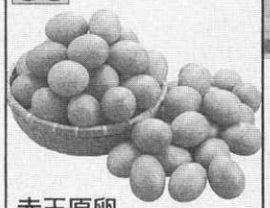
3
冷凍 クイーンズハートビーフ 牛肉ミンチ(バラ凍) 500g
[通] 790円 **580円**
使い易いバラ凍結です。必要な分だけお使いください。

4

コープスタイル 北海道3.6牛乳LL 1,000ml
[通] 219円 **199円**

5
コープスタイル 兵庫米 5kg **2,470円**

6
コープスタイル 兵庫県産 こしひかりブレンド 5kg **2,645円**

55 
赤玉原卵 30コ詰
[通] 938円 **863円**

56 原卵 3kg **730円**

57 原卵 5kg **1,173円**

7 冷凍 凍結しじみ 300g **340円**

9 冷蔵 かねふく辛子明太子 110g **470円**

11 冷蔵 丸大食品 ビーフシチュー 200g×5
[通] 1,280円 **880円**

13 食パン 5枚切 **150円**

15 雪印 スライスチーズ 10枚入
[通] 338円 **198円**

17 ヒガシマル うどんスープ 8g×20袋入
[通] 358円 **328円**

19 味の素 サラダ油 1,500g
[通] 648円 **298円**

21 コープスタイル 無塩トマトジュース 160g×30缶入
[通] 2,040円 **1,890円**

23 冷蔵 マルコメ 料亭の味 1kg
[通] 525円 **398円**

25 森永 徳用ミルクココア 370g
[通] 498円 **350円**

8 冷凍 めかぶ納豆 50g×3 **278円**

10 良品・低価格 ボンレスハム 68g×2 **278円**

12 冷蔵 コープスタイル てりやきミートボール 90g×4
[通] 360円 **340円**

14 ちょこちょこケーキ 2コ入
[通] 168円 **158円**

16 アサヒ印 三温糖 1kg
[通] 238円 **198円**

18 (香川産) いりこ 350g
[通] 1,140円 **980円**

20 ミックスキャロット 1,000ml×6本
[通] 2,088円 **1,980円**

22 コーポポト ケールフルーツミックス 160g×30缶入
[通] 2,940円 **2,780円**

24 冷蔵 会津喜多方ラーメン(しょうゆ) 5食入 [通] 980円 **580円**

26 ヒルス レギュラーコーヒースペシャルブレンド 400g+50g
[通] 1,098円 **500円**

■表示価格には消費税は含まれておりません。[通]は生協通常価格、[メ]はメーカー希望小売価格の略号です。

27 コープスタイル（中国産）ホワイトアスパラガス 250g 218円

28 コープスタイル 粒より苺ジャム 200g [通] 258円 248円

29 赤かぶ刻み漬 170g [通] 248円 100円

30 田中食品 鮭わかめごはん 250g [通] 1,160円 880円

31 コープスタイル 国内産小麦粉 1kg [通] 165円 138円

32 コープスタイル カットわかめ 50g [通] 288円 258円

33 日清 ごんぶときつねうどん 277g [通] 228円 198円

34 バドワイザー 350ml×24缶入 [通] 4,752円 3,980円

35 播州錦佳撰 1.8リットル [通] 1,359円 698円

36 不二家 ホームパイ徳用（増量） 58枚+12枚入 [通] 438円 298円

37 ブルボン ターツクッキー（缶入） 60枚入 [通] 438円 298円

38 協同購入用 ドーナツ詰合せ 12コ入 298円

39 ナビスコ チップスター 55g×4箱入 [通] 432円 350円

40 ぼんち ぼんち揚 33g×10袋入 [通] 450円 380円

47

コープセフターE 1.5kg [通] 498円 380円

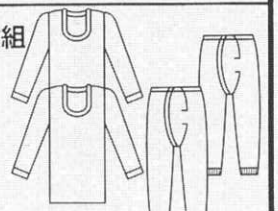
48 パッケージが異なります。

ロリエ セフティロング 36コ入×2袋組 [通] 1,660円 1,280円

49

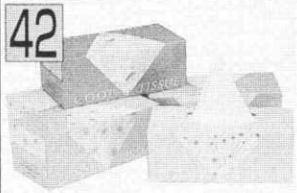
リフレッシングキッチンタオル 80カット×4ロール [通] 370円 298円

50
コープスタイル ポリ袋 45リットルペール用 10枚入 1枚：65×75cm、厚さ0.03mm、ブルー [通] 168円 98円

紳士肌着 長袖U首シャツ2枚組
51 M **52** L
紳士肌着 長ズボン下2枚組
53 M **54** L

綿100%スムース編（少し厚地） カラー：ホワイト
M／身長：160～170cm、胸囲：84～92cm、胴囲：72～80cm
L／身長：170～180cm、胸囲：90～98cm、胴囲：78～88cm
各980円

41

コープスタイル コアノンロール180 ジャンボロールソフトS 180m×6ロール 598円

42 
コープスタイル コープティシュー 400枚（200組）×5コ組 [通] 640円 398円

43
コープスタイル 弱酸性食器洗い（替） 500ml×6コ入 [通] 930円 880円

44
リジョイノーマル リンスインシャンプー600ml [通] 990円 798円

45

コープスタイル 水切り専用袋 10枚入×3袋組 [通] 504円 450円

46

コープラップレギュラー 30cm×20m [通] 178円 128円

■表示価格には消費税は含まれておりません。[通]は生協通常価格、[メ]はメーカー希望小売価格の略号です。

キリトリ線

55 商品注文書（お届け伝票・請求書）　ご注文は、数量のみご記入ください。

おなまえ　　おところ　　TEL（連絡先TEL）

組合員番号　　区域番号No.　　—

品番	商品名	価格	数量	品番	商品名	価格	数量	品番	商品名	価格	数量
1	(冷凍)ブラックタイガー(大L)	1,780円		21	Ⓒ無塩トマトジュース	1,890円		41	Ⓒコアノンロール180ジャンボロールソフトS	598円	
2	(冷凍)75日どりもも肉・むね肉切り身	680円		22	Ⓟケールフルーツミックス	2,780円		42	Ⓒコープティシュー	398円	
3	(冷凍)牛肉ミンチ	580円		23	(冷蔵)マルコメ料亭の味	398円		43	Ⓒ弱酸性食器洗い(替)	880円	
4	Ⓒ北海道3.6牛乳LL	199円		24	(冷蔵)喜多方ラーメン(しょうゆ)	580円		44	リジョイノーマル(リンスインシャンプー)	798円	
5	Ⓒ兵庫米5kg	2,470円		25	森永徳用ミルクココア	350円		45	Ⓒ水切り専用袋	450円	
6	Ⓒ兵庫県産こしひかりブレンド5kg	2,645円		26	ヒルスレギュラーコーヒースペシャルブレンド	500円		46	コープラップレギュラー	128円	
7	(冷凍)凍結しじみ	340円		27	Ⓒ(中国産)ホワイトアスパラガス	218円		47	コープセフターE	380円	
8	(冷凍)めかぶ納豆	278円		28	Ⓒ粒より苺ジャム	248円		48	ロリエセフティロング	1,280円	
9	(冷蔵)かねふく辛子明太子	470円		29	赤かぶ刻み漬	100円		49	リフレッシングキッチンタオル	298円	
10	良品低価格ボンレスハム	278円		30	田中食品鮭わかめごはん	880円		50	Ⓒポリ袋45ℓペール用	98円	
11	丸大食品ビーフシチユー	880円		31	Ⓒ国内産小麦粉	138円		51	紳士肌着長袖U首シャツ2枚組M	980円	
12	Ⓒてりやきミートボール	340円		32	Ⓒカットわかめ	258円		52	紳士肌着長袖U首シャツ2枚組L	980円	
13	食パン	150円		33	日清ごんぶときつねうどん	198円		53	紳士肌着長ズボン下2枚組M	980円	
14	ちょこちょこケーキ	158円		34	バドワイザー	3,980円		54	紳士肌着長ズボン下2枚組L	980円	
15	雪印スライスチーズ	198円		35	播州錦佳撰	698円		55	赤玉原卵	863円	
16	アサヒ印三温糖	198円		36	不二家ホームパイ徳用(増量)	298円		56	原卵3kg	730円	
17	ヒガシマルうどんスープ	328円		37	ブルボンターツクッキー(缶入)	298円		57	原卵5kg	1,173円	
18	(香川産)いりこ	980円		38	協同購入用ドーナツ詰合せ	298円		58	たまごケース	30円	
19	味の素サラダ油	298円		39	ナビスコチップスター	350円					
20	ミックスキャロット	1,980円		40	ぼんちぼんち揚	380円					

小計	消費税	合計金額

※Ⓒはコープスタイル、Ⓟはコーポポトの略号です。

※切り取って地域担当にお渡しください。

CO・OP 生活協同組合コープこうべ

週間商品情報紙

CO・OP

めーむ

56 ダイジェスト

組合員のみなさまへ

地域のみなさまのご被災に対しまして重ねてお見舞申し上げるとともに1日も早い復旧をお祈り致します。

2月のグループ連絡会は中止させていただきます。

2月に予定しておりましたグループ連絡会は各交通機関の混乱等諸事情を考慮し中止させていただきます。
2月のグループ連絡会でお渡しする予定でした「グループ利用高還元金」(94年8月～11月分)について、すでに計算を済ませていましたが本部コンピューター等が損傷を受けたため作業が大幅に遅れています。
申し訳ございませんが、次回6月のグループ連絡会でお渡しさせていただきます。また、94年12月以降のグループ利用高還元金の取り扱いについては追ってお知らせさせていただきます。

コープこうべ

■注文書回収日
2月21日(火)→25日(土)

■商品配達日
2月28日(火)→3月4日(土)

1 コープスタイル
仕込みそノンタッチ
10kg [通]3,800円
3,040円

2 5kg [通]2,180円
2,080円

3 ファクトリーメイド
神戸ブレッド
6枚切
[通]163円
148円

4 盛付例
ファクトリーメイド
バターロール
1袋(6コ入)
[通]147円
138円

5 コープスタイル
北海道3.6牛乳
1,000ml
[通]219円
199円

6 コープスタイル
霧島3.5牛乳
500ml
[通]128円
118円

7 冷凍
アメリカ産
牛肉サーロインステーキ
1パック(150g×3枚入)
[通]1,791円
1,000円

8 冷凍
カナダ産
生ずわいがに(オピリオ種)
650g
1,580円

9 盛付例
冷凍
(真空パック)
うなぎ蒲焼き
1尾(105g)
650円

10 冷凍
カナディアン
スモーク・サーモン
50g×2パック
580円

60 原卵
3kg
730円

61 原卵
5kg
1,173円

62 あかだま原卵(30コ詰)
893円

11 コープスタイル
兵庫米
5kg
2,470円

12 コープスタイル
こしひかりブレンド
5kg
2,645円

13 コープスタイル
新潟県産コシヒカリ
5kg
3,075円

14 コープスタイル
本みりん
900ml
[通]478円
388円

丹波の組合員様は米、酒注文ハガキで
姫路西の組合員様は酒類注文ハガキで
但馬の組合員様は電話でご注文ください。

15 福岡県産
トマト
1箱(1kg、5～8コ入)
680円

16 北海道とうやこ産
じゃが芋
1袋(1.5kg)
338円

17 青森県平賀農協産
サンふじりんご(中玉)
1袋6コ入
産直商品
580円

18 良品・低価格 冷蔵
スライスベーコン
180g
295円

19 良品・低価格 冷蔵
ロースハム
68g×2
288円

20 お買得ウインナー 冷蔵
300g [通]328円
298円

21 コープスタイル 冷蔵
てりやきミートボール
70g×4 [通]360円
340円

22 東海 冷蔵
お徳用漬物3品セット
(しば漬、梅酢つぼ漬、きゅうり漬)
110g×3 [通]471円
298円

23 雪印 冷蔵
とってもゼリーピーチ
110g×6コ入 [通]588円
380円

24 コープスタイル
甘蔗角糖
450g [通]213円
198円

■表示価格には消費税は含まれておりません。[通]は生協通常価格、[メ]はメーカー希望小売価格の略号です。

25 コープスタイル
本醸造特級しょうゆ うすくち
1リットル
158円

26 永谷園
新すし太郎
1パック(4人前)[通]378円
298円

27 コープスタイル
かつお風味だしの素(粉末)
400g [通]668円
598円

28 コープスタイル
有明産味付のり
12切×5枚入50束
[通]568円
498円

29 丸美屋
ノリタマ&バラエティーミニパック
[通]215円
148円

30 日清
カップヌードル
76g [通]135円
98円

31 ハウス
浪花の中華そば好きやねん しょうゆ
5食パック(99g×5)
[通]405円
258円

32 ニチレイ
アラスカ産サケ水煮
1缶 総210g [通]348円
198円

33 ニチレイ
まぐろ油漬ライトフレーク
1缶 総185g [通]198円
98円

34 アメリカンアイスビール
354ml×24缶 [通]4,032円
丹波の組合員様は米、酒注文ハガキで
姫路西の組合員様は酒類注文ハガキで
但馬の組合員様は電話でご注文ください。
~~3,480~~円

35 ジョニーウォーカー黒
750ml [通]3,800円
丹波の組合員様は米、酒注文ハガキで
姫路西の組合員様は酒類注文ハガキで
但馬の組合員様は電話でご注文ください。
~~2,660~~円

36 コープスタイル
ほうじ茶入りむぎ茶パック
500g(50袋入)
[通]398円
298円

37 AGF
マキシム
150g [通]1,088円
698円

38 コープスタイル
あずみ野の水
2リットル×6本
1,188円

39 コープスタイル
バレンシアオレンジ
1リットル×6本
888円

40 コープスタイル
ほうれん草フルーツミックス
160g×30缶
[通]2,640円
2,480円

41 丸川
フーセンガム詰合せ
50コ
398円

42 亀田
こつぶっこ
10袋
398円

コープスタイル
スクールソックス4足組
女子用:23~25cm
56 ミニ丈 **57** ハーフ丈
素材:綿・アクリル・ナイロン・ポリウレタン
カラー:ホワイト
つま先、かかと補強
各880円

コープスタイル
スクールソックス4足組
男子用:
58 普通寸 25~27cm **59** 大寸 27~29cm
素材:綿・アクリル・ナイロン・ポリウレタン
カラー:ホワイト つま先、かかと補強
[通]980円
各780円

43 食品館マーブルケーキ
1本(約240g)
350円

44 フェレロロシェ
8粒 [通]500円
398円

45 ロッテのどあめ
めーむオリジナル徳用袋
1袋(250g)
298円

46

コープロール70
ソフトS
70m×16ロール
[通]792円
398円

47

コープスタイル
グリーンキーパーティシュー
500枚(250組)×4コ組
[通]420円
340円

48

ウィスパー
スタンダードレギュラー
42コ入 [通]635円
498円

49

ファミリー救急絆
5サイズ100枚入
[通]460円
368円

50

コープスタイル
バブクリーナー
5コ組 [通]290円
268円

51

ペディグリーチャム
(ビーフ)
400g×24缶入
3,240円

52

コープスタイル
キャットフードフレーク
170g×24缶入
1,580円

53

コープクリーンE
1.8kg [通]598円
498円

54

コープファッションドライ
500ml [通]880円
780円

55

コープラップミニ
22cm×50m [通]360円
250円

■表示価格には消費税は含まれておりません。[通]は生協通常価格、[メ]はメーカー希望小売価格の略号です。

キリトリ線

56 商品注文書(お届け伝票・請求書)

ご注文は、数量のみご記入ください。

おなまえ　　おところ　　TEL (連絡先TEL)

組合員番号　　区域番号No. ―

品番	商品名	価格	数量	品番	商品名	価格	数量	品番	商品名	価格	数量
1	Ⓒ仕込みそノンタッチ10kg	3,040円		23	雪印とってもゼリーピーチ	380円		45	ロッテのどあめめーむオリジナル徳用袋	298円	
2	Ⓒ仕込みそノンタッチ5kg	2,080円		24	Ⓒ甘蔗角糖	198円		46	コープロール70ソフトS	398円	
3	Ⓕ神戸ブレッド	148円		25	Ⓒ本醸造特級しょうゆうすくち	158円		47	Ⓒグリーンキーパーティシュー	340円	
4	Ⓕバターロール	138円		26	永谷園新すし太郎	298円		48	ウィスパースタンダードレギュラー	498円	
5	Ⓒ北海道3.6牛乳	199円		27	Ⓒかつお風味だしの素(粉末)	598円		49	ファミリー救急絆	368円	
6	Ⓒ霧島3.5牛乳	118円		28	Ⓒ有明産味付のり	498円		50	Ⓒバブクリーナー	268円	
7	(アメリカ産)牛肉サーロインステーキ	1,000円		29	丸美屋ノリタマ&バラエティーミニパック	148円		51	ペディグリーチャム(ビーフ)	3,240円	
8	(カナダ産・オビリオ種)生ずわいがに	1,580円		30	日清カップヌードル	98円		52	Ⓒキャットフードフレーク	1,580円	
9	(真空パック)うなぎ蒲焼き	650円		31	ハウス浪花の中華そば好きやねんしょうゆ	258円		53	コープクリーンE	498円	
10	カナディアンスモーク・サーモン	580円		32	ニチレイアラスカ産サケ水煮	198円		54	コープファッションドライ	780円	
11	Ⓒ兵庫米5kg	2,470円		33	ニチレイまぐろ油漬ライトフレーク	98円		55	コープラップミニ	250円	
12	Ⓒこしひかりブレンド5kg	2,645円		34	アメリカンアイスビール	3,480円		56	Ⓒスクールソックス4足組ミニ丈女子用	880円	
13	Ⓒ新潟県産コシヒカリ5kg	3,075円		35	ジョニーウォーカー黒	2,680円		57	Ⓒスクールソックス4足組ハーフ丈女子用	880円	
14	Ⓒ本みりん	388円		36	Ⓒほうじ茶入りむぎ茶パック	298円		58	Ⓒスクールソックス4足組普通寸男子用	780円	
15	(福岡県産)トマト	680円		37	AGFマキシム	698円		59	Ⓒスクールソックス4足組大寸男子用	780円	
16	(北海道とうや湖産)じゃが芋	338円		38	Ⓒあずみ野の水	1,188円		60	原卵3kg	730円	
17	(青森県平賀農協産)サンふじりんご	580円		39	Ⓒバレンシアオレンジ	888円		61	原卵5kg	1,173円	
18	スライスベーコン	295円		40	Ⓒほうれん草フルーツミックス	2,480円		62	あかだま原卵30コ詰	893円	
19	ロースハム	288円		41	丸川フーセンガム詰合せ	398円		63	たまごケース	30円	
20	お買得ウインナー	298円		42	亀田こつぶっこ	398円					
21	Ⓒてりやきミートボール	340円		43	マーブルケーキ	350円					
22	東海お徳用漬物3品セット	298円		44	フェレロロシェ	398円					

※Ⓒはコープスタイル、Ⓟはコーポポト、Ⓕはファクトリーメイドの略号です。

小計		非課税	
消費税		合計	

※切り取って地域担当にお渡しください。

CO・OP 生活協同組合コープこうべ

57-4

58

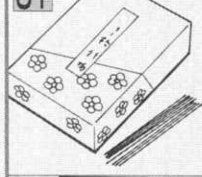
コープスタイル
コープナプキン
ふつう用
34コ入
[適]245円
220円

59

エリカEティシュー
(400枚、200組)×5コ組[適]590円 368円

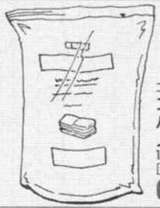
60

コープ米ぬか
粉せっけん水の輪
1.75kg [適]598円
498円

61

孔官堂
松竹梅徳用
約860本入
[適]1,840円
1,480円

50

カメヤマローソク
徳用豆ダルマ
約125本入×2箱組
[適]840円
698円

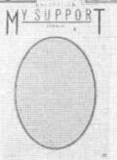
51

コープスタイル
コープ
パラゾール
ノンカット
1kg
[適]880円
698円

52

白元
ミセスロイド
(洋服ダンス用)
4コ入 [適]890円
598円

53

コープスタイル
ポリ袋
台所用(小)
1枚:25×35cm
50枚入
[適]100円
98円

62 グレー系 63 ブラウン系 64 ベージュ系


サポートパンスト
「コープマイサポート」
3足組
素材:ナイロン・ポリウレタン
(SCY糸使用)
サイズ:M~L、身長150~165、
ヒップ85~98
カラー:グレー系、ブラウン系、
ベージュ系
[適]980円 680円

キリトリ線

57 商品注文書(お届け伝票・請求書) ご注文は、数量のみご記入ください。

おなまえ TEL

おところ (連絡先TEL)

組合員番号 区域番号No. 一

※切り取って地域担当にお渡しください。商品お届け日:3月7日(火)→11日(土)

品番	商品名	価格	数量	品番	商品名	価格	数量
1	神戸ブレッド	148円		35	味覚糖ピアピア	400円	
2	バターロール	138円		36	ロッテチョコブッセ	198円	
3	十勝清水牛肉かたうすぎり	980円		37	キリン一番搾り	4,380円	
4	ブラックタイガーえび(大M・中L)	1,380円		38	ブルボンエリーゼファミリーサイズ	298円	
5	Ⓒコアノンロール130ソフトS	1,580円		39	モンテールフルーツケーキ	350円	
6	コープカラーフィルム400	458円		40	本格麦焼酎四季物語	838円	
7	(北海道いわみざわ産)たまねぎ	398円		41	Ⓒ北海道3.6牛乳	199円	
8	(長崎県島原市ライフクリーン農法生産者会)洗にんじん	298円		42	Ⓒ霧島3.5牛乳	128円	
9	(和歌山県産)キウイフルーツ	558円		43	サッポロ黒ラベル	4,380円	
10	75日どりもも肉・むね肉切り身	680円		44	Ⓒ低脂肪1.5ローファットミルク	178円	
11	紅さけ(辛塩)	880円		45	Ⓟ無脂肪乳ノンファットミルク	178円	
12	(沼津産)開きあじ(小)	298円		58	Ⓒコープナプキン(ふつう用)	220円	
13	ロングスティックウインナー	298円		59	エリカEティシュー	368円	
14	ビーフシチュー	880円		60	コープ米ぬか粉せっけん水の輪	498円	
15	Ⓒてりやきミートボール	340円		61	孔官堂松竹梅徳用	1,480円	
16	相馬きゅうり(きゅうりしょうゆ漬)	198円		50	カメヤマローソク徳用豆ダルマ	698円	
17	みすず味付いなりあげ	398円		51	Ⓒコープパラゾールノンカット	698円	
18	Ⓒ海外無農薬栽培大豆信州づくりみそ	298円		52	白元ミセスロイド(洋服ダンス用)	598円	
19	エバラ焼肉のたれ黄金の味(中辛)	378円		53	Ⓒポリ袋台所用(小)	98円	
20	台糖グラニュ糖	168円		62	サポートパンスト3足組グレー系	680円	
21	吉原ゴールデンサラダ油	298円		63	サポートパンスト3足組ブラウン系	680円	
22	Ⓒ本醸造特級こいくちしょうゆ	158円		64	サポートパンスト3足組ベージュ系	680円	
23	Ⓒまぐろ水煮	138円		55	Ⓒ兵庫米5kg	2,420円	
24	Ⓒまぐろ油漬	138円		56	Ⓒこしひかりブレンド5kg	2,595円	
25	Ⓒ有明産味付けおにぎりのり	298円		57	Ⓒ新潟県産コシヒカリ5kg	3,025円	
26	日清チキンラーメン	298円		46	原卵3kg	597円	
27	理研ふえるわかめちゃん徳用	1,830円		47	原卵5kg	975円	
28	Ⓒデュラム100%スパゲティ	238円		48	あかだま原卵30コ詰	790円	
29	Ⓒミックスキャロット	2,460円		49	たまごケース	30円	
30	Ⓒりんごジュース	1,008円					
31	サントリー南アルプス天然水	1,480円					
32	Ⓒ常温保存コーヒーフレッシュ	198円					
33	日東紅茶ティーバック	298円					
34	岩塚ひょうばん焼	168円					

小計		非課税	
消費税		合計	

※Ⓒはコープスタイル、Ⓟはコーポポトの略号です。

キリトリ線

55

5kgにつき50円引き
コープスタイル
兵庫米
5kg [適]2,470円
2,420円

56

5kgにつき50円引き
コープスタイル
こしひかりブレンド
5kg [適]2,645円
2,595円

57

5kgにつき50円引き
コープスタイル
新潟県産コシヒカリ
5kg [適]3,075円
3,025円

週間商品情報紙 めーむ ダイジェスト

■注文書回収日
2/28(火)→3/4(土)
■商品配達日
3/7(火)→3/11(土)

CO・OP

57

めーむは3月から必需品を中心に紹介します。

「めーむ」ダイジェストによるご注文をいただきご不便をおかけしていましたが「めーむ」3月1週から従来の注文承り書による商品のご注文がいただけるようになります。ご紹介の商品は約400点、今までの半分程度からスタートとなりますが、野菜、肉などの食品は充分ご満足いただける点数をご紹介します。職員一同、組合員のみなさまにご満足いただけるよう精一杯努力していますのでよろしくお願いいたします。

3月1週号 (3月7日(火)~11日(土)配布)から	「めーむ」8ページカラー。食品・日用雑貨品中心の取り扱いとなります。肉・魚・総菜・パン・雑貨品等。
4月1週号 (4月4日(火)~8日(土)配布)から	「めーむ」24ページ。衣料・住関連用品も含めた従来の「めーむ」のページだてがスタートします。

コープこうべのお問い合わせは コープベル(フリーダイヤル) 0120-443100まで

洗浄していない新鮮な卵をケースでお届けします。
グループのみなさんで分け合ってどうぞ。

46 原卵 3kg 597円

47 原卵 5kg 975円

海藻粉末や植物油(アマニ油)を加えた飼料で育てた鶏の新鮮な卵。たまご本来のうまみがたっぷり。

48 あかだま原卵 30コ詰 [適]938円 790円

トーストしたときのサクッとした歯ごたえとしっとりしたまろやかな口当たりを大切にしました。

1 食品工場自己生産品
ショートニングとマーガリン、濃縮乳を使用してしっとりした食感に仕上げ、生地改良剤に米こうじを使ってしっとり感をキープ。
神戸ブレッド
1袋(6枚切) [適]163円
148円

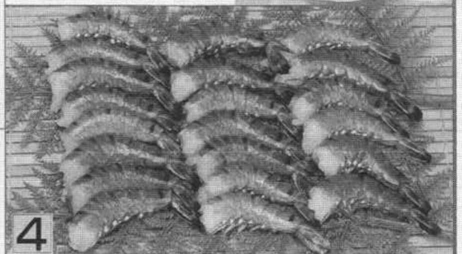
盛付例

2 食品工場自己生産品
バターロール
1袋(6コ入)
[適]147円
138円

3 北海道十勝清水町の大自然あふれる牧場で育った風味豊かな牛肉です。煮込み、すき焼き、いためものに。

山口県の黒毛和牛「見島牛」を父に、ホルスタイン種(乳牛)を母に生まれたコクがあって風味のよい良質の牛肉です。

冷凍
十勝清水牛肉かたうすぎり
1パック(300g)
[適]1,260円
980円



4
冷凍
ブラックタイガー(大M・中L)
500g(約28尾)
1,380円

再生ミルクカートンを配合し、紙管を省きました。
ケースでお届けします。

5
コープスタイル
コアノンロール130
ソフトシングル
(130m×6ロール)×4袋組
[適]1,920円
1,580円

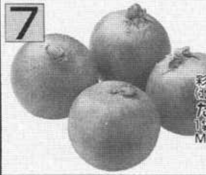
全国の生協がいっしょに開発しました。

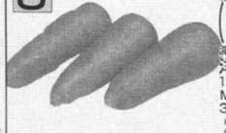
感度400で室内や曇りがちの日にもくっきり鮮やか。オートフォーカスカメラでもピッタリ。パッケージには古紙100%の再生紙を使用しています。

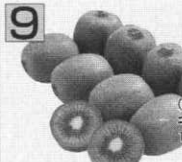
全国の生協が共同で開発し共同仕入れをすることによって低価格を実現しました。

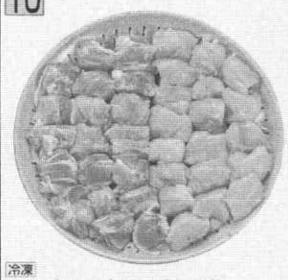
6
コープ
カラーフィルム400
24枚撮り×2コ組
458円

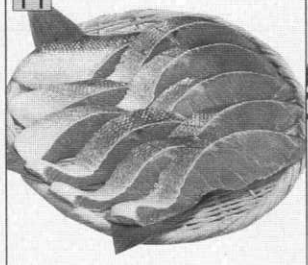
■表示価格には消費税は含まれておりません。[適]は生協適正価格、[メ]はメーカー希望小売価格の略号です。

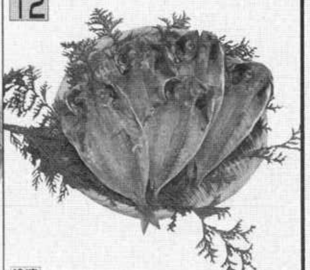
7

彩味良選（北海道・わみざわ産）たまねぎ
1袋(1.5kg) M・L混合
398円

8

彩味良選（長崎県島原市 ライフグリーン 農法生産組合）
減農薬栽培
洋にんじん
1袋(500g) M〜2L、3〜5本入
298円

9

（和歌山県産）キウイフルーツ
1袋(1kg、8〜12コ入)
558円

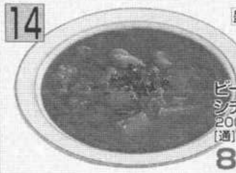
10

冷凍
75日どりもも肉・むね肉切り身
1パック(600g) [通]948円
680円

11

冷凍
紅さけ(辛塩)
10切(約500g)
880円

12

冷凍
沼津産
開きあじ(小)
5尾
298円

13

良品低価格
ロング スティック ウインナー
350g
298円

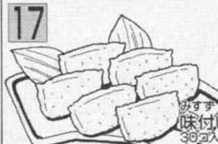
14

盛付例
ビーフ シチュー
200g×5 [通]1,280円
880円

15

コープスタイル
てりやき ミートボール
90g×4 [通]360円
340円

16

盛付例
相馬きゅうり（きゅうりしょうゆ漬）
200g [通]248円
198円

17

みすず
味付いなりあげ
30コ入 [通]498円
398円

18

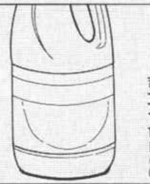
コープスタイル
海外無農薬栽培大豆
信州づくりみそ
1kg [通]358円
298円

19

エバラ
焼肉のたれ 黄金の味(中辛)
400g [通]478円
378円

20

台糖
グラニュ糖
1kg [通]229円
168円

21

吉原
ゴールデン サラダ油
1,500g [通]618円
298円

22

コープスタイル
本醸造特級 こいくちしょうゆ
1ℓ
158円

23

コープスタイル
まぐろ水煮
総185g
138円

24

コープスタイル
まぐろ油漬
総185g
138円

25

コープスタイル
有明産味付け おにぎりのり
8袋入
298円

26

日清
チキンラーメン
5食パック(85g×5) [通]405円
298円

27

理研
ふえる わかめちゃん 徳用
300g [通]2480円
1,830円

28

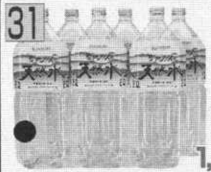
コープスタイル
デュラム100% スパゲティ
700g
238円

29

コープスタイル
ミックス キャロット
160g×30缶 [通]2,640円
2,460円

30

コープスタイル
りんごジュース
1ℓ×6本
1,008円

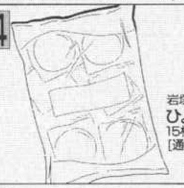
31

サントリー
南アルプス 天然水
2ℓ×6本 [通]1,770円
1,480円

32

コープスタイル
常温保存 コーヒーフレッシュ
5mℓ×40コ
198円

33

日東
紅茶 ティーバック
100袋 [通]698円
298円

34

岩塚
ひょうばん焼
15枚入 [通]188円
168円

35

味覚糖
ピアピア
148g [通]500円
400円

36

ロッテ
チョコブッセ
6コ入 [通]278円
198円

37

キリン一番搾り
350mℓ×24缶 [通]4,752円
4,380円
丹波の組合員様は米、酒注文ハガキで
姫路西の組合員様は酒類注文ハガキで
但馬の組合員様は電話でご注文ください。

38

ブルボン
エリーゼ ファミリーサイズ
62本入 [通]348円
298円

39

モンテール
フルーツ ケーキ
1本
350円

40

本格麦焼酎
四季物語(25°)
1.8ℓ [通]860円
838円
丹波の組合員様は米、酒注文ハガキで
姫路西の組合員様は酒類注文ハガキで
但馬の組合員様は電話でご注文ください。

41

コープスタイル
北海道 3.6牛乳
1,000mℓ [通]219円
199円

42

コープスタイル
霧島 3.5牛乳
500mℓ
128円

43

サッポロ
黒ラベル
350mℓ×24缶 [通]4,752円
4,380円
丹波の組合員様は米、酒注文ハガキで
姫路西の組合員様は酒類注文ハガキで
但馬の組合員様は電話でご注文ください。

44

コープスタイル
低脂肪1.5 ローファット ミルク
1,000mℓ
178円

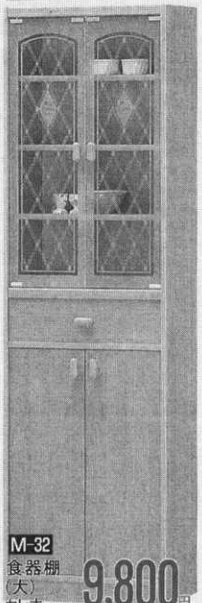
45

コーポポト
無脂肪乳 ノンファット ミルク
1,000mℓ
178円

CO·OP めーむII
■ご注文は裏面の注文書もしくは、お電話にて承ります。
くらしの百科〈臨時号〉
■商品配達日について
お届けは商品によって異なります。
詳しくは担当者までおたずねください。
商品は十分用意いたしておりますが、万一
品切れの場合は悪しからずご了承ください。
■価格有効期限:3月末日
調理用品から家電品まで多数品揃えしています。
キッチン用品
M-1 岩城ガラス ティーポットパーティ 480円
●1ℓ●耐熱ガラスで直火OK
M-2 ステンレス三徳包丁 980円
M-3 プラスチックまな板 498円
●37×21×高さ1.5cm●プラスチックで衛生的
M-4 フッ素コート魚焼器 980円
●こびりつきにくく、お手入れ簡単
M-5 ステンレスケットル 1,980円
●2.5ℓ●18-8ステンレス
M-6 三層鋼鍋2点セット (片手18cm・両手20cm) 2,680円
●18-10ステンレス、鉄の三層鋼●電磁調理器OK
M-7 ゆきひら鍋 500円
●18cm●本体:アルミニウム、柄:木柄
M-8 フジマルフライパン 980円
●26cm●シルバーストーン加工●柄:ベークライト
キッチン家電
100台限り
M-9 ナショナル電磁調理器 KZ-P3 17,800円
M-10 東芝 マイコン炊飯ジャー RCK-W10A 9,800円
M-11 RCK-W18A 11,800円
M-12 フジマル ホットプレート HT-M60G 5,480円
100台限り
M-13 シャープオーブンレンジ&トースター RE-F596 29,800円
M-14 日立3ドア冷蔵庫 R-25VC 89,800円
M-15 イワタニオーブントースター IH-820 1,980円
M-16 電気鍋 EP-4152 3,980円
テレビ・ビデオ・ラジカセ
M-17 シャープ14型カラーテレビ 14C-L10 19,800円
M-18 シャープ20型カラーテレビ 20C-M4 29,800円
★金利・手数料なしの 10回払いOK!!
M-19 ソニー16型ワイドテレビ KV-16GW1 44,800円
★金利・手数料なしの 10回払いOK
M-20 東芝 ビデオ内蔵14型カラーテレビ 14V7G 54,800円
★金利・手数料なしの 10回払いOK
M-21 シャープ HI-FIビデオ VC-HF40 38,800円
M-22 サンヨー CDダブルラジカセ PH-PR750 16,800円
M-23 サンヨーモノラルラジカセ U4-A55 5,480円
M-24 アイワファミリーラジオ 3,800円
照明器具
M-25 コイズミ洋風ペンダント BP-0649 3,980円
M-26 コイズミ洋風ペンダント BP-0600 3,980円
M-27 コイズミ洋風ペンダント BP-1043 4,980円
M-28 コイズミ インバータ学習スタンド BTN-7589 4,980円
●コンパクト蛍光灯●目にやさしいインバータ
洗濯機
M-29 シャープ二槽式洗濯機 ES-25E 19,800円
クリーナー
M-30 シャープクリーナー EC-L6F 12,800円
M-31 東芝スチームアイロン TA-Z3 6,980円
●カセット式タンク●1,000W

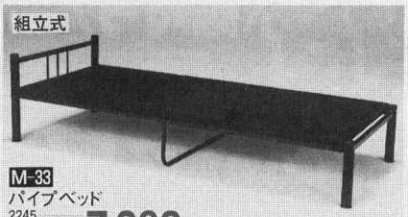
くらしの品々を集めて、コープがお届けします。

組立式



M-32
食器棚（大）
セレナ
9,800円
税27,400円 ●53.1×29.7×180cm●プリント化粧合板●移動棚4枚●転倒防止金具付●ナチュラル

組立式



M-33
パイプベッド
2245
7,980円
●85×206×52×マット面高33cm●ブラック

M-34
だ円テーブル
No.20-5
9,800円
税16,000円 ●90×60×31.5cm●折れ脚式●ブラウン

M-35
パイプイス
スパーク
1,980円
税3,300円 ●39×43.3×71×座面高40cm●ブラック

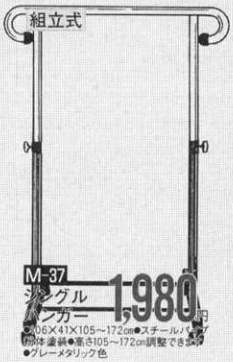
組立式

M-38
ファンシーケース
2,980円
●60×50×165cm●本体：スチール、カバー：塩化ビニール●簡易ロッカー

組立式

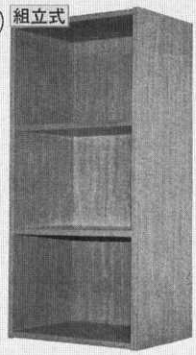
M-36
カジュアルデスク
FS201N-AB
19,800円
税33,000円 ●100×60×70cm●ブラック

組立式



M-37
シングル
ハンガー
1,980円
●206×41×105～172cm●スチール（静電塗装）●高さ105～172cm調整できます●グレーメタリック色

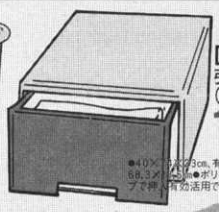
組立式



M-39
カラー
BOX
1,980円
●43.9×29.3×89.3cm●ナチュラル

M-40
押入用ロング3段ケース
5,980円
●40×74×70cm、有効内サイズ：33×70×18cm×3コ●ポリプロピレン●奥深タイプ収納量タップリ

M-41
フタ式収納ケース
980円
●40×74×33.5cm、有効内サイズ：36.5×69.4×27cm●ポリプロピレン●クリア



M-42
引出しケース（ビッグ）
1,780円
●40×74×23cm、有効内サイズ：34.5×69.3×18cm●ポリプロピレン●奥深タイプで押入れ有効活用できます

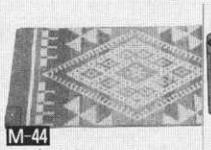
江戸間

折りたたみカーペット

M-53
4,500円
●4.5帖●261×261cm

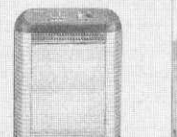
M-54
6,000円
●6帖●261×352cm
※色・柄・材質はおまかせください。

M-43
モリタ
電気カーペット EC-208C
14,800円
●2畳タイプ●本体：180×180cm、カバー：185×185cm●速温機能●3・5時間OFFタイマー●ダニ退治機能●左右暖房面積切替●コードフリーターン着脱式（コード長さ2m）●ポリッシャー仕上げ



M-44
コープスタイル
電気カーペット
EC-104
7,980円
●1畳タイプ●180×90cm●速温機能●3・5時間OFFタイマー●ダニ退治機能●コード着脱式●消費電力：200W

M-45
モリタ カジュアルコタツ
FK-757A
7,980円
税20,800円 ●75×75×37cm●天板：強化化粧板●樹脂脚：3cm●ヒーター500W●石英管ヒーター2灯式●ブラック

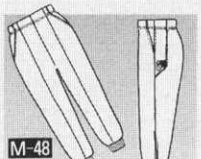


M-46
モリタ
クオーツ
ヒーター
MS-800FQ
7,980円
税15,800円 ●36×32×56.5cm●傾・回2段切替●温調オフスイッチ付●消費電力：800W/400W・400W/●グレー

M-47
モリタ電気敷毛布
FB-2LW
2枚組
9,800円
税20,000円 ●180×93cm●足元から肩までのゆったりサイズ●室温センサー付きで朝まで心地良い暖かさ●防菌防臭繊維使用●家庭で丸洗いOK●消費電力：55W●ポリエステル50%・アクリル50%

掛・敷布団、枕の3点セット（シングル）

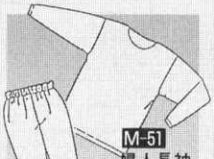
M-55
8,800円
●掛・敷ふとん（側生地）：綿100%、（中綿）：綿・ポリエステル混＋半パイプ枕（ピロケース付）●ピンク・ブルー



M-48
男女兼用
ブリスター
ジャージ
パンツ
1,680円
●適応ウエストサイズ：M（72～80cm）・L（78～88cm）・LL（86～96cm）●ポリエステル80%・綿10%●男女兼用●裾ファスナー付●両脇刺しゅうあり●ブルー・コン・クロ●また下丈：M（73cm）・L（74cm）・LL（75cm）

M-49
男女兼用キャップ
500円
税1,500円 ●頭囲：55～59cm●綿100%●男女兼用タイプのソフトキャップ●カツラギ地の2度洗い素材●アジャスター付きでどなたにもぴったり●コン

M-50
レディース兼用
切替ニット
スーツ
2,000円
税3,900円 ●適応身長：M（160～170cm）・L（170～180cm）●ポリエステル75%・レーヨン15%・綿10%、切り替えカラー部：ポリエステル88%・綿12%●グリーン・エンジ●ズボン前閉じ



M-51
婦人長袖
Tシャツ
&スパッツ
1,280円
●M～L●適応サイズ：バスト（79～94cm）・ヒップ（85～98cm）●商品サイズ：股下67cm●綿100%●ネイビー・マゼンダピンク

M-52
男女兼用
レイン
スーツ
2,900円
税4,800円 ●適応身長：M（160～170cm）・L（170～180cm）・LL（175～185cm）●ナイロン100%、ビニールコーティング●ネイビー・エンジ・ターコイズ

マイヤー毛布（2枚合せ）

M-56
3,900円
●140×200cm●アクリル100%、目付：約2.4kg●ピンク・ブルー

M-57
婦人長ぐつ
（メリーレイン）
1,000円
税1,800円 ●22.5～25cm●ゴム●プレーンなタイプのレインシューズ●紺

CO・OP 注文・問い合わせ欄

記号	品名	色	名数	量

お名まえ　TEL
おところ
区域番号
組合員番号

お問い合わせ、ご注文は訪問協同購入センターへ

協同購入センター

北　神	(078) 952-0811	川　西	(0727) 94-0453	宝　塚	(0797) 72-0701
伊　丹	(0727) 72-0634	尼　崎	(06) 421-4391	丹　波	(0795) 94-3682
西　宮	(0798) 74-2611	西宮北	(0798) 54-0101	甲　南	(078) 822-6789
六　甲	(078) 822-6262	三　木	(0794) 85-0090	鈴蘭台	(078) 591-1061
須　磨	(078) 732-5881	垂　水	(078) 921-0580	明　石	(078) 921-0570
加古川	(0794) 26-2424	姫　路	(0792) 64-5230	姫路西	(0792) 76-5600
但　馬	(0796) 62-8515	淡　路	(0799) 46-0080		

表示価格には、消費税は含まれておりません。

CO・OP

生協組合員のみなさまへ

このたびの阪神大震災により、被災されました地域のみなさまに対しまして、
心からお見舞いを申し上げるとともに、一日も早い復旧をお祈りいたします。

当生協におきましても、多大な損害を受け、組合員のみなさまに大変ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。
現在、事業の復興に向け全力で取り組んでおります。
組合員のみなさまには、大変ご不便をおかけいたしますが、なにとぞご理解のうえ、ご支援いただきますようお願い申しあげます。

生活協同組合コープこうべ　組合長　木村正人

広告の品取り扱い店舗

（店舗の修復状況により、営業時間が異なります。
生鮮食料品など一部の商品の取り扱いができていない店があります。ご了承ください。）

■コープ

ふ園川
め楽庫
苦武江
深

上記店舗の2月定休日
2/16(木)

■コープデイズ

芦屋（JR芦屋駅北）
地階で食品と一部日用品、衣料品で営業しています。
上記店舗の2月定休日
2/22(水)

西宮（JR西ノ宮駅南）
地階で食品と一部日用品、衣料品で営業しています。
上記店舗の2月定休日
2/21(火)

■シーア

（JR住吉ターミナルビル内）
1階で食品と一部日用品、衣料品で営業しています。

2/11(土)・12(日)限りのご奉仕品

※ご奉仕品は多数品揃えしておりますが、万一品切れの節はご容赦ください。

- 寿がきや カップラーメン花浪漫（あっさりバター風味74g・すっきりゆず風味73g）㊞140円
- 日清 どん兵衛 98g
- 日清 UFO焼そば 128g

㊞138円 各 **98円**

- クラーク 厚手ポリ袋 10枚入 ㊞158円 **48円**

COOP・STYLE
- コープロールソフトシングル 70m×16ロール ㊞792円 **398円**

- 白水の水 1ℓ ㊞100円 **50円**

co-op
- レトルトカレー（甘口・中辛）200g **78円**

グリコ
- ベルジャンチョコマカダミア 7粒入 ㊞350円 **298円**

ヤマザキナビスコ
- リッツスタックパック 29枚×3本入 ㊞298円 **248円**

- チャームナップミニ 102コ入 ㊞760円 **398円**

㊞は平日価格、㊞はメーカー希望小売価格の略です。

店頭や駐車場など店舗の一部で営業を続けています。

（2/2現在）

（下記店舗は広告の品は実施しておりません）

■コープ

仁川　甲南
夙川　御影　北甲
北口　六甲
甲子園口北　摩耶
浜芦屋　須磨
渦森台

店舗の修復状況により、営業時間が異なります。
（生鮮食料品など一部の商品の取り扱いができていない店があります。ご了承ください。）

上記店舗の2月定休日
2/16(木)

■コープ舞子は営業しておりません

'95 古紙を40%以上使った再生紙を使用しています。

コープは組合員のお店です。生協にご加入の上、ご利用ください。

各事業所の営業状況
(2月2日現在)

装いのコープ
営業しております。大切な着物、毛皮、宝飾品のクリーニング、洗い張り、しみ抜き、修理などのご要望がございましたらお気軽にご相談ください。
●お問い合わせは下記フリーダイヤルまで
尼　崎　0120-400129
西　宮　0120-400145
灘　　0120-400146
垂　水　0120-400174
加古川　0120-400175

住まいのコープ
営業しております。
住まいの補修・改修のご相談承ります。
●お問い合わせは下記フリーダイヤルまで
東部　0120-415271
中部　0120-415272
西部　0120-415273

サービスセンター
(家電品の修理)
営業しております。
家電品の修理はお近くのサービスセンターにご連絡ください。
東部(西宮市)　0798-48-6831
中部(東灘区)　078-412-2051
西部(明石市)　078-913-6490
姫路(姫路市)　0792-53-2561

協同購入センター
システムを変更して、営業しております。
コンピューターによる「めーむ」の受注システムが損傷したため、取り扱い商品が限定された形となります。

コープカタログセンター
営業しております。
※ただしコンピューター損傷のため、お支払い方法は代金引き替えのみでお願いいたします。
●お問い合わせは
フリーダイヤル
0120-200088へ

アニパ
卒業式用袴など貸衣装については
ご予約通りご利用いただけます。
営業時間は当分の間午前10時から
午後3時までとさせていただきます。
尚、電話でのお問い合わせは5時まで
承ります。(定休日:水曜日)
電話番号が078-411-5769に変更となりました。

コープ共済センター
CO・OP共済ご加入の組合員様に、速やかに共済金とお見舞金のお支払いに向けて、全力を尽くしております。CO・OP共済〈たすけあい〉、CO・OP生命共済〈あいあい〉、またはCO・OP火災共済にご加入で給付申請をされる組合員の皆様は、下記へご連絡くださいますようお願いいたします。共済掛金についてのお問い合わせも承っています。
●お問い合わせ先　078-842-2961
またはフリーダイヤル　0120-497000
(受付時間　午前9時～午後6時)
生活協同組合コープこうべ
日本生活協同組合連合会

コープミニ
全店営業しております。
ただし店舗により営業時間が変更になる場合があります。
年中無休
(ただし正月3日間は休み)

CO-OPステーション
ステーション誌は3月号(2/10発行)については休刊させていただきました。
●お問い合わせは
ダイヤル HOT LINE
078-842-3636
(電話番号が変わりました)

クレリ案内センター
●お問い合わせ先
078-413-2121
(24時間受付)

1995年度 地域コープ委員の募集について
●コープ委員とはその地域の組合員の声を聞き生協の運営に生かしたり組合員の活動を広げたりします。
●組合員とその家族ならだれでも立候補できます。
・**立候補、推薦、受付期間**
2月25日(土)まで受付け中。
※一部地域により2月20日(月)～3月16日(木)となります。
・**店舗サービスコーナーにて受付けています。**

コープこうべへのお問い合わせは
コープベル フリーダイヤル **0120-443100まで**

表示価格には、消費税は含まれておりません。

CO・OP

生協組合員のみなさまへ

このたびの阪神大震災により、被災されました地域のみなさまに対しまして、心からお見舞いを申し上げるとともに、一日も早い復旧をお祈りいたします。当生協におきましても、多大な損害を受け、組合員のみなさまに大変ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。現在、事業の復興に向け全力で取り組んでおります。

組合員のみなさまには、大変ご不便をおかけいたしますが、なにとぞご理解のうえ、ご支援いただきますようお願い申しあげます。

生活協同組合コープこうべ　組合長　木村正人

広告商品ご奉仕日
2/11(土)・12(日)

※ご奉仕品は多数品揃えしておりますが、万一品切れの節はご容赦ください。

〈広告の品取り扱い店舗〉

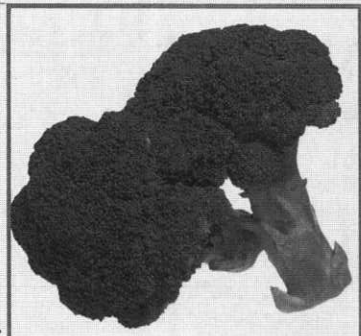
■コープ　下記店舗の2月定休日 2月16日(木)

山本	武庫之荘	浜甲団地	からと	鈴蘭星和台	北須磨	朝霧	東加古川
宝塚	塚口	甲陽園	有野	サンパル	横尾	垂水東	神吉
中山台	園田	甲東園	鈴蘭台東	青谷	桃山台	新多聞	高砂
安倉	立花	甲子園中	北鈴蘭台	山手	大久保	高丸	姫路田寺
うねの	大庄	打出浜	西鈴蘭台	丸山	西神	西明石	姫路白浜
伊丹	香櫨園	六甲アイランド	桜が丘	白川台	福田	大蔵谷	
こや	甲子園口南	鶴甲	三木緑が丘	長田	塩屋	魚住	
野間	浜甲子園	岡本	志染	名谷	神陵台	稲美	

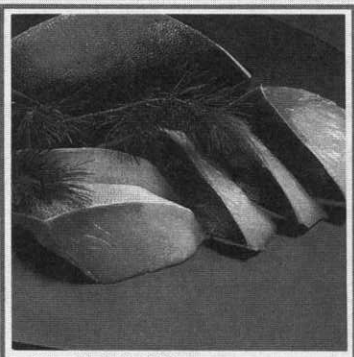
※コープ舞子は営業しておりません。

■コープデイズ　下記店舗の2月定休日 2月21日(火)
神戸西・神戸北町・西神南

●店舗の修復状況により、営業時間が異なります
道路事情により商品の入荷がなく、品揃えができない場合は繰り上げて閉店する場合があります。生鮮食料品など一部の商品の取り扱いができていない店があります。



（アメリカ産）
•ブロッコリー
1株
78円



（九州玄海灘）
•活ぶり(養殖)
100gにつき
198円

•和牛ももうすぎり
平100gにつき498円
1パック
(300g)
980円

（愛媛県西宇和農協八協から）
•伊予柑
Lサイズ 4コ
280円

（広島県倉橋島から）
•広島かき(加熱調理用)
150g入
298円

クイーンズハートビーフ
（オーストラリア産）
•牛肉肩ロースうすぎり
100gにつき 平278円
198円

阪神大震災被災者「救援募金」を受付けています。

組合員のみなさまからお寄せいただいた募金はコープこうべとしてまとめて、被災者の救援に役立てます。

店舗サービスコーナーにて受付けています。

阪神大震災救援活動ボランティア募集

「愛と協同」の理念のもとにコープこうべではボランティアに参加してくださる方を募集しています。お問い合わせ、応募は下記の窓口までお電話でお願いします。

コープこうべ ボランティア支援窓口
078-411-5615

冬物 外装衣料品・パジャマ類
売りつくし市 平日価格から 半額

通常、衣料取り扱い店のみのご奉仕です。ただし、被災により取り扱いのできない店舗があります。ご了承ください。詳しくは店舗にてお問い合わせください。

※平は平日価格、メはメーカー希望小売価格の略です。

'95 古紙を40%以上使った再生紙を使用しています。

コープは組合員のお店です。生協にご加入の上、ご利用ください。

表示価格には、消費税は含まれておりません。

CO·OP 2/11(土)・12(日)限りのご奉仕品

■取り扱い店舗は表面店名をご確認ください。
●ご奉仕品は多数品揃えしておりますが、万一、品切れの節はご容赦ください。

●日清どん兵衛98g
●日清UFO焼そば128g
平138円
●寿がきやカップラーメン花浪漫
(あっさりバター風味74g・すっきりゆず風味73g) 平140円

各98円

●コープ3.6牛乳
1,000mℓ 平208円

189円

●雪印ネオソフト
450g 平332円

178円

●コープロール ソフトシングル
70m×16ロール
平792円

398円

ヤマザキナビスコ
●リッツ スタックパック
29枚×3本入
平298円

248円

マ・マー
●マカロニ
●スパゲティー
300g 平163円

各100円

良品 低価格
COOP·STYLE
●ちくわ
4本

95円

クラーク
●厚手ポリ袋
10枚入 図158円

48円

グリコ
●ベルジャンチョコマカダミア
7粒入 平350円

298円

ミツカン
●本てり
●料理酒
500mℓ 平338円

各198円

花王
●マジックリン
500mℓ 平260円

168円

●チャームナップミニ
102コ 平760円

398円

平は平日価格、図はメーカー希望小売価格の略です。

1995年度 地域コープ委員の募集について

・コープ委員とはその地域の組合員の声を聞き生協の運営に生かしたり組合員の活動を広げたりします。
・組合員とその家族ならだれでも立候補出来ます。
・立候補、推薦、受付期間
2月25日(土)まで受付け中。
※一部地域により2月20日(月)～3月16日(木)となります。
・店舗サービスコーナーにて受付けています。

各事業所の営業状況
(2月2日現在)

■協同購入センター
システムを変更して、営業しております。コンピューターによる「めーむ」の受注システムが損傷したため、取り扱い商品が限定された形となります。

■コープミニ
全店営業しております。ただし店舗により営業時間が変更になる場合があります。**年中無休**(ただし正月3日間は休み)

■装いのコープ
営業しております。大切な着物、毛皮、宝飾品のクリーニング、洗い張り、しみ抜き、修理などのご要望がございましたらお気軽にご相談ください。
●お問い合わせは下記フリーダイヤルまで
尼崎 0120-400129　西宮 0120-400145
灘 0120-400146　垂水 0120-400174
加古川 0120-400175

■住まいのコープ
営業しております。住まいの補修・改修のご相談承ります。
●お問い合わせは下記フリーダイヤルまで
東部 0120-415271　中部 0120-415272
西部 0120-415273

■サービスセンター(家電品の修理)
営業しております。家電品の修理はお近くのサービスセンターにご連絡ください。
東部(西宮市) 0798-48-6831　中部(東灘区) 078-412-2051
西部(明石市) 078-913-6490　姫路(姫路市) 0792-53-2561

■コープカタログセンター
営業しております。
※ただしコンピューター損傷のため、お支払い方法は代金引き替えのみでお願いいたします。
お問い合わせは フリーダイヤル 0120-200088へ

■CO-OPステーション
ステーション誌は3月号(2/10発行)については休刊させていただきました。
●お問い合わせは ダイヤルHOTLINE 078-842-3636
(電話番号がかわりました)

■アニバ
卒業式用袴など貸衣装についてはご予約通りご利用いただけます。
営業時間は当分の間午前10時から午後3時までとさせていただきます。尚、電話でのお問い合わせは5時まで承ります。
(定休日:水曜日)
電話番号が078-411-5769に変更となりました。

■クレリ案内センター
●お問い合わせ先 078-413-2121(24時間受付)

■コープ共済センター
CO·OP共済ご加入の組合員様に、速やかに共済金とお見舞金のお支払いに向けて、全力を尽くしております。CO·OP共済〈たすけあい〉、CO·OP生命共済〈あいあい〉、またはCO·OP火災共済にご加入で給付申請をされる組合員の皆様は、下記へご連絡くださいますようお願いいたします。共済掛金についてのお問い合わせも承っています。
●お問い合わせ先
078-842-2961または、フリーダイヤル 0120-497000
(受付時間 午前9時～午後6時)

生活協同組合コープこうべ
日本生活協同組合連合会

コープこうべへのお問い合わせは
コープベル 0120-443100まで

'95 古紙を40%以上使った再生紙を使用しています。

コープは組合員のお店です。生協にご加入の上、ご利用ください。

表示価格には、消費税は含まれておりません。

CO・OP

生協組合員のみなさまへ

このたび阪神大震災により被災されました地域のみなさまに対しまして、心からお見舞を申し上げますとともに、一日も早い復旧をお祈りいたします。

広告商品ご奉仕日 2/17(金)~19(日)

※ご奉仕の品は多数品揃えしておりますが、万一、品切れの節はご容赦ください。

〈広告の品取り扱い店舗〉

■コープ 武庫川
☎0798(49)6503
2月は休まず営業します。

■コープデイズ 芦屋
(JR芦屋駅北)
☎0797(31)2222
地階で食品と一部日用品、衣料品で営業しています。
2月定休日
2月22日(水)

■シーア 西宮
(JR西ノ宮駅南)
☎0798(26)5660
地階で食品と一部日用品、衣料品で営業しています。
2月定休日
2月21日(火)

■シーア
(JR住吉ターミナルビル内)
☎078(811)0001
1階で食品と一部日用品、衣料品で営業しています。
2月定休日
2月21日(火)

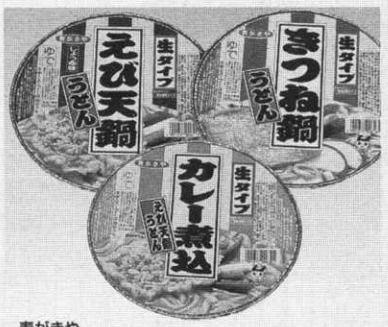
※店舗へのお電話は、番号をお確かめの上、おかけくださいますようお願いします。

下記店舗は広告の品は実施しておりませんが
店頭や駐車場など仮設売場で営業を続けています。

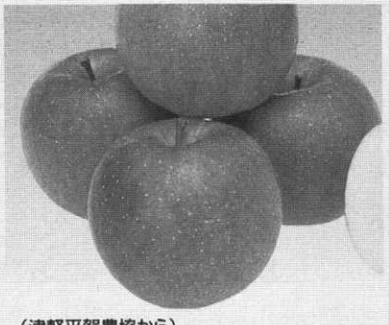
■コープ 2月は休まず営業します

仁	川	甲子園口北	御影北	摩	耶
夙	川	渦森台	六	甲	須磨
北	口	甲	南		

●コープ舞子は営業しておりません



寿がきや
•えび天鍋うどん 226g
•きつね鍋うどん 234g
•カレー煮込み鍋うどん 230g
㊢188円
各 108円



(津軽平賀農協から)
•サンふじりんご 1袋
298円

COOP・STYLE
•神戸ブレッド
6・5・4枚切
㊢163円
各 148円

お湯をそそぐだけで簡単おみそ汁
旭松
•生みそずい
(合わせ・赤だし・白みそ)
4人前 ㊢158円
各 118円

ロッテ
•ミルクチョコレート
300g ㊢438円
ブルボン
•エリーゼファミリーサイズ
62本入 ㊢348円
各 298円

電子レンジであたためるだけ
さとう
•ごはん(銀シャリ)
200g ㊢148円
100円

花王
•ファミリーフレッシュ
600mℓ
㊢198円
128円

•ゆきひら鍋
18cm
㊢398円
298円

2/18(土)限り

お1人様2本限り

フリーザーから電子レンジまで
•サランラップレギュラー
30cm×20m、
ポリ塩化ビニリデン
㊢188円
98円

2/19(日)限り

•クリネックスティシュー
400枚(200組)×5コ組
㊢790円
278円

㊢は平日価格、☒はメーカー希望小売価格の略号です。

'95 見つめよう 暮らしと地球 古紙を40%以上使った再生紙を使用しています。

コープは組合員のお店です。生協にご加入の上、ご利用ください。

各事業所の営業状況
(2月11日現在)

装いのコープ
営業しております。大切な着物、毛皮、宝飾品のクリーニング、洗い張り、しみ抜き、修理などのご要望がございましたらお気軽にご相談ください。
●お問い合わせは下記フリーダイヤルまで
尼　崎　0120-400129
西　宮　0120-400145
灘　　0120-400146
垂　水　0120-400174
加古川　0120-400175

住まいのコープ
営業しております。
住まいの補修・改修のご相談承ります。
●お問い合わせは下記フリーダイヤルまで
東部　0120-415271
中部　0120-415272
西部　0120-415273

サービスセンター
(家電品の修理)
営業しております。
家電品の修理はお近くのサービスセンターにご連絡ください。
東部(西宮市)　0798-48-6831
中部(東灘区)　078-412-2051
西部(明石市)　078-913-6490
姫路(姫路市)　0792-53-2561

協同購入センター
「めーむダイジェスト版」によるご注文の承りを開始し、従来どおりのサイクルでの注文書配布・回収・配達に戻っています。当面、掲載点数は約50～70点と、生活基礎商品に限られたお届けになっていますが、3月からは従来の協同購入システムがご利用いただけるよう準備をすすめております。

コープカタログセンター
営業しております。
※ただしお支払い方法は代金引き替えのみでお願いいたします。
●ご注文の受付けは
フリーダイヤル
0120-200088
●お問い合わせは
078-795-9000

アニパ
卒業式用袴など貸衣装については
ご予約通りご利用いただけます。
営業時間は当分の間午前10時から
午後3時までとさせていただきます。
尚、電話でのお問い合わせは5時まで
承ります。(定休日:水曜日)
電話番号が078-411-5769に変更となりました。

コープ共済センター
CO・OP共済の掛金振り替えについて
2～4月分の掛金につきましては4月5日に申し受けますのでご了承いただきますようお願いします。
なお、掛金未振替期間(2、3月分)の保障は継続されていますのでご安心ください。
●お問い合わせは下記フリーダイヤルまで
0120-529431　0120-497000
生活協同組合コープこうべ
日本生活協同組合連合会

コープミニ
全店営業しております。
ただし店舗により営業時間が変更になる場合があります。
年中無休
(ただし正月3日間は休み)

CO-OPステーション
ステーション誌は3月号(2/10号)は休刊させていただきました。
4月号(3/10号)については発行します。
●お問い合わせは
ダイヤル HOT LINE
078-842-3636
(電話番号が変わりました)

クレリ案内センター
クレリのお葬儀ご相談(24時間受付)
仏壇・墓石のご相談(午前9時～午後7時)
●お問い合わせ先
078-413-2121へ

1995年度 地域コープ委員の募集について
- コープ委員とはその地域の組合員の声を聞き生協の運営に生かしたり組合員の活動を広げたりします。
- 組合員とその家族ならだれでも立候補できます。

- **立候補、推薦、受付期間**
  2月25日(土)まで受付け中。
  ※一部地域により2月20日(月)～3月16日(木)となります。
- **店舗サービスコーナーにて受付けています。**

コープこうべへのお問い合わせは
フリーダイヤル
コープベル 0120-443100まで

表示価格には、消費税は含まれておりません。

CO・OP

生協組合員のみなさまへ

このたび阪神大震災により被災されました地域のみなさまに対しまして、心からお見舞を申し上げますとともに、一日も早い復旧をお祈りいたします。

広告商品ご奉仕日 2/17(金)~19(日)

※ご奉仕の品は多数品揃えしておりますが、万一、品切れの節はご容赦ください。

〈広告の品取り扱い店舗〉

■コープ

山本 ☎0797(88)7733	うねの ☎0727(94)5501	塚口 ☎06(421)1503	甲子園口南 ☎0798(67)6771	苦楽園 ☎0798(73)4593	岡本 ☎078(411)1651
宝塚 ☎0797(71)6881	伊丹 ☎0727(72)0631	園田 ☎06(491)0281	浜甲子園 ☎0798(47)2761	甲子園中 ☎0798(46)1201	鶴甲 ☎078(821)1151
めふこや ☎0797(84)1131	立花 ☎0727(83)2501	浜甲団地 ☎06(427)6000	打出浜 ☎0798(47)4529	サンパル ☎0797(22)3882	☎078(231)3801
中山台 ☎0797(89)2778	野間 ☎0727(79)1321	大庄 ☎06(419)6041	甲陽園 ☎0798(73)5775	六甲アイランド ☎078(857)1870	青谷 ☎078(241)0543
安倉 ☎0797(87)1500	武庫之荘 ☎06(436)0001	香櫨園 ☎0798(34)1088	甲東園 ☎0798(52)7501	深江 ☎078(441)0731	山手 ☎078(241)3066

2月は休まず営業いたします

※コープへのお電話は、番号をお確かめの上、おかけくださいますようお願いします。

●コープ舞子は営業しておりません

阪神大震災救援活動 ボランティア募集

こんな事を手伝って欲しい等も受付けています。

「愛と協同」の理念のもとにコープこうべでは、ボランティアに参加してくださる方を募集しています。また、ボランティアで手伝って欲しい事(家の荷物を出したい等)も同時募集しています。

●お問い合わせ、応募は下記の窓口までお電話でお願いします。

コープこうべボランティア支援窓口
フリーダイヤル 0120-44-5700

阪神大震災被災者「救援募金」を受付けています。

組合員のみなさまからお寄せいただいた募金はコープこうべとしてまとめて、被災者の救援に役立てます。

店舗サービスコーナーにて受付けています。

2/17(金)限り

●国産牛肉もも赤身ブロック
100gにつき 平398円
半額 199円

※ただし、赤玉は除きます。

お1人様合計2パック限り

●たまご・10コ詰
Lサイズ 98円
Mサイズ 88円

お1人様合計2本限り

ネスカフェ ●ゴールドブレンド
AGF ●マキシムコーヒー
150g 平1,088円
各 698円

2/18(土)限り

サランラップ Saran Wrap

お1人様2本限り

フリーザーから電子レンジまで
●サランラップレギュラー
30cm×20m、ポリ塩化ビニリデン
平188円
4.7割引 98円

2/19(日)限り

(中国産) ●生しいたけ 1パック 128円

●クリネックスティシュー
400枚(200組)×5コ組
平790円
278円

冬物 外装衣料品・パジャマ類

売りつくし市 半額以下の均一

婦人
●セーター●ジャケット●コート
●トレーナー●スカート●パンツ

紳士
●ジャンパー●コート
●トレーナー●カジュアルシャツ

男・女児
●ジャンパー●コート
●トレーナー

※通常、衣料取り扱い店のみのご奉仕です。ただし、被災により取り扱いのできない店舗があります。ご了承ください。詳しくは、店舗にてお問い合わせください。

平は平日価格、☒はメーカー希望小売価格の略号です。

'95 古紙を40%以上使った再生紙を使用しています。

コープは組合員のお店です。生協にご加入の上、ご利用ください。

生協組合員のみなさまへ

広告商品ご奉仕日 2/17(金)～19(日)

表示価格には、消費税は含まれておりません。

17(金)・18(土)限り
(福岡県産)
•えのき茸(得用) 1袋 98円

(愛媛県宇和島下波漁協から)
•活本鯛(養殖)短冊
1/4身
腹身 480円
背身 680円
•本鯛(養殖)鍋用 1パック 980円

•国産牛肉ももうすぎり
100gにつき 円368円
4割引 220円

COOP・STYLE
•コープ3.6牛乳
1,000mℓ 円208円
189円

お待たせいたしました

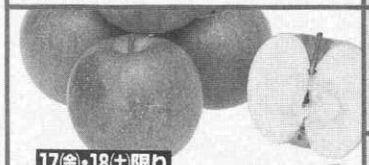
長い間ご迷惑をおかけしておりましたがコープの六甲アイランド食品工場の生産をやっと再開させることができました。
全面再開までには、もうしばらくかかりますが、生産可能な商品からお店に届けてまいります。
今後とも、おいしくて安全な商品の生産になお一層努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。

•神戸ブレッド
(6・5・4枚切)
円163円
各148円

寿がきや
•えび天鍋うどん 226g
•きつね鍋うどん 234g
•カレー煮込み鍋うどん 230g 円188円
各108円

カネテツデリカフーズ
•ごぼうてん5本入 円148円
•かくてん4枚入 円148円
各95円

•ゆきひら鍋
18cm 円398円
298円



17(金)・18(土)限り
(津軽平賀農協)
•サンふじりんご 1袋 298円

(ロシア産)
•生たらばがに 500g入 1,780円

(アメリカ産)
•牛肉サーロインステーキ用
円100gにつき 398円
3枚入(510g) 1,280円

(カナダ・フレーザーリバーから)
•塩紅さけ(中塩)
100gにつき 198円

•国産豚肉背ロース
(うすぎり・トンカツ用)
100gにつき 円218円
各188円

•ロッテミルクチョコレート 300g 円438円
•ブルボンエリーゼファミリーサイズ 62本入 円348円
各298円

•ミツカン味つけぽん酢 360mℓ 円258円
198円

花王
•ファミリーフレッシュ 600mℓ 円198円
128円

各事業所の営業状況
(2月11日現在)

協同購入センター
「めーむダイジェスト版」によるご注文の承りを開始し、従来どおりのサイクルでの注文書配布・回収・配達に戻っています。当面、掲載点数は約50～70点と、生活基礎商品に限られたお届けになっていますが、3月からは従来の協同購入システムがご利用いただけるよう準備をすすめております。

コープカタログセンター
営業しております。
※ただしお支払い方法は代金引き替えのみでお願いいたします。
●ご注文の受付けは フリーダイヤル 0120-200088
●お問い合わせは 078-795-9000

アニパ
卒業式用袴など貸衣装についてはご予約通りご利用いただけます。
営業時間は当分の間午前10時から午後3時までとさせていただきます。尚、電話でのお問い合わせは5時まで承ります。(定休日:水曜日)
電話番号が078-411-5769に変更となりました。

装いのコープ
営業しております。大切な着物、毛皮、宝飾品のクリーニング、洗い張り、しみ抜き、修理などのご要望がございましたらお気軽にご相談ください。
●お問い合わせは下記フリーダイヤルまで
尼崎 0120-400129
西宮 0120-400145
灘 0120-400146
垂水 0120-400174
加古川 0120-400175

コープ共済センター
CO・OP共済の掛金振り替えについて
2～4月分の掛金につきましては4月5日に申し受けますのでご了承いただきますようお願いします。
なお、掛金未振替期間(2,3月分)の保障は継続されていますのでご安心ください。
●お問い合わせは下記フリーダイヤルまで
0120-529431 0120-497000
生活協同組合コープこうべ
日本生活協同組合連合会

1995年度 地域コープ委員の募集について
•コープ委員とはその地域の組合員の声を聞き生協の運営に生かしたり組合員の活動を広げたりします。
•組合員とその家族ならだれでも立候補できます。
•立候補、推薦、受付期間 2月25日(土)まで受付け中。
※一部地域により 2月20日(月)～3月16日(木) となります。
•店舗サービスコーナーにて受付けています。

サービスセンター
(家電品の修理)
営業しております。
家電品の修理はお近くのサービスセンターにご連絡ください。
東部(西宮市) 0798-48-6831
中部(東灘区) 078-412-2051
西部(明石市) 078-913-6490
姫路(姫路市) 0792-53-2561

コープミニ
全店営業しております。
ただし店舗により営業時間が変更になる場合があります。
年中無休
(ただし正月3日間は休み)

CO-OPステーション
ステーション誌は3月号(2/10号)は休刊させていただきました。
4月号(3/10号)については発行します。
●お問い合わせは ダイヤル HOT LINE 078-842-3636 (電話番号が変わりました)

クレリ案内センター
クレリのお葬儀ご相談(24時間受付)
仏壇・墓石のご相談(午前9時～午後7時)
●お問い合わせ先 078-413-2121へ

住まいのコープ
営業しております。
住まいの補修・改修のご相談承ります。
●お問い合わせは下記フリーダイヤルまで
東部 0120-415271
中部 0120-415272
西部 0120-415273

コープこうべへのお問い合わせはコープベル(フリーダイヤル) 0120-443100まで

円は、平日価格の略です。

'95 古紙を40%以上使った再生紙を使用しています。

コープは組合員のお店です。生協にご加入の上、ご利用ください。

生協組合員のみなさまへ

表示価格には、消費税は含まれておりません。

2/28(火)限り コープの 新鮮 火曜市

毎日のくらしを特価で応援！
選びぬいた商品をおすすめします。

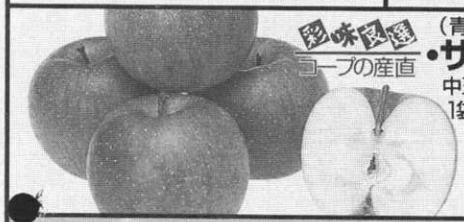
このたび阪神・淡路大震災により被災されました地域のみなさまに対しまして、心からお見舞を申し上げますとともに、一日も早い復旧をお祈りいたします。

（長野県産）
•本しめじ（ぶなしめじ）
1パック **98円**

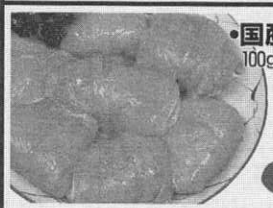
（福岡県みい農協から）
•サニーレタス
1株 **98円**

焼きたてに大根おろしをそえて
•開きさんま
1尾 **78円**

•国産豚肉もも ブロック
100gにつき 平175円
半額 87円



美味良選 コープの産直
（青森県津軽平賀農協から）
•サンふじりんご
中玉サイズ
1袋（4コ入） **298円**



•国産若どりむね肉
100gにつき 平88円
38円

COOP・STYLE
•ちくわ
3本入 平150円
ヤマサ
•シーフードスマイル
10本入
各 **100円**

お1人様2コ限り
•味の素 ほんだし
320g 平732円 **398円**

COOP・STYLE
•低脂肪乳1.5 ローファットミルク
copopote
•無脂肪乳 ノンファットミルク
1,000mℓ
平175円
各 **148円**

平は、平日価格の略です。

CO・OP

ご奉仕日
2/28(火)

■開店時間：朝10時～夜8時
※店舗により開店時間が異なる場合があります。

お近くのコープ コープデイズ シーアを ご利用ください

ただし下記の店舗は広告の品は実施しておりません

■ コープ
仁川・夙川・
北口・浜芦屋・
渦森台・御影北・
甲南・六甲・須磨

＊また、コープミニ全店・コープ東有野・六甲台・北神星和台・猪名川南・けやき坂・月ヶ丘・パークヒルズ・リビングセンター・ホームセンターは広告の品は実施しておりません。

コープ舞子は営業しておりません

3/2(木)も 休まず営業
＊コープ塩屋は休ませていただきます

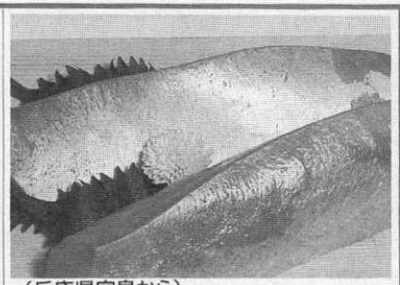
'95 古紙を40%以上使った再生紙を使用しています。

コープは組合員のお店です。生協にご加入の上、ご利用ください。

表示価格には、消費税は含まれておりません。

3/1 水 限り1

•国産牛肉もも うすぎり
100gにつき 円368円
半額 184円

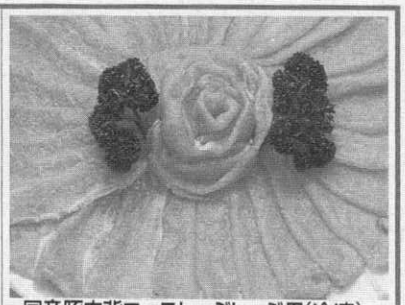


(兵庫県家島から)
•活つばす(養殖)
短冊 1/4身
腹身 380円
背身 580円

3/2 木 限り2

お1人様合計2本限り

•カルピス・カルピスオレンジ
550mℓ●円425円
各 298円



•国産豚肉背ロースしゃぶしゃぶ用(冷凍)
円100gにつき238円
1パック(340g)
580円

(愛媛県西宇和農協八協から)
•伊予柑
Lサイズ、5コ
390円

•皇蘭 豚まん
3コ入 円368円
298円

マルコメ
•料亭の味
1kg 円525円
298円

カゴメ
•トマトケチャップ
500g 円288円
178円

(宮崎県大東農協から)
•さつまいも
2Lサイズ
1本128円

(和歌山県から)
•あじ
1尾
100円

カネテツデリカフーズ
•ごぼうてん
5本入
•かくてん
4枚入
円148円
各95円

COOP・STYLE
•コーンソフトマーガリン
450g 円263円
178円

CO・OP

ご奉仕日
3/1(水)・2(木)

お近くのコープ
コープデイズ
シーアを
ご利用ください

ただし下記の店舗は広告の品は実施しておりません。
■コープ
仁川・尻川・
北口・浜芦屋・渦森台・
御影北・甲南・六甲・須磨

＊また、コープミニ全店・コープ東有野・六甲台・北神星和台・猪名川南・けやき坂・月ヶ丘・パークヒルズ・リビングセンター・ホームセンターは広告の品は実施しておりません。

●コープ舞子は営業しておりません

3/2(木)も休まず営業
＊コープ塩屋は休ませていただきます

生活文化講座を受講中のみなさまへ

震災後、休講になっている講座があり、ご迷惑をおかけしています。再開の時期は各教室の被災状況によって異なります。詳しくは各センターにお問い合わせください。

■生活文化センター
078-441-1698（日休館）5月まで休み
■シーアカルチャープラザ
078-811-0008（火休館）5月まで休み
■協同学苑
0794-85-5500（休館日なし）2月は休み
■宝塚コープセンター
0797-74-7160（木休館）一部の講座を除いて開講
■塚口コープセンター
06-429-1510（木・祝休館）一部の講座を除いて開講
■西宮北口コープセンター
0798-67-8444（日・祝休館）2月は休み
■神戸北コープセンター
078-583-8140（日・祝休館）2月8日から一部の講座を除いて開講
■神戸中コープセンター
078-362-2770（日・祝休館）2月は休み
■明石コープセンター
078-914-2636（日・祝休館）2月6日から一部の講座を除いて開講
■コープデイズ神戸西カルチャー教室
078-975-5140（火・日・祝休館）2月6日から一部の講座を除いて開講
■姫路コープセンター
0792-22-2293（日・祝休館）

神戸市立鵯越、舞子墓園の墓石応急復旧工事(建て直し)受付中

大震災で倒壊された墓石の応急復旧工事(建て直し)の申し込みを承っております。

❶工事内容 墓石の建て直し工事に限定させていただきます。(倒れた輪石、供物台、水鉢、花立、霊標の据付けメジ入れ)
❷価　格 8寸・9寸サイズ 10,000円(消費税別)
❸承り期間 3月10日(金)まで 日曜日を除く
❹申し込み先 墓石応急復旧協議会
電話番号078-842-3588
❺協　賛 神戸市石材業協同組合連合会
生活協同組合コープこうべ

アニパ婚礼ご相談会

今年ご結婚を予定されていてこの度の震災で式場が被災してお困りの方々に、アニパでは相談会を開催しています。式場のご紹介からお二人だけやご両親だけの挙式プラン。また婚礼写真だけをお撮りするプランなどを承っています。

アニパの電話が変わりました
TEL 078-411-5769

開店時間
10時～5時
定休日
水曜日

阪神・淡路大震災への募金を受け付けています。

組合員のみなさまからお寄せいただいた募金はコープこうべの行なうボランティア活動に役立てます。

店舗サービスコーナーで受け付けています。

阪神・淡路大震災救援活動ボランティア募集

ボランティア活動支援のために各地区にボランティアセンターを設置しました。こんなボランティア活動ができます、こんなことがしてほしいという声をお寄せください。
<例>在宅訪問、支援物資配達、募金活動、地域清掃など。
(ご連絡はお住いの地域のセンターへ) ●受付は、平日(月～土)です。

センター名	対象地域	TEL	受付時間
宝塚ボランティアセンター	川西市・宝塚市	0797(77)5688	10:00～16:00
塚口ボランティアセンター	伊丹市・尼崎市	06(429)2411	
西宮ボランティアセンター	西宮市	0798(67)8927	
住吉ボランティアセンター	芦屋市・神戸市東灘区・灘区	078(451)4724	
神戸北ボランティアセンター	神戸市北区・三木市・加西市その周辺の地域	078(583)8140	
兵庫ボランティアセンター	神戸市中央区・兵庫区・長田区須磨区	078(577)2973	
明石ボランティアセンター	神戸市垂水区・西区・明石市	078(914)2039	
姫路ボランティアセンター	加古川市・姫路市およびその周辺の地域	0792(22)2293	
コープボランティア本部	その他の地域 フリーダイヤル	0120-44-5700	9:00～17:00

コープこうべへのお問い合わせやくらしの相談(健康、法律、住まいなど)は
コープベル フリーダイヤル 0120-443100まで

円は、平日価格の略です。

'95 見つめよう! 暮らしと地球 古紙を40%以上使った再生紙を使用しています。

コープは組合員のお店です。生協にご加入の上、ご利用ください。

生協組合員のみなさまへ
表示価格には、消費税は含まれておりません。
CO・OP
このたびの阪神・淡路大震災により被災されました地域のみなさまに対しまして、心からお見舞を申し上げますとともに、一日も早い復旧をお祈りいたします。
広告商品ご奉仕日 3/3(金)~5(日)
開店時間:朝10時から夜8時まで
※店舗により開店時間が異なる場合があります。
〈広告の品取り扱い店〉
※ご奉仕の品は多数品揃えしておりますが万一、品切れの節はご容赦ください。
■コープ
うねの ☎0727(94)5501
武庫之荘 ☎06(436)0001
鈴蘭星和台 ☎078(594)8008
大久保 ☎078(934)2201
中山台 ☎0797(89)2778
鈴蘭台東 ☎078(591)7111
魚住 ☎078(947)6141
西明石 ☎078(928)4131
安倉 ☎0797(87)1500
三木緑が丘 ☎0794(85)2345
大蔵谷 ☎078(917)1151
東加古川 ☎0794(26)8566
宝塚 ☎0797(71)6881
桜が丘 ☎078(994)2211
新多聞 ☎078(783)0005
高砂 ☎0794(47)3251
園田 ☎06(491)0281
有野 ☎078(982)4161
西神 ☎078(961)1661
姫路田寺 ☎0792(93)9600
こや ☎0727(83)2501
北鈴蘭台 ☎078(591)8570
神陵台 ☎078(783)3151
姫路白浜 ☎0792(46)4780
立花 ☎06(427)6000
志染 ☎0794(85)4561
コープは3/15(水)まで
休まず営業いたします。
(ただし、コープ大庄・コープ塩屋は3/9木は休ませていただきます。)
■コープデイズ 神戸西 ☎078(974)3939
■コープデイズ 神戸北町 ☎078(582)1900
■コープデイズ 西神南 (市営地下鉄西神南駅前) ☎078(992)1601
コープデイズは3/13(月)まで休まず営業します。
(ただし、コープデイズ西神南は3/7火は休ませていただきます。)
広告の品は実施しておりませんが、
営業は続けています。
定休日 3/16(木)・30(木)
※一部、店頭や駐車場などの仮設売場のため十分な品揃えができない店があります。ご了承ください。
仁川 浜芦屋 御影 北甲南 六甲 須磨北 口 潟森台
●コープ舞子は営業しておりません。
ALL TOGETHER 私たちの街、私たちの力
協同 支えあって、コープ。 楽市
3/3 金 限り
(奈良県・長崎県などから)
●いちご (豊の香・女峰) 1パック
480円
※ただし、卵玉は除きます。
お1人様合計2パック限り
●たまご・10コ詰 Mサイズ 88円 Lサイズ 98円
(北海道紋別漁協から)
●ほたて貝柱 200g入
498円
3/4 土 限り
黒毛和種
●和牛もも 赤身焼肉用 100gにつき 平580円
半額 290円
お1人様合計4箱限り
ハウス
●バーモントカレー (甘口・中辛・辛口) 250g 平248円
●ジャワカレー (甘口・中辛・辛口) 220g 平253円
各168円
●カラーベール用ポリ袋 10枚入 65×80cm 中低圧ポリエチレン 平1袋86円
3袋 99円
3/5 日 限り
日曜奉仕 サンデープライス 毎週・日曜日は、いいもの特価で揃えて実施中です!
(フィリピン産)
●バナナ 100gにつき 12円
●国産牛肉ロースステーキ用 平100gにつき580円 1枚(160g) 680円 3枚(480g) 1,980円
やさしい泡がなめらかに洗い上げます。
●スーパーマイルド シャンプー・リンス (フローラル/グリーン・フローラルブーケ) 700ml 平950円
各498円
パスタ、おにぎりに
●塩たらこ(有色) 70g 298円
七福
●茶わん蒸し 200g 平175円 138円
COOP・STYLE
●北海道バター 225g 平318円 258円
不二家
●ピーナッツチョコレート 125g
●アーモンドチョコレート 95g 平160円 各100円
COOP・STYLE
●レーズンジャンボ 平170円 136円
お1人様2袋限り
●日清フラワー小麦粉 1kg 平189円 128円
3金・4土限り
(徳島県などから)
●ほうれん草 1束 98円
3金・4土限り
(ニュージーランド産)
●キウイフルーツ 5コ 100円
(グアム沖から)
●生きはだまぐろ (短冊) 100gにつき 398円
(アメリカ産)
●豚肉ヘレ 100gにつき 平238円
2本 880円
COOP・STYLE
●コープ3.6牛乳 1,000ml 平208円 189円
雪印・森永いずれかの取り扱いとなります。
●雪印ナチュレ 500g 平233円
●森永ビヒダス 520g 平235円
各168円
●エバラ焼肉のたれ黄金の味 (甘口・中辛・辛口) 210g 平307円
各198円
●野崎甘口たくあん 220g 平218円 158円
紀文
●お造りちくわ 5本入 平228円
●野菜天ぷら 4枚入 平248円
各178円
COOP・STYLE
●味わいうどん 2食入
●焼そば 2食入 平105円
各88円
アンディコ
●カスタードシュー 8コ入
●ベアワッフル 6コ入 平226円
各198円
●大黒屋おにぎりのり 5袋入 平298円 178円
はごろも
●さば缶詰 (味付・みそ) 190g 平100円
2コ 150円
●薬用メディカ つぶつぶ塩 170g 平198円 138円
50mのお徳用サイズ
●コープラップミニ ポリ塩化ビニリデン、22cm×50m 平360円 250円
4.2割引
透明度にすぐれています。
●SCYサポートパンティストッキング5足組 ナイロン・ポリウレタン、S~L 平1,000円 580円
春の生活文化講座募集
震災のため、開催日や受付日、受付方法、講師など、一部変更して募集します。くわしくは「きょうどう」3月1週号(3月7日発行)か下記の会場へお問い合わせください。
■生活文化センター 078-441-1698 (日休館)
■シーアカルチャープラザ 078-811-0008 (火休館)
■協同学苑 0794-85-5500 (休館日なし)
■宝塚コープセンター 0797-74-7180 (木休館)
■塚口コープセンター 06-429-1510 (木・祝休館)
■西宮北口コープセンター 0798-67-8444 (日・祝休館)
■神戸北コープセンター 078-583-8140 (日・祝休館)
■神戸中コープセンター 078-362-2770 (日・祝休館)
■明石コープセンター 078-914-2636 (日・祝休館)
■コープデイズ神戸西カルチャー教室 078-975-5140 (火日・祝休館)
■姫路コープセンター 0792-22-2293 (日・祝休館)
コープ共済センターからのお知らせ
CO・OP共済「たすけあい」、CO・OP生命共済「あいあい」、CO・OP「火災共済」にご加入で、給付申請される方は下記までお問い合わせください。CO・OP共済の掛け金振り替えは、コンピューター損壊により2~4月の3ヵ月分を4月5日に申し受けますので、ご了承ください。なお、掛け金未振替期間(2~3月分)につきましても、保障は継続されていますので、ご安心ください。
●お問い合わせ 0120-529431 または 0120-497000
協同購入
「めーむ」の取扱商品が約400点に
「めーむ」ダイジェストによるご注文をいただきご不便をおかけしていましたが、3月7日配布の「めーむ」から従来の注文承り書による商品のご注文がいただけるようになります。掲載商品は約400点からのスタートとなりますが、野菜、肉などの商品は十分ご満足いただける内容をご紹介します。
くらしの専門相談を開設
コープこうべ生活文化センター(東灘区)の相談室で、法律相談、住まいの相談、健康相談を開設しています。
◆相談日時
・健康相談 第1木曜 13:00~16:00
・法律相談 第2、第4木曜 13:00~16:00
・住まいの相談 第3木曜 13:00~16:00
◆相談料:無料
◆予約制です
◆申し込み、問い合わせ
コープベル フリーダイヤル 0120-443100
阪神・淡路大震災救援活動ボランティア募集
ボランティア活動支援のために各地区にボランティアセンターを設置しました。こんなボランティア活動ができます、こんなことがしてほしいという声をお寄せください。
〈例〉在宅訪問、支援物資配達、募金活動、地域清掃など。
(ご連絡はお住いの地域のセンターへ) ●受付は、平日(月~土)です。
センター名 / 対象地域 / TEL / 受付時間
宝塚ボランティアセンター 川西市・宝塚市 0797(77)5688
塚口ボランティアセンター 伊丹市・尼崎市 06(429)2411
西宮ボランティアセンター 西宮市 0798(67)8627
住吉ボランティアセンター 芦屋市・神戸市東灘区・灘区 078(451)4724
神戸北ボランティアセンター 0078(583)8140
兵庫ボランティアセンター 078(577)2973
明石ボランティアセンター 神戸市垂水区・西区・明石市 078(914)2039
姫路ボランティアセンター 0792(22)2293
10:00~16:00
コープボランティア本部 その他の地域 フリーダイヤル 0120(44)5700 9:00~17:00
コープこうべへのお問い合わせやくらしの相談(健康、法律、住まいなど)は
コープベル フリーダイヤル 0120-443100まで
日々のくらしを元気づける100品目
元気な生活 月間 100
3月31日までのご奉仕
(一例)
COOP・STYLE
●瀬のもめんとうふ 400g 平98円 88円
●国内産牛・豚合びきミンチ 100gにつき 平138円 98円
平は、平日価格の略です。
'95 古紙を40%以上使った再生紙を使用しています。
コープは組合員のお店です。生協にご加入の上、ご利用ください。
加入手続きは簡単。サービスコーナーまでおこしください。

生協組合員のみなさまへ
表示価格には消費税は含まれておりません。
協同楽市
支えあって、コープ。
しっかり準備！使いやすくて、機能的
新生活応援
広告商品のご奉仕日 3/3㈮〜5㈰
快適寝具
足元あったかロングサイズ
羊毛混掛・固綿入敷布団
各4,900円
写真は一例です
ネット張掛・敷カバー(白)
各1,000円
200cm全開ファスナー
キッチン用品
電磁調理器もOK！
エコノア三層鍋
●片手鍋18cm ●両手鍋20cm
各980円
ガラスフタつき
ホーローミニ片手なべ
くま・うさぎ柄
各980円
フッ素樹脂加工
こびりつきにくく、お手入れカンタン！
フライパン26cm
580円
ホーロー魚焼器
198円
フライパン20cm
ゆきひらなべ18cmセット
980円
プラスチックまな板
小サイズ
298円
収納用品
押入れ3段ケース
3,980円
深型でタップリ収納
引き出しケース
1,480円
はぎれロングマット各種
約45×120cm 380円
バス用品
ビーターラビット
湯桶(白) 300円
浴用イス(白) 1,000円
シャンプースタンド(白) 425円
メーカー希望小売価格の半額
カラータオル
カラーオシボリ
各480円
ポンズコールドクリーム
270g
980円
ビオレ洗顔フォーム
120g
338円
ブローネヘアマニキュア
798円
パオン
クリームカラー
各498円
大きな夢を育てようね
進入学準備
ワクワク、ドキドキ新入学、新学期。お弁当箱から自転車まで まっさらグッズで好スタート！
ワンタッチ栓
ニューポップキャッチ
ステンレスミニボトル
0.45ℓ、レッド・ブルー
各1,780円
26型ファッションサイクル
つや消しコン・つや消しブラック
各12,800円
適応身長145cm以上、ローラーブレーキ、アルミリム
ヒートランド
弁当箱
(レッド・ブルー)
メンズ
ランチBOX
(ブラック・ホワイト)
各880円
コクヨ
キャンパスノート5冊組
B5 30枚、A罫・B罫
各248円
トンボ柄鉛筆HB
(男・女柄)
各198円
クレタケ 書道セット
黒・赤
各1,480円
ナカバヤシ
Wリングノート4冊組
298円
朝の目覚めを応援
アルバ目覚し時計
JJ522K(黒)、JJ522L(青)、JJ522R(赤)、樹脂枠、ベル音
各980円
子供部屋にぴったり
3段引き出しケース
キッズラックMD-3
1,980円
学童クッション各種
各380円
写真は一例です
コープは組合員のお店です。生協にご加入の上ご利用ください。

生協組合員のみなさまへ

表示価格には消費税は含まれておりません。

COOP

このたびの阪神・淡路大震災により被災されました地域のみなさまに対しまして、心からお見舞を申し上げますとともに、一日も早い復旧をお祈りいたします。

広告商品ご奉仕日 3/10(金)~12(日)

営業時間:朝10時から夜8時まで ※店舗により閉店時間が異なる場合があります。

〈広告の品取り扱い店〉

※ご奉仕の品は多数品揃えしておりますが万一、品切れの節はご容赦ください。

■コープ

山本 ☎0797(88)7733	塚口 ☎06(421)1503	三木緑が丘 ☎0794(85)2345	桃山台 ☎078(752)2711	神陵台 ☎078(783)3151
めふ ☎0797(84)1131	園田 ☎06(491)0281	桜が丘 ☎078(994)2211	福田 ☎078(751)3200	大久保 ☎078(934)2201
うねの ☎0727(94)5501	こや ☎0727(83)2501	有野 ☎078(982)4161	高丸 ☎078(707)8855	稲美 ☎0794(92)3781
中山台 ☎0797(89)2778	立花 ☎06(427)6000	北鈴蘭台 ☎078(591)8570	魚住 ☎078(947)6141	神吉 ☎0794(32)3135
安倉 ☎0797(87)1500	武庫之荘 ☎06(436)0001	志染 ☎0794(85)4561	大蔵谷 ☎078(917)1151	東加古川 ☎0794(26)8566
宝塚 ☎0797(71)6881	からと ☎078(982)3200	鈴蘭星和台 ☎078(594)8008	新多聞 ☎078(783)0005	高砂 ☎0794(47)3251
野間 ☎0727(79)1321	西鈴蘭台 ☎078(591)9001	塩屋 ☎078(751)0665	西神 ☎078(961)1661	姫路田寺 ☎0792(93)9600
大庄 ☎06(419)6041	鈴蘭台東 ☎078(591)7111	朝霧 ☎078(912)7300	垂水東 ☎078(753)2241	姫路白浜 ☎0792(46)4780
伊丹 ☎0727(72)0631				

※お電話は番号を確認の上、おかけくださいますようお願いいたします。

● コープでは、日々のくらしを元気づける100品目を選んでご奉仕中です。ぜひご利用ください。

元気な生活 月間 100

↑このマークが目印です　(3月31日までのご奉仕)

仮設売場のため、広告の品は実施しておりませんが、

営業は続けています。

●仁川 ●浜芦屋 ●渦森台 ●御影北 ●甲南
●六甲 ●須磨 ●コープ舞子は営業しておりません。

3/16(木)は休ませていただきます。

㊥は、平日価格の略です。

ALL TOGETHER 私たちの街、私たちの力

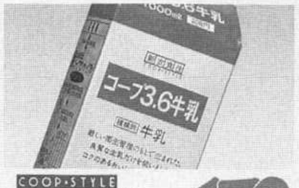
協同(きょうどう) 支えあって、コープ。 楽市(らくいち)

3/10(金)限り

お1人様2袋限り

COOP・STYLE
●上白糖
1kg
㊥198円
128円

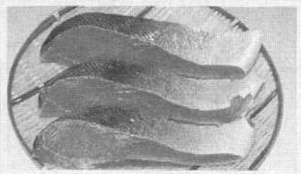
(青森県津軽平賀農協から)
●サンふじ
1袋(4コ入)
298円



COOP・STYLE
●コープ3.6牛乳
1,000mℓ ㊥208円
179円

3/11(土)限り

焼豚、煮豚、トンカツに
●国産豚肉ももブロック
100gにつき
㊥175円
半額 87円



(カナダ・フレーザーリバーから)
●塩紅さけ(中塩)
100gにつき ㊥278円
198円

はごろも
●シーチキンL
165g ㊥283円
178円

3/12(日)限り

コープの日曜奉仕 サンデープライス　毎週・日曜日は、いいもの特価で揃えて実施中です!

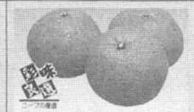
国内産の活うなぎに"蒸し"を入れてやわらかく焼きあげています。
●うなぎ蒲焼(特大)
2尾入
1尾入 500円
980円

お1人様合計10コ限り

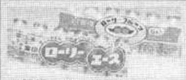
●日清カップヌードル
(カップヌードル76g・カレー86g・シーフード75g・とんこつ79g)
㊥135円
各89円

COOP・STYLE
●コープロール70
ソフトシングル
70m×16ロール
㊥792円
398円

たたき、カレー、シチューに
●国産牛肉もも赤身ブロック
100gにつき ㊥398円
半額(199円)



(愛媛県西宇和農協八協から)
●伊予柑
Lサイズ
4コ
280円



雪印ローリー
●ローリーエース
●ローリーフルーツ
(オレンジ・アップル)
65mℓ×6本入
㊥138円……… **各98円**

●蓬莱豚まん
3コ入
㊥1コ378円……… **298円**

COOP・STYLE
●うすあげ
2枚入
㊥1コ67円 **2コ 100円**

●明治チェルシー
(ミックス・フルーツヨーグルト)
108g
㊥180円 **各100円**

'95

古紙を40%以上使った再生紙を使用しています。

コープは組合員のお店です。生協にご加入の上、ご利用ください。加入手続きは簡単、サービスコーナーまでおこしください。

生協組合員のみなさまへ

広告商品ご奉仕日 3/10(金)〜12(日)

当日の朝、焼き上げて香ばしい風味がいきています

(静岡県、焼津から)
●朝焼きかつおたたき
$\frac{1}{4}$身 腹身 398円
背身 498円

(淡路名産)
西田水産
●いかなごくぎ煮
200g
㊥698円
598円

森永
●フィンガーチョコレート264g
●チョコボールピーナツ15袋入
㊥1コ448円
●ガトーショコラ徳用10コ入
㊥1コ438円
2コ 500円

10(金)・11(土)限り
(宮崎・群馬県などから)
●きゅうり
3本
99円

水炊き、から揚げに
●国産若どりもも肉
100gにつき ㊥108円
3割引(75円)

半額以下
ハナマルキ
●合わせるのがみそ
1kg
㊥488円 198円

●味の素サラダ油
1,500g
㊥648円 298円

日の出
●新味料エレガント
●料理酒
500mℓ
㊥328円 各198円

COOP・STYLE
●どら焼き(粒あん・白粒あん)
㊥1コ58円
2コ 100円

半額
綿100%厚地タイプです
●紳士ブリーフ2枚組
綿100%、M・L
㊥780円 390円

コープが自信をもって選んだ 良品 低価格 良い品質はそのままに、いつでも低価格でお届けします。
←このマークが目印です。

包材等の削減等で低価格を実現

COOP・STYLE
●大人用歯ぶらし
5本組 160円
(1本あたり32円)

COOP・STYLE
●子供用歯ぶらし
5本組 180円
(1本あたり36円)

除菌、清掃、消臭の3つの効果

COOP・STYLE
●コープトイレそうじ
20枚入 198円

COOP・STYLE
●クッキングホイル レギュラー
25cm×10m ㊥158円
98円

COOP・STYLE
●レンジパネル
90×50cm
㊥440円 298円

COOP・STYLE
●ペーパータオル
85カット×2ロール
㊥170円 118円

粘着力にすぐれ、手で簡単に切れる

COOP・STYLE
●クラフトテープE
5cm×50m 138円

使用感にすぐれたテフロン織布を使用

COOP・STYLE
●粘着布テープE
5cm×25m 278円

新鮮なまぐろを100%使用

COOP・STYLE
●キャットフードフレーク
まぐろ100%
170g 68円

COOP・STYLE
●コープナプキンふつう用
34コ入
㊥245円 138円

COOP・STYLE
●せっけんシャンプー
600mℓ
㊥680円 645円

「くらしの再建セミナー」を開催

震災後のくらしの再建に必要な情報を提供する「くらしの再建セミナー」を開催します。講師は、各テーマの専門家です。

会場	テーマ	日時
神戸北コープセンター 078-583-8140 日・祝休み	住まいのDIY	3月11日(土) 10:00~12:00
明石コープセンター 078-914-2636 日・祝休み	震災を機に考えるライフプラン	3月15日(水) 10:00~12:00
宝塚コープセンター 0797-74-7160 木休み	住まいのDIY	3月26日(日) 13:00~15:00

参加費 無料
申し込み 各コープセンターへ

「私たちの街、私たちの力」復興へのボランティアコンサート

3月12日(日)
コンサート(14:00〜15:30)
〈出演〉
オペラ歌手 伊藤 正(第九合唱指導者)ほか
■場所:生活文化センター2階ホール(東灘区)

3月13日(月)
歌舞団「わらび座」青空公演
■場所: 東須磨小学校 (12:00〜)
鷹取中学校 (14:00〜)
板宿小学校 (15:30〜)

■参加費:無料
■主催: 生活協同組合コープこうべ
■問い合わせ: 組織・広報本部(組合員活動)
0794-87-3616へ
※開催時間がずれたり、出演者を変更する場合があります。ご了承ください。

くらしの専門相談を開設

コープこうべ生活文化センター(東灘区)の相談室で、法律相談、住まいの相談、健康相談を開設しています。

◆相談日時
・健康相談 第1木曜 13:00〜16:00
・法律相談 第2、第4木曜 13:00〜16:00
・住まいの相談 第3木曜 13:00〜16:00
◆相談料 無料 ◆予約制です
◆申し込み、問い合わせ
コープベル
フリーダイヤル 0120-443100

コープリビングセンター甲南からのお知らせ

店舗は営業しておりませんが、配達品、修理品などに関するお問い合わせはコープリビングセンター甲南仮設事務所まで
電話 078-412-2001
時間A.M11:00〜P.M5:00(火曜日定休)

阪神・淡路大震災救援活動ボランティア募集

ボランティア活動支援のために各地区にボランティアセンターを設置しました。こんなボランティア活動ができます、こんなことがしてほしいという声をお寄せください。
〈例〉在宅訪問、支援物資配達、募金活動、地域清掃など。
(ご連絡はお住いの地域のセンターへ) ●受付は、平日(月〜土)です。

センター名	対象地域	TEL	受付時間
宝塚ボランティアセンター	川西市・宝塚市・猪名川町 西宮市北部	0797(77)5688	10:00〜16:00
塚口ボランティアセンター	伊丹市・尼崎市	06(429)2411	
西宮ボランティアセンター	西宮市	0798(67)8927	
住吉ボランティアセンター	芦屋市・神戸市東灘区・灘区	078(451)4724	
神戸北ボランティアセンター	神戸市北区・三木市・加西市 その周辺の地域	078(583)8140	
兵庫ボランティアセンター	神戸市中央区・兵庫区・長田区 須磨区	078(577)2973	
明石ボランティアセンター	神戸市垂水区・西区・明石市	078(914)2039	
姫路ボランティアセンター	加古川市・姫路市および その周辺の地域	0792(22)2293	

避難所の炊き出しと被災地の総訪問 2日間で約700人のボランティアが活動

2月16日と19日の2日間、兵庫ボランティアセンターの呼びかけで、組合員と職員約700人が避難所である須磨区内の小学校の校庭で炊き出しをし、須磨、兵庫、長田区の総訪問をして意見や要望を聞きました。
板宿小学校では、炊き出し班が1,700食分の豚汁とサラダを準備。避難している人々に喜ばれました。また、総訪問班は、地図を片手に分担地域を一軒一軒訪ねて歩き、すぐできる手伝いなどをするとともに、被災者の要望を聞き取りました。

㊥は、平日価格の略です。

'95 見つめよう 暮らしと地球 古紙を40%以上使った再生紙を使用しています。

コープは組合員のお店です。生協にご加入の上、ご利用ください。加入手続きは簡単、サービスコーナーまでおこしください。

生協組合員のみなさまへ

表示価格には、消費税は含まれておりません。

生協組合員のみなさまへのお知らせ

このたびの阪神大震災により、被災されました地域のみなさまに対しまして、心からお見舞いを申し上げるとともに、一日も早い復旧をお祈りいたします。当生協におきましても、多大な損害を受け、組合員のみなさまに大変ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。現在、事業の復興に向け全力で取り組んでおります。

組合員のみなさまには、大変ご不便をおかけいたしますが、なにとぞご理解のうえ、ご支援いただきますようお願い申しあげます。

生活協同組合コープこうべ　組合長　木村正人

阪神大震災被災者「救援募金」を受付ています

サービスコーナー

救援募金

組合員のみなさまからお寄せいただいた募金はコープこうべとしてまとめて、被災者の救援に役立てます。

店舗サービスコーナーにて受付ています。

阪神大震災救援活動ボランティア募集

「愛と協同」の理念のもとにコープこうべではボランティアに参加してくださる方を募集しています。お問い合わせ、応募は下記の窓口までお電話でお願いします。

コープこうべボランティア支援窓口
☎078-411-5615

サービスセンターからのお知らせ（電気製品の修理）

電気製品の修理は、お近くのサービスセンターにご連絡ください。

- ●東部サービスセンター（西宮市）TEL.0798-48-6831
- ●中部サービスセンター（東灘区）TEL.078-412-2051
- ●西部サービスセンター（明石市）TEL.078-913-6490
- ●姫路サービスセンター（姫路市）TEL.0792-53-2561

CO·OP

ご奉仕日
2/11(土)・12(日)

■AM10:00〜PM7:00
（土・日・祝日）AM9:00〜PM7:00

リビングセンター **北須磨** ☎(078)743-56●●

リビングセンター **伊丹** ☎(0727)77-8315

ホームセンター **播磨** ☎(078)944-0239

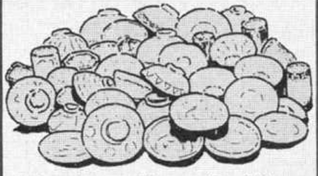
ホームセンター **北六甲** ☎(078)982-4141

コープリビングセンター●●は営業しておりません。

ご奉仕品は多数品揃えしておりますが、万一品切れの節はご容赦ください。

お知らせ

現在、クレジットカードのご利用ができかねます。
今しばらくお待ちください。

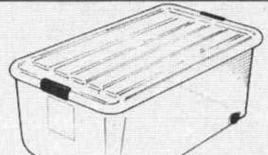


茶碗・湯呑・和皿・浅鉢・タンブラーなど **100円均一**

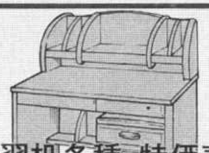
ピーターラビット浴用品（ホワイト）メーカー希望小売価格から **50%OFF**

- 湯桶 ⊠600円 **300円**
- 手桶 ⊠700円 **350円**
- 浴用イス ⊠2,000円 **1,000円**
- シャンプースタンド ⊠850円 **425円**
- 石けん箱 ⊠450円 **225円**

54%OFF
26型軽快車 ●適応身長140cm以上●メッシュ前カゴ、後荷台、両立スタンド付 ⊠30,800円 **14,000円**



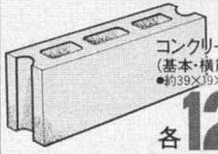
フタ式収納ケース ●約40×73×32.7cm●ポリプロピレン **980円**



学習机各種 特価奉仕
〈一例〉中棚付学習机 ●110cm●フロンタイプ ⊠98,600円 **39,800円**

ゆきひら鍋 ●18cm **480円**

- インスタントセメント ●10kg **720円** ●20kg **920円**
- セメント ●5kg **390円** ●40kg **980円**



コンクリートブロック（基本・横筋）●約39×19×10cm 各 **120円**

3段引出しケース ●約32.5×41.5×72cm **1,980円**

ツインバード 電気鍋 EP213BR ●ガス直火OKの取っ手付鍋●ワカン ⊠15,800円 **7,980円**

タイガー ステンレスボトル スリム MWIA-500 ●500ml ⊠4,300円 **1,980円**	COOP·STYLE お茶パック2コ組 ●M・L 囲340円 各 **280円**	砂・バラス（袋入）●約18kg 各 **390円**	カラーBOX 組立式 ●約43.9×29.3×89.3cm●プリント化粧合板 **1,980円**	タイガー 電気沸とうポット PFU-F220 ●容量2.2ℓ●フッ素加工容器採用●ホワイト ⊠12,000円 **6,980円**
ステンレス3層鋼片手鍋18cm・両手鍋20cm 各 **980円**	厚手ポリ袋ペール用 ●10枚入 **58円**	ホットカーペットカバー ●約185×185cm●グレー **1,980円**	食器棚 組立式 ●約59×29.5×93.5cm●プリント化粧合板 ⊠16,000円 **6,800円**	ラッキー 洋風ペンダント 6畳用 KP-8851 ●32W+30W ⊠7,500円 **3,480円**／ラッキー 和風ペンダント 6畳用 MP-8848 ●32W+30W ⊠8,000円 **3,980円**
18-8ステンレスケトル ●2.5ℓ **1,980円**	ロリエ ●5コ入×2パック 囲1,120円 **598円**	折りたたみカーペット ●江戸間4.5帖 **3,600円** ●江戸間6帖 **4,800円**	ビニールスーツロッカー 組立式 ●約60×50×165cm **2,980円**	COOP·STYLE ライフルック丸管球 ●30W×2本組 囲1,560円 **1,180円** ●30W+32W 囲1,960円 **1,580円**

囲は平日価格、⊠はメーカー希望小売価格の略号です。サイズはすべて(幅)×(奥行)×(高さ)で表示しています。

●チラシ掲載のイラストはイメージにつき現物と異なる場合があります。

'95 古紙を40%以上使った再生紙を使用しています。

コープは組合員のお店です。

生協組合員のみなさまへ

表示価格には、消費税は含まれておりません。

モルタル壁の補修の仕方

■細かいヒビが入ったとき

1㎜くらいのわずかなヒビ割れの場合は、コンクリート、モルタル壁用の防水スプレーを塗ります。

ドフィックス
建物用防水剤スプレー
●420mℓ 図1,300円
1,040円

■1mm以上のヒビ割れができたとき

ヒビ割れが1㎜以上の場合は、シリコンシーラント(充てん剤)を埋めます。

まず、歯ブラシなどで汚れを落とし、ドライバーの先などでヒビ割れの中をさらいます。

2

充てん剤のノズルの先をヒビ割れの幅に応じてカットし、絞り出して埋めていきます。

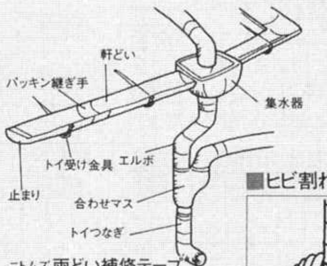
3

壁の表面に凹凸があるときは、ボロ布に水または灯油をつけて、たたくように押しつけてなじませます。

シリコンシーラント
●各色 **398円**

シリコンシーラント使用時に用います
コーキングガン **298円**

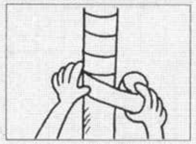
雨どいの補修の仕方



ニトムズ 雨どい補修テープ
●40mm×2m●密着用ヘラ付 図430円
330円

接着力に優れ、水・寒さに強い。屋根瓦の水もれ補修にも
ニトムズ 防水テープ
●50mm×2m 図950円 **720円**

■ヒビ割れができたとき



ヒビ割れや穴あきには、防水テープか雨どい用補修テープを巻いて補修します。

※その他、雨どいの各種部品を品揃えしております。

防災用品

家具の転倒防止に壁とタンスを止めるL型金具
補助金具 **398円**

赤外線探知により自動的に点灯。防犯、安全のためのライト
センサー時代ツーライト
●100W×2●コード:3m
図7,500円
2,980円

接着剤付透明コートフィルムでガラス飛散を防止します
ガラス飛散防止フィルム(ピッチン)
●35cm×2m 図660円
528円

なにかと便利な道具が揃っています。

数量に限りがあります。品切れの節はご容赦ください。

補修用品

左官5点セット
●中塗りゴテ、柳刃ゴテ、中目地ゴテ、レンガゴテ、軍手
1,280円

ビニールテープ
●19mm×10m **298円**

雨がえし部の水もれ補修に
ニトムズ 防水アルミテープ
●65mm×3m 図1,500円 **1,120円**

水、寒さ、曲げ、こすれに強い、ジャバラホースの補修に
ニトムズ ホーステープ
●30mm×0.5m●ビニールテープ付 図650円 **490円**

水まわり、コーナー部の水もれ補修に
ニトムズ 防水コーナーテープ
●30mm×2m 図600円 **450円**

スチール製物置の雨もれ補修やポリバケツのヒビ割れ補修に
ニトムズ 粘着補修アルミテープ
●70mm×2m●密着用ヘラ付 図480円 **360円**

電動工具

ホンダ 発電機 ヒポ(交流専用) EG-550N
●550W
図74,000円 **39,800円**

ハタヤ コードリール S-30
●30m **1,980円**

ワークランプ(作業灯)
●100W **598円**

投光器
●200W **1,580円**
●300W **1,980円**

道具・工具　その他

リョービ エンジンチェーンソー ES-2935
●バー長さ:350mm●重量:2.9kg●排気量:28.5cc
図52,000円 **29,800円**

両口ハンマー(柄付)
●900mm●3kg
囲2,550円 **1,980円**

バラシバール
●900mm
囲3,600円 **2,980円**

2連はしご
●全長:7.19m
図49,200円 30台限り **9,800円**

台車(小)
●734×480mm●耐荷重:150kg **3,980円**

ヘルメット **1,480円**

軍手 ●12双 **298円**

砂ぼこりの立つ作業時に
防塵マスク **298円**

ほこりから目を守ります
防塵メガネ **380円**

PPテープロープ
●100mm×1,000m●荷造り用 **650円**

かるく、すべりにくく、しばりやすいロープ
KPロープ
●直径9mm×20m **1,680円**

黄、黒の2色使いのロープ
標識ロープ
●直径9mm×20m **980円**

土を入れて防災対策に。また、割れ物を捨てる時にも便利
土のう袋 1枚**35円**

CO・OP リビングセンター ホームセンター

ご奉仕日
2/11(土)・12(日)

■AM10:00〜PM7:00
(土・日・祝日)AM9:00〜PM7:00

サービスコーナーの各種サービス

合鍵
家の鍵などの複製を承ります。

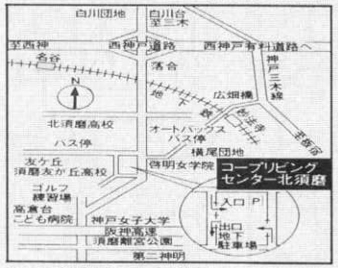
表札
木・プラスチック・大理石の素材の中から選んでいただけます。

休日のお知らせ

2月14(火)・21(火)がお休みです。

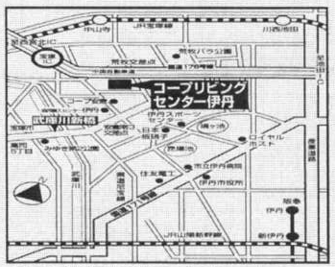
コープリビングセンター甲南は営業しておりません。

リビングセンター北須磨



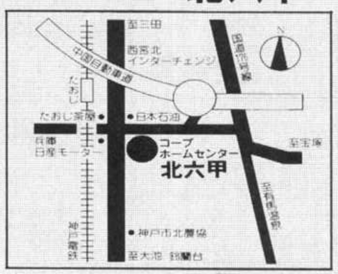
神戸市須磨区多井畑字渋人谷上4-1
☎(078)743-5678

リビングセンター伊丹



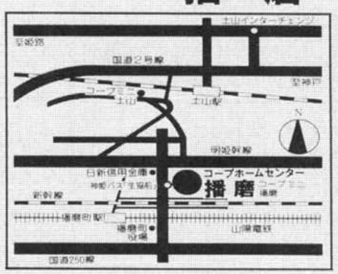
伊丹市荒牧字東鍵田8番地
☎(0727)77-8315

ホームセンター北六甲



神戸市北区有野町有野3307
☎(078)982-4141

ホームセンター播磨



加古郡播磨町野添267-1
☎(078)944-0239

図はメーカー希望小売価格、囲は平日価格の略号です。

〈CLC伊丹版〉

'95 古紙を40%以上使った再生紙を使用しています。

コープは組合員のお店です。

19

資料編　新聞報道

p.220-233　新聞記事の転載あり　省略

20

資料編　阪神・淡路大震災の主な被害の概要と交通規制

「阪神・淡路大震災――兵庫県の１カ月の記録」より
（阪神・淡路大震災兵庫県災害対策本部発行）

1　地震の概要と特徴

(1)　地震の発生状況

平成７年１月17日、５時46分、兵庫県南部に震度６、場所によっては震度７の強い地震が発生し、その後、現在まで余震が断続的に起こっている。この地域としては、昭和27年に記録した震度４をはるかに上回る大きなものであった。

震　源　地	淡路島北部	北緯34度36分	東経 135度03分
震源地の深さ	１４km		
各地の震度	６　神戸、洲本	５　豊岡	４　姫路など
	（神戸市、芦屋市、西宮市、北淡町、一宮町、津名町の一部では７）		
マグニチュード	７．２		

(2)　地震の特徴

①　人口350万人余が密集し、我が国の経済活動の中枢を担う淡路北部から神戸市及び阪神地域の直下で発生した内陸・都市直下型地震であった。

②　深さ14kmという比較的浅い部分で発生し、断層が横にずれることにより起こったもので、大きなエネルギーが一挙に解放されるタイプであった。このため、地震の継続時間が短い反面、振幅が最大18cmと観測史上最大になるという強い揺れを観測した。

2　被害の概要

(1)　被害の特徴

①　大都市を直撃した地震のため、電気、水道、ガスなど被害が広範囲となるとともに、新幹線、高速道路、新交通システム、都市間交通・地下鉄が損壊し、生活必需基盤（ライフライン）に壊滅的な打撃を与えた。

②　古い木造住宅の密集した地域において、地震による大規模な倒壊、火災が発生し、特に神戸市兵庫区、長田区などでは大火災が多発した。

③　戦後50年間、近畿には特に大きい地震が無く、各分野において緊急事態への備えが十分であったとは言えないなか、未曾有の大地震により災害の規模が広がった。神戸・阪神地域という我が国有数の人口密集地に発生したため、多数の住民が避難所での生活を余儀なくされている。

(2) 被害の概要

①	災害救助法指定市町数	10市10町
②	指定市町面積	1,657.60㎢
③	指定市町人口	3,588,288名
④	死　　者（２月17日14時45分現在）	5,359名
⑤	負 傷 者（２月17日８時現在）	32,898名
⑥	行方不明（２月17日14時45分現在）	2名
⑦	焼失家屋（２月17日８時現在）	7,456戸
⑧	倒壊家屋（２月17日８時現在）	144,032戸
⑨	避難箇所数・人数（２月17日８時現在）	961ヵ所・ 209,828名

⑩ ライフラインの状況

区　分	震　災　直　後	２月17日　現在	復　旧　見　込　み
電　気	約 100万戸停電	１月23日復旧完了	――
ガ　ス	約84万５千戸が供給停止	48,650戸が供給停止 （復旧率92.8%）	３月末　約90数%復旧
水　道	約 127万戸が断水	断水戸数17万５千百戸	仮復旧としては２月完了
下水道	被災管渠総延長　約 260km	未復旧延長72km（通水率99%）	本復旧には２年を要するが、早期仮復旧をめざす
電　話	不通回線数 交換機系　約28万５千回線 加入者系　約19万３千回線	１月末復旧完了 （倒壊家屋分除く）	――

⑪ 鉄道の状況

区　分	震災直後（１月18日）不通区間（km）		２月17日現在 不通区間	運転再開予定 ２月17日現在
ＪＲ　新幹線	京都～姫路	(130.7)	新大阪　～姫路	５月連休明け
ＪＲ（東海道・山陽本線）	尼崎～西明石	(48.2)	神戸　～灘	２／20
			灘　～住吉	５月連休明け
（福知山線）	塚口～広野	(37.2)	――	――
（和田岬線）	全線	(2.7)	――	――
阪神（本線）	甲子園～元町	(18.0)	御影　～西灘	未定
			西灘　～岩屋	３／１
			岩屋　～三宮	２／20
（武庫川線）	全線	(1.7)	――	――
阪急（神戸線）	西宮北口～元町（16.7）		西宮北口～夙川	８月末
			夙川　～岡本	４月上旬
			岡本　～御影	７月中旬
			王子公園～三宮	３月中旬
（宝塚線）	宝塚～雲雀丘花屋敷	(6.4)	――	１／19
（甲陽線）	全線	(2.2)	全線	３月上旬
（伊丹線）	全線	(3.1)	新伊丹　～伊丹	３月中旬
（今津線）	全線	(9.3)	――	――
神鉄（有馬・三田・粟生・公園都市線）	全線	(66.0)	長田　～湊川	８月上旬
			有馬口　～有馬温泉	４月上旬
山陽	西代～明石	(15.7)	須磨寺　～東須磨	２／21
			須磨浦公園～須磨寺	５月中旬
			東須磨　～西代	７月中旬
			滝の茶屋～須磨浦公園	７月中旬
神戸市営地下鉄	板宿～新神戸	(8.8)	――	――
神戸新交通（ポートライナー）	全線	(6.4)	貿易センター～市民広場	８月下旬
			貿易センター～南公園	８月下旬
			三宮　～貿易センター	未定
（六甲ライナー）	全線	(4.5)	全線	８月下旬
神戸高速（東西線）	全線	(7.2)	西代　～新開地	６ヵ月目標
			花隈　～阪急三宮	
（南北線）	全線	(0.4)	全線	８月上旬

「阪神・淡路大震災――兵庫県の１カ月の記録」より
（阪神・淡路大震災兵庫県災害対策本部発行）

⑫ 道路の状況

区　　分	震災直後不通区間	２月15日現在不通区間	復旧見込み
阪神高速道路			
（神　戸　線）	全線	尼崎東以西	早くて３年
（湾　岸　線）	全線	魚崎浜～六甲アイランド	10月頃
（北　神　戸　線）	全線	――	――
名神高速道路	西宮　～府県境	西宮　～尼崎（東行のみ）	８月頃
第二神明道路	伊川谷～須磨	――	――
中国自動車道	西宮北～府県境	――	――
国　道　43　号	西宮　～岩屋	――	――
国　道　２　号	若宮　～岩屋	――	――

⑬ 港湾の状況

公　共　岸　壁	震　災　直　後 着岸不能バース	２月17日現在 着岸不能バース （仮復旧）	復　旧　見　込　み
神　戸　港	186	79	２年以内
尼崎西宮芦屋港	10	1	２年以内

⑭ 被害総額の状況

（平成７年２月15日現在推計）

項　　目	金　　額	概　　要
１　建　築　物	約５兆 8,000億円	倒壊・使用不能建物等 〔＊注：建築着工統計の建築単価から推計〕
２　鉄　道	約　3,439億円	ＪＲ西日本・阪急電鉄・阪神電鉄・神戸電鉄・山陽電鉄等
３　高　速　道　路	約　6,000億円	阪神高速道路・中国自動車道・名神高速道路等
４　公　共　土　木　施　設 （高速道路を除く）	約　3,138億円	道路　約 1,099億円、河川　約 263億円、海岸　約６億円、 砂防　約８億円、下水道　約 1,062億円、街路　約40億円、 公園　約 134億円、国直轄事業　約 526億円
５　港　湾	約１兆　400億円	神戸港、尼崎西宮芦屋港等　公共施設　約 8,000億円、 民間施設　約 2,400億円
６　埋　め　立　て　地	約　64億円	佐野・志筑地区　約７億円、南芦屋浜・芦屋浜地区　約40億円、 西宮・甲子園地区　約17億円
７　文　教　施　設	約　3,228億円	県立学校　約 141億円、市町立学校　約 1,705億円、 社会教育施設　約 326億円、体育施設等　約 206億円、 文化財　約97億円、県立大学　約３億円、私立学校　約 215億円、 国公立大学　約91億円、私立大学　約 379億円、 文化施設（ホール等）約65億円
８　農　林　水　産　関　係	約　1,117億円	農地・ため池等　約 224億円、治山施設　約82億円、 漁港　約 199億円、農業生産施設等　約 105億円、 水産業施設　約36億円、林産施設　約15億円、 卸売市場　約 245億円、食品関係施設等　約 211億円
９　保健医療・福祉関係施設	約　1,689億円	病院　約 634億円、診療所　約 267億円、 試験研究機関　約９億円、看護学校　約19億円、 火葬場　約11億円、保健センター等　約27億円、 福祉関係施設　約 400億円、生活協同組合施設　約 322億円(医療除く)
10　廃棄物処理・し尿処理施設	約　41億円	
11　水　道　施　設	約　561億円	上水道　約 513億円、工業用水道　約48億円
12　ガ　ス　・　電　気	約　4,200億円	ガス　約 1,900億円、電気　約 2,300億円
13　通　信　・　放　送　施　設	約　702億円	電気通信施設　約 484億円（うちNTT 約 300億円） 放送施設　約35億円、ケーブルテレビ　約 175億円 兵庫衛星通信　約８億円
14　商　工　関　係	約　6,300億円	機械・装置等設備　約 6,300億円 （建築物１兆 7,700億円除く）
15　その他の公共施設等	約　751億円	県庁舎等　約 136億円、市町庁舎等　約 515億円、 警察庁舎等　約 100億円
計	約９兆 9,630億円	

阪神・淡路大震災による避難所及び避難者数

1．兵庫県下

月　　日	避難所数（ヵ所）	避難者数（人）
1月23日	1,137	304,595
2月1日	1,029	258,478
3月1日	910	115,491
4月1日	719	62,668
7月16日	332	17,629

※兵庫県庁災害対策本部事務局調査数値

2．震災直後における神戸市内の避難所数及び避難者数

（1月23日 17:00現在　各区役所からの情報）

区　　名	避難所数（ヵ所）	避難者数（人）
東灘区	120	67,767
灘　区	66	30,390
中央区	81	32,500
兵庫区	93	25,500
北　区	27	2,171
長田区	76	44,865
須磨区	66	19,948
垂水区	39	3,980
西　区	16	698
合　計	584	227,819

※神戸市災害対策本部調査数値

震災前後交通量調査結果（被災地エリア）

○１日あたり平均通行車輌数（台）・対６年比（％）

	調査日時/場所	阪神高速道路公団管理エリア		建設省直轄の被災地エリアの主要道路					
		① 阪神高速	対６年比	②須磨一ノ谷	対６年比	③芦屋川	対６年比	④武庫川	対６年比
震災前	平成６年 注1)	914,000	==	180,000	==	250,000	==	320,000	==
震災後	平成７年１月	524,000	57.3	調査データなし					
	平成７年２月	556,000	60.8	105,000	58.3	60,000	24.0	130,000	40.6
	平成７年３月	640,000	70.0	110,000	61.1	70,000	28.0	140,000	43.8
	平成７年４月	====	==	120,000	66.6	90,000	36.0	160,000	50.0
	３ヵ月平均	574,000	62.8	112,000	62.2	73,000	29.2	143,000	44.7

１．平成６年度数値調査日時

注１）
- 阪神高速道路公団：平成６年４月～12月の１日平均
- 建設省：平成６年10月の１日平均

２．調査道路

各料金所通過車輌数合計（入・出のいずれか）

① 阪神高速：１号環状線　３号神戸線　４号湾岸線　５号湾岸線　７号北神戸線
11号池田線　12号守口線　13号東大阪線　14号松原線　15号堺線

調査場所を横切る道路の通行車輌合計（各地点の調査道路の内訳は以下の内容）

② 須磨一ノ谷：西神戸有料道路　第二神明道路　国道２号線

③ 芦屋川：国道２号線　国道43号線

④ 武庫川：国道 171号線　国道２号線　国道43号線　阪神高速湾岸線

交　通　規　制　区　間

（１月18日～２月24日）

○復興物資輸送ルート

路　線　名	規　制　時　間	対　　象	区　　間　　等
国　道　43　号	６時～23時	復興等除外指定車両及びバスを除く	尼崎市武庫川２丁目54番地先（武庫川２丁目交差点）から 神戸市灘区岩屋南町１番地先（岩屋交差点）までの区間
阪神高速湾岸線 （鳴尾浜から南芦屋浜までの湾岸側道を含む）	終　　日		大阪市西淀川区中島２丁目先（中島ランプ）から 神戸市東灘区魚崎浜町崎（魚崎浜ランプウェイ）までの区間
名神高速道 （下り線）			尼崎市名神町１丁目（尼崎IC）先から 西宮市今津水波町（西宮IC）先まで

※以上に関する「復興標章」は警察署で取扱っていません

○生活・復興関連物資輸送ルート

路　線　名	規　制　時　間	対　　象	区　　間　　等
国　道　２　号	６時～23時	貨物車、バス、タクシー、二輪及び除外指定車両を除く （第二神明道路・阪神高速北神戸線・第二新神戸トンネルについては、二輪車は125cc以上の自動二輪車）	尼崎市大島町１丁目１番１号先（西大島交差点）から 神戸市灘区岩屋南町１番地先（岩屋交差点）までの区間
第二神明道路 （東行き）	６時～22時		明石市魚住町清水先（明石西IC）から 神戸市須磨区西須磨先（須磨IC）までの区間
阪神高速北神戸線 （東行き）			神戸市西区伊川谷町潤和先（伊川谷JCT）から 神戸市北区山田町下谷上字五池谷先（箕谷ランプ）までの区間
第二新神戸トンネル （南行き）			神戸市北区山田町下谷上字池の内先（箕谷料金所）から 神戸市中央区国香通７丁目２番６号先（二宮橋交差点）までの区間

※以上のうち、標章取扱は国道２号のみです。

通行許可申請案内

◎国道２号線

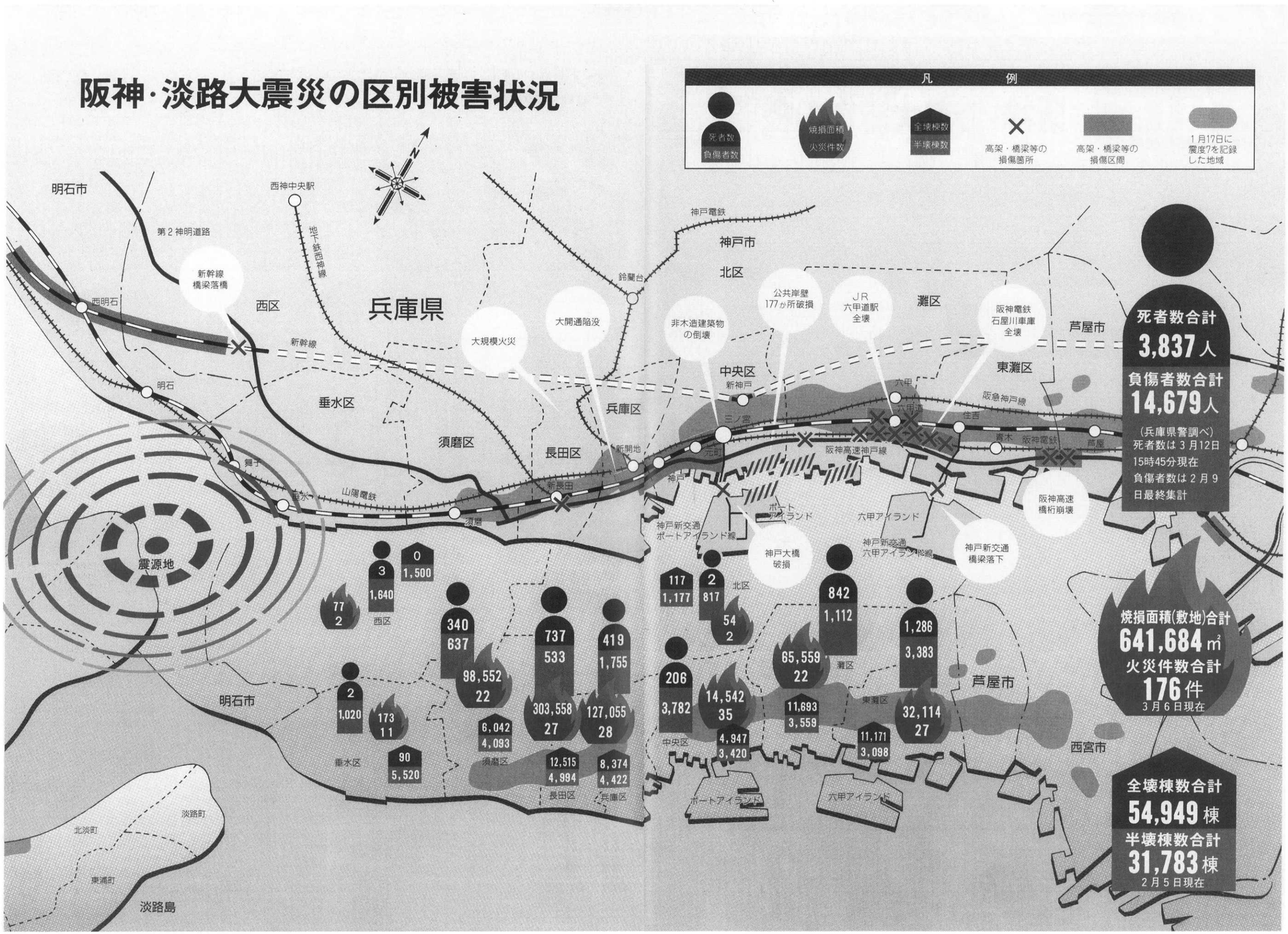
貨物車・二輪車は許可証はいりません。
自家用乗用車は
○国道２号沿いに自宅・駐車場がある方
○国道２号沿いに営業所等があって、営業用に使用する車　　に限ります。
※営業所等への通勤使用は許可しません。

◎国道43号

○国道43号沿いに自宅・駐車場がある方
○国道２号沿いに営業所等があって、営業用に使用する車
についてのみ区間を限定して許可します。
「高速道路・湾岸側道」及び「復興標証」については警察署での取扱はしていません。

『阪神・淡路大震災（神戸市域）における消防活動の記録』
神戸市消防局発行より

阪神·淡路大震災の区別被害状況



21

資料編　兵庫県下生協の被害状況一覧（兵協連発行の資料より）

1995 年 3 月 15 日現在
兵庫県生活協同組合連合会

(1) 施設・備品の被害

県内生協数	被災地内生協数		被災生協数	事業停止生協数
40（1）	35（1）		24	2
損壊事業所数				被害総額
全壊	半壊	一部損傷	備品のみ	
24	6	30	22＋α	304億45百万円

＊被災地内（＝神戸市、尼崎市、明石市、芦屋市、西宮市、宝塚市、伊丹市、三木市、川西市、洲本市、津名郡、三原郡）

＊事業停止生協／兵庫ユーザー生協（事業所全焼のため／現在、尼崎市で事業再開）、大手前女子大学生協（学生会館倒壊のため／4月末、仮設店舗で再開）

＊撤去費用、商品被害、営業機会損失等を加えた総被害額は、500億円をこえる。

＊生協数には、兵庫県生協連および活動休止中の生協を含む。ただし、（ ）は、連合会未加入の生協数

(2) 役職員の被害

被災生協数	死亡者	負傷者数	家族の犠牲者数	家屋の損壊	
（集計生協数）	3生協	6生協	7生協	全壊	半壊
22	16人	59人	117人	699戸	864戸

＊生協別の被災状況は、兵協連だより3月号をご参照下さい。

兵庫県南部地震による農林水産業関係被害発生状況

（平成7年3月14日現在）

区分	被害額（千円）	被害面積 頭・羽数・件数等	摘要	区分	被害額（千円）	被害面積 頭・羽数・件数等	摘要
農地・農業用施設	24,375,000	4,049件	畦畔、ため池、水路等のひび割れ・崩壊等	農林水産業環境施設	182,561	6件	農業公園等の建物の損壊
治山	8,206,000	75件	山腹崩壊、落石等	水産業共同利用施設	3,559,209	57件	荷捌施設、給油施設、のり加工施設、貯氷施設、冷蔵庫、倉庫等の全半壊及び一部損壊
漁港	19,883,000	17件	防波堤、護岸、物損場等の沈下・崩壊等	水産業個人施設	1,277,515	——	
農作物	17,500	3ha 64t	トマトの落果、ハクサイ、タマネギ、原乳の在庫品の損傷	養殖加工等	1,258,015	402件	のり生産施設、ちりめん加工施設等の損壊
畜産	25,150	——		漁船	19,500	40隻	漁船の一部損壊等
乳用牛	11,100	29頭	畜舎損壊等による死亡	林産施設	1,689,600	103件	製材工場・倉庫及び製材機械等の損壊
肉用牛	3,300	8頭	〃	卸売市場	24,487,300	9件	市場建物の全半壊
ブロイラー等	8,200	11,000羽	停電のための換気不良及び断水による死亡	米穀卸商	1,170,800	9件	精米工場、倉庫等の損壊
種卵	2,550	15,000個	落下等による破損	米穀小売商	5,504,400	1,609件	店舗、精米機等の損壊
林産物	72,000	360㎡	製材倉庫の倒壊による製材品の損壊	食品産業	14,963,400	106件	食品工場、倉庫、機械等の損壊
農業用共同利用施設	5,380,093	27件	育苗施設、農業倉庫、家畜市場、精米工場、牛乳工場設備等の損壊	関係団体施設	2,500,000	2件	農業会館、林業会館の損壊
農業用個人施設	4,852,350	2,070件	農舎、畜舎、たまねぎ小屋、温室等の全半壊	合計	118,145,878	——	

（兵庫県農林水産部調査）

(3) 生協別施設・備品（商品を除く）被害状況一覧（兵協連発行の資料より）

	損壊事業所数			備品のみに被害	損害額概算（万円）
	全壊・全焼	半壊	一部損壊		
コープこうべ	18	6	14	＋α	3,000,000
都市生活			3		500
関西学院				1	50
神戸大学			3	1	305
甲南大学			1	1	70
神戸商船大学				2	1,030
神戸薬科大学				1	15
神戸親和女子					
神戸市外大				1	11
神戸商科大学				1	45
大手前女子大学	1				170
神戸事業連合				1	1
兵庫県学校生協				1	200
西宮市職員生協				1	300
全日海生協神戸				1	
地方法務局					
神戸医療生協			1	6	13,000
尼崎医療生協	1		1	2	2,000
阪神医療生協			3		255
宝塚医療生協				1	50
灘医療生協	2		1		7,600
兵庫医療生協			1		1,565
神戸市民生協	1				13,700
西宮市民共済					
尼崎市民共済					
兵庫労働共済			1		100
県民共済			1	軽微	
兵庫ユーザー	1				3,470
兵庫福祉生協					
住宅生協					
兵庫生協				1	100
総合計	**24**	**6**	**30**	**22＋α**	**3,044,537**
兵庫労働金庫	1				
兵庫経済連					

＊全壊、全焼には、当面の立入が禁止されている建物を含む。

＊コープこうべは、関連会社の被害を含む。

＊大学生協の建物は、大学の所有のため、損害額には含んでいない。

＊コープこうべをのぞく建物は、いずれも賃貸物件のため、損害額には含んでいない。

＊被災地内で被害のなかったつぎの生協は除いた。（佐曽利生協、建設一般、尼崎信用金庫職員、住友電気伊丹生協）

(4) 生協職員の被害状況（３月15日現在調査）（兵協連発行の資料より）

	死　　亡（計）	負傷者	家族の犠牲	家屋の損壊	
				全壊	半壊
コープこうべ	正2定6バイト3（11）	44	104	577	669
都市生活				5	5
関西学院	組織部1（1）		1	17	18
神戸大学	パート3（3）		7	35	25
甲南大学		4		10	25
神戸商船大学			1	5	2
神戸薬科大学					
神戸親和女子					
神戸市外大			1	1	
神戸商科大学				2	
大手前女子大学					
姫路工業大学					
神戸事業連合				5	7
兵庫県学校生協					
西宮市職員生協			1	2	1
全日海生協神戸				2	
地方法務局					
神戸医療生協		2	2	16	45
尼崎医療生協		7		2	17
阪神医療生協		1		5	
宝塚医療生協				3	5
灘医療生協		1		3	10
兵庫医療生協				1	
姫路医療生協					
神戸市民生協	1（外務員）			避難者 →	23
西宮市民共済					2
尼崎市民共済					
姫路市民共済					
兵庫労働共済					2
県民共済					
兵庫ユーザー				2	
兵庫福祉生協				6	8
住宅生協					
労働金庫					
経済連					
総合計	16	59	117	699	864

＊家屋の損壊については、調査中の生協もあり、今後増える見込みです。

＊家族の犠牲者数は、３親等内の人です。

兵庫県災害対策本部からのお知らせ

震災ニュース 5号 保存版

発行／兵庫県広報課

（平成７年２月11日発行）

●この情報は２月３日現在のものです。
●情報は変更される場合があります。随時、お届けしますので、新しい情報を優先してください。

●災害対策本部

▷兵庫県☎078(360)2430~3　▷洲本市☎0799(22)3321
▷神戸市☎078(322)5117~22　▷津名町☎0799(62)0001
▷尼崎市☎06(489)6824　▷淡路町☎0799(72)3111
▷明石市☎078(912)1111　▷北淡町☎0799(82)1144
▷西宮市☎0798(35)3600　▷一宮町☎0799(85)1122
☎0798(35)3626~7　▷五色町☎0799(33)0160
▷芦屋市☎0797(38)2099　▷東浦町☎0799(74)4101
▷伊丹市☎0727(83)1234　▷緑　町☎0799(45)0390
▷宝塚市☎0797(71)1141　▷西淡町☎0799(36)3311
▷川西市☎0727(40)1111　▷三原町☎0799(42)0320
▷三木市☎0794(82)2000　▷南淡町☎0799(52)0426

●救護対策現地本部

県災害対策本部では、救護対策現地本部を設置し、被災者の方々の支援を行っています。
主な内容は①避難所緊急パトロール隊への要望等の集約と迅速な措置②医療スタッフの常駐による診療施術③その他救護に必要な措置です。被災者の皆さんでお困りのことがあれば、最寄りの救護対策本部へご相談ください。

▶救護対策現地本部

▷神戸市…
野寄公園（東灘区西岡本３）　☎030(62)96470
浜田公園（灘区浜田町２）☎078(811)2970, 2984
宮本公園（中央区宮本通3)☎078(252)0907, 7946
門口公園（兵庫区門口町2)☎078(671)7952, 7946
県立文化体育館東側（長田区蓮池町１）
☎078(612)9738～9
▷西宮市…安井小学校グラウンド（安井町１）
☎030(62)39990～１
▷芦屋市…芦屋（松浜）公園（浜芦屋町5）
☎0797(31)4263

●避難所緊急パトロール隊

神戸市、西宮市、芦屋市の避難所と避難住民を対象に、警察官と県災害対策本部員の合計４人で 100班の避難所パトロール隊を編成。関係各市と一体となって毎日、避難所を巡回し、避難住民などの安全確認に努めています。ご意見、ご要望をお申し出ください。

●のじぎくパトロール隊が発足

阪神、神戸市域（11警察署管内）の避難所と仮設住宅を“のじぎく”の腕章をつけた150人の警察官が巡回します。高齢者や病弱者、身体障害者の方など住民の皆さんの各種相談に応じます。

融資

●緊急災害復旧資金

り災証明を受けた中小企業者などを対象に店舗・工場などの設置に必要な設備資金や災害復旧のための運転資金を貸し付けます。信用保証が必要です▶限度額=5,000万円▶利率＝年2.5%▶貸付期間＝10年(3年据え置き）▶利子補給や無担保貸付が行われることもあります▶取扱期間＝２月15日～７月31日▶申し込み＝各取扱金融機関▶問い合わせ＝県金融課☎078(362)3321、阪神県民局商工課☎06(481)7641、東播磨県民局商工課☎0794(21)1101、淡路県民局商工課☎0799(22)3541

●緊急特別資金

地震の影響で売上額が前年に比べて20%以上減少することが見込まれる中小企業者などで、緊急災害復旧資金の対象とならない方に貸し付けます。原則として信用保証が必要です▶限度額=2,000万円▶利率＝2.8%▶貸付期間=5年(1年据え置き）▶取扱期間＝２月15日～７月31日▶申し込み＝各取扱金融機関▶問い合わせ＝県金融課☎078(362)3321か各県民局商工課

●県中小企業金融制度の償還期間延長

県中小企業金融制度を利用した中小企業者で、被災したため返済資金の調達ができない方などの償還期間を延長します▶取扱期間＝２月15日～７月31日▶申し込み＝各取扱金融機関▶問い合わせ＝県金融課☎078(362)3321、阪神県民局商工課☎06(481)7641 、東播磨県民局商工課☎0794(21)1101、淡路県民局商工課☎0799(22)3541

折り線

ワーのみ）
▷東灘小学校（深江北町2-4-1 ☎078(411)0556）
▷本庄小学校（青木町4-4-1 ☎078(411)0339）
▷灘中・高等学校（魚崎北町８☎078(411)7234）
▶神戸市灘区
▷西灘小学校（船寺通３☎078(882)8567、シャワーのみ）
▷鶴甲小学校（鶴甲２☎078(821)0444、２人用風呂とシャワー）
▷灘小学校（千旦通１☎078(871)0481）
▷稗田小学校（岸地４☎078(871)0721）
▶神戸市兵庫区
▷須佐野中学校（松原通１☎078(671)4261、シャワーのみ）
▷平野小学校（下三条町10☎078(521)3801、１人用風呂とシャワー）
▷湊川中学校（松本通１☎078(521)4874）
▷水木小学校（水木通９☎078(575)8360）
▷兵庫中学校（永沢町４☎078(577)0744）
▶神戸市長田区
▷室内小学校（前原町１☎078(691)0917、シャワーのみ）
▷長楽小学校（野田町６☎078(731)0190）
▷大橋中学校（細田町１☎078(691)2201）
▷御蔵小学校（一番町４☎078(575)2226）
▶神戸市須磨区
▷板宿小学校（菊池町１☎078(732)4055）
▷飛松中学校（大手町８☎078(731)9494）
以上、シャワーのみ。
▷大黒小学校（大黒町４☎078(732)2441）
▷鷹取中学校（青葉町３☎078(731)0066）
▶芦屋市
▷総合保健福祉センター建設予定地（呉川町☎0797(31)2121、大型風呂、２人用風呂、シャワー）
▷精道小学校（精道町８☎0797(32)1111）
▷岩園小学校（岩園町23☎0797(32)1114）
▶宝塚市
▷宝塚市役所（東洋町１☎0797(71)1141、２人用風呂、シャワー）
▷武庫川河川敷公園（東洋町☎0797(71)1141）
▶西宮市
▷香櫨園小学校（中浜町３☎0798(22)4129）
▶北淡町
▷北淡東中学校（富島240 ☎0799(82)0071）
※翌日の準備の都合上、終了間際の入浴はご遠慮願う場合もありますのでご了承ください。入浴時間は場所により異なりますので、入浴しようとする方は電話などでの確認をお願いします。

●一般公衆浴場等及び被災者に浴場開放するゴルフ場の開業状況

各避難所に掲示していますのでご覧ください。▶問い合わせ＝県生活衛生課☎078(362)3257

●番組のお知らせ

サンテレビ	月～金 土 日	12:55 、18:00 12:55 、16:45 9:00 、17:45
AM神戸	月～金 土 日	7:36 、16:53 、20:14 11:50 、17:54 8:50 、17:00
Kiss-FM	月～金 土 日	12:15 、16:15 、20:40 （金曜日は17:30 ） 10:00 、13:30 、18:30 9:30 、14:30 、18:30
NHK(ﾗｼﾞｵ)	毎日	11:45頃, 15:45頃, 19:45頃

※番組編成上、多少の時間変更があります。

●被災者の「こころのケア」シリーズ　2

《心と身体の変化にとまどっていませんか？》

災害後は誰でもこんな気持ちになりやすいものです。

○愛する人や家族が亡くなったり、傷ついた悲しみ。住まいや仕事を失った悲しみ。
○再び災害に会うのではないか、家族と離れ離れになるのではないか、自分ひとりがとり残されるのではないかという恐れ。
○なぜこんな目に会わなければならないのか、自分の気持ちをほかの人に理解してもらえないことへの怒り。
○将来、どうしたらよいのかわからない不安。
○人間とは何と無力か、という無力感。
○自分だけが無事だったことの気兼ねや後ろめたさ。

こういった気持ちになっても、隠さずに、素直におもてに出す方が、心と身体には良いのです。
※心の悩みについては、お気軽にもよりの保健所や精神保健センター☎078(511)6581へご相談ください。

●環境衛生金融公庫災害融資

飲食店、喫茶店や氷雪販売業、食肉・食鳥肉販売業、理・美容業、クリーニング業、興行場営業、旅館業、浴場業（銭湯のみ）などの方に、損害の復旧に必要な資金を融資します▶種類＝一般設備貸付、振興事業貸付など▶限度額・貸付期間＝業種・資金の種類によって異なります▶基準利率＝4.9%（被害証明書の交付などで特別な利率が適用されることもあります）▶申込期間＝７月31日まで▶問い合わせ＝㈱兵庫県環境衛生営業指導センター☎078(361)8097

●阪神大震災特別融資

兵庫労働金庫の会員などに生活の立て直しや事務所・家屋の建て替え資金などを貸し付けます▶限度額＝無担保… 500万円以内。担保がある場合… 3,000万円以内▶利率＝無担保…年2.5%。担保がある場合…年3%（変動）▶償還期間＝無担保…10年以内。担保がある場合…30年以内▶申込期間＝12月末まで。ただし、100万円以下の生活関連資金は３月末まで▶問い合わせ＝兵庫労働金庫本部☎078(371)1176

●農林漁業施設資金（農林漁業金融公庫資金）

農業や漁業施設などの復旧に必要な資金を貸し付けます▶種類＝個人の施設用、漁船用、共同利用施設用など▶限度額・利率・償還期間＝資金の種類によって異なります▶問い合わせ＝農林漁業金融公庫近畿支店☎075(221)2147または県農林経済課☎078(362)3416、県水産課☎078(362)3478、洲本農林水産事務所☎0799(22)3541、各農協・漁協へ。

●沿岸漁業経営安定資金

漁業に従事する方の経営再建に必要な資金を貸し付けます▶限度額=200万円以内▶利率＝年3.8%▶申込期間＝随時▶償還期間＝20年以内▶問い合わせ＝農林漁業金融公庫近畿支店、兵庫県信用漁業協同組合連合会☎078(681)8185、漁協へ。

●自作農維持資金（農林漁業金融公庫資金）

農家の経営再建に要する費用などを貸し付けます▶限度額＝個人… 200万円以内、農業生産法人… 1,000万円以内▶利率＝年3.8%▶申込期間＝随時▶償還期間＝20年以内▶問い合わせ＝農林漁業金融公庫近畿支店または県農林経済課、各農協へ。

●豊かな村づくり資金

農業や漁業に従事する方の住宅新築資金や農家の生産資材代金の支払い資金などを貸し付けます▶種類＝新築資金、増改築資金、災害資金▶限度額・利率・償還期間＝資金によって異なります▶申込期間＝随時▶問い合わせ＝県農林（水産）事務所、県農林経済課、農協、漁協へ。

●日本育英会奨学金

被災した学生・生徒を対象に、学力基準や収入基準を弾力的に運用して奨学金を貸与します▶金額＝学校の種類などで異なります▶問い合わせ＝各高校・高等専門学校・短期大学・大学へ

●母子寡婦福祉資金

母子家庭（配偶者のない女性で20歳未満の児童を扶養している方）や寡婦の方に生活の安定と向上を図るため貸し付けます▶種類＝就学資金、就学指導資金、住宅資金など▶金額・償還期間・利率＝資金の種類によって異なります▶問い合わせ＝各県・市福祉事務所へ

●災害援護資金

被害を受けた世帯主に生活の立て直しのための資金を貸し付けます▶限度額＝ 350万円以内▶利率＝３%▶償還期間＝10年（３年据え置き）▶所得制限があります▶問い合わせ＝各市・区・町役場へ

生活

●洗濯機の設置

避難所で使っていただけるよう洗濯機を設置します。すでに一部の避難所には設置済みですが、今後、水道の復旧状況に合わせて順次、設置します▶設置する市町＝神戸・西宮・芦屋・伊丹・宝塚の各市と北淡町

住宅

●がれきの処理

一日も早く日常生活を復活させるため、壊れた住宅や中小事業者の建物などを国・県・市町が自衛隊の協力を得ながら解体、収集、運搬、処分します。所有者の申し出が必要です▶問い合わせ＝被災地域の各市・区役所、町役場

●住宅復旧相談センター

戸建て住宅の応急診断の実施や詳細な診断実施機関の紹介、補修工事などの相談に、ボランティアの建築士が応えます▶日時・期間＝毎日午前10時～午後４時、３月末日まで▶場所＝神戸市…中央区下山手通５古河ビル３階☎078(351)6779▷西宮市…江上町１（元神戸地方法務局西宮出張所跡）☎0798(26)7761

●民間宿泊施設などの特別あっせん

住宅をなくした高齢者、障害者などで他の施設に避難することが適切と医師に判断された方とその家族などに、中期的な避難所として、旅館やホテルなど、民間の宿泊施設や公的宿泊施設をあっせんします▶費用＝原則として無料▶相談窓口＝各救護対策現地本部

●ホームステイ相談コーナー

一時的に一般家庭での生活を希望する人にホームステイ先をあっせん▶開設場所＝神戸市…

宮本公園（中央区宮本通３）
☎030(92)90004

野寄公園（東灘区西岡本３）
☎078(441)4780、4807

浜田公園（灘区浜田町２）
☎078(842)3280

門口公園（兵庫区門口町２）
☎078(671)7946、7952

県立文化体育館東側（長田区蓮池町１）
☎030(92)90044 ～5

▷西宮市…安井小学校グラウンド（安井町１）
☎0798(34)4167

▷芦屋市…芦屋（松浜）公園（浜芦屋町５）
☎0797(34)4578、4573、4558

▷尼崎市…尼崎市役所ホームステイ受付（中館７階ボランティア相談ｺｰﾅｰ）☎06(489)6880

▷伊丹市…伊丹市役所１階相談コーナー（千僧１）
☎0727(83)1234）

▷宝塚市…宝塚市役所ボランティア本部横（東洋町１）☎0797(74)1500

▷川西市…川西市役所１階総合相談所横（中央町12）☎0727(40)1111

▷淡路各町…淡路県民局（洲本市塩屋２）
☎0799(22)3541

▶受付時間＝午前９時～午後６時（土・日も可）▶問い合わせ＝県統計課☎078(362)3861へ

●電話法律相談

兵庫県司法書士会淡路支部の司法書士が土地・建物に関する疑問に応えます▶日時＝２月11日・12日・19日・25日・26日の午前10時～午後４時▶電話番号＝フリーダイヤル0120(26)2015

健康・医療

●難病相談

難病で悩んでおられる方や家族の方のさまざまな相談に相談員や専門医が応えます▶電話相談＝月～金曜日の午前９時～午後５時15分☎06(482)7205 または ☎06(482)1521の内線795 へ▶面接相談＝県立尼崎病院難病相談センター（尼崎市東大物１：阪神電車大物駅北側）へ▶専門医による医療相談は電話での予約が必要です。

●避難所救護センターでの一時医療

救急対応、流行性疾患の早期治療、乳幼児などの健康管理など。症状によっては専門医療機関への転送や後送もします。▶開設場所＝神戸市…宮本公園（中央区宮本通３☎030(62)96464）、野寄公園（東灘区西岡本３ ☎030(62)96034）、浜田公園（灘区浜田町２☎078(842)3272）、久遠寺（兵庫区門口町２☎078(651)6509）、県立文化体育館東側（長田区蓮池町１☎078(612)9738～9▷西宮市…安井小学校（安井町１☎0798(34)4153）▷芦屋市…芦屋（松浜）公園（浜芦屋町５☎0797(31)4262）▷北淡町…北淡東中学校（富島240 ☎0799(82)0071）、育波小学校（育波1345☎0799(84)0303）診療時間は、各センターにお問い合わせください。▶問い合わせ＝県医務課☎078(362)3242

雇用

●再就職のための特別訓練

被災して仕事を失った方で、災害復興事業などでの就労を希望する人を対象に特別訓練を行います▶訓練内容＝建設機械運転コース（移動式クレーン運転技術、車両系建設機械運転技術）▶定員＝15人▶対象＝被災者で大型特殊自動車運転免許取得者など▶訓練期間＝３月２日～４月21日までの22日間▶受講料＝無料（免許受験手続料などは必要）▶申込期間＝２月10日～２月24日▶申込者に面接（２月28日）して受講生を決定します▶問い合わせ＝住居地の公共職業安定所か県立神戸高等技術専門学院☎078(796)0657

入浴

●仮設風呂など

県と自衛隊では各地の避難所などに仮設風呂などを設置しています。

▶神戸市中央区
▷諏訪山小学校（中山手通４☎078(221)2539）
▷北野小学校（中山手通３☎078(221)1325）
▷春日野小学校（宮本通７☎078(241)3109）
▷若菜小学校（神若通７☎078(241)7501）
▷湊小学校（東川崎町１☎078(360)1200）
以上、シャワーのみ。
▷小野柄小学校（小野柄通２☎078(221)0003）
▷新港第一突堤（新港町）
▷港島小学校（港島中町３☎078(302)1661）
▶神戸市東灘区
▷本山第１小学校（本山北町３☎078(411)1974、シャ

こうべ地震災害対策広報

第6号（随時発行）　1995年(平成7年)2月3日。
発行：神戸市災害対策本部　☎322-5117～5122

全国から届けられた義援金を配分します

2月6日(月)から申請受付

交付対象

神戸市内に住民登録・外国人登録を有し、今回のり災により、死亡・行方不明の被害および全壊・全焼・半壊・半焼の住民登録・外国人登録上の住家の被害を受けた世帯。

交付金額

(1)死亡者	100,000円
(2)行方不明者	100,000円
(3)住家(全壊・全焼・半壊・半焼)	100,000円

申請受付期間等

2月6日から当分の間（土・日曜・祝日は除く）午前9時～午後5時（整理券などによる受付制限の場合あり）

当初はかなり混雑が予想されますので、余裕をもって申請してください。

申請者

原則として世帯主本人
※世帯主本人が来られない場合は、お問い合わせください

必要書類等

- **本人を確認する証明書**（運転免許証、健康保険証ほか）
- **印鑑**
- **住家被害については、り災証明書**（届出証明書は不可）
- **死亡被害については、埋火葬許可書か死亡診断書か住民票除票**

り災証明書を2月6日から発行

今回の震災の被害者が、震災に関する給付金の受給や官公署あての申請などの際に必要な「り災証明書」を2月6日から下記の場所で発行します。

＜証明の内容＞建物の全壊・半壊・一部破損・全焼・半焼・水損に伴うり災
※設備や動産（土地・建物を除くもの）の被害は対象外です。これらは「り災届出証明書」での対応となります
＜り災者＞り災者は建物の倒壊などによって、被害を受けた居住者・家主など
＜証明書発行に必要なもの＞
印鑑（手数料は無料）
なお、申請書には、り災者氏名、り災場所の住所、持ち家・借家（所有者名が必要）・住宅・非住宅の別を記入していただきます
＜発行期間＞
2月6日（月）から
午前9時～午後5時
（土・日曜・祝日は除く）
＜発行枚数＞
居住者1世帯につき1枚（家主が別の場合別途1枚）
※複数の提出先がある場合は、相手方に提示し、原本は返却してもらってください
【郵送での請求は…】
申請書に記入すべき内容を便せんなどに記載し、住所地の区役所に郵送してください。折り返し証明書をお送りします

◆問い合わせは、各区役所・支所へ

東灘区役所 〒658 東灘区住吉東町2-3-28 ☎841-4131
灘区役所 〒657 灘区神ノ木通3-6-18 ☎871-5101
中央区役所 〒651 中央区雲井通5-1-1 ☎232-4411
兵庫区役所 〒652 兵庫区荒田町1-21-1 ☎511-2111
北区役所 〒651-11 北区鈴蘭台西町1-25-1 ☎593-1111
長田区役所 〒653 長田区北町3-4-3 ☎579-2311
須磨区役所 〒654 須磨区中島町1-1-1 ☎731-4341
北須磨支所 〒654-01 須磨区中落合2-2-5 ☎793-1212
垂水区役所 〒655 垂水区日向1-5-1 ☎708-5151
西区役所 〒651-21 西区玉津町小山字川端180-3 ☎929-0001

義援金・り災証明書申請受付場所

- 東灘区……コープこうべ生活文化センター
- 灘　区……都賀川公園（上河原橋南）
- 中央区……磯上公園内クラブハウス（入口は西側）
- 兵庫区……兵庫区役所（公会堂）
- 北　区本区…北区民ホール
- 北　区出張所…各出張所
- 長田区……長田区役所
- 須磨区……須磨区役所
- 北須磨……北須磨支所
- 垂水区……垂水勤労市民センター(レバンテ垂水内)
- 西　区……西区役所（公会堂）

※義援金の交付申請については住民登録または外国人登録をしている区の左記受付場所にお越しください。また、り災証明書の交付申請には、り災した建物のある区の左記受付場所にお越し下さい

被災児童生徒・大学受験者のホームスティ受け入れ先を紹介します

▶受け入れ期間＝3月31日まで（大学受験者は受験期間中）▶転校など学校の手続き＝受け入れ家庭が行う▶ホームスティの費用＝無償※受け入れ先は市外・県外になる場合もあります。
㊐「被災児童生徒」ホームスティ相談センター（☎322-5795・5814、FAX322-6144）

学用品を提供してください

▶受け入れ期間＝2月16日まで。午前9時～午後8時30分【お願い】品目と数量の明記、大量の搬入は到着予定時刻を連絡
▶受け入れ先（郵送でも可）＝〒650　神戸市中央区楠町4-1-1　市立中央体育館内「学用品受入センター」(☎341-7972・3、FAX341-7974)

入試日程の変更について

▶兵庫県公立高校＝▷推薦A…2月13日に変更▷推薦B…2月22日に変更▷一般入試…3月16日（変更なし）▶市立工業高等専門学校＝2月26日に変更▶私立中学校＝3月1日からに変更▶私立高校＝2月26日からに変更

学校の再開について

開校予定は、校門などに提示していますので、ご注意ください。また、すべての学校園では、幼児・児童・生徒の所在を確認していますので、各自学校へ連絡してください。
㊐指導第1課（☎322-5786）

広報 こうべ　地震災害対策特別号

第1号（随時発行）1995年（平成7年）2月17日

発行／神戸市災害対策本部　☎(078)322-5117～5122

商店街にも復興の息吹が……

「災害に強い新しいまち神戸」へ

皆さんと共に力を合わせて

一九九五年（平成七年）一月十七日午前五時四十六分に発生した兵庫県南部地震から一か月が過ぎました。

この災害で亡くなられた多くの方々に対し、心からお悔やみを申し上げます。また、けがをされた方、大切な家屋や財産を失われた方々に謹んでお見舞いを申し上げます。

神戸を襲ったこの地震は、近代化された日本の大都市では初めての直下型大地震であり、家屋の倒壊、火災をはじめ水道・ガスなどのライフラインが切断され、港湾施設などの産業基盤や生活基盤の施設が打撃を受けるなど未曾有（みぞう）の被害が出ました。

市では、災害対策本部を設置し、関係機関と協力して、避難所で困難な生活をしている皆さんへの物資の供給、医療の提供など被災者支援活動を行うと共に、一日でも早いライフラインの復旧活動、さらには港湾機能など、市の産業基盤・生活基盤回復のために総力をあげて取り組んでいます。

地震直後からの被災者支援活動や復旧活動では、海外や全国からの多数のボランティア活動が大きな支えになっており感謝にたえません。

現在、市民の皆さんの間でも、商店街やオフィスが再開されるなど日常の生活の中で、復興の息吹が聞こえてきており心強い限りです。

今後復興にあたっては、復興計画をつくり、「災害に強い新しいまち神戸」の実現はもちろんのこと、世界の有数な国際港湾都市として再生を目指し、夢のあるまちづくりに向けて最大限の努力をしていきます。

これからも、一日でも早く市民生活の安定に向け、市民の皆さんと共に力を合わせてこの苦境を乗り切っていきたいと思いますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

神戸市災害対策本部長（神戸市長）

笹山幸俊（ささやまかずとし）

必要な人は申請してください

り災証明書 発行中

今回の震災の被害者が、震災に関する給付金の受給や官公署あての申請などの際に使用されることがある「り災証明書」を左記の場所で発行しています。

▼証明の内容＝建物の全壊・半壊・一部破損・全焼・半焼に伴うり災

※設備や動産（土地・建物を除くもの）の被害は対象外です。

▼り災者＝建物の倒壊などによって、被害を受けた居住者・家主など

▼証明書発行に必要なもの＝印鑑（手数料は無料）

なお、申請書には、り災者氏名、り災場所の住所、持ち家・借家（所有者名が必要）・住宅・非住宅の別を記入していただきます

▼発行枚数＝一家屋につき一枚発行（家主が別の場合は別途一枚発行）

※複数の提出先がある場合は、相手方に提示し、原本は返却してもらってください

【郵送での請求は…】

申請書に記入すべき内容を便せんなどに記載し、住所地の区役所に郵送してください。折り返し証明書をお送りします

◆問い合わせは、各区役所・支所へ。

全国から届けられた 義援金を配分しています

▼交付対象＝神戸市内に住所を有し、今回のり災により、死亡・行方不明の被害および全壊・全焼・半壊・半焼の住家の被害を受けた世帯

▼交付金額＝▽死亡者…十万円▽行方不明者…十万円▽住家（全壊・全焼・半壊・半焼）…十万円

▼申請者＝原則として世帯主本人。ただし、死亡・行方不明の義援金申請の場合は、配偶者・子・父母・孫・祖父母も可（代理人も可）。くわしくは各区へお問い合わせください

▼必要書類等＝本人を確認する証明書（運転免許証、健康保険証ほか）、印鑑、住家被害については、り災証明書、住民登録がない場合は居住を証明する書類、死亡被害については、埋火葬許可書または死亡診断書か住民票除票

◆問い合わせは、各区役所・支所へ。

り災証明書・義援金の発行期間・申請受付場所

【発行期間】

当分の間（土・日曜・祝日は除く）。午前九時～午後五時（整理券等で受け付けを制限する場合があります）

【申請受付場所】

▼り災証明書＝り災した建物のある区・支所・出張所

▼義援金＝住所のある区・支所・出張所の左記受付場所

◇東灘区…コープこうべ生活文化センター

◇灘区…都賀川公園（上河原橋南）

◇中央区…磯上公園内クラブハウス（入口は西側）

◇兵庫区…兵庫区役所（公会堂）

◇北区本区…北区民ホール

◇北区出張所…当該出張所

◇長田区…長田区役所

◇須磨区…須磨区役所

◇北須磨…北須磨支所

◇垂水区…垂水勤労市民センター（レバンテ垂水内）

◇西区…西区役所（公会堂）

解体の必要のある家屋は申し出てください

倒壊のおそれのある家屋などの解体は、原則として市が行いますので所有者は申し出てください。同意書が必要となりますので、書類をお渡しします。

対象となるのは、①一般家屋②中小企業基本法第二条に該当する事業者の建物③宗教法人・学校法人などの非営利法人の建物、神社・仏閣、中小企業の組合の建物等、市長が必要と認めるものです。また、作業は、公共性、緊急性の高いものから処理しますので、全体では長期間を要します。

◆申し出は、直接各区の災害対策本部へ。（電話による受け付けはしません。先着順ではありません）

▼受付期間＝三月十五日まで。午前九時～午後四時（土・日曜休み）

◇　◇　◇

既にご自分で解体・撤去された人についての費用は、標準単価の範囲内で市が負担します。手続きなどは、決まり次第お知らせしますので、証拠となる施工前・施工後の各写真、見積書、領収書、契約書、り災証明書などを保管しておいてください。手続きは、後日お知らせします。

〈解体・撤去の標準単価〉

▼木（鉄骨）造＝延べ床面積一平方㍍あたり約一万二千円

▼鉄筋（鉄骨鉄筋）コンクリート造＝延べ床面積一平方㍍あたり約三万円

※延べ床面積は課税台帳による（地下部分は除く）。撤去のみの場合は前記単価の二分の一以下

◆また、ご自分で解体・撤去をしようとされる人は、各区の災害対策本部へお問い合わせください。

倒壊した家屋などの廃材・ガレキの撤去は原則として市が行います

〈道路上の廃材・ガレキ〉

【手続き】❶事前に「お知らせ」の掲示や避難所へ連絡を行う❷所有者から連絡および承諾を得た後、順次撤去

※撤去までにできるだけ貴重品などの搬出をお願いします。また、撤去の際、立ち会いを希望する人は申し出てください。

◆問い合わせ先（午前九時～午後四時）

◇東灘・灘区…東部土木事務所（☎854―二一九一）

◇中央・兵庫区…中部土木事務所（☎511―〇五一五）

◇北区…北土木事務所（☎981―五一九一）

◇長田・須磨区…西部土木事務所（☎742―二四二四）

◇垂水区…垂水土木事務所（☎707―〇二三四）

◇西区…西土木事務所（☎912―三七五〇）

〈その他の場所の廃材・ガレキ〉

撤去は、原則として道路、河川などに囲まれた区域ごとに行います。事前にお知らせし、相当の期間を置いてから実施しますので、その間に貴重品などの搬出を行ってください。

手続きなどは、決まり次第お知らせします。

◆問い合わせは、市災害対策本部環境部（☎321―五四四三）へ。

税金や使用料などの納期限を延長します

震災後に納期が来る左記のものは、原則として三月末日まで、納期限の延長、または徴収の猶予を行います。

●市税（納期限または申告・申請・請求などの書類の提出）

●市営住宅使用料

●国民健康保険料

●幼稚園保育料

●保育所などの福祉施設徴収金

●港湾使用料

●上下水道料金（1月28日から3月18日の間に納期限が到来する料金について、一期「二か月」分を徴収猶予）

◆問い合わせは財務課（☎322―五一三七）へ。

◇東灘区役所	〒658 東灘区住吉東町2-3-28	☎841-4131
◇灘区役所	〒657 灘区神ノ木通3-6-18	☎871-5101
◇中央区役所	〒651 中央区雲井通5-1-1	☎232-4411
◇兵庫区役所	〒652 兵庫区荒田町1-21-1	☎511-2111
◇北区役所	〒651-11 北区鈴蘭台西町1-25-1	☎593-1111
◇長田区役所	〒653 長田区北町3-4-3	☎579-2311
◇須磨区役所	〒654 須磨区中島町1-1-1	☎731-4341
◇北須磨支所	〒654-01 須磨区中落合2-2-5（り災証明書、義援金の問い合わせのみ）	☎793-5551
◇垂水区役所	〒655 垂水区日向1-5-1	☎708-5151
◇西区役所	〒651-21 西区玉津町小山字川端180-3	☎929-0001

ごみ

荒ごみの排出抑制にご協力を

現在、今回の地震で被害の大きかった地域では、まち中にごみがあふれている状況です。

市でもこのごみを一掃すべく他都市の協力も得ながら、全力を挙げて収集していますが、被害によるごみが大量にでていること、また、交通渋滞によって収集車の通行が妨げられることなどによってなかなか決められた日に収集できないのが実情です。

この段階で市民の皆様に細かいお願いをするのは恐縮ですが、次の点にご協力をお願いします。

・ごみは従来どおり家庭ごみ（燃えるもので、カサの小さいもの）と荒ごみ（燃えないもの、カサの小さいもの）に分けてください。

・荒ごみの排出抑制にご協力を

・従来のステーションが利用不能の場合は、最寄りのステーションへ

・当面空き缶の収集はできません。保管しきれない場合は荒ごみに出してください。

・使用済みカセット式ガスボンベは、発火事故防止のため必ず使いきり、穴をあけ荒ごみに出してください

一日も早く決められた日に規則正しく収集できるように努めますので、皆様のご理解とご協力をお願いします。

◆問い合わせは、環境局計画課（☎322―五二八四）へ。

水道　1日も早い復旧に向け

〝1日も早く水を。〟を合言葉に懸命の復旧作業

神戸市内の地下に埋設された水道管を合わせると約四千㌔にもなりますが、今回の地震でこれまでに三千か所以上の水道管からの漏水が発見されています。

漏水は、地域ごとに試験的に水を流し、水圧の変化などをチェックしたり、直接水道管に流れる水の音を聞いたりして発見し、修理を進めています。

・水道管が地中にあり、被害状況の把握に時間がかかる

・修理を要する水道管を倒壊家屋が覆っている

・交通渋滞で現場到着に時間がかかるなど

復旧作業に困難な状況ではありますが、一日も早い復旧に向け連日全力を傾けています。ご理解とご協力をお願いします。

【お願い】

漏水を発見するための試験通水で、水道管の破損部分から水が漏れ、家屋などに思わぬ被害が生じることがあります。このため、玄関付近にある止水栓（水道の元栓）をあらかじめ閉めておいていただきますようお願いします。

なお、現在、水が出ている地域でも、復旧工事のため再び断水することがありますのでご注意ください。

◆問い合わせは

東灘・灘区…東部営業所（☎441―一七九三）

中央・兵庫区…中部センター（☎341―五四五一）

長田・須磨区…西部センター（☎733―六六〇一）

垂水・西区…垂水センター（☎784―〇五五〇）

北区…北センター（☎582―四〇〇〇）へ。

◇大阪ガスからのお知らせ

社員が安全を確認するまで使わないで！

現在、二次災害を防止するため都市ガスの供給を停止し、被害の激しい一部地域を除いて三月上旬を目標に作業中ですが、被害が激しいこと、地中に埋設されているガス供給設備の破損状況の全容把握が難しいことなどの理由で、詳細な復旧スケジュールをお知らせできないことをおわび申しあげます。

▼大阪ガスからのお願い

・供給停止地区

①ガス栓、器具栓、メーターガス栓を閉めてください。

②大阪ガスの社員が設備を点検し安全を確認するまでは絶対にガスを使わないでください。

・供給継続地区

①ガスのにおいがしたら栓をしめ、すぐに大阪ガスへ連絡を。火を使わず、換気扇はスイッチから火花が飛び、引火するので操作しないでください。

②ガスメーターの赤いランプが点滅しているときは、安全装置が作動してガスがとまっています。ご自分で操作してください。

皆様のご理解、ご協力をお願いします。

◆問い合わせは、大阪ガス地震対策専用受け付け（☎〇六―205―八八〇〇）へ。

◇関西電力からのお知らせ

今回の地震で災害救助法が適用された地域および近隣の地域のお客さまには

・電気料金の支払い期限の繰り延べ

・基本料金の一部免除

の適用があります。

また、引き込み線工事については、一部のケースを除き、無料実施することができますので詳細はお問い合わせください。

地域	問い合わせ先
東灘区・灘区・中央区（旧宇治川以西を除く）	三宮営業所 ☎391-6041
中央区（旧宇治川以西）・兵庫区・長田区・須磨区・北区（北神を除く）	兵庫営業所 ☎681-3151
垂水区・西区（北西部を除く）	明石営業所 ☎912-2651
北区（北神部）	三田営業所 ☎0795-63-2484
西区（北西部）・北区（淡河町）	加古川営業所 ☎0794-21-3201

市バス・市営地下鉄　定期券発売所

次の定期券発売所は当分の間、無休で営業しますのでご利用ください。

【取り扱い業務】

・定期券の払い戻し、再発行、新規販売

・市バス回数券の販売、払い戻し

	三宮臨時定期券発売所	神戸駅前定期券発売所	地下鉄名谷駅定期券発売所	地下鉄西神中央駅定期券発売所
場所	総合インフォメーションセンター	JR神戸駅北側デュオ神戸地下街	地下鉄名谷駅構内	地下鉄西神中央駅ビル2F
営業時間	12:00～19:00	12:00～19:00	7:00～19:00	12:00～19:00
問い合わせ	☎392-2571	☎341-4455	☎791-1160	☎991-3004

✚病気、けがのときは――

【開業している市内の医療機関の紹介】

▶病院・診療所―地域医療課 ☎322-5246・5248

▶診療所―神戸市医師会 ☎351-1410

▶歯科診療所―神戸市歯科医師会 ☎351-0087

▶市民病院

中央市民病院……一般外来（9：00～15：00） ☎302-4321　救急外来（24時間対応）

東灘診療所……内科・小児科・外科ほか ☎411-7012　（9：00～17：00）

西市民病院……内科・外科系ほか ☎576-5251　（24時間対応）

西神戸医療センター ☎997-2200……一般外来（9：00～12：00）　救急外来　（24時間対応）

※西市民病院は、2月20日（月）に仮設診療所として移転します（18日は休診、19日は救急対応のみ）。

▷移転先　長田区北町3－4－3　長田区総合庁舎6階　☎576-5251

【急病のときは…】

①神戸市医師会急病診療所

中央区橘通4－1－20　神戸市医師会館本館内　☎341-2313

・内科・小児科……毎日（21：00～23：40）

・耳鼻咽喉科（いんこう）……土曜（21：00～23：40）　休日（9：00～16：40）

・眼科……休日（9：00～16：40）

②休日歯科診療所（10：00～15：00）

中央区山本通5－3－27　☎351-1722

※2月中は平日も診療

③休日急病電話相談所（9：00～16：30）

灘区　☎871-3300　中央区　☎371-7500

兵庫区　☎577-3390　北区　☎581-3300

長田区　☎579-0753　須磨区　☎734-1400

垂水区　☎781-1441　西区　☎961-1400

※東灘区はほかの区で受け付けます。

【避難所では…】

市内約130か所の避難所で、医師、看護婦などが救援活動を行っています。開設場所については、下記の災害関連情報ファクスか、保健所まで問い合わせてください。

災害関連情報ファクス　FAX360-0200

（メニューコードは「3」です）

東灘保健所　☎841-4131

灘保健所　☎871-5101

中央保健所　☎232-4411

兵庫保健所　☎511-2111

長田保健所　☎579-2311

須磨保健所　☎731-4341

※上記保健所では、精神科医による心の相談も行っています（9：00～17：00）。

余震の備えを万全に

今後も余震が起こることが考えられます。
次のことに注意して、身の安全を確保してください。

家具類の転倒や落下を防止

- 棚などの高い所に危険な物を置かない（特に寝床やベビーベッドの周り）
- 家具は転倒防止金具などで壁に固定
- 本棚や茶ダンスには、重い物を下の方に収納し、重心を低くしておく
- 食器棚のガラス製品などの滑り出し防止枠を設置
- 割れそうなガラスにはテープや飛散防止フィルムをはる
- 開き戸式のものには止めがねを
- 車輪付きのものには滑りどめを
- 電灯は金具や鎖で天井に固定
- 植木鉢などをベランダに置かない
- ブロック塀などを補強
- 木造住宅の柱などを補強

余震が発生したときは…

大揺れは1分程度でおさまりますので、周囲の状況を確かめて、落ちついて行動してください。

- グラッときたら火を始末
- テーブルなどの下に身をふせる
- 戸を開けて、出口を確保
- あわてて外に飛び出さない
- 隣り近所に声をかける
- 火がでたらすばやく消火
- 門や塀には近づかない
- 室内のガラスの破片に注意する
- 協力して応急救護
- ラジオなどで正しい情報を収集
- 避難は徒歩で
- エレベーターや車は使わない

持ち出し品を再点検

リュックや袋にひとまとめにして
一般的に必要だと思われる物は下表のとおりです

水	1人1日3ℓの飲料水を確保
食料	家族の数にあわせて2～3日分。カンパン、缶詰、ドライフーズなど保存性の高いもの
貴重品	印鑑、現金、健康保険証、預金通帳、権利証、身分証明書など
衣類	下着、くつ下、雨具（防寒）、毛布（寝袋）、ヘルメット（ずきん）、タオル
医療品	軟こう、消毒薬、脱脂綿、包帯、ガーゼ、胃腸薬
ラジオ	予備の電池も用意
その他	懐中電灯、非常用燃料、マッチやライター、新聞紙、ナイフ、ひも、缶切り、ティッシュペーパー、軍手、スリッパ、ポリ袋、防水シート、石けんなど

※高齢者や乳幼児に必要な物の用意も

災害対策情報

テレビ、ラジオでお届けします

神戸市では、地震災害対策情報を、次の番組の中でお知らせします。

神戸市災害対策本部からのお知らせ

【ラジオ】▶AM KOBE　558（558KHZ）
月曜～土曜／10：15～10：20
▶Kiss-FM KOBE（89.9MHZ）
毎日／15：00～15：05
※月曜～金曜は「デイライト・キッス」（英語による情報提供もあり）、土曜は「サタデー・キッス」、日曜は「サンデー・キッス」の中で放送
【テレビ】▶サンテレビ
月曜～土曜／17：30ごろから5分間
※月曜～金曜は「ニュースeyeランド」、土曜は「ニュース・サタデー」の中で放送

市の広報番組

【ラジオ】▶AM KOBE　558（558KHZ）
「サンデー神戸」毎週日曜9：00～9：30
【テレビ】▶サンテレビ
「ウイークリーこうべ」毎週日曜
18：15～18：20
※手話通訳による情報提供

FAXで災害情報を提供

ガス・水道、住宅、医療、福祉など9つに分類した情報を24時間提供。市外からでも取り出せます。
提供時間　毎日24時間（休みなし）
提供情報の内容　次の9つのメニュー別に最新情報を提供

0：最新情報の抜粋
1：生活情報（ガス、水道、電話など）
2：住宅情報（一時使用住宅、公営住宅など）
3：医療情報
4：福祉情報
5：交通情報と復旧見通し
6：合同慰霊祭・環境・その他
7：各問い合わせ先一覧
8：こうべ地震災害対策広報
9：メニューコードのご案内
（注）メニューコードの内容は状況により変更する場合があります

利用方法

❶ＦＡＸの受話器をとって下記の番号へ電話をかけてください。
☎（078）360－0200
❷「災害関連情報を提供します。ご利用の前に0（ゼロ）をプッシュしてください」の音声案内の後、ゼロを押してください。
❸「0から8のメニューコードをどうぞ。メニューコードをお知りになりたい方は9をどうぞ」の音声案内の後、希望の番号を押してください。
❹「ピーという音がしましたら、スタートまたは通信ボタンなどを押して、電話をお切りください」の音声案内の後、スタートまたは通信ボタンを押して、受話器を置くと、情報がＦＡＸで受信できます。

悪質業者に注意しましょう

●住宅修理の契約は慎重に
●住宅に関する相談は下記の窓口へ！

相談事項	実施団体	電話番号	受付時間等
戸建住宅の応急修繕等	神戸市建築協力会	(078)362-5591	10：00～16：00(土・日曜も開設)
かわら工事	兵庫県瓦工事業協同組合	(078)391-2978	10：00～16：00(土・日曜休み)
	明石瓦工事業協同組合	(078)936-2103	9：00～16：00(土・日曜休み)
	(社)全日本瓦工事業連盟	(06) 762-6721	10：00～16：00(土・日曜休み)
	兵庫県粘土瓦協同組合連合会(淡路)	(0799)38-0570	9：00～17：00(日曜・第2土曜休み)
	兵庫県西部瓦工事業協同組合(姫路)	(0792)84-2333	9：00～16：00(土・日曜休み)
住宅関連(家賃・敷金等)	総合住宅相談所	(078)362-5219	10：00～17：00(土・日曜も開設)
土地・建物・税金・社会保険(権利書の焼失、境界の確認手続き)	兵庫県司法書士会・兵庫県土地家屋調査士会・近畿税理士会・兵庫県社会保険労務士会	(078)794-4006	10：00～17：00(土・日曜も開設)
よろず法律相談(借地・借家の権利関係、敷金の返還問題　等)	神戸弁護士会	(078)362-5158 (078)362-5171 (078)362-5178	10：00～17：00(土・日曜も開設)
契約・解約に関する相談	神戸市生活情報センター臨時消費生活相談所	(078)361-6979	神戸市中央区橘通3－4－3 神戸市生活学習センター内

電話相談をご活用ください

- 被災者の心の電話相談室（生活学習センター）　☎361―8935（10:00～16:00）
- 中小企業総合相談所（中小企業指導センター）　☎360―3192 ☎360―3193 ☎360―3196 ☎360―3211
- Consultation by Telephone ～外国人電話相談（English & 中国語）　☎795―4400 ☎322―5016
- 身体障害福祉センター（障害者向け）　☎577―6505
- ふれあい育児相談室（乳幼児の育児）　☎691―7867
- 児童相談所　☎382―2525

神戸市災害対策本部　☎322―5117～5122
各区の災害対策本部は2面掲載の区役所の代表番号へ
- 建築制限区域について（まちづくり区域担当）　☎242―2131（10:00～18:00）
- 他都府県（兵庫県・大阪府を除く）の公営住宅や住宅都市整備公団の空き家状況の紹介（被災者用公営住宅等あっせんセンター）　☎06―945―2832（9:00～20:00）

この広報紙の情報は、2月11日現在のものです。内容が変わることがありますのでご注意ください。

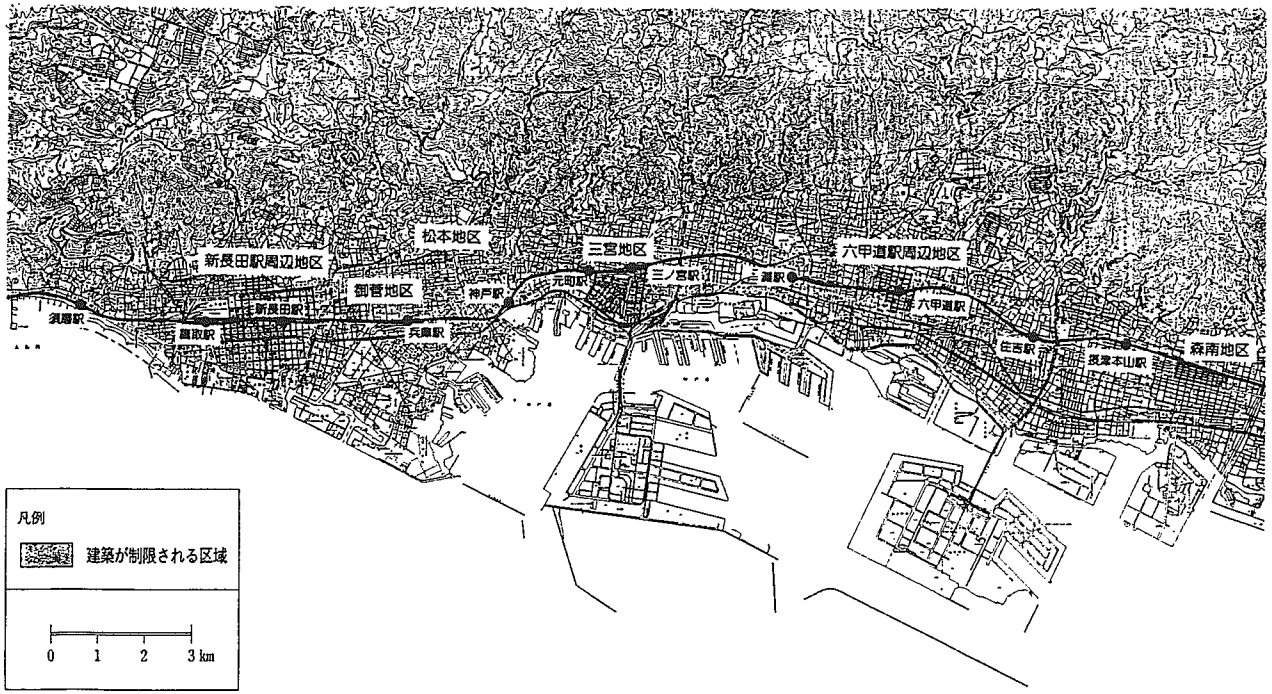
震災復興まちづくりニュース（第1号）

神戸市住宅局
都市計画局
平成7年2月5日

震災からの復興に向けて

神戸は、1月17日夜明け前の地震によりたいへんな被害を受けました。しかし、市民の皆さんは、再生に向けて歩き出されています。皆さんのこうした動きこそが、神戸の復旧、復興へと実を結んでいくものです。こうした新しい街づくりを市民の皆さんと共に取り組むために、総合的な市街地、住宅の整備を行ううえで必要な区域については、一定期間、そこで建物を建てることを辛抱していただき、その間に皆さんと共に、災害に強い街づくり計画を定めていきたいと考えています。

建築が制限される区域が指定されました



建築が制限される区域の指定

指定された区域はどこですか？

（森南地区）（六甲道駅周辺地区）（三宮地区）（松本地区）（御菅地区）（新長田駅周辺地区）、以上計6地区です。

詳しくは裏ページの図面をご覧ください。

どういう街づくり計画が予定されていますか？

次のような街づくりが予定されています。そのための話し合いをこれから始めさせていただきます。

- ○土地区画整理事業が予定されている区域
  （森南地区）（六甲道駅周辺地区）（松本地区）（御菅地区）（新長田駅周辺地区）
- ○市街地再開発事業が予定されている区域
  （六甲道駅周辺地区）（新長田駅周辺地区）
- ○地区計画が予定されている区域
  （三宮地区）

建物は全く建てられないのですか？

次のような建物は建てることができます。

①2階建てまでの木造、鉄骨造り、コンクリートブロック造りなどの建築物

②応急仮設建築物、工事用仮設建築物など

いつまで制限するのですか？

平成7年2月17日までです。ただし、さらに1か月延長する場合があります。

問い合わせは、まちづくり区域担当へ

電話　242−2131

場所　サンボーホール2階
（中央区浜辺通5丁目・貿易センタービルの北隣）

時間　午前10時〜午後6時
（当分の間　土・日曜日・祝日も行います）

震災復興まちづくりニュース（第3号）

神戸市広報印刷物登録　平成6年度第264号－3（広報印刷物規格A－1項）

神戸市住宅局
都市計画局
平成7年2月23日

防災モデル都市をめざして

まちづくりの案を作りました

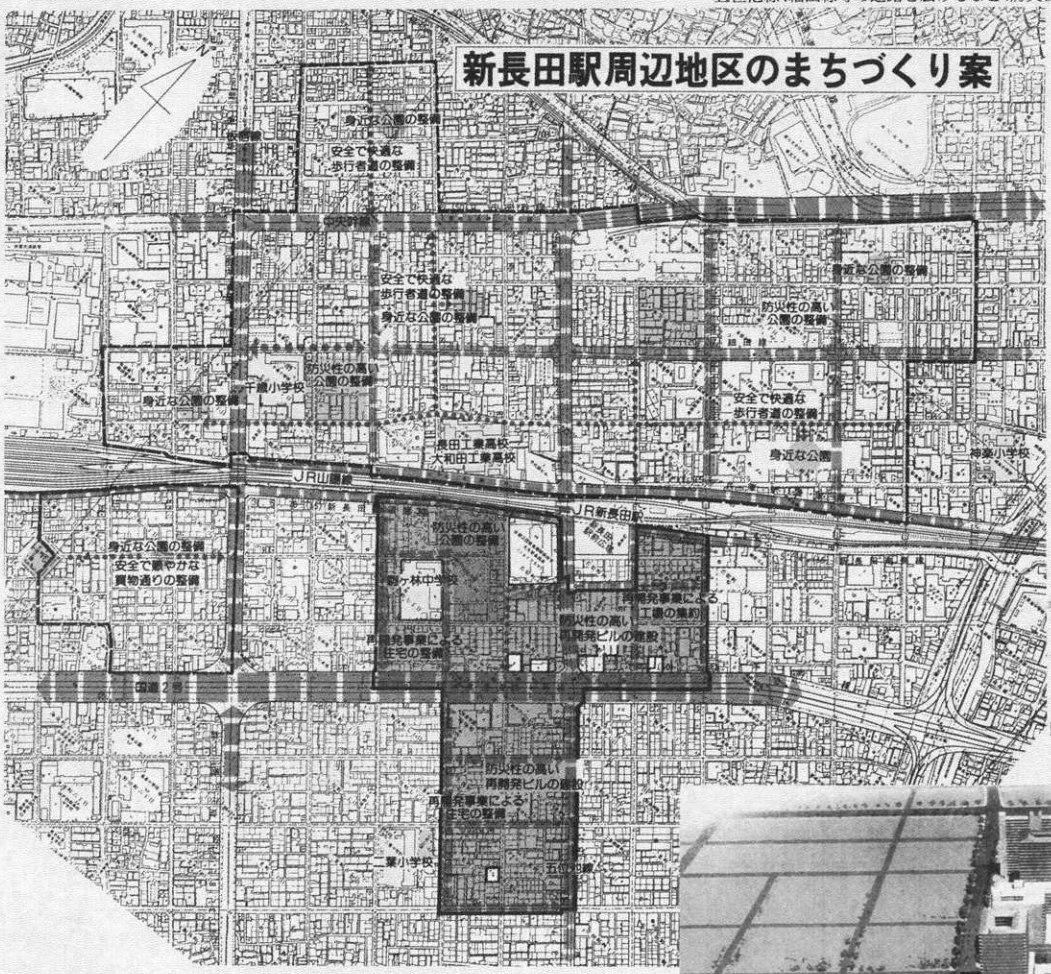
震災が起こってから、早くも1カ月がたちました。神戸市では、今回の震災で特に被害が集中した新長田駅周辺地区、御菅地区、松本地区、三宮地区、六甲道駅周辺地区、森南地区の6地区について、今回のような災害を二度と起こさないよう、「災害に強いまちづくり」を検討してきました。

このたび、まちづくりの案を取りまとめましたので、お知らせいたします。

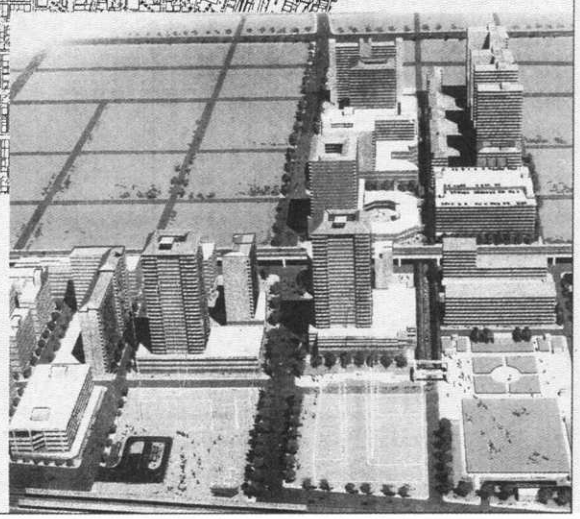
新長田駅周辺地区

■ＪＲの北側と鷹取駅の東側は土地区画整理事業を行います。千歳小学校の東側及び、ＪＲ新長田駅と山陽の西代駅の中間の2カ所に大きな防災拠点となる公園を整備するとともに、いざという時のためにも五位池線、細田線等の道路を広げるなど、防災機能の向上を図ります。焼けた商店街の復興を図るとともに、ケミカルシューズなどの工場を集め、住宅と工場とが共存共栄できる快適なまちづくりをめざします。

■ＪＲ新長田駅の南側は市街地再開発事業を行います。若松公園を大きくするとともに五位池線などの道路を広げます。また、再開発ビルを建設し、商店や業務施設、住宅の供給を図るとともに地震や火事に強いまちづくりを進めます。



【市街地再開発事業区域】
長田区　日吉町1丁目・2丁目・3丁目（一部）、若松町3丁目・4丁目（一部）・5丁目（一部）・6丁目・7丁目（一部）、大橋町2～5丁目（各一部）・6丁目・7丁目・8丁目（一部）、腕塚町5丁目・6丁目、久保町5丁目・6丁目、二葉町5丁目・6丁目（一部）、駒ケ林町1丁目（一部）



【土地区画整理事業区域】

長田区
戸崎通3丁目（一部）
西代通4丁目
大道通4丁目・5丁目（各一部）
御屋敷通1丁目～6丁目
川西通4丁目・5丁目
水笠通1丁目～6丁目
細田町4丁目～7丁目
神楽町3丁目～6丁目（各一部）
松野通1丁目～4丁目（各一部）
日吉町5丁目・6丁目
若松町10丁目・11丁目
海運町2丁目・3丁目
大橋町10丁目
野田町4丁目
須磨区
戎町1丁目
大田町1丁目
寺田町1丁目・2丁目
大池町1丁目・2丁目
千歳町1丁目～4丁目
常盤町1丁目～4丁目（各一部）

区画整理で安全・安心なまちづくり

御菅地区

国道28号をはさんだ東西で土地区画整理事業を行います。この両地区にそれぞれ身近な公園を設けるとともに、この公園をつなぎ、まちの主軸となる道路を整備し、火事や地震に強いまちを目ざします。

地域に親しまれてきた菅原市場、菅原商店街の再生を図るとともに、できるだけ共同して建物を建てていただくことなどによって安全で親しみのあるまちづくりを進めます。

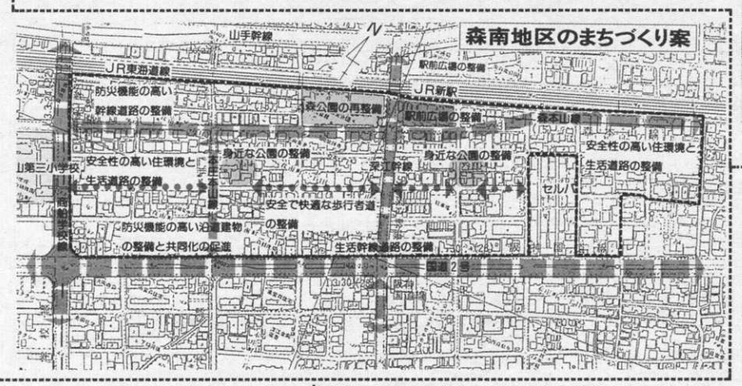
【土地区画整理事業区域】長田区
御蔵通3丁目・4丁目(一部)・5丁目・6丁目、菅原通3丁目(一部)・4丁目(一部)、北町3丁目(一部)

森南地区

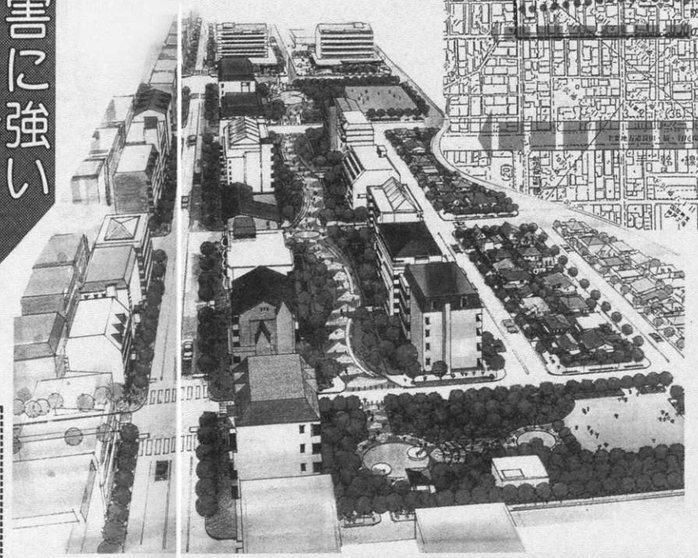
ＪＲ新駅と国道2号の間で土地区画整理事業を行います。新駅南側に約3000㎡の交通広場を設けるとともに、森本山線、本庄本山線の道路を広げるなど、防災機能の向上を図ります。

また、森公園を再整備するとともに、東西に2つの身近な公園を新たに設けます。新駅の駅前にふさわしいまちになるよう、共同して建物を建てていただくなどにより、安全で快適なまちづくりを進めていきます。

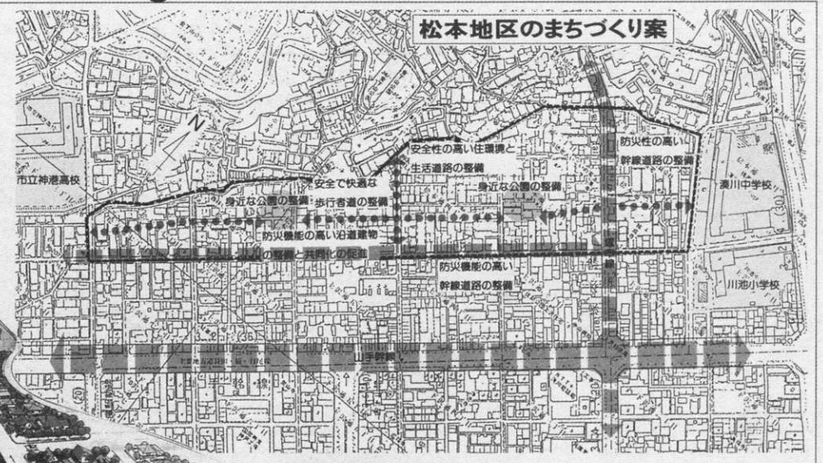
【土地区画整理事業区域】東灘区　森南町1丁目(一部)、2丁目・3丁目、本山中町1丁目(一部)



災害に強いまちづくり



協働のまちづくり



松本地区

松本通と大井通一帯は、土地区画整理事業を行います。この地区の東と西に身近な公園を整備するとともに、上沢通と松本通の間にある東西の道路を広げ、避難路を確保し、火事や地震に強いまちづくりを目ざします。

できるだけ共同して建物を建てていただくなどにより、安全で快適なまちづくりを進めます。

【土地区画整理事業区域】兵庫区
大井通1丁目～3丁目、松本通2丁目～7丁目

六甲道駅周辺地区

■ＪＲ六甲道駅の北側及び西側は土地区画整理事業を行います。ＪＲ六甲道駅に、防災拠点となる公園を整備するとともに、避難路としての役割を果たす[illegible]線、六甲町線を整備するなどにより整備済みの神若線などとあわせて防災機能の向上を図ります。

駅前周辺部は再開発地区と[illegible]同じようにできるだけ多くの方にまとまってビルを建てていただくとともに、にぎわいのある商店[illegible]や市場の復興も同時に行います。

住宅地区も、建物の共同[illegible]、不燃化を図っていただき、東の副都心にふさわしい安全で快適なまちづくりを進めます。

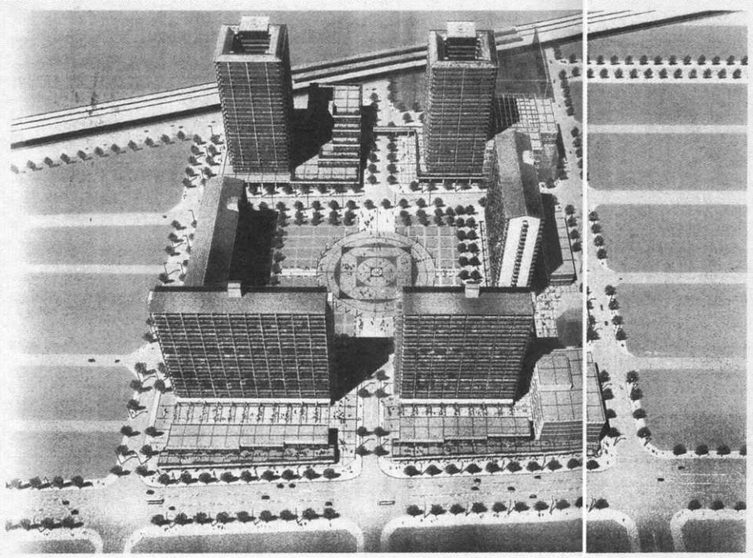
【土地区画整理事業区域】
灘区　森後町3丁目、永[illegible]町5丁目、六甲町1丁目～5丁目、稗原町1丁目(一部)・2丁目(一部)・3丁目(一部)・[illegible]丁目(一部)、琵琶町1丁目・2丁目(一部)

■ＪＲ六甲道駅の南側は市街地再開発事業を行います。地区の中央に防災拠点となる公園を整備し、周辺の道路を広げ、災害時の避難経路を確保します。

また、再開発ビルを建設し、商業・業務施設、住宅の供給を行い、東の副都心にふさわしい防災街区をつくります。

【市街地再開発事業区域】
灘　区　深田町4丁目(一部)・5丁目
備後町4丁目・5丁目
桜口町4丁目(一部)・5丁目

再開発で防災拠点を整備



都市計画道路の整備を進めます

災害に強いまちづくり計画を進めるため、これまで事業に着手していなかった都市計画道路の整備も急ぎます。

都市計画道路整備に関するお問い合わせは、サンポーホール2階「まちづくり区域担当」☎242―2131へ。

都市計画道路名称	計画幅員	整備延長	道路整備にかかる区域
山手幹線（東灘）	27 m	約1,910m	東灘区　森北町1～2丁目、本山北町2～3丁目、岡本1～3丁目、西岡本1丁目の各一部
山手幹線（灘）	27 m	約1,110m	灘区　日尾町1～3丁目、神前町1～4丁目、将軍通1～4丁目の各一部
住吉川左岸線	15 m	約 460m	東灘区　魚崎北町4・8丁目、甲南町5丁目の各一部
住吉川右岸線	15 m	約 240m	東灘区　住吉本町1丁目の一部
弓場線	27 m	約 320m	東灘区　御影山手1丁目の一部
八幡線	20 m	約 160m	灘区　備後町3丁目、桜口町3丁目の各一部
花隈線	15 m	約 100m	灘区　神前町3丁目の一部
山麓線	15～22m	約 460m	須磨区　前池町4～5丁目、飛松町5丁目、若木町3～4丁目の各一部
中央幹線	27～36m	約 900m	須磨区　月見山本町1～2丁目、行幸町3～4丁目、天神町3～5丁目、須磨本町1～2丁目の各一部
須磨多聞線	27～36m	約 500m	須磨区　行幸町4丁目、天神町5丁目、板木町1～3丁目の各一部
千森線	22 m	約 450m	須磨区　須磨浦通4丁目、千守町1丁目、須磨寺町1丁目の各一部

三宮地区のまちづくりについて

三宮地区では、地区計画制度を活用して防災に配慮した空間と建物づくりによって災害に強いまちづくりを進めます。

【まちの防災性、安全性の強化】

道路や建物の地下、地上、上部レベルでの歩行者空間の充実を図るとともに、建物を建てる際に道路から建物を後退していただいたり、街角広場を設置することによって、安全で快適なまちづくりを進めます。

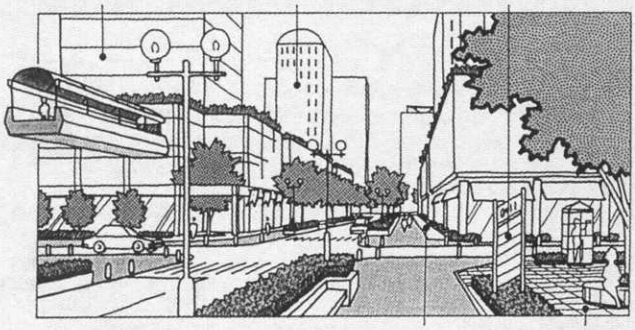
【耐震性の高い建物の誘導】

できるだけ多くの方々に共同でビルを建てていただくとともに、建物の構造の強化や窓ガラスの落下防止への配慮をするなどにより、災害時に強いまちづくりに、ご協力いただきたいと思います。

【都心にふさわしい街並みづくり】

建物の用途を制限することによって都心の商業や業務機能などの充実を図るとともに景観に配慮した建物を建てていただき、都心にふさわしい街並み形成を進めていきたいと考えています。

建物の耐震性の強化　ビルの共同化　誘導サインの設置



壁面線後退による歩行者空間の確保　　広場の確保

【地区計画区域】中央区　琴ノ緒町５丁目（一部）、布引町４丁目（一部）、雲井通７丁目・８丁目、小野柄通７丁目・８丁目、御幸通７丁目・８丁目、磯上通７丁目・８丁目、八幡通３丁目・４丁目、磯辺通３丁目・４丁目、浜辺通５丁目・６丁目、加納町４丁目（一部）・５丁目・６丁目、北長狭通１丁目（一部）・２丁目（一部）・３丁目（一部）、三宮町１丁目～３丁目、東町、伊藤町、江戸町、京町、浪花町、播磨町、明石町、西町、前町、海岸通

◆都市計画案及び地区計画素案の縦覧について

森南地区、六甲道駅周辺地区、松本地区、御菅地区、新長田駅周辺地区の５地区において実施する土地区画整理事業、市街地再開発事業およびこれらの事業に関連する用途地域や道路、公園などの都市計画案と三宮地区の地区計画素案の縦覧を今月末頃から行う予定です。

またＪＲ住吉駅南地区の市街地再開発事業、ＪＲ新駅と板宿駅の自転車駐車場および神戸三田線ほか３路線の都市計画案の縦覧も併せて行う予定です。

なお、現在国において「被災市街地復興特別措置法」が検討されておりますが、この法律が制定されれば、同法に基づく「被災市街地復興推進地域」を指定し活用していきたいと考えています。

＜縦覧を予定している都市計画案及び地区計画素案＞

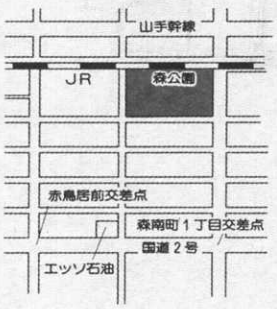
①用途地域②高度地区③高度利用地区④防火地域および準防火地域⑤道路（3.3.13号山手幹線ほか４路線）⑥道路（3.4.4号細田線ほか30路線）⑦駐車場（第29号ＪＲ新駅駅前自転車駐車場、第30号板宿駅前自転車駐車場）⑧公園（2.2.6号森公園ほか６公園）⑨土地区画整理事業（森南地区震災復興土地区画整理事業、六甲道駅西地区震災復興土地区画整理事業、御菅地区震災復興土地区画整理事業、新長田・鷹取地区震災復興土地区画整理事業）⑩土地区画整理事業（松本地区震災復興土地区画整理事業）⑪市街地再開発事業（六甲道駅南地区震災復興第二種市街地再開発事業）⑫市街地再開発事業（新長田駅南地区震災復興第二種市街地再開発事業）⑬市街地再開発事業（ＪＲ住吉駅南地区第一種市街地再開発事業）⑭地区計画（三宮地区）

都市計画案の縦覧、意見書の提出はサンボーホール２階　☎242―2131で行う予定です。日時は決り次第お知らせいたします。

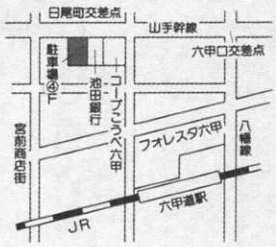
◆現地相談所を開設します
（２月22日(水)～３月13日(月)）

まちづくり案について、みなさまのご質問、ご意見にお答えするため、２月22日（水）から20日間、現地相談所を開設します。時間は午前10時から午後６時まで。土曜日、日曜日も行います。

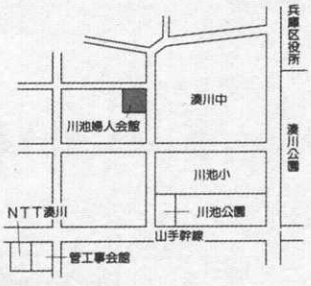
森南地区



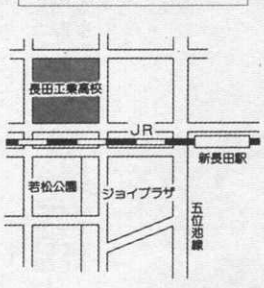
六甲道駅周辺地区



松本地区



御菅地区・新長田駅周辺地区

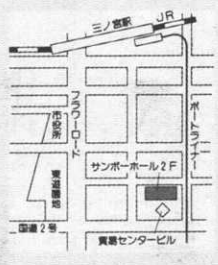


お問い合わせは
まちづくり区域担当へ

場所　サンボーホール２階
（中央区浜辺通５丁目・貿易センタービル北隣）

電話　242－2131

時間　午前10時～午後６時
（当分の間、土・日曜日・祝日も行います）



西宮市政ニュース　地震災害広報　1号

（平成7年1月21日現在）

発行　西宮市災害対策本部

この広報紙では、災害に対する最新情報を随時掲載します。

市内の被災状況

1月21日午後10時半現在、市内の被災状況は次のとおりです。

・死者　1056人（うち身元不明者33人）
・倒壊家屋　全壊　1万1641戸　半壊　5431戸
・火災件数　44件
・行方不明者数　約50人
・避難場所　192カ所
・避難者数　3万3863人

避難場所

市民の皆さんが避難されている場所は、1月21日現在、192カ所です。主な避難所は次のとおりです。

◎市役所本庁舎▽鳴尾・瓦木・山口支所▽北口サービスセンター

◎小学校…浜脇▽香櫨園▽安井▽夙川▽北夙川▽苦楽園▽大社▽神原▽甲陽園▽広田▽平木▽甲東▽上ヶ原▽上ヶ原南▽段上▽段上西▽樋ノ口▽高木▽瓦木▽深津▽瓦林▽上甲子園▽津門▽春風▽今津▽用海▽鳴尾▽南甲子園▽高須東▽高須南▽浜甲子園▽鳴尾東▽鳴尾北▽小松▽生瀬

◎中学校…浜脇▽大社▽上ヶ原▽甲陵▽平木▽瓦木▽深津▽上甲子園▽今津▽真砂▽鳴尾▽浜甲子園▽鳴尾南▽学文▽甲陽学院中等部

◎高校…西宮西▽県立西宮▽仁川学院

◎西宮養護学校

◎幼稚園…大社▽門戸▽高木▽瓦木▽安井▽こばと▽西宮公同▽マリアの園

◎保育所…津門▽安井▽大社▽今津文協▽北夙川▽上之町▽幸和園

◎公民館…中央▽鳴尾▽鳴尾東▽南甲子園▽今津▽上甲子園▽春風▽夙川▽浜脇▽用海▽高木▽若竹▽上ヶ原▽越木岩

◎体育館…中央▽中央分館▽北夙川▽甲武▽今津▽鳴尾

◎市民館…網引▽市庭▽今津南▽上ヶ原▽大箇▽苦楽園▽甲陽園▽香櫨園▽甲子園口▽北甲子園口▽夙東▽中▽平木▽安井▽六軒▽夙川西

◎共同利用施設（センター）…上甲子園▽瓦林公園▽北瓦木▽高木▽段上

◎その他…勤労会館▽教育会館▽西宮市職員会館▽総合教育センター▽総合福祉センター▽西宮警察署▽県総合庁舎▽一里山荘▽寿園▽西宮母子寮▽今津研修センター▽上ヶ原七番町団地集会室▽市営住宅上ヶ原四番町集会所▽江上町市営住宅集会所▽獅子ヶ口町市営住宅集会所▽森下町集会所▽日野町集会所▽津門西口公園集会所▽西田公園▽鳴尾町3丁目自治会館▽厚生事業会館▽香櫨園会館▽西宮福音教会▽大手前女子大学▽西宮神社会館▽一羊会すずかけ第1作業所▽大塚会館（大塚集会所）など

水道

◎上水道施設の復旧など

各配水所の機能が大きな被害を受け、また、各家庭などへの配水管も各所で断絶しているため、配水が不可能になっています（北部地区を除く）。水道局では、すでに復旧作業に着手しており、可能になった地域から給水を始めますが、全市で給水が可能になるまでには4カ月ほど必要です。問合せは水道局配水課（0798・32・2217）へ。

◎給水の状況

給水可能になるまでの間、次の場所（計37カ所）へ給水車が行き、対応します。午前8時に出発しますが、道路の状態などにより、各給水場所へ到着する時間が異なります。なお、終了は日没までといたしますのでご了承ください。

・市立中学校　15校
浜脇　大社　上ヶ原　甲陵　平木　瓦木　深津　上甲子園　今津　真砂　鳴尾　浜甲子園　鳴尾南　高須　学文

・市立小学校　20校
浜脇　香櫨園　安井　夙川　北夙川　大社　甲陽園　広田　平木　甲東　上ヶ原　上ヶ原南　段上　段上西　樋ノ口　高木　瓦木　上甲子園　津門　鳴尾北

・若竹公民館　・中央体育館

ご遺体の搬送と火葬

◎ご遺体の搬送など

ご遺体の搬送や納棺などを順次行っていますが、亡くなられた方の数が非常に多く、火葬が遅れています。

問合せ先

遺体搬送申込　0798・35・3233（環境衛生課）
納棺（個人で対応できない場合）　0798・35・3247、35・3249（環境衛生課）

◎火葬

市営満池谷火葬場の使用が可能となりましたので、各遺体安置所ごとに順次、火葬いたします。なお、この間、個人からのお申込は受付できません。あわせて近隣市での火葬についても可能となりました。市役所本庁舎2階の西宮市斎園サービス公社（0798・35・3305、35・3306）へご相談ください。また、ご自宅にご遺体を安置されている方は、同公社にご連絡ください。

なお、その際、埋火葬許可書を所持されていることが条件となりますのでご注意ください。

このたびの兵庫県南部地震により、尊い人命を落とされた方のご遺族の皆様、家屋崩壊等にみまわれた皆様に、謹んでお悔やみとお見舞いを申し上げます。

観測史上初の震度7という大激震で、市内のほとんどの地域で甚大な被害が出たため、市民の皆様には避難所あるいは各ご家庭において、不安で大変不便な生活を強いられておられますが、現在、関係機関と連携を取りながら、救助・救援活動や水道・ガス・道路などの復旧作業に全力を傾け、応急対策に取り組んでおります。市民の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

西宮市長　馬場　順三

仮設住宅の建設

市と県は、西宮市民で家屋が全壊、または全焼された方を対象に、市で500戸、県で500戸程度の応急仮設住宅を、2月下旬をめどに建設します。また、公団住宅、県営住宅、大阪府営住宅の一定戸数の提供も予定しています。申込は、1月23日から1月28日までの午前9時から午後8時まで、市民会館1階大会議室で受け付け、後日、抽選により入居者を決定します。問合せは市住宅部（0798・35・3237、35・3243）へ。

物資の調達・配布

各地からの温かいご厚意により、いろいろな救援物資が届いています。トイレットペーパー、紙おむつ、生理用品、ごみ袋などは、一部で足りていないものもあります。これらは、当面、各避難所を中心に、随時皆さんに配布していきます。

電気

垂れ下がった電線や倒壊した電柱などは大変危険ですので、絶対に触れないでください。また、余震などで屋外に退避するときはブレーカーを「切」にしてください。送電が回復した家庭では、特にコンロ・ストーブ・こたつなどの使用時に、ろう電・感電に注意してください。問合せは関西電力西宮営業所（0798・67・3131）へ。

ガス

山口町、すみれ台、北六甲台以外は停止しています。復旧のめどは立っていません。問合せは大阪ガス（0798・26・3101）へ。

電話

一般回線より公衆電話の方が、若干つながりやすい状況です。ただし、神戸方面など電話が込み合っている地域にはかかりにくくなっています。少しでも電話をつなげやすくするために、通話は必要最小限に、短くお願いします。また、臨時公衆電話（無料）を主な避難所に設置しておりますので、ご利用ください。

ごみ収集

燃やすごみは19日（木）から収集開始、燃やさないごみは23日（月）から収集開始予定です。ただし、道路損壊、交通渋滞などで遅れる場合があります。なお、粗大ごみは現在収集していません。問合せは本庁地区は業務第2課（0798・26・5041）、鳴尾地区は（0798・41・6265）まで。

し尿収集

収集車が回っています。問合せは業務第1課（0798・33・0779）へ。

幹線道路の状況

現在、道路状況が大変悪くなっており、緊急車両の通行にも支障をきたしています。自動車のご利用は、できるだけ避けるようご協力ください。なお、国道2号は、西行きは大阪府県界～神戸市灘区の区間で、東行きは明石市魚住町～神戸市垂水区の区間で、緊急輸送の専用通行のため通れません。

利用可能な交通機関

鉄道は、JRが東行きは甲子園口駅から運行していますが、西行きは西明石まで不通です。阪急電車は西宮北口駅から大阪方面行きが運行していますが、今津線と甲陽線、伊丹線は不通です。また阪神電車は、甲子園駅から東行きは運行していますが、西行きの元町まで と武庫川線は不通です。

阪神バス、阪急バスは道路事情により、運行可能なところから運行します。

被災証明の発行

被災証明書は、現在行っている被災状況の調査終了後に発行する予定です。問合せは福祉総務課（0798・35・3133）へ。

倒壊家屋の処理

家屋の倒壊により道路上に散乱している廃材処理は、市が行います。敷地内の廃材の片付けは各家庭でお願いします。問合せは西宮市災害対策本部（0798・35・3546、35・3671）へ。

窓口業務など

窓口業務を行っています。また、その他の業務についても復旧に努めています。

今後の余震、火災の注意

今後も余震が続くと思われます。亀裂が入っていたり傾いていたりする住宅などは倒壊する恐れがありますので絶対に住まないでください。また、火災が非常に多発しています。タバコやろうそく、たき火など屋外での火の取扱いには十分注意してください。

西宮市災害対策本部の電話番号

0798・35・3546
0798・35・3547
0798・35・3600
0798・35・3626
0798・35・3627
0798・35・3629
0798・35・3671

テレホンガイド まち知るべ

0798・22・3456
サービスコード144、922で各種の災害対策情報をお届けしています。

西宮市政ニュース
地震災害広報 2号
〈平成7年1月26日現在〉
発行　西宮市災害対策本部
この広報紙では、災害に対する最新情報を随時掲載します

市内の被災状況

1月26日午後6時現在、市内の被災状況は次のとおりです。

・死者　1062人（うち身元不明者16人）
・倒壊家屋　全壊1万1641戸　半壊5431戸
・火災件数　44件
・避難場所　174カ所
・避難者数　約2万8700人

避難場所

市民の皆さんが避難されている場所は1月26日現在、174カ所です。主な避難所は次のとおりです。

◎市役所本庁舎▽鳴尾・瓦木支所
◎小学校…浜脇▽香櫨園▽安井▽夙川▽北夙川▽苦楽園▽大社▽神原▽甲陽園▽広田▽平木▽甲東▽上ケ原▽上ケ原南▽段上▽段上西▽樋ノ口▽高木▽瓦木▽深津▽瓦林▽上甲子園▽津門▽春風▽今津▽用海▽鳴尾▽南甲子園▽高須南▽鳴尾東▽鳴尾北▽小松▽生瀬
◎中学校…浜脇▽大社▽上ケ原▽甲陵▽平木▽瓦木▽深津▽上甲子園▽今津▽鳴尾▽浜甲子園▽鳴尾南▽学文▽甲陽学院中等部
◎高校…西宮西▽県立西宮
◎西宮養護学校
◎幼稚園…大社▽門戸▽高木▽瓦木▽安井▽こばと▽西宮公同
◎保育所…津門▽安井▽大社▽今津文協▽北夙川▽幸和園▽月影
◎公民館…中央▽鳴尾▽鳴尾東▽南甲子園▽今津▽上甲子園▽春風▽夙川▽浜脇▽用海▽高木▽若竹▽上ケ原▽越木岩
◎体育館…中央▽中央分館▽北夙川▽甲武
◎市民館…網引▽市庭▽今津南▽上ケ原▽大箇▽苦楽園▽甲陽園▽香櫨園▽甲子園口▽北甲子園口▽夙東▽中▽平木▽安井▽八ツ松▽夙川西▽生瀬
◎共同利用施設（センター）…上甲子園▽瓦林公園▽北瓦木▽高木▽段上
◎その他…勤労会館▽教育会館▽西宮市職員会館▽総合教育センター▽総合福祉センター▽県総合庁舎▽寿園▽今津研修センター▽上ケ原七番町団地集会室▽市営住宅上ケ原四番町集会所▽江上町市営住宅集会所▽獅子ケ口町市営住宅集会所▽森下町集会所▽日野町集会所▽津門西口公園集会所▽西田公園▽鳴尾町3丁目自治会館▽厚生事業会館▽西宮福音教会▽西宮市大谷記念美術館▽西宮神社会館▽一羊会すずかけ第1作業所▽大塚会館（大塚集会所）▽仁川カトリック教会（学院）▽関西学院大学学生会館▽船坂公会堂など

水道

◎上水道施設の復旧

浄水場・配水所からの配水管と、各家庭へ給水するための引込管に大きな被害が出ています。このため、市南部地域の全域が断水状態ですが、漏水箇所の修繕工事に着手しており、一部地域では損傷箇所を発見するための通水をしています。通水しているのは、南部地域のうち、東部区域の一部と北部区域の一部の約40%です。この試験通水の際にご家庭の蛇口から出る水は、極力節水してください。また、配水管などの漏水修繕のため断水することがありますので、ご理解をお願いします。水道局では、2月末を目途に全市で復旧するようにしていますので、ご不便をおかけしますが、修繕工事にご協力をお願いします。問合せは水道局配水課（0798・32・2217）へ。

◎給水の状況

給水可能になるまでの間、次の場所（計40カ所）へ給水車が行き、対応します。午前8時に出発しますが、道路の状態などにより、各給水場所へ到着する時間が異なります。なお、終了は日没までといたしますのでご了承ください。

・市立中学校　15校
浜脇　大社　上ケ原　甲陵　平木　瓦木　深津　上甲子園　今津　真砂　鳴尾　浜甲子園　鳴尾南　高須　学文
・市立小学校　23校
浜脇　香櫨園　安井　夙川　北夙川　大社　甲陽園　広田　平木　甲東　上ケ原　上ケ原南　段上　段上西　樋ノ口　高木　瓦木　上甲子園　津門　鳴尾北　高須南　瓦林　鳴尾
・若竹公民館　・中央体育館

ガス

山口町、すみれ台、北六甲台以外のほぼ全域で停止しており、全力で復旧作業を進めています。問合せは大阪ガス（0798・26・3101）へ。

住宅の危険度判定

市は、住宅の危険度判定を、関係各機関の協力を得て次のとおり行います。問合せは市街地建築課（0798・26・9667、26・9668）へ。

◎戸建住宅等（店舗、事務所等を含む）…外観目視で判定
◎共同住宅および長屋住宅（公共建築物を除く）…外観目視により「危険＝使用不可」「要注意＝一時立ち入りのみ可」「調査済＝使用可」の3段階で判定

救出活動に情報を

西宮市災害対策本部では、皆さんの通報により救出活動を続けてきました。皆さんの周りで、まだ救出されていない人はいないでしょうか。情報をお待ちしています。問合せは消防局（0798・26・0119）へ。

火災の損害届

このほどの地震で火災に遭われた方は、最寄りの消防署へ損害届を提出してください。用紙は各消防署にあります。問合せは消防局管理課（0798・26・0119）へ。

被災証明の発行

被災証明書は、現在行っている被災状況の調査終了後に発行する予定です。問合せは福祉総務課（0798・35・3133）へ。

遺骨仮安置所

市で火葬しましたご遺骨は、現在、市民会館4階会議室に1月31日（火）まで仮安置していますが、2月1日から満池谷納骨堂に仮安置します。問合せは西宮市斎園サービス公社（0798・35・3306）へ。

他府県住宅などの入居申込

岡山県、和歌山県、広島県など30自治体・約10600戸の公営住宅などへの入居申込を兵庫県住宅管理課（078・362・3622～3632）で受け付けています。入居期間は3カ月～1年。家賃はおおむね無料。

神奈川県鎌倉市は、被災者への住まいのあっせん（1カ月程度のホームステイ含む）を行います。問合せは鎌倉市福祉総務課（0467・23・3000 内線365）へ。また、岡山県和気郡日生町は、民間住宅など約30戸の宿泊施設を無料で提供します。問合せは日生町役場（08695・72・1101）へ。

証明手数料の免除

家屋が倒壊・焼失した人は、当面の間、住民票の写し・外国人登録済証明書・印鑑証明など証明手数料が免除されます。問合せは市民課（0798・35・3112）へ。また、市県民税の課税証明（所得証明）・納税証明・固定資産評価証明については、使用目的が兵庫県南部地震に起因するものは手数料が免除されます。問合せは税制課（0798・35・3251）へ。

電話

ご家庭の電話より公衆電話の方が、若干つながりやすい状況です。また、臨時公衆電話（無料）を、前記避難所のほとんどの箇所と、一里山荘、西宮母子寮、北口サービスセンター、郷免町老人いこいの家などに設置しておりますので、ご利用ください。問合せはNTT西宮支店（0798・32・9306）へ。

中小企業総合相談所

被災事業者の事業再開や今後の経営計画などの各種相談に、市などの職員が応じます。午前10時から午後5時まで西宮商工会議所で。問合せは同会議所（0798・26・4336、26・4376）へ。

ごみ収集

燃やすごみ、燃やさないごみの収集を始めています。ただし、道路損壊や交通渋滞などで遅れる場合があります。問合せは業務第2課（0798・26・5041…本庁地区）、業務第3課（0798・41・6265…鳴尾地区）へ。なお、燃やすごみ、燃やさないごみの収集が落ち着きましたら、粗大ごみの収集も行いますので、しばらくお待ちください。

し尿収集

くみ取り便所と設置済みの仮設トイレについては、収集車が回っています。問合せは業務第1課（0798・33・0779）へ。

医療機関など

※市外局番のないものは（0798）です。

避難場所で開設されている救護所は、1月24日現在で次の11カ所です。その他の避難所については、医師や看護婦が巡回診察をしています。また、全避難所（医師と保健婦が巡回し、健康状態などの健康相談を行っています。

▽大社小学校（72・2274）▽香櫨園小学校（22・1030）▽樋ノ口小学校（65・6558）▽大社中学校（73・5391）▽中央体育館（74・0720）▽平木小学校（64・4000）▽広田小学校（74・4213）▽夙小学校（72・1221）▽北夙川小学校（74・7009）▽津門小学校（22・2286）▽安井小学校（36・1422）

現在開業している医療機関は、1月24日現在、次の279カ所（全医療機関の約75％）です。

◎浜脇…石本眼科（22・5464）▽海野医院（22・1808）▽江原医院（33・5979）▽小林医院（33・0318）▽高橋産婦人科（33・0150）▽高橋内科循環器科（26・3600）▽谷脳神経外科（36・1320）▽中嶋クリニック（36・8330）▽日野小児内科（35・1003）▽平本医院（22・2658）▽別所内科（26・0453）▽保坂診療所（34・7060）▽星野耳鼻いんこう科（35・5965）▽宮本クリニック（35・5071）▽横山クリニック（23・6755）▽県立西宮病院（34・5151）

◎香櫨園…赤松小児科（22・1832）▽石井診療所（23・2517）▽大野眼科（34・6506）▽西川耳鼻いんこう科（26・3450）▽西山医院（34・2537）▽西宮回生病院（33・0601）▽笹生病院（22・3535）

◎用海…一宮医院（36・5618）▽佐治婦人科内科（22・1145）▽浅井診療所（22・3136）▽総合福祉センター（35・1015）▽森下医院（33・1414）▽山内産婦人科（23・2880）▽勝呂病院（22・1567）

◎広田・平木…朝北奈胃腸科外科（67・1636）▽イソハシ外科（67・7011）▽高岡皮膚科（71・8874）▽高島医院（74・1105）▽田村小児科（73・4682）▽津田内科（51・7958）▽福田胃腸内科（72・2590）▽前田耳鼻いんこう科（72・5963）▽浅井内科（66・3338）▽加藤外科（67・3650）▽長尾整形外科（73・3160）▽広川内科（64・2707）

◎安井…坂口泌尿器科（34・3431）▽藤堂眼科（36・4188）▽永井医院（23・1561）▽日高医院（34・1430）▽松澤整形外科（33・4181）

◎夙川・北夙川・苦楽園…衣笠医院（72・2479）▽木村整形外科（26・6634）▽ヒューハイツクリニック（23・4435）▽樋順医院（22・1274）▽林田クリニック（74・2288）▽保坂夙川診療所（23・7011）▽松岡医院（72・3588）▽安藤耳鼻いんこう科（71・3039）▽大森内科（74・5030）▽勝部北夙川医院（72・5555）▽芝産婦人科（72・3333）▽高橋小児科内科循環器科（71・1515）▽竹政クリニック（72・5951）▽田中整形外科（70・3625）▽西岡医院（74・4430）▽西本医院（72・6222）▽結城泌尿器科（74・7755）▽吉田小児科（74・0110）▽桜が丘ホスピタル（73・3171）

◎大社・甲陽園・神原…阿波クリニック（74・7666）▽市川医院（73・1258）▽小松原医院（71・7550）▽杉本整形外科（72・8822）▽中川産婦人科（72・1153）▽山戸外科（72・3323）▽李クリニック（73・5925）▽西宮渡辺病院（74・2630）▽板野甲山診療所（70・2201）▽片岡クリニック（73・0871）▽西林医院（72・1655）▽やまだ小児科（71・9821）▽アガペ甲山（73・5111）▽仁明会病院（71・3001）▽鍛治内科（72・2321）▽勝呂医院（72・1551）▽園田内科（72・4601）▽寺井小児科（73・0922）▽中林医院（71・3211）▽広本外科（74・1111）

◎上ケ原南…伊東小児科（51・0618）▽関西学院保健館（53・6023）▽玉置医院（51・6616）▽上ケ原病院（52・2001）

◎甲東・段上・段上西…夾野整形外科（52・1071）▽幾井皮膚科（54・0878）▽池田内科（51・3232）▽岩田医院（51・2448）▽円満字外科（51・3998）▽奥田医院（54・0131）▽おりた耳鼻いんこう科（54・3391）▽風川医院（52・2018）▽高田医院（51・0768）▽田上眼科（53・3672）▽古沢眼科（53・0038）▽松浦皮膚科（53・7983）▽松浦産婦人科（51・0808）▽糸仁堂松田医院（53・1449）▽森耳鼻いんこう科（52・3387）▽山内医院（52・0306）▽熊野病院（52・3221）▽大楠内科（53・0356）▽大田黒医院（53・3002）▽相生胃腸科外科（51・0100）▽川村医院（51・0459）▽清田診療所（54・2250）▽中村医院（51・6880）

◎高木・樋ノ口…稲川医院（67・8618）▽井上眼科（65・2708）▽岩沢神経科（64・5131）▽小田クリニック（67・8822）▽かに整形外科（64・6500）▽須藤医院（67・5208）▽法貴眼科（64・6655）▽松本内科（67・3600）▽山内内科（67・1808）▽山崎医院（67・1288）▽市立中央病院（64・1515）▽奥野内科（65・0077）▽みやうち内科（63・3100）▽瀬戸内科（67・6422）

◎瓦木・深津・瓦林…岩城医院（66・1770）▽江原産婦人科（67・1162）▽木塚医院（66・0213）▽茂山診療所（65・9292）▽中島耳鼻いんこう科（65・0011）▽村尾内科（64・5252）▽横山眼科（67・4001）▽小串外科（67・3000）▽相馬胃腸科（65・3100）▽日和佐医院（65・8534）▽山下胃腸科外科（64・3546）

◎上甲子園…社団太陽健康会（65・3600）▽岩崎診療所（65・4780）▽日下医院（67・1655）▽執行耳鼻科（66・1926）▽中川眼科（67・8808）▽新澤耳鼻いんこう科（66・0844）▽林医院（64・1551）▽久岡医院（67・0488）▽広田皮膚科（63・6169）▽福武耳鼻いんこう科（66・1817）▽三好病院（67・3505）

◎津門…伊賀医院（33・5870）▽伊賀耳鼻いんこう科（33・0872）▽池田眼科（33・0086）▽大西内科循環器科（26・3751）▽金森医院（22・1172）▽福田医院（34・6093）▽山縣皮膚科（26・1767）▽坂上田病院（34・0002）▽西宮協立脳神経外科（33・2211）

◎夙川…吉本内科外科（46・8597）▽勝部医院（48・1188）▽高井医院（47・0525）▽中川医院（26・0133）▽中原耳鼻いんこう科（22・8118）▽てい外科胃腸科（41・7333）▽林眼科（41・0765）▽半田医院（41・1716）▽平井眼科（46・5459）▽藤井整形外科（34・3880）▽御幡医院（33・0273）▽山眼科（41・1526）▽山田クリニック（35・0770）

◎今津…赤沢医院（34・6313）▽市立わかば園（34・3361）▽栗本医院（34・6630）▽牧原クリニック（23・6702）▽松本整形外科（35・5535）▽谷向病院（33・0345）

◎南甲子園・東甲子園…大西医院（41・1727）▽堅田医院（41・0408）▽沢田医院（41・1918）▽辻医院（41・6413）▽津田内科（48・9218）▽橋本医院（41・4133）▽長谷川クリニック（40・5514）▽浜岡医院（47・3353）▽伊藤整形外科（45・2321）▽松崎医院（41・1620）▽山田産婦人科（41・0272）

◎鳴尾・浜甲子園…浅井産婦人科（47・4414）▽石川産婦人科（48・2260）▽甲斐小児科（41・0736）▽兼子医院（41・1413）▽栗本医院（47・5515）▽志水医院（48・1414）▽新川医院（40・0025）▽恒川耳鼻いんこう科（41・0246）▽土井整形外科（47・1280）▽中田内科医院（40・5053）▽西村産婦人科（41・6336）▽野田クリニック（49・2111）▽福田整形外科（41・7177）▽松尾外科（41・6401）▽みぞとリクリニック（40・5065）▽森クリニック（40・8888）▽仁眼科（41・6522）▽山本医院（41・1029）▽吉岡医院（41・1121）▽砂子療育園（47・4477）▽伊熊整形外科（40・1350）▽浜甲子園菊池診療所（41・4530）▽はりま小児科（41・9936）

◎鳴尾東・高須東・高須西…エガワ診療所（46・6184）▽加古医院（41・0123）▽小寺外科（47・1246）▽沓外科（47・1093）▽杉谷内科（48・0862）▽鈴木医院（41・1925）▽羽田皮膚科（41・5556）▽真崎眼科（45・1084）▽松居耳鼻いんこう科（47・8541）▽都クリニック（40・5222）▽布谷整形外科（46・7770）▽おおのひでこ小児科（41・6767）▽佐古耳鼻いんこう科（42・0302）▽ジン医院（40・6091）▽丸山小児科（48・3063）

◎鳴尾北…大槻クリニック（46・0070）▽岡田クリニック（41・3322）▽緒方整形外科（40・6058）▽奥窪医院（48・2795）▽神吉医院（41・1066）▽小島内科（47・3669）▽坂牧眼科（41・1277）▽関小児科（47・0055）▽曽我診療所（47・2796）▽高橋内科（41・0025）▽高橋クリニック（45・1226）▽タダノ外科（47・3155）▽中村医院（41・3322）▽難波耳鼻いんこう科（46・6507）▽西本内科（47・0081）▽橋野医院（41・6328）▽ほづ医院（45・2711）▽松塚クリニック（47・6788）▽渡部クリニック（47・9971）▽明和病院（47・1767）

◎小松…有馬整形外科（48・1555）▽大岡クリニック（41・8186）▽福井医院（47・0190）▽白潟医院（41・6360）▽坂田医院（48・1515）▽国武小児科（41・1183）

◎山口・北六甲台（市外局番は（078））…上垣耳鼻いんこう科（903・4500）▽阪神福祉センター診療所（903・1667）▽白川外科胃腸科（904・2020）▽ちかしげクリニック（903・1811）▽エルダーパーティズ（903・3300）▽高田外科（903・0525）▽有馬病院（904・0721）▽金山診療所（904・3461）

◎名塩・生瀬（市外局番は（0797））…南堂医院（61・0638）▽春原医院（61・1453）▽川上診療所（86・3016）▽谷田小児科（87・2313）▽北摂中央病院（84・8281）▽シルバーハウス（85・8591）▽派野医院（86・9881）

留学生などの問合せ相談

生活情報・ホームステイ希望などについて、留学生などからの問合せや相談を受け付けます。問合せは西宮市国際交流協会（0798・35・3459）へ。

今後の余震、火災の注意

今後も余震が続くと思われます。亀裂が入っていたり傾いていたりする住宅などは、倒壊する恐れがありますので絶対に住まないでください。また、火の取扱いには十分注意してください。

義援金の状況

全国各地からの温かいご厚意による義援金は、1月26日午後4時現在で合計1526件、1億7353万7002円となっています。

西宮市災害対策本部の電話番号

0798・35・3600
35・3626
35・3627
35・3629
35・3546
35・3547
35・3252

テレホンガイド まち知るべ

0798・22・3456

サービスコード144、922で各種の災害対策情報をお届けしています。

西宮市政ニュース
地震災害広報 3号
〈平成7年2月1日現在〉
発行　西宮市災害対策本部
この広報紙では、災害に対する最新情報を随時掲載します

市内の被災状況

2月1日午後6時現在、市内の被災状況は次のとおりです。

・死者　1062人
・倒壊家屋　全壊1万1641戸　半壊5431戸
・避難場所　168カ所
・避難者数　約2万2000人

震災復興本部を設置

2月1日付けで、西宮市震災復興本部（本部長・馬場順三市長）を設置しました。兵庫県南部地震による震災から、迅速かつ着実に復興を図り、本市の都市基盤を計画的に整備し、「震災に強い秩序あるまちづくり」をめざすことを目的としています。

救出活動に情報を

西宮市災害対策本部では、皆さんの通報により、救出活動を続けてきました。皆さんの周りで、まだ救出されていない人はいないでしょうか。情報をお待ちしています。問合せは消防局（0798・26・0119）へ。

水　道

◎上水道施設の復旧　水道施設が大きな被害を受けているため、配水管などを復旧させるための調査に取り組んでいます。まず、浄水場から近い配水管の幹線の水圧を上げて漏水箇所を発見し、修繕しながら調査を進め、その後、枝管の調査を同様に進めます。現在、水の出ている区域は、漏水箇所を発見するための試験通水によるものです。そのため、屋間は断水し、調査作業をしない夜に水が出るようにしています。この水は翌日の調査に必要なものなので、極力節水してください。2月末をめどに全市で復旧するように最大限の努力をしていますが、試験通水により水の届いている地域はおおむね60％です。問合せは水道局企画調査課（0798・32・2203）へ。

◎給水の状況　給水可能になるまでの間、市立中学校15校、市立小学校23校などの41カ所へ給水車が行き、対応します。午前8時に出発しますが、道路の状態などにより、各給水場所へ到着する時間が異なります。なお、終了は日没までといたしますのでご了承ください。

◎水道料金・下水道使用料の取扱　1月17日の兵庫県南部地震以降、正常給水となるまでの水道料金・下水道使用料は全額免除します。また、1月17日以降の口座振替および納付書による料金などの支払については、3月27日まで納期を延期します。ただし、いずれも北部地域（塩瀬・山口）で通常給水されている地域は除きます。問合せは水道局営業課（0798・32・2214）、鳴尾営業所（0798・47・4081）へ。

ガ　ス

山口町、すみれ台、北六甲台のほかに、約8300戸が復旧しました。現在、作業を続けており、順次復旧していきます。問合せは大阪ガス（0798・26・3101）へ。

電　気

被災からの復旧のために、臨時的に使用する電気の申込に伴って関西電力が行う工事については無料となります。また、被災によりいったん電気の契約を廃止し、その後、復旧のために電気の申込をした場合、関西電力が実施する引込線・計量器などの新設に要する費用などについても無料となります。申込は7月31日まで。問合せは関西電力西宮営業所（0798・67・3131）へ。電気料金の支払期限の繰延や基本料金の一部免除もあります。

電　話

地震発生日から、かかりにくかった電話は、ほぼ平常時に戻りつつあります。

電話の休止、移転は営業窓口か116番か0120・519116番へ。

電話の故障は113番か0120・753113へご連絡ください。また、被災地における電話基本料は、地震発生日から2月28日まで無料になります。3月以降も利用できない電話の基本料は引き続き無料になります。なお、2月1日の料金改定に関して、被災地における基本料については、7月31日まで改定前料金のままとなります。

倒壊家屋の処理

倒壊家屋などの解体・除去について、次のとおり市が処理をします。対象は、木造戸建住宅・集合住宅（鉄筋など）の個人所有住宅、木造・RC構造など（大企業は除く）の賃貸住宅、中小企業（従業員300人以下、資本金1億円以下）の事業所（店舗、事務所など）。緊急やむを得ず個人で解体処理をする場合は、事前に市に連絡してください。申込は午前9時から午後5時まで市民会館1階大会議室で。申込書・印鑑・身分を証明するものが必要です。問合せは午前9時から午後5時までに西宮市災害対策本部（0798・33・6725、33・6749、33・6750）へ。

被災証明の発行

被災証明書が必要な人には、2月中旬以降に順次発行する予定です。問合せは福祉総務課（0798・35・3133）へ。

臨時休業の市立学校園

臨時休業の市立学校園は次のとおりです。カッコ内は再開予定日▽幼稚園…大社（2月6日）、門戸（2月10日）▽小学校…大社（2月6日）、広田（2月6日）、甲東（2月6日）▽西宮養護学校（2月20日）▽西宮高校（3月当初）

前記以外の幼稚園、小・中学校、高校は再開しています。

相　談

◎震災に係る消費生活特別相談110番　県立神戸生活科学センターは、次の特別相談を実施しています。受付時間は2月28日まで（日曜、祝日除く）の午前9時から午後5時まで。受付番号は次のとおりです▽損害保険110番（火災、家屋・家財の損害など）…078・362・4566、362・4567▽生命保険110番（支払、証書紛失など）…078・362・4569、362・5017▽家電製品110番（安全点検、応急対応）…078・362・5182、362・5273▽物価相談（急騰や便乗値上げなど）、一般相談（借地・借家などの契約問題、倒壊家屋のローン返済方法など）…078・360・0999

◎震災に伴う教育相談ホットライン　市教育委員会は午前9時から午後9時まで、児童・生徒の教育電話相談（0798・26・9504、26・9505）を実施しています

◎電話による特別登記相談　大阪法務局などは被災者を対象に、不動産および商業・法人登記に関する電話による特別登記相談を行っています。受付時間は2月17日まで（土・日曜、祝日除く）の午前9時半から午後4時半まで、番号は06・942・1041

中小企業者の融資など

◎西宮市制度融資　兵庫県南部地震災害特別融資…対象は市内で被害を受けた中小企業者など。融資額は1000万円以内。貸付期間は10年以内（3年据置可）。貸付金利は年2・5％。申込は2月6日から9月29日まで（土・日曜除く）。受付は、当分の間、西宮商工会議所、さくら銀行、三和銀行、関西西宮信用金庫、尼崎信用金庫で行っています。問合せは（0798・34・4128、35・3326）へ

◎国民金融公庫　貸付期間はいずれも10年以内（2年据置可）。問合せは国民金融公庫尼崎支店（06・481・3601）へ▽災害貸付：対象は直接被害を受けた中小企業者か、売掛金回収不能などの間接被害を受けた中小企業者。融資額は3000万円以内。貸付金利は年4・9％▽特別災害貸付：対象は直接または間接的に被害を受けた中小企業者で、被害の程度が甚大なもの。融資額は災害貸付のうち1000万円以内。貸付金利は当初3・0％か4・45％

◎商工中金　対象は商工中金所属団体とその構成団体。貸付期間はいずれも設備資金20年以内（3年据置可）、運転資金10年以内（3年据置可）。問合せは商工中金尼崎支店（06・481・7501）へ▽災害復旧貸付：融資額は組合2000億円以内、組合員20億円以内。貸付金利は当初年4・9％▽特別利率貸付：対象は被害の程度が甚大なもの。融資額は組合3000万円以内、組合員1000万円以内。貸付金利は当初年3・0％か4・45％

◎中小公庫　災害復旧貸付：対象は被害を受けた中小企業者。融資額は直接貸付1億5000万円以内、代理貸付7000万円以内。貸付期間は10年以内（2年据置可）。貸付金利は年4・9％ほか。問合せは中小公庫神戸支店仮事務所（06・345・4041）へ。

西宮市中小企業勤労者福祉共済の給付金

市は、被災した西宮市中小企業勤労者福祉共済の会員に次のとおり給付金を支給します。問合せは同共済（0798・23・3775）へ。

・死亡弔慰金…会員10万円、配偶者5万円、1親等の血族2万円
・傷病見舞金…業務上の傷病による10日以上30日未満の欠勤2万円、傷病による30日以上の欠勤3万円
・災害見舞金…全焼全壊3万円、半焼半壊2万円

応急仮設住宅などの抽選

応急仮設住宅などの第1次募集の抽選を2月7日午前10時から市民会館4階中会議室で行います。会場の都合もあり、公正な立会人を選任して行いますので、申込者の入場はご遠慮ください。市はさらに応急仮設住宅を、当面約1000戸提供することとし、建設場所などを県と協議しています。第2次募集は2月中旬ごろをめどに行う予定です。詳細は決定次第お知らせします。

仮設住宅の提供を

市では震災で住宅をなくした市民の皆さんに応急仮設住宅の提供などを行っていますが、建設用地の取得が困難であり不十分な状態です。企業の社宅・寮などで仮設住宅に提供していただけるものがあればご協力をお願いします。問合せは住宅部（0798・35・3771、35・3725）へ。

住宅などの情報

◎**橋原町が被災者受入**　高知県梼原（ゆすはら）町は、被災者への住まいのあっせんを行います。定員は100人程度、期間は6カ月程度です。問合せは午前8時半～午後5時に同町総務課（0889・65・1111）へ

◎**住宅提供などのボランティアのリストを設置**　西宮市災害対策本部は、住宅提供などのボランティアの申し出をまとめたリストを各避難所・支所などに設置しています。ご利用ください

◎**住居などの相談**　自治省消防庁現地連絡調整本部などは、他府県へのホームステイや公的宿泊施設のあっせんなどについて2月10日までの午前9時から午後6時まで、安井小学校に相談窓口を設置しています。電話も可。番号は0798・34・4167、030・92・90054です

個人住宅資金と住宅整備資金融資あっせんの特例

受付は2月中旬ごろ行います。従来の貸付金利を引き下げるほか、既融資の支払い困難者に対し、返済猶予や返済期間の延長、最終償還期限の年齢制限緩和を行います。特例期間は1年の予定です。具体的な金利などについては決定次第お知らせします。

ご注意ください！

現在、避難所の方々などに対し、「家屋の解体を市にかわってとりまとめる」などと、何らかのあっせん行為や商行為を行っている人がいますが、市や県などからは、決してそのような依頼は行っておりませんので、ご注意ください。

生活福祉資金特別貸付

被災者に、生活福祉資金の特別貸付を実施します▽対象…今回の地震で、市民である世帯員の死亡や重傷、住居の破壊などにより、生活が困窮し、緊急に資金の融通を他から受けることが困難と認められる世帯▽貸付金額…10万円以内。ただし世帯員の死亡など特に必要と認められる場合は20万円以内▽期間と利率…償還期間は5年以内（1年間据置後、4年以内に償還）。据置期間中は無利子で据置期間経過後は年3％▽申込受付…2月6日までは午前9時～午後5時に勤労会館で。2月7日以降は西宮市社会福祉協議会で受け付けます。対象者の確認は、免許証や健康保険証、住民基本台帳などで確認します。連帯保証人は原則として1人必要です。問合せは同協議会（0798・34・3363）へ

日本赤十字社などの義援金

兵庫県南部地震災害義援金の配分について、報道機関などで報道されていますが、支給日などについては未定ですので、詳細を決定次第お知らせします。問合せは日本赤十字社兵庫県支部西宮市地区（0798・34・3363…西宮市社会福祉協議会内）へ。

市税の納期限などを延長

市税についての申告や申請、納付などの期限が平成7年1月17日以降に到来するものについては、その期限を3月31日まで延長します。対象税目は市民税（個人・法人）、固定資産税（償却資産の申告）です。問合せは市民税については市民税課（0798・35・3211）へ、固定資産税については資産税課（0798・35・3223）へ。

国民年金保険料の免除

震災などによって、所有する住宅や家財に著しい損害を受けて保険料の支払いが困難と認められるときは、年金保険料の支払いが免除されます。免除される金額は月額1万1100円で、期間は平成6年12月分から平成8年3月分まで。免除された期間は、老齢基礎年金の額を計算するとき、納付済期間の3分の1となります。手続きは印鑑を持って、年金課（0798・35・3123）か各支所・地区市民サービスセンターへ。

国民健康保険

◎**医療機関などで診療を受ける場合**　災害時の紛失などにより保険証を提示できないときは、氏名、生年月日、住所、西宮市の国民健康保険加入者であることを申し出れば、全国どこでも保険で診療を受けることができます。問合せは国民健康保険課（0798・35・3120）へ

◎**保険証の再発行**　災害時の紛失などで、保険証のない方には、再発行します。印鑑と免許証など本人であるとわかる書類を持参してください。印鑑や身分証明書がまったくないなど、やむを得ない事情がある方も、再発行できる場合がありますのでご相談ください。問合せは国民健康保険課（0798・35・3117）へ

◎**保険料納期の延長**　平成6年度1月分と2月分の保険料の納期は、平成7年3月31日まで延長しています。納付が困難なときは、徴収猶予や分割納付の方法もありますのでご相談ください。問合せは国民健康保険課（0798・35・3121）へ

◎**保険料の減免**　災害で資産の3割以上の損失を受けた世帯を対象に、前年の所得に応じ、平成6年度保険料を減額または免除します。該当者には後日連絡します。問合せは国民健康保険課（0798・35・3117）へ

ごみ収集

簡易コンロのボンベは、収集車が火災を起こす恐れがあるので、くぎなどで穴を開けておいてください。また、ごみを紙袋で出すと雨で破れやすくなるので避けてください。問合せは業務第2課（0798・26・5041…本庁地区）、業務第3課（0798・41・6265…鳴尾地区）へ。なお、燃やすごみ、燃やさないごみの収集が落ち着きましたら、粗大ごみの収集も行いますので、しばらくお待ちください。

文化振興財団からのお知らせ

震災により次の施設の2・3月の使用はできません（4月以降は未定）。問合せは西宮市文化振興財団（0798・33・3111）へ。

◎**使用不能の施設**　市民会館、アミティホール、フレンテホール、フレンテギャラリー、なるお文化ホール、市民ギャラリー

リゾ鳴尾浜でふろの無料開放

リゾ鳴尾浜は、2月7日まで、ふろの無料開放を行っています。時間は午後1時から8時まで。タオルは各自ご準備ください。1人20分間（男女各約50人づつ計約100人）で1日合計約1000人の方の利用に限らせていただきます。交通は、阪神甲子園駅下車、阪神バス7番乗り場より鳴尾浜行き乗車、リゾ鳴尾浜停留所下車すぐ。駐車場は400台で2時間まで無料。問合せはリゾ鳴尾浜（0798・42・2161）へ。

競争入札参加の資格審査について

調達課と水道局管財課は、平成7・8年度の競争入札に参加を希望する業者の資格審査の受付業務を2月から3月にかけて行う予定でしたが、当分の間、受付業務を延期します。今後の日程は、めどがつき次第、再公示します。問合せは調達課（0798・35・3405～3409）へ。

西宮市災害対策本部の電話番号

0798・35・3600
35・3626
35・3627
35・3629
35・3546
35・3547

テレホンガイドまち知るべ

0798・22・3456

サービスコード144、922で、災害対策情報をお届けしています。遠方に避難されている場合などは、FAXでも同じサービスコードで地震災害広報の内容を取り出すことができますのでご利用ください。問合せは広報課（0798・35・3487）へ

地震災害広報の配布

「地震災害広報」は、可能な限り新聞折込で配布していますが、折込会社や新聞販売店などの被災により、折込ができないところもあります。また、避難所や市役所本庁・支所・地区市民サービスセンターの各窓口、給水所、広報車などで配布しています。問合せは広報課（0798・35・3400）へ。

資料編　芦屋市災害対策本部「地震災害情報」

広報 あしや

地震災害情報

平成7年1月28日 発行　3

災害の状況（1月27日12時現在）

●避難者数9843人
●避難所数55ヵ所
●収容遺体395体
●全壊家屋360戸・半壊家屋363戸（現在引き続き調査中）
●負傷者数2759人

1．保育所入所措置更新・新規入所申請について

提出期限は1月23日までとなっていますが、災害のため、期限を延長しております。
提出書類が全てそろわない場合には、申請書・家庭状況報告書等だけでも先に提出してください。
事後に必要書類を提出していただきます。
提出先：南館地下1階　受付（経済課）　　保健福祉部保育課

2．水道復旧状況（平成7年1月26日　16時現在）

・給水率　12.5%　復旧延長　23.0km
・給水可能戸数　約4,100世帯
・各戸給水開始区域　奥池全域
奥山一部
山手町　一部
朝日ヶ丘町　一部
東芦屋町　一部
・臨時給水所増設（24時間可能）
朝日ヶ丘小学校
朝日ヶ丘幼稚園
山　手　小学校

3．兵庫県香住町からの小学生受け入れについて

このたびの大震災で学校に通えない芦屋市の小学生を受け入れたいとの温かい申し出をいただきました。
1．受け入れ先：香住町の67の小学校
2．人　数：およそ80人
3．期　間：2月中
4．内　容：ボランティア家庭でホームステイし、学校に通う
5．費　用：無料
6．申し込み問い合わせ：2月2日までに各市内小学校へ　　芦屋市教育委員会

4．住宅金融公庫災害復興住宅融資

住宅金融公庫では、被災者の方々に対して、次のような融資を行っています。
(1) 建設資金：住宅に5割以上の被害を受けた方。
融資額は木造住宅で1020万円。金利は4.15%
3年以内の元金据置可能。その期間の金利は3%
(2) 補修資金：10万円以上の被害を受けた方。
融資額は木造住宅で550万円。金利は4.15%
1年以内の元金据置可能。その期間の金利は3%
詳しくは、住宅金融公庫大阪支店サービス相談室☎06-281-9290までお問い合わせください。
また、現在返済中のかたは、被災の程度に応じて返済方法の変更を行うことができます。返済中の金融機関にお申し出ください。

5．生活福祉資金（災害援護資金）の特別貸付

貸付額：10万円（保証人1人必要）
返　済：据置期間1年経過後4年以内に返済。利率年3%
申し込み：1月27日から（午前10時～午後5時）
社会福祉協議会（福祉会館2階受付カウンター）へ
必要な物：印鑑（借受人・保証人とも）、身分を証明する書類（身分証明書・運転免許証・健康保健証など）を持参
問い合わせ：社会福祉協議会　0797-32-7530

6．アレルギー食品の配布

愛知県アレルギー友の会よりアレルギー食品が28日（土）に届きますので、必要な方は保健センターまで取りに来てください。
問い合わせ：保健センター　0797-31-1586

7．浴場設置のお知らせ

1月27日より仮設共同浴場を設置しています。

浴場設置場所：精道小学校校庭
受付場所　：　同　上　東正門入口
入浴時間　：11時～21時
入浴所要時間制限：男性20分　女性30分
浴槽設備　：男性用1基　女性用1基
利　用　数　：1基当り60名
入浴方法　：・整理券発行（赤・青・白）3色
　　・翌日以後の予約受付可
お　願　い　：車輌等の入場は御遠慮して下さい。

8．簡易仏壇の無料配布について

山中大仏堂と花岩さんのご好意により、簡易仏壇（各宗派別）を無料配布します。希望者は下記の場所に直接取りに行ってください。

配布場所：松ノ内町1-20-113　（株）花岩　31-2313
配布開始：1月28日から
配布数量：約1,000個

9．兵庫県南部地震にかかる風害等の防止について

強風による看板、瓦、ガラス、瓦礫等の飛散、及び被災建築物、ブロック塀等の倒壊による二次災害が心配されておりますので、ご注意ください。

10．大学等受験生への日本下水道事業団研修宿泊施設の無料開放について

兵庫県南部地震により被害を受けられた皆様で、東京都及び埼玉県内の大学等を受験される方のために、当事業団の研修宿泊施設を無料開放することにいたしました。

申込方法等は、次のとおりです。

1．受入れ人数及び期間：2月　1日（水）～2月20日（月）は、先着順で30名程度
　　2月21日（火）～3月31日（金）は、先着順で10名程度
2．宿泊施設等の概要：洋室（2人部屋または4人部屋、風呂・トイレは共同）
　　食事は3食付き（施設内食堂）
　　勉強のための設備あり
3．所在地：〒335　埼玉県戸田市下笹目5141　日本下水道事業団技術開発研修本部
4．交通：最寄り駅は、ＪＲ埼京線　戸田駅　戸田駅まで東京駅から45分、新宿駅から24分
　　＊戸田駅到着後、ご連絡を下さい。（戸田駅より車で10分）
5．宿泊料：無料
6．申込方法：日本下水道事業団技術開発研修本部管理課　佐藤へ直接電話でお申込み下さい。
　　受付開始：1月30日より
　　受付時間：9時30分～17時30分
　　電話：048-421-2691
　　FAX：048-422-3326

11．小槌幼稚園で「きつねうどん」の炊き出し

日　時：平成7年1月29日（日）10:00～
場　所：小槌幼稚園
食　数：2,000食
問い合せ：大阪めん類組合　代表者：札本（ふだもと）さん　06-697-7577

窓口情報

芦屋浜市民サービスコーナーで、市民課で発行している各種証明書を発行します。

【芦屋浜市民サービスコーナー】

(1) 業務内容：市役所市民課で発行している各種証明書
　・住民票の写し
　・住民票掲載事項証明書
　・戸籍謄抄本
　・除籍謄抄本
　・戸籍の附票
　・年金現況届
　・印鑑登録証明書
　・外国人登録済証明書
　・身分証明書
(2) 場　所：芦屋市高浜町7番2号　芦屋浜センタービル3階
　　0797-23-6636
(3) 時　間：月～金、午前9時～午後5時15分
　　※ラポルテ市民サービスコーナーでは、まだ、取り扱いができませんので、ご注意ください。

【市役所】

(1) 業務内容：市民課：戸籍の届け
　　住民異動届の一部
　　戸籍謄抄本
　場　所：芦屋市役所南館経済課内
　　（南玄関入り、向かって左側）
　時　間：月～金、午前9時～午後5時15分

福祉部総務課：り災証明
福祉課：相談窓口
　（障害福祉
　（保護・母子福祉
高年福祉課：相談窓口
場　所：芦屋市役所南館経済課内
　（南玄関入り、向かって左側）
時　間：日～土、午前9時～午後9時

税務管理課：原付登録
場　所：芦屋市役所南館税務管理課
　（南玄関入り、正面階段上がって左側）
時　間：月～金、午前9時～午後5時15分

広報 あしや

地震災害情報

平成7年1月31日(火) 発行 6

芦屋市災害対策本部
連絡先 ☎0797-38-2099

このお知らせは1日に1回、市役所及び各避難所で、配布または掲示します。

災害の状況（1月29日18時現在）

●避難者数　8967人
●避難所数　54ヵ所
●収容遺体　395体
●全壊家屋　2543戸・半壊家屋1519戸・一部損壊3182戸　警察署、消防本部調べ（25日現在中間報告、引き続き調査中）
●負傷者数　2759人

1．倒壊家屋等の解体・処理について

この度の震災により損害を受けた建物等の解体・撤去・運搬等の処分を、所有者の申し出のあったものについて市が無料で行ないます。
申し出の受付は1月31日（火）から始めます。所有者が申し出るにあたっては、建物等の所有権の放棄についての文書を市に提出していただきます。処理についてはできる限り自衛隊に要請します。

《申込方法》

1．申込場所：精道幼稚園（芦屋市川西町11番10号）
2．受付日時：平成7年1月31日（火）から当分の間
　9:30～17:00　毎日
3．対象となる物件：1)個人住宅
　2)民間マンション
　①分譲　②賃貸（中小事業者のものに限る）
　3)事業所等（中小事業者のものに限る）
4．実施方法：1)解体撤去は一定区域ごとに実施します。解体および災害廃棄物を撤去する区域は申し込みされた方に対してお知らせし、一定期間を置いてから実施しますので必要なものは事前にできるだけ搬出して下さい。
　2)申し込みが多数予想されますので、進入路の確保や隣接建物所有者等の同意等を考慮して、公共性、緊急性が高いものから順次処理します。なお、独自に撤去をされる場合は各自で処理して下さい。
5．注意事項：1)共同住宅の場合は所有者全員の連名による申込が必要です。
　2)賃貸住宅の場合は所有者と借家人の連名による申し込みが必要です。
　3)申し込みをしなかった場合は各自の負担で処理願います。
6．問い合わせ：芦屋市役所　TEL 0797-31-2121　内線 2102・2171（1/31より）
7．その他：既に各自で処理した方も、公費負担の対象となるよう、現在国・県と調整しています。

2．小・中学校の再開について

2月2日（木）午前10時から学校を再開します。
児童生徒のみなさんは、安全に気をつけて登校してください。
（予定）
2月2日（木）～2月4日（土）・・・・午前10時から12時まで
2月6日（月）以降・・・・午前9時から12時まで（当面）
学校給食は実施いたしません。
問い合せ先　☎0797-38-2088　教育委員会　学校教育課

3．水道復旧状況（平成7年1月29日　15時現在）

・給水率　18.8%　復旧延長　34.4km
・給水可能戸数　約6,300世帯
・各戸給水開始区域　奥池全域・奥山（一部）・朝日ヶ丘町（一部）・東芦屋町（一部）・山手町（一部）
・臨時給水所増設（24時間可能）
　朝日ヶ丘小学校、朝日ヶ丘幼稚園、三条小学校、山手小学校、山手町33番、山手町1番、六麓荘町3番、芦屋神社前、朝日ヶ丘町9番、朝日ヶ丘町7-33、朝日ヶ丘町24番、宮川小学校向い側、春日町そごう配送所前、滴水美術館

4．精道小学校仮設共同浴場の入浴時間の変更について

2月1日から精道小学校仮設共同浴場の入浴時間が、午後1時から午後8時までとなりますのでご注意ください。
また、グランド修復工事のため、2月6日（月）は臨時休業となります。

5．芦屋カンツリークラブ浴室の休日について

2月1日から月曜日は休日となりますのでご注意ください。

6．大阪ガス提供シャワールーム

⑴開始日：1月30日午後2時から
⑵時　間：午後2時から午後8時（変更になる場合あり）
⑶場　所：朝日ヶ丘幼稚園
⑷規　模：シャワールーム5つ
問い合わせ　朝日ヶ丘幼稚園　☎0797-32-0278

7．インフルエンザ予防接種の実施について

①日　時：1月31日（火）午後1時～午後3時
　場　所：精道小学校の救護所
②日　時：2月1日（水）午後1時～午後3時
　場　所：精道中学校の救護所
対　　象：各避難所に避難している65歳以上の希望者
問い合わせ：保健センター　☎31-1586

8．仮設住宅の申し込み結果および抽選会の実施について

(1)1月29日に締め切った仮設住宅等の申し込みの結果は次のようになりました。

	募集戸数	応募戸数	倍　率
市営仮設・市住空室	910	3,544	3.89
県営住宅	30	224	7.47
公団住宅等	280	368	1.31
合計	1,220	4,136	3.39

(2)応募者多数のため、次の通り抽選会を実施します。
日　時：平成7年1月31日（火）　午前10時から
場　所：芦屋庭球場（松浜公園北端）
抽選結果を、市役所南玄関、市内各小・中学校の避難所に掲示します。電話でのお問い合わせはご遠慮ください。

芦屋市建設部住宅課

9．義援金の状況

全国各地からの温かいご厚意による義援金は、1月29日午後9時現在で、合計538件、1億281万2,050円となっています。

芦屋市災害対策本部

10．1月30日（月）現在の常設の救護所

【外科・内科・小児科系】

会　　場	開設時間	電話番号
精道小学校（1年2組の教室）	終　日	030-266-7079
県立芦屋高校（運動場）	終　日	0797-32-2325（呼）
精道中学校（保健室）	9:00～18:00	030-355-0400
芦屋（松浜）公園（北端部）	8:30～17:00	0797-31-4262
芦屋保健所（精神科）	9:00～17:00	0797-32-0707

【歯　科】

会　　場	開設時間	電話番号
歯科医師会館	10:00～15:00	0797-23-6471

11．診療可能な医院及び病院

耳鼻科	ハザマ耳鼻咽喉科病院	22-3688
	山本耳鼻咽喉科医院	31-8226
	古川耳鼻咽喉科医院	23-4187
眼　科	安並眼科医院	22-9640
	矢野眼科	34-1577
皮膚科	藤原皮膚科	31-5112
小児科	京極小児科	31-2735
	かわもり小児科	34-6321
	永井小児科	32-8165
	鈴木小児科	34-0766
	白井小児科	22-0445
婦人科	平岡産婦人科	22-3880
	宮本産婦人科	31-0380
	柿沼産婦人科	31-1234
	甲陽医院	31-0003
外・整	林整形外科外科医院	32-8880
	安東整形外科	32-1660
	藤崎整形外科	38-0107
	大谷整形外科クリニック	34-7077
	平林医院	22-3548
	本田外科胃腸科	31-2221
	坂東診療所	32-3399
	広野医院	23-1363
	福岡外科医院	31-5588
内　科	大森医院	32-3997
	上田内科	34-1878
	北井内科クリニック	38-4188
	筋師医院	23-0627
	幸原医院	22-0338
	高内科	38-0022
	松葉医院	22-1641
	上條医院	34-0787
	高田診療所	31-0680
	石井内科	32-2810
	松岡内科	22-4592
	堂野前医院	32-6458
	岡崎医院	22-0700
	重信医院	31-2480
	瓜谷医院	22-5226
	野村医院	22-5505
	岡内科小児科医院	23-0401
	大谷クリニック	22-4460
	宮川医院	32-0011
	山田医院	22-9351
	花岡医院	22-4604
	多田医院	32-3884
	藤井医院	31-2531
	吉田内科クリニック	38-7210
	甲陽医院	31-0003
	富永医院	22-3823
精・神	大崎メンタルクリニック	31-4556
全　科	市立芦屋病院	31-2156
内・外科	伊藤病院	22-4040

12．緊急事態に於ける芦屋市歯科診療所

診　療　所	電　話
明石歯科	31-1560
有本歯科	31-1087
小野歯科浜風	23-6474
楠瀬歯科	23-0555
高田歯科	31-2229
多田羅歯科	32-1913
増田歯科	22-5359
村岡歯科	34-6430
シーサイド溝井	32-1008
錦歯科	23-6439
岡歯科	22-0139
上住歯科	34-1560
岸田歯科	22-1723
市民病院	31-2156
西田歯科	34-6731
小寺歯科	32-3836
藤本歯科	31-4193
荒巻歯科	34-6483
長谷川歯科	34-0212
依藤歯科	22-5941
翠ヶ丘歯科	22-6941
聖愛歯科	32-0356
仁木歯科	32-6544

お問い合わせは　芦屋市歯科医師会館
住所　芦屋市公光町4－29　☎0797-23-6471

窓口情報

【市役所】
保険年金課：国民健康保険・国民年金・医療の相談
場　所：芦屋市役所南館 保険年金課各窓口に変更しました。
時　間：月～金、午前9時～午後5時15分

広報 あしや

地震災害情報

平成7年2月1日(水) 発行 7

芦屋市災害対策本部
連絡先 ☎0797-38-2099

このお知らせは1日に1回、市役所及び各避難所で、配布または掲示します。

災害の状況（1月31日6時現在）

●避難者数　8912人
●避難所数　53ヵ所
●収容遺体　396体
●全壊家屋　2543戸・半壊家屋1519戸・一部損壊3182戸　警察署、消防本部調べ（25日現在中間報告、引き続き調査中）
●負傷者数　2759人

1．在宅者の医療相談や往診について

在宅のかたで、身体の調子が悪く、通院も不可能でお困りのかたを対象に、1月31日から、医師または保健婦による電話相談、および訪問活動を実施します。
問い合わせは、救護医師団詰所　☎0797-32-2345

2．震災に係わる消費生活特別相談110番

⑴特別相談内容と特設電話番号
①損害保険110番…火災、家屋・家財の損害等の相談
☎078-362-4566～4568
②生命保険110番…支払い、証書紛失等の相談
☎078-362-4569　☎078-362-5017　☎078-362-5036
③家電製品110番…安全点検、応急対応
☎078-362-5182　☎078-362-5273
④物価相談…物価急騰や便乗値上げに関する相談
⑤一般相談…借地・借家などの契約問題、倒壊家屋のローン返済方法など
いずれも（代表）　☎078-360-8530　☎078-360-0999
⑵期間および受付時間
2月末までの月～土（日・祝休み）午前9時～午後5時
問い合わせ　兵庫県立神戸生活科学センター
神戸市中央区東川崎町1－1－3　神戸クリスタルタワー6階
☎078-360-8530　FAX 078-360-8536

3．水道復旧状況（平成7年1月31日　正午現在）

・給水率　25.2%　復旧延長　46.1km
・給水可能戸数　約8,400世帯
・各戸給水開始区域
全域：奥池地区
一部：奥山、朝日ヶ丘、東芦屋、山手、東山、岩園、若宮、春日、打出小槌
・臨時給水所増設（24時間可能）
学校・避難所（7ヶ所）：山手小学校・山手中学校・朝日ヶ丘小学校・朝日ヶ丘幼稚園・岩園小学校・西山幼稚園・市立芦屋高校
路上施設（16ヶ所）：山手町33－1 市立芦屋高校バス停前・山手町1－8 双葉屋 芦屋パーキング前・東芦屋町20－3 芦屋神社南・朝日ヶ丘町7－33 第三マンション芦苑南西角・朝日ヶ丘町26－14 霊園南北参道・東山町22－13 東山公園北100m・六麓荘町3－24 岩園調整池前・朝日ヶ丘町9－8 グリーンテニスクラブ北・山芦屋町15－1 芦屋山手マンション西南・春日町3－6 そごう発送所前歩道・若宮町9－10 宮小北50mR43線北歩道・東山町7－26 パークマンション南歩道・春日町16－6 春日集会所東50m北歩道・打出町1－15 スーパー大松東歩道・打出小槌町13－16 安並眼科北歩道・船戸町1－25 アルパ芦屋北歩道

4．電話登記特設相談所の開設

被害を受けられた方を対象に、不動産及び商業・法人登記に関する電話による特別登記相談を行います。
1．期　間：2月1日（水）から2月17日（金）（土日祝日を除く）
2．時　間：午前9時30分から午後4時30分
3．電　話：06-942-1041（代表）
大阪法務局2階特設相談所
4．相談員：大阪司法書士会会員・大阪土地家屋調査士会会員

5．一般公衆浴場開業状況

西宮市：浜田温泉（甲子園浜田町1－27）、鳴尾温泉（里中町2－20）、新湯（鳴尾町2－10－9）、ク゛ア武庫川（笠屋町3－10）、東町新温泉（東町2－16－5）、大箇温泉（津門大箇町7－17）、福助湯（今津山中町6－32）
伊丹市：河鹿温泉（大鹿2－20）、久窩温泉（千僧6－216－1）、桜湯（伊丹1－8－21）、力湯（伊丹3－2－2）、新温泉（伊丹4－11－8）、稲野湯（稲野町3－21）、阪急温泉（昆陽流32－90）、南湯（南野山道38－3）、新旭湯（西桑津沢401－3）、橘湯（桜ヵ丘1－3－8）
宝塚市：わかくさ湯（大成町6－18）、荒神温泉（旭町2－1）
川西市：加茂温泉（加茂1－26－6）、極楽湯（中央町14－6）、絹延湯（絹延町4－25）、小戸湯（美園町11－11）、新町温泉（小花2－15－19）
神戸市灘区：五毛温泉（上野通3－4－13）、国玉湯（国玉通4－4－13）、摩耶温泉（天城通7－3－13）、篠原温泉（篠原南町4－1－1）、高羽温泉（高徳町6－3－14）

神戸市中央区：やまと湯（中山手通7−34−8）、相生湯（再度筋町7−2）
神戸市兵庫区：松竹湯（矢部町30−15）、湊湯（湊町2−1−5）、大同湯（大同町2−1−5）、東湯（西宮内町17−4）、新湊川湯（湊川町9−2−15）
神戸市長田区：戎湯（東尻池町4−3−26）
神戸市垂水区：高丸湯（泉ヶ丘4−4−36）、鶴の湯（川原2−1−2）、宝来温泉（御霊町5−23）、天水湯（天ノ下町12−9）

その他の営業中の浴場
カラカラテルメ（宝塚市弥生町）、天然温泉石道（川西市石道）、グリーンピア三木（三木市細川町）、神戸ラドンセンター（神戸市西区伊川谷有瀬）、神戸ぽかぽかランド（神戸市西区池上）、ラジウム温泉大山寺（神戸市西区伊川谷町前）、有馬温泉会館（神戸市北区有馬町）、ゆうゆうの里（神戸市北区鳴子）、しあわせの村（神戸市北区山田町）、有馬船員保険保養所甲北苑（神戸市北区有馬町）、厚生年金姫路鷺山荘（姫路市御立）、国民年金健康保健センターハイランドピラ姫路（姫路市広峰山）

6．診療可能な医院及び病院（1月31日現在）

耳鼻科	ハザマ耳鼻咽喉科病院	22-3688
	山本耳鼻咽喉科医院	31-8226
	古川耳鼻咽喉科医院	23-4187
眼　科	安並眼科医院	22-9640
	矢野眼科	34-1577
皮膚科	藤原皮膚科	31-5112
小児科	京極小児科	31-2735
	かわもり小児科	34-6321
	永井小児科	32-8165
	鈴木小児科	34-0766
	白井小児科	22-0445
婦人科	平岡産婦人科	22-3880
	宮本産婦人科	31-0380
	柿沼産婦人科	31-1234
	甲陽医院	31-0003
	由っ子クリニック	38-7291
外・整	林整形外科 外科医院	32-8880
	安東整形外科	32-1660
	藤崎整形外科	38-0107
	大谷整形外科クリニック	34-7077
	平林医院	22-3548
	本田外科胃腸科	31-2221
	坂東診療所	32-3399
	広野医院	23-1363
	福岡外科医院	31-5588
内　科	大森医院	32-3997
	上田内科	34-1878
	北井内科クリニック	38-4188
	筋師医院	23-0627
	幸原医院	22-0338
	高内科	38-0022
	松葉医院	22-1641
	上條医院	34-0787
	高田診療所	31-0680
	石井内科	32-2810
	松岡内科	22-4592
	堂野前医院	32-6458
	岡崎医院	22-0700
	重信医院	31-2480
	瓜谷医院	22-5226
	野村医院	22-5505
	岡内科小児科医院	23-0401
	大谷クリニック	22-4460
	宮川医院	32-0011
	山田医院	22-9351
	花岡医院	22-4604
	多田医院	32-3884
	藤井医院	31-2531
	吉田内科クリニック	38-7210
	甲陽医院	31-0003
	富永医院	22-3823
	中村医院	23-0468
精・神	大崎メンタルクリニック	31-4556
全　科	市立芦屋病院	31-2156
内・外科	伊藤病院	22-4040

7．緊急事態に於ける芦屋市歯科診療所

診療所	電話
明石歯科	31-1560
有本歯科	31-1087
小野歯科浜風	23-6474
楠瀬歯科	23-0555
高田歯科	31-2229
多田羅歯科	32-1913
増田歯科	22-5359
村岡歯科	34-6430
シーサイド溝井	32-1008
錦歯科	23-6439

診療所	電話
岡歯科	22-0139
上住歯科	34-1560
岸田歯科	22-1723
市民病院	31-2156
西田歯科	34-6731
小寺歯科	32-3836
藤本歯科	31-4193
荒巻歯科	34-6483
長谷川歯科	34-0212
依藤歯科	22-5941

診療所	電話
翠ヶ丘歯科	22-6941
聖愛歯科	32-0356
仁木歯科	32-6544
稲垣歯科	22-2870
能治歯科	32-3386
橋本歯科	22-3393
花岡歯科	38-5533
平嶋歯科	32-3380
土田歯科	22-2759

お問い合わせは　芦屋市歯科医師会館
住所　芦屋市公光町4−29　☎0797-23-6471

窓口情報

芦屋浜市民サービスコーナーで、市民課で発行している各種証明書を発行します。

【芦屋浜市民サービスコーナー】　☎0797-23-6636
(1) 業務内容：市役所市民課で発行している各種証明書
・住民票の写し
・住民票掲載事項証明書
・戸籍謄抄本
・戸籍の附票
・年金現況届
・印鑑登録証明書
・外国人登録済証明書
・身分証明書
(2) 場　所：芦屋市高浜町7番2号　芦屋浜センタービル3階
(3) 時　間：月〜金、午前9時〜午後5時15分
※ラポルテ市民サービスコーナーでは、まだ、取り扱いができませんので、ご注意ください。

【分庁舎】水道部　☎0797-38-2081、2082
(1) 業務内容：転出精算、水道の一時中止等の受け付け
（ただし、営業再開後の事後処理となります）
(2) 場　所：市役所分庁舎1階（市役所本庁舎東）
(3) 時　間：月〜金、午前9時〜午後5時15分

【市役所】☎0797-31-2121（代）
(1) 業務内容：
市民課：戸籍の届け
戸籍謄抄本
場　所：芦屋市役所南館経済課内
（南玄関入り、向かって左側）
時　間：月〜金、午前9時〜午後5時15分

福祉部総務課：り災証明
福祉課：相談窓口（障害福祉／保護・母子福祉）
高年福祉課・保育課：相談窓口
場　所：芦屋市役所南館経済課内
（南玄関入り、向かって左側）
時　間：月〜金、午前9時〜午後5時15分

税務管理課：原付登録
場　所：芦屋市役所南館税務管理課
（南玄関入り、正面階段上がって左側）
時　間：月〜金、午前9時〜午後5時15分

保険年金課：国民健康保険・国民年金・医療の相談
場　所：芦屋市役所南館　保険年金課各窓口
（南玄関入り、正面階段上がって右側）
時　間：月〜金、午前9時〜午後5時15分

28

資料編　阪神・淡路大震災関連図書(コープこうべ・震災記録室保有分)

No.	書　　名	著　者／発　行	発行日	備　　考
1	阪神大震災全記録　県南部被災地からの報告	神戸新聞社	1995. 4.20	
2	阪神大震災　朝日新聞大阪本社版紙面集成	朝日新聞社	1995. 3.25	
3	報道写真全記録　阪神大震災	朝日新聞社	1995. 3. 5	
4	緊急出版　県南部地震特別報道写真集　阪神大震災	神戸新聞社	1995. 2. 4	
5	読売報道写真　阪神大震災全記録	読売新聞社	1995. 3.10	
6	大阪読売　阪神大震災　特別縮刷版	読売新聞社	1995. 4. 8	
7	大阪読売　阪神大震災　続・特別縮刷版	読売新聞社	1995. 4.28	
8	ドキュメント　阪神大震災全記録	毎日新聞社	1995. 4. 8	
9	阪神・淡路大地震における消防活動の記録　神戸市域	神戸市消防局	1995. 3.	
10	阪神大震災全記録　県南部被災地からの報告	神戸新聞社	1995. 4.20	
11	阪神・淡路大震災神戸市域における防災活動の記録	神戸市消防局	1995. 5.25	
12	平成７年度理事会	神戸市東灘防火協会	1995. 6.27	
13	M7.2 の報告　その時、東消防署では	神戸市東灘消防署	1995. 4.	
14	芦屋女性市長震災日記	下川　裕治／朝日新聞社	1995. 4.30	
15	大震災の企業防衛　ケーススタディ	朝日新聞社大阪本社経済部編	1995. 4.30	
16	兵庫ルネッサンス計画	小室　豊充編著／六甲出版	1995. 6. 1	
17	神戸発阪神大震災以後	酒井　道雄編／岩波書店	1995. 6.20	
18	阪神大震災　その時企業は	日本経済新聞社	1995. 4.28	
19	阪神・淡路大震災　明日の町へ	山田　利行著	1995. 4.10	
20	阪神大震災　被災した私たちの記録	阪神大震災を記録しつづける会／朝日ソノラマ	1995. 5.30	
21	愛の奇蹟阪神大震災　語り継ぐ感動実話集	松田美智子編著／早稲田出版	1995. 4. 5	
22	じしん大きらい　あの瞬間　阪神大震災	奥田　富子編／国土社	1995. 4.25	
23	瓦礫の街から　阪神大震災のうた	「眩」短歌会編／学生社	1995. 4.17	
24	正午２分前　外人記者の見た関東大震災	ノエルF・ブッシュ著／早川書房	1962. 8.31	
25	雪 '95.2 特集・阪神大震災	神戸市防災安全協会	1995. 2. 1	
26	雪 '95.3 その時、消防職員の胸に去来したものは	神戸市防災安全協会	1995. 3. 1	
27	雪 '95.4 特集・阪神大震災（III）	神戸市防災安全協会	1995. 4. 1	
28	雪 '95.5 検証・阪神大震災	神戸市防災安全協会	1995. 5. 1	
29	雪 '95.6 検証・阪神・淡路大震災II	神戸市防災安全協会	1995. 6. 1	
30	Voice 特集大震災と戦後50年	PHP 研究所	1995. 4. 1	
31	THE KOBECCO	月刊神戸っ子	1995. 3. 1	
32	男女共生のまちづくり　提言	兵庫県立女性センター		
33	神戸新聞　奥さま手帳　別冊　阪神大震災	神戸新聞社		
34	サンデー毎日臨時増刊第１弾　平成７年兵庫県南部地震	毎日新聞社	1995. 2. 4	
35	サンデー毎日臨時増刊第２弾　緊急分析阪神大震災	毎日新聞社	1995. 2.18	
36	サンデー毎日臨時増刊第３弾　緊急報告阪神大震災の30日	毎日新聞社	1995. 2.28	
37	日経マネー	日経ホーム出版社	1995. 5	
38	旺文社ムック　地震の知恵119	旺文社		

No.	書　　名	著　者／発　行	発行日	備　　考
39	SAPIO	小学館	1995. 3.23	
40	THE 21　地震に強い都市・弱い都市	PHP 研究所	1995. 4. 1	
41	ほんとうの時代　4	PHP 研究所	1995. 4.	
42	アサヒグラフ3.3	朝日新聞社	1995. 3. 3	
43	神戸大震災	産経新聞	1995. 1.27	
44	コーポロ「ライフライン」としての生協	京都生活協同組合	1995. 6	
45	こーぷらいふ　特集　大地震を乗り越えて	コープ出版株式会社	1995. 3	
46	AERA	朝日新聞社	1995. 2.27	
47	週刊読売　阪神大震災がんばれ!!神戸	読売新聞社	1995. 2.14	
48	週刊文春	文藝春秋	1995. 3.16	
49	食品衛生　阪神淡路大震災支援体験記	日本食品衛生協会	1995. 5. 1	
50	商業界　商店破壊阪神大震災の教訓	商業界	1995. 4. 1	
51	震災フォーラム全記録	日本科学者会議他／兵庫労働総研	1995. 3.17	
52	阪神淡路大震災地図	日地出版株式会社		
53	日経ビジネス　復興の研究〔神戸〕	日経 BP 社	1995. 3. 6	
54	食品グラフ　震災復興に立ち上がる食品界	食品新聞	1995. 3.30	
55	AERA　関西大震災に学ぶ	朝日新聞社	1995. 2. 5	
56	月刊ホームセンターと新フォーマット　被災地企業の再建状況と教訓	日本 HC 研究所	1995. 3.10	
57	週刊金曜日　引き裂かれた大地は問う	㈱金曜日	1995. 1.27	
58	AERA　大震災30万人の漂流	朝日新聞社	1995. 2. 6	
59	Network	NHK 総務局	1995. 4.	
60	かけはし	川鉄物流株式会社／川鉄物流㈱	1995. 3.	
61	がす燈	大阪ガス㈱	1995. 3.20	
62	FACT　3月号	FCOOP		
63	週刊金曜日	㈱金曜日	1995. 2. 3	
64	Newsweek　日米欧に見る災害ボランティア	TBS ブリタニカ	1995. 2.15	
65	週刊文春	文藝春秋	1995. 3. 9	
66	新潮45　東海大地震はまだきていない	新潮社	1995. 3. 1	
67	AERA　大震災神戸市は復興計画に民の声をきけ	朝日新聞社	1995. 3.20	
68	週刊文春	文藝春秋	1995. 3.30	
69	サンデー毎日　大震災	毎日新聞社	1995. 2.12	
70	週刊現代　いよいよ来るＭ７の恐怖	講談社	1995. 6.17	
71	FRIDAY　関西大震災	講談社	1995. 2. 7	
72	SYORYU　阪神大震災　復興に向けて全力投球	メイテック㈱	1995. 3.	
73	AERA　日本の頸動脈が切れた	朝日新聞社	1995. 1.30	
74	SAPIO 大東京圏「地震崩壊」詳細地図	小学館	1995. 2.23	
75	ぜんろうさい　阪神大震災特集	全国労働者共済生協連	1995. 3.	
76	都市政策　季刊第79号　特集　阪神大震災と神戸市復興への提言	神戸都市問題研究／勁草書房	1995. 4.	
77	阪神大震災　ガス復旧の軌跡	大阪ガス㈱	1995. 7.17	
78	空色のオルゴール　扇あきの十九年	扇　千恵／扇　進次朗	1995. 8.17	

No.	書　　名	著　者／発　行	発行日	備　　考
79	風に想う　関西学院、阪神・淡路大震災〔学生・職員犠牲者追悼文集〕	関西学院大学	1995．8.17	
80	週刊朝日　関西大地震	朝日新聞社	1995．2．3	
81	かわけん	川鉄建材工業	1995．3.	
82	モスラ MOS COMMUNICATIO MAGAZINE FOR YOU 阪神大震災その時わたしは	モスフードサービス／もすら	1995．春	
83	働く広場　阪神大震災／被災地で働く障害者たち	労働省／日本障害者雇用促進協会	1995．4.20	
84	モスラ　阪神大震災そのとき、モスバーガーは	モスフードサービス／もすら	1995．3.	
85	ニューひょうご　がれきのまちに若葉の芽吹き	兵庫県広報部	1995．5．1	
86	P & G MOON BEAMS　阪神大震災　会社復興への日々	P & G	1995．2.28	
87	家庭と朝日新聞　阪神大震災　くらし再生ハンドブック	朝日新聞大阪支社	1995．2．8	
88	FRONTIER　阪神大震災　その時、ライフは	ライフコーポレーション	1995．3.	
89	INTER LINK　震災。そして、これから	ZOJIRUSHI	1995．2．3	
90	Seiwa	西日本建設業保証／せいわ編	1995．4.	
91	15番館	㈱ノザワ	1995．2.20	
92	その日　その朝　神戸常盤女子高校　3年9組卒業文集	神戸常盤女子高校／㈱エピック	1995．5.25	
93	大地震　その時、わが街は	神戸新聞社	1995．9．1	
94	阪神・神戸大震災　生協関連情報と資料	生協研究機構	1995．6.	
95	阪神大震災被災体験報告書　よみがえれ・こうべ！	コモ・ジャパン	1995．3．6	
96	災害に負けないための生活の知恵	生活協同組合コープこうべ	1995．6.16	
97	ステーション4　震災なんかに負けない	生活協同組合コープこうべ	1995．3.10	
98	ステーション5　震災特集	生活協同組合コープこうべ	1995．4.10	
99	阪神・淡路大震災と家族　－面接調査による事例研究報告書－	家庭問題研究所	1995．4.	
100	「震災・活動記録室」中間報告	震災活動記録室／阪神大震災地元NGO救援連絡会議	1995．8．1	
101	おまえらもはよ逃げてくれ	神戸医療生活協同組合	1995．6.25	
102	21世紀ひょうご VOL65	21世紀ひょうご創造協会	1995．3.20	
103	阪神・淡路大震災と家族　－面接調査による事例研究報告書－	家庭問題研究所	1995．4.	
104	阪神・淡路　震災復興計画のあらまし	兵庫県	1995．7．7	
105	神戸市復興計画（概要版）	神戸市	1995．6.	
106	毎日新聞は何を伝えたか　阪神大震災	毎日新聞社		
107	都市製作　阪神大震災と応急体制	神戸都市問題研究所／勁草書房	1995．7．1	
108	ダイエー・中内功の生活文化大革命	岩淵　明男／オーエス出版	1995．8.25	
109	電気と保安　1995／9　No.347	関西電気保安協会	1995．9．1	
110	阪神・淡路大震災　ひょうご創生への提言	ひょうご創生研究会	1995．7.	
111	協同	兵庫県農業協同組合	1995．9．1	
112	協う	くらしと協同の研究所	1995．9.10	
113	ゆうわ　臨時号	三星堂社内報	1995．3.	
114	グリーンファミリー	朝日新聞	1995．7.	
115	かわしょう	川鉄商事株式会社	1995．4.15	
116	ひびき	富士通テン株式会社	1995．3.	
117	ふぃーるど	JA兵庫中央会	1995．6.15	
118	いきいき兵庫	JA兵庫中央会		

No.	書　　名	著　者／発　行	発行日	備　　考
119	コープこうべの概要と創造的復興	生活協同組合コープこうべ	1995. 9.	
120	こーぷらいふ　特集　大地震を乗り越えて	コープ出版株式会社	1995. 3.	
121	こうべからのメッセージ	くらしの創造本部／生活協同組合コープこうべ	1995. 6.	
122	COOP	日本生活協同組合連合会	1995. 3.	
123	第45回通常総会議案書	日本生活協同組合連合会	1995. 6.15	
124	第45回通常総会議案書　I	日本生活協同組合連合会	1995. 6.15	
125	日本生協連合会会報　第45回通常総会集合	日本生活協同組合連合会	1995. 7.15	
126	日本生協連会報	日本生活協同組合連合会	1995. 7.15	
127	日本生協連会報	日本生活協同組合連合会	1995. 6.15	
128	日本生協連会報	日本生活協同組合連合会	1995. 9.15	
129	COOP	日本生活協同組合連合会	1995. 3.	
130	COOP	日本生活協同組合連合会	1995. 5.	
131	全国組合員活動情報　6月号	日本生活協同組合連合会	1995. 6.15	
132	生協情報	東京都生活協同組合連合会	1995. 6. I	
133	関西総連ニュース　9月号	日本生活協同組合連合会	1995. 9.16	
134	阪神・淡路大震災－兵庫県の1ヵ月の記録	阪神淡路大地震兵庫県対策本部	1995. 7.	
135	ビル管理の研究と開発	関西環境開発センター	1995. 6.30	
136	日経BPプレミアクラブNo.2	日経BP社		
137	日本生協連会報	日本生活協同組合連合会	1995. 5.15	
138	雪 '95.10 検証・阪神・淡路大震災VI	神戸市防災安全協会	1995.10. I	
139	ボランティア元年	朝日ソノラマ	1995. 4.30	
140	防災白書　平成7年版	大蔵省印刷局／国土庁編	1995. 6.30	
141	阪神大震災の教訓	日経BP社	1995. 3.30	
142	防災基本計画	国土庁防災局	1995. 7.	
143	市民のグラフ　こうべNo.268	神戸市広報課	1995. 7.	
144	市民のグラフ　こうべNo.269	神戸市広報課	1995. 9.	
145	農村と都市のきずなを求めて－阪神・淡路大震災とJAの活動	JA兵庫中央会	1995. 7.31	
146	ガレキの中に見つけた虹	首都圏コープ事業連合	1995. 5.11	
147	雪 '95　検証・阪神・淡路大震災IV	神戸市防災安全協会	1995. 8. I	
148	食品商業3　阪神大震災、商業奮闘ス	商業界	1995. 3.15	
149	Chain Store Age	ダイヤモンド・フリードマン社	1995. 3. I	
150	販売革新3	商業界	1995. 3. I	
151	販売革新4	商業界	1995. 4. I	
152	阪神大震災全記録　県南部被災地からの報告	神戸新聞社	1995. 4.20	
153	震災ダイジェスト			ビデオ
154	大地震　日ごろの備えが身を守る			ビデオ
155	第7地区別総代会議用作成ビデオ	第7地区本部		ビデオ
156	公開講座「創造的復興と中～長期計画」　増田副組合長　95. 9. 7			カセットテープ
157	代表者研究　増田副組合長「震災と復興」　95. 9. 2			カセットテープ
158	近商研ゼミで　大森守男「店の復旧」			カセットテープ

No.	書　　名	著　者／発　行	発行日	備　　考
159	「コモテック生に期待する」　増田副組合長　95．4．4			カセットテープ
160	激震の記録 Vol.1	朝日放送株式会社		ビデオ
161	激震の記録 Vol.2	朝日放送株式会社		ビデオ
162	第15回日本協同組合学会大会　報告要旨	日本協同組合学会	1995.10.13	
163	雪 '95．7．　検証・阪神・淡路大震災Ⅲ	神戸市防災安全協会	1995．7．1	
164	震災を乗り越えて	第4地区・住吉コープセンター	1995.11.12	
165	神鉄 3	神鉄観光	1995．3．1	
166	SUN 雇用促進事業団ニュース「サン」第37号	雇用促進事業団	1995．8.25	
167	復興に向けて　阪神・淡路大震災の記録	西宮市役所	1995．9.30	
168	'95 消費者問題神戸会議	神戸市消費者協会		
169	協同　11	兵庫県農業協同組合中央会	1995.11．1	
170	農村・都市の絆（阪神・淡路大震災の活動事例より）	兵庫県農村都市システム研究会	1995．9．	
171	兵庫県地域研究　通巻２号	神戸新聞情報科学研究所	1995.11．	
172	MOBILITY　1995秋季号	運輸経済研究センター	1995.10.31	
173	建築と社会　10	日本建築協会	1995.10．	
174	六甲アイランド店長としての震災体験と今後の広報活動について　前田　勉		1995.11．8	カセットテープ
175	緊急対策行動と壊滅的打撃を受けたドミナントエリアの復興計画　山元　敏儀		1995.11．7	カセットテープ
176	コープこうべの創造的復興と21世紀ビジョン　増田　大成		1995.11．9	カセットテープ
177	震災後のボランティアの組織づくりと課題　第6地区兵庫ボランティアC　生原　寛治		1995.11．7	カセットテープ
178	シーア店長・浅田　茂　神戸東KC・豊島　博		1995.11．8	カセットテープ

あとがき

人には忘れたいこと、決して忘れてはならないことがあります。

阪神・淡路大震災においても人それぞれの“想い”があるでしょう。

コープこうべは、この震災の体験を通じてさまざまな教訓を得ました。特に震災の初期の“助け合い”救援・支援をいただいた人の情け、そして組合員・職員の頑張りなど、いわば“協同の心”は決して忘れてはならないことの１つでしょう。

この『震災の記録』は地震発生直後から１～２ヵ月を中心にまとめ、“協同の心”がいかに自然に湧出したかを確認できれば、と思っています。また、“創造的復興の思い”がすでに地震当日からスタートし、21世紀に向けて飛躍できる新しい生協づくりや、新しいくらしづくりの一端を、この記録から垣間見ることができれば幸いに思います。

この記録は概ね次の編集方針でまとめました。

①各部署や個人から寄せられた震災直後の状況をできるだけ原文に近い形で表わしました。従って混乱の真っ只中での出来事で、勘違いや小さな誤りは止むを得ないと思われます。

②万が一の今後の災害を視野において、少しでも参考になれば、と考えて編集しました。

③全分野・全事業形態の活動記録をここに収録することは不可能に近く、資料編を含め断片的にその活動を掲載せざるを得ませんでした。

なお、編集・執筆を次の方に協力いただきました。

井上淳信さん　（コモジャパン）
森畑哲洋さん　（広報本部）
池上　彰さん　（第３地区本部）
浜田昌文さん　（コープステーション）
橋口文博さん　（くらし創造本部）

震災当初の混乱期のできごとは当事者でないと不明な点も多いと思われます。それだけに以上の諸氏の苦労も多かったと思います。みなさんの協力に心から感謝申し上げます。

1995年12月30日

常任理事　西　義人
震災記録担当　稲田厚志

阪神・淡路大震災

コープこうべ 活動の記録 —— 創造的復興への道

1996年1月15日発行

編集発行　生活協同組合コープこうべ
震災記録室

〒673-05　三木市志染町青山7丁目1-4
協同学苑
TEL 0794-85-5500

生活協同組合
コープこうべ